取扱説明書

FOMA® M1000 ’05.11



必ずお読みください！ FOMA® M1000

ーWebブラウザやメールなどのインターネット接続機能をご利用の皆様へー

この度は、FOMA M1000をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本FOMA端末は、FOMAはもとよりGSM/GPRSにも対応しており、世界各国で広くご利用いただけます。
また、インターネット接続などのデータ通信では、無線LAN（IEEE802.11b、WiFi認証）機能を搭載しており、パソコンやPDAと同様にご家庭内の無線LANアクセスポイントとの接続、インターネットサービスプロバイダ（ISP）などが提供する公衆無線LANスポット（Mzone等）への接続、企業内無線LANネットワークへの接続などが可能です。
これにより、インターネットやイントラネット上の各種サービスを高速通信でご利用いただける画期的な携帯電話です。
FOMA M1000は様々なビジネスシーンやプライベートシーンにおける強力なパートナーとなり、必ずやお客様のFOMAライフを満足していただけるものと思います。

なお、本FOMA端末をご利用の際には、以下についてご注意ください。

- 本FOMA端末は、iモード機能（iモードメール、公式サイトへの接続、iアプリなど）には対応しておりません。
- 本FOMA端末では、定額制料金サービス「パケ・ホーダイ」はご利用いただけません。
- 本FOMA端末でFOMAパケット通信やGPRS通信を使用した大量のデータ通信を行った場合、通信料金が高額になることがあります。
- Eメールの送受信やインターネットサイトの閲覧では、画面に表示される文字や画像など以外に通信に必要なデータが含まれており、その部分も課金の対象となります。
- セキュリティスキャンLightのパターンデータを最新の状態にしてスキャンを行ってください。また、アプリケーションのインストールやメモリ上へのデータの書き込みの前後には、必ずスキャンを行うようにしてください。

同梱されている取扱説明書をご一読いただき、十分にご理解いただいた上で本FOMA端末をご利用ください。

NTT DoCoMo

裏面もお読みください

▼

2005年8月

FOMA M1000を上手にご利用いただくために！

FOMA M1000はモバイル環境でインターネットを便利にご利用いただくための様々な機能が搭載されています。以下をご一読いただき、FOMA M1000を上手にご利用いただけますよう宜しくお願い申し上げます。

Webブラウザ

本FOMA端末には一般パソコン向けのホームページを閲覧できる高機能なブラウザが搭載されております。本ブラウザでは、多彩な表示が可能であり、以下に示す表示切替機能が搭載されておりますのでお好みに応じてご使用ください。

通常表示／フィット表示／縦全画面表示／横全画面表示／ズーム（オートズーム）

※一般パソコン向けのホームページでは一部表示できない場合があります。
※CGI（サーバ上でのプログラム実行）を利用した掲示板などはご利用いただけない場合があります。
※「フィット表示」モードを使用した場合、画像などが表示されなかったり、レイアウトの変更が行われたりすることがあります。

インターネットメール送受信機能

本FOMA端末にはISPが提供するインターネットメール（POP3、IMAP4/SMTP）サービスに対応したメール送受信機能が搭載されております。本メール送受信機能では、ご利用の形態に合わせた多彩な受信動作が可能です。

- NTT DoCoMoが提供するmopera Uのメールサービスをご利用いただく場合、iモードメールサービスのような「自動受信機能（リアルタイムメール着信機能）」がご利用いただけます。
- 制限無し（全文受信）／ヘッダのみ／最大サイズ制限／行制限受信を上手にご利用いただくことにより必要な情報だけを受信することができ、通信料金の削減に繋がります。
- 上記各種制限受信後に、必要なメールだけを全文取得する選択全文受信取得機能があります。
- 「サーバから削除」をOFF（初期値）にすることにより、複数の端末からメールの閲覧が行えます。
- メールBOX作成機能とメールフィルタ機能を組み合わせることで、受信したメールの格納先を自動的に振り分けることが可能です。

※パソコンや他の携帯電話などとメールのやりとりをした場合、正常に表示されない場合があります。
※上記の各制限受信設定においてメールを受信した後に『制限なし』に設定変更してメールの送受信を行った場合、サーバ上に残っているメールの全文が再受信（再取得）されます。
※受信したEメールに絵文字が含まれていた場合、その絵文字は正しく表示されません。
※他の端末からメールサーバ上のメールが削除された場合、本FOMA端末でメールの受信はできません。
他の端末の“メールサーバからのメッセージ削除”の設定をご確認ください。
※メールサーバからメッセージを受信し、その後に他の端末でメールサーバ上のメッセージを削除し、それ以後に本FOMA端末で送受信動作を行った場合、サーバ上から削除されたメッセージが本FOMA端末内から自動削除されます。メッセージの自動削除をしたくない場合は、事前にご自身で作成されたメールBOX（ローカルフォルダ）へメッセージの格納（移動）を行ってください。

アプリケーションインストール、セキュリティスキャンLight

本FOMA端末には各種ソフトウェアをインストールすることで様々なアプリケーションを動作させることができるアプリケーション追加機能と、悪意のあるソフトウェア（コンピュータウイルスなど）の検出および削除を行う「セキュリティスキャンLight」が搭載されています。

※アプリケーションなどのインストールは安全性をご確認の上、お客様の判断と責任において実施してください。
※アプリケーションなどが書き込まれた外部メモリカード（Trans Flash）を本機に挿入した場合、本機にアプリケーションなどが自動インストールされる場合がありますので、外部メモリカードへのデータ書き込みを行う際にも十分に安全性をご確認の上、実施してください。
※上記インストールによりウイルス感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
※セキュリティスキャンLightによるスキャンの実施は取扱説明書に記載された正しい手順で行ってください。

●上記各機能の詳細は、取扱説明書の各機能のページをご覧ください。

6803609B23

ドコモ　W-CDMA、GSM/GPRS方式

このたびは、「FOMA M1000」をご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
FOMA M1000は、あなたの有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA 端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中など電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA 端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA、GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA 端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社

取扱説明書（本書）のご使用にあたって

次の方法で知りたい内容を探すことができます。

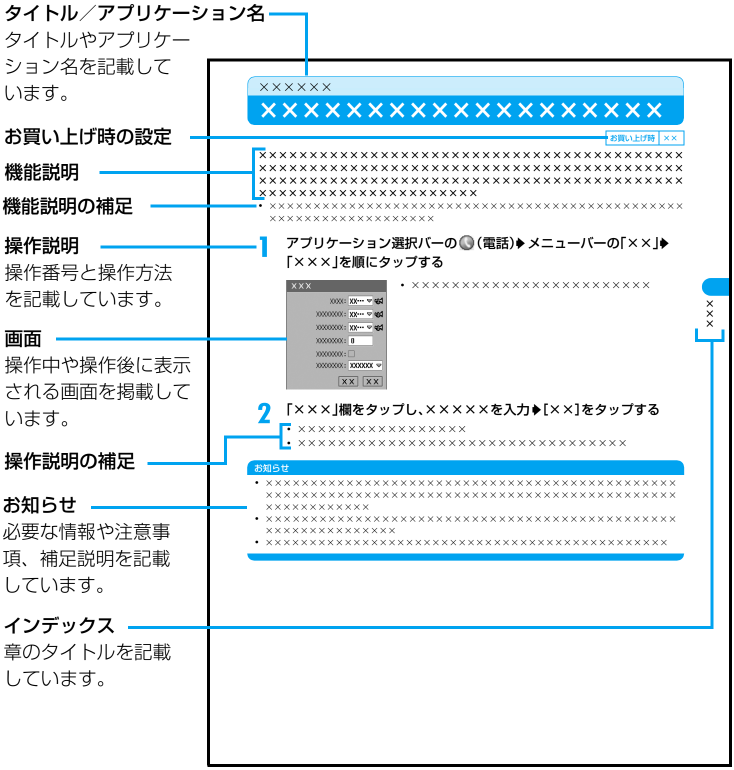
- 目次から引く
  操作したいアプリケーションを選んで引きます。→P2
- 索引から引く
  機能名やアプリケーション名を選んで引きます。→P624
- P1とインデックスから引く
  アプリケーション名やタイトルを選んで引きます。
- 章扉から引く
  タイトルを選んで引きます。
- 特徴から引く
  FOMA端末の特徴や使いかたから選んで引きます。→P4、P6

※「安全上のご注意」は、P8に記載しています。ご使用の前に必ずお読みください。

クイックマニュアル記載→P630

本書の見かた

本書では、FOMA端末の使いかたを次の構成で説明を行っております。



※ 上記のページはサンプルです。

操作説明の記載について

本書では、スタイラスペンを使った方法で操作を説明しています。あらかじめスタイラスペンの使いかたやメニュー項目の選択方法などをご確認の上、FOMA端末をご利用ください。→P34、P35、P43

- FOMA端末のキーを使うとより簡単にできる操作や、覚えておくと便利な操作の場合は、キーを使った方法で操作を説明しています。キーの操作は各キーのイラストを用いて説明していますので、あらかじめ各キーのイラストや説明をご確認ください。→P30、P31

■海外での利用について
FOMA端末を海外で利用する際は、「海外利用」の章を参照してください。→P560

お知らせ

- 本書に掲載している画面などのイラストはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

目次／注意事項
ご使用前の確認
電話のかけかた／受けかた
テレビ電話のかけかた／受けかた
電話帳
音／画面／照明設定
あんしん設定
ネットワークサービス
カメラ
ブラウザ
メール
データ表示／編集／管理
その他の便利な機能
アプリケーション
無線LAN
movianVPN
データ通信
Bluetooth
文字入力
海外利用
付録
索引／クイックマニュアル

目　次
Contents

FOMA M1000の特徴

FOMA（Freedom Of Mobile multimedia Access）とは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

■国際ローミング

デュアル方式（W-CDMA、GSM/GPRS）に対応し、ドコモが提供するFOMAネットワーク内での使用のほか、W-CDMAネットワークやGSM/GPRSネットワークを利用している海外でもFOMA端末を使用して通話や通信ができます。→P560

※ 海外でご利用になる場合は、ドコモの国際ローミングサービス「WORLD WING」をご利用ください。WORLD WINGはお申し込み手続きなしでご利用いただけます。ただし、2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で、WORLD WINGをご契約いただいていないお客様は、別途お申し込み手続きが必要となります。

■タッチスクリーン

スタイラスペンでディスプレイ（タッチスクリーン）に触れるだけで、FOMA端末を簡単にすばやく操作できます。また、紙に鉛筆で描くように、フリーハンドの文字や絵を描くこともできます。→P35

■ブラウザ

Webブラウザを搭載し、表示サイズの大きいホームページもレイアウトの変更なく本FOMA端末のディスプレイに表示できます。→P198

■メール機能

日本国内にいる相手だけではなく、海外にいる相手ともEメールやショートメッセージ（SMS）の送受信ができます。Eメールには、音声や動画、静止画、ドキュメント（WordやExcelファイルなど）などのファイルを添付して送信できます。相手の機器がBluetooth対応のメール機能を搭載していれば、Bluetooth経由でメールを交換することもできます。→P242

■無線LAN機能

オフィスなどの無線LANを利用してインターネットやEメールを利用できます。→P420

■ステレオスピーカー

動画ファイルや音楽ファイルなどをステレオスピーカーにより迫力の音で再生できます。→P314、P319

■カメラ機能

2つのカメラ（背面：有効画素数約131万画素（記録画素数約122万画素）、正面：有効画素数約31万画素（記録画素数約30万画素））を搭載し、利用状況に応じて切り替えて静止画や動画を撮影できます。→P184

■大画面ディスプレイ

大型2.9インチのTFT液晶によりインターネットのブラウジングや撮影した動画などが迫力ある大画面で楽しめます。

■Bluetooth機能

Bluetooth対応機器とワイヤレス接続し、データ通信やハンズフリーで通話することなどができます。また、Bluetooth対応機器どうしで電話帳やファイルの交換などができます。→P502

■TransFlashメモリカード

超小型の着脱可能なTransFlashメモリカードを利用して、FOMA端末で撮影した画像や登録した電話帳などのデータを保存したり、パソコンなど他の機器からメモリカードに記録したデータをFOMA端末にコピーしたりできます。→P335

■マルチタスク機能
複数のアプリケーションや機能を同時に使用できます（一部で同時に使用できないアプリケーションや機能があります）。
→P44

■マルチアクセス機能
音声電話とパケット通信を同時に使うことができるマルチアクセス機能によって、インターネット接続中に音声電話を利用したり、音声電話の通話中にメールを送ったりすることなどができます。
→P356

■アプリケーション追加機能
アプリケーションをインストールすることで、FOMA端末をさらに便利に活用できます。→P408

■ドキュメントビューア機能
Eメールの添付ファイルやメモリカードなどから Word、Excel、PowerPoint、PDFなどのパソコン文書ファイルをFOMA端末に取り込んで表示できます。
→P324

■Eメールの自動受信機能
mopera U※メールサービスの利用、またはメール通知機能に対応したプロバイダとご契約いただくことで、Eメールを自動的に受信できます。→P273

※：mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

■電子辞書機能
電子辞書機能を搭載し、国語辞書で言葉の意味を調べたり、海外で英和／和英辞書を使って単語の意味を調べたりするときなどに便利です。→P401

■マルチメディアプレーヤー
さまざまなマルチメディア機能を搭載し、静止画ファイルの表示、動画ファイルや音楽ファイルの再生が可能です。
→P308、P314、P319

■データシンクロ機能
同梱されている USB 接続ケーブルやBluetooth経由で接続したパソコンと、デスクトップスイートを利用してFOMA端末に保存されている電話帳などのデータを簡単に同期させてバックアップをとることができます。FOMA端末に保存されているデータは、インターネット経由で接続したSyncMLサーバとSyncMLを利用して同期させることもできます。
→P587

■VPN（Virtual Private Network）機能
インターネット経由の仮想専用線（VPN）を利用して、本FOMA端末からイントラネット（企業内ネットワークなど）へセキュリティの確立された安全な接続を行うことができます。→P436

■手書き入力機能
日本語対応手書き入力ソフトウェアを搭載し、入力領域にスタイラスペンで書いた文字を認識して入力できます。文字入力予測機能と連携すると、漢字やひらがな、英数字などが混在した文章もスムーズに入力できます。→P541

豊富なネットワークサービス

■留守番電話サービス（有料）
●お申し込みが必要となります。→P170

■キャッチホン（有料）
●お申し込みが必要となります。→P173

■転送でんわサービス（無料）
●お申し込みが必要となります。→P175

■デュアルネットワークサービス（有料）
●お申し込みが必要となります。→P178

■ショートメッセージサービス（SMS）（無料）
●お申し込みは不要です。→P244

FOMA M1000を使いこなす！

■FOMA M1000のコミュニケーション機能

海外で利用する

W-CDMA、GSM/GPRS方式を採用している国に旅行をするときなどにお客様のFOMA端末を一緒に持っていけば、日本国内で使用している電話番号のままで電話の発着信やデータの送受信ができます。また、相手の端末がテレビ電話に対応していれば、テレビ電話で国際電話を利用できます。→P560

テレビ電話で相手の顔を見ながら通話する

通話の相手とお互いの顔を見ながら会話ができます。お客様のFOMA端末からは、正面カメラを使用して自分の映像や、背面カメラを使用して景色などの相手に見せたい映像を、目的に応じて2つのカメラを切り替えて送信できます。相手に映像を送信したくないときは、カメラをOFFにすることもできます。→P90

■FOMA M1000のアクセス機能

無線LAN経由で接続する

ワイヤレスでインターネットやイントラネット（企業内ネットワークなど）に接続でき、インターネットやEメールなどの利用が可能です。→P420

Bluetooth経由で接続する

Bluetooth対応パソコンなどとワイヤレスで接続してデータ通信が可能です。また、Bluetooth対応のハンズフリー機器やヘッドセットと接続すると、FOMA端末を持たずに通話をすることも可能です。→P502

■FOMA M1000のその他の便利な機能

ボイスレコーダーとして使う

会議の会話など、突然録音したい状況が発生した場合でも、1つのキーを押すだけですぐに録音を開始することができます。→P351

デジタルカメラ／デジタルビデオカメラとして使う

正面と背面の2つのカメラを状況に応じて切り替えて、静止画の撮影や動画の撮影ができます。背面カメラでは記録画素数約122万画素（有効画素数約131万画素）の高画質の静止画を撮影でき、最大4倍のデジタルズームも可能です。→P184

ドキュメントビューア機能でデータを確認する

外出中などに受信したEメールに添付されているWord、Excel、PowerPoint、PDFなどのパソコン文書ファイルをFOMA端末で表示して確認できます。→P324

静止画／動画／ミュージックプレーヤー機能

インターネットなどから本FOMA端末やTransFlashメモリカードに取り込んだ各種ファイルや、カメラで撮影した静止画や動画を表示・再生できます。また、各プレーヤーでファイルを表示・再生中に詳細情報の確認ができます。ファイル名の変更や削除など、ファイルの管理・編集が可能です。→P308、P314、P319

ゲームの操作に便利なキー配置

ナビゲーションキーと2つのキーを使って、携帯ゲーム専用機のようにゲームをプレイできます。→P31

動画メール機能

カメラで撮影した動画やインターネットから取り込んだ動画などをEメールに添付して送ることができます。→P267

PIM機能による多彩な情報管理

多彩なPIM機能（電話帳、スケジュール、ToDo）を搭載し、連絡先や個人の予定、ToDoリストをFOMA端末1台で管理できます。
→P102、P362、P378

安全上のご注意（必ずお守りください）

●ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。

●ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の8項目に分けて説明しています。

FOMA端末、電池パック、アダプタの取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

●指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックを漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
電池パック　M01　　ACアダプタ　M01　　卓上ホルダ　M01
FOMA ACアダプタ 01　　FOMA海外兼用ACアダプタ 01
FOMA DCアダプタ 01
※その他互換性のある商品については当社窓口までお問い合わせください。

⚠ 警告

禁止

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。

●プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

●電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

●ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

発煙、異臭などの異常が発生したり、破損したりした場合は、ただちに次の作業を行ってください。

1.電源プラグをコンセントやソケットから抜く

2. FOMA端末の電源を切る

3.電池パックをFOMA 端末から取り外す

●そのまま使用（充電）すると、発火などの事故の原因となります。電池パックを取り外したあと、当社窓口までご連絡ください。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末、アダプタを入れないでください。

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタの発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。

●水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

⚠注意

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

指示

●誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

指示

●けがなどの原因となります。

直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

禁止

●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、機器の変形、故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

禁止

●故障の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。

禁止

●落下して、けがや故障の原因となります。

充電、または動画撮影や再生、テレビ電話の繰り返しや長時間連続使用などの場合においてFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。

指示

●温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じる恐れがあります。FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

指示

●電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
また、航空機内での使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられることがあります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

指示

●電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

警告

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットなどへの装着はおやめください。

禁止

●FOMA 端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。

禁止

●発熱、発火などの事故または故障の原因となります。

分解、改造をしないでください。

分解禁止

●火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

スピーカーホン機能を動作させて通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。

指示

●難聴になる可能性があります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

指示

●心臓に影響を与える可能性があります。

自動車などを運転中に使用しないでください。

禁止

●安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところに停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。道路交通法の改正により、2004年11月1日から運転中の携帯電話の使用は、罰則の対象となります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。

禁止

●エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

注意

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

指示

●落雷、感電の原因となります。

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

禁止

●本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

⚠ 注意

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

●下記の箇所に金属を使用しています。

材　料	使用箇所
クロムメッキ	リアカバーロック、カメラ／シャッターキー、音量／ズームキー、スピーカーホン／ボイスレコードキー、電源／ロックスイッチ、ナビゲーションキー
ニッケル	リアカバーのロゴ部、受話口のロゴ部
スズメッキ	スピーカーの装飾部
アルミニウムメッキ	受話口の装飾部
はがね	電池パックの取り付け部、FOMAカードトレイのフタ、TransFlashメモリカードのフタ、スタイラスペンのボディー部
リン青銅（表面：金メッキ）	電池パックの端子部
ベリリウム銅（表面：金メッキ）	卓上ホルダ用充電端子

禁止

FOMA端末内のFOMAカードトレイやTransFlashメモリカードトレイに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

●火災、感電、故障の原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。

●キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

●安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

TransFlashメモリカードを取り付け、取り外す際にご注意ください。

●手や指を傷つける可能性があります。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した場合は、割れたガラスなどにご注意ください。

●ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛び散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた切断面などに触れますと、けがの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表　示	電池の種類
リチウムイオン	リチウムイオン電池

危険

指示
電池パック内部の液が目のなかに入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
●失明の原因となります。

禁止
火の中に投下しないでください。
●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止
端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止
釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止
電池パックをFOMA端末に接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。
また、電池パックの向きを確かめてから接続してください。
●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止
火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。
●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

分解禁止
分解、改造をしないでください。また、直接はんだ付けしないでください。
●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告

指示
電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。
●皮膚に傷害をおこす原因となります。

指示
所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
●電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

⚠警告

禁止

電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、FOMA端末から取り外し、使用しないでください。

●そのまま使用すると電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

●漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

禁止

直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

●漏液、発熱、性能、寿命を低下させる原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

●発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから当社窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

スタイラスペンの取り扱いについて

⚠警告

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

●誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

禁止

スタイラスペンは人に向けないでください。

●本人や他の人などに突起が当たり、けがや失明の原因となります。

禁止

スタイラスペンは他の機器で使用しないでください。

●機器の故障、破損の原因となります。

指示

FOMA端末に使用するスタイラスペンは、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

●指定品以外のものを使用した場合、ディスプレイを破損、汚濁させる原因となります。
スタイラスペン　M01

指示

スタイラスペンを取り外し／収納する際にご注意ください。

●手や指を傷つける場合があります。

アダプタの取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

●火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。

●感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。

●感電の原因となります。

指示

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタには触れないでください。

●落雷、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込む時は、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。

●感電、ショート、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。

●感電、火災、故障の原因となります。

禁止

アダプタのコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

●感電、発熱、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントからプラグを抜いてください。

●感電、発煙、火災の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。

●感電、火災、故障の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。

●火災の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。

●誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。
ACアダプタ M01、FOMA海外兼用ACアダプタ 01
：AC100V-240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
ACアダプタ
：AC100V（国内の家庭用交流100Vコンセントのみに接続すること）
DCアダプタ
：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指示

プラグについたほこりは、拭き取ってください。

●火災の原因となります。

警告

禁止

充電中は、卓上ホルダを安定した場所においてください。卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

●FOMA 端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。

●誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

注意

電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントから抜いて、行ってください。

●感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。

●感電、火災の原因となります。

指示

アダプタをコンセントから抜く場合は、アダプタコードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。

●コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。

●電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

FOMAカードの取り扱いについて

警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器にFOMAカードを入れないでください。

●溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

注意

指示

FOMAカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

●誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際にご注意ください。

●手や指を傷つける可能性があります。

⚠ 注意

FOMAカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。
禁止
●溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

FOMAカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。
禁止
●溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

ICを傷つけないでください。
禁止
●故障の原因となります。

ICを不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
禁止
●データの消失、故障の原因となります。

FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
禁止
●故障の原因となります。

FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。
禁止
●故障の原因となります。

FOMAカードを濡らさないでください。
水濡れ禁止
●水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。

FOMAカードを分解、改造しないでください。
分解禁止
●データの消失、故障の原因となります。

FOMAカード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。
禁止
●故障の原因となります。

FOMAカードはほこりの多い場所には保管しないでください。
禁止
●故障の原因となります。

FOMAカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。
指示
●指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、当社窓口までお問い合わせください。

TransFlashメモリカード／TransFlashメモリカードアダプタの取り扱いについて

⚠ 警告

電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に入れないでください。
禁止
●溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
禁止
●誤って飲み込む可能性があります。
※万が一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠注意

分解禁止

分解、改造をしないでください。

●データの消失、故障の原因となります。

禁止

曲げたり、重いものを載せたりしないでください。

●故障の原因となります。

禁止

落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。

●故障の原因となります。

禁止

金属端子部分を手や金属で不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。

●データの消失、故障の原因となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。

●水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。

禁止

金属端子部分を傷つけないでください。

●故障の原因となります。

禁止

火の中に入れたり、加熱したりしないでください。

●溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

禁止

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。

●溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

●けがなどの原因となります。

禁止

使用や保存は、以下のような場所は避けてください。

・高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
・直射日光の当たる場所
・湿気の多い場所
・腐食性のガスなどが発生する場所
・ほこりの多い場所

●故障の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（電波環境協議会［旧不要電波問題対策協議会］）に準ずる。

警告

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

●電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

●手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)にはFOMA端末を持ち込まないでください。

●病棟内では、FOMA 端末の電源を切ってください。

●ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。

●医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

●自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

●電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

●電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意について

共通のお願い

■水をかけないでください。

- FOMA 端末、電池パック、アダプタは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できない場合がありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証の対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。
- FOMA 端末が濡れたり湿気を帯びたりしてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

■お手入れは乾いた柔らかい布で行ってください。

- FOMA 端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で行ってください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、染みになったり、コーティングがはがれることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。

- 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。

- 急激な湿度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。

- 多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。

■電池パックやアダプタの取り扱いについては、この取扱説明書のP53およびP56の記載をよくお読みください。

FOMA端末についてのお願い

■極端な高温、低温は避けてください。

- 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でお使いください。

■一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

- 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■FOMA端末を異物のある机上などに置かないでください。

- 背面カメラ、ディスプレイが破損する原因となります。

■ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。

- 故障の原因となります。

■使用中、充電中、FOMA 端末が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

■通常はイヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップのカバーをはめた状態でご使用ください。

■電源を入れたままかばんに入れて持ち歩くときなどは、サイドキーやタッチスクリーンが押されても動作しないように、パスワードロックを設定することをおすすめします。

■カメラを直射日光に向けて放置しないでください。

- 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

電池パックについてのお願い

■電池パックは消耗品です。

- 十分に充電しても使用状態などによって異なりますが、使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■はじめてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。

■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。

- 不要になった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してから当社窓口へお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

■直射日光が当たらず、風通しの良い涼しい場所に保管してください。

- 長時間使用しないときは、使い切った状態でFOMA端末またはアダプタから外して保管してください。

アダプタについてのお願い

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■次のような場所では、充電しないでください。

- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどの近く

■充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

■DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。

- 車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。

- 故障の原因となります。

FOMAカードについてのお願い

■FOMAカードの取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。

■ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。

■使用中、FOMA カードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

■他のICカードリーダーライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。

■お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
- 万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■環境保全のため、不要になったFOMAカードは当社窓口にお持ちください。

■極端な高温、低温は避けてください。

外部メモリについてのお願い

■IC部分の取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。

■ご使用になる端末への取り付けには必要以上の負荷をかけないようにしてください。

ディスプレイ（タッチスクリーン）についてのお願い

■ディスプレイに保護シートやシールを貼らないでください。
- 機能劣化やディスプレイが破損する原因となります。

■表面を固いものでこすったり、強く押しつけたりしないでください。
- ディスプレイが破損する原因となります。

■ディスプレイをタッチパネルとして操作する際は、必ず付属のスタイラスペンをお使いください。
- 爪やペン、ピンなど先の尖ったもので操作すると、ディスプレイが破損する原因となります。

スタイラスペンについてのお願い

■スタイラスペンは消耗品です。
- 紛失または破損した際は、指定のスタイラスペンをご用意ください。詳しくは、当社営業窓口などへお問い合わせください。

■スタイラスペンでディスプレイを触れた際、滑りが悪くなったり、ディスプレイの反応が鈍かったりした場合には、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）でディスプレイの表面を拭いてください。→P20

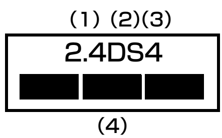
無線LANについてのお願い

■無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しい検索ができない場合があります。

■周波数帯について

WLAN搭載機器が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



（1）2.4　：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

（2）DS　：変調方式がDS-SS方式であることを示します。

（3）4　：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

（4）[redacted]　：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかまたは電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

お問い合わせ先：0120-800-000　※ ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

Bluetoothについてのお願い

Bluetoothとは携帯電話やパソコンなどのBluetooth対応機器どうしをワイヤレス接続する技術です。→P502

■パスキー

Bluetooth機器を他人に許可なく使われないためのパスワードです。半角英数字で16桁まで設定できますが、機器によってはあらかじめ設定され、変更できない場合があります。ワイヤレス接続するBluetooth機器とFOMA端末の両方に同じパスキーを入力する場合と、FOMA端末だけにパスキーを入力する場合があります。

安全のため、パスキーを設定する場合は16桁までのできるだけ長い桁数でのご使用をおすすめします。また、名前や誕生日など容易に推測できる言葉をパスキーに使わないようご注意ください。

■良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

- 他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。FOMA端末と他のBluetooth機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。
  特に、鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- 他の機器（電気製品／AV機器／OA機器／デジタルコードレス電話機／ファックスなど）から2m以上離れて接続してください（特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください）。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。
- 放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎるときは、正常に接続できないことがあります。

■無線LANとの電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 無線LANと、FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、無線LANまたはFOMA端末とワイヤレス接続するBluetooth機器の電源を切ってください。

■FOMA端末は、Bluetoothを使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetoothを使用した通信を行う際にはご注意ください。

■Bluetooth を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■FOMA端末では、以下のバージョンとプロファイルに対応したサービスを利用できます。

対応Bluetoothバージョン	Bluetooth標準規格Ver.1.1に準拠※1
出力	Bluetooth標準規格Power Class2
見通し通信距離※2	約10m以内
対応Bluetoothプロファイル※3	Generic Access Profile（ジェネリックアクセスプロファイル） Generic Object Exchange Profile（ジェネリックオブジェクトエクスチェンジプロファイル） Object Push Profile（オブジェクトプッシュプロファイル） Serial Port Profile（シリアルポートプロファイル） Dial-Up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル） Headset Profile（ヘッドセットプロファイル） Service Discovery Application Profile（サービスディスカバリアプリケーションプロファイル） Hands-free Profile（ハンズフリープロファイル）

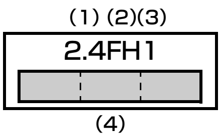
※1：FOMA端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。

※2：通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。

※3：Bluetooth対応機器どうしの使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。

■周波数帯について

FOMA端末が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



（1）2.4　：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

（2）FH　：変調方式がFH-SS方式であることを示します。

（3）1　：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

（4）　：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

Bluetooth機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1.本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2.万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。

3.その他、不明な点やお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

お問い合わせ先：0120-800-000　※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

カメラについてのお願い

お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

その他のお願い

NTTドコモでは、NTTドコモ以外の第三者が提供する機器、ネットワーク、ソフトウェアなどとの組み合わせによりお客様がFOMA端末の各種機能をご利用いただけない場合には責任を負いかねます。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA／フォーマ」「mova／ムーバ」「Freedom Of Mobile multimedia Access」「iモード」「mopera／モペラ」「mopera U／モペラ ユー」「WORLD CALL／ワールドコール」「ドライブモード」「クイックキャスト」「マルチアクセス」「デュアルネットワーク」「Mzone／エムゾーン」「セキュリティスキャン」および「FOMA」「i-mode」「mopera U」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc. の商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。
- MOTOROLAおよび“Mロゴ”は米国特許商標庁に登録された商標です。(C) Motorola, Inc. 2005.
- The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, inc. and any use of such marks by NTT DoCoMo, Inc. is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners. （Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。）
- McAfee®, マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
- Quick Timeは、米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- TransFlash™はSanDisk Corporationの登録商標です。
- Microsoft、MS、Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略です。
- Windows Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
- Windows 98は、Microsoft® Windows® 98 operating systemの略です。
- Windows 98SEは、Microsoft® Windows® 98 operating system SECOND　EDITION の略です。
- Windows XP、2000、Me、98SE、98のように併記する場合があります。
- Windows 98とWindows 98SEをまとめてWindows 98と表記しています。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
  - MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

  プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA,LLCにお問い合わせください。
- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。

  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

  4,901,307　5,600,754　5,267,261　5,506,865　5,710,784　5,504,773　5,416,797
  5,568,483　5,228,054　5,778,338　5,109,390　5,490,165　5,414,796　5,544,196
  5,535,239　5,101,501　5,659,569　5,337,338　5,267,262　5,511,073　5,056,109
  5,657,420

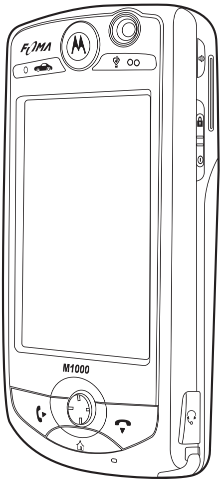
本製品および付属品の輸出管理について

本製品および付属品は、米国輸出管理規則（Export Administration Regulations EAR）の適用を受けております。本製品および付属品について、それら法令を遵守くださいますようお願い申し上げます。本製品および付属品の輸出禁止国への持ち出し、輸出禁止国の国籍をもつ個人や輸出禁止国に本社を置く法人への販売、譲渡などにおいては、お客様の責任にて必要な許可の取得などを実施いただかなければなりません。詳しくは、米国商務省へお問い合わせください。

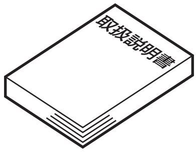
本体付属品について

■本体付属品

FOMA M1000
（保証書、スタイラスペン M01、リアカバー M01含む）

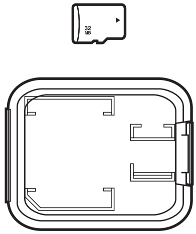


FOMA M1000
取扱説明書（本書）

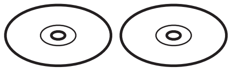


※ P630にクイックマニュアルを記載しております。

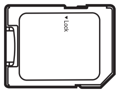
TransFlashメモリカード
（32MB）（試供品）
（ケース（試供品）付き）



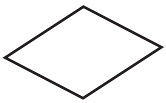
FOMA M1000用
CD-ROM（2枚）



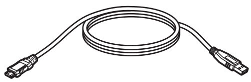
TransFlashメモリカードアダプタ（試供品）



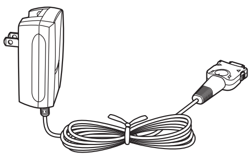
ステッカー
（無線LANおよびBluetooth機器使用上の注意事項）



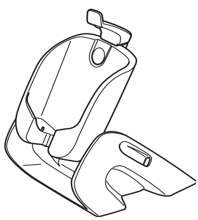
USB接続ケーブル
（試供品）



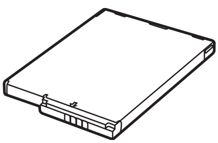
ACアダプタ M01
（保証書付き）



卓上ホルダ M01



電池パック M01

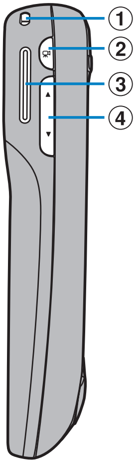


その他オプション品について→P585

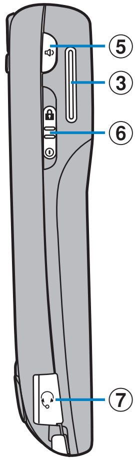
ご使用前の確認

各部の名称と機能

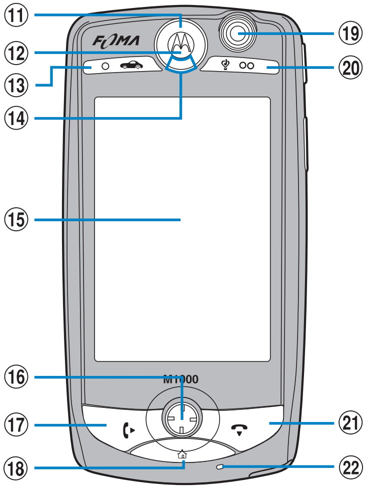
■左側面



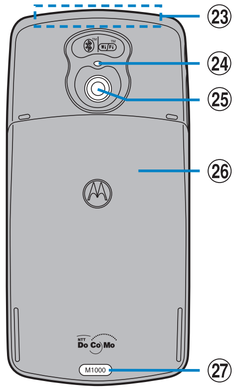
■右側面



■正面

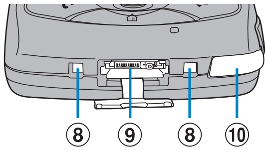


■背面

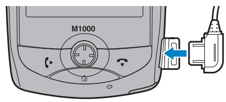


- FOMA 端末のアンテナは本体に内蔵されています。

■底面



■イヤホンマイクの接続方法



サイズ(mm)	：高さ117×幅59.5×厚さ21.5
質量（g）	：約168（※電池パック、スタイラスペン装着時）

①ストラップ取り付け穴

②カメラ／シャッターキー
静止画／動画の撮影に使用します。また、1秒以上押すと静止画／動画撮影画面を表示できます。→P32

③スピーカー
着信音やアラーム音、電話番号入力確認音などがここから聞こえます。また、通話中にスピーカーホン機能を利用すると、相手の声も聞こえます。→P71、P92

④音量／ズームキー
音量の調節や、撮影中の静止画／動画の拡大／縮小に使用します。→P32

⑤スピーカーホン／ボイスレコードキー
通話中にスピーカーホン機能をON／OFFにします。また、1秒以上押すとボイスレコーダー画面を表示できます。→P32

⑥電源／ロックスイッチ
電源を入れる／切るときや、パスワードロック／ロックの設定／解除に使用します。→P32、P62、P159

⑦イヤホンマイク端子
スイッチ付イヤホンマイク（別売り）を接続します。→P403

⑧卓上ホルダ用充電端子→P58

⑨外部接続端子
ACアダプタやDCアダプタ（別売品）、USB接続ケーブル（同梱品）などを接続します。→P56、P456

⑩**スタイラスペン／スタイラスペンホルダ**
FOMA端末を操作するときは、スタイラスペンをスタイラスペンホルダから取り外して使用します。→P34

⑪**フロントライト**
電源を入れたとき、 や 、 を押したとき、FOMA端末にACアダプタなどを取り付け／取り外したときなど、青色で点灯します。

⑫**受話口**
通話中は、相手の声がここから聞こえます。

⑬ **アプリケーション A ／ドライブモードキー**
メニューバーからのメニューの表示や、ゲームなどのアプリケーションの操作に使用します。また、ホーム画面で1秒以上押すと、ドライブモードの設定／解除ができます。→P85

⑭**ステータスライト**
電話の着信やメールの受信、ネットワークの接続中、FOMA端末の状態を点灯／点滅してお知らせします。→P33

⑮**ディスプレイ（タッチスクリーン）→P35、P37**

⑯ **ナビゲーションキー**
ゲームの操作や、項目の選択・決定などに使用します。→P31

⑰ **開始キー**
電話をかける／受けるときや、発信履歴の表示に使用します。
→P70、P74、P82

⑱ **ホームキー**
ホーム画面に戻るときに使用します。また、約1秒押すと設定したアプリケーションを起動し、約5秒押すとタッチスクリーンのタップ位置調節画面を表示できます。→P47、P139、P143

⑲**正面カメラ**
自分の映像をテレビ電話で送信するときや、自分の静止画／動画を撮影するときに使用します。→P90、P189、P190

⑳ **アプリケーション B ／マナーモードキー**
ゲームなどのアプリケーションの操作に使用します。また、ホーム画面で1秒以上押すと、マナーモードの設定／解除ができます。→P137

㉑ **終了キー**
電話を切るときや、電話番号入力画面の表示に使用します。

㉒**送話口／マイク**
通話中は、自分の声をここから相手に送ります。動画撮影中やボイスレコーダーの録音中は、ここから音声を録音します。
- 通話中や動画撮影中、ボイスレコーダーの録音中にここをふさぐと、音声が送信／録音されない場合があります。

㉓**アンテナ部分**
※ 通話／通信中は、アンテナ部分を手で覆わないようにしてください。

㉔**カメラランプ**
静止画／動画撮影時に赤色に点灯します。

㉕**背面カメラ**
風景などの映像をテレビ電話で送信するときや、風景などの静止画／動画を撮影するときに使用します。
→P90、P189、P190

㉖**リアカバー**
電池パックやTransFlashメモリカードの取り付け／取り外しなどを行う際にリアカバーを取り外します。→P53、P336

㉗**リアカバーロック→P53**

■**ナビゲーションキーについて**
ナビゲーションキーの上下左右や斜め、中央を押すことで、項目の選択や確定などの操作ができます。ナビゲーションキーを使ってできる主な操作は次のとおりです。
- 本書では、ナビゲーションキーを使って行う操作を、押す方向を示したイラストを用いて説明しています。操作の説明にナビゲーションキーのイラストがある場合は、イラストの矢印を確認して操作してください。

イラスト	操　作	説　明
	中央を押す	・選択中のメニュー項目の実行 ・静止画やビデオの撮影 ・入力した文字の確定や、変換候補の非表示中はキーボードを閉じる

次のページへ続く

イラスト	操　作	説　明
	上下に押す	・メニュー項目やキー、ファイル／データなどの選択 ・カーソルやゲームのキャラクタなどの上下移動 ・画面のスクロール ・テレビ電話やカメラの明るさ／コントラスト／ズーム設定画面の表示 ・文字入力の変換候補の選択
	左右に押す	・メニュー項目やキー、ファイル／データなどの選択 ・タブの切り替えや画面のスクロール ・カーソルやゲームのキャラクタなどの左右移動 ・テレビ電話やカメラの明るさ／コントラスト／ズーム設定画面で設定の変更 ・変換する文字列の範囲指定や、予測変換候補の消去
	斜めに押す	・カーソルやゲームのキャラクタなどの斜め移動

お知らせ

- 電源を入れたとき、 や 、 を押したとき、ACアダプタなどを取り付け／取り外したときなどに、フロントライト、 、 、 、 、 を点灯させるように設定できます。→P145
- アンテナはFOMA端末に内蔵されています。

サイドキーでできる主な操作

本FOMA端末の両サイドには3つのサイドキーと1つのスイッチがあり、各キーを押して／スライドさせてさまざまな操作ができます。サイドキーとスイッチを使ってできる主な操作と、操作を行うときのFOMA端末の状態は次のとおりです。

- パスワードロックを設定中は、電源／ロックスイッチ以外の操作はできません。→P159

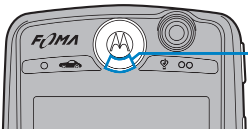
サイドキー／スイッチ	操　作	操作時のFOMA端末の状態
カメラ／シャッターキー	カメラの起動	静止画／動画撮影画面以外を表示中
	静止画の撮影／動画の撮影開始	静止画／動画撮影画面を表示中
	動画撮影の停止	動画撮影中
	静止画／動画の保存	静止画／動画撮影終了後
音量／ズームキー	着信音の音量調節※1、※2	電話の発信中／着信中／通話中、ビデオやミュージックプレーヤーの利用中、ボイスレコーダーの録音／再生中、ゲームのプレイ中以外
	動画ファイルや音楽ファイル、音声メモの再生音量の調節※1	ビデオやミュージックプレーヤーの利用中、またはボイスレコーダーの録音／再生中
	ゲームの音量調節※1	ゲーム中
	イヤホンの音量調節※1	別売りのスイッチ付イヤホンマイクを利用して通話中
	受話音量の調節※1	電話の通話中
	スピーカーの音量調節※1	スピーカーホン機能を利用して通話中
	着信音の停止※2	電話の着信中
	撮影画像の拡大／縮小	静止画／動画撮影画面を表示中

サイドキー／スイッチ	操　作	操作時のFOMA端末の状態
スピーカーホン／ボイスレコードキー	スピーカーホン機能のON／OFF	電話の通話中
	ボイスレコーダーの録音／停止※3	電話の通話中以外
電源／ロックスイッチ（上方向）	パスワードロック／ロックの設定	―
電源／ロックスイッチ（下方向）	電源のON／OFF	―

※1：押すと画面下部に音量バーが表示されます。
※2：静止画／動画撮影画面を表示中に電話を着信した場合は操作できません。
※3：1秒以上押すと録音が開始され、押している間録音されます。

ステータスライト

本FOMA端末正面の上部には、FOMA端末の状態をライトの動作でお知らせする「ステータスライト」があります。ステータスライトのライト動作と状態は次のようになっています。



- ステータスライトをONに設定した場合に点灯／点滅します。→P145
- 異なる状態が同時に起こった場合は、優先度の高いパターンで動作します。

■FOMA端末の電源が入っているとき

動作（点灯／点滅パターン）※1	状　態	優先度
赤と緑が交互に点灯する	音声電話／テレビ電話を着信中、またはメールを受信中の状態です。	高
オレンジと緑が交互にすばやく点滅する※2	音声電話またはテレビ電話の通話中状態です。	↑
オレンジ→緑→消灯をすばやく繰り返す※2	パケット通信または64Kデータ通信でデータ転送中の状態です。	
緑が点滅する※2	パケット通信でネットワークに接続してデータ転送の待機状態です。	
緑がすばやく点滅する	サービスエリア内にいる状態です。	
緑と赤が交互にすばやく点滅する	サービスエリア内にいて、新着のメール、または留守番電話の伝言メッセージがある状態です。または、不在着信画面が表示されている状態です。	
赤がゆっくり点滅する	サービスエリア外にいる状態です。	
赤がすばやく点滅する	サービスエリア外にいて、新着のメール、または留守番電話の伝言メッセージがある状態です。または、不在着信画面が表示されている状態です。	
オレンジがすばやく点滅する	ローミングサービスを利用中の状態です。	↓
オレンジと赤が交互にすばやく点滅する	ローミングサービスを利用中で、新着のメールがある状態です。留守番電話の伝言メッセージがある状態、または不在着信画面が表示されている状態でも点滅します。	低

※1：FOMA端末の電源を入れながら充電している場合も同様の動作になります。
※2：ステータスライトをOFFに設定中の場合でも動作します。

次のページへ続く

■FOMA端末の電源が切れているとき

動作（点灯／点滅パターン）	状　態	優先度
赤が点灯する	FOMA端末にACアダプタなどを接続して充電している状態です。	高 ⬍ 低
緑が点灯する	FOMA端末にACアダプタなどを接続して充電が完了した状態です。	

お知らせ

- 電池残量が少なくなると、各点灯／点滅パターンが１サイクル動作した後、１サイクルをスキップする動作が追加されます（１サイクルとは１回分の点灯／点滅パターンの動作で、例えばパケット通信中または64Kデータ通信でデータ転送中の場合は、１回の「オレンジ→緑→消灯」の動作が１サイクルになります）。各点灯／点滅パターンの動作中に電池残量が少なくなった場合は、「１サイクルの点灯／点滅➧１サイクルをスキップ➧１サイクルの点灯／点滅➧１サイクルをスキップ・・・」という動作になります。ただし、赤と緑が交互に点灯している場合は、１サイクルをスキップする動作は追加されません。
- ドライブモードを設定中は、ステータスライトは点灯／点滅しません。

スタイラスペンについて

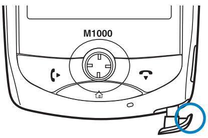
スタイラスペンとは、ディスプレイ（タッチスクリーン）に直接触れて操作するためのポインティングデバイスです。FOMA端末を操作する際は、FOMA端末の正面右下にあるスタイラスペンホルダからスタイラスペンを取り外して使用します。

スタイラスペンを取り外す／収納する

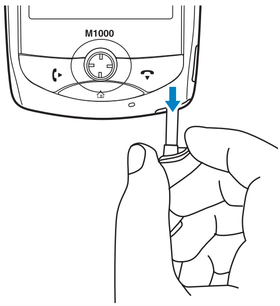
スタイラスペンは伸縮させることができ、FOMA端末内へは縮めた状態で収納されています。

- スタイラスペンの取り外し／収納は、FOMA端末を手で持って行ってください。

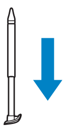
①スタイラスペンの突起部分に指をかけてFOMA端末から少し引き出す



②スタイラスペンをしっかりと持ち直し、ゆっくりと引き出してFOMA端末から取り外す



③スタイラスペンを引き伸ばす



お知らせ

- スタイラスペンを無理な力で引き伸ばしすぎないでください。縮めることができなくなる場合があります。
- スタイラスペンをFOMA端末に収納するときは、スタイラスペンの突起部分の向きに注意しながら、FOMA端末と水平になるようにしてスタイラスペンホルダにまっすぐ差し込んでください。斜めに入れたり、無理に押し込んだりすると、スタイラスペンの先端が傷つく場合があります。
- スタイラスペンをなくさないため、使わないときは必ずスタイラスペンホルダに収納しておくようにしてください。
- タッチスクリーンを操作するときは、必ず付属のスタイラスペンを使用してください。先が硬く尖ったペンなどを使用すると、タッチスクリーンを傷つける原因になります。
- スタイラスペンの先端を破損しないようにご注意ください。破損したスタイラスペンで操作を行うと、タッチスクリーンを傷つける場合があります。

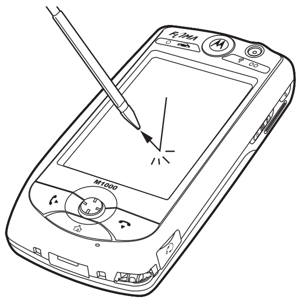
タッチスクリーンの操作について

FOMA端末のディスプレイはタッチスクリーンになっており、スタイラスペンで表示されているアイコンや項目に直接触れることでFOMA端末の操作ができます。

- 項目の選択などの操作は、ナビゲーションキーを使ってもできます。→P31

タップ操作について

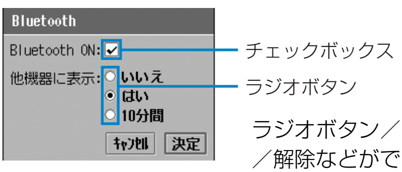
スタイラスペンでタッチスクリーンを軽く1回タッチして離す操作を「タップ」と呼びます。表示されているアイコンやメニュー項目の位置をタップすることで、アプリケーションの実行や項目の選択ができます。



タップ操作できる主な表示について

アイコンやメニュー項目のほかに、タップして操作できる主な画面表示には次のようなものがあります。

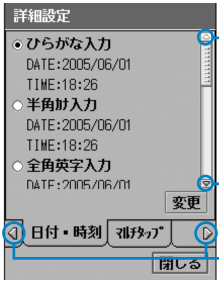
■ラジオボタン/チェックボックス



ラジオボタン/チェックボックスをタップすることで、項目の設定/解除などができます。

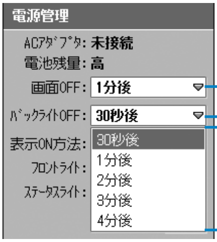
次のページへ続く

■方向ボタン



上スクロールボタン／下スクロールボタンをタップして画面をスクロールさせたり、左タブボタン／右タブボタンをタップしてタブを切り替えたりできます。

■プルダウンメニュー



項目欄をタップしてプルダウンメニューを表示し、プルダウンメニューから目的のメニュー項目をタップすることで選択／設定などができます。

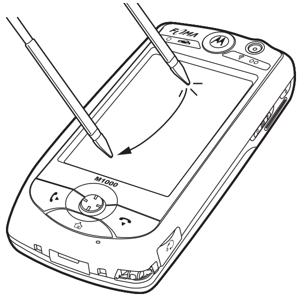
ポイント操作について

スタイラスペンでタッチスクリーンの１点を触れたままにする操作を「ポイント」と呼びます。電話番号入力画面の ← をポイントして入力した数字すべてを削除したり、スクロールバーの上下スクロールボタンをポイントしてスクロールさせたりできます。



ドラッグ操作について

スタイラスペンをタッチスクリーン上で滑らせる操作を「ドラッグ」と呼びます。
手書きの文字やイラストを描いたり、スクロールバーを上下にドラッグして画面をスクロールさせたりできます。



お知らせ

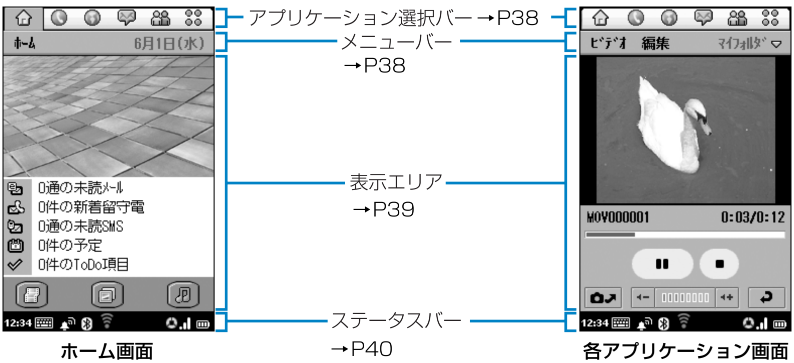
- 爪やペン、ピンなど先の尖ったものでタッチスクリーンを操作しないでください。
- スタイラスペンでタップする位置がずれている場合は、タッチスクリーンのタップ位置調節を行ってください。→P143

ディスプレイの見かた

ホーム画面の使いかた

本FOMA端末のホーム画面の画面構成や操作方法について説明します。また、各アプリケーション画面の主な画面構成についても説明します。

- 「ホーム画面」とは、電源を入れたときに最初に表示される待受画面を指します。待受中に表示しておくことで、メールや留守番電話の新着・未読情報や、日付・時刻の確認ができます。その他、3つのショートカットキーに頻繁に利用するアプリケーションを登録してすばやく起動させることができます。ホーム画面はアプリケーション選択バーの（ホーム）をタップするか、を押すと表示されます。
- 各アプリケーション画面の表示内容は、表示するアプリケーションによって異なります。



ホーム画面

各アプリケーション画面
（ビデオの場合）

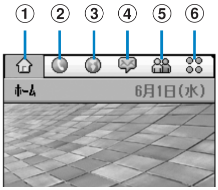
お知らせ

- 本FOMA端末のディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ディスプレイの特性により、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

アプリケーション選択バー

ホーム画面や各アプリケーション画面には、アプリケーション選択バーが必ず表示されます。アプリケーション選択バーには6つのアイコンが表示され、タップすることでアイコンに対応するアプリケーションを起動できます。アプリケーション選択バーのアイコンと起動されるアプリケーションは次のとおりです。

- 「アプリケーションランチャー」以外のアプリケーションは変更できます。→P387



ホーム画面

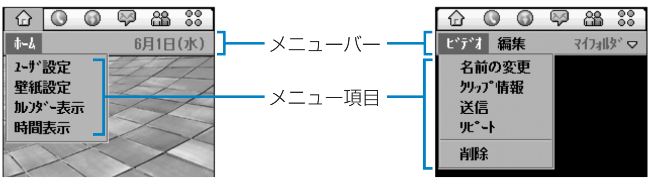


各アプリケーション画面
（ビデオの場合）

マーク名	マーク	説　明
①ホーム		ホーム画面が表示されます。→P139
②電話		電話番号入力画面が表示されます。電話の発信や、各ネットワークサービスの設定などができます。→P70
③ブラウザ		ブラウザを起動します。→P211
④メール		メールアカウントの選択画面が表示されます。→P261
⑤電話帳		電話帳が表示されます。→P112
⑥アプリケーションランチャー		メニュー一覧からアプリケーションを起動できます。→P578

メニューバー

ホーム画面や各アプリケーション画面には、アプリケーション選択バーの下にメニューバーが表示されます。メニューバーに表示される項目をタップすると、登録や設定などを行うメニュー項目が表示されます。また、電話帳やピクチャーなど、フォルダを利用してファイル／データを管理できるアプリケーションを起動したときは、メニューバーの右側にフォルダの選択項目が表示されます。→P341

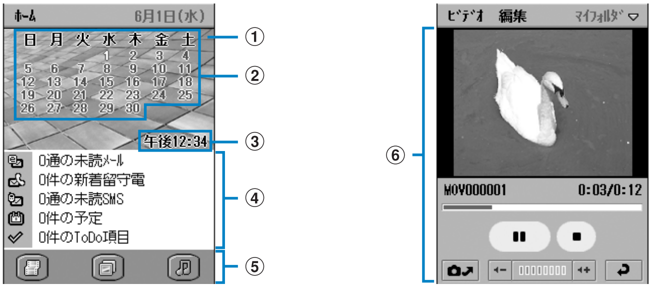


ホーム画面　　各アプリケーション画面（ビデオの場合）

表示エリア

ホーム画面の表示エリアには、次の項目が表示され、各項目をタップしてさまざまな操作ができます。各アプリケーション画面の場合は、アプリケーションによってさまざまな画面が表示されます。

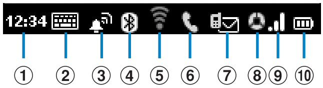
- ホーム画面に表示される項目は、設定状況により異なります。



表示内容	説　明
①**壁紙**	壁紙が表示されます。壁紙はお客様が撮影やダウンロードなどした静止画に変更できます。→P141
②**カレンダー**	タップすると、スケジュールの月表示画面を表示できます。→P362　カレンダーを表示する場合は、カレンダー表示をONに設定してください（お買い上げ時はOFFに設定されています）。→P142
③**時刻**	タップすると、時計画面を表示できます。→P359　時刻を表示する場合は、時間表示をONに設定してください（お買い上げ時はOFFに設定されています）。→P143
④**新着・最新情報エリア**	新着・未読メールや留守番電話の伝言メッセージの件数、スケジュールやToDoリストの登録情報が表示されます。項目をタップすると、各情報の詳細を確認できます。→P42　表示する情報は変更できます。→P140
⑤**ショートカットキー**	タップすると、登録されているアプリケーションを起動できます。アプリケーションは変更できます。→P141
⑥**操作画面**	各アプリケーションの登録や設定などの操作を行う画面が表示されます。画面の表示については、各アプリケーションの説明をご参照ください。

ステータスバー

ホーム画面や各アプリケーション画面にはステータスバーが必ず表示され、FOMA端末の状態を示す次のようなアイコンが表示されます。



①現在の時刻が表示されます。タップすると約3秒間日付が表示されます。

②文字の入力欄にカーソルがあるときにタップすると、キーボードが表示されます。→P518、P536

③現在のアラートモードの設定状態が表示されます。また、ドライブモードやマナーモードを設定中は、その状態が表示されます。→P85、P132、P135、P137
タップすると、アラートモードやドライブモード、マナーモードの設定画面が表示されます。

：着信音やアラーム音などが鳴るように設定中
：バイブレータを設定中
：サイレントを設定中
：マナーモードを設定中※
：ドライブモードを設定中※

※：マナーモードを設定中は 、マナーモードとドライブモードを同時に設定中は が優先して表示されます。

④現在のBluetoothの状態が表示されます。タップすると、BluetoothのON／OFF設定画面が表示されます。→P505

（白）　：BluetoothがON
（グレー）：BluetoothがOFF
（緑）　：Bluetooth機器に接続中

⑤無線LANの接続状態／電波の受信レベルが表示されます。→P420

（グレー）：無線LANがOFF
（白）：受信レベル強～受信レベル弱

⑥通話中は電話の状態が表示されます。待受中は、留守番電話の伝言メッセージの録音があるとその状態が表示されます。→P71、P91、P172

：音声／テレビ電話の通話中／回線交換によるデータ通信中
：消音に設定中
：留守番電話の新しい伝言メッセージあり

⑦新着メールの受信状態が表示されます。タップすると、受信BOXが表示されます。→P286

（白）：電話帳に登録されている相手から受信した新着・未読のEメールとショートメッセージ（SMS）あり
（オレンジ）：電話帳に登録されていない相手から受信した新着・未読のEメールとショートメッセージ（SMS）あり
（白）：新着・未読のEメールあり
（白）：電話帳に登録された電話番号がアドレスの新着・未読ショートメッセージ（SMS）あり
（オレンジ）：電話帳に登録されていない電話番号がアドレスの新着・未読ショートメッセージ（SMS）あり

（黄）※　：FOMA端末のメモリまたはFOMAカードのどちらかにショートメッセージ（SMS）が最大数保存済み
（赤）　：FOMA端末のメモリおよびFOMAカードにショートメッセージ（SMS）を保存する空き容量なし
（赤）　：エラーが発生したため受信できなかったメールあり
※：タップすると、FOMA端末のメモリとFOMAカードのどちらが最大数保存されているかを確認できます。

⑧ネットワークの状態が表示されます。タップすると、ネットワークや電波の状態、利用中のネットワーク（通信事業者）を確認できます。また、セルフモードを設定／解除できます。→P162、P571

（緑）　：GSMネットワーク圏内
（オレンジ）　：GSMネットワーク圏内でローミング中
（緑）※1　：GPRSネットワーク圏内
（オレンジ）※1：GPRSネットワーク圏内でローミング中
（緑）※1　：FOMAネットワークまたはW-CDMAネットワーク圏内
（オレンジ）※1：W-CDMAネットワーク圏内でローミング中
　：セルフモードを設定中
（赤）　：FOMAカードが取り付けられていない／利用できないFOMAカードが取り付けられている／利用可能なネットワークが見つからない
（グレー）※2：圏外
※1：サークルの中央に点（　）が表示されている場合は、データ通信中です。また、点が点滅している場合はデータを送受信しています。
※2：「圏外」の表示はありません。圏外の状態はアイコンの色のみでお知らせします。

⑨電波の受信レベルが表示されます。

※　：受信レベルの目安
表示なし　：圏外
※：ローミングでGSMネットワークに接続中は、電波の受信レベルが５段階で表示されます。

⑩電池残量が表示されます。タップすると、電池残量画面が表示されます。→P61

（白）※：電池残量の目安
　：充電中
　：本FOMA端末専用の電池パックではない、または異常が発生したため充電不可
※：テレビ電話の通話中はアイコンの色がオレンジになります。

■省電力モードについて

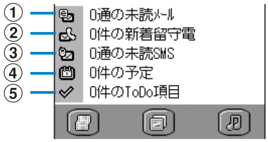
FOMA端末を何も操作しない状態が一定時間続くと、電池の消費を抑えるために画面のバックライトが消灯します。そのまましばらく操作を行わないと、画面の表示が消えて何も表示されない状態になり、省電力モードになります。
お買い上げ時は約３０秒後にバックライトが消灯し、約１分後に画面表示が消えて省電力モードになります。
省電力モードから復帰するにはタッチスクリーンをタップするか、いずれかのキーを押します。

- 省電力モードの動作は変更できます。→P145

次のページへ続く

■新着・最新情報エリアについて

ホーム画面の新着・最新情報エリアには、新着・未読メールや登録したスケジュールなどの情報が表示され、項目をタップして各情報を確認できます。



マーク名	マーク	説　明
①Eメールの新着件数		新着・未読のEメールの件数が表示され、タップすると受信BOXが表示されます。→P286
②伝言メッセージの録音件数		留守番電話の伝言メッセージの件数が表示され、タップすると留守番電話サービスセンターに接続する番号が入力された電話番号入力画面が表示されます。→P172
③ショートメッセージ(SMS)の新着件数		新着・未読のショートメッセージ(SMS)の件数が表示され、タップすると受信BOXが表示されます。→P286
④スケジュールの登録情報		現在の時刻から24時間以内に1件の予定／通知スケジュールがある場合は、そのタイトルと開始時刻が表示され、タップすると詳細画面が表示されます。→P370　24時間以内に予定／通知スケジュールが複数ある場合は件数が表示され、タップすると当日の1日表示画面が表示されます。→P362　設定時刻になった予定スケジュールがある場合は、複数のスケジュールがあっても、終了時刻までそのスケジュールのタイトルと開始時刻が表示されます。
⑤ToDoリストの登録件数		実行中のToDoリストの件数が表示され、タップするとToDoリスト画面が表示されます。→P380

※ 項目はお買い上げ時の状態です。表示する項目は変更できます。→P140

アプリケーションランチャーからアプリケーションを選択する

アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）をタップすると、アプリケーションのメニュー一覧が表示されます。メニュー一覧から目的の画面が表示されるまでアイコンや項目をタップして操作します。

＜例：時計画面を表示するとき＞

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）をタップする



アプリケーションランチャー画面（アイコン表示）

アプリケーションランチャー画面（リスト表示）

- 画面の表示方法を変更できます。→P146

2 をタップして画面をスクロール▶（時計）をタップする



■本書での操作説明の表記について

本書では、アプリケーション選択バーからタップ操作を続けて、目的のアプリケーションを起動するまでの操作を次のように表記しています。

- 本書では、画面のスクロール／切り替えの操作を省略して説明しています。説明に従って操作を行った際に、目的のメニュー項目などが表示中の画面外にある場合は、画面のスクロール／切り替え操作を行ってください。→P44

＜例：時計画面を表示するとき＞

アプリケーション選択バー（アプリケーションランチャー）▶（時計）を順にタップする

次のページへ続く

■アプリケーションの起動方法について

アプリケーションの起動方法には、アプリケーションランチャーのメニュー一覧から選択して起動する方法以外に、キーを押して起動する方法や、ショートカットキーをタップして起動する方法など、複数の方法があります。

本書では、お買い上げ時の状態で最も簡単な方法、または最適な方法で操作を説明していますので、あらかじめご了承ください。

■アプリケーションの切り替えについて

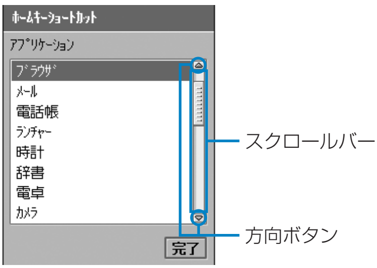
アプリケーションを起動中に（ホーム）をタップしたり、（アプリケーションランチャー）▶起動するアプリケーションのアイコンを順にタップすると、ホーム画面や他のアプリケーションに切り替えることができます。

- アプリケーションを切り替えると、切り替える前のアプリケーションは終了します。
- 設定中や登録中の場合は、設定や登録の操作が完了してからアプリケーションを切り替えることをおすすめします。
- 次のアプリケーションを操作中にホーム画面や他のアプリケーションに切り替えた場合は、起動前の表示または動作が保持されたままになります（マルチタスク機能）。
  - ブラウザの利用
  - 音声電話／テレビ電話の通話
  - セキュリティスキャンLightのスキャン／更新
  - ドキュメントビューアでファイルの表示／ブックマークの表示
  - ボイスレコーダーの録音／再生※
  - ミュージックで音楽ファイルの再生※

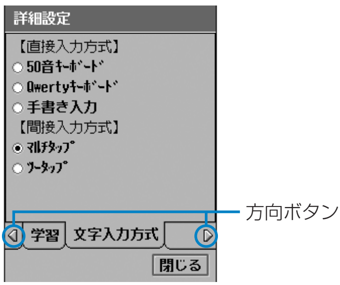
  ※：音声電話／テレビ電話の発着信やドキュメントビューアなど他の起動するアプリケーションによっては停止することがあります。
- 起動中のアプリケーションを切り替えたとき、以前に起動したアプリケーションがバックグラウンドで起動中のためにFOMA端末のメモリが不足した場合は、利用していないアプリケーションの終了確認画面が表示されることがあります。その場合は、［はい］をタップして利用していないアプリケーションを終了してください。

■画面のスクロール／切り替えについて

ファイルなどの一覧画面や、タブが表示されている画面などで画面に表示しきれない部分がある場合は、画面をスクロールさせる／切り替えるためのスクロールバーや方向ボタンが表示されます。操作文などで画面上に表示されていない項目を選択する説明がある場合は、スクロールバーや方向ボタンをドラッグ／タップして画面をスクロールさせて／切り替えてから操作を続けてください。



スクロールバーと方向ボタンの例



方向ボタンの例

■アプリケーションランチャーのメニューバーから行える項目について

メニューバーの「ランチャー」「表示」をタップすると、次の項目が表示されます。

「ランチャー」

インストール P408
アンインストール P411
フォルダ設定 P46

「表示」

アイコン表示 P146
リスト表示 P146
ユーザ設定 P387
壁紙設定 P146
システム情報 P392

お知らせ

- メニュー一覧→P578
- アイコンや項目を間違ってタップした場合は、再度 (アプリケーションランチャー）をタップしてメニュー一覧から操作をやり直します。

アプリケーションランチャーの表示方法を選択する

各アプリケーションは、あらかじめフォルダに分けて登録されており、フォルダを切り替えることで、それぞれのフォルダに登録されているアプリケーションだけを表示できます。

1 **アプリケーションランチャー画面でメニューバーの「すべて」※をタップする**

※：前回、選択したフォルダ名が表示されます。



- アプリケーションランチャー画面の表示方法→P43

すべてのアプリケーションを表示します。
お買い上げ時に設定されているフォルダです。
各フォルダにあるアプリケーションを表示します。
インストールしたアプリケーションなどを表示します。
FOMA端末内にあるアプリケーションを表示します。
TransFlashメモリカード内にあるアプリケーションを表示します。
フォルダの作成／編集／削除をします。→P341

2 **表示するフォルダをタップする**

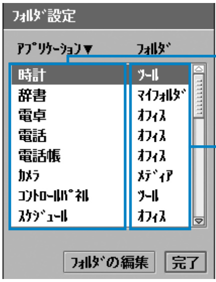
フォルダ設定

アプリケーションの登録フォルダを変更する

あらかじめ登録されている各アプリケーションのフォルダを変更できます。

- お買い上げ時に各アプリケーションが登録されているフォルダについては、メニュー一覧を参照してください。→P578

1 アプリケーション選択バーの(アプリケーションランチャー)▶メニューバーの「ランチャー」▶「フォルダ設定」を順にタップする



フォルダ設定画面

アプリケーションの一覧が表示されます。

登録されているフォルダ名が表示されます。

- 「アプリケーション」／「フォルダ」をタップすると、選択した方法で並べ替えて表示されます。

■新しいフォルダを追加して登録するとき

①[フォルダの編集]をタップし、フォルダ画面で[追加]をタップする

②フォルダの追加画面でフォルダ名を入力▶[完了]をタップし、フォルダ画面で[完了]をタップする

- フォルダの追加画面で[キャンセル]をタップすると、操作を中止します。

■フォルダ名を変更するとき

①[フォルダの編集]をタップし、フォルダ画面で名前を変更するフォルダ▶[名前の変更]を順にタップする

②フォルダ名の変更画面でフォルダ名を入力▶[完了]をタップし、フォルダ画面で[完了]をタップする

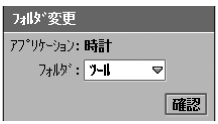
- フォルダ名の変更画面で[キャンセル]をタップすると、操作を中止します。

■フォルダを削除するとき

[フォルダの編集]をタップし、フォルダ画面で削除するフォルダ▶[削除]を順にタップし、フォルダ画面で[完了]をタップする

- 削除するフォルダにアプリケーションが登録されている場合は削除できません。削除中止の確認画面で[続行]をタップすると、フォルダ画面に戻ります。

2 フォルダを変更するアプリケーションをタップする



3 「フォルダ」欄をタップし、登録するフォルダを選択▶[確認]をタップする

ショートカットで機能を選択する

本FOMA端末には、メニュー一覧からアイコンや項目をタップしてアプリケーションを起動させる方法のほかに、1回のタップ操作またはキー操作だけで目的のアプリケーションを起動させるショートカット操作があります。

- ショートカット操作には次のような方法があります。
  - アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）以外のアイコンをタップする
  - ホーム画面のショートカットキーをタップする
  - を1秒以上押す

お知らせ

- ホーム画面のショートカットキー、アプリケーション選択バー、のそれぞれに登録されているアプリケーションは変更できます。→P141、P387

メニューバーなどから機能を選択する

メニューバーの項目をタップしてメニュー項目をタップすると、登録や設定などを行う画面を呼び出すことができます。
また、アプリケーションによってはメニューバー以外の部分をタップしてもメニューが表示され、各種操作ができます。

- 表示される項目は、画面によって異なります。

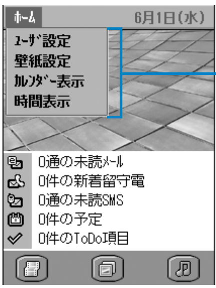
＜例：ホーム画面の壁紙の設定画面を表示する場合＞

1 アプリケーション選択バーの（ホーム）をタップする



メニューバー

2 メニューバーの「ホーム」をタップする



メニュー項目

3 メニューから「壁紙設定」をタップする

壁紙設定画面が表示されます。設定画面から壁紙の変更などを行います。

- 壁紙の設定方法→P141

お知らせ

- を押してもメニュー項目を表示できます。再度を押すと、メニュー項目を閉じます。

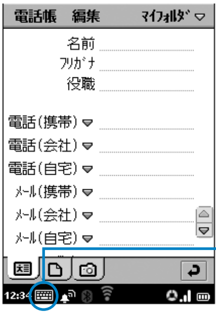
文字入力のしかた

本FOMA端末で文字を入力するには、画面上に表示したキーボードの文字をタップします。ここでは、キーボードの表示方法と、簡単な入力方法について説明します。
文字の入力についての詳細は、「文字入力」を参照してください。→P516

- お買い上げ時の入力方式は「マルチタップ」に設定されています。→P517

＜例：FOMA端末（本体）電話帳の登録で名前に「太郎」を入力するとき＞

1 アプリケーション選択バーの（電話帳）▶メニューバーの「電話帳」▶「新規」を順にタップする



キーボードアイコン

2 「名前」欄をタップし、ステータスバーのをタップする



マルチタップキーボード

- ［文字］をタップして、入力する文字種を変更できます。→P517

3 [た]を１回➡[ら]を５回➡[あ]を３回の順にタップする



入力した文字の変換候補が表示されます。

変換候補エリア

4 変換候補エリアから[太郎]をタップする

入力した文字が確定されます。

- 変換候補が複数ある場合は、▲／▼をタップすると残りの候補が表示されます。
- 予測変換機能を利用するように設定している場合は、確定した文字に続くと予測される文字列の候補が表示されます。→P554

5 入力が終了したら ✕ をタップする

お知らせ

- 入力方式は変更できます。→P517

画面タイトルの横に▽がある画面の操作について

検索画面などのように画面タイトルの横に▽が表示されている画面は、画面の表示位置を上下に移動させることができます。

- ▽をタップするとメニューが表示され、コピーや切り取り、貼り付けの操作ができます。→P547
- 画面タイトルの横に▽が表示されない画面は、同様に操作して画面を移動できますが、スタイラスペンを離すと自動的に元の位置に戻り固定できません。

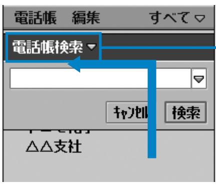
1 ▽より右の位置で上下方向にドラッグする



上方向に移動する場合は、この位置から上方向にドラッグします。

- スタイラスペンを離すと、画面は元の位置に戻ります。

2 画面タイトル部分まで左方向にドラッグしてスタイラスペンを離す



画面を移動したい位置までドラッグしたら、画面タイトル部分のこの位置まで左方向にドラッグしてスタイラスペンを離します。

スタイラスペンを離した位置で画面が固定されます。

- 画面を元の位置に戻す場合は、▽より右の位置をタップします。

ヘルプ

機能を忘れてしまったとき

FOMA端末には、機能や操作方法の説明を表示できるヘルプ機能を持ったアプリケーションや機能があります。

- ヘルプを表示できるアプリケーションや機能は次のとおりです。
  - ドキュメントビューアの一覧／表示画面
  - 手書きの文字入力画面

<例：ドキュメントビューアの一覧画面から表示するとき>

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（ドキュメントビューア）▶メニューバーの「編集」▶「ヘルプ」を順にタップする



ドキュメントビューアの場合

- 手書きの文字入力画面でヘルプを表示する場合は、▶「ヘルプ」を順にタップします。→P541

お知らせ

- ドキュメントビューアのヘルプ画面で／をタップすると、ヘルプ画面の表示サイズを変更できます。

FOMAカードを使う

FOMAカードは、電話番号などのお客様の情報が記録されているICカードです。
FOMA端末に取り付けることで、音声電話やテレビ電話、メールの送受信やパケット通信などが利用できます。
また、複数のFOMA端末をお持ちの場合は、FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせてFOMA端末を使い分けることができます。

- 取り扱いの詳細については、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

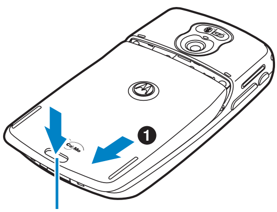
FOMAカードの取り付けかた/取り外しかた

- FOMAカードの取り付け／取り外しは、FOMA端末の電源を切ってから、手で持った状態で行ってください。また、IC部分に触れたり、傷つけたりしないようにご注意ください。
- FOMAカードを無理に取り付けようとすると、FOMAカードが壊れることがあります。
- 取り外したFOMAカードはなくさないようにご注意ください。
- FOMAカードを取り付ける／取り外す際は、FOMAカードトレイのフタを開き過ぎないように、ゆっくりと固定される位置まで持ち上げてください。力を入れて無理に開くと、フタが外れたり破損の原因になりますのでご注意ください。

取り付けかた

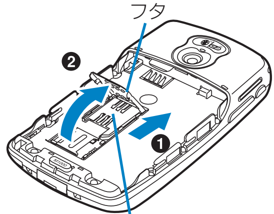
①リアカバーロックを押しながら、リアカバーを矢印❶の方向に約4mmスライドさせて外す

- 電池パックが取り付けられている場合は、取り外してください。→P54



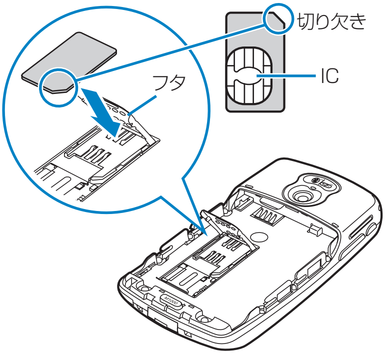
②FOMAカードトレイのフタを矢印❶の方向にスライドさせ、矢印❷の方向に持ち上げる

- フタが引っかかるなどして持ち上がらない場合は、無理に持ち上げようとはせずに、フタを閉じて矢印❶と逆の方向に少し戻してからやり直してください。



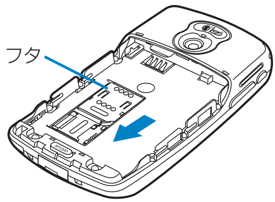
次のページへ続く

③FOMA カードの IC 面を下にして FOMA カードトレイに載せる



④FOMA カードトレイのフタを閉じ、矢印の方向にスライドさせてロックする

- フタが引っかかるなどして閉じない場合は、無理に閉じようとはせずに、フタを矢印と逆の方向に軽く押しながら少し戻してやり直してください。



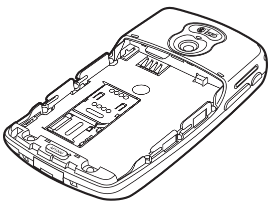
⑤電池パックとリアカバーを取り付ける

- 取り付けかた→P53

取り外しかた

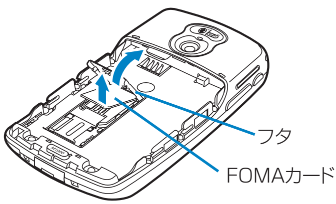
①リアカバーと電池パックを取り外す

- 取り外しかた→P54



②FOMA カードトレイのフタを開け、FOMA カードを取り外す

- FOMA カードトレイのフタの開けかた→P51



FOMA カードの暗証番号について

FOMAカードには、「PIN1コード」「PIN2コード」という2つの暗証番号を設定できます。→P153
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、変更できます。→P156

FOMAカードの機能差分について

FOMAカードには緑色と青色の2種類のカードがあり、次のように機能が異なります。各機能をご利用の際はご注意ください。

機　能	FOMAカード（緑色）	FOMAカード（青色）	参照先
FOMAカード電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大40桁	最大20桁	P110
WORLD WINGの利用※	利用可	利用不可	P560
サービスダイヤル	「ドコモ故障窓口」、「ドコモ総合案内・受付」の利用可	利用不可	P179

※：WORLD WINGはお申し込み手続きなしでご利用いただけます。ただし、2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で、WORLD WINGをご契約いただいていないお客様は、別途お申し込み手続きが必要となります。
また、一部ご利用できない料金プランがあります。

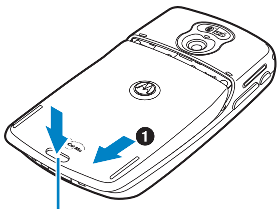
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

FOMA端末に電池パックを取り付けます。

- 電池パックを交換する際は、電源を切り、FOMA端末を手で持った状態で行ってください。

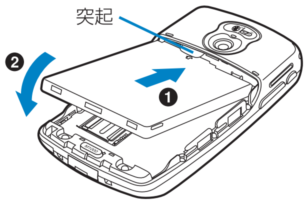
取り付けかた

①リアカバーロックを押しながら、リアカバーを矢印❶の方向に約4mmスライドさせて外す



②印字面を上にして、突起の下に矢印❶の方向に電池パックを差し込み、矢印❷の方向に押してはめ込む

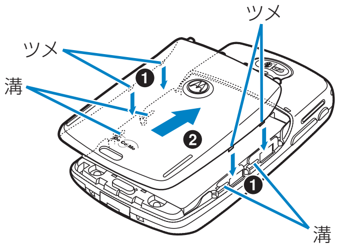
- 電池パックをはめ込むときは、突起の下に押し付けるようにしてからはめ込んでください。



次のページへ続く

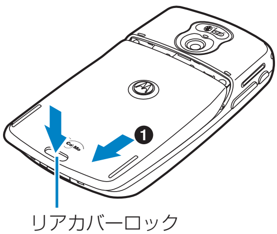
③リアカバーの4箇所のツメをFOMA端末の4箇所の溝に合わせて矢印❶の方向にはめ込み、リアカバーロックが「カチッ」と音がするまでリアカバーを下へ押さえながら矢印❷の方向にスライドさせてロックする

- リアカバーが「カチッ」と固定できない場合は、4箇所のツメと溝が正しく合っているか確認してください。4箇所のツメと溝がきちんとはまっていない状態で無理に取り付けようとすると、リアカバーのツメが破損する恐れがあります。



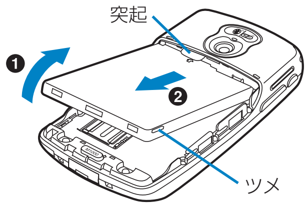
取り外しかた

①リアカバーロックを押しながら、リアカバーを矢印❶の方向に約4mmスライドさせて外す



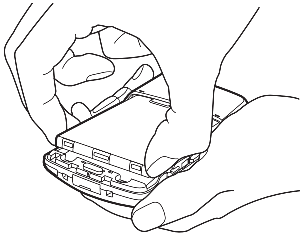
②電池パックの両端のツメを持って矢印❶の方向に持ち上げ、矢印❷の方向に取り外す

- 電池パックを取り外すときは、突起の下に押し付けるようにしてから取り外してください。



■電池パックを取り外すときのFOMA端末の持ちかたについて

電池パックは、FOMA端末内でしっかりとはまるようになっているため、取り外しにくい場合があります。電池パックを取り外す際は、次のようにFOMA端末をしっかりと持って行ってください。



お知らせ

- FOMA カードが正しく取り付けられていない場合は、電池パックを無理に取り付けようとすると FOMA カードが壊れることがあります。
- 電池パックを無理に取り付けようとすると、FOMA端末の端子が壊れることがあります。

電池パックの上手な使いかた

FOMA端末の性能を十分に発揮するために、本FOMA端末専用の電池パックをご利用ください。

■電池パックの寿命

- 電池パックは消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すごとに 1 回の使用時間が次第に短くなっていきます。1 回の使用時間が使用開始時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命とお考えください（電池パックの寿命の目安は、約 1 年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります）。

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。



■電源を入れたままでの長時間（数日間）の充電はおやめください。

- 充電時にFOMA端末の電源を入れたままで長時間置くと、充電が終わった後、FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、充電終了直後よりも短い時間しか使用できず、すぐに電池アラーム音が鳴ってしまう場合があります。その場合は再度正しく充電を行ってください。再充電するときは、FOMA端末を一度ACアダプタ（または卓上ホルダ）、DCアダプタ（別売品）から外して、再度セットし直してください。

次のページへ続く

■電池の使用時間の目安

使用時間は使用環境、電池の劣化度によって異なります。

ネットワーク	連続待受時間	連続通話時間
FOMA／3G	静止時：約200時間 移動時：約110時間	音声電話時　：約120分 テレビ電話時：約80分
GSM	約200時間	900MHz　：約280分 1800／1900MHz：約300分

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態での時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場所など）などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。インターネット接続をすると通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話や通信をしなくても、Eメールを作成したり、アプリケーションを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 滞在国のネットワーク状況によっては記載値より短くなることがあります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- データ通信やマルチアクセス実行時、カメラの使用などによっても、前述の通話時間や待受時間より短くなります。

■電池パックの充電時間の目安

ACアダプタ M01	約300分
FOMA DCアダプタ 01（別売品）	約300分

- 充電時間の目安は、電池パックが空の状態で、FOMA端末の電源を切って充電した場合の時間です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合は、充電時間は長くなります。

携帯電話を充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。FOMA端末をご使用になる前に必ず充電してください。

- 電池パック単体では充電できません。必ずFOMA端末に電池パックを取り付けて充電してください。

ACアダプタで充電する

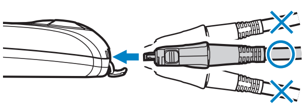
ACアダプタ M01を使って充電します。

- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。

①FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開く

②ACアダプタのコネクタをFOMA端末と水平になるようにしてFOMA端末の外部接続端子に差し込む

- コネクタの向きを確かめ、FOMA端末に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。



③ACアダプタの電源プラグを起こしてコンセントに差し込む

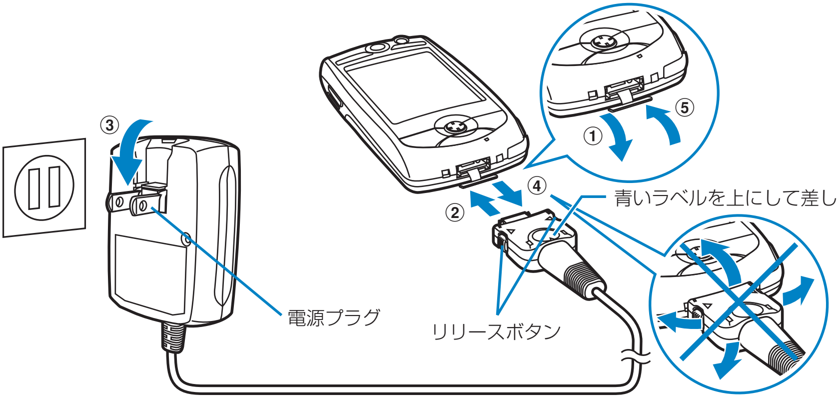
充電開始音が鳴り、充電が開始されます。

- 充電中はステータスバーのアイコンが に変わります。充電が完了すると充電完了音が鳴り、ステータスバーのアイコンが に戻ります。

④充電が終わったら、ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜き、リリースボタンを押してコネクタをFOMA端末と水平になるようにしてFOMA端末から外す

- コネクタを外すときは、上下左右にコネクタをこじらないようにしてください。

⑤FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる



卓上ホルダと組み合わせて充電する

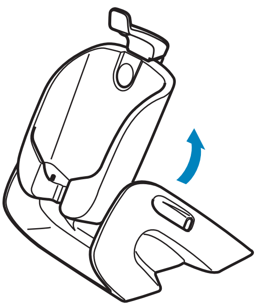
ACアダプタ M01と卓上ホルダ M01を組み合わせると、FOMA端末の端子キャップを開けずに充電できます。

卓上ホルダを準備する

充電の前に卓上ホルダの準備をします。

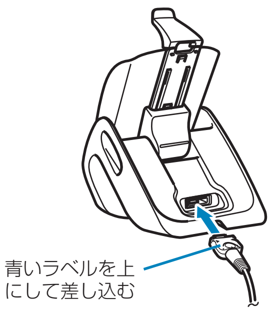
①背面板をお買い上げ時の位置から図のように起こし、背面板の角度と位置を調節する

- 背面板を起こす角度と位置は､2段階で調節できます。→P58
- FOMA端末を取り付ける際は、背面板を下の位置に調節することをおすすめします。



②背面の接続端子にACアダプタを接続する

- コネクタの向きを確かめ、卓上ホルダに水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。



充電する

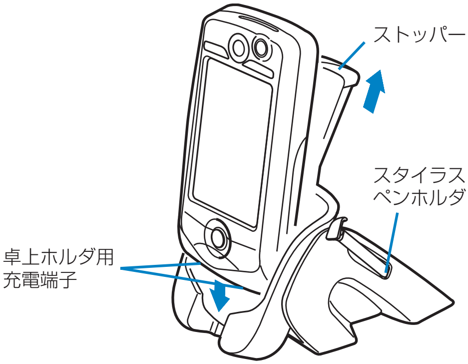
①ストッパーを上方向に持ち上げた状態でFOMA端末を卓上ホルダに取り付ける

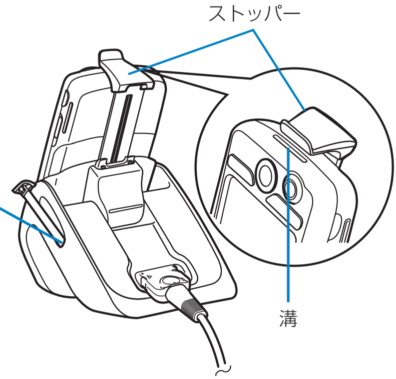
充電開始音が鳴り、充電が開始されます。

- 充電中はステータスバーのアイコンが に変わります。充電が完了すると充電完了音が鳴り、ステータスバーのアイコンが に戻ります。
- 充電する場合は、背面板を図の位置（背面板を「カチッ」と音がするまで下ろした状態）にするか、上の位置（背面板を「カチッ」と音がするまで上げた状態）にして充電してください。→P59
背面板がそれ以外の位置の場合は充電できません。

②ストッパーをFOMA端末上部の溝に引っ掛けて固定する

- 卓上ホルダからFOMA端末を取り外す場合は、ストッパーを上方向に持ち上げてから行ってください。
- スタイラスペンを取り外して充電する場合は、卓上ホルダのスタイラスペンホルダに差し込むことができます。



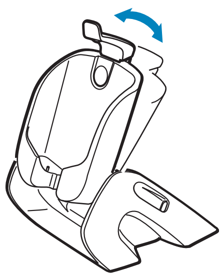


■背面板の角度を調整するとき

背面板は2段階の角度で調節できます。角度の調節は次のように行います。

卓上ホルダの台の部分を片方の手で持ち、もう一方の手で背面板を傾ける

- 「カチッ」と音がして固定される位置まで傾けてください。



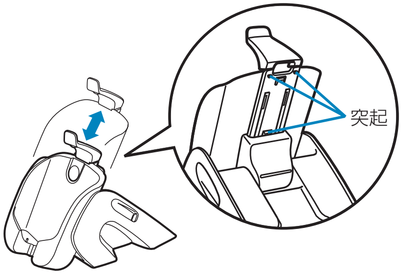
■背面板の位置を調整するとき

背面板は２段階の位置で調節できます。上の位置に固定すると、背面板の下部分にUSB接続ケーブル（同梱品）を接続するためのスペースができます。下の位置に固定すると、コンパクトな形で充電などができます。位置の調節は次のように行います。

① 卓上ホルダの台の部分を片方の手で持ち、もう一方の手で背面板を上下にスライドさせる

- 下へスライドさせる場合は背面板上部から押さえるように、上へスライドさせる場合は背面板下部から押し上げるように動かします。

②「カチッ」と音がして背面板の後ろにある突起が固定される位置までスライドさせる



DCアダプタ（別売品）で充電する

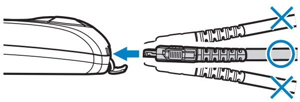
別売りのFOMA DCアダプタ 01を使って充電します。DCアダプタは自動車のシガーライタソケット（DC12V／24V）に接続して電源を供給するアダプタです。

- DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対にお使いにならないでください。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。

①FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開く

②DCアダプタのコネクタをFOMA端末と水平になるようにしてFOMA端末の外部接続端子に差し込む

- コネクタの向きを確かめ、FOMA端末に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。



③DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットに差し込む

充電開始音が鳴り、充電が開始されます。

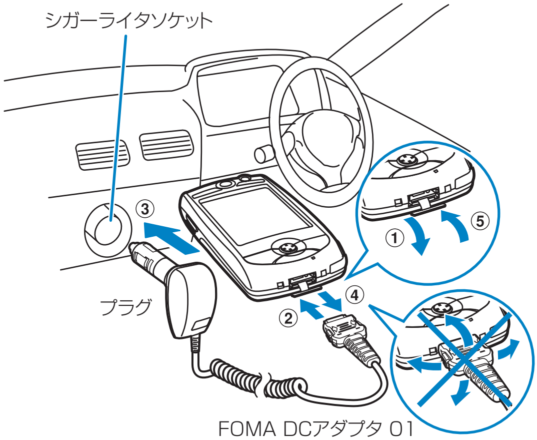
- 充電中はステータスバーのアイコンが [充電中アイコン] に変わります。充電が完了すると充電完了音が鳴り、ステータスバーのアイコンが [電池アイコン] に戻ります。

④充電が終わったら、DCアダプタのプラグを車のシガーライタソケットから抜き、リリースボタンを押してコネクタをFOMA端末と水平になるようにしてFOMA端末から外す

- コネクタを外すときは、上下左右にコネクタをこじらないようにしてください。

次のページへ続く

⑤FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを閉じる



お知らせ

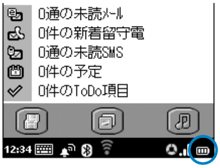
- ACアダプタ M01はAC100～240Vに対応しています。
- 指定の電源、電圧で使用してください。誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。
- ACアダプタ M01の電源プラグ部は日本国内の規格に準拠しています。
- FOMA端末の電源を入れたまま充電した場合は、電話の発着信などFOMA端末の操作が可能ですが、充電時間は長くなります。
- FOMA端末の電源を切っている場合でも、充電を行うとディスプレイに充電中の画面が表示されます。
- 電源を切った状態で充電すると、ステータスライトが赤で点灯します。充電が完了すると充電完了音が鳴り、緑で点灯します。→P33
- ACアダプタのコネクタを差し込む／外すときは、コネクタが水平になるようにしてください。
- FOMA端末を卓上ホルダに取り付けるときは、ストラップなどを挟まないようにしてください。
- 外部接続端子の端子キャップはきちんと閉じてから卓上ホルダに取り付けてください。閉じられていない場合、正しく充電できないことがあります。
- DCアダプタは、車種によって取り付けられない場合があります。
- 車のエンジンを切ったままDCアダプタを使用すると、バッテリーを消耗させる原因となります。ご使用の際は車のエンジンをかけておいてください。また、充電を行わないときや車から離れるときは、DCアダプタをシガーライタソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを外してください。
- DCアダプタのヒューズは2Aを使っています。ヒューズが切れた場合は、必ず指定のヒューズをお使いください。また、ヒューズは消耗品ですので、交換が必要な場合はお近くのカー用品店などでお買い求めください。
- FOMA端末の電源を切って充電中に電源を入れるとき、充電が十分でない場合は電源が入らないことがあります。

電池残量

電池残量の確認のしかた

電池残量が少なくなった場合は、充電してください。ステータスバーには、常に充電レベルを示すアイコンが表示されます。

- 充電レベルの表示は、電池残量の目安としてご利用ください。



：十分残っています。
：少し減っています。
：ほとんど残っていません。充電をおすすめします。
：残量がないため、しばらくすると自動的に電源が切れます。充電してください。

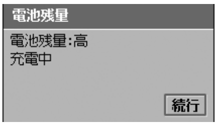
お知らせ

- 本FOMA端末専用の電池パックが取り付けられていない場合、または異常が発生した場合は、のアイコンが表示されます。

画面で確認する

充電レベルの状態を文字で表示して確認することもできます。

1 ステータスバーのをタップする

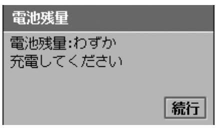


電池残量画面

高　：十分残っています。
中　：少し減っています。
低　：ほとんど残っていません。充電をおすすめします。
わずか：残量がないため、しばらくすると自動的に電源が切れます。充電してください。

- ［続行］をタップすると、電池残量画面が閉じます。

電池残量が少なくなったとき



左のような電池残量画面が表示され、電池アラーム音が鳴ります。

- ［続行］をタップすると、電池残量画面が閉じます。

お知らせ

- アラートモードを「バイブレータ」に設定している場合は、振動でお知らせします。また、「サイレント」に設定している場合は、電池アラーム音は鳴りません。
- マナーモードを設定している場合は、電池アラーム音は鳴らず、振動もしません。ただし、マナーモードの動作を変更している場合は、その設定に従います。
- 通話中に電池残量が少なくなった場合は、電池アラーム音が受話口から聞こえ、電池残量画面が表示されます。［続行］をタップすると電池残量画面を閉じて通話を継続できます。そのまま通話を継続した場合、数分で自動的に通話が終了して電源が切れますので、電池アラーム音が聞こえたら充電してからご利用ください。

電源ON／OFF

電源を入れる／切る

- はじめてお使いになるときは、初期設定を行ってください。→P63
- 電源を入れる／切るときは、FOMA端末を手で持って行ってください。

電源を入れる

1 **を下方向に1秒以上スライドさせる**



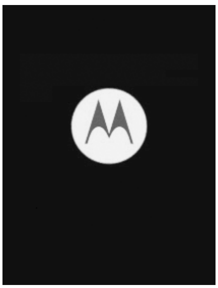
ホーム画面

開始音が鳴り、起動画面が表示されます。FOMAカードが確認されると画面下部に電話番号情報と接続したネットワーク情報が順に表示され、その後にホーム画面が表示されます。

- PIN1コードを入力するように設定しているときは、PIN1コード入力画面が表示されます。→P156

電源を切る

1 **を下方向に1秒以上スライドさせる**



終了音が鳴り、終了画面が表示された後に電源が切れます。

お知らせ

- 電源を入れたときに電波の受信レベルを示すアイコン（ ）が表示されていない場合は、表示される場所まで移動してください。また、ネットワークの状態を示すアイコンが （赤）または （グレー）の場合は、場所を移動するか、FOMAカードを取り付け直してください。→P41、P51
- 電源管理の「フロントライト」を ON に設定中は、電源を入れたときにフロントライト、 、 、 、 、 が点灯します。
- マナーモードやドライブモードを設定中、アラートモードを「バイブレータ」または「サイレント」に設定中は、電源を入れたとき／切ったときに開始音／終了音は鳴りません。ただし、マナーモードの動作を変更している場合は、その設定に従います。
- 電源が切れている場合、アラームの設定時刻になってもアラームは鳴りません。

- 電源を切った後は、しばらくの間電源を入れ直すことができません。

初期設定

初期設定を行う

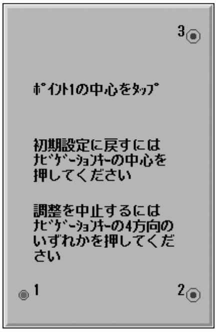
FOMA端末をはじめてお使いになるときは、電源を入れると初期化完了画面が表示されます。再起動後、タップ位置とタッチスクリーンの認識位置を調節したり、日付・時刻を設定します。

1 FOMA端末の電源を入れる



- 電源の入れかた→P62

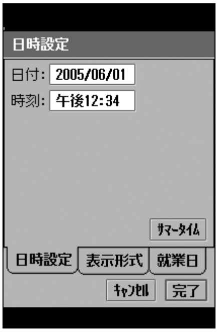
2 [再起動]をタップする



自動的に言語設定を行うためにFOMA端末が再起動され、タッチスクリーンのタップ位置調節画面が表示されます。

- を押すと、操作を中止します。
- を押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

3 画面の波紋のように表示されている○印の中心を１～３の順番にタップする



4 日付･時刻を設定する

- 日付・時刻の設定方法→P64

お知らせ

- 初期化を行った場合は、再起動すると再度初期設定の画面が表示されます。
- 初期設定中は、電話がかかってきても着信動作を行いません。電話をかけてきた相手には呼び出し音が流れ続けます。

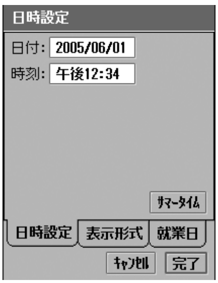
日時設定

日付・時刻を合わせる

日付と時刻を設定します。

- FOMA 端末をはじめてお使いになるときは、電源を入れると初期設定画面が表示され、日付・時刻を設定できます。→P63

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし､コントロールパネル画面で｢一般｣タブ▶｢日時設定｣を順にタップする



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 「日付」欄をタップする



3 年をタップし、設定する年を選択する

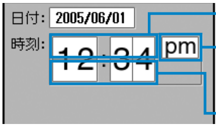
- 年の左右にある ◁ ／ ▷ をタップして年を切り替えることもできます。

4 月をタップし、設定する月を選択する

- 月の左右にある ◁ ／ ▷ をタップして月を切り替えることもできます。

5 設定する日をタップする

6 「時刻」欄をタップし、時刻を設定する



- 時刻の設定欄以外をタップすると、時刻の設定欄を閉じます。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

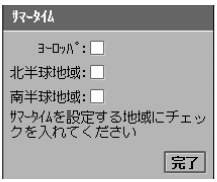
7 ［完了］をタップする

■サマータイムの地域を設定するとき

サマータイムに設定したい地域を選択できます。

① アプリケーション選択バーの （アプリケーションランチャー）▶ （コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「一般」タブ▶「日時設定」を順にタップする

② 日時設定画面で［サマータイム］をタップする



ヨーロッパ：欧州のすべての国をサマータイムにするかしないかを設定します。
☑ が設定する、☐ が設定しない状態です。

北半球地域：北半球のすべての国をサマータイムにするかしないかを設定します。
☑ が設定する、☐ が設定しない状態です。

南半球地域：南半球のすべての国をサマータイムにするかしないかを設定します。
☑ が設定する、☐ が設定しない状態です。

③ 設定する項目欄をタップして設定する

④ ［完了］をタップする

次のページへ続く ●●●

お知らせ

- 日付・時刻は、2003年1月1日から2068年1月18日までの間で設定できます。

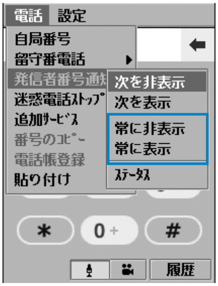
発信者番号通知

相手に自分の電話番号を通知する

電話をかけたとき、相手の電話機にお客様の電話番号（発信者番号）を表示させることができます。

- 相手の電話機がデジタル端末で、発信者番号表示が可能なときのみ利用できます。
- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では、発信者番号通知の設定はできません。

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「電話」▶「発信者番号通知」を順にタップする



常に非表示：発信者番号を通知しません。
常に表示　：発信者番号を通知します。

- 「次を非表示」「次を表示」の設定方法→P77

2 「常に非表示」／「常に表示」をタップし、ネットワークパスワード入力画面でネットワーク暗証番号を入力▶[完了]をタップする

- ネットワーク暗証番号→P152
- ネットワークパスワード入力画面で［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 発信者番号通知画面で[完了]をタップする

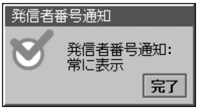
お知らせ

- 1回の通話ごとに、発信者番号を通知するかしないかを設定することもできます。→P76
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知するように設定してから、再度電話をおかけ直しください。

ステータス

設定を確認する

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「電話」▶「発信者番号通知」▶「ステータス」を順にタップする



2 [完了]をタップする

自局番号

自分の電話番号を確認する

FOMA端末の電話番号を表示して確認できます。

- 電話番号はFOMAカードに登録されています。

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「電話」▶「自局番号」を順にタップする



電話のかけかた／受けかた

電話をかける

FOMA端末から音声電話をかけます。

- ビル電話など、ダイヤル市外通話のできない電話機に電話をかけることはできません。

1 アプリケーション選択バーの（電話）をタップする



電話番号入力画面

［0］～［9］、［＊］、［#］をタップして電話番号を入力します。

- をタップすると、入力した電話番号を右から削除します。ポイントすると、すべての電話番号を削除します。
- ［履歴］をタップすると、発信履歴／着信履歴／不在着信履歴が表示されます。→P74、P84、P86

2 相手の電話番号を市外局番から入力する

- 40桁まで発信できます。41桁以上入力した場合は、後半の40桁のみ発信されます。
- ［0］をポイントすると、海外から国際電話をかけるときに必要な「+」を入力できます。
- ポーズ（「p」）やウェイト（「w」）、「#」、「＊」を入力できます。
  ポーズ（「p」）／ウェイト（「w」）の操作について→P78

■一般電話にかけるとき

市外局番 - 市内局番 - 電話番号

- 同一市内への通話でも、必ず市外局番から電話番号を入力してください。

■携帯電話にかけるとき

090 - ×××× - ××××
080 - ×××× - ××××

■PHSにかけるとき

070 - ×××× - ××××

3 をタップ／を押す



呼び出し音が聞こえます。

- 相手の電話番号が静止画とともに電話帳に登録されている場合は、発信中の画面に静止画が表示されます。

■プープーという話中音が聞こえたとき

相手が話し中です。を押して、しばらくたってからおかけ直しください。

■接続できない旨の音声ガイダンスが聞こえたとき

相手の携帯電話またはPHSの電源が入っていないか、相手が電波の届かない場所にいます。を押して、しばらくたってからおかけ直しください。

■番号通知お願いガイダンスが聞こえたとき

を押して、発信者番号を通知するように設定してからおかけ直しください。→P66

4 通話する



通話中画面

通話時間が表示されます。

［ミュート］／［解除］
：タップすると消音になり、自分の声が相手に聞こえなくなります。再度タップすると消音が解除されます。

／
：タップすると通話中画面のタッチスクリーンがロックされます。再度タップするとロックが解除されます。
ロック中は通話中画面の以外のタップ操作はできません。
ロック中でもアプリケーション選択バー、ステータスバーのタップ操作は可能です。

［保留］／［解除］
：キャッチホンを契約している場合、タップすると通話が保留され、相手側には保留音が流れます。再度タップすると保留が解除されます。
保留中は消音を設定／解除できません。

［キーパッド］
：タップすると、電話番号入力画面が表示されます。［戻る］をタップすると通話中画面に戻ります。

- を押すと、スピーカーホン機能がONになり、相手の声がスピーカーから聞こえます。再度押すとスピーカーホン機能がOFFになります。
- を押すと、受話音量を調節できます。
- 電話の接続中や通話中は、ステータスバーにが表示されます。

5 お話しが終わったらを押す

電話が切れます。

■電話番号入力画面／音声電話通話中画面／履歴画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「電話」「設定」をタップすると、次の項目が表示されます。

「電話」

自局番号 …………………… P67
留守番電話 ………………… P170
発信者番号通知 ……… P66、P76
迷惑電話ストップ ………… P176
追加サービス ……………… P180
番号のコピー ……………… P546
電話帳登録※1 ……………… P103
貼り付け※1 ………………… P547
発着信履歴の消去※2 ……… P75

※1：電話番号入力画面のみ表示

※2：履歴画面のみ表示

「設定」

通話制御 ….. P75、P163、P173、P175、P177、P179
通話時間 ….. P137、P144、P389
表示 ….. P73、P76、P99、P148
英語ガイダンス …………… P178
ネットワーク ……… P178、P571
ローミング ………………… P575
セキュリティ ……………… P155
音設定 ……… P128、P136、P166

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

■電話番号入力画面に入力した電話番号を修正するとき

番号を挿入する場合

番号を挿入する位置をタップまたは[マルチカーソル]を押してカーソルを移動し、入力する数字をタップします。

番号を削除する場合

削除する番号の右側をタップまたは[マルチカーソル]を押してカーソルを移動し、[←]をタップします。[←]をポイントすると、入力した番号をすべて削除します。

お知らせ

- 電話番号入力画面は、待受中に[発信キー]を押しても表示できます。
- 音声電話の発信に失敗した場合は、画面の［[アイコン]リトライ］をタップすると、再度同じ電話番号に電話をかけ直します。
- 電話をかけた相手が電話帳に登録されている場合は、通話中画面に電話帳に登録された名前と、静止画が登録してある場合は静止画が表示されます。[アイコン]をタップすると、表示されている相手の電話帳データが表示されます。
- 電話を切ると画面に［[アイコン]リダイヤル］が表示されます。タップすると、直前に通話をしていた相手に電話をかけ直します。
- 電話番号入力画面のデザインを変更できます。→P148
- 通話中の画面に通話時間を表示させないように設定できます。→P144
- 通話時間の経過を示す音声タイマーを鳴らすことができます。→P137
- 電話番号入力画面のキーをタップするごとにタップ音を鳴らしたり、FOMA端末を振動させたりできます。→P136
- キャッチホンをご契約いただいている場合は、通話中の音声電話を保留して、新たに音声電話をかけることができます。
- 音声電話の通話中にかかってきたテレビ電話や64Kデータ通信の着信は拒否され、着信履歴／不在着信履歴にも記録されません。
- 音声電話の通話中にEメールやショートメッセージ（SMS）を受信した場合は、ステータスバーにアイコン（[アイコン]など）が表示されます。アイコンをタップすると、音声電話を継続したままメールを確認できます。ただし、64Kデータ通信によるEメールの受信はできません。→P356
- 市販のBluetoothヘッドセット／ハンズフリー対応機器を使用して電話をかけることができます。Bluetoothヘッドセット／ハンズフリー対応機器による通話の操作については、使用する各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 別売りのスイッチ付イヤホンマイクを接続して電話をかけることができます。→P403
- スピーカーホンの音量や、別売りのスイッチ付イヤホンマイクから聞こえる受話音量は変更できます。→P133

- 本FOMA端末は、ツータッチダイヤルには対応していません。
- 電話をかける際は、アンテナ部分を手で覆わないようにしてください。
- マナーモードを設定中でも、通話中にスピーカーホン機能のON／OFFを設定できます。
- 通話中に電話帳やスケジュール、メールなどを起動して内容の確認や新規登録・作成などができます。

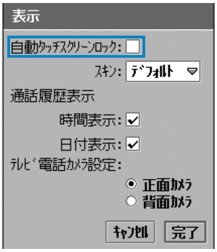
自動タッチスクリーンロック

通話開始時に自動的にタッチスクリーンをロックする

お買い上げ時	自動タッチスクリーンロック：□

通話中の画面が表示されると、自動的にタッチスクリーンをロックするように設定します。通話中にタッチスクリーンを誤操作するのを防ぐことができます。

1 電話番号入力画面でメニューバーの「設定」▶「表示」を順にタップする



自動タッチスクリーンロック
：自動タッチスクリーンのロックを有効にするかしないかを設定します。
☑が有効、□が無効の状態です。

- 電話番号入力画面の表示方法→P70
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 「自動タッチスクリーンロック」の□をタップする

3 ［完了］をタップする

お知らせ

- 自動タッチスクリーンロックを設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

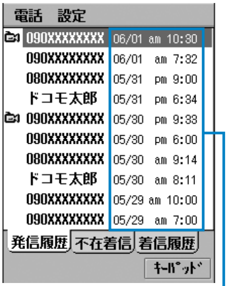
発信履歴

前にかけた相手にかけ直す

FOMA端末には、電話をかけたときの履歴が記録され、発信履歴から確認や電話のかけ直しができます。電話をかけた相手の電話番号が電話帳に登録されている場合は、相手の電話番号や名前も確認できます。

- 発信履歴は、着信履歴や不在着信履歴と合わせて100件まで記録されます。

1 待受中に を押す▶履歴画面で「発信履歴」タブをタップする

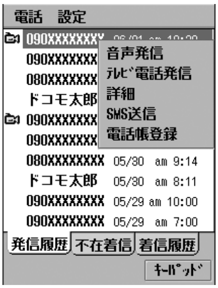


電話をかけた日時

発信履歴画面

（テレビ電話アイコン）	：テレビ電話をかけたことを示します。
[キーパッド]	：タップすると、電話番号入力画面が表示されます。→P70

2 かけ直す相手をタップする



音声発信	：音声電話をかけます。
テレビ電話発信	：テレビ電話をかけます。
詳細	：発信履歴の詳細が表示されます。
SMS送信	：ショートメッセージ（SMS）を作成して送信します。→P301
メール送信※1	：Eメールを作成して送信します。→P262
電話帳登録	：電話番号を電話帳に登録します。→P103
電話帳に移動※2	：電話帳データを表示します。

※1：履歴の相手が電話帳にEメールアドレスとともに登録されている場合に表示されます。

※2：履歴の相手が電話帳に登録されている場合に表示されます。

3 「音声発信」／「テレビ電話発信」をタップする

選択した方法で電話がかかります。

お知らせ

- 発信した電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録された名前が表示されます。
- 操作2で を押して相手を選択し、 を押すと、記録された情報と同じ発信方法（音声電話／テレビ電話）で電話をかけられます。発信方法を変更する場合は、 を押して相手を選択した後、 を押して電話番号入力画面を表示し、発信方法を選択して電話をかけてください。→P77
- 相手が話し中などで電話がつながらなかった場合、［ リトライ］をタップしても電話をかけ直すことができます。
- 待受中に を2回押すと、最新の発信履歴に電話をかけます（クイックリダイヤル）。
- 履歴が100件を超えた場合は、古いものから順に自動的に削除されます。
- 発信履歴の日付と時刻を表示させないように設定できます。→P76

発着信履歴の消去

履歴を削除する

発信履歴を一括で削除します。

- 着信履歴や不在着信履歴も同様に削除できます。
- 履歴を1件ずつ削除することはできません。

1　発信履歴画面でメニューバーの「電話」▶「発着信履歴の消去」を順にタップする

- 発信履歴画面の表示方法→P74
- 着信履歴や不在着信履歴を削除する場合は、「着信履歴」タブ／「不在着信」タブをタップし、メニューバーの「電話」▶「発着信履歴の消去」を順にタップします。

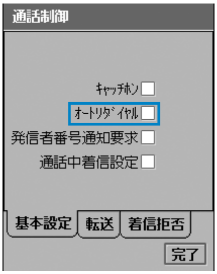
オートリダイヤル

自動的にリダイヤルするように設定する

お買い上げ時	オートリダイヤル：□

相手が話し中などで電話がつながらなかった場合、電話が切れると自動的に電話をかけ直すように設定できます。

1　アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「通話制御」を順にタップする



オートリダイヤル
：オートリダイヤルを有効にするかしないかを設定します。
☑が有効、□が無効の状態です。

2　「オートリダイヤル」の□をタップする

3　[完了]をタップする

通話履歴表示

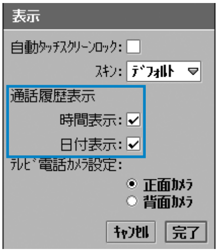
履歴の日時を表示するように設定する

お買い上げ時	時間表示：☑	日付表示：☑

発信履歴を表示したとき、電話をかけた日付と時間を表示するように設定します。
また、日付と時間のどちらかだけを表示するように設定することもできます。

- 本機能を設定すると、着信履歴や不在着信履歴も同様に日時が表示されます。

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「表示」を順にタップする



通話履歴表示

時間表示：電話をかけた時間を表示するかしないかを設定します。
☑が表示する、☐が表示しない状態です。

日付表示：電話をかけた日付を表示するかしないかを設定します。
☑が表示する、☐が表示しない状態です。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 設定する項目欄をタップして設定する

3 ［完了］をタップする

お知らせ

- 通話履歴表示を設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

186／184

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

電話をかけるごとに、相手の電話機にお客様の電話番号（発信者番号）を表示させるかどうかを設定できます。

- 相手の電話機がデジタル端末で、発信者番号表示が可能なときのみ利用できます。
- 発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分にご注意ください。
- 発信者番号を通知するには次の方法があります。

操　作	参照先
ネットワークサービスを利用して、あらかじめ設定する	P66
発信ごとにメニューから選択して電話をかける	P77
発信ごとに電話番号に186／184を付けて電話をかける	P77

186／184を付けてダイヤルする

電話をかけるときに、電話番号の先頭に特定の番号を付けることで発信者番号の通知／非通知を設定します。

■発信者番号を通知するとき

186ー 相手の電話番号 を入力し、 をタップ／ を押す

- テレビ電話をかける場合は、 をタップします。

■発信者番号を通知しないとき

184ー 相手の電話番号 を入力し、 をタップ／ を押す

- テレビ電話をかける場合は、 をタップします。

お知らせ

- 「186／184」の代わりに「＊31＃／＃31＃」を入力しても通知／非通知を設定できます。
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知するように設定してから、再度電話をおかけ直しください。
- 国際電話をかける場合は「186」または「＊31＃」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。
- 「186（＊31＃）」／「184（＃31＃）」を付けてかけた電話は、発信履歴に「186（＊31＃）」／「184（＃31＃）」が付いた状態で記録されます。電話番号が電話帳に登録されている場合は発信履歴には名前が表示され、発信履歴の詳細に「186（＊31＃）」／「184（＃31＃）」が付いた状態で記録されます。

次を非表示／次を表示

電話をかけるときに通知／非通知を設定する

電話番号を入力してから発信者番号の通知／非通知を設定します。発信履歴や着信履歴、電話帳などから電話番号を表示させて設定することもできます。

1 アプリケーション選択バーの （電話）をタップ▶電話番号を入力する



■発信履歴や着信履歴、不在着信履歴から操作するとき

① **履歴画面を表示する**

- 発信履歴／着信履歴／不在着信履歴の表示方法→P74、P84、P86

② **を押して電話をかける番号を選択▶ を押す**

履歴に記録されている電話番号が入力された電話番号入力画面が表示されます。

次のページへ続く

2 メニューバーの「電話」▶「発信者番号通知」▶「次を非表示」／「次を表示」を順にタップする



次を非表示：発信者番号を通知しません。
次を表示　：発信者番号を通知します。

3 （電話アイコン）をタップ／（発信キー）を押す

電話がかかります。

- テレビ電話をかける場合は、（テレビ電話アイコン）をタップします。

お知らせ

- 電話帳から通知／非通知を設定して電話をかける場合は、電話帳データの情報画面で電話番号をタップし、相手の電話番号が入力された電話番号入力画面を表示してから操作します。

ポーズ／ウェイト機能

プッシュ信号（DTMF）を手早く送り出す

電話番号の後ろに「p」（ポーズ）または「w」（ウェイト）と番号を入力して電話をかけると、ポーズ／ウェイト機能を利用できます。

ポーズ機能　：電話番号へ発信を行い、電話がつながってから約 3 秒後に自動的に「p」以降の番号をプッシュ信号（DTMF）として送信します。外線番号の後に続けて内線番号をダイヤルするときなどに利用すると便利です。

ウェイト機能：電話番号へ発信を行い、電話がつながってから送信の操作を行うと、「w」以降の番号をプッシュ信号（DTMF）として送信します。ポケットベル※へのメッセージ送信、電話でのチケット予約や銀行の残高照会などを行うときに利用すると便利です。

- 電話番号の先頭に「p」「w」を入力することはできません。

1 アプリケーション選択バーの（電話アイコン）（電話）をタップ▶電話番号を入力する

※：2001 年 1 月から、ドコモのポケットベルはクイックキャストに名称が変わりました。

2 「p」(ポーズ)／「w」(ウェイト)▶送信する番号を順に入力する



- ［＊］をポイントすると、「＊」が「p」に変わります。
- ［#］をポイントすると、「#」が「w」に変わります。

3 をタップ／ を押す

入力した電話番号に電話がかかります。

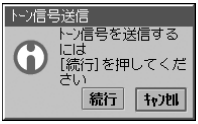
■「p」を入力したとき



通話中になると左の画面が表示されます。
約3秒後に自動的に「p」以降のプッシュ信号が送信されます。

- ［キャンセル］をタップすると、プッシュ信号の送信を中止します。

■「w」を入力したとき



通話中になると左の画面が表示されます。

- ［続行］をタップすると、プッシュ信号が送信されます。
- ［キャンセル］をタップすると、プッシュ信号の送信を中止します。

お知らせ

- 通話中にプッシュ信号を送信する場合は、［キーパッド］をタップして電話番号入力画面を表示し、送信する番号をタップします。タップした番号が直接プッシュ信号として送信されます。［戻る］をタップすると、通話中画面に戻ります。
- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。
- テレビ電話の通話中もプッシュ信号を送信できます。→P93

国際電話を利用する

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

WORLD CALLは、ドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。

■通話方法

009130ー010ー国番号ー市外局番ー相手先電話番号を入力し、 をタップする

※ 上記の電話番号をFOMA端末の電話帳に登録することができます。

※ 市外局番が「0」で始まる場合には、「0」を除いてダイヤルしてください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

- 通話先は世界約220 の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせてご請求します。
- 申込手数料・月額使用料は不要です。

※ FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時に併せて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 国際電話ダイヤル手順の変更について
  携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、WORLD CALL についても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合のダイヤル手順が変更となりました。従来のダイヤル手順（上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 詳しくは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

※ ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

- 海外の特定3G携帯端末をご利用のお客様に対し、上記ダイヤル方法の後にテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
  - 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
  - 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA 端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

■ご利用限度額について

- WORLD CALLのご利用には、毎月のご利用限度額を設定させていただきます。ご利用限度額は弊社よりご案内いたします。
- ご利用限度額に達した場合は、同月内のWORLD　CALLはご利用いただけなくなりますが、翌月1日からご利用を再開いたします。また、同月内のWORLD CALLご利用額全額をお支払いいただきますと同月中にご利用を再開いたします。
- ご利用限度額によりご利用停止となるのは、WORLD CALLによる海外への発信のみです。
- 通話中にご利用限度額に達した場合は通話が継続され、次回の発信からご利用停止となります。その場合、ご請求額はご利用限度額を上回ることとなります。

車載ハンズフリー対応

車の中で手を使わずに話す

FOMA端末を車載ハンズフリーキット 01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器に接続することで、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などができます。ハンズフリー対応機器の操作については、ご使用になるハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、車載ハンズフリーキット 01（別売）は、本FOMA端末とはBluetoothでの接続のみご使用になれます。

オート着信

ハンズフリー対応機器やヘッドセット接続時の動作を設定する

お買い上げ時	Off

FOMA端末とハンズフリー対応機器やBluetoothヘッドセットなどを接続中に電話がかかってきたとき、自動的に電話を受けるかどうかを設定できます。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）➡（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ➡「オート着信」を順にタップする



自動応答：着信してから応答するまでの時間を「Off」「3秒」「6秒」「10秒」から選択できます。

2 「自動応答」欄をタップし、応答時間を選択する

- 「Off」を選択すると、自動で応答しません。

3 [完了]をタップする

お知らせ

- 車載ハンズフリーキット 01（別売）を本FOMA端末へ登録する場合は、次の操作を行います。
  ① **本FOMA端末のBluetooth機能をOFFにする→P505**
  ② **車載ハンズフリーキット 01の接続選択スイッチを側へスライドさせ、機器登録ボタンを2秒以上押す**
  車載ハンズフリーキット 01が検索待ち状態になります。
  ③ **本FOMA端末で登録操作をする→P507**
- 車載ハンズフリーキット 01をご使用の場合は、次の点にご注意ください。
  - 着信時の画面表示や着信音などの動作は、本FOMA端末の設定に従います。
  - ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合は、本FOMA端末でマナーモード中に着信音を鳴らさない設定にしている場合やアラートモードで「音を鳴らす」以外に設定している場合などでも、ハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
  - ドライブモードを設定中は、着信動作はドライブモードの設定に従います。
  - FOMAカード電話帳に登録してある電話番号のみ、本FOMA端末で車載ハンズフリーキット 01のメモリダイヤル発信機能をご使用になれます。既にFOMAカード電話帳に電話番号が登録されている場合は、メモリダイヤル発信機能をご使用になる前にFOMAカード電話帳の電話番号をすべて削除し、再度登録操作を行ってください。→P109
- アラートモードを「サイレント」に設定している場合は、自動応答の時間を設定してハンズフリー対応機器やBluetoothヘッドセットを接続中でも、オート着信は動作しません。
- オート着信の設定に従って自動的にテレビ電話を受けた場合は、相手には代替画像が送信されます。→P96

- オート着信を設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。
- オート着信を設定中にスイッチ付イヤホンマイクをご使用の場合は、次の点にご注意ください。
  - 着信拒否リストに登録した電話番号から着信があった場合や、電話帳未登録を着信拒否に設定しているときに未登録の電話番号から着信があった場合は、オート着信は動作しません。
  - 留守番電話サービスや転送でんわサービスを同時に設定している場合は、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりオート着信の自動応答の設定時間を短くしてください。
  - 着信中にスイッチ付イヤホンマイクを本FOMA端末から取り外すと、オート着信は動作しません。
  - オート着信の自動応答の設定時間経過後でも、スイッチ付イヤホンマイクを差し込むと電話を受けることができます。

電話を受ける

FOMA端末でかかってきた音声電話を受けます。

1 電話がかかってくる



着信音が鳴ります。
- ［拒否］をタップすると、着信を拒否し、発信側は切断されます。
- ／を押すと、着信音を停止します。

2 ［応答］をタップ／を押す



電話を受けます。
- を押すと、スピーカーホン機能をONにして電話を受けることができます。
- 通話中の操作は「電話をかける」の操作４と同じです。→P71

3 お話しが終わったらを押す

電話が切れます。

お知らせ

- ステータスライトをONに設定中は、着信時にステータスライトが点灯します。→P145
- 着信音の代わりに、バイブレータでお知らせすることもできます。→P135
- キャッチホンをご契約いただき、キャッチホンを設定している場合は、通話中に別の電話がかかってくると「プー･･･プー･･･」という通話中着信音が流れ、着信中画面が表示されます。［応答］をタップ／を押すと、通話中の電話が自動的に保留され、かかってきた電話に応答できます。［拒否］をタップすると、かかってきた電話を拒否します。
- 音声電話の通話中にかかってきたテレビ電話や 64K データ通信の着信は拒否され、着信履歴／不在着信履歴にも記録されません。

- 音声電話の通話中にEメールやショートメッセージ（SMS）を受信した場合は、ステータスバーにアイコン（ など）が表示されます。アイコンをタップすると、音声電話を継続したままメールを確認できます。ただし、64Kデータ通信によるEメールの受信はできません。→P356
- 発信者番号を通知してこない相手からの電話を拒否するように設定できます。→P165
- 電話帳に登録されていない相手から電話がかかってきたとき、すぐに着信動作を行わないように設定できます。→P166
- 電話帳に登録されていない相手からの電話を拒否するように設定できます。→P167
- 市販のBluetoothヘッドセット／ハンズフリー対応機器を使用して電話を受けることができます。Bluetoothヘッドセット／ハンズフリー対応機器による通話の操作については、使用する各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 別売りのスイッチ付イヤホンマイクを接続して電話を受けることができます。→P404
- スピーカーホンの音量や、別売りのスイッチ付イヤホンマイクから聞こえる受話音量は変更できます。→P133
- マナーモードを設定中でも、通話中にスピーカーホン機能のON／OFFを設定できます。
- 通話中に電話帳やスケジュール、メールなどを起動して内容の確認や新規登録・作成などができます。

着信時のディスプレイ表示について

着信中の表示は、電話をかけてきた相手の発信方法や、FOMA端末の登録・設定状況に応じて異なります。

■相手が発信者番号を通知してきたとき





ディスプレイに相手の電話番号が表示されます。また、通知してきた相手の電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録された名前が表示されます。電話帳に静止画が登録してある場合は、静止画も表示されます。

- FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳に同じ電話番号が登録されている場合は、FOMA端末（本体）電話帳に登録されている名前が優先して表示されます。
- FOMA端末（本体）電話帳の2つ以上の電話帳データに同じ電話番号が登録されている場合は、最初に登録された電話帳データの名前が優先して表示されます。

■相手が発信者番号を通知してこないとき



ディスプレイには非通知理由が次のように表示されます。

非通知設定　：相手が発信者番号を通知しないで電話をかけてきたときに表示されます。

公衆電話　：相手が公衆電話などから電話をかけてきたときに表示されます。

通知不可能　：相手が海外から／一般電話から各種転送サービスを経由して電話をかけてきたときなど、発信者番号を通知できないときに表示されます。

着信履歴

着信履歴を利用する

FOMA端末には、かかってきた電話を受けたときの履歴が記録され、着信履歴から確認できます。電話をかけてきた相手の電話番号が電話帳に登録されている場合は、相手の電話番号や名前も確認できます。

- 着信履歴は、発信履歴や不在着信履歴と合わせて100件まで記録されます。

1 待受中に を押す▶履歴画面で「着信履歴」タブをタップする



電話がかかってきた日時

　：テレビ電話がかかってきたことを示します。

[キーパッド]：タップすると、電話番号入力画面が表示されます。→P70

- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、非通知理由が表示されます。→P165

お知らせ

- 相手が発信者番号を通知してきた場合は、相手の電話番号が表示されます。また、通知してきた電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録された名前が表示されます。
- 着信履歴からも、発信履歴と同様に電話の発信やメールの送信、電話帳への登録ができます。→P74
- 履歴が100件を超えた場合は、古いものから順に自動的に削除されます。
- 履歴を削除する→P75
- 相手がダイヤルイン（1回線で複数の着信番号を利用できるサービス）を利用して電話をかけてきた場合、相手のダイヤルインの番号と異なる番号が表示されることがあります。

受話音量

通話中に相手の声の音量を調節する

通話中に相手の声の大きさを8段階で調節できます。

- 待受中も受話音量を調節できます。→P133

1 通話中に ／ を押す

- ／ を押し続けると、連続して音量が増減します。

お知らせ

- 変更した受話音量の設定は、通話終了後も保持されます。

ドライブモード

運転中に電話を受けないようにする

ドライブモードは、運転中の安全性を重視した自動応答サービスです。
ドライブモードに設定すると、相手には運転中のために電話に出られない旨の音声ガイダンスが流れ、通話を終了します。

- ドライブモード設定中でも電話をかけることができます。

1 ホーム画面を表示中に [key] を1秒以上押す

- ステータスバーに [icon] が表示されます。
- ホーム画面の表示方法→P139

■ドライブモードを解除するとき

ホーム画面を表示中に [key] を1秒以上押す

■ドライブモード設定中の着信

音声電話やテレビ電話がかかってきても着信音は鳴りません。不在着信履歴に記録され、不在着信画面が表示されます。→P87
音声電話をかけてきた相手にはドライブモードの音声ガイダンス、テレビ電話をかけてきた相手にはドライブモードの映像ガイダンスが流れます。ただし、電源が入っていないときや圏外のときは、相手には圏外または電源が入っていない旨の音声ガイダンスが流れ、ドライブモードの音声ガイダンスまたは映像ガイダンスは流れません。

- ネットワークの状況により、ドライブモードの音声ガイダンスが流れず、相手には話中音（プープー）が流れる場合があります。その場合は、ドライブモードの設定と同時に留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始に設定すると、ドライブモードの音声ガイダンスが流れます。

■各ネットワークサービスとドライブモード設定中の着信動作の関係

ネットワークサービス	音声電話着信時の動作	テレビ電話着信時の動作
留守番電話サービス	相手にドライブモードの音声ガイダンスが流れた後、留守番電話サービスセンターに接続します。 ただし、留守番電話呼出時間を「0秒」に設定している場合は、ドライブモードの音声ガイダンスは流れません。	相手には話中音（プープー）が流れます。
転送でんわサービス	相手にドライブモードの音声ガイダンスが流れた後、転送先に転送されます。 ただし、転送でんわ呼出時間を「0秒」に設定している場合は、ドライブモードの音声ガイダンスは流れません。	転送先に転送されます。 ただし、転送先を3G-324Mに準拠したテレビ電話に設定していない場合は接続されません。→P90
迷惑電話ストップサービス	拒否登録している電話番号からの場合は、相手に着信拒否ガイダンスが流れた後、通話を終了します。	拒否登録している電話番号からの場合は、相手に着信拒否の映像ガイダンスが流れた後、通話を終了します。
番号通知お願いサービス	相手が発信者番号を通知してこない場合は、相手に番号通知お願いガイダンスが流れた後、通話を終了します。	相手が発信者番号を通知してこない場合は、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが流れた後、通話を終了します。

次のページへ続く

お知らせ

- 圏外のときでもドライブモードの設定／解除ができます。
- ステータスバーの をタップし、アラートモード画面で「ドライブモード」の ▶［決定］を順にタップしても設定できます。
- マナーモードと同時に設定中は、ドライブモードが優先して動作します。
- ドライブモードを設定中にアラームやスケジュール、ToDo リストのアラーム時刻になると、アラーム音が鳴らずにアラーム画面が表示されます。また、メールを受信した場合も、設定したメール着信音は鳴りません。
- 着信拒否リストに登録した相手から電話がかかってきた場合は、ドライブモードの音声ガイダンスは流れずに電話が切れます。

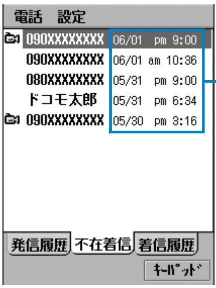
不在着信

不在着信を確認する

FOMA 端末には、かかってきた電話に出られなかったときの履歴が記録され、不在着信履歴から確認できます。電話をかけてきた相手の電話番号が電話帳に登録されている場合は、相手の電話番号や名前も確認できます。

- 不在着信履歴は、発信履歴や着信履歴と合わせて 100 件まで記録されます。

1 待受中に を押す▶履歴画面で「不在着信」タブをタップする



電話がかかってきた日時

：テレビ電話がかかってきたことを示します。

［キーパッド］：タップすると、電話番号入力画面が表示されます。→P70

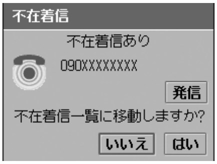
- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、非通知理由が表示されます。→P165

お知らせ

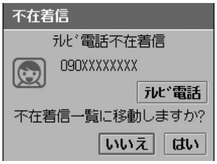
- 呼出動作開始時間を設定して無音不在着信を表示するように設定している場合は、呼出動作開始時間内の着信の履歴がグレーで表示されます。→P87、P166
- 相手が発信者番号を通知してきた場合は、相手の電話番号が表示されます。また、通知してきた電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録された名前が表示されます。
- 不在着信履歴からも、発信履歴と同様に電話の発信やメールの送信、電話帳への登録ができます。→P74
- 履歴が 100 件を超えた場合は、古いものから順に自動的に削除されます。
- 履歴を削除する→P75

不在着信があると

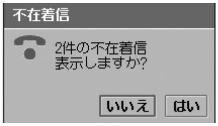
かかってきた電話に出られなかったときは、不在着信画面が表示されます。不在着信画面から相手にすばやく電話をかけたり、不在着信履歴を表示できます。



音声電話



テレビ電話



複数の不在着信

[発信]　　：タップすると、電話をかけてきた相手に音声電話をかけます。
[テレビ電話]：タップすると、電話をかけてきた相手にテレビ電話をかけます。
[はい]　　：タップすると、不在着信履歴が表示されます。
[いいえ]　：タップすると、不在着信画面を閉じます。

お知らせ

- 相手が発信者番号を通知してきた場合は、相手の電話番号が表示されます。また、通知してきた電話番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録された名前が表示されます。
- 相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、「非通知設定」と表示され、［発信］や［テレビ電話］は表示されません。

無音不在着信表示

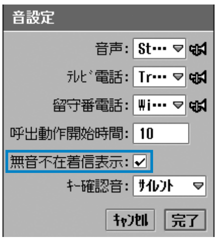
呼出動作開始時間内の不在着信を表示しない

お買い上げ時	無音不在着信表示：☐

呼出動作開始時間を設定すると、設定時間内に着信動作が行われなかった着信について、表示・非表示の設定ができます。呼出動作開始時間内の着信は、不在着信履歴に表示しないように設定できます。

- 呼出動作開始時間を設定しているときのみ設定できます。→P166

1　アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「音設定」を順にタップする。



無音不在着信表示
：呼出動作開始時間内の着信を不在着信履歴に表示するかしないかを設定します。
☑が表示する、☐が表示しない状態です。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2　「無音不在着信表示」の☐をタップする

3　［完了］をタップする

次のページへ続く

お知らせ

- 無音不在着信表示を表示しないように設定中は、呼出動作開始時間内の不在着信があると不在着信画面も表示されなくなります。ただし、1件の不在着信画面が表示されているときに呼出動作開始時間内の不在着信があった場合は、その電話の不在着信画面が表示されます。
- 無音不在着信表示を設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

テレビ電話のかけかた／受けかた

テレビ電話について

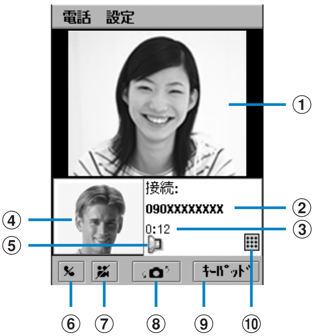
テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。FOMA端末のカメラを利用して、通話の相手とお互いの映像を送信しあって相手の顔を見ながら会話をしたり、相手に見せたい景色などの映像を送信したりしながら会話ができます。

- ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1：3GPP（3rd Generation Partnership Project）
第三世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術使用開発のために設置された地域標準化団体。

※2：3G-324M
第三世代携帯テレビ電話の国際規格。

テレビ電話通話中画面の見かた



項　目	マーク	説　明
①親画面	—	相手から送信されてきた映像が表示されます。
②相手の電話番号／名前	—	相手が発信者番号を通知してきた場合は、相手の電話番号が表示されます。相手の番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録された名前が表示されます。
③通話時間	—	通話時間が表示されます。→P144
④子画面	—	相手に送信している自分の映像が表示されます。
⑤スピーカーホン		スピーカーホン機能をONにすると表示されます。→P92 ・スピーカーホン機能を利用中に別売りのスイッチ付イヤホンマイクを接続すると、アイコンは表示されたままで相手の声がイヤホンから聞こえるようになります。スイッチ付イヤホンマイクを取り外すと、相手の声がスピーカーから聞こえるようになります。
⑥消音		消音の設定状態が表示されます。→P91
⑦カメラ画像		カメラ画像の設定状態が表示されます。→P96
⑧カメラ切り替え		正面と背面のカメラを切り替えます。→P96
⑨キーパッド	—	電話番号入力画面が表示されます。→P70
⑩DTMF用キーパッド		DTMF入力画面が表示されます。→P93

テレビ電話をかける

FOMA端末からテレビ電話をかけます。

1　アプリケーション選択バーの（電話）をタップする

2　相手の電話番号を市外局番から入力する

3　をタップする



テレビ電話発信中画面



テレビ電話接続中画面

音声電話と異なる呼び出し音が聞こえます。

- 接続中画面が表示された時点から、デジタル通信料がかかります。
- 相手の電話番号が静止画とともに電話帳に登録されている場合は、発信中や接続中の画面の子画面に静止画が表示されます。

4　通話する



テレビ電話通話中画面

相手の映像が親画面に表示されます。

／　：タップすると消音になり、自分の声が相手に聞こえなくなります。再度タップすると消音が解除されます。

／　：タップするたびにカメラ画像をON／OFFにします。→P96

：タップするたびに正面と背面のカメラを切り替えます。→P96

[キーパッド]
：タップすると、電話番号入力画面が表示されます。［戻る］をタップすると通話中画面に戻ります。

：DTMF入力画面が表示されます。→P93

- を押すと、受話音量を調節できます。
- 電話の接続中や通話中は、ステータスバーにが表示されます。

次のページへ続く

5 [speaker key]を押す

スピーカーホン機能がONになり、スピーカーから相手の声が聞こえます。相手の顔を見ながら通話できます。

- 再度[speaker key]を押すとスピーカーホン機能がOFFになり、相手の声が受話口から聞こえます。
- 別売りのスイッチ付イヤホンマイクを接続すると、イヤホンから相手の声が聞こえます。→P403

6 お話しが終わったら[end key]を押す

電話が切れます。

■電話番号入力画面／テレビ電話通話中画面／履歴画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「電話」「設定」をタップすると、次の項目が表示されます。

「電話」

項目	参照
自局番号	P67
留守番電話	P170
発信者番号通知	P66、P76
迷惑電話ストップ	P176
追加サービス	P180
番号のコピー	P546
電話帳登録※1	P103
貼り付け※1	P547
発着信履歴の消去※2	P75
鏡像OFF※3	P99

「設定」

項目	参照
通話制御	P75、P163、P173、P175、P177、P179
通話時間	P137、P144、P389
表示	P73、P76、P99、P148
英語ガイダンス	P178
ネットワーク	P178、P571
ローミング	P575
セキュリティ	P155
音設定	P128、P136、P166

※1：電話番号入力画面のみ表示

※2：履歴画面のみ表示

※3：テレビ電話通話中画面のみ表示

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

お知らせ

- スピーカーホンの音量や、別売りのスイッチ付イヤホンマイクから聞こえる受話音量は変更できます。→P133
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して、国際テレビ電話をかけることができます。→P80
- カメラ画像をOFFにして通話した場合でも、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になります。
- テレビ電話がつながらない場合は、次のようなメッセージがディスプレイに表示されます。ただし、電話をかけた相手の電話機やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。

メッセージ	理　由
電話番号を確認してかけ直してください	電話番号を間違えています。
話中です	ダイヤルした電話番号は現在話中です。
電波の届かないところにいるか電源が切れています	ダイヤルした電話番号は、通話圏外または電源を切っています。
接続できませんでした	上記以外の理由です。

- テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合や、相手がテレビ電話でも圏外や電源を切っている場合は接続できません。テレビ電話に対応していない電話機にかけた場合は発信が中止され、接続に失敗した旨のメッセージが表示されます。[音声発信] をタップすると音声電話として電話をかけ直すことができます。ただし、ISDN同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2005年11月現在)、間違い電話をした場合などは、このような動作にならない場合があります。通信料金が発生する場合もございますのでご注意ください。
- FOMA 端末から110 番、119 番、118 番へテレビ電話で緊急通報をしたときは、相手がテレビ電話に対応していない場合は音声電話でかけ直してください。
- パケット通信中は、テレビ電話の発着信はできません。
- テレビ電話の通話中に新たに音声電話やテレビ電話をかけることはできません。
- テレビ電話の通話中にかかってきた音声電話やテレビ電話、64Kデータ通信の着信は拒否され、着信履歴／不在着信履歴にも記録されません。
- テレビ電話の通話中にショートメッセージ（SMS）を受信した場合は、ステータスバーにアイコン（ など）が表示されます。アイコンをタップすると、テレビ電話を継続したままショートメッセージ（SMS）を確認できます。→P356
- スピーカーホン機能を利用して通話するときは、FOMA端末を耳の近くで使用しないようにしてください。
- 市販のBluetoothヘッドセット／ハンズフリー対応機器を使用して電話をかけることができます。Bluetoothヘッドセット／ハンズフリー対応機器による通話の操作については、使用する各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 蛍光灯などの近くでテレビ電話の通話を行うと、送信／受信した映像にフリッカー（横方向の縞模様）が映る場合があります。その場合は、背景に蛍光灯が映りこまないように向きを変えたり場所を移動したりすると、フリッカーを軽減させることができます。
- 発信者番号を非通知に設定中は、ビジュアルネットを利用できません。
- マナーモードを設定中でも、通話中にスピーカーホン機能のON／OFFを設定できます。
- 通話中に電話帳やスケジュール、メールなどを起動して内容の確認や新規登録・作成などができます。
- テレビ電話の通話中に、スケジュールを設定してEメールを受信する（→P257）、Eメールの自動受信（→P273）を行うことはできません。テレビ電話の通話終了後に受信するメールアカウントを選択して送受信をタップしてEメールを受信してください。
- テレビ電話の通話中に、他のアプリケーションが起動、動作する場合、テレビ電話の映像が点滅する場合があります。

プッシュ信号（DTMF)を送信する

テレビ電話の通話中にプッシュ信号（DTMF）を送ることができます。

1 通話中に をタップする



DTMF入力画面

- をタップすると、DTMF入力画面が閉じます。

2 送信する番号をタップする

タップした番号がプッシュ信号として送信されます。

次のページへ続く

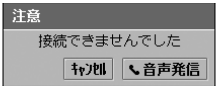
お知らせ

- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。

テレビ電話がかからないときに音声電話でかけ直す

テレビ電話をかけた相手の電話機がテレビ電話に対応していないなどの理由で電話がつながらなかった場合、音声電話でかけ直すことができます。

1 テレビ電話が切断される



接続失敗画面

- ［キャンセル］をタップすると、音声電話の発信を中止します。

2 ［音声発信］をタップする

テレビ電話をかけた相手に音声電話をかけます。

テレビ電話を受ける

FOMA端末でかかってきたテレビ電話を受けます。

1 電話がかかってくる



着信音が鳴ります。

- ［プライバシー］をタップすると、相手に自分の映像を送信しないようにして電話を受けます。相手には代替画像（→P96）が送信されます。通話中に をタップすると、カメラ画像をONにできます。
- ［拒否］をタップすると、着信を拒否し、発信側は切断されます。
- ／を押すと、着信音を停止します。

2 ［応答］をタップ／ を押す



電話を受けます。

- を押してもテレビ電話を受けることができます。
- 通話中の操作は「テレビ電話をかける」の操作4と同じです。→P91

3 [スピーカー]を押す

スピーカーホン機能がONになり、スピーカーから相手の声が聞こえます。相手の顔を見ながら通話できます。

- 再度[スピーカー]を押すとスピーカーホン機能がOFFになり、相手の声が受話口から聞こえます。
- 別売りのスイッチ付イヤホンマイクを接続すると、イヤホンから相手の声が聞こえます。→P403

4 お話しが終わったら[終話]を押す

電話が切れます。

お知らせ

- ステータスライトをONに設定中は、着信時にステータスライトが点灯します。→P145
- スピーカーホンの音量や、別売りのスイッチ付イヤホンマイクから聞こえる受話音量は変更できます。→P133
- 着信音の代わりに、バイブレータでお知らせすることもできます。→P135
- 留守番電話サービスを設定しても、かかってきたテレビ電話は呼出時間経過後に切断されます。→P170
- 転送でんわサービスを設定しても、転送先が3G-324Mに準拠したテレビ電話対応機器に設定されていない場合は、かかってきたテレビ電話は転送されません。転送先の機器をあらかじめご確認の上、転送設定を行ってください。→P175
- 別売りのスイッチ付イヤホンマイクを接続中にテレビ電話がかかってきた場合、イヤホンのスイッチを押してテレビ電話を受けられます。→P404
- 32Kによるテレビ電話の着信はできません。
- テレビ電話の通話中にかかってきた音声電話やテレビ電話、64Kデータ通信の着信は拒否され、着信履歴／不在着信履歴にも記録されません。
- テレビ電話の通話中にショートメッセージ（SMS）を受信した場合は、ステータスバーにアイコン（[アイコン]など）が表示されます。アイコンをタップすると、テレビ電話を継続したままショートメッセージ（SMS）を確認できます。→P356
- スピーカーホン機能を利用して通話するときは、FOMA端末を耳の近くで使用しないようにしてください。
- 市販のBluetoothヘッドセット／ハンズフリー対応機器を使用して電話を受けることができます。Bluetoothヘッドセット／ハンズフリー対応機器による通話の操作については、使用する各機器の取扱説明書をご覧ください。
- マナーモードを設定中でも、通話中にスピーカーホン機能のON／OFFを設定できます。
- 通話中に電話帳やスケジュール、メールなどを起動して内容の確認や新規登録・作成などができます。
- テレビ電話の通話中に、スケジュールを設定してEメールを受信する（→P257）、Eメールの自動受信（→P273）を行うことはできません。テレビ電話の通話終了後に受信するメールアカウントを選択して送受信をタップしてEメールを受信してください。
- テレビ電話の通話中に、他のアプリケーションが起動、動作する場合、テレビ電話の映像が点滅する場合があります。

相手側に送信する映像について設定する

テレビ電話の通話中に、相手に送信する映像の設定を変更できます。

- 変更した設定は、通話終了後にお買い上げ時の設定に戻ります。

カメラ画像をON／OFFにする

お買い上げ時	ON

通話中にカメラ画像を送るかどうかを設定できます。

1 通話中に をタップする



代替画像

カメラ画像がOFFになり、相手には代替画像が送信されます。

- をタップすると、カメラ画像をONにします。

お知らせ

- 電話を受けるときにカメラ画像をOFFにすることもできます。→P94

カメラを切り替える

お買い上げ時	正面カメラ

通話中に正面と背面のカメラを切り替えることができます。

1 通話中に をタップする



背面カメラの映像が送信されます。

- 再度 をタップすると、正面カメラの映像に切り替わります。

お知らせ

- あらかじめテレビ電話利用時に使用するカメラを設定できます。→P99

- 背面カメラを使用中は、カメラ画像を拡大できます。→P97
- 正面カメラを使用中は、鏡像表示を設定できます。→P99

カメラ画像を拡大する

通話中に相手に送信するカメラ画像を３段階で拡大できます。

- 背面カメラを使用しているときのみ利用できます。

1 **通話中にを押して拡大できる状態（／が表示）に切り替える▶を押す**



お知らせ

- ／をタップしても、表示倍率を変えられます。
- 表示倍率は通話を終了するまで保持されます。正面カメラに切り替えても、背面カメラに戻すと表示倍率は設定したままになります。

カメラ画像の明るさを調節する

通話中に相手に送信するカメラ画像の明るさを５段階で調節できます。

1 **通話中にを押して明るさが調節できる状態（／が表示）に切り替える▶を押す**



お知らせ

- ／をタップしても、明るさレベルを変えられます。

カメラ画像のコントラストを調節する

通話中に相手に送信するカメラ画像のコントラストを５段階で調節できます。

1 通話中に を押してコントラストが調節できる状態（ ／ が表示）に切り替える▶ を押す



コントラスト調整

お知らせ

- ／ をタップしても、コントラストレベルを変えられます。

テレビ電話の通話中に表示される映像について設定する

テレビ電話の通話中に、FOMA端末に表示される映像の設定を変更できます。

- 変更した設定は、通話終了後にお買い上げ時の設定に戻ります。

画面の表示方法を変更する

お買い上げ時	親画面：相手の映像　子画面：自分の映像

通話中に親画面（相手から送信されてきた映像）と子画面（相手に送信している自分の映像）を切り替えることができます。

1 通話中に親画面／子画面をタップする



画面が切り替わります。

- 親画面／子画面をタップするたびに親子画面の表示が切り替わります。

鏡像ON／鏡像OFF

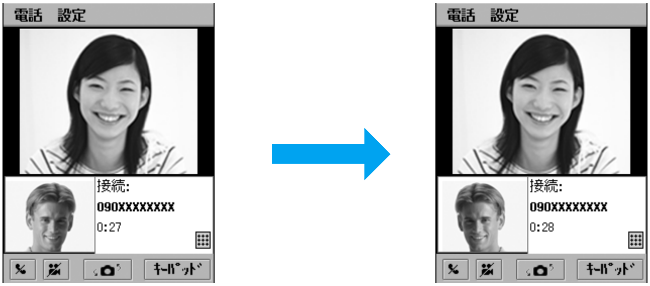
画面の鏡像表示をOFFにする

お買い上げ時　鏡像ON

通話中に正面カメラで撮影している映像の左右をそのまま表示（鏡像OFF）するか、鏡に映したように左右を逆にして表示（鏡像ON）するかを切り替えることができます。

- 正面カメラを使用中にのみ利用できます。

1　通話中にメニューバーの「電話」▶「鏡像OFF」を順にタップする



鏡像が解除されます。

- 鏡像表示を設定するにはメニューバーの「電話」▶「鏡像ON」を順にタップします。

テレビ電話の設定を変更する

待受中にテレビ電話の動作などを設定できます。

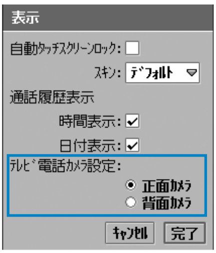
テレビ電話カメラ設定

テレビ電話利用時に最初に使用するカメラを設定する

お買い上げ時　テレビ電話カメラ設定：◉正面カメラ

テレビ電話をかけたり受けたりするときに、正面と背面のどちらのカメラを使用するかを設定できます。

1　アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「表示」を順にタップする



テレビ電話カメラ設定

正面カメラ：正面カメラを使用するように設定します。
背面カメラ：背面カメラを使用するように設定します。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

次のページへ続く

2 「テレビ電話カメラ設定」の使用するカメラの○をタップする

3 [完了]をタップする

お知らせ

- 本機能の設定に関わらず、通話中はカメラを切り替えることができます。→P96
- テレビ電話のカメラを設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末の電話帳には、端末本体に登録するFOMA端末（本体）電話帳と、FOMAカードに登録するFOMAカード電話帳の2種類があります。各電話帳に登録できる内容は次のとおりです。

- FOMAカード電話帳に登録した内容は、FOMAカードを他のFOMA端末に取り付けた際も利用できます。

項　目		FOMA端末（本体）電話帳	FOMAカード電話帳
登録件数		約1900件（1件が10Kの場合）※2	最大50件
登録項目※1	名前	姓と名を合わせて登録	姓と名を合わせて登録
	フリガナ	姓と名を合わせて登録	姓と名を合わせて登録
	役職	○	—
	電話番号	3件※3	1件
	電話番号種別	○	—
	Eメールアドレス	3件※3	1件
	Eメールアドレス種別	○	—
	URL	1件※3	—
	指定着信音	○	—
	誕生日	○	—
	会社情報	会社名や住所などを登録可能	—
	個人情報	住所などを登録可能	—
	メモ	○	—
	静止画	○（1件）	—

※1：1つの電話帳データに登録できる項目です。

※2：FOMA端末のメモリ残量により、最大登録件数は異なります。また、電話帳データ1件のサイズは、登録内容や設定した静止画により異なります。

※3：お買い上げ時の状態で1つの電話帳データに登録できる件数です。種別の変更や入力欄の追加によって件数は変わります。→P104、P105、P118

お知らせ

- 電話帳に登録した内容は別にメモを取るなどして保管することをおすすめします。パソコンをお持ちの場合は、USB接続ケーブル（同梱品）やBluetoothを利用してFOMA端末とパソコンを接続し、デスクトップスイートを利用してパソコンに保管することもできます。→P587
  また、SyncMLを利用してSyncMLサーバと同期させることもできます。→P599
  万一、電話帳などに登録してある内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 当社窓口にてFOMA端末に登録したデータを新機種へコピーする際に、新機種の仕様によってはコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末のメモリ残量が少ない場合、FOMAカード電話帳を表示できない場合があります。メモリの使用状況を確認する→P349

FOMA端末（本体）電話帳に登録する

FOMA端末（本体）電話帳の登録操作は次の流れで行います。

ステップ1	名前とフリガナを入力する→P104
ステップ2	役職を入力する→P104
ステップ3	電話番号と種別を入力する→P104
ステップ4	Eメールアドレスと種別を入力する→P105
ステップ5	URLを入力する→P105
ステップ6	指定着信音を設定する→P105
ステップ7	誕生日を入力する→P106
ステップ8	会社情報や個人情報を入力する→P106
ステップ9	メモを入力する→P107
ステップ10	静止画を設定する→P107
ステップ11	フォルダを選択して電話帳を登録する→P108

- 入力する項目や順番は、必要に応じて任意で行うことができます。必要な項目を入力して [↩] をタップすると、いつでも電話帳に登録できます。ただし、「名前」が入力されていない場合は電話帳に登録できません。

お知らせ

- 文字の入力方法については、「文字入力」を参照してください。→P516

ステップ1　名前とフリガナを入力する

登録する相手の名前とフリガナを入力します。

1　アプリケーション選択バーの（電話帳）▶メニューバーの「電話帳」▶「新規」を順にタップする



編集画面

2　「名前」欄をタップし、名前を入力▶名前のフリガナを確認する

- 名前は全角で16文字、半角で32文字まで入力できます。
- 名前を入力すると、自動的に名前のフリガナが入力されます。修正が必要な場合は、「フリガナ」欄をタップして修正してください。
- フリガナは、半角カタカナと半角英数字で32文字まで入力できます。

ステップ2　役職を入力する

登録する相手の役職や職種などを入力します。

3　「役職」欄をタップし、役職を入力する

- 全角／半角を問わず、127文字まで入力できます。

ステップ3　電話番号と種別を入力する

4　「電話(携帯)」欄の▼をタップし、電話番号の種別を選択する

電話　　　：種別を設定しません。
電話（携帯）：携帯電話の電話番号を入力します。
電話（会社）：会社の電話番号を入力します。
電話（自宅）：自宅の電話番号を入力します。
テレビ電話　：テレビ電話用の電話番号を入力します。

- 種別をメールまたはWebに変更して、EメールアドレスやURLを入力できます。

5 「電話(携帯)」欄をタップし、電話番号を入力する

2件目以降を登録する場合は、操作4、5を繰り返します。

- 26桁まで入力できます。
- 電話番号は市外局番から入力してください。
- ポーズ（「p」）やウェイト（「w」）、「+」「#」「＊」を入力できます。
  ポーズ（「p」）／ウェイト（「w」）の操作について→P78
- 電話番号の入力欄を追加できます。→P118
- 電話番号を電話帳一覧画面に表示するように設定できます。→P118

ステップ4　Eメールアドレスと種別を入力する

6 「メール(携帯)」欄の をタップし、Eメールの種別を選択する

メール（携帯）：携帯電話のEメールアドレスを入力します。
メール（会社）：会社のEメールアドレスを入力します。
メール（自宅）：自宅のEメールアドレスを入力します。

- 種別を電話またはWebに変更して、電話番号やURLを入力できます。

7 「メール(携帯)」欄をタップし、Eメールアドレスを入力する

2件目以降を登録する場合は、操作6、7を繰り返します。

- 半角英数字と半角記号で50文字まで入力できます。
- Eメールアドレスはドメイン名（「@」以降）まで正しく登録してください。
- Eメールアドレスの入力欄を追加できます。→P118

ステップ5　URLを入力する

会社や個人のホームページなど、登録する相手に関連するURLアドレスを入力できます。

8 「Web」欄をタップし、URLを入力する

- 半角英数字と半角記号で256文字まで入力できます。
- をタップして種別を電話またはメールに変更して、電話番号やEメールアドレスを入力できます。
- URLの入力欄を追加できます。→P118

ステップ6　指定着信音を設定する

登録する相手から電話を着信したときに鳴る着信音の種類を設定できます。ディスプレイを確認することなく、相手を認識できます。

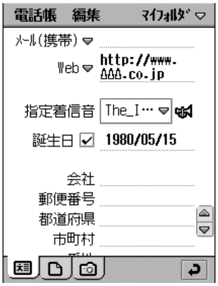
9 「指定着信音」欄をタップし、着信音を選択する

- をタップすると、選択した着信音を再生して確認できます。再生中に を押すと音量を変更でき、再生中に再度 をタップすると停止できます。

次のページへ続く●●●

ステップ7　誕生日を入力する

10 「誕生日」の□をタップする



11 「誕生日」欄の日付をタップし、誕生日を設定する

- 1900年1月1日から2100年12月31日までの間で設定できます。
- 日付の設定方法→P64

ステップ8　会社情報や個人情報を入力する

会社の名前や住所、自宅の住所など、登録する相手の情報を入力できます。入力欄が分かれているので、会社用と自宅用を分けて入力できます。

12 登録する項目欄をタップし、情報を入力する

会社　：会社名を入力します。
郵便番号　：会社や自宅の郵便番号を入力します。
都道府県　：会社や自宅の都道府県名を入力します。
市町村　：会社や自宅の市町村名を入力します。
番地　：会社や自宅の番地を入力します。
マンション：会社や自宅の建物名を入力します。
私書箱　：会社や自宅の私書箱を入力します。
国　：会社や自宅のある国名を入力します。

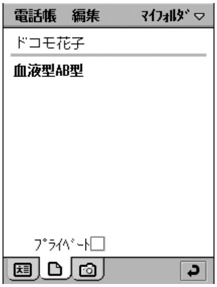
- 郵便番号以外の項目は全角／半角を問わず、127 文字まで入力できます。郵便番号は半角数字または記号で127文字まで入力できます。

ステップ9　メモを入力する

登録する相手に関するメモを入力できます。また、「プライベート」を設定することで、電話帳データをvCard（電子住所録）形式のファイルとして送信したり、デスクトップスイートを利用して同期させたとき、メモの内容が送信されないようにできます。

- メモを入力していない場合は、「プライベート」を設定しても電話帳データを登録すると自動的に解除されます。
- 「プライベート」を設定しても、SyncMLを利用してSyncMLサーバと同期させたとき、デスクトップスイートを利用して電話帳データのバックアップを行ったとき、または同期したデータを表示するアプリケーションによっては、メモが表示される場合があります。

13 「」タブをタップし、メモを入力する



- 入力できる文字数は、FOMA端末のメモリ残量により異なります。

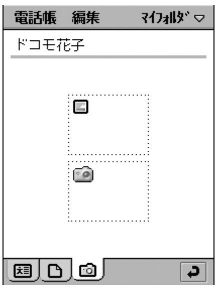
14 「プライベート」の□をタップする

☑が設定する、□が解除する状態です。

ステップ10　静止画を設定する

登録する相手から電話がかかってきたとき、着信中の画面に相手の静止画を表示するように設定できます。

15 「」タブをタップする



次のページへ続く

16 静止画を設定する

■保存されている静止画から選んで設定するとき

① をタップする



静止画が保存されているフォルダ名が表示されます。

設定可能な静止画が表示されます。

- 「フォルダ」欄をタップすると、フォルダを選択できます。
- 「サムネール ◯」をタップするとサムネール表示に、「リスト ◯」をタップするとリスト表示になります。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

② 静止画▶［選択］を順にタップする
設定した静止画が表示されます。

■設定する静止画をカメラで撮影するとき

① をタップする
静止画撮影画面が表示されます。

② 撮影する
撮影された静止画が表示されます。

- 静止画の撮影方法→P189

■設定した静止画を変更／取り直し／削除するとき

① 設定した静止画をタップする



画像の置き換え
：保存されている静止画から選択して変更します。
撮影：静止画を撮り直します。
画像の削除：静止画を削除します。

② 目的の動作をタップする

- 「画像の置き換え」をタップすると、静止画の選択画面が表示されます。
- 「撮影」をタップすると、静止画撮影画面が表示されます。
- 「画像の削除」をタップし、削除の確認画面で［はい］をタップすると、静止画未設定の画面に戻ります。

ステップ11　フォルダを選択して電話帳を登録する

17 メニューバーの「マイフォルダ」▶保存先のフォルダを順にタップする

- 保存先のフォルダを指定しない場合は、「マイフォルダ」に保存されます。
- フォルダを作成／編集／削除できます。→P341

18 をタップする

お知らせ

- 添付のFOMA M1000 用CD-ROM1には、電話帳データ用の静止画が保存されています。設定する場合は、FOMA端末にインストールしてください。→P586
- 電話帳データを登録中で何か入力しているときに、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの登録内容は自動的に保存されます。登録が途中の場合は、再度登録画面を表示して完了してください。→P370　ただし、何も入力されていない場合は、切り替わる前の内容は保存されません。
- Eメールに添付されてきた／Bluetooth経由で送信されてきたvCard（電子住所録）を、FOMA端末（本体）電話帳に登録できます。→P281、P511
- 選択した静止画のサイズが大きい場合は、サイズを縮小した状態で着信画面に表示されます。
- メニューバーの貼り付けを利用して入力したメールアドレスに利用できない記号が含まれている場合、Eメールを正しく送信できません。
- 静止画を設定する際、FOMA端末本体のメモリ容量が少ないときは、静止画が画像選択画面に表示されるまで時間がかかる場合があります。

FOMA カード電話帳登録

FOMA カード電話帳に登録する

FOMAカード電話帳の登録操作は次の流れで行います。

ステップ1	名前とフリガナを入力する→P109
↓	
ステップ2	電話番号を入力する→P110
↓	
ステップ3	Eメールアドレスを入力する→P110
↓	
ステップ4	電話帳を登録する→P110

- 入力する項目や順番は、必要に応じて任意で行うことができます。必要な項目を入力して [↵] をタップすると、いつでも電話帳に登録できます。ただし、「名前」が入力されていない場合は電話帳に登録できません。

お知らせ

- 文字の入力方法については、「文字入力」を参照してください。→P516

ステップ1　名前とフリガナを入力する

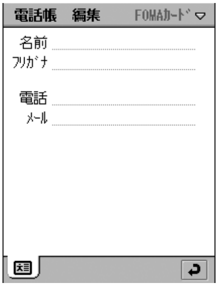
登録する相手の名前とフリガナを入力します。

1 **アプリケーション選択バーの [電話帳アイコン]（電話帳）▶メニューバーの「すべて」※▶「FOMA カード」を順にタップする**

※：前回、選択したフォルダ名が表示されます。

次のページへ続く

2 メニューバーの「電話帳」▶「新規」を順にタップする



3 「名前」欄をタップし、名前を入力▶名前のフリガナを確認する

- 名前は全角で10文字、半角英数字のみで21文字まで入力できます。全角と半角が混在している場合は、10文字まで入力できます。
- 名前を入力すると、自動的に名前のフリガナが入力されます。修正が必要な場合は、「フリガナ」欄をタップして修正してください。
- フリガナは全角カタカナで12文字、半角英数字のみで25文字まで入力できます。全角と半角が混在している場合は、12文字まで入力できます。

ステップ2　電話番号を入力する

1つの電話帳データに1件のみ入力できます。

4 「電話」欄をタップし、電話番号を入力する

- FOMAカード（緑色）をご利用の場合は40桁、FOMAカード（青色）をご利用の場合は20桁まで入力できます。→P53
- 電話番号は市外局番から入力してください。
- ポーズ（「p」）や「+」、「#」、「＊」を入力できます。
  ポーズ（「p」）の操作について→P78

ステップ3　Eメールアドレスを入力する

1つの電話帳データに1件のみ入力できます。

5 「メール」欄をタップし、Eメールアドレスを入力する

- 半角英数字と半角記号で50文字まで入力できます。
- Eメールアドレスはドメイン名（「@」以降）まで正しく登録してください。

ステップ4　電話帳を登録する

6 をタップする

■FOMA 端末（本体）電話帳／ FOMA カード電話帳の編集画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「電話帳」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「電話帳」

新規 . . . . P104、P109
検索 P113
電話帳を送信 P123
テキストで送信 P124
所有者情報として設定 P120
電話帳の削除 P119

「編集」

電話帳の編集 P117
FOMAカードへコピー P121
電話帳のコピー P123
切り取り P546
コピー P546
貼り付け P547
フィールドの追加 P118
電話番号の選択 P118
電話番号表示設定 P125

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。
- 詳細画面のメニューバーにも、同様の項目が表示されます。

お知らせ

- 次のような場合は、FOMA カード電話帳に登録できません。
  - FOMA カードを取り付けていないとき
  - PIN1 コードを有効に設定中で、電源入力時にPIN1 コードを入力していないとき
  - PIN コードがロックされているとき
  - FOMA カードがロックされているとき
- 電話帳データを登録中で何か入力しているときに、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの登録内容は自動的に保存されます。登録が途中の場合は、再度登録画面を表示して完了してください。→P370　ただし、何も入力されていない場合は、切り替わる前の内容は保存されません。
- メニューバーの貼り付けを利用して入力したメールアドレスに利用できない記号が含まれている場合、Eメールを正しく送信できません。

発信履歴や着信履歴などから電話帳に登録する

発信履歴や着信履歴、不在着信履歴に記録されている電話番号を、電話帳に登録できます。また、電話番号入力画面に入力中の電話番号や、受信したEメールのEメールアドレスを電話帳に登録することもできます。

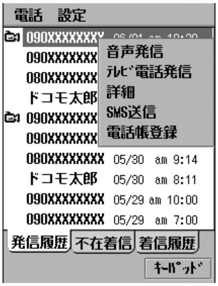
<例：発信履歴から登録するとき>

1 待受中に を押す ▶ 履歴画面で「発信履歴」タブをタップする

- 電話番号入力画面の表示→P70
- 着信履歴の表示→P84
- 不在着信履歴の表示→P86
- メールの表示→P286

次のページへ続く

2 登録する相手をタップする



3 「電話帳登録」をタップする



- 電話番号入力画面の場合は電話番号を入力し、メニューバーの「電話」➧「電話帳登録」を順にタップします。
- Eメールの場合はメール詳細画面を表示し、Eメールアドレス➧「電話帳登録」を順にタップします。

4 登録する

- 電話帳の登録方法→P103、P109

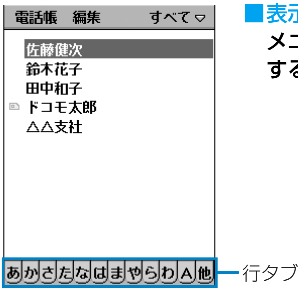
電話帳検索

電話帳から電話をかける

行から検索する

登録されているフリガナの先頭文字の行をタップするだけで、電話帳から目的のデータを検索します。

1 アプリケーション選択バーの（電話帳）をタップする



■表示するフォルダを切り替えるとき

メニューバーの「すべて」※➧表示するフォルダを順にタップする

※：前回、表示したフォルダ名が表示されます。

2 目的の行タブをタップする

タップした行の文字がフリガナの先頭文字になっている電話帳データにカーソルがあたります。

- 「A」タブをタップするとフリガナの先頭文字が英字、「他」タブをタップするとフリガナの先頭文字がカタカナ／英字以外の電話帳データにカーソルがあたります。

3 目的の電話帳データをタップする

電話帳データの詳細画面が表示されます。→P114

- を2回押すと、1件目に登録されている電話番号、または電話帳一覧画面に表示するように設定されている電話番号に音声電話をかけます。
- 登録されている他の電話番号に電話をかける場合は、詳細画面から選択します。→P114

検索

キーワードを入力して検索する

登録されている名前や電話番号、住所などをキーワードとして入力するだけで、電話帳から目的のデータを検索できます。

1 アプリケーション選択バーの（電話帳）▶メニューバーの「電話帳」▶「検索」を順にタップする

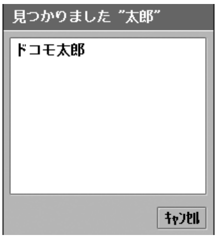


- をタップすると、以前に入力したキーワードが5件まで表示され、タップすると選択できます。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 キーワードを入力する

- 全角／半角を問わず、30文字まで入力できます。
- キーワードには、登録した文字列の一部だけを入力しても検索されます。

3 ［検索］をタップする



- ［キャンセル］をタップすると、検索結果画面を閉じます。

4 目的の電話帳データをタップする

電話帳データの詳細画面が表示されます。→P114

- を2回押すと、1件目に登録されている電話番号、または電話帳一覧画面に表示するように設定されている電話番号に音声電話をかけます。
- 登録されている他の電話番号に電話をかける場合は、詳細画面から選択します。→P114

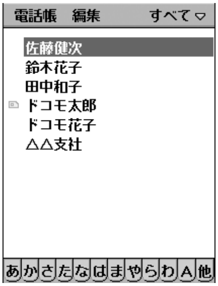
お知らせ

- 電話帳一覧画面でを押して電話帳データを選択してを押すと、次のような操作ができます。
  - 電話番号が登録されている場合は、1 件目に登録されている電話番号、または電話帳一覧画面に表示するように設定した電話番号が入力された電話番号入力画面が表示されます。
  - E メールアドレスのみが登録されている場合は、1 件目に登録されている E メールアドレスが宛先のメール作成画面が表示されます。
  - URLのみが登録されている場合は、登録されているURLにインターネット接続されます。

電話帳の登録内容を確認する

電話帳データの登録内容を表示して、電話番号を選択して電話をかけたり、メールを送信したりできます。URL を登録している場合は、そのインターネットホームページを表示することもできます。

1 アプリケーション選択バー (アプリケーションランチャー) ▶ (電話帳)を順にタップする



電話帳一覧画面

- FOMA カード電話帳に登録されている電話帳データには が表示されます。

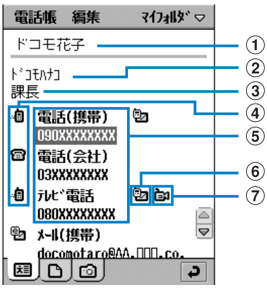
■表示するフォルダを切り替えるとき

メニューバーの「すべて」※▶表示するフォルダを順にタップする

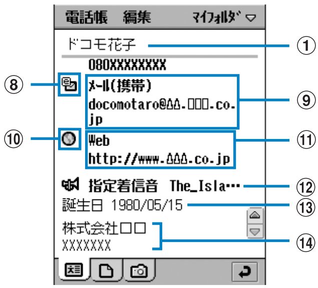
※：前回、表示したフォルダ名が表示されます。

2 表示する電話帳データをタップする

■FOMA 端末（本体）電話帳の詳細画面



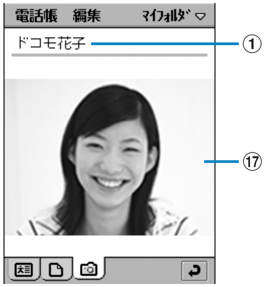
情報画面



情報画面（つづき）



メモ画面

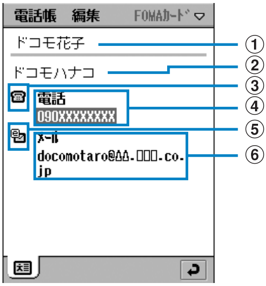


静止画画面

項　目	マーク	説　明
①名前	—	名前が表示されます。タップすると編集画面が表示され、修正ができます。→P117
②フリガナ	—	名前のフリガナが表示されます。
③役職	—	役職が表示されます。
④一般電話／携帯電話	／	電話番号の種別（一般電話／携帯電話（テレビ電話を含む））を示します。タップすると、選択した電話番号が入力された電話番号入力画面が表示されます。→P70
⑤電話番号と種別	—	電話番号と種別が表示されます。タップすると、選択した電話番号が入力された電話番号入力画面が表示されます。→P70
⑥ショートメッセージ（SMS）		種別を「電話（携帯）」に設定している場合に表示されます。タップすると、選択した電話番号を宛先にしたショートメッセージ（SMS）の作成画面が表示されます。→P301
⑦テレビ電話		タップすると、選択した電話番号が入力された電話番号入力画面が表示されます。→P70
⑧Eメール		タップすると、選択したEメールアドレスを宛先にしたEメールの作成画面が表示されます。→P262
⑨Eメールアドレスと種別	—	Eメールアドレスと種別が表示されます。タップすると、選択したEメールアドレスを宛先にしたEメールの作成画面が表示されます。→P262
⑩Web		タップすると、選択したURLにインターネット接続します。
⑪URL	—	URLアドレスが表示されます。タップすると、選択したURLにインターネット接続します。
⑫指定着信音	—	電話の着信時に鳴らす着信音が表示されます。
⑬誕生日	—	誕生日が表示されます。
⑭会社・個人情報	—	会社情報や個人情報が表示されます。
⑮メモ	—	メモが表示されます。
⑯プライベート	—	プライベートの設定状況が表示されます。
⑰静止画	—	電話の着信時に表示される静止画が表示されます。

次のページへ続く

■FOMAカード電話帳の詳細画面



項　目	マーク	説　明
①名前	—	名前が表示されます。タップすると編集画面が表示され、修正ができます。→P117
②フリガナ	—	名前のフリガナが表示されます。
③音声電話	☎	タップすると、選択した電話番号が入力された電話番号入力画面が表示されます。→P70
④電話番号	—	電話番号が表示されます。タップすると、選択した電話番号が入力された電話番号入力画面が表示されます。→P70
⑤Eメール	(Eメールマーク)	タップすると、選択したEメールアドレスを宛先にしたEメールの作成画面が表示されます。→P262
⑥Eメールアドレス	—	Eメールアドレスが表示されます。タップすると、選択したEメールアドレスを宛先にしたEメールの作成画面が表示されます。→P262

■電話帳一覧画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「電話帳」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「電話帳」

新規 . . . . P104、P109
検索 P113
全削除 P119
FOMAカードにすべてコピー※1、2 . . . . P122
FOMAカードにすべて移動※1、2 . . . . P122
フォルダ送信 P124
所有者情報送信. P120
所有者情報表示. P120

「編集」

削除を元に戻す P119
電話帳の貼り付け P123
電話番号表示設定 P125

※1：「FOMA カード」のフォルダ表示中は「マイフォルダにすべてコピー」／「マイフォルダにすべて移動」と表示されます。→P122

※2：「すべて」のフォルダ表示中は「フォルダのコピー」／「フォルダを移動」と表示されますが、選択できません。

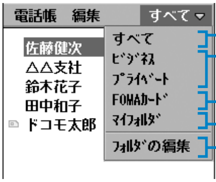
- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。
- 詳細画面でのメニューバーの項目は、編集画面と同じです。→P111

電話帳データをフォルダ別に表示する

フォルダを指定して電話帳データを登録した場合は、フォルダを切り替えることでそれぞれのフォルダに登録されている電話帳データだけを表示できます。

1 電話帳一覧画面でメニューバーの「すべて」※をタップする

※：前回、選択したフォルダ名が表示されます。



- 電話帳一覧画面の表示方法→P114

すべての電話帳データを表示します。
お買い上げ時に設定されているフォルダです。
各フォルダにある電話帳データを表示します。
FOMAカードにある電話帳データを表示します。
フォルダを指定しないで登録した電話帳データを表示します。
フォルダの作成／編集／削除をします。→P341

2 表示するフォルダをタップする

お知らせ

- 電話帳データの詳細画面に表示される項目は、登録内容により異なります。
- 電話帳データに登録されている静止画のサイズや登録内容のデータ量などにより、表示に時間がかかる場合があります。
- FOMA 端末のメモリ残量が少ない場合、FOMA カード電話帳を表示できない場合があります。メモリの使用状況を確認する→P349

電話帳の修正

電話帳を修正する

登録した電話帳データの内容を修正できます。

1 電話帳一覧画面で修正する電話帳データをタップする

- 電話帳一覧画面の表示方法→P114

2 詳細画面でメニューバーの「編集」▶「電話帳の編集」を順にタップする

3 編集画面で内容を修正し、⏎をタップする

- 電話帳の登録方法→P103、P109

お知らせ

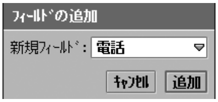
- 名前を修正してもフリガナは自動的に修正されません。
- 登録されている１件目の電話番号／Ｅメールアドレスを削除した場合、登録したときに２件目、３件目が１件目、２件目として自動的に登録し直されます。ただし、種別が変更されている場合は、削除した欄は空欄のままになります。

フィールドの追加

電話番号／Eメールアドレス／URLの入力欄を追加する

電話番号やEメールアドレス、URLの入力欄を追加できます。入力欄が足りなくなったときなどに便利です。

1 編集画面でメニューバーの「編集」▶「フィールドの追加」を順にタップする



- 編集画面の表示方法→P117
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 「新規フィールド」欄をタップし、種別を選択▶［追加］をタップする

追加された入力欄には「(new field)」と入力されています。

- 追加した入力欄に電話番号やＥメールアドレス、URLを入力する場合は、「(new field)」を削除してから入力してください。

お知らせ

- FOMAカード電話帳に登録されている電話帳データには、フィールドを追加できません。
- フィールドの追加を設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

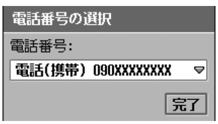
電話番号の選択

電話番号を一覧画面に表示するように設定する

電話帳一覧画面に表示する電話番号を設定します。設定した電話番号は、電話帳一覧画面や電話帳データの詳細画面を表示してを2回押すだけで、その番号に電話をかけることができます。

- 電話番号が入力されていない場合は設定できません。
- 電話番号表示設定を表示するように設定すると、電話帳一覧画面に電話番号が表示されます。→P125

1 編集画面でメニューバーの「編集」▶「電話番号の選択」を順にタップする



- 編集画面の表示方法→P117

2 「電話番号」欄をタップし、電話番号を選択▶［完了］をタップする

お知らせ

- 電話番号の選択中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

電話帳の削除

電話帳を削除する

電話帳に登録した電話帳データを削除します。また、フォルダごとにまとめて削除することもできます。

電話帳の削除

1件の登録内容を削除する

削除する電話帳データを表示してから削除します。

1 **電話帳一覧画面で削除する電話帳データをタップし、詳細画面でメニューバーの「電話帳」▶「電話帳の削除」を順にタップする**

- 電話帳一覧画面の表示方法→P114

全削除

フォルダ内のすべての登録内容を削除する

フォルダ内に登録されているすべての電話帳データをまとめて削除します。

- 削除した電話帳データは、元に戻すことができません。

1 **電話帳一覧画面でメニューバーの「すべて」※▶削除するフォルダを順にタップする**

※：前回、選択したフォルダ名が表示されます。

- 電話帳一覧画面の表示方法→P114

2 **メニューバーの「電話帳」▶「全削除」を順にタップする**

3 **削除の確認画面で［はい］をタップする**

- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

- 選択したフォルダに所有者情報として設定した電話帳データがある場合、そのデータも削除されます。

削除を元に戻す

削除した登録内容を元に戻す

削除した電話帳データを元に戻すことができます。

- フォルダ内の電話帳データをまとめて削除した場合は、元に戻すことができません。

1 **電話帳データを削除する**

- 電話帳データの削除方法→P119

2 **電話帳一覧画面でメニューバーの「編集」▶「削除を元に戻す」を順にタップする**

削除した電話帳データが元に戻り、電話帳一覧画面に表示されます。

所有者情報として設定

所有者情報を設定する

自分の名前や連絡先などの個人情報を入力した電話帳データを「所有者情報」として設定すると、簡単に他の人と連絡先を交換できます。

- Eメールの送信時に、常に所有者情報を添付するように設定できます。→P300

1 設定する電話帳データの詳細画面でメニューバーの「電話帳」▶「所有者情報として設定」を順にタップする

- 詳細画面の表示方法→P114

お知らせ

- FOMAカード電話帳に登録されている電話帳データは、所有者情報として設定できません。

所有者情報表示

所有者情報を表示する

所有者情報として登録した電話帳データを確認します。

1 電話帳一覧画面でメニューバーの「電話帳」▶「所有者情報表示」を順にタップする

所有者情報として登録した電話帳データの詳細画面が表示されます。

- 電話帳一覧画面の表示方法→P114

所有者情報送信

所有者情報を送信する

所有者情報として登録した電話帳データを、EメールやBluetooth経由で送信できます。

1 電話帳一覧画面でメニューバーの「電話帳」▶「所有者情報送信」を順にタップする

送信形式

メール　　：Eメールに添付して送信します。
Bluetooth：Bluetoothで送信します。

- 電話帳一覧画面の表示方法→P114

2 送信画面で「送信形式」欄をタップし、送信方法を選択▶[完了]をタップする

- [キャンセル]をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

- メールアカウントが未設定の場合は、「送信形式」欄に「メール」は表示されません。また、無線LAN接続中は、「Bluetooth」が表示されません。
- Eメール作成→P262
- Bluetooth通信→P510

- デスクトップスイート／SyncMLによってパソコンと同期させたメールアカウントがある場合は、「送信形式」欄に「PC Mail」が表示されます。デスクトップスイート／SyncML→P587

電話帳の登録内容をコピー／移動する

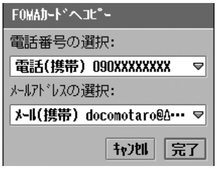
FOMA端末（本体）電話帳に登録されている電話帳データを、FOMAカードや別フォルダにコピー／移動します。また、FOMAカード電話帳に登録されている電話帳データを、FOMA端末（本体）電話帳にコピー／移動することもできます。

FOMAカードへコピー

FOMA端末からFOMAカードへコピーする

FOMA端末（本体）電話帳の電話帳データをFOMAカードにコピーします。FOMAカード電話帳へは、1つの電話帳データに電話番号、Eメールアドレスをそれぞれ1件のみコピーできます。

1 コピーする電話帳データの詳細画面でメニューバーの「編集」▶「FOMAカードへコピー」を順にタップする



- 詳細画面の表示方法→P114
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 「電話番号の選択」欄をタップし、コピーする電話番号を選択する

- 電話番号が登録されていない場合は、「電話番号の選択」欄をタップできません。

3 「メールアドレスの選択」欄をタップし、コピーするEメールアドレスを選択する

- Eメールアドレスが登録されていない場合は、「メールアドレスの選択」欄をタップできません。

4 ［完了］をタップする

5 FOMAカード電話帳の編集画面で ↩ をタップする

お知らせ

- 電話帳データをFOMAカードへコピー中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、電話帳データはFOMAカードにコピーされませんのでご注意ください。

FOMAカードにすべてコピー／FOMAカードにすべて移動

フォルダ内からFOMAカードへコピー／移動する

フォルダ内のすべての電話帳データを、FOMAカード電話帳にコピー／移動できます。

1 電話帳一覧画面でメニューバーの「すべて」※▶送信するフォルダを順にタップする

※：前回、選択したフォルダ名が表示されます。

- 電話帳一覧画面の表示方法→P114

2 メニューバーの「電話帳」▶「FOMAカードにすべてコピー」／「FOMAカードにすべて移動」を順にタップする

FOMAカードにすべてコピー：FOMAカード電話帳にコピーします。
FOMAカードにすべて移動：FOMAカード電話帳に移動します。

3 コピー／移動の確認画面で[はい]をタップする

- 名前、フリガナ、1件目または電話帳一覧画面に表示するように設定されている電話番号、1件目のEメールアドレスがコピー／移動されます。
- FOMA カード電話帳が 50 件に達した場合は、以降の電話帳はコピー／移動されません。
- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

マイフォルダにすべてコピー／マイフォルダにすべて移動

FOMAカード電話帳からマイフォルダへコピー／移動する

FOMAカード電話帳のすべての電話帳データを、FOMA端末（本体）電話帳のマイフォルダにコピー／移動できます。

1 電話帳一覧画面でメニューバーの「すべて」※▶「FOMAカード」を順にタップする

※：前回、選択したフォルダ名が表示されます。

- 電話帳一覧画面の表示方法→P114

2 メニューバーの「電話帳」▶「マイフォルダにすべてコピー」／「マイフォルダにすべて移動」を順にタップする

マイフォルダにすべてコピー：FOMA 端末（本体）電話帳のマイフォルダにコピーします。
マイフォルダにすべて移動：FOMA端末（本体）電話帳のマイフォルダに移動します。

3 コピー／移動の確認画面で[はい]をタップする

- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

電話帳のコピー

登録内容を別のフォルダにコピーする

電話帳データを、別のフォルダにコピーできます。

1 **コピーする電話帳データの詳細画面でメニューバーの「編集」➡「電話帳のコピー」を順にタップする**

- 詳細画面の表示方法→P114

2 **電話帳一覧画面でメニューバーの「すべて」※➡コピー先のフォルダを順にタップする**

※：前回、選択したフォルダ名が表示されます。

- 電話帳一覧画面の表示方法→P114

3 **メニューバーの「編集」➡「電話帳の貼り付け」を順にタップする**

電話帳の登録内容を送信する

電話帳データをEメールやBluetooth経由で送信できます。

電話帳を送信

登録内容をvCardとして送信する

電話帳データをvCard（電子住所録）形式のファイルとして、EメールやBluetooth経由で送信できます。

1 **送信する電話帳データの詳細画面でメニューバーの「電話帳」➡「電話帳を送信」を順にタップする**

送信形式

メール　：Eメールに添付して送信します。
Bluetooth　：Bluetoothで送信します。

- 詳細画面の表示方法→P114

2 **送信画面で「送信形式」欄をタップし、送信方法を選択➡[完了]をタップする**

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

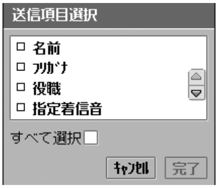
お知らせ

- メールアカウントが未設定の場合は、「送信形式」欄に「メール」は表示されません。また、無線LAN接続中は、「Bluetooth」が表示されません。
- Eメール作成→P262
- Bluetooth通信→P510
- デスクトップスイート／SyncMLによってパソコンと同期させたメールアカウントがある場合は、「送信形式」欄に「PC Mail」が表示されます。デスクトップスイート／SyncML→P587

テキストで送信
登録内容をテキストとして送信する

電話帳データをEメールのメッセージ内にテキストとして挿入して送信できます。

1 送信する電話帳データの詳細画面でメニューバーの「電話帳」▶「テキストで送信」を順にタップする



- 詳細画面の表示方法→P114
- 「すべて選択」の□をタップすると、すべての項目を選択できます。
- 表示される項目は、選択した電話帳データの登録内容により異なります。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 テキストとして挿入する項目▶［完了］を順にタップする

送信形式

メール　：Eメールに添付して送信します。

3 送信画面で［完了］をタップする

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

- メールアカウントが未設定の場合は、「送信形式」欄に「メール」は表示されません。
- Eメール作成→P262
- デスクトップスイート／SyncMLによってパソコンと同期させたメールアカウントがある場合は、「送信形式」欄に「PC Mail」が表示されます。デスクトップスイート／SyncML→P587

フォルダ送信
フォルダ内の登録内容を送信する

フォルダ内のすべての電話帳データを、EメールやBluetooth経由で送信できます。

1 電話帳一覧画面でメニューバーの「すべて」※▶送信するフォルダを順にタップする

※：前回、選択したフォルダ名が表示されます。

- 電話帳一覧画面の表示方法→P114

2 メニューバーの「電話帳」▶「フォルダ送信」を順にタップする

送信形式

メール　　：Eメールに添付して送信します。
Bluetooth：Bluetoothで送信します。

3 送信画面で「送信形式」欄をタップし、送信方法を選択▶［完了］をタップする

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

- メールアカウントが未設定の場合は、「送信形式」欄に「メール」は表示されません。また、無線LAN接続中は、「Bluetooth」が表示されません。
- Eメール作成→P262
- Bluetooth通信→P510
- デスクトップスイート／SyncMLによってパソコンと同期させたメールアカウントがある場合は、「送信形式 」欄に「PC Mail」が表示されます。デスクトップスイート／SyncML→P587

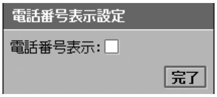
電話番号表示設定

一覧画面に電話番号を表示する

お買い上げ時 □

「電話番号の選択」で設定した電話番号を、電話帳一覧に表示するように設定します。

1 電話帳一覧画面でメニューバーの「編集」◆「電話番号表示設定」を順にタップする



電話番号表示

：電話帳一覧に表示するように設定した電話番号の表示を有効にするかしないかを設定します。
☑が有効、□が無効の状態です。

- 電話帳一覧画面の表示方法→P114

2 「電話番号表示」の□をタップする

3 [完了]をタップする

お知らせ

- 「電話番号の選択」を設定していない電話帳データの場合、電話帳一覧画面には 1 件目の電話番号が表示されます。

音／画面／照明設定

■音の設定

■画面／照明の設定

携帯電話から鳴る着信音を変える

電話がかかってきたときや、メールを受信したときなどに鳴る着信音を設定します。

- FOMA端末（本体）電話帳に登録されている個々の電話帳データに指定着信音を設定することもできます。→P105

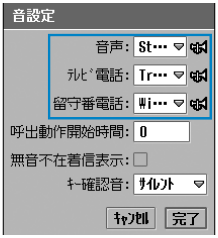
音設定

電話を受けたときの着信音を設定する

お買い上げ時	音声：Standard.mid　テレビ電話：Triads.mid　留守番電話：Wind_Chimes.mid

音声電話やテレビ電話がかかってきたときに鳴らす着信音の種類を選択できます。また、留守番電話に新しい伝言メッセージが録音されたことを知らせる着信音の種類も設定できます。

1　アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「音設定」を順にタップする



音声　：音声電話がかかってきたときに鳴る着信音を選択します。
テレビ電話　：テレビ電話がかかってきたときに鳴る着信音を選択します。
留守番電話　：留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが録音されたことをお知らせする着信音を選択します。

- をタップすると、選択した着信音を再生して確認できます。再生中にを押すと音量を変更でき、再生中に再度をタップすると停止できます。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2　設定する項目欄をタップし、着信音を選択する

3　［完了］をタップする

お知らせ

- FOMA端末（本体）電話帳で指定着信音を設定した相手から音声電話／テレビ電話がかかってきた場合は、指定着信音が鳴ります。ただし、相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、本機能で設定した着信音が鳴ります。
- アラートモードを「音を鳴らす」以外に設定している場合や、マナーモードを設定している場合は着信音が鳴りません。ただし、マナーモードの動作を変更している場合は、その設定に従います。
- 着信音を設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

メールを受信したときの着信音を設定する

お買い上げ時	SMSアカウント：Bits_n_Bytes.mid　配信レポート：Bits_n_Bytes.mid Eメールアカウント：Harmonics.mid

Eメールやショートメッセージ（SMS）を受信したときに鳴らす着信音の種類を選択できます。

1 **アプリケーション選択バーの（メール）▶メニューバーの「編集」▶「ユーザ設定」を順にタップする**



SMS：ショートメッセージ（SMS）を受信したときに鳴る着信音を選択します。

配信レポート

：ショートメッセージ（SMS）の送達通知を受信したときに鳴る着信音を選択します。

（ご契約のEメールアカウント名）

：Eメールを受信したときに鳴る着信音を選択します。

- メールアカウントを設定していない場合、ご契約のEメールアカウント名は表示されません。

- をタップすると、選択した着信音を再生して確認できます。再生中にを押すと音量を変更でき、再生中に再度をタップすると停止できます。
- 他のEメールアカウントを登録している場合は、そのアカウント名も表示されます。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 **設定する項目欄をタップし、着信音を選択する**

3 **［完了］をタップする**

お知らせ

- アラートモードを「音を鳴らす」以外に設定している場合や、マナーモードを設定している場合は着信音が鳴りません。ただし、マナーモードの動作を変更している場合は、その設定に従います。
- 着信音を設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

着信音一覧

お買い上げ時のFOMA端末には、次の着信音が保存されています。

- 着信音は、登録して増やすことができます。→P131
- ファイル名が表示しきれない場合は、ファイル名の一部が「･･･」と表示されます。

ファイル名	曲　名	作曲者
1812_Overture.mid	1812 OVERTURE	TCHAIKOVSKY PETER
Alert.mid	—	—
Bells.mid	—	—
Big_Brass.mid	—	—
Bits_n_Bytes.mid	—	—

次のページへ続く

ファイル名	曲　名	作曲者
Blues.mid	BLUES	—
Boogie_Swing.mid	BOOGIE SWING	—
Bumblebee.mid	FLIGHT OF BUMBLE BEE	RIMSKY KORSAKOFF NIKOLAI ANDREJ
Clair_de_Lune.mp3	CLAIR DE LUNE	DEBUSSY CLAUDE ACHILLE
Cosmic.mid	—	—
Ding.mid	—	—
Door_Bell.mid	—	—
Harmonics.mid	—	—
Interlude.mid	—	—
Mandolin_Concerto.mid	MANDOLIN CONCERTO	VIVALDI ANTONIO LUCIO
Moonlight_Sonata.mid	MOONLIGHT SONATA	BEETHOVEN VAN LUDWIG
Polonaise_Afl.mid	POLONAISE IN A FLAT	CHOPIN FREDERIC FRANCOIS
Provincial.mid	—	—
Random.mid	—	—
Rondo_ala_Turca.mid	RONDO ALA TURCA	WOLFGANG AMADEUS MOZART
Snaggle.mid	—	—
Sonata_in_C.mid	SONATA IN C	WOLFGANG AMADEUS MOZART
Standard.mid	—	—
Symphony_Gm.mid	SYMPHONY IN G MINOR	WOLFGANG AMADEUS MOZART
The_Islands.mp3	THE ISLANDS	—
Triads.mid	—	—
Up_and_Down.mid	—	—
Wind_Chimes.mid	—	—
Zarathustra.mid	ALSO SPRACH ZARATHUSTRA	STRAUSS RICHARD (DE)

お知らせ

- 添付のFOMA M1000 用CD-ROM1 には、着信音一覧にある着信音とは別の着信音用ファイルが保存されています。着信音として利用する場合は、FOMA端末にインストールしてください。→P586

着信音を登録する

ダウンロード／インストールした音楽ファイルを電話やメールの着信音に設定するには、あらかじめ着信音として登録する必要があります。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）➧（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「一般」タブ➧「着信音選択」を順にタップする**



着信音選択画面

- 着信音➧ ▶ を順にタップすると、選択した着信音を再生します。再生中に ■ をタップすると停止します。
- 着信音➧[送信]を順にタップすると、着信音をEメールまたはBluetooth経由で送信できます。→P262、P510

2 **[インストール]をタップする**



- 「フォルダ」欄をタップすると、フォルダを選択できます。
- 着信音➧ ▶ を順にタップすると、選択した着信音を再生します。再生中に ■ をタップすると停止します。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 **登録する着信音をタップする**

4 **[選択]をタップし、お知らせ画面で[続行]をタップする**

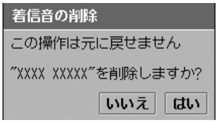
お知らせ

- 着信音に設定できる音楽ファイルは次のとおりです。
  最大和音数：16
  ファイル形式：MP3、MIDI、WAV、AMR、3GA、WMA、XMF

着信音を削除する

ダウンロードやインストールして着信音に登録したファイルを削除します。
- お買い上げ時に保存されている着信音は削除できません。

1 着信音選択画面で削除する着信音▶[削除]を順にタップする



- 着信音選択画面の表示方法→P131
- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

2 [はい]をタップする

サイレント

着信音を鳴らさないようにする

お買い上げ時	アラートモード：◉ 音を鳴らす

電話がかかってきたときやメールを受信したときなど、アラートモードをサイレントに設定して着信音を鳴らさないように設定できます。

1 ステータスバーのをタップし、アラートモード画面で「◯ サイレント」▶[決定]を順にタップする

アラートモードが「サイレント」に設定され、ステータスバーに が表示されます。
- 「◯ 音を鳴らす」をタップすると着信音を鳴らすように、「◯ バイブレータ」をタップすると着信音を振動で知らせるように設定します。
- アラートモード画面で［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

- ドライブモードやマナーモードを設定中は、アラートモードを変更できません。
- サイレントを設定中は、タッチスクリーンをタップしたときや、FOMA端末のキーを押したときの音は鳴りません。
- サイレントを設定中にアラームやスケジュール、ToDoリストのアラーム時刻になると、アラーム音は鳴らずにアラーム画面が表示されます。

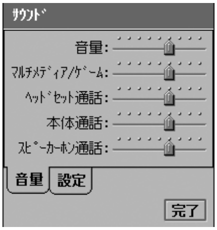
サウンド

携帯電話から鳴る音の音量を変える

お買い上げ時	すべて6段階目

電話着信時やメール受信時の着信音量、通話中の受話音量、スピーカーホン機能利用時のスピーカーホン音量、マルチメディア／ゲーム利用時の再生音量など、各種音量を調節できます。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）➡（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ➡「サウンド」を順にタップする



音量　：電話着信時やメール受信時の着信音量を調節します。

マルチメディア／ゲーム
：動画ファイルや音楽ファイル、音声メモ再生時の音量や、ゲーム中の音量を調節します。

ヘッドセット通話
：別売りのスイッチ付イヤホンマイク利用時の受話音量を調節します。

本体通話
：受話音量を調節します。

スピーカーホン通話
：スピーカーホン機能利用時のスピーカー音量を調節します。

2 設定する項目のスライダーをドラッグし、音量を調節する

- 各音量は1（最小）～9（最大）の9段階で調節できます。
- 「マルチメディア／ゲーム」の場合は、0（無音）～8（最大）の9段階で調節できます。

3 [完了]をタップする

お知らせ

- 次の音の音量は、「音量」の設定に従います。
  - スケジュールやToDoリストなどの各種アラーム音
  - 留守番電話の伝言メッセージが録音されたことをお知らせする着信音

画面タップ／ボタン確認音／マルチメディア バイブ

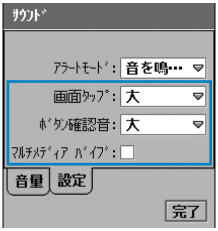
タップしたときやキーを押したときの音量を調節する

お買い上げ時	画面タップ：大　ボタン確認音：大　マルチメディア バイブ：□

タッチスクリーンをタップしたときや、FOMA端末のキーを押したときに鳴る音の音量を調節します。また、着信音やアラーム音、音楽、動画、ゲームなどの音にあわせて、FOMA端末を振動させるように設定することもできます（マルチメディア バイブ）。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「サウンド」を順にタップする

2 サウンド画面で「設定」タブをタップする



画面タップ　：タッチスクリーンをタップしたときに鳴る音の音量を「大」「小」「OFF」から選択します。「OFF」を選択すると、音を鳴らさないようにします。

ボタン確認音　：FOMA端末のキーを押したときに鳴る音の音量を「大」「小」「OFF」から選択します。「OFF」を選択すると、音を鳴らさないようにします。

マルチメディア バイブ
：マルチメディア バイブを有効にするかしないかを設定します。
☑が有効、□が無効の状態です。

3 各項目を設定する

- 「画面タップ」「ボタン確認音」
  ：項目欄をタップし、項目を選択します。
- 「マルチメディア バイブ」
  ：□／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。

4 ［完了］をタップする

お知らせ

- ドライブモードやマナーモードを設定中は、画面タップ／ボタン確認音の音量を調節したり、マルチメディア バイブを設定したりすることができません。
- Bluetoothヘッドセットを利用しているときは、マルチメディア バイブを有効に設定している場合でも、FOMA端末が振動しません。
- 画面タップ／ボタン確認音／マルチメディア バイブを設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

バイブレータ

着信やアラームを振動で知らせる

お買い上げ時	アラートモード：◉ 音を鳴らす

電話がかかってきたときやメールを受信したときなど、アラートモードをバイブレータにして振動でお知らせするように設定できます。

- バイブレータを設定中は、FOMA 端末が振動により机の上などから落下する恐れがありますのでご注意ください。

1 ステータスバーの をタップし、アラートモード画面で「◯ バイブレータ」▶[決定] を順にタップする

アラートモードが「バイブレータ」に設定され、ステータスバーに が表示されます。

- 「◯ 音を鳴らす」をタップすると着信音を鳴らすように、「◯ サイレント」をタップすると着信音を鳴らさないように設定します。
- アラートモード画面で［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

- ドライブモードやマナーモードを設定中は、アラートモードを変更できません。
- バイブレータを設定中は、タッチスクリーンをタップしたときや、FOMA 端末のキーを押したときの音は鳴りません。
- バイブレータを設定中にアラームやスケジュール、ToDo リストのアラーム時刻になると、アラーム音は鳴らずにFOMA 端末が振動し、アラーム画面が表示されます。
- バイブレータを設定中にFOMA 端末にACアダプタなどを接続して充電を開始すると、バイブレータが一時的に解除され、アラートモードが自動的に「音を鳴らす」に設定されます。FOMA 端末からACアダプタなどを外すと、アラートモードの設定が「バイブレータ」に戻ります。

振動のパターンを設定する

お買い上げ時	Vibe_fast

アラートモードやマナーモードのバイブレータの振動パターンを設定できます。

1 アプリケーション選択バーの (アプリケーションランチャー)▶ (コントロールパネル)を順にタップし、コントロールパネル画面で「一般」タブ▶「着信音選択」を順にタップする

2 着信音選択画面で「バイブレータ」タブをタップする



- 振動パターン▶ ▶ を順にタップすると、選択した振動パターンで３回振動します。振動中に ■ をタップすると停止します。

次のページへ続く ●●•

3 設定する振動パターンをタップする

4 [完了]をタップする

キー確認音

電話番号入力音を設定する

お買い上げ時 | サイレント

電話番号入力画面で［0］～［9］、［＊］、［#］のキーをタップしたときに鳴る音を設定します。また、音の代わりに振動させたり、無音にしたりすることもできます。

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「音設定」を順にタップする

2 音設定画面で「キー確認音」欄をタップし、設定する項目を選択する

バイブレータ：FOMA端末を振動させます。
プッシュ音：通常の電話番号入力音です。
ビープ音：電話番号入力音をビープ音にします。
サイレント：電話番号入力音を消音にします。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 [完了]をタップする

お知らせ

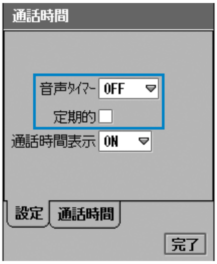
- マナーモードを設定中は、マナーモードの動作を「着信音」と「キーパッド確認音」が鳴るように設定している場合のみ、本機能のすべての設定が有効になります。マナーモードの動作をそれ以外に設定している場合、本機能は「バイブレータ」または「サイレント」の設定のみ有効になります。
- アラートモードを「サイレント」または「バイブレータ」に設定中、またはドライブモードを設定中の場合、本機能は「バイブレータ」または「サイレント」の設定のみ有効になります。
- Bluetoothヘッドセットを利用しているときは、本機能を「バイブレータ」に設定している場合でも、FOMA端末が振動しません。
- キー確認音を設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

音声タイマー
通話時間の経過を音で知らせる

お買い上げ時	音声タイマー：OFF

通話中に一定時間が経過すると、音声タイマー（プー）を鳴らしてお知らせするように設定できます。また、音声タイマーを定期的に鳴らすようにも設定できます。

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「通話時間」を順にタップする



音声タイマー：音声タイマーを鳴らす時間を選択します。「OFF」を選択すると、音声タイマーは鳴りません。

定期的：音声タイマーを設定した時間ごとに定期的に鳴らすかどうかを設定します。☑が定期的に鳴らす、☐が一度だけ鳴らす状態です。

2 各項目を設定する

- 「音声タイマー」
  ：項目欄をタップし、項目を選択します。
- 「定期的」
  ：☐／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は☐の状態にします。

3 ［完了］をタップする

マナーモード
電話から鳴る音を消す

着信音や電話番号入力音、タップ音など、FOMA端末から聞こえる音を鳴らさないようにすることで、周囲の迷惑にならないようにします。

- マナーモードを設定中の動作は変更できます。→P138

1 ホーム画面を表示中に を1秒以上押す

- ステータスバーに が表示されます。
- ホーム画面の表示方法→P139

■マナーモードを解除するとき

ホーム画面を表示中に を1秒以上押す

お知らせ

- ステータスバーの をタップし、アラートモード画面で「マナーモード」の☐▶［決定］を順にタップしても設定できます。
- マナーモードを設定中でも、静止画や動画の撮影時にはシャッター音が鳴ります。また、音設定などで選択した着信音を確認したり、音楽を再生したりした場合は、着信音や音楽が再生されます。

次のページへ続く

- ドライブモードと同時に設定中は、ドライブモードが優先して動作します。

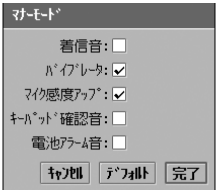
マナーモードを変更する

お買い上げ時	着信音：☐　バイブレータ：☑　マイク感度アップ：☑　キーパッド確認音：☐　電池アラーム音：☐

マナーモードを設定したときの動作を変更します。

- マナーモードを設定中は変更できません。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「マナーモード」を順にタップする



着信音　：着信音を鳴らすかどうかを設定します。
☑が鳴らす、☐が鳴らさない状態です。

バイブレータ：バイブレータを動作させるかさせないかを設定します。
☑が振動させる、☐が振動させない状態です。
- 「着信音」を鳴らすように設定中は、バイブレータは動作しません。バイブレータを動作させる場合は、「着信音」を鳴らさないように設定してください。

マイク感度アップ
：通話中のマイク感度を上げ、小さい声で話しても相手には普通の大きさに聞こえるようにするかしないかを設定します。
☑が設定する、☐が設定しない状態です。

キーパッド確認音
：タッチスクリーンをタップしたときや、FOMA端末のキーを押したときに音を鳴らすかどうかを設定します。
☑が鳴らす、☐が鳴らさない状態です。
- 「着信音」を鳴らさないように設定中は、タッチスクリーンをタップしたときやFOMA端末のキーを押したときに音は鳴りません。鳴らす場合は、「着信音」を鳴らすように設定してください。

電池アラーム音
：電池残量が少なくなったときに電池アラーム音を鳴らすかどうかを設定します。
☑が鳴らす、☐が鳴らさない状態です。
- 「着信音」を鳴らさないように設定中は、電池アラーム音は鳴りません。電池アラーム音を鳴らす場合は、「着信音」を鳴らすように設定してください。

- ［デフォルト］をタップすると、お買い上げ時の設定に戻します。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 設定する項目欄をタップして設定する

3 [完了]をタップする

お知らせ

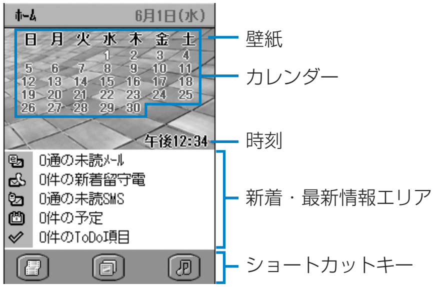
- マナーモードの動作を設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

待受画面設定

ホーム画面の表示を変える

ホーム画面の壁紙やカレンダー、時刻、新着・最新情報の表示を変更できます。また、ショートカットキーに登録されているアプリケーションを変更できます。

- ホーム画面を表示するときは、アプリケーション選択バーの（ホーム）をタップするか、を押します。



ホーム画面

- 壁紙を設定する→P141
- カレンダーを表示する→P142
- 時刻を表示する→P143
- 新着・最新情報エリアの表示を変更する→P140
- ショートカットキーのアプリケーションを変更する→P141

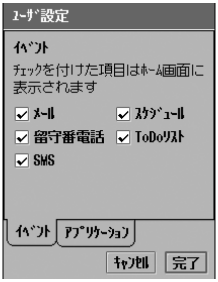
イベント

新着・最新情報エリアの表示を設定する

お買い上げ時 全項目：☑

新着・最新情報エリアに、新着・未読のメールや登録したToDoリストなどの件数情報などを表示できます。→P42

1 ホーム画面でメニューバーの「ホーム」▶「ユーザ設定」を順にタップする



メール：新着・未読のEメールの件数を表示するかしないかを設定します。
☑が表示する、□が表示しない状態です。

留守番電話：留守番電話の伝言メッセージの新着件数を表示するかしないかを設定します。
☑が表示する、□が表示しない状態です。

SMS：新着ショートメッセージ（SMS）の件数を表示するかしないかを設定します。
☑が表示する、□が表示しない状態です。

スケジュール：スケジュールの登録情報を表示するかしないかを設定します。
☑が表示する、□が表示しない状態です。

ToDoリスト：実行中のToDoリストの件数を表示するかしないかを設定します。
☑が表示する、□が表示しない状態です。

- ホーム画面の表示方法→P139
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 設定する項目欄をタップして設定する

3 ［完了］をタップする

表示する項目が設定され、ホーム画面の新着・最新情報エリアに設定した項目が表示されます。

お知らせ

- ホーム画面で新着・最新情報の項目をタップすると、タップした項目に対応するアプリケーションを起動できます。
- 表示言語を英語に変更した場合は、新着・最新情報エリアの表示も英語になります。
- 新着・未読のメール情報は、優先設定しているメールアカウントの状態が表示されます。メールアカウントが複数ある場合は、表示させるアカウントを設定します。→P253
- 新着・最新情報エリアの表示を設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

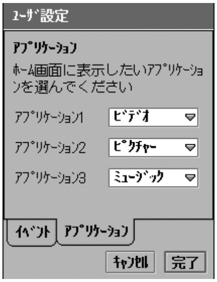
アプリケーション

ショートカットキーにアプリケーションを設定する

お買い上げ時	アプリケーション1：ビデオ　アプリケーション2：ピクチャー　アプリケーション3：ミュージック

ホーム画面のショートカットキーに、よく使うアプリケーションを設定します。

1 ホーム画面でメニューバーの「ホーム」▶「ユーザ設定」を順にタップし、ユーザ設定画面で「アプリケーション」タブをタップする



アプリケーション1：左側のアイコンに表示されるアプリケーションを設定します。
アプリケーション2：中央のアイコンに表示されるアプリケーションを設定します。
アプリケーション3：右側のアイコンに表示されるアプリケーションを設定します。

- ホーム画面の表示方法→P139
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 設定する項目欄をタップし、登録するアプリケーションを選択する

3 ［完了］をタップする

アプリケーションが設定され、ショートカットキーに登録されたアプリケーションのアイコンが表示されます。

お知らせ

- インストールしたアプリケーションを設定したとき、アイコンデータがない場合はホーム画面のショートカットキーには ▢ が表示されます。
- ホーム画面でショートカットキーをタップすると、登録したアプリケーションを起動できます。
- ショートカットキーにアプリケーションを設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

壁紙設定

壁紙を設定する

お買い上げ時	デフォルトの壁紙

ホーム画面に表示される壁紙を、撮影した静止画やダウンロードした静止画などに変更できます。

1 ホーム画面でメニューバーの「ホーム」▶「壁紙設定」を順にタップする



- ホーム画面の表示方法→P139
- ［デフォルト］をタップすると、お買い上げ時の静止画に設定されます。

次のページへ続く

2 [変更]をタップする



静止画が保存されているフォルダ名が表示されます。

設定可能な静止画が表示されます。

- 「フォルダ」欄をタップすると、フォルダを選択できます。
- 「サムネール ◯ 」をタップするとサムネール表示に、「リスト ◯ 」をタップするとリスト表示になります。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 壁紙に設定する静止画▶[選択]を順にタップする

お知らせ

- 添付のFOMA M1000 用CD-ROM1には、壁紙／背景用の静止画データが保存されています。壁紙／背景に設定する場合は、FOMA端末にインストールしてください。→P586
- 壁紙に設定できる静止画は次のとおりです。

  ファイル形式　：GIF、JPEG、BMP、WBMP、PNG
  サイズ　　　　：1280×1280ピクセルまで
  ファイルサイズ：4.6 MBまで

- 選択した静止画のサイズが壁紙のサイズと異なる場合は、静止画の縦横の比率はそのままで壁紙のサイズに合わせて拡大／縮小して表示されます。
- 壁紙は時刻やカレンダー、新着・最新情報エリアの背景に表示されるため、ホーム画面の表示状態によっては壁紙が一部見えない場合があります。
- 壁紙を設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。
- FOMA端末本体のメモリ容量が少ないときは、静止画が画像選択画面に表示されるまで時間がかかる場合があります。

カレンダー表示／カレンダー非表示

カレンダーを表示する

お買い上げ時	カレンダー非表示

ホーム画面にカレンダーを表示するように設定します。

1 ホーム画面でメニューバーの「ホーム」▶「カレンダー表示」を順にタップする

- ホーム画面の表示方法→P139
- カレンダーを表示しない場合は、メニューバーの「ホーム」▶「カレンダー非表示」を順にタップします。

お知らせ

- カレンダーに祝日は登録されていません。
- カレンダーの表示形式を変更できます。→P376
- ホーム画面でカレンダーをタップするとスケジュール画面が表示され、スケジュールの登録ができます。
- 表示言語を英語に変更した場合は、カレンダーの表示も英語になります。

時間表示／時間非表示
時刻を表示する

お買い上げ時 | 時間非表示

ホーム画面に時刻を表示するように設定します。

1 ホーム画面でメニューバーの「ホーム」▶「時間表示」を順にタップする

- ホーム画面の表示方法→P139
- 時刻を表示しない場合は、メニューバーの「ホーム」▶「時間非表示」を順にタップします。

お知らせ

- 時刻の表示形式を変更できます。→P149
- ホーム画面で時刻をタップすると時計画面が表示され、日付や時刻、日付・時刻の表示形式、アラームなどの設定ができます。

明るさ設定
ディスプレイの明るさを設定する

ディスプレイのバックライトの明るさを調節します。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「明るさ／タッチパネル設定」を順にタップする



2 「照明設定」のスライダーをドラッグし、明るさを調節する

3 [完了]をタップする

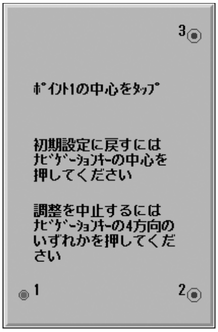
タッチパネル設定
タッチスクリーンのタップ位置を調節する

スタイラスペンでタップする位置と、タッチスクリーンが認識する位置を正しく調節します。
- FOMA 端末をはじめてお使いになるときは、電源を入れるとタッチスクリーンのタップ位置調節画面が表示されます。→P63

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「明るさ／タッチパネル設定」を順にタップする

次のページへ続く

2 明るさ／タッチパネル設定画面で[調整]をタップする



3 タッチスクリーンのタップ位置を調節する

- タップ位置の調節方法→P63、P64

4 明るさ／タッチパネル設定画面で[完了]をタップする

お知らせ

- 画面の○印から離れた場所をタップしてタッチスクリーンのタップ位置調節を行うと、アプリケーションなどの選択操作が正しく行えなくなる場合があります。その場合は、再度タッチスクリーンのタップ位置調節を行ってください。
- を約5秒押しても、タッチスクリーンのタップ位置調節画面を表示できます。

通話時間表示

通話中に通話時間を表示する

お買い上げ時	通話時間表示：ON

通話中の画面に通話時間を表示するように設定できます。

1 アプリケーション選択バーの(電話)▶メニューバーの「設定」▶「通話時間」を順にタップする



通話時間表示

OFF ：通話時間を表示しないように設定します。
ON ：通話時間を表示するように設定します。

2 「通話時間表示」欄をタップし、「ON」／「OFF」を選択する

3 [完了]をタップする

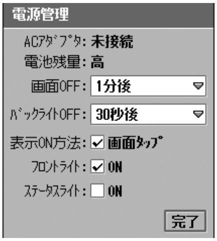
電源管理

省電力モードの動作を設定する

お買い上げ時	画面OFF：1分後　バックライトOFF：30秒後　表示ON方法：☑ フロントライト：☑　ステータスライト：☐

バックライトを消灯するまでの時間や、画面表示をOFFにするまでの時間を設定できます。また、タッチスクリーンをタップして省電力モードを解除できるようにするかどうかの設定や、フロントライト／ステータスライトのON／OFFの設定もできます。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「電源管理」を順にタップする



画面OFF　：画面表示をOFFにする時間を選択します。

バックライトOFF

：バックライトを消灯させる時間を選択します。

表示ON方法：タップ操作で省電力モードの解除を可能にするかどうかを設定します。
☑が解除を可能にする、☐が解除できない状態です。

フロントライト

：フロントライトのON／OFFを設定します。
☑にした場合、やを押したとき、ACアダプタなどを取り付け／取り外したときなどに、フロントライト、、、、が点灯します。
☑がON、☐がOFFの状態です。

ステータスライト

：ステータスライトのON／OFFを設定します。
☑がON、☐がOFFの状態です。

2 各項目を設定する

- 「画面OFF」「バックライトOFF」
  ：項目欄をタップし、項目を選択します。
- 「表示ON方法」「フロントライト」「ステータスライト」
  ：☐／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は☐の状態にします。

3 [完了]をタップする

お知らせ

- 省電力モードについて→P41
- 「バックライト OFF」の時間を、「画面 OFF」より遅い時間には設定できません。「画面 OFF」と同じか、早い時間に設定してください。
- ドライブモードを設定中は、ステータスライトのON／OFFを設定できません。
- フロントライトをOFFに設定中でも、電源を入れた場合や、電源を切っているときにACアダプタなどを取り付けた場合は、一時的にフロントライトが点灯することがあります。
- Flash画像を表示中は、「画面OFF」で設定した時間内に画面表示がOFFにならない場合があります。

アプリケーションランチャーの表示を変更する

アプリケーションランチャーの表示形式や背景を変更できます。

表示
アプリケーションランチャーの表示形式を変更する

お買い上げ時	◉アイコン表示

アプリケーションランチャーに表示されるアプリケーションの一覧を、アイコン表示とリスト表示で切り替えることができます。→P43

1 **アプリケーション選択バーの (アプリケーションランチャー)▶メニューバーの「表示」▶「 アイコン表示」／「 リスト表示」を順にタップする**



アイコン表示



リスト表示

壁紙設定
アプリケーションランチャーの背景を設定する

お買い上げ時	背景：デフォルト

アプリケーションランチャーの背景を、撮影した静止画やダウンロードした静止画などに変更できます。

1 **アプリケーション選択バーの (アプリケーションランチャー)▶メニューバーの「表示」▶「壁紙設定」を順にタップする**

2 壁紙設定画面で「背景」欄▶「画像検索」を順にタップする



静止画が保存されているフォルダ名が表示されます。

設定可能な静止画が表示されます。

- 壁紙設定画面で「背景」欄▶「なし」を順にタップすると、背景を表示しないように設定します。
- 以前に静止画を設定していた場合は、設定していた静止画も表示されます。
- 「フォルダ」欄をタップすると、フォルダを選択できます。
- 「サムネール ◯ 」をタップするとサムネール表示に、「リスト ◯ 」をタップするとリスト表示になります。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 背景に設定する静止画▶［選択］を順にタップする



選択した静止画が表示されます。

スライダー

- スライダーを上下にドラッグすると、静止画を拡大／縮小できます。
- 背景のサイズよりも小さなサイズの静止画の場合は、「並べて表示」の □ をタップすると静止画を並べて表示できます。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

4 静止画の表示を調節する

- 静止画が表示枠より大きい場合は、静止画を上下左右にドラッグして表示位置を設定できます。

5 ［完了］をタップする

お知らせ

- 添付のFOMA M1000 用CD-ROM1 には、壁紙／背景用の静止画データが保存されています。壁紙／背景に設定する場合は、FOMA端末にインストールしてください。→P586
- 背景に設定できる静止画は次のとおりです。

  ファイル形式　：GIF、JPEG、BMP、WBMP、PNG
  サイズ　　　　：1280×1280ピクセル
  ファイルサイズ：500 KBまで

- FOMA端末本体のメモリ容量が少ないときは、静止画が画像選択画面に表示されるまで時間がかかる場合があります。

スキン

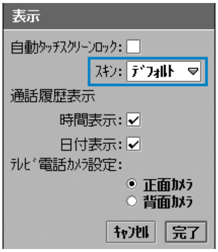
電話番号入力画面のデザインを変更する

お買い上げ時	スキン：デフォルト

電話番号入力画面のデザイン（スキン）を変更できます。

- 電話番号入力画面のデザインを変更する場合は、添付のFOMA M1000 用CD-ROM1からスキンデータをFOMA端末にインストールしてください。→P586

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「表示」を順にタップする



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 「スキン」欄をタップし、設定するスキンを選択する

3 ［完了］をタップする

お知らせ

- スキンを変更すると、音声電話／テレビ電話の着信中や接続中の画面、通話中の画面も変更されます。また、不在着信画面や履歴画面も変更されます。
- スキンを設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

通貨・単位

単位や数値の表示形式を設定する

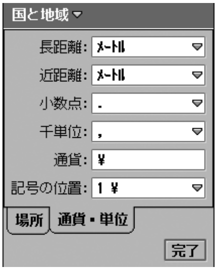
お買い上げ時	長距離：メートル　近距離：メートル　小数点：.　千単位：,　通貨：¥　記号の位置：1 ¥

距離や通貨の単位、小数点の表示方法などを設定します。

- 対応するアプリケーションを表示したときのみ、設定した表示形式で表示されます。お買い上げ時は、FOMA端末に対応するアプリケーションはインストールされていません。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「一般」タブ▶「国と地域」を順にタップする

2 国と地域画面で「通貨・単位」タブをタップする



長距離　：長距離の単位をヤードポンド法とメートル法から選択します。
近距離　：近距離の単位をヤードポンド法とメートル法から選択します。
小数点　：小数点の表示方法を選択します。
千単位　：千の位の区切りかたを選択します。
通貨　：通貨の名前、または記号を入力します。
記号の位置：「通貨」で設定した通貨（名前または記号）を、数字のどの位置で表示するかを設定します。

3 設定する項目欄をタップし､表示方法を選択する

- 「長距離」「近距離」「小数点」「千単位」「記号の位置」
  ：項目欄をタップし、項目を選択します。
- 「通貨」
  ：項目欄をタップし、文字を入力します。

4 ［完了］をタップする

表示形式

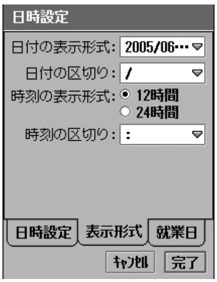
時計の表示形式を設定する

お買い上げ時	日付の表示形式：yyyy/mm/dd　日付の区切り：/　時刻の表示形式：◉ 12時間　時刻の区切り：：

日付の表示形式や、ホーム画面に表示する時刻の表示形式を変更します。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし､コントロールパネル画面で「一般」タブ▶「日時設定」を順にタップする

2 日時設定画面で「表示形式」タブをタップする



日付の表示形式：日付の表示形式を設定します。
日付の区切り　：月と日の区切りかたを「空白」「／」「：」「－」「．」から選択します。
時刻の表示形式
　12時間　：時刻を12時間制で表示します。
　24時間　：時刻を24時間制で表示します。
時刻の区切り　：時、分、秒の区切りかたを「：」「－」「．」から選択します。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 各項目を設定する

- 「日付の表示形式」「日付の区切り」「時刻の区切り」
  ：項目欄をタップし、項目を選択します。
- 「時刻の表示形式」
  ：項目をタップし、設定します。

次のページへ続く ●●•

4 [完了]をタップする

Language Selection
画面表示言語を切り替える

お買い上げ時 Japanese

画面に表示される言語を、日本語表示と英語表示で切り替えることができます。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「一般」タブ▶「Language Selection」を順にタップする



Language
- English ：表示言語を英語に設定します。
- Japanese ：表示言語を日本語に設定します。

2 「Language」欄をタップし、言語を選択する

3 本体再起動画面で[はい]をタップする

FOMA端末が再起動され、選択した言語に変更されます。

- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

■表示言語を日本語に戻すとき

① アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「General」タブ▶「言語選択」を順にタップする
② 言語選択画面で「言語」欄をタップし、「Japanese」を選択する
③ Restart phone画面で［Yes］をタップする

お知らせ

- 表示言語を設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。
- FOMA端末本体のメモリ容量が少ないときは、画面の表示言語を変更できない場合があります。

あんしん設定

■暗証番号について

■携帯電話の操作や機能を制限する

■発着信や送受信を制限する

■その他の「あんしん設定」について

※：2005年11月現在、本機能はご利用できません。

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号のほか、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- 暗証番号を万一お忘れになったときは、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。
- いたずら防止のため、各種暗証番号は、ご契約後にお好きな番号に変更してください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気を付けください。
- 電話番号の下４桁など、わかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないように十分ご注意ください。

端末暗証番号

FOMA端末には、次の２種類の端末暗証番号があります。

■端末パスワード

端末パスワードとは１～16文字／桁の認証用パスワードで、次のような状況で必要となります。

- パスワードロックの解除
- 着信拒否リスト
- 着信拒否設定
- 電話帳未登録

お買い上げ時の端末パスワードは「0000」に設定されていますが、英数字・記号・ウムラウト文字を組み合わせて自由に変更できます。→P153

- 端末パスワードの入力を 5 回連続して失敗すると、自動的に電源が切れます。操作を続けたい場合は、電源を入れ直してください。

■認証パスワード

認証パスワードとは１～16文字／桁の認証用パスワードで、設定リセットまたは初期化を実行するときに必要となります。

お買い上げ時の認証パスワードは「0000」に設定されていますが、英数字・記号・ウムラウト文字を組み合わせて自由に変更できます。→P154

ネットワーク暗証番号

各種ネットワークサービスのご利用時やドコモeサイトでの各種手続き時にお使いいただく数字４桁の番号で、ご契約時に設定します。電話番号の下４桁など、わかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないように十分ご注意ください。

ネットワーク暗証番号をお忘れの場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。また、ドコモショップでは、運転免許証などの確認書類により、契約者ご本人であることを確認させていただいた上で、手続きさせていただきます。なお、「My DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンからドコモeサイトでも手続きできます。

※「ドコモeサイト」については、取扱説明書裏面を参照してください。

PIN1コード／PIN2コード

PINコード（PIN1コードとPIN2コード）とは、FOMAカードに設定する4～8桁の暗証番号で、それぞれ次のような状況で必要となります。

PIN1コード：FOMA 端末の電源を入れたときに使用者の認証を行うために入力します。正しく入力されなかった場合、電話の発着信や各種通信機能の操作ができなくなります。お買い上げ時は、PIN1コードによる認証を行わないように設定されています。→P155

PIN2コード：指定発信制限を設定するときに入力します。お買い上げ時は、PIN2コードによる認証を行うように設定されています。→P164

お買い上げ時のPINコード（PIN1コードとPIN2コード）は「0000」に設定されていますが、自由に変更できます。→P156

- PIN1コード／ PIN2コードは、有効／無効の設定や変更するときにも入力が必要になります。

端末暗証番号を変更する

FOMA端末の2種類の端末暗証番号「端末パスワード」と「認証パスワード」を変更します。

- 端末パスワードや認証パスワードには、入力画面に表示されている英数字や記号の他に、!#& や !#& をタップして記号、àëó や àëó をタップしてウムラウト文字を入力できます。

端末パスワード設定

端末パスワードを変更する

お買い上げ時	0000

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「パスワード設定」を順にタップする**

2 **パスワード設定画面で「ロック」タブ▶[端末パスワード設定]を順にタップする**



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 **現在の端末パスワードを入力▶[完了]をタップする**

4 **新規端末パスワード入力画面で新しい端末パスワードを入力▶[完了]をタップする**

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

次のページへ続く

5 確認用の端末パスワード入力画面で操作４と同じ端末パスワードを入力▶[完了]をタップする

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

認証パスワード設定

認証パスワードを変更する

お買い上げ時	0000

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「パスワード設定」を順にタップする

2 パスワード設定画面で「セキュリティ」タブ▶[認証パスワード設定]を順にタップする



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 現在の認証パスワードを入力▶[完了]をタップする

4 新規認証パスワード入力画面で新しい認証パスワードを入力▶[完了]をタップする

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

5 確認用の認証パスワード入力画面で操作４と同じ認証パスワードを入力▶[完了]をタップする

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

- 端末パスワードの入力画面で àëö をタップしてウムラウト文字のキーボードを表示し、⇧ をタップすると大文字のキーボードに切り替えて大文字を１文字入力できます。大文字のキーボードで ⬆ をタップすると大文字が固定され、大文字を続けて入力できます。小文字のキーボードに戻すときは 🔒 をタップし、元のキーボードに戻すときは abc をタップします。また、認証パスワードの入力画面で àëö をタップしてウムラウト文字のキーボードを表示し、⇧ をタップすると大文字のキーボードに切り替えて大文字を１文字入力できます。［cap］をタップすると大文字が固定され、大文字を続けて入力できます。小文字のキーボードに戻すときは［cap］をタップし、元のキーボードに戻すときは abc をタップします。

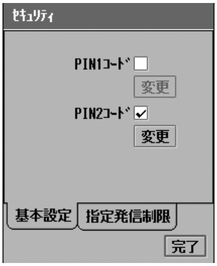
PINコードを設定する

PIN1コード／PIN2コード
PINコードを有効にする

お買い上げ時	PIN1：☐　PIN2：☑

PINコード（PIN1コード／PIN2コード）を有効に設定します。

1 **アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「セキュリティ」を順にタップする**



PIN1コード
：PIN1コードを有効にするかしないかを設定します。
☑が有効、☐が無効の状態です。

PIN2コード
：PIN2コードを有効にするかしないかを設定します。
☑が有効、☐が無効の状態です。

2 **セキュリティ画面で「PIN1コード」／「PIN2コード」の☐をタップする**



PIN1コード入力画面の場合

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 **PINコードを入力▶［完了］をタップする**

- PINコードの入力を通算で3回間違えると、PINコードがロックされます。→P157

PINコードを入力する

PINコード（PIN1コード／PIN2コード）を入力します。

- PIN1コードを有効に設定すると、FOMA端末の電源を入れたときにPIN1コード入力による認証操作が必要になります。
- PIN2コードを有効に設定すると、指定発信制限を設定するときなどにPIN2コード入力による認証操作が必要になります。→P164

＜例：PIN1コードを入力するとき＞

1 FOMA端末の電源を入れる



- 電源の入れかた→P62

2 PIN1コードを入力▶[完了]をタップする

ホーム画面が表示されます。

- PIN1コードの入力を通算で3回間違えると、PIN1コードがロックされます。→P157

お知らせ

- PIN1コード入力画面で［キャンセル］をタップすると、PIN1コードがロックされた状態でホーム画面が表示されます。PIN1コードがロック中は、通話や通信に関する機能は利用できません。

変更

PINコードを変更する

お買い上げ時	PIN1：0000　PIN2：0000

PINコード（PIN1コード／PIN2コード）を変更します。

- PIN1コードは、PIN1コードを無効に設定中は変更できません。→P155

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「セキュリティ」を順にタップする

2 セキュリティ画面で「PIN1コード」／「PIN2コード」の［変更］をタップする



PIN1コード入力画面の場合

- PIN1コードを変更する場合は、あらかじめPIN1コードを有効に設定しておいてください。→P155
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 現在のPINコードを入力◆［完了］をタップする

- PINコードの入力を通算で3回間違えると、PINコードがロックされます。→P157

4 新しいPINコード入力画面で新しいPINコードを入力◆［完了］をタップする

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

5 確認用のPINコード入力画面で操作4と同じPINコードを入力◆［完了］をタップする

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

PINロックを解除する

PINコード（PIN1コード／PIN2コード）の入力を通算で3回間違えてPINコードがロックされたとき、PINロック解除コードを入力してロックを解除します。PINロック解除コードとは、お買い上げ時にお知らせする8桁の番号で、変更はできません。

- PINロックを解除すると、新しいPINコードを設定してからFOMA端末を使用できます。

1 PINコードがロックされた状態で、アプリケーション選択バーの（電話）をタップする

2 電話番号入力画面で「＊＊05＊」／「＊＊052＊」を入力する



- PIN1コードのロックを解除する場合は「＊＊05＊」を入力します。
- PIN2コードのロックを解除する場合は「＊＊052＊」を入力します。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 PINロック解除コードを入力▶[完了]をタップする

4 新しいPINコード入力画面で新しいPINコードを入力▶[完了]をタップする

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

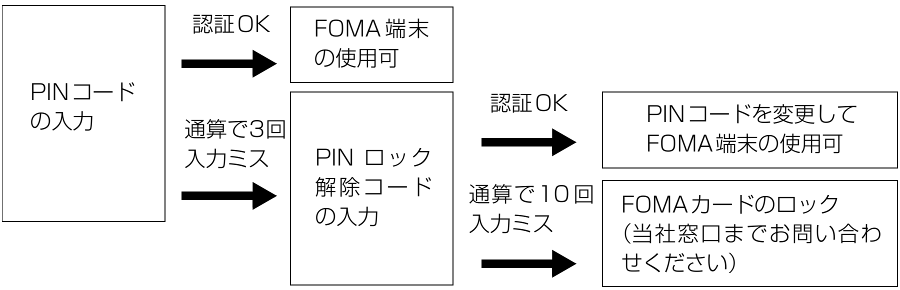
5 確認用のPINコード入力画面で操作4と同じPINコードを入力▶[完了]をタップする

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

■PINロックとPINロック解除コードについて

PINコード（PIN1コード／PIN2コード）の入力を通算で3回間違えるとPINコードがロックされ、PINロック解除コードの入力が必要になります。また、PINロック解除コードの入力を通算で10回間違えると、FOMAカードがロックされてFOMA端末を使用できなくなります。PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうか確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

- PINコード／PINロック解除コードの入力を間違えた場合、入力を間違えた回数は表示されません。PINコード／PINロック解除コードの入力にはご注意ください。



各種ロック機能について

FOMA端末には、第三者による無断使用を防止したり、通信機能を停止したりするロック機能があります。状況に応じてロック機能を使い分けてご利用ください。

ロック機能	説　明	参照先
パスワードロック	他の人に無断で使用されるのを防ぐため、パスワードロックを設定してロックスイッチをスライドさせるだけで、FOMA端末のすべての操作ができないように設定できます。また、解除する際には端末パスワードの入力が必要になるため、FOMA端末を確実にロックできます。	P159
ロック	ロックスイッチをスライドさせるだけでタッチスクリーンやキーの操作を簡単にロック／解除できます。	P161
セルフモード	電話の通話やメール通信などの使用が禁止／制限されている場所で、通信機能を利用しないゲームなどを操作したい場合、電波の送受信を停止してすべての通信機能を使用できないようにします。	P162

お知らせ

- 端末パスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気を付けください。

他の人が使用できないようにする

本FOMA端末には、他の人に無断で使用されるのを防ぐため、「パスワードロック」と「ロック」の2種類のロック機能があります。

パスワードロック

FOMA端末のすべての操作を制限する

お買い上げ時　パスワードロック：◉OFF

パスワードロックを設定すると、FOMA端末のすべての操作をロックでき、解除する際には端末パスワードの入力操作が必要になります。本機能を設定中は、タッチスクリーンやキーでの操作が無効になり、かかってきた電話を受けることもできなくなります。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「パスワード設定」を順にタップする

次のページへ続く●●●

2 パスワード設定画面で「ロック」タブをタップする



パスワードロック

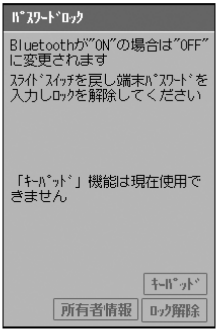
OFF：ロックスイッチを上方向にスライドさせても、パスワードロックが設定されません。

ON ：ロックスイッチを上方向にスライドさせると、パスワードロックが設定されます。

3 「○ON」をタップし、端末パスワード入力画面で端末パスワードを入力▶[完了]をタップする

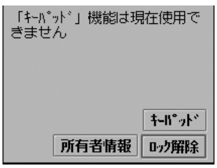
- 端末パスワード入力画面で［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

4 を上方向に固定されるまでスライドさせる



パスワードロックを解除する

1 を下方向にスライドさせて元の位置に戻す



パスワードロック解除画面

- ［所有者情報］をタップすると、所有者情報が表示されます。

2 [ロック解除]をタップし、端末パスワード入力画面で端末パスワードを入力▶[完了]をタップする

お知らせ

- パスワードロックを設定中に電話がかかってきた場合、パスワードロック画面のままで着信音は鳴らず、電話をかけてきた相手には呼び出し音が鳴り続けます。パスワードロックを解除すると、不在着信画面が表示されます。
- パスワードロック解除画面で［キーパッド］をタップすると、キーパッド画面が表示されます。ただし、本機能は将来の機能拡張のために搭載しており、現在ご利用いただくことはできません。

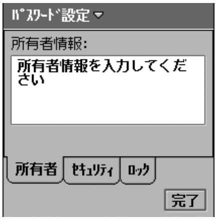
- パスワードロックを設定すると、パスワードロック画面が約5秒間表示された後に画面の表示が消え、タッチスクリーンをタップしても何も表示されなくなります。
- 端末パスワードの入力を5回連続して失敗すると、自動的に電源が切れます。操作を続けたい場合は、電源を入れ直してください。

パスワードロック解除画面の所有者情報を設定する

お買い上げ時 | 登録なし

パスワードロック解除画面で表示する所有者情報を登録できます。
- 所有者情報はパスワードロック解除画面から表示できます。→P160

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「パスワード設定」を順にタップする**



2 **所有者を入力する**

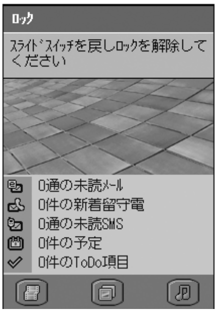
- 全角／半角を問わず、128文字まで入力できます。

ロック

タッチスクリーンやキーの操作を制限する

ロックスイッチをスライドさせるだけで、タッチスクリーン操作やキー操作のロックを簡単に設定／解除できます。
- ロックを設定中でも、かかってきた電話を受けることができます。

1 **を上方向に固定されるまでスライドさせる**



ロックを解除する

1 を下方向にスライドさせて元の位置に戻す

お知らせ

- ロックを設定中に電話がかかってきた場合は、 を押すと電話を受けることができます。
- ロックを設定すると、ロック画面が約５秒間表示された後に画面の表示が消え、タッチスクリーンをタップしても何も表示されません。

セルフモード

発信や着信ができないようにする

お買い上げ時 通常

電波の送受信を停止して、電話の発着信やメールの送受信、パケット通信や64Kデータ通信、Bluetooth通信、無線LAN通信など、すべての通信機能を使用できないようにします。
通話や通信が禁止／制限されている場所で､通信機能を利用しないアプリケーションを使用するときに便利です。

1 ステータスバーの をタップする



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 「 セルフモード」▶［決定］を順にタップする

ステータスバーに が表示されます。

- 「 通常」▶［決定］を順にタップすると、セルフモードが解除されます。

お知らせ

- セルフモードを設定中に電話がかかってくると、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨の音声ガイダンスが流れます。留守番電話サービス、または転送でんわサービスをご契約の場合は、それぞれのサービスをご利用になれます。
- セルフモードを設定中は、緊急通報の番号（110番、119番、118番）に電話をかけることもできません。
- 音声電話／テレビ電話の通話中や、データ通信中、Bluetooth通信中、無線LAN通信中などにセルフモードを設定すると、通話や通信が切断されますのでご注意ください。

着信拒否リスト

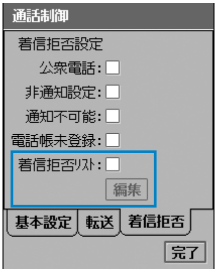
指定した電話番号からの電話を受けない

お買い上げ時	着信拒否リスト：□

電話を受けたくない相手の電話番号を登録して、着信を拒否するように設定できます。

- 番号通知お願いサービスと着信拒否設定を同時に設定することをおすすめします。→P165、P177
- 電話をかけてきた相手には話中音が流れます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、不在着信履歴に記録されます。

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「通話制御」を順にタップし、通話制御画面で「着信拒否」タブをタップする



着信拒否リスト
：着信拒否リストを有効にするかしないかを設定します。
☑が有効、□が無効の状態です。

2 「着信拒否リスト」の□をタップし、端末パスワード入力画面で端末パスワードを入力▶[完了]をタップする

- 端末パスワード入力画面で［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 通話制御画面で[編集]をタップし、端末パスワード入力画面で端末パスワードを入力▶[完了]をタップする



着信拒否リスト画面

- 端末パスワード入力画面で［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

4 登録する番号▶[編集]を順にタップし、着信拒否リストの編集画面で拒否する電話番号を入力▶[完了]をタップする

- 着信拒否リストには20件まで登録できます。
- 他の電話番号を登録する場合は、操作4を繰り返します。
- 着信拒否リストの編集画面で［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

次のページへ続く●●•

5 [完了]をタップする

■本機能と迷惑電話ストップサービスについて

本FOMA端末では、電話番号を指定して着信を拒否する方法が2種類あります。それぞれの動作は次のように異なります。

着信拒否リスト	本FOMA端末を利用中のときのみ有効になり、FOMAカードを他のFOMA端末に取り付けた場合は、登録した相手から電話がかかってきても着信を拒否しません。本機能を設定中は、相手には音声ガイダンスは流れずに電話が切れます。
迷惑電話ストップサービス	ネットワークサービスの1つで、他のFOMA端末にFOMAカードを取り付けているときでも、登録した相手から電話がかかってくると着信を拒否します。本サービスを利用中は、相手には着信拒否ガイダンスが流れ、電話が切れます。

お知らせ

- 相手が発信者番号を通知しないで電話をかけてきた場合は拒否されません。ただし、着信拒否設定を設定中は、その設定に従って着信動作が行われます。
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを開始に設定中でも着信を拒否しますが、呼出時間を0秒に設定している場合はそれぞれのサービスが起動します。
- Eメールやショートメッセージ（SMS）は、本機能の設定に関わらず受信されます。
- 着信拒否リストに登録した電話番号に電話をかけることはできます。

登録した相手を削除する

着信拒否リストに登録した電話番号を削除します。

1 着信拒否リスト画面で削除する電話番号▶[クリア]▶[完了]を順にタップする

- 着信拒否リスト画面の表示方法→P163

指定発信制限

指定発信制限

2005年11月現在、本機能はご利用できません。

着信拒否設定

発信者番号のわからない電話を受けない

お買い上げ時	公衆電話：☐　非通知設定：☐　通知不可能：☐

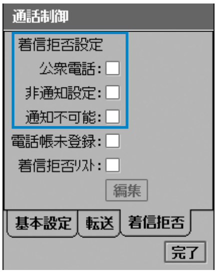
発信者番号の非通知理由ごとに、電話の着信を拒否するように設定できます。

- 発信者番号非通知理由には、次の３種類があります。

非通知理由	理　由
公衆電話	公衆電話などから発信した場合
非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合
通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合（ただし、経由する電話会社により発信者番号が通知される場合もあります。）

- 電話をかけてきた相手には話中音が流れます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、不在着信履歴に記録されます。

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「通話制御」を順にタップし、通話制御画面で「着信拒否」タブをタップする



着信拒否設定

公衆電話　：非通知理由が「公衆電話」の電話を拒否します。
☑が拒否する、☐が拒否しない状態です。

非通知設定：非通知理由が「非通知設定」の電話を拒否します。
☑が拒否する、☐が拒否しない状態です。

通知不可能：非通知理由が「通知不可能」の電話を拒否します。
☑が拒否する、☐が拒否しない状態です。

2 設定する非通知理由の項目欄をタップし、端末パスワード入力画面で端末パスワードを入力▶[完了]をタップする

- すべての非通知理由を拒否できます。
- 端末パスワード入力画面で［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 通話制御画面で[完了]をタップする

お知らせ

- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを開始に設定中でも着信を拒否しますが、呼出時間を0秒に設定している場合はそれぞれのサービスが起動します。
- 番号通知お願いサービスを同時に設定している場合、発信者番号の非通知理由が「非通知設定」の電話がかかってくると、番号通知お願いサービスが優先して動作します。
- Eメールやショートメッセージ（SMS）は、本機能の設定に関わらず受信されます。

呼出動作開始時間

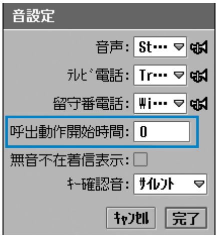
電話帳未登録の相手の着信音を無音にする

お買い上げ時	呼出動作開始時間：0秒

電話帳に登録されていない相手や非通知設定の相手から電話がかかってきたとき、着信音の鳴動やバイブレータの振動、ステータスライトの点滅などの呼出動作をすぐに行わないように、呼出動作の開始時間を設定できます。電話番号を履歴に残す目的で着信音を1回だけ鳴らして切る「ワン切り」など、迷惑電話の対策に便利です。

- 呼出動作が開始する前に切れた着信を、不在着信履歴に表示しないように設定できます。→P87

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「音設定」を順にタップする



呼出動作開始時間：着信してから着信動作を行うまでの時間を0～99秒で入力します。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 「呼出動作開始時間」欄をタップし、呼出動作開始時間画面で呼出動作開始時間を入力▶［完了］をタップする

- 呼出動作開始時間画面で［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 音設定画面で［完了］をタップする

お知らせ

- 電話帳に登録されている相手が発信者番号を通知しないで電話をかけてきて、設定した開始時間内に電話を切った場合は着信動作を行いません。ただし、着信拒否設定や電話帳未登録を設定中は、各設定に従って着信動作が行われます。
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを開始に設定中は、本機能の設定に関わらず各サービスの開始時間にサービスが起動します。
- 呼出動作開始時間を設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

電話帳未登録

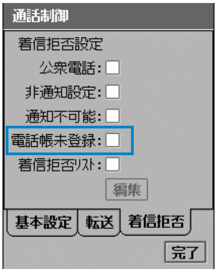
電話帳未登録の相手からの電話を受けない

お買い上げ時	電話帳未登録：☐

電話番号が電話帳に登録されていない相手からかかってきた電話を、拒否するように設定できます。

- 番号通知お願いサービスと着信拒否設定を同時に設定することをおすすめします。→P165、P177
- 電話をかけてきた相手には話中音が流れます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、不在着信履歴に記録されます。

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「通話制御」を順にタップし、通話制御画面で「着信拒否」タブをタップする



電話帳未登録
：電話帳未登録を有効にするかしないかを設定します。☑が有効、☐が無効の状態です。

2 「電話帳未登録」の☐をタップし、端末パスワード入力画面で端末パスワードを入力▶[完了]をタップする

- 端末パスワード入力画面で［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 通話制御画面で[完了]をタップする

お知らせ

- 着信拒否設定で非通知の着信を拒否するように設定していない場合でも、本機能を設定すると非通知の電話（公衆電話／非通知設定／通知不可能）も拒否します。拒否された電話は、不在着信履歴に記録されます。
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスを開始に設定中でも着信を拒否しますが、呼出時間を0秒に設定している場合はそれぞれのサービスが起動します。
- Ｅメールやショートメッセージ（SMS）は、本機能の設定に関わらず受信されます。

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、次のようなあんしん設定がございますのでご活用ください。

目　的	機能／サービス名称	参照先
いたずら電話や繰り返しかかってくる間違い電話などの「迷惑電話」を着信したくない	迷惑電話ストップサービス	P176
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守りたい	セキュリティスキャンLight	P414

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	月額使用料	お申し込み	参照先
留守番電話サービス	有料	必要	P170
キャッチホン	有料	必要	P173
転送でんわサービス	無料	必要	P175
迷惑電話ストップサービス	無料	必要	P176
番号通知お願いサービス	無料	不要	P177
デュアルネットワークサービス	有料	必要	P178
英語ガイダンス	無料	不要	P178
サービスダイヤル	無料	不要	P179
国際ローミングサービス	無料	不要	P560
発信者番号通知サービス	無料	不要	P66
ドライブモード	無料	不要	P85

- 海外でのネットワークサービスのご利用については、「海外利用」をご参照ください。→P562

■ネットワークサービスのご利用について

ネットワークサービスのお申し込みやお問い合わせなどは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
また、各サービスの詳細情報や詳しい操作方法、注意事項などについては、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

留守番電話サービスを利用する

電波が届かない所にいるときや、電源を切っているときなどに、お客様に代わって電話をかけてきた相手に応答メッセージで対応し、伝言メッセージをお預かりします。

録音された伝言メッセージは、日本全国どこからでも聞くことができます。

- 留守番電話サービスはお申し込みが必要なオプションサービスです。月額使用料がかかります。

■留守番電話サービスについて

- 伝言メッセージは1件あたり約3分間録音でき、20件まで保存できます。
- 伝言メッセージは最大72時間留守番電話サービスセンターに保存されます。
- 電話に出られないことをお伝えするだけの、不在案内機能もあります。
- 留守番電話サービスを開始に設定していても、留守番電話サービスセンターに接続されるまでの着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。着信音が鳴る時間（呼出時間）は変更できます。→P171
- 留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが保存された場合は、音設定で設定した留守番電話の着信音が鳴ります。→P128
また、ホーム画面の新着・最新情報エリアには伝言メッセージの件数、ステータスバーには  が表示され、不在着信履歴には着信があったことが記録されます。
- 転送でんわサービスと一緒にご契約いただいても、2つのサービスを同時には利用できません。転送でんわサービスを開始に設定した場合は、留守番電話サービスは自動的に停止になります。ただし、転送でんわサービスを停止に設定し直しても、留守番電話サービスは自動的には開始に設定されません。
- あらかじめ遠隔操作を開始に設定しておくと、プッシュ式の一般電話や公衆電話などを利用して、遠隔操作で留守番電話サービスの操作ができます。→P181
- 番号通知お願いサービスを同時に設定している場合、発信者番号の非通知理由が「非通知設定」の電話がかかってくると、本サービスは動作せずに番号通知お願いガイダンスが流れます。
- 本サービスを設定しても、かかってきたテレビ電話は呼出時間経過後に切断されます。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では操作できません。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスは次のような流れでご利用になれます。

ステップ1	留守番電話サービスを開始する

↓

ステップ2	電話をかけてきた相手が伝言を録音する※

※：急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略して伝言メッセージを録音する場合は、応答メッセージが流れているときに「#」を入力すると、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えることができます。

↓

ステップ3	伝言メッセージを再生する

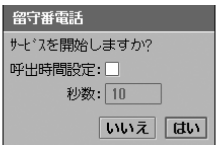
留守番電話サービスの利用料金

留守番電話サービスをご利用になるには、毎月の使用料とは別に伝言メッセージの再生などにかかる通話料が必要となります。

開始

留守番電話サービスを開始する

1 アプリケーション選択バーの(電話)▶メニューバーの「電話」▶「留守番電話」▶「開始」を順にタップする



呼出時間設定
：呼出時間を設定するかどうかを選択します。
☑が設定する、□が設定しない状態です。

秒数：呼出時間を入力します。

- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

2 「呼出時間設定」の□をタップする

- 呼出時間を変更しない場合は操作4に進みます。

3 「秒数」欄をタップし、呼出時間設定画面で呼出時間を入力▶[完了]をタップする

- 呼出時間は0～120秒で入力します。
- 呼出時間設定画面で［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

4 開始の確認画面で[はい]をタップする

- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

呼出時間を変更する

電話がかかってきてから留守番電話サービスセンターに接続されるまでの呼出時間を変更できます。

1 アプリケーション選択バーの(電話)▶メニューバーの「電話」▶「留守番電話」▶「呼出時間設定」を順にタップする

2 呼出時間設定画面で呼出時間を入力▶[完了]をタップする

- 呼出時間は0～120秒で入力します。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

- 呼出時間を呼出動作開始時間（→P166）で設定した時間よりも短く設定した場合は、電話がかかってきても着信音は鳴らずに留守番電話サービスセンターに接続されます。

停止

留守番電話サービスを停止する

1 アプリケーション選択バーの(電話)▶メニューバーの「電話」▶「留守番電話」▶「停止」を順にタップし、停止の確認画面で[はい]をタップする

- 停止の確認画面で［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

伝言メッセージを聞く

伝言メッセージが録音されると、音設定で設定した留守番電話の着信音が鳴ります。→P128 また、ホーム画面の新着・最新情報エリアに伝言メッセージの録音件数が表示され、ステータスバーに が表示されます。

1 新着･最新情報エリアの伝言メッセージ録音件数欄をタップする

留守番電話サービスセンターに接続する番号が入力された電話番号入力画面が表示されます。

2 をタップ／ を押す

- 音声ガイダンスに従って数字を入力する際は、［キーパッド］をタップしてから目的の数字をタップします。

お知らせ

- 既に確認済みの伝言メッセージをもう一度再生するには､アプリケーション選択バーの （電話）▶メニューバーの「電話」▶「留守番電話」▶「留守番メッセージ再生」を順にタップし、再生の確認画面で［はい］をタップします。

メッセージ問い合わせ

新しい伝言メッセージがあるか確認する

新たに伝言メッセージが録音されていないかどうかを留守番電話サービスセンターに問い合わせます。

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「電話」▶「留守番電話」▶「メッセージ問い合わせ」を順にタップする

留守番電話サービスセンターへの問い合わせが行われます。

2 メッセージ問い合わせ画面で［完了］をタップする

- 新しい伝言メッセージがあると、留守番電話の着信音が鳴ります。ホーム画面の新着・最新情報エリアには伝言メッセージの録音件数が表示され、ステータスバーに が表示されます。

お知らせ

- サービス問い合わせ後にお預かりした伝言メッセージは、再度サービス問い合わせを行っても確認できない場合があります。

留守番設定確認

留守番電話の設定状態を確認する

留守番電話の現在の設定状況を確認します。

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「電話」▶「留守番電話」▶「留守番設定確認」を順にタップする

現在の設定状況が表示されます。

設定状況確認

留守番電話サービスを音声ガイダンスで設定する

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「電話」▶「留守番電話」▶「設定状況確認」を順にタップし､設定の確認画面で［はい］をタップする

留守番電話サービスセンターに接続されます。

- 設定の確認画面で［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

2 音声ガイダンスに従って設定する

- 音声ガイダンスに従って数字を入力する際は、［キーパッド］をタップしてから目的の数字をタップします。

着信通知機能を利用する

着信通知機能とは、圏外のときやFOMA端末の電源が入っていないときに着信した情報（発信者の電話番号と着信日時）を、ショートメッセージ（SMS）でお知らせするサービスです。ショートメッセージ（SMS）は、ネットワーク圏内になったときや電源を入れたときに送信されてきます。

- 詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

着信通知機能を開始する

1 アプリケーション選択バーの（電話）をタップし、電話番号入力画面で「＊2001」を入力▶をタップ／を押す

2 音声ガイダンスに従って[1]▶[1]／[0]▶[#]の順にタップする

- 音声ガイダンスに従って数字を入力する際は、［キーパッド］をタップしてから目的の数字をタップします。

3 登録が終了したらを押す

着信通知機能を停止する

1 アプリケーション選択バーの（電話）をタップし、電話番号入力画面で「＊2001」を入力▶をタップ／を押す

2 音声ガイダンスに従って[0]をタップする

- 音声ガイダンスに従って数字を入力する際は、［キーパッド］をタップしてから目的の数字をタップします。

キャッチホンを利用する

音声電話の通話中に別の音声電話がかかってきたとき、通話中の音声電話を保留にして電話を受けることができます。また、通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかけることもできます。

- キャッチホンはお申し込みが必要なオプションサービスです。月額使用料がかかります。
- 通話中に音声電話がかかってきたときは、通話中着信音「プー…プー…」が流れます。

■キャッチホンについて

- 番号通知お願いサービスを同時に設定している場合、発信者番号の非通知理由が「非通知設定」の電話がかかってくると、本サービスは動作せずに番号通知お願いガイダンスが流れます。
- 次の場合、キャッチホンは動作しません。
  - 104、110、117、118、119番に電話をかけているとき
  - 発信中や相手を呼び出し中のとき
  - 留守番電話サービスをご利用のお客様で、伝言メッセージの再生など、留守番電話サービスセンターに接続されている間
  - 1411（留守番電話サービスの開始）、1420（転送でんわサービスの停止）など、各種ネットワークサービスの設定を行うために、4桁の電話番号に電話をかけているとき
  - テレビ電話の通話中（不在着信履歴には記録されません。）
  - 音声電話の通話中にテレビ電話を着信したとき（不在着信履歴には記録されません。）
- 通話を保留中も発信者の方には料金が加算され続けます。
- 通話中にテレビ電話をかけることはできません。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では操作できません。

キャッチホンを開始／停止する

キャッチホンを開始に設定します。

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「通話制御」を順にタップする

2 通話制御画面で「キャッチホン」の□をタップし、開始の確認画面で[はい]をタップする

- 開始の確認画面で［いいえ］をタップすると、操作を中止します。
- ☑をタップし、停止の確認画面で［はい］をタップすると、キャッチホンが停止されます。

通話を保留にしてかかってきた電話に出る

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出ます。

1 通話中に通話中着信音が流れて着信中画面が表示されたら[応答]をタップ／[開始キー]を押す

通話中の音声電話が保留され、かかってきた音声電話と通話できます。

- ［拒否］をタップすると、かかってきた音声電話を拒否します。
- キャッチホン中の画面には、最初に通話していた相手の情報が画面上部に、新たに通話をしている相手の情報は画面下部に表示されます。
- ［切り替え］をタップするごとに、通話の相手を切り替えることができます。
- 保留中の相手には、呼び出し音と話中音が繰り返して流れます。

■通話中に保留の電話を終了するとき

［キーパッド］をタップし、電話番号入力画面で［0］をタップ▶[開始キー]を押す

2 一方の相手との通話が終了したら[終了キー]を押す

通話中の音声電話が切れ、保留中の相手との通話が再開します。

通話を終了してかかってきた電話に出る

通話中の音声電話を切って、かかってきた音声電話に出ます。

1 通話中に着信中画面が表示されたら「現在の通話を切り応答する」の□▶[応答]を順にタップする

通話中の音声電話が切れ、かかってきた音声電話と通話できます。

- ［拒否］をタップすると、かかってきた音声電話を拒否します。

通話を保留にして別の相手に電話をかける

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかけます。

1 通話中に[キーパッド]をタップする

- 通話中の画面で［保留］をタップして通話中の電話を保留にしてから操作を行うと、相手にはダイヤル音が流れません。

2 電話番号入力画面で電話番号を入力▶[音声電話アイコン]をタップ／[開始キー]を押す

通話中の音声電話を保留にして電話がかかります。

- 電話番号入力画面で［履歴］をタップして発信履歴や着信履歴、不在着信履歴を表示すれば、記録されている電話番号に音声電話をかけることができます。
- 保留中の相手には、呼び出し音と話中音が繰り返して流れます。

■発信中に保留の電話を終了するとき

［キーパッド］をタップし、電話番号入力画面で［0］をタップ▶[開始キー]を押す

3 一方の相手との通話が終了したら[終了キー]を押す

通話中の音声電話が切れ、保留中の相手との通話が再開します。

お知らせ

- 通話中の相手との通話を終了し、保留中の相手と通話が自動的に再開されたとき、着信音などは鳴りません。
- キャッチホンを停止に設定して音声電話の通話中に別の音声電話がかかってきた場合、通話中着信音は流れず、着信中画面も表示されません。ただし、留守番電話または転送でんわサービスを開始に設定している場合は、設定中のサービスが動作します。通話中着信設定を開始に設定している場合は、通話中着信音が流れて着信中画面が表示されますが、［応答］をタップしても電話を受けることはできません。

転送でんわサービスを利用する

お客様のFOMA端末にかかってきた電話を、あらかじめ登録しておいた電話番号に自動的に転送します。

- 転送でんわサービスはお申し込みが必要なオプションサービスです。月額使用料はかかりません。

■転送でんわサービスについて

- 転送先に登録できる電話番号は1件です。
- 転送でんわサービスを開始に設定していても、転送先に転送されるまでの着信音が鳴っている間は、電話に出ることができます。着信音が鳴る時間（呼出動作開始時間）は変更できます。→P176
- 留守番電話サービスと一緒にご契約いただいても、2つのサービスを同時には利用できません。留守番電話サービスを開始に設定した場合は、転送でんわサービスは自動的に停止になります。ただし、留守番電話サービスを停止に設定し直しても、転送でんわサービスは自動的には開始に設定されません。
- あらかじめ遠隔操作を開始に設定しておくと、プッシュ式の一般電話や公衆電話などを利用して、遠隔操作で転送でんわサービスの操作ができます。→P181
- 番号通知お願いサービスを同時に設定している場合、発信者番号の非通知理由が「非通知設定」の電話がかかってくると、本サービスは動作せずに番号通知お願いガイダンスが流れます。
- テレビ電話がかかってきた場合、本サービスを開始に設定していても転送先を3G－324Mに準拠したテレビ電話対応機に設定していない場合は接続されません。あらかじめ転送先の電話機をご確認の上、転送設定を行ってください。また、テレビ電話をかけてきた相手には転送中のガイダンスは流れず、転送中のメッセージが表示されます。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では操作できません。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送でんわサービスは次のような流れでご利用になれます。

ステップ1	転送先の電話番号を登録する

↓

ステップ2	転送でんわサービスを開始に設定する

↓

ステップ3	お客様のFOMA端末に電話がかかる

↓

ステップ4	設定した呼出動作開始時間の経過後、自動的に指定した転送先に転送される

転送でんわサービスの利用料金

転送でんわサービスをご利用の際の利用料金は次のようになります。

月額使用料	無料	＋	通話料

発信者	↔	転送でんわサービスのご契約者	↔	転送先
	電話をかけた方のご負担です。		転送でんわサービスご契約者のご負担です。	

※転送でんわサービスをご契約の電話機より転送を行った場合、転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスご契約者のご負担となります。

※転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始・停止、呼出動作開始時間の設定の通話料は無料です。

転送でんわサービスを開始する

1 **アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「通話制御」を順にタップし、通話制御画面で「転送」タブをタップする**

ネットワークサービス

次のページへ続く

2 「転送」の□をタップする

- 既に転送先の電話番号が設定されている場合は、開始の確認画面が表示されます。［はい］をタップすると、転送でんわサービスが開始されます。

3 転送先電話番号入力画面で電話番号を入力▶［開始しますか？］をタップする

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

転送先電話番号を変更する

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「通話制御」を順にタップし、通話制御画面で「転送」タブをタップする

2 「転送」の□をタップし、開始の確認画面で［はい］をタップする

3 「転送先番号」欄をタップし、転送でんわ設定画面で電話番号を入力▶［完了］をタップする

- 転送でんわ設定画面で［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

■電話帳から転送先の電話番号を選択するとき

①をタップする
②転送でんわ設定画面で転送先の相手をタップ▶電話番号選択画面で電話番号をタップする

- 転送でんわ設定画面で［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。
- 電話番号選択画面で［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

呼出動作開始時間を変更する

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「通話制御」を順にタップし、通話制御画面で「転送」タブをタップする

2 通話制御画面で「呼出動作開始時間」欄をタップし、呼出時間設定画面で呼出時間を入力▶［完了］をタップする

- 呼出時間設定画面で［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

転送でんわサービスを停止する

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「通話制御」を順にタップし、通話制御画面で「転送」タブをタップする

2 通話制御画面で「転送」の☑をタップし、停止の確認画面で［はい］をタップする

- 停止の確認画面で［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

- 転送先には、フリーダイヤルや110番など3桁の電話番号を登録することはできません。
- 電波の届かない場合や電源が入っていない場合は、着信音が鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送でんわサービスご契約者のご負担となります。
- 転送先から申し出があり、必要な場合は、お客様に代わって転送を中止させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- PBX、ポケットベル※、FAXを転送先とした場合、電話をかけてきた方に誤解を与えることがありますので、ご注意ください。
- 転送でんわサービスの呼出動作開始時間を呼出動作開始時間（→P166）で設定した時間よりも短く設定した場合は、電話がかかってきても着信音は鳴らずに転送先に転送されます。

迷惑電話ストップサービスを利用する

迷惑電話の電話番号を登録して、電話を受けないようにします。

- 迷惑電話ストップサービスはお申し込みが必要なオプションサービスです。月額使用料はかかりません。
- 30件まで登録できます。

※：2001年1月から、NTTドコモのポケットベルは「クイックキャスト」に名称が変わりました。

電話番号を登録する

最後に通話した電話の電話番号を、拒否する番号として登録します。

- 応答しなかった電話や、お客様からかけた電話の電話番号は登録できません。

1 アプリケーション選択バーの (電話)▶メニューバーの「電話」▶「迷惑電話ストップ」▶「迷惑電話着信拒否登録」を順にタップする

2 追加の確認画面で[はい]をタップする

- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

電話番号を指定して登録する

1 待受中に (電話)をタップし、電話番号入力画面で「144」を入力▶ をタップ／ を押す

2 音声ガイダンスに従って電話番号を登録する

- 音声ガイダンスに従って数字を入力する際は、［キーパッド］をタップしてから目的の数字をタップします。

3 登録が終了したら を押す

お知らせ

- サービスエリア外や電波の届いていない場所では操作できません。
- 他のネットワークサービス（留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービス、番号通知お願いサービス、ドライブモード）と同時に設定した場合、他のネットワークサービスは動作しません。登録した電話番号から電話がかかってくると、相手には着信拒否ガイダンスが流れます。
- 登録した電話番号から電話がかかってきた場合は、着信動作を行わず、着信履歴／不在着信履歴にも記録されません。
- 発信者番号を通知してこない電話も登録できます。
- 国際電話は登録できない場合があります。
- 登録した電話番号は確認や問い合わせができません。登録した電話番号はメモなどに控えておくことをおすすめします。
- テレビ電話を着信した場合、相手に着信拒否の映像ガイダンスが流れた後、通話を終了します。

登録した電話番号を削除する

登録した電話番号を、最後に登録した電話番号から順に1件ずつ削除できます。また、登録したすべての電話番号をまとめて削除することもできます。

1 アプリケーション選択バーの (電話)▶メニューバーの「電話」▶「迷惑電話ストップ」▶「迷惑電話1登録削除」／「迷惑電話全登録削除」を順にタップする

迷惑電話1登録削除
: 最後に登録した電話番号1件を削除します。

迷惑電話全登録削除
: 登録したすべての電話番号を削除します。

2 削除の確認画面で[はい]をタップする

- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

番号通知お願いサービスを利用する

発信者番号を通知してこない電話がかかってきたとき、発信者番号を通知して電話をかけ直すように音声ガイダンスで応答します。

- 番号通知お願いサービスはお申し込みが不要です。月額使用料もかかりません。
- 発信者番号の非通知理由が「非通知設定」の場合のみ、本サービスが動作します。非通知理由が「通知不可能」および「公衆電話※」の場合は動作しません。
  ※：公衆電話から「184」を付けて電話をかけてきた場合は動作します。
- 音声ガイダンスで応答している間は、電話をかけてきた相手に通話料金がかかります。

1 アプリケーション選択バーの (電話)▶メニューバーの「設定」▶「通話制御」を順にタップする

2 通話制御画面で「発信者番号通知要求」の□をタップし、開始の確認画面で[はい]をタップする

ネットワークサービス

次のページへ続く

- 開始の確認画面で［いいえ］をタップすると、操作を中止します。
- ☑をタップし、停止の確認画面で［はい］をタップすると、番号通知お願いサービスが停止されます。

お知らせ

- サービスエリア外や電波の届いていない場所では操作できません。
- 他のネットワークサービス（留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービス、ドライブモード）と同時に設定した場合、他のネットワークサービスは動作しません。発信者番号を通知してこない電話がかかってくると、相手には番号通知お願いガイダンスが流れます。ただし、迷惑電話ストップサービスが同時に設定されている場合は、着信拒否ガイダンスが流れます。
- 着信拒否設定を同時に設定している場合、発信者番号の非通知理由が「非通知設定」の電話がかかってくると、番号通知お願いサービスが優先して動作します。
- テレビ電話を着信した場合、相手に番号通知お願いの映像ガイダンスが流れた後、通話を終了します。

デュアルネットワークサービスを利用する

デュアルネットワークサービスを利用すると、ご契約されたFOMA端末の電話番号をmovaでも利用できるようになります。FOMAサービスエリア外では、movaに切り替えて通話・通信を行うなどの使いかたが可能です。

- FOMA と mova を同時に使用することはできません。
- デュアルネットワークサービスは、お申し込みが必要なオプションサービスです。月額使用料がかかります。詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

FOMA端末に切り替える

利用中のmovaをFOMAに切り替えます。

1 アプリケーション選択バーの(電話)▶メニューバーの「設定」▶「ネットワーク」を順にタップする

2 ネットワーク画面で「デュアルネットワーク」欄の［開始］をタップし、ネットワークパスワード入力画面でネットワーク暗証番号を入力▶［完了］をタップする

- ネットワークパスワード入力画面で［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。
- ネットワーク暗証番号→P152

デュアルネットワークの状態を確認する

FOMAとmovaのどちらを利用中かを確認できます。

1 アプリケーション選択バーの(電話)▶メニューバーの「設定」▶「ネットワーク」を順にタップする

2 ネットワーク画面で「デュアルネットワーク」欄の［ステータス確認］をタップする

現在のデュアルネットワークの状態が表示されます。

お知らせ

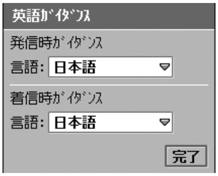
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では操作できません。
- FOMAからmovaへの切り替えは、FOMA端末から操作できません。movaから切り替えの操作を行う場合は、「1540」にダイヤルし、音声ガイダンスに従って操作してください。

英語ガイダンスを利用する

電話をかけたときにお客様が聞く音声ガイダンスや、電話をかけてきた相手が聞く音声ガイダンスの言語を「日本語」または「英語」に設定できます。

- 英語ガイダンスはお申し込みが不要です。月額使用料もかかりません。
- ドコモの携帯電話どうしが英語ガイダンスを設定した状態で電話の発着信を行った場合、電話をかけてきた相手の発信時の設定が、電話を受けた相手の着信時の設定より優先されて音声ガイダンスが再生されます。

1 **アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「英語ガイダンス」を順にタップする**



発信時ガイダンス

日本語	：電話発信時にお客様が聞く音声ガイダンスを日本語にします。
英語	：電話発信時にお客様が聞く音声ガイダンスを英語にします。

着信時ガイダンス

日本語	：電話着信時に相手が聞く音声ガイダンスを日本語にします。
日本語＋英語	：電話着信時に相手が聞く音声ガイダンスを日本語→英語の順にします。
英語＋日本語	：電話着信時に相手が聞く音声ガイダンスを英語→日本語の順にします。

2 **「発信時ガイダンス」欄をタップし、言語を選択▶変更の確認画面で［はい］をタップする**

- 変更の確認画面で［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

3 **「着信時ガイダンス」欄をタップし、言語を選択▶変更の確認画面で［はい］をタップする**

- 変更の確認画面で［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

4 **［完了］をタップする**

お知らせ

- サービスエリア外や電波の届いていない場所では操作できません。

サービスダイヤルを利用する

ドコモ故障窓口や、ドコモ総合案内・受付へ電話をかけます。

- サービスダイヤルはお申し込みが不要です。月額使用料もかかりません。
- お使いの FOMA カードによって、画面表示や発信する番号が異なる場合があります。

故障の問い合わせをする

1 **アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「電話」▶「自局番号」を順にタップし、自局番号画面で「サービスダイヤル」タブ▶［発信］を順にタップする**

総合案内・受付へ電話をかける

1 **アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「電話」▶「自局番号」を順にタップし、自局番号画面で「サービスダイヤル」タブ▶「ドコモ総合案内・受付」▶［発信］を順にタップする**

お知らせ

- サービスエリア外や電波の届いていない場所では操作できません。

転送先通話中留守番接続

転送先が通話中に留守番電話に接続する

転送でんわサービスで登録した転送先の電話が通話中のとき、留守番電話サービスセンターに接続するように設定できます。

- 留守番電話サービスをご契約の場合のみ利用できます。
- 設定した転送先通話中留守番接続を動作させるには、通話中着信設定を開始に設定する必要があります。
→P180

次のページへ続く

1 **アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「通話制御」を順にタップし、通話制御画面で「転送」タブ▶「転送」の□を順にタップする**

2 **開始の確認画面で［はい］をタップする**

3 **通話制御画面で「転送先通話中留守番接続」の□をタップし、設定の確認画面で［はい］をタップする**

- 設定の確認画面で［いいえ］をタップすると、操作を中止します。
- ☑をタップし、中止の確認画面で［はい］をタップすると、設定が解除されます。

お知らせ

- 留守番電話サービスを停止に設定中でも、本機能を設定した場合は自動的に開始に設定されます。
- サービスエリア外や電波の届いていない場所では操作できません。

通話中着信設定

通話中着信設定を開始／停止する

転送先通話中留守番接続の設定を開始／停止できます。

1 **アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「通話制御」を順にタップする**

2 **通話制御画面で「通話中着信設定」の□をタップし、開始の確認画面で［はい］をタップする**

- 開始の確認画面で［いいえ］をタップすると、操作を中止します。
- ☑をタップし、停止の確認画面で［はい］をタップすると、通話中着信動作が停止されます。

お知らせ

- サービスエリア外や電波の届いていない場所では操作できません。

追加サービス（USSD登録）

サービスを登録して利用する

当社より新たなネットワークサービスを提供されたとき、FOMA端末に新サービスを最大10件まで登録できます。

サービスを登録／変更する

1 **アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「電話」▶「追加サービス」を順にタップする**

2 **追加サービス画面で登録／変更する番号▶［編集］を順にタップする**



名前　：ネットワークサービスの名前を入力します。

コマンド：サービスセンターに通知するためのサービスコード（USSD）を入力します。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 **名前を入力する**

- 全角／半角を問わず、20文字まで入力できます。

4 **「コマンド」欄をタップし、コマンド入力画面でサービスコード（USSD）を入力▶［完了］▶［完了］を順にタップする**

- 他のサービスを登録／変更する場合は、操作2～4を繰り返します。

お知らせ

- サービス名やサービスコード（USSD）は、当社から通知されたものを登録してください。

登録したサービスを利用する

1 アプリケーション選択バーの(電話)▶メニューバーの「電話」▶「追加サービス」を順にタップする

2 追加サービス画面で利用する番号▶[送信]を順にタップする

選択したサービスの特番／サービスコード（USSD）がサービスセンターに送信されます。

お知らせ

- サービスエリア外や電波の届いていない場所では操作できません。

登録したサービスを削除する

1 アプリケーション選択バーの(電話)▶メニューバーの「電話」▶「追加サービス」を順にタップする

2 追加サービス画面で削除する番号▶[クリア]を順にタップする

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

留守番電話サービスや転送でんわサービスの操作を、FOMA端末以外の公衆電話などからできるように設定します。

- 留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約いただいているときのみ利用できます。
- 遠隔操作の詳細については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。
- 遠隔操作を行う際は、あらかじめ留守番電話サービス、または転送でんわサービスを開始に設定してください。

1 アプリケーション選択バーの(電話)▶メニューバーの「設定」▶「ローミング」を順にタップする

遠隔操作設定

：遠隔操作設定を有効にするかしないかを設定します。
☑が有効、☐が無効の状態です。

2 ローミング画面で「遠隔操作設定」の☐をタップし、開始の確認画面で[はい]をタップする

- 開始の確認画面で［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

カメラ

カメラをご使用になる前に

撮影した静止画や動画を利用する

カメラを使って撮影した静止画や動画は、表示／再生するだけでなく、いろいろな用途に活用することができます。

- スライドショーで連続表示する→P310
- 編集する→P312
- メールに添付する→P348
- TransFlashメモリカードに保存する→P195
- Bluetoothで送信する→P348
- デスクトップスイートでパソコンに保存する→P593

カメラを使用するにあたっての注意

- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前にやわらかい布で拭いてください。
- 撮影する場合は、レンズ部分を指で覆わないようにしてください。
- 電池残量が少ないと、画面が暗くなることがあります。
- レンズ部分に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色し映像が変色することがあります。
- FOMA 端末を暖かい場所に長時間置いた後で撮影したり、画像を保存したりすると、画質が劣化することがあります。
- 速く動いている被写体を撮影すると、撮影した時にディスプレイに表示されていた位置とは若干ずれた位置で被写体が撮影される場合があります。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマーを使用して撮影してください。
- 動画撮影の際、手ぶれをおこしたり、動きの激しいものを撮影したりすると画像が乱れることがあります。
- 直接、太陽やランプなどの強い光源を撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られており、常時明るく見える点や線、暗く見える画素や線が存在する場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、若干粗く見えたり、白い線などのノイズが増えますのでご了承ください。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影したものを権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名などを無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影が禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

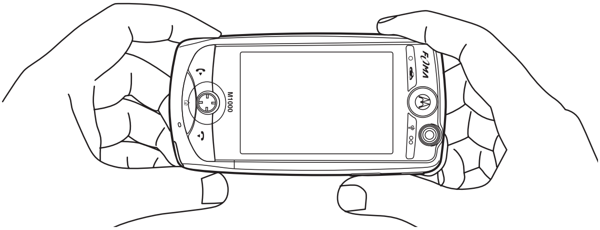
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

カメラの使いかた

カメラを使って静止画や動画を撮影することができます。撮影方法は、次のとおりです。

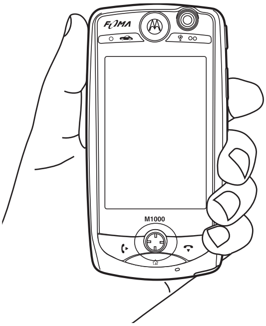
■FOMA端末を横にして撮影

背面カメラを使って人や風景などを撮影するときに適しています。

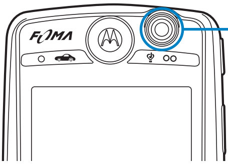


■FOMA端末を縦にして撮影

正面カメラを使って自分の顔などを撮影するときに適しています。

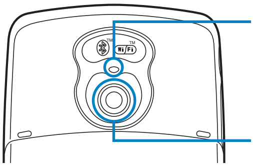


カメラは正面と背面の２箇所にあり、切り替えて撮影することができます。



正面カメラ

自画像を正像／鏡像に切り替えて表示できます。撮影後に保存される静止画と動画は正像となります。

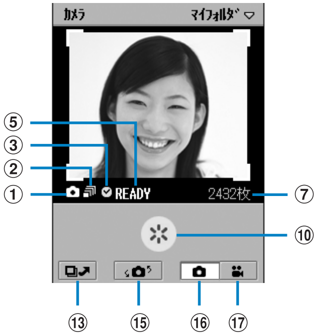


カメラランプ

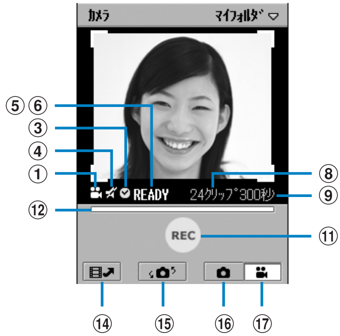
静止画撮影、動画撮影開始／停止時などに赤色で点滅します。

背面カメラ

撮影画面について



静止画撮影画面



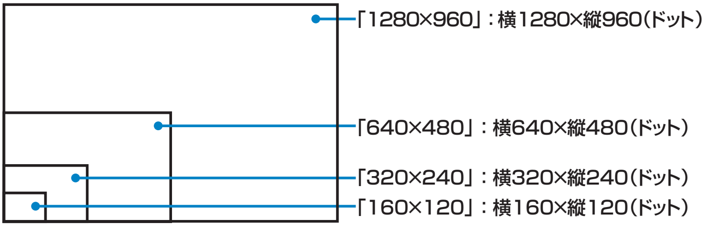
動画撮影画面

マーク名	マーク	説　明	
①撮影モード		静止画撮影モードのときに表示されます。	
		動画撮影モードのときに表示されます。	
②静止画撮影サイズ		背面カメラ	撮影時のサイズ：1280×960
			撮影時のサイズ：640×480
			撮影時のサイズ：320×240
			撮影時のサイズ：160×120
		正面カメラ	撮影時のサイズ：640×480
			撮影時のサイズ：320×240
			撮影時のサイズ：160×120
③セルフタイマーON		セルフタイマー起動中に表示されます。	
④音声OFF		音声を消して動画を録画しているときに表示されます。 →P190	
⑤カメラ起動中	READY	撮影が可能なときに表示されます。	
⑥録画中	録画中	動画を録画しているときに表示されます。	
⑦撮影可能枚数	—	撮影可能な枚数（目安）が表示されます。	
⑧録画可能動画クリップ数	—	録画可能な動画クリップ数が表示されます。	
⑨最大録画時間	—	設定した秒数（300秒／12秒）が表示されます。 →P195	
⑩シャッター		タップすると画像を撮影します。	
⑪録画／停止	REC ／	タップすると動画を録画または停止します。	
⑫録画進行状況インジケータ		録画終了までの目安が表示されます。	
⑬画像ビューア※		タップすると保存されている画像を確認できます。 →P308	
⑭動画プレーヤ		タップすると保存されている動画を確認できます。 →P314	
⑮カメラ切替え		タップすると正面／背面カメラが切り替わります。	
⑯静止画モード※		タップすると静止画撮影モードに切り替わります。	
⑰動画モード※		タップすると動画撮影モードに切り替わります。	

※：電話帳（→P107）から静止画撮影画面を表示した場合は、表示されません。

撮影サイズについて

本FOMA端末では、次の４種類のサイズで撮影できます。→P195



上の画像サイズ枠は画像の大きさを相対的な比率で表しています。実際のサイズとは異なります。

FOMA端末本体／TransFlashメモリカードに保存できる目安について

静止画

保存できる枚数は「画像サイズ」「画質」の設定の内容や撮影状況などによって変わります。

画像サイズ	FOMA端末本体			TransFlashメモリカード		
	画　質			画　質		
	最　良	良	標　準	最　良	良	標　準
1280×960	約34（枚）	約43（枚）	約51（枚）	約57（枚）	約72（枚）	約85（枚）
640×480	約148（枚）	約183（枚）	約226（枚）	約249（枚）	約308（枚）	約380（枚）
320×240	約805（枚）	約1022（枚）	約1111（枚）	約1356（枚）	約1720（枚）	約1871（枚）
160×120	約3220（枚）	約4130（枚）	約5278（枚）	約5424（枚）	約6957（枚）	約8889（枚）

- 付属の32MバイトTransFlashメモリカード（試供品）を使用した場合の目安です。

動画

保存できる件数は「音声ON／OFF」や、撮影状況などによって変わります。

撮影可能時間	FOMA端末本体		TransFlashメモリカード	
	音　声		音　声	
	O　N	OFF	O　N	OFF
300秒	約6（件）	約7（件）	約10（件）	約13（件）
12秒	約163（件）	約204（件）	約275（件）	約344（件）

- 撮影可能時間まで撮影した場合の件数です。
- 付属の32MバイトTransFlashメモリカード（試供品）を使用した場合の目安です。

ファイルの保存形式について

静止画

ファイル形式	JPEG
画像サイズ	1280×960（SXGA）、640×480（VGA）、320×240（QVGA）、160×120（QQVGA）
拡張子	.jpg
ファイル名	「PICXXXXXX」（Xは6桁の数字） ・ 撮影で最初にできたファイルのファイル名は「PIC000001」になります。以降「PIC000002」→「PIC000003」…と1ずつ上がっていき、「PIC999999」の後は「PIC000000」に戻ります。 既に同じファイル名で、かつJPEGのファイルがFOMA端末本体／TransFlashメモリカードのどちらかに保存されている場合は、1つ上の番号で保存されます。

動画

ファイル形式	MP4（MobileMP4）
符号化方式	映像：MPEG4　音声：AMR
画像サイズ	176×144（QCIF）
拡張子	.3gp
ファイル名	「MOVXXXXXX」（Xは6桁の数字） ・ 撮影で最初にできたファイルのファイル名は「MOV000001」になります。以降「MOV000002」→「MOV000003」…と1ずつ上がっていき、「MOV999999」の後は「MOV000000」に戻ります。 既に同じファイル名でFOMA端末本体／TransFlashメモリカードのどちらかに保存されている場合は、1つ上の番号で保存されます。

■動画再生ソフトのご紹介

FOMA端末で撮影した動画をパソコンで再生するには、QuickTime ver.6.4（もしくはver.6.3+3GPP）以上が必要です。QuickTimeは、アップルコンピュータ（株）のホームページから無料でダウンロードできます。ダウンロード方法や操作方法など詳しくは、アップルコンピュータ（株）のホームページをご覧ください。

静止画を撮影する

カメラを使って静止画を撮影します。撮影した静止画は本体メモリ、またはTransFlashメモリカード内に保存され、保存先は選択（→P195）できます。保存した静止画は、（ピクチャー）（→P308）から確認できます。

1 を押す



静止画撮影画面

カメラが起動します。

- 前回撮影に使用したカメラ（正面／背面）からの画像が表示されます。切り替え方法については→P192
- 動画撮影画面が表示された場合は、をタップして切り替えます。

2 カメラを被写体に向ける▶／を押す／をタップする



保存確認画面

シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。

：タップすると、撮影した静止画を送信できます。→P348

：タップすると、ファイルの削除画面が表示され、［はい］をタップすると撮影した静止画を削除できます。

3 ／を押す／をタップする

撮影した静止画が保存されます。

- をタップすると、保存した静止画を確認できます。→P308

■静止画撮影画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「カメラ」をタップすると、次の項目が表示されます。

カメラ設定 P195
セルフタイマー ON／OFF P194
ナイトモードON／OFF P195
ミラーリングON／OFF※ P195

※：正面カメラ撮影時のみ表示

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

次のページへ続く

お知らせ

- シャッター音を消したり、変更したりすることはできません。
- 撮影待機中に省電力モードの「画面OFF」の状態（→P145）になると、カメラは自動的に終了します。
- 撮影待機中に電話がかかってきた場合は、着信中画面が表示されます。→P82
- 撮影待機中に E メール／ショートメッセージ（SMS）を受信（→P273、P303）した場合は、ステータスバーに ／ が表示されます。
- 操作 2 の保存確認画面、および をタップすることで表示されるファイルの削除画面表示中に、お客様による切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、撮影した静止画は自動的に保存されます。
- 画像サイズによっては、保存するまでに時間がかかる場合があります。
- 静止画撮影画面に表示されている撮影可能枚数は目安となります。撮影可能枚数はカメラを起動するたびに再計算されるので、表示される枚数が変動する場合があります。
- メモリがいっぱいです が表示されたときは、保存領域に空きがありません。不要なファイルを移動または削除してください。→P345、P346
- カメラ起動中は、E メールなどを受信したときの着信音や、スケジュールや ToDo などで設定したアラーム時間になったときのアラーム音が、設定したものとは違う音で鳴ります。

動画を撮影する

カメラを使って動画を撮影します。撮影した動画は本体メモリ、またはTransFlashメモリカード内に保存され、保存先は選択（→P195）できます。保存した動画は、（ビデオ）（→P314）から確認できます。

1 を押す

カメラが起動し、静止画撮影画面が表示されます。

- 前回撮影に使用したカメラ（正面／背面）からの画像が表示されます。切り替え方法については→P192
- 動画撮影画面が表示された場合は、操作3に進みます。

2 をタップする



動画撮影画面

■音声を消して動画を撮影するとき

メニューバーの「カメラ」▶「音声OFF」を順にタップする

- 音声をONに戻すには、メニューバーの「カメラ」▶「音声ON」を順にタップします。

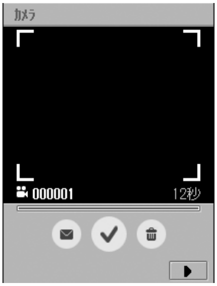
3 ／ を押す／ をタップする



シャッター音が鳴り、動画の撮影を開始します。

- 撮影中は、カメラランプが赤色で点滅します。

4 ／ を押す／ をタップする



保存確認画面

終了確認音が鳴り、動画の撮影を終了します。

- ：タップすると、撮影した動画を送信できます。→P348
- ：タップすると、ファイルの削除画面が表示され、［はい］をタップすると撮影した動画を削除できます。
- ／ ：タップすると、撮影した動画を再生／停止できます。
  - 再生中に をタップすると、タップした付近（再生時間が約12秒以下の場合は最初）から再生されます。

5 ／ を押す／ をタップする

撮影した動画が保存されます。

- をタップすると保存した動画を確認できます。→P314

■動画撮影画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「カメラ」をタップすると、次の項目が表示されます。

カメラ設定 …………………………… P195
セルフタイマー ON／OFF …………………… P194
ナイトモードON／OFF …………………… P195
ミラーリングON／OFF※ …………………… P195
音声ON／OFF …………………………… P190

※：正面カメラ撮影時のみ表示

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

お知らせ

- 動画撮影中は、送話口（→P30）をふさがないでください。音声が録音されない場合があります。
- シャッター音を消したり、変更したりすることはできません。
- 撮影した動画を再生した場合、マナーモード中でも音声は再生されます。ただし、「サウンド」の「マルチメディア／ゲーム」を無音（→P133）にしている場合は、音声が再生されません。
- 撮影待機中に省電力モードの「画面OFF」の状態（→P145）になると、カメラは自動的に終了します。
- 動画撮影中に電話がかかってきた場合は着信中画面が表示されます。→P82
  - ［拒否］をタップすると、保存確認画面が表示されます。
  - ［応答］をタップすると、そこまで撮影した動画が自動的に保存されます。

次のページへ続く

- 動画撮影中に設定したアラーム時間になったときは、アラーム画面が表示されます。
  - [開く] をタップすると、該当するアプリケーションが起動し、そこまで録画した動画は保存されません。
  - [サイレント] をタップすると、アラーム画面が表示されたままとなります。
  - [スヌーズ] ／ [完了] をタップすると、録画を継続できます。
- 動画撮影中に E メール／ショートメッセージ（SMS）を受信（→P273、P303）した場合は、ステータスバーに ／ が表示されます。
- 動画撮影中に、お客様によって他のアプリケーションに切り替えた場合は、そこまで撮影した動画は保存されませんのでご注意ください。
- 操作 4 の保存確認画面、および をタップすることで表示されるファイルの削除画面表示中に、お客様による切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、撮影した動画は自動的に保存されます。
- 撮影時間によっては、撮影終了／保存するまでに時間がかかる場合があります。
- メモリがいっぱいです が表示されたときは、保存領域に空きがありません。不要なファイルを移動または削除してください。→P345、P346
- カメラ起動中は、E メールなどを受信したときの着信音や、スケジュールや ToDo などで設定したアラーム時間になったときのアラーム音が、設定したものとは違う音で鳴ります。

撮影時の設定を変える

撮影時のカメラの設定をします。カメラを起動している状態で設定します。

- 動画撮影中は設定できません。

カメラを切り替える

正面カメラと背面カメラを切り替えます。

1 **静止画／動画撮影画面で をタップする**

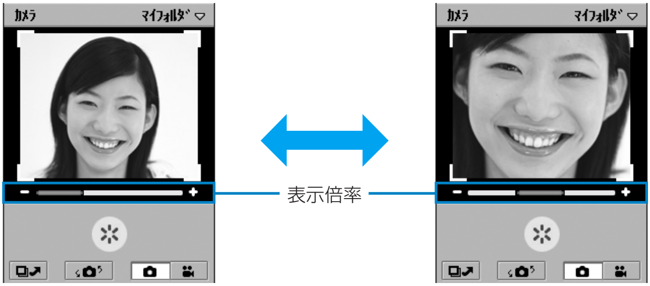
ズームを使う

ズーム機能を使って撮影できます。遠くにある被写体などを拡大して撮影できます。
撮影する画像サイズにおける表示倍率は次のとおりです。

撮影モード	画像サイズ	ズームの倍率		
		1倍	2倍	4倍
静止画	1280×960	ズームできません		
	640×480	○	○	×
	320×240	○	○	○
	160×120	○	○	○
動　画	176×144	○	○	○

- 正面カメラ撮影時は、ズームできません。

1 静止画／動画撮影画面で を押す



お知らせ

- ／ をタップ／ を押しても、ズームレベルを変えられます。
- 何も操作をしないと、約3秒後に撮影画面に戻ります。
- カメラを終了すると、ズームは解除されます。

明るさを調節する

お買い上げ時 | 0

画面の明るさを5段階（-2／-1／0／1／2）で調節できます。

1 静止画／動画撮影画面で を押して明るさが調節できる状態（ ／ が表示）に切り替える▶ を押す



お知らせ

- ／ をタップしても、明るさレベルを変えられます。
- 何も操作をしないと、約3秒後に撮影画面に戻ります。
- カメラを終了すると、明るさは解除されます。

コントラストを調節する

お買い上げ時 0

画面のコントラストを5段階（-2／-1／0／1／2）で調節できます。

1 静止画／動画撮影画面で を押してコントラストが調節できる状態（ ／ が表示）に切り替える▶ を押す



コントラスト調整

お知らせ

- ／ をタップしても、コントラストレベルを変えられます。
- 何も操作をしないと、約3秒後に撮影画面に戻ります。
- カメラを終了すると、コントラストは解除されます。

セルフタイマー

セルフタイマーを使って撮影する

セルフタイマーONにして撮影すると、セルフタイマーが働き、約10秒後に撮影されます。

1 静止画／動画撮影画面でメニューバーの「カメラ」▶「セルフタイマーON」を順にタップ▶ ／ を押す／ ／ をタップする



撮影までの秒数が表示されます。

- セルフタイマーをOFFに戻すには、メニューバーの「カメラ」▶「セルフタイマーOFF」を順にタップします。
- セルフタイマーを途中で中止するには、 ／ を押す／ をタップします。

2 カウント音が鳴り、約10秒後に撮影される

- カウント中は、カメラランプが赤色で点滅します。

お知らせ

- セルフタイマーで撮影した後は、セルフタイマー設定は自動的に解除されます。

ナイトモード
ナイトモードを使う

お買い上げ時	ナイトモードOFF

暗い場所などで撮影する場合に設定します。

1 静止画／動画撮影画面でメニューバーの「カメラ」➧「ナイトモードON」を順にタップする

- ナイトモードをOFFに戻すには、メニューバーの「カメラ」➧「ナイトモードOFF」を順にタップします。

ミラーリング
正像／鏡像を切り替える

お買い上げ時	ミラーリングON

被写体の左右をそのまま表示（ミラーリングOFF）するか、被写体を鏡に映したように左右を逆にして撮影画面に表示（ミラーリングON）するかを切り替えられます。

- 正面カメラ撮影時のみ切り替えられます。

1 静止画／動画撮影画面でメニューバーの「カメラ」➧「ミラーリングOFF」を順にタップする

- ミラーリングをONに戻すには、メニューバーの「カメラ」➧「ミラーリングON」を順にタップします。
- 撮影した静止画／動画は、設定に関わらず正像（ミラーリングOFF状態）で保存されます。

保存先を選択する

撮影した静止画や動画の保存先を選択できます。本操作によりTransFlashメモリカードに保存することもできます。保存先を変更して撮影する場合は、本操作を行ってから撮影します。

1 静止画／動画撮影画面でメニューバーの「マイフォルダ」※➧保存先フォルダ名を順にタップする

※：前回、選択したフォルダ名が表示されます。

選択したフォルダ名がメニューバーに表示されます。

カメラ設定
カメラの設定をする

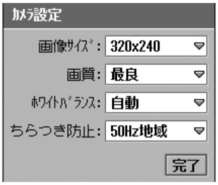
お買い上げ時	画像サイズ：320×240　画質：最良　最大録画時間：300秒 ホワイトバランス：自動　ちらつき防止：50Hz地域

カメラで撮影する静止画／動画のサイズ、画質などが設定できます。

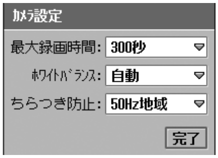
- 動画撮影中は設定できません。

次のページへ続く

1 静止画／動画撮影画面でメニューバーの「カメラ」➡「カメラ設定」を順にタップする



静止画撮影のカメラ設定画面



動画撮影のカメラ設定画面

画像サイズ

1280×960※ ：1280×960ドット（SXGA）で撮影できます。
640×480 ：640×480ドット（VGA）で撮影できます。
320×240 ：320×240ドット（QVGA）で撮影できます。
160×120 ：160×120ドット（QQVGA）で撮影できます。
※：正面カメラ撮影時は、設定できません。

画質

最良 ：最高画質で撮影できます。撮影可能枚数が少なくなります。
良 ：高画質で撮影できます。
標準 ：標準画質で撮影できます。撮影可能枚数が多くなります。

最大録画時間

300秒 ：1回の撮影で約300秒まで録画できます。
12秒 ：1回の撮影で約12秒まで録画できます。

ホワイトバランス

自動 ：ホワイトバランスを自動で調整します。
晴天 ：晴れた日の屋外などで撮影するときに使用します。
屋内（家） ：電球／白熱灯などの下で撮影するときに使用します。
屋内（オフィス）：蛍光灯などの下で撮影するときに使用します。

ちらつき防止

50Hz地域 ：電源周波数が50Hzの地域で、蛍光灯などの下で撮影したときに、ちらつきが発生した場合に使用します。
60Hz地域 ：電源周波数が60Hzの地域で、蛍光灯などの下で撮影したときに、ちらつきが発生した場合に使用します。

2 設定する項目欄をタップし、項目を選択する

3 [完了]をタップする

お知らせ

- カメラを終了すると、ホワイトバランスは「自動」に戻ります。
- カメラ設定中に、お客様による切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、設定した内容は保存されません。

ブラウザ

ブラウザを利用する

ブラウザを利用して、ホームページを表示できます。ブラウザを利用してインターネットに接続するには、mopera Uの利用（→P201）、FOMA対応プロバイダとの契約およびネットワーク設定（→P202）が必要です。詳しくは、「ブラウザを始めるまでの流れ」（→P201）を参照してください。

●ブラウザを利用してホームページを表示する→P209
ブラウザを利用して簡単な操作でインターネットに接続してホームページを表示することができます。

●ブックマークに登録する→P222
よく見るホームページをブックマークに登録すると、すばやく表示することができます。

●画面メモを保存する→P225
ホームページに表示している内容を、画面メモとして保存しておくことができます。保存した画面メモは、インターネットに接続せずに表示することができます。

●ファイルなどをダウンロード／アップロードする→P229、P232
インターネットからさまざまなファイルをダウンロードして保存したり、FOMA端末内にあるファイルをアップロードしたりすることができます。

利用できる通信方法

通信方法には、64Kデータ通信とパケット通信、無線LANの3種類があります。

■64Kデータ通信とパケット通信

64Kデータ通信とパケット通信を利用してインターネットに接続できます。それぞれの接続方法には、次の違いがあります。

接続方法	通信速度	通信料金	アクセスポイント
64Kデータ通信	64kbps	接続時間に対して課金	FOMAの64Kデータ通信に対応したアクセスポイント／ISDNの同期64Kアクセスポイント
パケット通信	送信最大64kbps※ 受信最大384kbps※	送受信したデータ量に対して課金	FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイント

※：通信環境や通信状態などにより、通信速度が低下することがあります。

■無線LAN通信

LANを経由してインターネットに接続できます。利用するには、無線LANの設定が必要です。→P423

お知らせ

- M1000 では、海外の W-CDMA、GSM/GPRS の通信方式に対応したアクセスポイントを利用（海外ローミング）して、インターネットを利用することができます。通信速度は利用するアクセスポイントにより異なります。

ブラウザの主な仕様について

本FOMA端末のブラウザでは次の規格に対応しています。

HTML	HTML 4.01、XHTML 1.1
通信プロトコル	HTTP 1.1
SSL	SSL ver.3、TLS ver.1
Javascript	Javascript ver.1.5
Cookie	対応
Flash Player	Flash ver.5
画像ファイル形式	GIF、JPEG、BMP

ブラウザを利用するにあたっての注意

64Kデータ通信で長時間にわたる接続を行った場合や、パケット通信で画像などを多く含むホームページの閲覧などデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

- 本FOMA端末でブラウザを利用してインターネットに接続する場合は、プロバイダに対する月額使用料が必要になり、FOMAサービスの月額使用料とは別にプロバイダにお支払いいただきます。月額使用料の詳しい内容については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。
- 接続できる条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できないことがあります。
- パケット通信については、定額制料金サービス「パケ・ホーダイ」はご利用いただけません。
- 本FOMA端末のブラウザではパソコン用のブラウザと比べると、機能が限定されます。このためパソコン用のブラウザを使って閲覧することを前提に作られている一部のホームページは表示できない場合があります。
- 特定のプラグインを必要とするホームページなどは、利用できない場合があります。

パケット通信量を確認するには

バイトカウンタで、本FOMA端末から利用したパケット通信時のデータ量（目安）を確認できます。バイトカウンタについて詳しくは、P390を参照してください。

■インターネット関連用語説明

キャッシュ

一度表示したホームページなどのデータを、一時的に記憶する場所です。再度同じホームページを表示するときは、キャッシュ内のデータを呼び出すため、すぐにページを表示できます。

ゲートウェイサーバ

ネットワーク上で、通信方式や決まりごとが異なるデータを相互に変換して通信を可能にするサーバです。通信方式や伝送方式の違いを吸収して異機種間の接続を可能にします。

サブネットマスク

IPアドレスからサブネットのネットワークアドレスを求める場合に使用する値で、IPアドレスのうち、何ビットをネットワークアドレスに使用するかを定義する32ビットの数値（IPアドレスと同様、「XXX.XXX.XXX.XXX」などの数字）です。IPアドレスとサブネットマスクを論理積（AND）演算すると、サブネットのアドレスになります。

次のページへ続く

プライマリDNS／セカンダリDNS
ドメイン名検索用のサーバアドレスです。「プライマリ」がメイン、「セカンダリ」がサブで使用するサーバです。

プロキシサーバ
ユーザによって一度読み込まれたホームページをプロキシサーバに記憶させておき、再度同じホームページにアクセスがあったときは、実際のホームページに接続せずに、プロキシサーバ内のホームページを参照して表示します。これにより、ネットワークへの負荷を軽減できます。

Cookie
本FOMA端末内のメモリに情報を保存して、必要に応じてこの情報を取り出すことができる機能です。例えばショッピングサイトなどで買い物をするときに、初回利用時に名前やメールアドレスなどの固定情報をCookieに保存すると、次に同じサイトで買い物をするときに、保存した情報が初期値として自動表示されます。

DNS (Domain Name System)
IPアドレスとドメイン名を変換するデータベースシステムを指します。
例えば「XXX.XXX.XXX.XXX」などの数値が「xxx.com」などに変換されます。

IP（Internet Protocol）アドレス
インターネット上の機器を識別するための「XXX.XXX.XXX.XXX」などの数字で、DNSサーバがこれをドメイン名に変換します。インターネットに接続中のすべての機器に割り当てられています。

Javaスクリプト
Javaというプログラミング言語で書かれているプログラムです。画像に対してアクセント的効果を出すために使われるのが一般的です。

PPP（Point to Point Protocol）
電話回線を通じてネットワークに接続するダイヤルアップ接続で使われる決まりごとの1つです。

PPP圧縮
圧縮がかかりやすい通信（Webアクセスなど）時にPPP圧縮を設定すると、回線の物理速度を超える通信が可能になる場合があります。

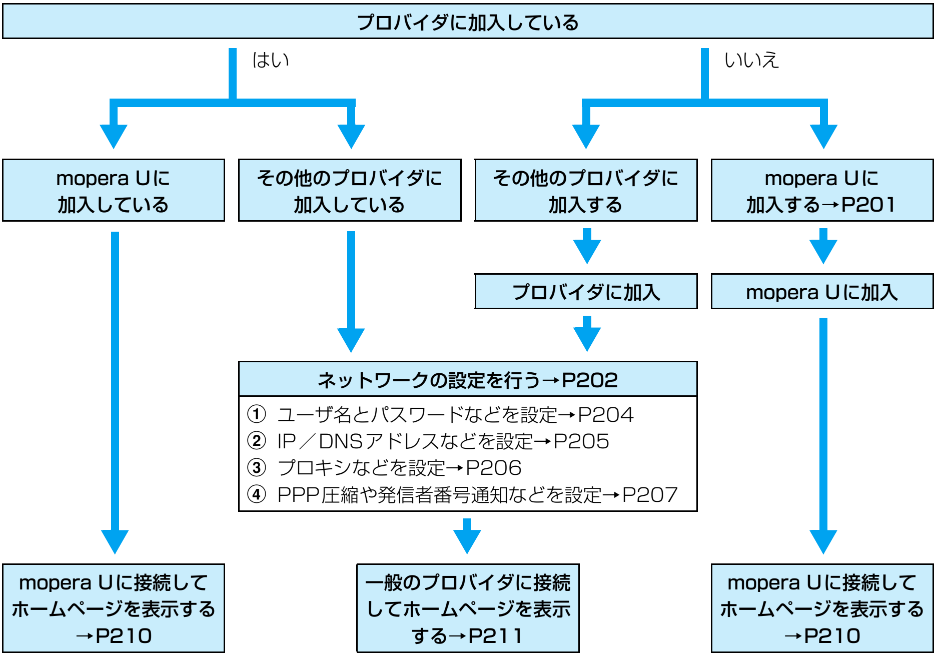
PPP認証
PPPによるダイヤルアップ接続の際に利用される認証方式です。M1000ではPAP（Password Authentication Protocol）／CHAP（Challenge Handshake Authentication Protocol）認証方式を使って通信できます。CHAPはPAPよりも安全性の高い通信が可能で、「なりすまし」行為なども防止できます。

VPN（Virtual Private Network）
インターネットを経由して、専用線のように相互に接続できる機能で「仮想専用線」「仮想私設網」などと呼ばれています。VPNの通信用にパケットのヘッダを変換して、本来はIPパケットのみでしか通信できないインターネットで、TCP/IPでないプロトコルを利用した通信（トンネリング機能）などができ、通信パケットを暗号化して盗聴を防止し、通信経路などを隠すことができます。

ブラウザを使うために必要な設定をする

ブラウザを利用するには、ネットワーク設定（→P202）が必要です。設定情報は、契約しているプロバイダなどから提供される資料をご確認ください。ただし、mopera Uを利用する場合は、ネットワーク設定の必要はありません。

ブラウザを始めるまでの流れ



ドコモの便利なサービスのご紹介

mopera Uについて

別途お申し込みが必要です。

mopera UはFOMAのためのインターネット接続サービスです。インターネット／Eメールの利用はもちろん、国際ローミングサービスやWeb圧縮機能（通信速度が向上し、パケット量も少なくなります）などに対応しています。
本FOMA端末では、mopera Uに接続するための情報が、あらかじめ設定されています。mopera Uにお申し込みしていただいたお客様は、すぐにインターネットがご利用になれます。

※あらかじめ設定されているmopera Uのネットワーク設定は、ベアラがパケット通信の設定になります。FOMA回線交換でご利用いただく場合については、お客様で設定していただく必要があります。

次のページへ続く

Uスタンダードプラン

インターネットやEメールが利用できるサービスです。海外※でも国内と同様にインターネットやEメールが利用できます。ドコモショップやお電話などでお申し込みが必要になります。また、豊富なオプションサービス（公衆無線LAN、固定ブロードバンドなど）も利用できます。

Uライトプラン

インターネットが利用できるサービスです。海外※でも国内と同様にインターネットが利用できます。ドコモショップやお電話などでお申し込みが必要になります。

※：海外でご利用になる場合は、ドコモの国際ローミングサービス「WORLD WING」をご利用ください。WORLD WINGはお申し込み手続きなしでご利用いただけます。詳細につきましては、ドコモのホームページでご確認ください。

ネットワーク設定

mopera Uを利用する

mopera Uを利用してインターネットに接続する場合、ネットワーク設定は必要ありません。P210の「mopera Uに接続してホームページを表示する」へお進みください。
ただし、mopera UでWebメールを利用する場合やmopera Uの設定を変更する場合は、P248のmopera U初期設定を行ってIDやパスワードを確認していただく必要があります。

※ あらかじめ設定されているmopera Uのネットワーク設定は、ベアラがパケット通信の設定になります。FOMA回線交換でご利用いただく場合については、お客様で設定していただく必要があります。

ネットワーク設定

一般のプロバイダを利用する

お買い上げ時	アカウント名：―　ベアラ：パケット

本FOMA端末でインターネットを利用するには、プロバイダ（インターネット接続会社）との契約が必要です。あらかじめ、プロバイダとの契約を行ってください。
mopera Uを利用してインターネットに接続する場合は、本設定は必要ありません。

■**設定のための準備**

ご加入のプロバイダから提供されている次の情報を確認してください。

- 接続に必要な設定項目や項目名称、内容などが異なる場合があります。接続に必要な詳しい情報については、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

ベアラ
回線の種類（回線交換／パケット／無線LAN）です。

アカウント名
プロバイダ名などを入力する確認用の名前です。正式名称でなくても構いません。

電話番号
回線交換で通信するときに利用する接続先アクセスポイントの電話番号です。

APN
パケットで通信するときに利用する接続先アクセスポイントの名前（アドレス）です。

ユーザ名
プロバイダ接続時の認証に使用される個別の名前です。プロバイダによって呼び方が異なる場合があります。

パスワード
プロバイダ接続時の認証に使用されるパスワードです。プロバイダによって呼び方が異なる場合があります。

発信者番号通知
発信者番号の通知方法です。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「接続」タブ▶「ネットワーク設定」を順にタップする



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

■ネットワークアカウントを編集するとき

編集するアカウント▶［編集］を順にタップする

必要に応じて操作3以降の設定を行います。

■ネットワークアカウントを削除するとき

削除するアカウント▶［削除］を順にタップし、削除の確認画面で［はい］をタップする

- お買い上げ時に登録されている「mopera U」は削除できません。

■ネットワークアカウントに接続するとき

接続するアカウント▶［接続］を順にタップする

- ［切断］をタップすると、接続を切断します。

2 ［新規］をタップする



アカウント名　：設定するプロバイダ名などを入力します。
- 全角／半角を問わず、50 文字まで入力できます。

ベアラ

FOMA回線交換：FOMA 64Kデータ通信を利用するときに選択します。

GSM回線交換　：GSM 圏内でデータ通信を利用するときに選択します。

パケット　　　：FOMA パケット通信や GPRS のパケット通信を利用するときに選択します。

無線LAN　　　：無線LANを利用するときに選択します。→P424

3 「アカウント名」欄をタップし、プロバイダ名などを入力する

4 「ベアラ」欄をタップし、「FOMA 回線交換」／「GSM 回線交換」／「パケット」／「無線 LAN」（→P424）を選択する

■「FOMA 回線交換」／「GSM回線交換」を選択したとき

「ベアラ」の下に項目が追加され、項目の入力が必要になります。



ユーザ名　：プロバイダ接続時の認証に使用されるユーザ名を入力します。
- 半角で255文字まで入力できます。

パスワード：プロバイダ接続時の認証に使用されるパスワードを入力します。パスワードは、入力した文字が表示されたあとに「*」で表示されます。
- 半角で255文字まで入力できます。

電話番号　：接続先アクセスポイントの電話番号を入力します。
- 半角で50文字まで入力できます。

次のページへ続く

5 [詳細設定]をタップし、詳細設定画面で設定するタブをタップする

- 以降の設定については、P204～P207を参照してください。
- [キャンセル] をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

- FOMA端末本体のメモリ容量が少ないときは、ネットワークアカウントが作成できない場合があります。
- 詳細設定画面でいずれかの項目を設定／変更中に、お客様による切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの内容が自動的に保存され、保存されたネットワークアカウントが操作1の画面（→P203）に表示されます。アカウント名を設定していなかった場合は、「アカウントX」（Xは任意の数字）というアカウント名が自動的に設定されます。

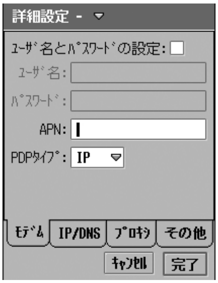
モデム

お買い上げ時	ユーザ名とパスワードの設定：□　ユーザ名：—　パスワード：—　APN：—　PDP タイプ：IP

インターネット接続時に利用するユーザ名とパスワードや、接続先アクセスポイントのアドレスなどの設定ができます。プロバイダから提供される情報に従って、必要な設定を行ってください。

- 「ベアラ」を「FOMA 回線交換」／「GSM 回線交換」／「無線 LAN」（→P424) にした場合、「モデム」タブは表示されません。

1 P204「一般のプロバイダを利用する」の操作５で「モデム」タブをタップする



ユーザ名とパスワードの設定
：ユーザ名とパスワードを入力する場合にチェックします。チェックする場合は、「ユーザ名」「パスワード」の設定が必要になります。
☑が設定する、□が設定しない状態です。

ユーザ名：プロバイダ接続時の認証に使用されるユーザ名を入力します。
- 半角で255文字まで入力できます。

パスワード
：プロバイダ接続時の認証に使用されるパスワードを入力します。パスワードは、入力した文字が表示されたあとに「*」で表示されます。
- 半角で255文字まで入力できます。

APN：接続先アクセスポイントの名前（アドレス）を入力します。
- 半角で32文字まで入力できます。

PDPタイプ
IP：Internetプロトコルで接続する場合に選択します。
PPP：Point to Pointプロトコルで接続する場合に選択します。

2 各項目を設定する

- 「ユーザ名とパスワードの設定」
：□／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。
- 「ユーザ名」「パスワード」「APN」
：項目欄をタップし、文字を入力します。
- 「PDPタイプ」
：項目欄をタップし、項目を選択します。

ブラウザ

3 [完了]をタップし、ネットワーク設定画面で[完了]をタップする

IP／DNS

お買い上げ時	IPアドレス自動取得：☑　IPアドレス：000.000.000.000　サブネットマスク：000.000.000.000 ゲートウェイアドレス：000.000.000.000　DNSアドレス自動取得：☑ プライマリDNSサーバ：000.000.000.000　セカンダリDNSサーバ：000.000.000.000

IPアドレスと、DNSアドレスの設定ができます。プロバイダから提供される情報に従って、必要な設定を行ってください。

1 P204「一般のプロバイダを利用する」の操作5で「IP／DNS」タブをタップする



IPアドレス自動取得
：ネットワークから自動的にIPアドレスを取得する場合にチェックします。チェックしない場合は、「IPアドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイアドレス」の設定が必要になります。
☑が自動的に取得する、□が自動的に取得しない状態です。

IPアドレス　：IPアドレスを設定します。
- 各区切りで0～255の範囲で設定します。

サブネットマスク
：サブネットマスクを設定します。
- 各区切りで0～255の範囲で設定します。

ゲートウェイアドレス
：ゲートウェイアドレスを設定します。
- 各区切りで0～255の範囲で設定します。

DNSアドレス自動取得
：ネットワークから自動的に DNS アドレスを取得する場合にチェックします。チェックしない場合は、「プライマリDNSサーバ」「セカンダリDNSサーバ」の設定が必要になります。
☑が自動的に取得する、□が自動的に取得しない状態です。

プライマリDNSサーバ
：メインのDNSサーバのアドレスを設定します。
- 各区切りで0～255の範囲で設定します。

セカンダリDNSサーバ
：サブのDNSサーバのアドレスを設定します。
- 各区切りで0～255の範囲で設定します。

2 各項目を設定する

- 「IPアドレス自動取得」「DNSアドレス自動取得」
  ：□／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。
- 上記以外の項目
  ：項目欄をタップし、数字を入力します。

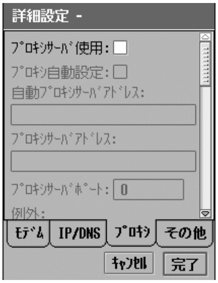
3 [完了]をタップし、ネットワーク設定画面で[完了]をタップする

プロキシ

お買い上げ時	プロキシサーバ使用：□　プロキシ自動設定：□　自動プロキシサーバアドレス：― プロキシサーバアドレス：―　プロキシサーバポート：0　例外：―

イントラネット内からインターネットに接続するときに使用するプロキシサーバを設定します。プロバイダから提供される情報に従って、必要な設定を行ってください。

1 P204「一般のプロバイダを利用する」の操作５で「プロキシ」タブをタップする



プロキシサーバ使用
：プロキシサーバを使用する場合にチェックします。チェックする場合は、「プロキシサーバアドレス」「プロキシサーバポート」「例外」の設定が必要になります。
☑が使用する、□が使用しない状態です。

プロキシ自動設定
：「プロキシサーバ使用」を☑にしたときに、プロキシの設定を自動的に取得する場合にチェックします。チェックする場合は、「自動プロキシサーバアドレス」の設定が必要になります。
☑が自動的に取得する、□が自動的に取得しない状態です。

自動プロキシサーバアドレス
：自動プロキシサーバのアドレスを設定します。
- 半角で50文字まで入力できます。

プロキシサーバアドレス
：プロキシサーバのアドレスを設定します。
- 半角で50文字まで入力できます。

プロキシサーバポート
：プロキシサーバのポート番号を設定します。
- プロバイダなどから指定された数値を入力してください。

例外
：プロキシサーバへの接続が必要ないURLを設定します。
- 半角で256文字まで入力できます。
- 複数のURLを設定するときは、入力したURLの最後に改行、「,」（カンマ）または「;」（セミコロン）を入力すると、続けて別のURLを入力できます。

2 各項目を設定する

- 「プロキシサーバ使用」「プロキシ自動設定」
：□／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。
- 上記以外の項目
：項目欄をタップし、文字を入力します。

3 [完了]をタップし、ネットワーク設定画面で[完了]をタップする

その他

お買い上げ時	PPP圧縮：☑　PPP 認証：PAP　発信者番号通知：OFF　VPN自動起動：□　VPNポリシー：―

その他に、接続時に必要な設定ができます。プロバイダから提供される情報に従って、必要な設定を行ってください。

1 P204「一般のプロバイダを利用する」の操作５で「その他」タブをタップする



PPP圧縮　：PPP 圧縮をして通信する場合にチェックします。
☑が圧縮する、□が圧縮しない状態です。

PPP認証　：PPP認証方法を「PAP」／「CHAP」方式から選択します。

発信者番号通知：発信者番号通知を設定します。
「ON」は186、「OFF」は184を自動的に付加します。「システム」はネットワークの設定に従います。
- 「ベアラ」を「FOMA 回線交換」／「GSM 回線交換」にした場合、「システム」は表示されません。

VPN自動起動：接続が確立されたときに、「movianVPN」を自動起動させ、VPN接続を行う場合にチェックします。チェックした場合は、「VPNポリシー」の設定が必要になります。
☑が自動的に起動する、□が自動的に起動しない状態です。

VPNポリシー：VPN自動起動時に、接続に使用するVPNポリシーを選択します。

2 各項目を設定する

- 「PPP圧縮」「VPN自動起動」
：□／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。
- 「PPP認証」「発信者番号通知」「VPNポリシー」
：項目欄をタップし、項目を選択します。

3 [完了]をタップし、ネットワーク設定画面で[完了]をタップする

お知らせ

- VPNポリシーがない場合は、「VPN自動起動」は設定できません。→P439
- mopera Uでインターネットに接続するためには、「発信者番号通知」を「ON」に設定する必要があります。
- 日本国内でご利用の場合、「システム」に設定すると、発信者番号が通知されます。

タイムアウト時間を設定する

お買い上げ時	回線交換タイムアウト：1分　パケットタイムアウト：3分

パケットおよび回線交換でインターネットに接続中に、何も操作をしない（サーバと通信をしない）状態が続いた場合、本設定において設定した時間で、インターネット接続を自動的に切断することができます。自動的に切断させたくない場合は、「設定なし」にしてください。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）をタップし、コントロールパネル画面で「接続」タブ▶「ネットワーク設定」を順にタップする**

2 **ネットワーク設定画面で「タイムアウト」タブをタップする**



回線交換タイムアウト
：回線交換でインターネットに接続してから、自動的に切断するまでの時間を「10秒」「1分」「3分」「5分」「設定なし」から選択できます。

パケットタイムアウト
：パケットでインターネットに接続してから、自動的に切断するまでの時間を「3分」「5分」「30分」「1時間」「設定なし」から選択できます。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 **設定する項目欄をタップし、項目を選択する**

4 **［完了］をタップする**

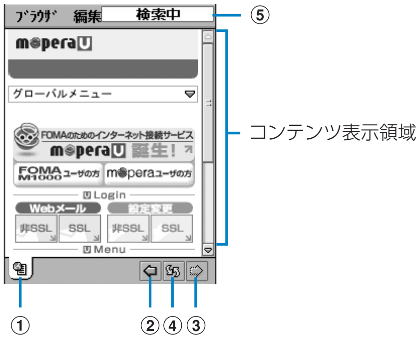
お知らせ

- 「設定なし」に設定した場合や、タイムアウト時間内であっても、電波状況により切断されることがあります。

ホームページを表示する

ブラウザを利用してホームページを表示できます。ホームページによってはFOMA端末で見やすい画面に置き換えられて表示されます。また、画面の表示方法を変更して表示することもできます。→P216

ホームページ表示画面の見かたについて



マーク名	マーク	説　明
①タブ		ホームページデータをすべてダウンロードした状態です。
		ホームページデータをダウンロード中です。
		SSLに対応したホームページデータをすべてダウンロードした状態です。
		SSLに対応したホームページデータをダウンロード中です。
②戻る		1つ前に表示していたページ（アドレス）に戻ります。
③進む		「戻る」で前ページに戻った後で、次のページ（アドレス）に進みます。
④停止／更新	／	ページを読み込み中の場合は、読み込みを途中で停止します。読み込み中でない場合は、現在表示中のページを最新の状態に更新します。
⑤プログレスバー	初期化中	ホームページの表示内容を初期化中です。
	ﾛｸﾞｲﾝ中	接続先サーバと認証中に表示されます。
	検索中	ホームページ検索中に表示されます。
	38KB	データをダウンロード中です。 表示中の数値は「ダウンロードしたデータサイズ」になります。
	11/23 - 56KB	複数のデータをダウンロード中です。 表示中の数値は「ダウンロードが完了した項目数／全データ項目数」－「ダウンロードしたデータサイズ」になります。

次のページへ続く

■メニューバーの項目について

メニューバーの「ブラウザ」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「ブラウザ」

ページを開く P220
タブを閉じる P220
ページ情報 P220
検索 P221
ブックマーク P222
画面メモ P225
履歴 P222
ダウンロード P229
切断 P213

「編集」

コピー P228
貼り付け P229
切り取り P228
すべて選択 P228
縦全画面表示 P217
横全画面表示 P218
フィット表示モード P219
ズーム P219
ユーザ設定 P234

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

mopera Uに接続してホームページを表示する

64Kデータ通信で長時間にわたる接続を行った場合や、パケット通信で画像などを多く含むホームページの閲覧などデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

お買い上げ時には、mopera Uでインターネットに接続するためのネットワークアカウントが、あらかじめ登録されています。mopera Uにお申し込みしていただいているお客様は、このアカウントを使ってすぐに接続できます。

1 アプリケーション選択バーの（ブラウザ）をタップする

- 「ユーザ設定」の「ホームページ」（→P234）を設定している場合や、直前に表示したホームページの履歴から接続する場合は、操作4に進みます。
- mopera U以外のネットワークアカウントを利用して、既に接続中の場合には、切断してからこの操作を行ってください。→P203、P213

2 ホームページ表示画面でメニューバーの「ブラウザ」▶「ページを開く」を順にタップする

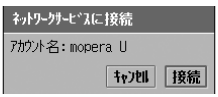


URL　：表示するホームページのURLを設定します。
- 半角で1024文字まで入力できます。
- 「URL」欄の右端 をタップすると、入力したURLの履歴（最大10件）から選択することができます。

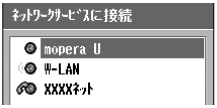
新しいウィンドウで開く
：タブを追加して表示する場合にタップします。
☑ が追加する、☐ が追加しない状態です。
- 最大5個まで追加できます。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 URLを入力▶［開く］をタップする

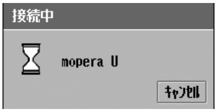


■ネットワークアカウントが複数あるとき



mopera Uを選択してから操作4に進みます。

4 ［接続］をタップする





- ［キャンセル］をタップすると、接続を中止します。

5 項目（リンク先）をタップする

この操作を繰り返して目的のページを表示します。

お知らせ

- お買い上げ時には、「ビジネスFOMA」（FOMA　M1000活用サイト）と「mopera U」（FOMAのためのインターネットサービス）が、あらかじめブックマークに登録されています。→P223
- あらかじめ設定されているmopera　Uのネットワーク設定は、ベアラがパケット通信の設定になります。FOMA回線交換でご利用いただく場合については、お客様で設定していただく必要があります。

一般のプロバイダに接続してホームページを表示する

64Kデータ通信で長時間にわたる接続を行った場合や、パケット通信で画像などを多く含むホームページの閲覧などデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

簡単な操作でホームページを表示することができます。mopera U以外のプロバイダを利用してホームページを表示するには、ネットワーク設定が必要です。→P202

1 アプリケーション選択バーの（ブラウザ）をタップする

- 「ユーザ設定」の「ホームページ」（→P234）を設定している場合や、直前に表示したホームページの履歴から接続する場合は、操作4に進みます。
- 接続に利用するプロバイダ以外のネットワークアカウントを利用して、既に接続中の場合には、切断してからこの操作を行ってください。→P203、P213

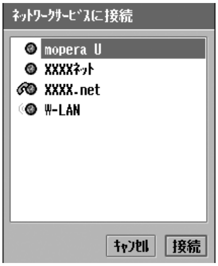
2 ホームページ表示画面でメニューバーの「ブラウザ」▶「ページを開く」を順にタップする



- 画面の表示内容については、P210の操作2の説明を参照してください。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

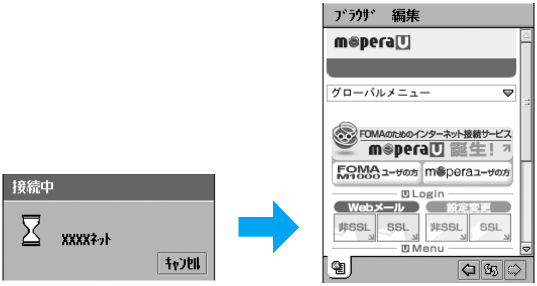
次のページへ続く

3 URLを入力▶[開く]をタップする



：ベアラがパケットのアカウント
：ベアラが回線交換のアカウント
：ベアラが無線LANのアカウント

4 接続に使用するアカウント▶[接続]を順にタップする



- ［キャンセル］をタップすると、接続を中止します。

5 項目（リンク先）をタップする

この操作を繰り返して目的のページを表示します。

■セキュリティ通信について

SSL（Secure Sockets Layer）に対応したホームページを表示することができます。SSLに対応したページでは、データを暗号化することにより、お客様の住所や電話番号、クレジットカード番号などの個人情報を送信しても、第三者に見られたり盗まれたりすることを防ぎ、より安全に利用することができます。

- SSLページに接続するために必要な証明書について、内容を確認することができます。→P238

お知らせ

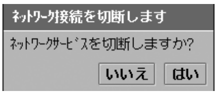
- 他のアプリケーションに切り替えても、ネットワーク接続を切断するか、タイムアウトにならない限り、接続されたままとなりますのでご注意ください。タイムアウト（自動的にネットワーク接続を切断する）時間は設定できます。→P208
- Flash画像が表示されていても、正しく動作しない場合があります。
- ホームページによっては、正しく表示できない場合があります。
- 本FOMA端末が使用している証明書と、異なる証明書を使用しているホームページを表示しようとした場合は、証明書が確認できない旨のセキュリティ情報画面が表示されます。［はい］をタップすると続けてホームページを表示できますが、住所や電話番号、クレジットカード番号などの個人情報を安全に送信できませんのでご注意ください。ホームページを表示させないときは［いいえ］をタップします。［詳細］をタップすると、証明書の内容を確認できます。
- JavaスクリプトやFlashを利用したホームページを表示しているとき
  - ネットワーク接続を切断（→P213）していても、自動的にネットワークサービスに接続の画面が表示される場合があります。

- タイムアウト時間（→P208）を設定していてもネットワーク接続が切断されない場合がありますのでご注意ください。ブラウザのメニューからネットワーク接続を切断（→P213）して、空白のページを表示（→P234）するなどしてください。
- JavaスクリプトやFlashを利用したホームページをブラウザで表示させた状態で、Eメールなど他のアプリケーションに切り替えてネットワーク接続を行うと、ブラウザでもデータ通信が行われている場合がありますのでご注意ください。
- ホームページを表示したときに、画像を読み込まないように設定することもできます。→P236
- ホームページによっては、効果音が鳴るものがあります。効果音を鳴らさない場合は、「ユーザ設定」の「効果音を有効にする」を☐にします。→P236
- 「VPN自動起動」を設定している場合は、ネットワークに接続する操作を行うと、「movianVPN」が自動的に起動します。→P207、P446
- 表示サイズの大きいホームページを表示すると、メモリが不足している旨の確認画面が表示されることがあります。［続行］をタップすると、表示される前の画面に戻りますが、すべてを表示できない場合があります。
- 音楽などが鳴るホームページを表示中は、Eメールなどを受信したときの着信音や、スケジュールやToDoなどで設定したアラーム時間になったときのアラーム音が、設定したものとは違う音で鳴ります。

切断

ネットワーク接続を切断する

1 **ホームページ表示中にメニューバーの「ブラウザ」▶「切断」を順にタップする**



- ［いいえ］をタップすると、切断を中止します。

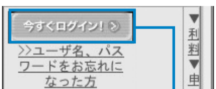
2 **［はい］をタップする**

ホームページを表示したときの操作について

ホームページを表示したときにできる基本的な操作について説明します。

リンク先や項目を選択する

■リンク

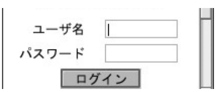


表示中のホームページから関連するページへ進むための項目をリンク項目といいます。
目的の項目をタップすると、リンク先の画面が表示されます。

画像にリンク情報があるとき： で選択すると、枠で囲まれます。

文字にリンク情報があるとき： で選択すると、反転表示されます。

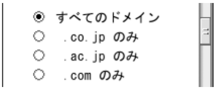
■テキストボックス



テキストボックスは文字を入力する枠です。
テキストボックスをタップして、ステータスバーのをタップ、またはを押すとキーボードが表示され、文字を入力できます。
- 入力できる文字や文字数はテキストボックスにより異なります。

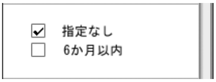
次のページへ続く

■ラジオボタン



選択肢の中から１つだけ選べるマークです。
○ をタップします。○ が ◉ に変わります。

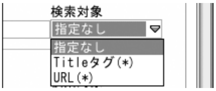
■チェックボックス



選択肢の中から複数を選べるマークです。
□ をタップします。□ が ☑ に変わります。

- 既にチェックの入っていた項目をタップした場合は、チェックが外れます。

■プルダウンメニュー



プルダウンメニューは選択肢が見えない状態で表示され、選ぶと選択肢が一覧で表示されます。
表示された一覧から項目を選択します。プルダウンメニューをタップし、一覧から選択する項目をタップします。

お知らせ

- リンク先や項目は ✥ と ◉ で選択することもできます。
- ナビゲーションキーでプルダウンメニューを操作する場合は、プルダウンメニューを選択（枠で囲まれます）した後に、◉ でプルダウンメニューの文字を反転表示させることにより、✥ で選択肢を選択できるようになり、✥ で確定できます。プルダウンメニューの文字が反転表示しているときに、もう一度 ◉ で選択肢を一覧で表示させ、✥ で項目を選択して ◉ で確定することもできます。
- テキストボックスに入力中の文字が、キーボードにより隠れてしまった場合は、キーボードの何も表示されていない部分をドラッグ、または ▲ ▼ をタップして移動させるか、＿ をタップしてキーボードを最小化して確認することができます。

前のページに戻る／進む

FOMA端末は、既に表示したホームページのデータを記憶（キャッシュ）しています。記憶したデータはブラウザを閉じると消去されます。⇦⇨をタップしてその経路に従ってホームページを表示できます。



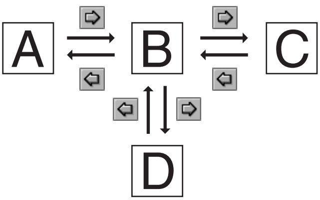
⇦：１つ前のページを記憶しています。タップすると、１つ前のページに戻ります。

⇨：次のページを記憶しています。タップすると、次のページに進みます。

お知らせ

- FOMA 端末のキャッシュサイズをオーバーしている場合や、必ず最新情報を読み込むように設定（作成）されたホームページを表示する場合は、再度ホームページからデータを取り込んで表示します。

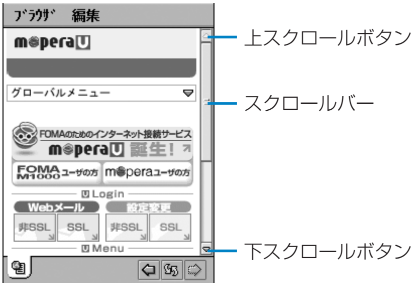
例：A → B → C → B → D の順でホームページを表示した場合



左のように A→B→C の順にサイトを表示し、B に戻ったあとで D を表示すると B → C の履歴は削除され、B → D の履歴が記憶されます。

画面をスクロールする

ホームページを表示しているときに、コンテンツ内容が画面内に表示しきれずに続きがある場合は、スクロールボタンをタップしたり、スクロールバーをドラッグすることで、画面上に表示できない領域を表示することができます。



お知らせ

- でスクロールすることもできます。
- スクロールバーの表示方法を設定できます。→P237

ポップアップメニューを表示する

コンテンツ表示領域の任意の箇所をポイントする、またはを1秒以上押すと、ポップアップメニューを表示できます。メニューの外をタップすれば消すことができます。



■ポップアップメニューについて

次の項目が表示されます。

リンク※1 . . . . P221
画像情報※2 . . . . P221
戻る P214
進む P214
再読み込み／停止 P216
タブ P216
表示 . . . . P217～P219
メニューバー※3 . . . . P210

※1：リンクの上でポイントした場合に表示されます。
※2：画像の上でポイントした場合に表示されます。
※3：「縦全画面表示」「横全画面表示」中に表示されます。

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

次のページへ続く

お知らせ

- Flash画像によっては、ポイントすると次の項目が表示されます。表示される項目はFlash画像により異なります。
  - ・「拡大」　・「縮小」　・「すべて表示」　・「再生／一時停止」
  - ・「巻き戻し」　・「画質」※　・「バージョン情報」
  - ※：タップすると、Flash画像の画質（「低」「中」「高」）を変更できます。

タブを切り替える

複数のタブで表示しているときに、それぞれのタブで表示しているホームページの名前を確認して、タブを切り替えることができます。

1 ホームページ表示中にコンテンツ表示領域の任意の箇所をポイントする、または を1秒以上押し、ポップアップメニューの「タブ」▶表示するタブを順にタップする

情報を再読み込みする

ページの表示内容を最新の情報に更新します。接続が中断されるなどしてページが表示されなかった場合、この操作でページを表示できることがあります。



：タップすると、情報を再読み込みします。

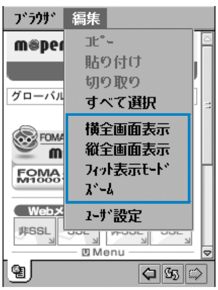
- 再読み込み中に をタップすると、読み込みを中止します。

縦全画面表示／横全画面表示／フィット表示モード／ズーム

ホームページの表示方法を変更する

ホームページの表示方法を変更して表示できます。ただし、ホームページによっては表示方法を変更すると、表示できないことがあります。

1 ホームページ表示中にメニューバーの「編集」をタップする



ブラウザ

2 表示方法をタップする

- 以降の操作については、P217～P219を参照してください。

■変更した表示方法を解除するとき

ホームページ表示中にメニューバーの「編集」▶ ✔ のついた表示方法を順にタップする

縦全画面表示

ホームページを元のままの大きさで表示します。ホームページの内容が、ディスプレイの表示領域を超えて表示されます。「縦全画面表示」中は、メニューバーやステータスバーが表示されません。

1 P217操作2で「縦全画面表示」をタップする





■メニューバーを表示するとき

を押す

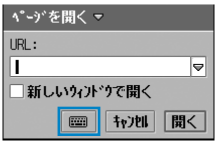
メニューが表示された状態からを2回押すと元に戻ります。

- ポップアップメニューから表示することもできます。→P215

■テキストボックスに文字を入力するとき

テキストボックスをタップ▶を押す

■各画面で文字を入力するとき



URLを入力するとき

入力欄▶を順にタップする

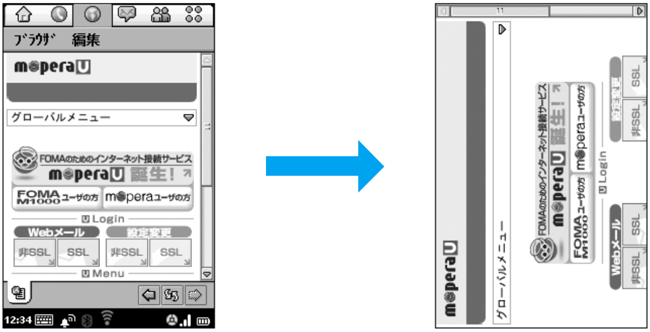
お知らせ

- 全画面表示ヘルプ画面が表示された場合は、表示内容を確認して［完了］をタップします。「次回も表示」を□にすると、次回から表示されなくなります。

横全画面表示

ホームページを元のままの大きさで、90度回転させて表示します。ホームページの内容が、ディスプレイの表示領域を超えて表示されます。「横全画面表示」中は、メニューバーやステータスバーが表示されません。

1 P217操作2で「横全画面表示」をタップする



■メニューバーを表示するとき

[キー]を押す

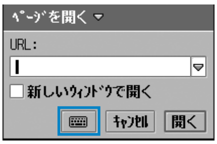
メニューが表示された状態から[キー]を2回押すと元に戻ります。

- ポップアップメニューから表示することもできます。→P215

■テキストボックスに文字を入力するとき

テキストボックスをタップ▶[キー]を押す

■各画面で文字を入力するとき



URLを入力するとき

入力欄▶[キーボード]を順にタップする

お知らせ

- [キー]を押しても「横全画面表示」に切り替えることができます。もう一度押すと元に戻ります。
- 全画面表示ヘルプ画面が表示された場合は、表示内容を確認して［完了］をタップします。「次回も表示」を☐にすると、次回から表示されなくなります。
- 回転方向を設定できます。→P237
- キーボードの入力方式を「マルチタップ」「ツータップ」に切り替えて、文字を入力することはできません。
- テキストボックスに入力中の文字が、キーボードにより隠れてしまった場合は、キーボードの何も表示されていない部分をドラッグ、または[▲][▼]をタップして移動させるか、[＿]をタップしてキーボードを最小化して確認することができます。

フィット表示モード

ホームページをディスプレイサイズに合わせて表示します。ホームページの内容が、すべてディスプレイの横幅に固定されて表示されます。

1 P217操作2で「フィット表示モード」をタップする





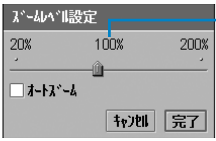
お知らせ

- この表示方法に変更すると、一部のコンテンツが削除されたり、レイアウトが変更されて表示される場合があります。また、効果音などが鳴るホームページでは、鳴らなくなる場合があります。

ズーム

ズームレベルを20～200%の間で任意に設定して表示サイズを変更できます。

1 P217操作2で「ズーム」をタップする



現在のズームレベルが表示されます。

- 「オートズーム」を☑にすると、ブラウザが自動的に最適な大きさにズームしてホームページを表示します。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 をドラッグしてズームレベルを変更▶［完了］をタップする





拡大ズームしたとき

ページを開く

URLを入力してホームページを表示する

URLを入力して目的のホームページを表示します。タブを新しく追加して表示することもできます。

1 ホームページ表示中にメニューバーの「ブラウザ」▶「ページを開く」を順にタップする



URL　：表示するホームページのURLを設定します。
- 半角で1024文字まで入力できます。
- 「URL」欄の右端 ▽ をタップすると、入力したURLの履歴（最大10件）から選択することができます。

新しいウィンドウで開く
：タブを追加して表示する場合にタップします。
☑ が追加する、☐ が追加しない状態です。
- 最大5個まで追加できます。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 URLを入力▶［開く］をタップする

■追加したタブを閉じるとき
閉じるタブのホームページ表示中にメニューバーの「ブラウザ」▶「タブを閉じる」を順にタップする

ページ情報

ホームページの情報を表示する

1 ホームページ表示中にメニューバーの「ブラウザ」▶「ページ情報」を順にタップする



タイトル　：ホームページのタイトルを表示します。
URL　：ホームページのURLを表示します。
ページサイズ：ホームページのサイズを表示します。
セキュリティ：暗号化通信に対応したページかどうかを表示します。

- ［URLをコピー］をタップすると、情報を表示しているホームページのURLをコピーできます。→P228
- ［ブックマーク］をタップすると、情報を表示しているホームページのURLをブックマークに登録できます。→P223
- ［画面メモ］をタップすると、情報を表示しているホームページの内容を保存できます。→P225

リンク

リンク情報を表示する

1 **ホームページ表示中にリンク項目の上をポイントし、ポップアップメニューの「リンク」をタップする**



- ［開く］をタップすると、リンク先を表示できます。「新しいウィンドウで開く」を ☑ にすると、新しいタブでリンク先が表示されます。
- ［URLをコピー］をタップすると、リンク先のURLをコピーできます。→P228
- ［ブックマーク］をタップすると、リンク先の URL をブックマークに登録できます。→P223

画像情報

画像の情報を表示する

1 **ホームページ表示中に情報を表示する画像の上をポイントし、ポップアップメニューの「画像情報」をタップする**

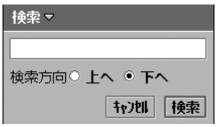


- ［開く］をタップすると、情報を表示している画像を画像ビューアで表示して保存することもできます。→P227
- ［URL をコピー］をタップすると、情報を表示している画像のURLをコピーできます。→P228
- ［送信］をタップすると、情報を表示している画像を送信できます。→P348

検索

ホームページの文字を検索する

1 **ホームページ表示中にメニューバーの「ブラウザ」▶「検索」を順にタップする**



- キーワードは全角／半角を問わず、128文字まで入力できます。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 **検索する文字を入力▶「検索方向」の ◯ ▶［検索］を順にタップする**

- 検索された文字は、反転表示されています。

履歴

履歴からホームページを表示する

これまでに表示したホームページは履歴として保存されています。その履歴からホームページを直接表示できます。

1 ホームページ表示中にメニューバーの「ブラウザ」▶「履歴」を順にタップする



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。
- ［開く］をタップすると、反転表示しているホームページを表示します。

■履歴をすべて消去するとき

［クリア］をタップする

- タップした後に消去の確認画面は表示されず、すべての履歴が消去されます。

2 表示するホームページをタップする

お知らせ

- 履歴を消去すると、URL を入力してホームページを表示する（→P210、P211、P220）場合に表示される画面のURL欄から選択できる履歴も消去されますのでご注意ください。

ブックマーク

ブックマークに登録してすばやく表示する

ブックマークに登録する

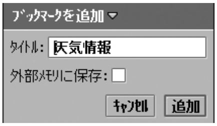
よく見るホームページに、すぐに接続できるようにしたいときは、ブックマークに登録します。最大約1000件※まで保存できます。

※：保存するブックマークのURLの文字数や、他のアプリケーションによるメモリ使用状況により少なくなります。

1 ホームページ表示中にメニューバーの「ブラウザ」▶「ブックマーク」を順にタップする



2 「追加」をタップする



タイトル：ブックマークのタイトルを設定できます。
- 全角／半角を問わず、256 文字まで入力できます。

外部メモリに保存
：TransFlash メモリカードにブックマークを保存する場合にタップします。
☑ が保存する、☐ が保存しない状態です。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 タイトルを入力▶［追加］をタップする

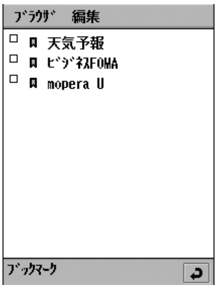
お知らせ

- TransFlash メモリカードが FOMA 端末本体に挿入されてない場合、「外部メモリに保存」はタップできません。
- ブックマーク１件に保存できるURLの文字数は、半角で1024文字までです。

ブックマークからホームページを表示する

登録したブックマークから、簡単にそのページを表示することができます。TransFlashメモリカードに保存したブックマークも、この操作で表示できます。
- お買い上げ時には、「ビジネスFOMA」（FOMA M1000活用サイト）と「mopera U」（FOMAのためのインターネットサービス）が登録されています。

1 ホームページ表示中にメニューバーの「ブラウザ」▶「ブックマーク」▶「表示」を順にタップする



ブックマーク一覧画面

- ⏎ をタップすると、ホームページ表示画面に戻ります。

2 表示するブックマーク▶「開く」／「新しいウィンドウで開く」を順にタップする

設定したホームページを表示する

「ユーザ設定」で「ホームページ」に設定したホームページを表示します。→P234

1 ホームページ表示中にメニューバーの「ブラウザ」▶「ブックマーク」▶「ホームページ」を順にタップする

ブックマークを編集する

登録したブックマークを選択して編集します。

1 **ホームページ表示中にメニューバーの「ブラウザ」▶「ブックマーク」▶「表示」を順にタップする**

2 **ブックマーク一覧画面で編集するブックマークの をタップする**



タイトル：ブックマークのタイトルを設定できます。
- 全角／半角を問わず、256 文字まで入力できます。

URL：ブックマークのURLを設定できます。
- 半角で1024文字まで入力できます。

- ［送信］をタップすると、編集中のブックマークを送信できます。→P348
- ［削除］をタップすると、編集中のブックマークを削除できます。→P224

3 **設定する項目欄をタップし、文字を入力▶［完了］をタップする**

お知らせ

- M1000以外の端末やパソコンにブックマークを送信しても、ブックマークを利用することはできません。
- ブックマーク編集中に、お客様による切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

ブックマークを削除する

登録したブックマークを選択して削除します。

1 **ホームページ表示中にメニューバーの「ブラウザ」▶「ブックマーク」▶「表示」を順にタップする**

2 **ブックマーク一覧画面で削除するブックマークの□をタップする**

□が☑になります。

3 **メニューバーの「ブラウザ」▶「削除」を順にタップする**

- 複数選択した場合は、さらに削除の確認画面が表示され［はい］をタップします。

■1つ前に削除したブックマークを元に戻すとき

ブックマーク一覧画面でメニューバーの「編集」▶「削除を元に戻す」を順にタップする

- 複数削除した場合は、削除したブックマークの中で、登録した日付が最も新しいブックマークを1件だけ元に戻すことができます。

ホームページの内容を保存する

画面メモを保存する

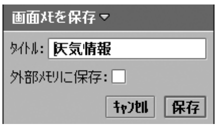
表示している内容を、後から確認したいときなどは、そのページを保存しておくことができます。最大約1000件※まで保存できます。

※：保存する画面メモの大きさや、他のアプリケーションによるメモリ使用状況により少なくなります。

1 ホームページ表示中にメニューバーの「ブラウザ」▶「画面メモ」を順にタップする



2 「追加」をタップする



タイトル：画面メモのタイトルを設定できます。
- 全角／半角を問わず、256 文字まで入力できます。

外部メモリに保存
：TransFlashメモリカードに保存する場合にタップします。
☑ が保存する、☐ が保存しない状態です。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 タイトルを入力▶［保存］をタップする

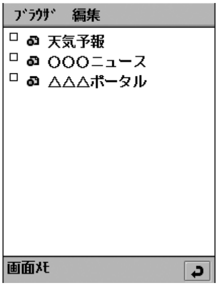
お知らせ

- TransFlash メモリカードが FOMA 端末本体に取り付けられていない場合、「外部メモリに保存」はタップできません。
- Flash 画像によっては、保存しても画像の一部が保存されないなど、ホームページでの見え方と異なる場合があります。
- 保存した画面メモによっては表示できない場合があります。

画面メモを表示する

画面メモを選択して表示します。TransFlashメモリカードに保存した画面メモも、この操作で表示できます。

1 **ホームページ表示中にメニューバーの「ブラウザ」▶「画面メモ」▶「表示」を順にタップする**



画面メモ一覧画面

- ↩ をタップすると、ホームページ表示画面に戻ります。

2 **表示するホームページ▶「開く」／「新しいウィンドウで開く」を順にタップし、注意画面で[はい]をタップする**

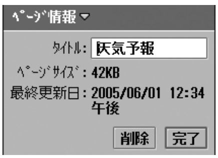
- ［いいえ］をタップすると、画面メモ一覧画面に戻ります。

画面メモを編集する

画面メモを選択して編集します。

1 **ホームページ表示中にメニューバーの「ブラウザ」▶「画面メモ」▶「表示」を順にタップする**

2 **画面メモ一覧画面で編集する画面メモの 🗗 をタップする**



タイトル　：画面メモのタイトルを設定できます。
- 全角／半角を問わず、256文字まで入力できます。

ページサイズ：画面メモのファイルサイズが表示されます。
最終更新日　：保存／更新した日付が表示されます。

- ［削除］をタップすると、編集中の画面メモを削除できます。→P227

3 **タイトルを入力▶[完了]をタップする**

お知らせ

- 画面メモ編集中に、お客様による切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

画面メモを削除する

画面メモを選択して削除します。

1 **ホームページ表示中にメニューバーの「ブラウザ」▶「画面メモ」▶「表示」を順にタップする**

2 **画面メモ一覧画面で削除するホームページの□をタップする**

□が☑になります。

3 **メニューバーの「ブラウザ」▶「削除」を順にタップする**

- 複数選択した場合は、さらに削除の確認画面が表示され［はい］をタップします。

■1つ前に削除した画面メモを元に戻すとき

画面メモ一覧画面でメニューバーの「編集」▶「削除を元に戻す」を順にタップする

- 複数削除した場合は、削除した画面メモの中で、登録した日付が最も新しい画面メモを1件だけ元に戻すことができます。

ホームページに表示されている画像を保存する

ホームページに表示されている画像を選択して本体メモリ、またはTransFlashメモリカード内に保存できます。すべて10Kバイトの画像を保存した場合で、FOMA端末本体で最大約1900件※、付属の32MバイトTransFlashメモリカードで最大約3200件※まで保存できます。ただし、画像によっては保存できない場合があります。保存した画像は、(ピクチャー)（→P308）から確認できます。

※：保存する画像のファイルサイズや、他のアプリケーションによるメモリ使用状況により少なくなります。

1 **ホームページ表示中に保存する画像の上をポイントし、ポップアップメニューの「画像情報」をタップする**



- 画面の表示内容については、P221「画像の情報を表示する」を参照してください。

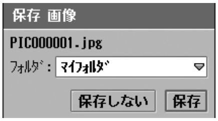
次のページへ続く●●●

2 [開く]をタップする



- をタップすると、ホームページ表示画面に戻ります。

3 [保存]をタップする



- ［保存しない］をタップすると、操作を中止します。

4 「フォルダ」欄をタップし、保存先のフォルダを選択▶[保存]をタップする

コピー／切り取り／貼り付け

ホームページの文字をコピー／切り取りをして貼り付ける

入力中の文字や、ホームページの内容をコピーしたり、切り取ったりして、別の入力画面などに貼り付けることができます。

- ホームページに表示されている内容を切り取ることはできません。
- コピー／切り取りできるのは、テキストデータのみになります。

コピー／切り取りする

1 コピーする範囲をドラッグ▶メニューバーの「編集」▶「コピー」／「切り取り」を順にタップする

クリップボードに保存されます。

■すべてを選択してコピー／切り取りするとき

① メニューバーの「編集」▶「すべて選択」を順にタップする
画面内のすべてのコンテンツ内容が選択されます。

② メニューバーの「編集」▶「コピー」／「切り取り」を順にタップする
クリップボードに保存されます。

お知らせ

- 全角／半角問わず、255文字までコピー／切り取りできます。
- クリップボードとは、コピー／切り取りした内容を保存するメモリ領域のことです。保存できるのは1件だけで、新しくコピー／切り取りすると上書きされます。

貼り付けする

1 **貼り付ける位置をタップし、メニューバーの「編集」▶「貼り付け」を順にタップする**

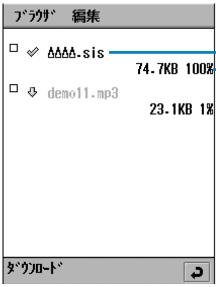
ダウンロード

ホームページからデータをダウンロードする

64Kデータ通信で長時間にわたる接続を行った場合や、パケット通信でサイズの大きいファイルやアプリケーションなどのダウンロードを行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

インターネットからさまざまなアプリケーションや、音楽ファイルなどをダウンロードして保存することができます。対応ファイル形式については、P408（アプリケーション）、P308（画像）、P314（動画）、P319（音楽）、P324（ドキュメント）を参照してください。
ただし、対応しているファイル形式でも、表示／再生したりインストールできない場合があります。また、対応していない形式のファイルをダウンロードしても、表示／再生したり、インストールすることはできません。

1 **ホームページ表示中にダウンロードできる項目をタップする**



ダウンロード一覧画面

ダウンロードファイル名
ダウンロードしたデータサイズ、ダウンロードした割合

：ダウンロード中のデータです。
：ダウンロードを一時停止したデータです。
：ダウンロードが完了したデータです。

■ダウンロードを一時停止するとき

一時停止するファイルの□をタップ▶メニューバーの「ブラウザ」▶「一時停止」を順にタップする

- 再開する場合は、再開するファイルの□をタップ▶メニューバーの「ブラウザ」▶「再開」を順にタップします。残りのデータ※がダウンロードされます。

※：データによっては、最初から再ダウンロードされます。

■ダウンロードを中止するとき

- ダウンロードファイルを削除して中止します。→P231

次のページへ続く●●•

2 ダウンロードが完了する

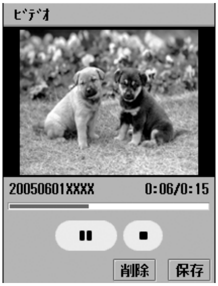
■音楽ファイルや動画ファイルなどをダウンロードしたとき

音楽ファイルや動画ファイルなど、そのまま利用できるファイルをダウンロードしたときは、ファイルの種類に対応した確認画面や再生画面が表示されます。



音楽ファイルをダウンロードしたとき

- 各画面の操作方法については、P281～P285を参照してください。
- ダウンロードしたファイルを繰り返し利用する場合は必ず保存してください。保存しない場合は、ダウンロードしたファイルは削除され、再度ダウンロードが必要になります。

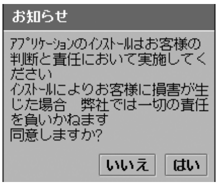


3GPP形式の動画ファイルをダウンロードしたとき

- 3GPP形式（.3gp）の動画ファイルは、ダウンロード後に自動的に再生されます。

■アプリケーションファイルなどをダウンロードしたとき

ゲームなど、インストールが必要なファイルをダウンロードしたときは、次の画面が表示されます。



- インストール方法については、P409の操作３以降を参照してください。
- ［いいえ］をタップすると、インストールを中止できます。その場合のダウンロードデータは保存され、ダウンロード一覧画面で確認できます。

■既にダウンロードが完了しているデータを保存／インストールするとき

ダウンロード一覧画面で保存／インストールするダウンロードデータをタップする

- 次の場合は、この方法で保存／インストールできます。
  - ソフトウェアのインストールを中止したとき
  - 保存／インストールする前に、他のアプリケーションに切り替えたとき

お知らせ

- 本FOMA端末本体の保存領域が不足しているとき
  ダウンロード途中で表示されるお知らせ画面で［クリーンアップ］をタップするとメモリマネージャ画面が表示されます。
  メモリマネージャ画面で不要なファイルやアプリケーションを削除してください。→P346

- 本FOMA端末本体の保存領域は不足しているが、TransFlashメモリカードに保存領域があるとき ダウンロード途中で表示されるお知らせ画面で［続行］をタップします。TransFlashメモリカードにダウンロードする場合は、操作1の画面のマークが／／で表示されます。
- 電波状況などにより、ダウンロードが途中で中止された場合は、中止するまでのダウンロードデータがそのまま保存され、ダウンロード一覧画面で確認できます。中止された直前の状態から作業を再開できる機能に対応しているサーバからダウンロードしていた場合は、中止した状態からダウンロードが可能ですが、対応していない場合は、最初から再ダウンロードされます。
- ダウンロード中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みがあっても、ダウンロードは継続されます。

ダウンロードしたファイルを操作する

ダウンロードファイルの情報を表示する

ダウンロードファイルの詳細情報を表示します。

1 ホームページ表示中にメニューバーの「ブラウザ」▶「ダウンロード」を順にタップし、ダウンロード一覧画面で情報を表示するファイルの／／をタップする

名前　：ファイル名が表示されます。
現在のサイズ　：現在のファイルサイズが表示されます。
合計サイズ　：全体のファイルサイズが表示されます。
URL　：取得元のURLが表示されます。
日付　：ファイルが作成された日付が表示されます。

ダウンロードファイルを削除する

ダウンロードファイルを選択して削除します。

1 ホームページ表示中にメニューバーの「ブラウザ」▶「ダウンロード」を順にタップし、ダウンロード一覧画面で削除するファイルの□をタップする

□がになります。

2 メニューバーの「ブラウザ」▶「削除」を順にタップし、削除の確認画面で［はい］をタップする

- ［いいえ］をタップすると、削除を中止します。

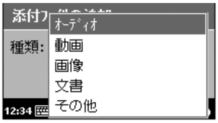
お知らせ

- ダウンロード中のファイルも同様にして削除することができます。この操作を行うと、ダウンロードを中止できます。

ホームページにデータをアップロードする

アップロード操作のできるホームページから、FOMA端末内のデータをアップロードすることができます。

1 ホームページでアップロードするファイルを選択する操作をし、添付ファイルの追加画面で「種類」欄をタップする



- 画面の表示内容については、P267「ファイルを添付する」の操作1の説明を参照してください。

2 アップロードするファイルの種類▶[完了]を順にタップする



画像を選択したとき

ファイルの種類に対応した選択画面が表示されます。

- 各画面の操作方法については、P268～P269を参照してください。

3 アップロードするファイル▶[選択]を順にタップする

4 ホームページでアップロードの操作をする

お知らせ

- アップロード操作は、ホームページによって異なります。
- 操作1の画面から選択できるファイルはアップロード可能ですが、ホームページによってはアップロードできないファイルがあります。
- http通信によるアップロードのみ対応しています。

Phone To／Mail To／Web To機能を使う

ホームページやEメール／ショートメッセージ（SMS）などで反転表示または下線のついた情報（電話番号、メールアドレス、URL）をタップすることで、電話をかけたり、Eメールを送信したり、インターネットホームページを表示したりすることができます。

Phone To機能を使う

ホームページやEメール／ショートメッセージ（SMS）などの中に表示されている電話番号などの情報を使って、電話をかけることができます。

1 表示されている電話番号などの情報をタップする

電話番号が入力された電話番号入力画面が表示されます。

2 電話番号入力画面で［音声電話］／［テレビ電話］をタップする

- 以降の操作については、P70、P91を参照してください。

お知らせ

- ホームページ／Eメール／ショートメッセージ（SMS）によっては、Phone To機能を利用できない場合があります。
- Eメール／ショートメッセージ（SMS）本文から電話番号などの情報をタップした場合は、さらに「発信」／「テレビ電話」をタップします。
- 発信者番号通知について→P77

Mail To機能を使う

ホームページやEメール／ショートメッセージ（SMS）などの中に表示されているメールアドレスなどの情報を使って、Eメールを送信することができます。

1 表示されているメールアドレスなどの情報をタップする

宛先にメールアドレスが入力されたEメール作成画面が表示されます。
P262操作3に進みます。

お知らせ

- ホームページ／Eメール／ショートメッセージ（SMS）によっては、Mail To機能を利用できない場合があります。
- Eメール／ショートメッセージ（SMS）本文からメールアドレスなどの情報をタップした場合は、さらに「メール送信」をタップします。
- メールアドレスとして使える文字数は半角で128文字までです。

Web To機能を使う

ホームページやEメール／ショートメッセージ（SMS）などの中に表示されているURLなどの情報を使って、インターネットホームページを表示することができます。

1 表示されているURLなどの情報をタップする

- ネットワーク接続が切断されている場合は、ネットワークサービスに接続画面が表示されます。P211、P212操作4に進みます。

お知らせ

- ホームページ／Eメール／ショートメッセージ（SMS）によっては、Web To機能を利用できない場合があります。
- Eメール／ショートメッセージ（SMS）本文からURLなどの情報をタップした場合は、さらに「ブラウザで開く」をタップします。
- URLが半角4096文字を超える場合は、インターネットホームページを表示できません。

ブラウザの設定をする

ブラウザに関するさまざまな設定を行うことができます。

1 ホームページ表示中にメニューバーの「編集」➡「ユーザ設定」を順にタップする

2 ユーザ設定画面で設定するタブをタップする

- 以降の設定については、P234～P237を参照してください。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

一般

お買い上げ時	エンコードを選択：自動選択　予備のエンコード：日本語（Shift_JIS） HTTPタイムアウト：60秒　ホームページ：about:blank

ブラウザの文字コードや、接続するまでの時間、最初に表示するホームページなどを設定します。

1 P234「ブラウザの設定をする」の操作２で「一般」タブをタップする



エンコードを選択
：標準で使用する文字コードを設定します。

予備のエンコード
：予備で使用する文字コードを設定します。

HTTPタイムアウト
：ホームページの内容を取得するまで、しばらく時間がかかることがあります。その場合に取得を中止するまでの時間を設定します。

ホームページ：インターネットに接続し、最初に表示するホームページのURLを入力します。
- ［現在のページ］をタップすると、表示中のホームページを最初に表示する「ホームページ」に設定します。
- ［空白のページ］をタップすると、空白のページを最初に表示する「ホームページ」に設定します。

2 各項目を設定する

- 「エンコードを選択」「予備のエンコード」「HTTPタイムアウト」
  ：項目欄をタップし、項目を選択します。
- 「ホームページ」
  ：項目欄をタップし、URLを入力します。

3 ［完了］をタップする

お知らせ

- 通常は「エンコードを選択」を「自動選択」で利用できますが、ホームページによっては文字が正しく表示されないときがあります。その場合に変更すると、正しく表示される場合があります。
- 正しく表示されているときに「エンコードを選択」の設定を変更すると、正しく表示されなくなる場合があります。

キャッシュ

お買い上げ時	キャッシュサイズ：◉ 小　Cookieの使用：受け入れる

ブラウザのキャッシュやクッキーなどを設定します。

1 P234「ブラウザの設定をする」の操作2で「キャッシュ」タブをタップする



キャッシュサイズ

小　：キャッシュサイズを小さく（500K バイト）確保します。

大　：キャッシュサイズを大きく（1000Kバイト）確保します。

Cookieの使用

受け入れる　：クッキーに対応したホームページを表示したとき、クッキーが利用できます。

ブロックする：クッキーに対応したホームページを表示したとき、クッキーを利用できません。

ダイアログを表示
：クッキーに対応したホームページを表示したとき、確認画面で利用方法を選択できます。

キャッシュ［クリア］
：タップすると保存済みのキャッシュを消去します。

Cookie［クリア］
：タップすると保存済みのクッキーを消去します。

2 各項目を設定する

- 「キャッシュサイズ」
：項目をタップし、設定します。
- 「Cookieの使用」
：項目欄をタップし、項目を選択します。

3 ［完了］をタップする

お知らせ

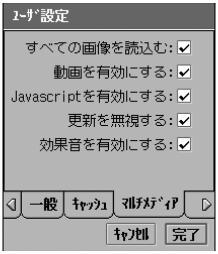
- mopera Uを利用する場合は、「Cookieの使用」を「受け入れる」に設定してください。設定しない場合は、次の一部のサービスがご利用できない場合があります。
  - mopera Uホームページ
  - mopera U設定変更
  - mopera U初期設定
  - mopera U Webメール

マルチメディア

お買い上げ時　全項目：☑

ブラウザを表示したときの画像や動画、効果音などの動作を設定します。

1　P234「ブラウザの設定をする」の操作2で「マルチメディア」タブをタップする



すべての画像を読込む
：画像が含まれホームページ表示する場合に、画像を表示するかしないかを設定します。
☑が表示する、□が表示しない状態です。

動画を有効にする
：GIFアニメーションが含まれるホームページを表示する場合に、再生するかしないかを設定します。
☑が再生する、□が再生しない状態です。

Javascriptを有効にする
：Javaスクリプトが含まれるホームページを表示する場合に、有効にするかしないかを設定します。
☑が有効、□が無効の状態です。

更新を無視する：ホームページの自動更新処理を有効にするかしないかを設定します。
☑が有効、□が無効の状態です。

効果音を有効にする
：ホームページを表示したときに効果音を有効にするかしないかを設定します。
☑が有効、□が無効の状態です。

2　設定する項目欄をタップして設定する

3　[完了]をタップする

お知らせ

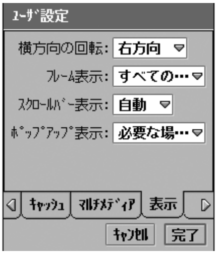
- 「動画を有効にする」を□にした場合は、GIFアニメーションは静止画で表示されます。

表示

お買い上げ時	横方向の回転：右方向　フレーム表示：すべてのフレーム　スクロールバー表示：自動 ポップアップ表示：必要な場合に許可

ブラウザを表示したときのフレームの表示方法や、ポップアップ表示の動作などを設定します。

1 P234「ブラウザの設定をする」の操作2で「表示」タブをタップする



横方向の回転

右方向　：「横全画面表示」（→P218）でホームページを表示したとき、右方向に90度回転させて表示します。

左方向　：「横全画面表示」（→P218）でホームページを表示したとき、左方向に90度回転させて表示します。

フレーム表示

すべてのフレーム　：フレームが表示されるホームページを表示したとき、すべてのフレームを表示します。

フレームなし　：フレームが表示されるホームページを表示しても、フレームを表示しません。

スクロールバー表示

自動　：表示領域を超えて表示されるホームページを表示したとき、スクロールバーを表示します。

ON　：常にスクロールバーを表示します。

OFF　：スクロールバーを表示しません。

ポップアップ表示

すべて許可　：ポップアップウィンドウを表示するホームページを表示したとき、ポップアップを新しいタブで表示します。

必要な場合に許可　：ポップアップウィンドウを表示するホームページを表示したとき、確認画面で表示するかどうかを選択できます。

すべて拒否　：ポップアップウィンドウを表示するホームページを表示しても、ポップアップを表示しません。

2 設定する項目欄をタップし、項目を選択する

3 [完了]をタップする

プラグイン

ブラウザにインストール済みのプラグインを確認できます。

1 P234「ブラウザの設定をする」の操作2で「プラグイン」タブをタップする

- 表示されているプラグインをタップすると、プラグインに関する情報を確認できます。

証明書を利用する

ユーザ証明書／認証機関証明書を確認する

セキュリティ通信などに必要な証明書を確認できます。

1 **アプリケーション選択バー（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「証明書管理」を順にタップする**

2 **証明書管理画面で「ユーザ」タブ／「認証機関」タブをタップする**



ユーザ証明書管理画面



認証機関証明書管理画面

3 **確認する証明書▶[詳細]を順にタップする**

名前　　　：証明書名が表示されます。
発行先　　：証明書を発行した会社などの名前が表示されます。
発行者　　：証明書を発行した人の名前などが表示されます。
有効日　　：証明書が有効になった日付が表示されます。
有効期限　：証明書の有効期限が表示されます。
Fingerprint：指紋認証コードなどが表示されます。

■証明書について

証明書には次の2種類があります。

ユーザ証明書※　：ユーザを識別するデジタルデータのことです。ユーザ証明書を使うと、ユーザIDとパスワードを入力する一般的なユーザ認証方法よりも、簡単で安全なユーザ認証が可能です。

※：本FOMA端末のブラウザでユーザ証明書を使用することはできません。

認証機関証明書　：認証機関が発行した証明書で、お買い上げ時の本FOMA端末内に保存されています。

- 証明書ファイルの発行方法については証明書の発行者にご確認ください。
- 利用できる証明書ファイルは、次の拡張子が付けられたファイルになります。
  .cer　　.der　　.p12
- ホームページやEメールなどから、証明書ファイルを本FOMA端末にインストールする場合は、画面の表示に従って操作してください。

- 本FOMA端末内、またはTransFlashメモリカードに保存した証明書ファイルをインストールする場合は、メモリマネージャ（→P349）から証明書ファイルをタップしてインストールしてください。
- 証明書をアンインストールする場合は、本FOMA端末の初期化を行う必要があります。→P406

メール

メールについて

本FOMA端末では、一般のプロバイダを利用した「電子メール(以下Eメール)」が利用できます。Eメールを利用するには、mopera Uのメールサービスの利用（→P248)、またはFOMAに対応したプロバイダとの契約、およびネットワーク設定（→P202）、メールアカウントの設定（→P252）が必要になります。

●ファイルを添付して送信できます →P267
FOMA端末やTransFlashメモリカード内に保存されているファイルを添付して、相手に送信することができます。

●Eメールを自動的に受信できます →P257、P260、P273
設定により、届いたメールを自動的に受信したり、時刻を指定して受信することもできます。

●受信Eメールを設定したフォルダに振り分けることができます→P296
送信者のEメールアドレスや件名を、振り分けの条件にして、作成したフォルダに振り分けることができます。

●ショートメッセージ（SMS）で送信／受信ができます→P301、P303
他のFOMA端末との間で、ショートメッセージ（SMS）の送受信ができます。

送受信できる文字数・添付ファイル

項　目	送　信	受　信
宛先、Cc、Bcc	半角で1000文字まで	―
題名	全角／半角を問わず1000文字まで	全角／半角を問わず1000文字まで
本文	全角／半角を問わず65536文字まで	利用するプロバイダの、メールサーバの制限により異なります。ただし、本FOMA端末のメモリ領域を超える大きさの本文／添付ファイルは受信できません。
添付ファイル	利用するプロバイダの、メールサーバの制限により異なります。	

■movaサービスのiモード端末／M1000を除くFOMA端末宛てに送信できる文字数

項　目	mova		FOMA	
	全角文字	半角文字	全角文字	半角文字
宛先	―	50文字	―	50文字
題名	15文字	30文字	15文字	30文字
本文※2	2000文字※1	4000文字※1	5000文字	10000文字

※1：設定により変わります。
※2：ファイルを添付した場合、文字数が少なくなります。

メール

■M1000を除くFOMA端末宛てに送信できる添付ファイル（2005年11月現在）

- 相手の端末によっては、受信したファイルを正しく表示／再生できない場合があります。
- 相手のFOMA端末がｉモーション非対応端末の場合、受信した動画は連続静止画で再生されます。

ファイルの種類	ファイルサイズ	添付可能件数（メール1件）	添付の条件
メロディ	1～10000バイト※1	合計最大10件※2	SMF形式のみ
静止画	1～10000バイト※1	合計最大10件※2	GIF形式（アニメーションGIF含む）、JPEG形式
静止画	10001～500Kバイト※4	どちらか1件※3	JPEG形式のみ
動画	1～500Kバイト	どちらか1件※3	MP4形式のみ

※1：添付ファイルサイズと、本文サイズの合計です。
※2：添付ファイルサイズが大きいと、添付可能件数が少なくなります。
※3：メロディ、1～10000バイトまでの静止画とは別で1件として数えます。
※4：送信可能な表示サイズの目安は1632×1224（ドット）までになります。

■movaサービスのｉモード端末宛てに送信できる添付ファイル（2005年11月現在）

- 相手の端末によっては、受信したファイルを正しく表示／再生できない場合があります。
- 相手のmovaサービスのｉモード端末では、受信した動画は連続静止画で再生されます。

ファイルの種類	ファイルサイズ	添付可能件数（メール1件）	添付の条件
静止画	1～500Kバイト	どちらか1件	JPEG形式のみ
動画	1～500Kバイト	どちらか1件	MP4形式のみ

Eメールの受信について

本FOMA端末でEメールを受信する場合は、契約しているプロバイダのメールサーバに接続する必要があります。mopera UなどのEメール通知機能に対応したプロバイダを利用することにより、自動的にメールサーバに接続してEメールを受信したり、スケジュール機能を使ってメールサーバに接続する時間や間隔を設定して受信することもできます。

- メールサーバに接続してEメールを受信する→P271
- 受信スケジュールを設定する→P257

お知らせ

- パソコンや他の携帯電話などとEメールをやりとりした場合、添付ファイルや本文が正しく表示されないことがあります。
- 「送信者:」「宛先:」「Cc:」の欄には、受信したEメールに設定されている表示名が表示されます。電話帳に電話番号またはEメールアドレスが登録されていても、登録されている名前は表示されません。
- 絵文字が含まれるEメールを受信しても、絵文字は正しく表示できません。
- デコメール／HTMLメールを受信できますが、Javaスクリプトと Flash画像は表示できません。
- Eメールの内容は、別にメモを取ったり、パソコンをお持ちの場合は、デスクトップスイートのバックアップ機能を利用してパソコンに保管することをおすすめします。→P593

Eメールを利用するにあたっての注意

64Kデータ通信で長時間にわたる接続を行った場合や、パケット通信でサイズの大きいファイルが添付されたEメールの送受信などデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

- 接続できる条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できないことがあります。
- HTML メールや添付ファイル付き E メールを受信した場合、正しく表示されない場合があり、その場合も課金の対象となります。
- パケット通信については、定額制料金サービス「パケ・ホーダイ」はご利用いただけません。

パケット通信量を確認するには

バイトカウンタで、本FOMA端末から利用したパケット通信時のデータ量（目安）を確認できます。バイトカウンタについて詳しくは、P390を参照してください。

ショートメッセージ（SMS）について

プロバイダなどと契約をしていなくても、ショートメッセージ（SMS）の送受信ができます。FOMA端末との間で、文字のやり取りができます。

- ショートメッセージ（SMS）の送信／受信方法→P301、P303

メール

お知らせ

- FOMA端末が受信したショートメッセージ(SMS)は、FOMAカードに保存することもできます。→P305
- ショートメッセージ（SMS）の内容は、別にメモを取ったり、パソコンをお持ちの場合は、デスクトップスイートのバックアップ機能を利用してパソコンに保管することをおすすめします。→P593

ショートメッセージ（SMS）の宛先

ショートメッセージ（SMS）の宛先は「ご契約の携帯電話番号」です。

送受信できる文字数

ショートメッセージ（SMS）で送受信できる文字数は、次のとおりです。

項　目	全角文字（漢字、ひらがななど）	半角文字（英字、数字など）
宛先	—	20（数字のみ、「+」を除く）
本文	70	160※

※：半角の英数字や記号（。「」{} [] |、・-゛゜ ^ `~を除く）のみの場合

ショートメッセージ（SMS）を受信できないとき

ショートメッセージセンターに届いたショートメッセージ（SMS）は、すぐにお客様のFOMA端末に送信されます。ただし、お客様のFOMA端末の電源が入っていない、圏外などで受信できないときは、センターに保管されます。

お知らせ

- ショートメッセージセンターでのショートメッセージ（SMS）の最大保管期間は72時間です。保管期間は「SMS保存期間」（→P306）で設定することができます。
- 保管期間が経過したショートメッセージ（SMS）は自動的に削除されます。
- ショートメッセージセンターに保管されているショートメッセージ（SMS）は、「SMS問い合わせ」（→P304）により受信できます。
- FOMA端末でショートメッセージ（SMS）を受信すると、ショートメッセージセンターに保管されていたショートメッセージ（SMS）は削除されます。受信したショートメッセージ（SMS）はFOMA端末に保存されます。→P286

ショートメッセージ（SMS）受信拒否機能について

次の拒否機能を無料でご利用いただけます。

SMS拒否機能　：すべてのショートメッセージ（SMS）を拒否することができます。
非通知SMS拒否機能　：非通知のショートメッセージ（SMS）のみ拒否することができます。

■設定方法

ご利用のFOMA端末から、SMSセンター「＊20184」に発信（無料）し、音声ガイダンスに従って操作する

国際SMSについて

ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも、送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。

- 海外の通信事業者を利用している相手にショートメッセージ（SMS）を送信したときに、本文中に相手側が対応していない文字が含まれる場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。

■国際SMSを利用するときの宛先

＋をタップ▶「国番号」を入力▶相手の携帯番号を入力する

- 相手の携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。

＜例：海外から日本の相手に送信する場合＞

＋81 90（または80）XXXXXXXX

国番号　「0」を除いた相手の携帯番号

- 「010」▶「国番号」▶「相手の携帯番号」の順に入力しても送信できます。受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください。

■メール関連用語説明

ポート

ポートとは、インターネット上の通信において、複数の相手と同時に接続を行うためにIPアドレスの下に設けられた補助アドレスのことです。ポートの指定には0から65535までの数字が使われるため、「ポート番号」とも呼ばれています。
番号が決まっている代表的なサービスを次に示します。既に規定のものであるため、他の目的で使用することはできない仕組みになっています。

ポート番号	サービス
21	ftp（File Transfer Protocol）
23	telnet
25	SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）
53	DNS（Domain Name Server）
80	http（HyperText Transfer Protocol）
110	POP3（Post Office Protocol - Version 3）

IMAP

IMAP（Internet Message Access Protocol）は、Eメールを保存しているサーバからEメールを受信するための通信規定です。この方式では、Eメールをメールサーバに置いたまま検索したり、フォルダで管理したりすることができます。

POP

POP（Post Office Protocol）は、Eメールを保存しているサーバからEメールを受信するための通信規定です。現在最も広く普及している方式で、Eメールの送信に使われるSMTPとセットで使われています。

SMTP

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）は、Eメールを送信するための通信規定です。サーバ間でEメールのやり取りをしたり、ユーザがサーバにEメールを送信する際に使用されます。

SSL

SSL（Secure Sockets Layer）は、インターネット上で情報データを暗号化して送受信する通信規定です。データの盗聴や改ざん、なりすましを防ぐことができ、プライバシーに関わる情報やクレジットカード番号などを安全にやり取りすることができます。

Eメールを使うために必要な設定をする

Eメールを利用するには、ネットワーク設定(→P202)と、メールアカウントの設定(→P252)が必要です。設定情報は、契約しているプロバイダなどから提供される資料をご確認ください。また、mopera UのEメールを利用する場合は、「mopera U初期設定」(→P248)などを行うことにより、利用するために必要な情報が自動的に設定されます。

Eメールを始めるまでの流れ

既にプロバイダに加入している

はい

- mopera UのUスタンダードプランに加入している
  - → mopera Uの設定を行う
    - ① mopera U初期設定→P248
    - ② mopera U端末自動設定→P250
    - ③ mopera Uのメールアカウントを確認→P251
    - ④ メール通知設定→P260
  - → mopera Uのメールを利用する→P252
- 一般のプロバイダに加入してEメールアドレスを持っている
  - → ネットワークの設定を行う→P202
  - → メールアカウントの設定を行う→P252
  - → 一般のプロバイダのメールを利用する→P261

いいえ

- 一般のプロバイダに加入する
  - → プロバイダに加入してEメールアドレスを取得する
  - → ネットワークの設定を行う→P202
  - → メールアカウントの設定を行う→P252
    - ① メールアドレスや接続方法(POP3/IMAP)などを設定→P254
    - ② ユーザ名とパスワードなどを設定→P255
    - ③ 受信サーバアドレスなどを設定→P256
    - ④ 送信サーバアドレスなどを設定→P258
    - ⑤ セキュリティなどを設定→P259
    - ⑥ メール通知設定(対応プロバイダのみ)→P260
  - → 一般のプロバイダのメールを利用する→P261
- mopera UのUスタンダードプランに加入する→P248
  - → mopera UのUスタンダードプランに加入
  - → mopera Uの設定を行う
    - ① mopera U初期設定→P248
    - ② mopera U端末自動設定→P250
    - ③ mopera Uのメールアカウントを確認→P251
    - ④ メール通知設定→P260
  - → mopera Uのメールを利用する→P252

■mopera UのUライトプランに加入されているお客様は

mopera Uのメールを利用する

Uスタンダードプランへ契約を変更して頂き、mopera Uの初期設定を行ってください。

一般のプロバイダのメールを利用する

プロバイダに加入(既に加入されている場合を除く)して頂き、ネットワークの設定と、メールアカウントの設定を行ってください。

ドコモの便利なサービスのご紹介

mopera Uについて

別途お申し込みが必要です。

ドコモショップや電話でお申し込みをすれば、「mopera U初期設定」を行って、簡単にEメール設定ができます。本FOMA端末ですぐにEメールを使いたい方におすすめです。

Uスタンダードプラン

国内はもちろん、海外でも国内と同様にインターネットやEメールが利用できるサービスです。海外でEメールを利用したい方や、豊富なオプションサービス（公衆無線LAN、固定ブロードバンドなど）を利用したい方におすすめです。また、mopera Uでは、自動的にメールサーバに接続してEメールを受信する機能を利用できます。

■mopera UのEメール設定について

mopera UのEメールをご利用になるには、mopera U初期設定（→P248）およびmopera U端末自動設定（→P250）を行ってください。

※ mopera U初期設定およびmopera U端末自動設定で設定されるmopera Uのメールアカウントは、使用するネットワークアカウントのベアラがmopera Uのパケット通信の設定になります。FOMA回線交換や他の設定でご利用いただく場合についてはお客様で設定していただく必要があります。

mopera U初期設定を行う

mopera U初期設定を行うと、mopera Uのメールサービスに必要な接続情報を簡単な操作で取得することができます。

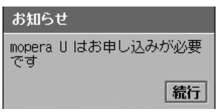
- mopera U初期設定時の通信料は無料です。
- 他のネットワークに接続中の場合には、切断してからこの操作を行ってください。
- 各設定画面はイメージです。実際に表示される画面とは異なる場合があります。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面の「接続」タブ▶「ネットワーク設定」を順にタップする**

2 **ネットワーク設定画面で「mopera U」タブをタップする**



3 **[mopera U初期設定]をタップする**



4 [続行]をタップ◆ネットワークに自動的に接続する



- 「NW 暗証番号」欄に入力するパスワードは「*」で表示されます。
- ネットワーク暗証番号について→P152

5 利用規則を確認◆「NW暗証番号」欄をタップし、ネットワーク暗証番号を入力◆[同意する]をタップする



- 左の画面から、ユーザ情報（ユーザID／パスワード／メールアドレスなど）が変更できます。詳しくはmopera Uのホームページをご覧ください。

■はじめて「mopera U初期設定」を行ったときに表示される画面について

はじめて「mopera U初期設定」を行ったときのみ、操作5を行った後に「mopera Uお知らせメール設定」画面、「メール自動受信設定」画面が順に表示されます。
それぞれの画面の説明に従って設定してください。



mopera Uお知らせメール設定画面



メール自動受信設定画面

mopera Uお知らせメール設定
：mopera Uお知らせメールを受信する場合は「受信する」、受信しない場合は「受信しない」をタップして［OK］をタップします。

メール自動受信設定
：mopera UでEメールをリアルタイムに自動受信する場合は「ON」、自動受信しない場合は「OFF」をタップして［OK］をタップします。

メール

次のページへ続く

6 取得したユーザ情報を確認する

- ［端末自動設定］をタップすると、取得したユーザ情報を自動的にFOMA端末に設定できます。P250の「mopera U端末自動設定を行う」を参照してください。
- mopera U で Web メールなどを利用する場合は、このユーザ情報（ユーザ ID やパスワードなど）が必要になります。
- パスワード情報については、初回のアクセス時のみ表示されます。2回目以降は「****」のように表示されますので、必ずメモを取るなどして忘れないようにしてください。

■mopera U初期設定の接続設定を変更／確認するとき

※ 通常は、設定を変更する必要はありません。変更すると、mopera U初期設定を利用できなくなりますので、ご注意ください。

操作2の画面で［編集］をタップすると編集画面が表示され、mopera U初期設定の接続設定を変更／確認することができます。

アカウント名：mopera U初期設定で使用するアカウント名が表示されます。
ベアラ　　　：mopera U初期設定で使用する回線の種類が表示されます。
URL　　　　：mopera U初期設定のサーバに接続するためのURLを入力します。

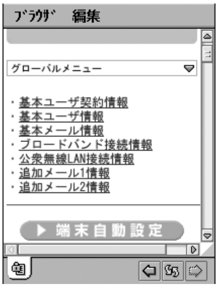
- ［詳細設定］をタップすると、さらに詳細な内容を変更／確認できます。→P204～P207
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

mopera U端末自動設定を行う

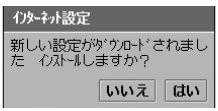
「mopera U初期設定を行う」（→P248）で取得した情報を、自動的に本FOMA端末に設定します。本FOMA端末でmopera Uのメールサービスを利用する場合は、本操作を行ってください。

- mopera U端末自動設定時の通信料は無料です。
- 各設定画面はイメージです。実際に表示される画面とは異なる場合があります。

1 P248のmopera U初期設定の操作を行う



2 ［端末自動設定］をタップする



- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

3 ［はい］をタップし、設定の更新成功画面で［完了］をタップする

■mopera UのEメールをリアルタイムに自動受信するには

次の設定が必要となります。

① 端末自動設定後は、メールアカウント画面（→P253）で［編集］をタップし、「メール通知」タブの「自動受信」※（→P260）を☑にする必要があります。

※：端末自動設定をするたびに「自動受信」は☐に戻ります。その場合は再設定を行ってください。

② mopera UのメールサーバのメールEメール自動受信設定※をONにする必要があります。メールサーバの設定について詳しくはmopera Uのホームページをご覧ください。

※：はじめて「mopera U初期設定」を行ったときに表示されるメール自動受信設定画面で設定を「ON」にした場合は必要ありません。→P249

■自動設定される項目について

mopera U端末自動設定を行うと、FOMA端末内の次の各項目が自動的に設定されます。

ネットワーク設定



「mopera U」のネットワークアカウントにmopera U初期設定で取得したユーザ情報が上書きされ、次回の接続からこのアカウントを使用してmopera Uへ接続できます。設定された内容は、左の画面で「mopera U」▶［編集］を順にタップして確認することができます。→P203

メールアカウント



「mopera U」というメールアカウントが追加されます。設定された内容は、左の画面で「mopera U」▶［編集］を順にタップして確認することができます。→P253

お知らせ

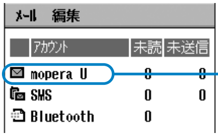
- 「mopera U端末自動設定」で作成したネットワーク設定やメールアカウント設定が既にある状態で「mopera U端末自動設定」を行うと、自動設定されない項目の情報は、初期値に設定されますのでご注意ください。「mopera U端末自動設定」前に、Eメールの容量を制限して受信（→P256）、スケジュールを設定して受信（→P257）、メールの自動受信（→P260）などを設定していた場合には、再設定が必要になります。
- mopera U初期設定およびmopera U端末自動設定で設定されるmopera Uのメールアカウントは、使用するネットワークアカウントのベアラがmopera Uのパケット通信の設定になります。FOMA回線交換や他の設定でご利用いただく場合についてはお客様で設定していただく必要があります。

mopera Uのメールを利用する

mopera U端末自動設定を行うと、アカウント一覧画面にmopera Uのメールアカウントが表示されます。このアカウントからさまざまなメール機能をご利用になれます。

※ mopera U初期設定およびmopera U端末自動設定で設定されるmopera Uのメールアカウントは、使用するネットワークアカウントのベアラがmopera Uのパケット通信の設定になります。FOMA回線交換や他の設定でご利用いただく場合についてはお客様で設定していただく必要があります。

1 アプリケーション選択バーの（メール）をタップする



- 画面の表示内容については、P261の操作1の説明を参照してください。

mopera U端末自動設定により作成されたメールアカウントが表示されています。

2 「mopera U」をタップする

mopera UのEメール一覧画面が表示されます。→P287

メールアカウント

メールアカウントの設定を行う

Eメールの送受信を行うために必要な設定を行います。

■設定のための準備

ご加入のプロバイダやネットワーク管理者から提供されている次の情報を確認してください。

- 接続に必要な設定項目や項目名称、内容などが異なる場合があります。接続に必要な詳しい情報については、ご契約のプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

アカウント名

プロバイダ名などを入力する確認用の名前です。正式な名称でなくても構いません。

Eメールアドレス

ご自分のEメールアドレスです。プロバイダによっては呼び方が異なる場合があります。

ユーザ名

Eメール受信時の認証に使用される個別の名前です。プロバイダによってはプロバイダ接続時の認証に使用されるユーザ名と同じであったり、呼び方が異なる場合があります。

パスワード

Eメール受信時の認証に使用されるパスワードです。プロバイダによってはプロバイダ接続時の認証に使用されるパスワードと同じであったり、呼び方が異なる場合があります。

接続方法

メールサーバの種類（IMAP／POP3）です。

SMTP認証の要否

Eメール送信時にSMTPサーバの認証が必要な場合は設定が必要になります。

受信サーバアドレス

Eメール受信用のプロバイダ側のサーバアドレスです。プロバイダによっては呼び方が異なる場合があります。

送信サーバアドレス

Eメール送信用のプロバイダ側のサーバアドレスです。プロバイダによってはアドレスが「受信サーバアドレス」と同じであったり、呼び方が異なる場合があります。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「接続」タブ▶「メールアカウント」を順にタップする**



■Eメールアカウントを編集するとき

編集するアカウント▶［編集］を順にタップする

必要に応じてP254～P260の設定を行います。

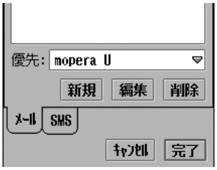
■Eメールアカウントを削除するとき

削除するアカウント▶［削除］を順にタップし、削除の確認画面で［はい］をタップする

- 削除するメールアカウント内に保存されているすべてのEメールも削除されますのでご注意ください。

■ホーム画面に状態を表示するメールアカウントを設定する

「優先」欄をタップし、状態を表示するアカウントを選択する



2 **［新規］をタップし、メールアカウント画面で設定するタブをタップする**

- 以降の設定については、P254～P260を参照してください。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

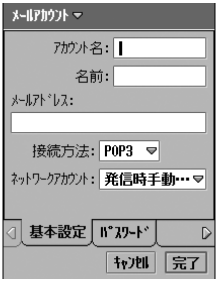
- mopera U端末自動設定で作成したメールアカウントでEメールを自動受信するには、作成したmopera Uのアカウント▶［編集］を順にタップし、メールアカウント画面で「メール通知」タブをタップして設定します。→P260
- 大量のEメールが残っているメールアカウントを削除すると、削除中の画面が表示されたままとなり、削除が完了するまで時間がかかる場合があります。
- メールアカウントの削除中は、他の動作が行えませんのでご注意ください。
- メールアカウント設定中に、お客様による切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの内容は自動的に保存され、保存されたメールアカウントが操作1の画面（→P253）に表示されます。アカウント名を設定していなかった場合は、「アカウント［X］」（Xは任意の数字）というアカウント名が自動的に設定されます。

基本設定

お買い上げ時	アカウント名：―　名前：―　メールアドレス：― 接続方法：POP3　ネットワークアカウント：発信時手動選択

メールアカウント名やEメールアドレス、接続に使用するネットワークアカウントなどを設定します。

1 P253操作2で「基本設定」タブをタップする



アカウント名　：アカウント一覧画面で表示されるアカウント名を設定します。
- 全角／半角を問わず、90文字まで入力できます。

名前　：アカウントを使用する人の名前などを設定します。設定してから送信すると、相手には「設定した名前［こちらのEメールアドレス］」※が表示されます。

※：相手のメールソフトにより表示内容が異なる場合があります。

- 全角／半角を問わず、90文字まで入力できます。

メールアドレス　：このアカウントで使用するEメールアドレスを設定します。
- 半角で90文字まで入力できます。

接続方法

IMAP　：IMAPに対応したメールサーバに接続するときに設定します。

POP3　：POP3 に対応したメールサーバに接続するときに設定します。

ネットワークアカウント

：Eメールの送受信時に使用するネットワークアカウントを設定します。「発信時手動選択」に設定した場合は、Eメール送受信時に使用するネットワークアカウントを選択する画面が表示されます。

2 各項目を設定する

- 「アカウント名」「名前」「メールアドレス」
  ：項目欄をタップし、文字を入力します。
- 「接続方法」「ネットワークアカウント」
  ：項目欄をタップし、項目を選択します。

3 ［完了］をタップし、メールアカウント画面で［完了］をタップする

お知らせ

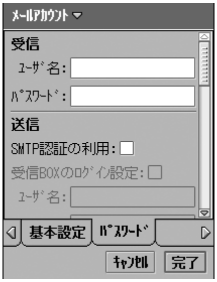
- Eメールが保存されているメールアカウントの「接続方法」を変更すると、変更前に保存したすべてのEメールが削除されますのでご注意ください。

パスワード

お買い上げ時	ユーザ名：―　パスワード：―　SMTP認証の利用：□ 受信BOXのログイン設定：□　ユーザ名：―　パスワード：―

ユーザ名やパスワードなどを設定します。

1 P253操作2で「パスワード」タブをタップする



ユーザ名　：Eメール受信時の認証に使用される名前を設定します。
- 半角で90文字まで入力できます。

パスワード　：Eメール受信時の認証に使用されるパスワードを設定します。パスワードは、入力した文字が表示されたあとに「*」で表示されます。
- 半角で50文字まで入力できます。

SMTP認証の利用
：Eメール送信時にSMTPサーバの認証が必要な場合にチェックします。チェックする場合は、SMTP認証用の「ユーザ名」「パスワード」の設定が必要になります。
☑が認証する、□が認証しない状態です。

受信BOXのログイン設定
：「受信」に設定した「ユーザ名」と「パスワード」を、SMTP認証にも使用する場合にチェックします。
☑が使用する、□が使用しない状態です。

ユーザ名　：SMTP認証時に使用される名前を設定します。
- 半角で90文字まで入力できます。

パスワード　：SMTP認証時に使用されるパスワードを設定します。パスワードは、入力した文字が表示されたあとに「*」で表示されます。
- 半角で50文字まで入力できます。

2 各項目を設定する

- 「ユーザ名」「パスワード」
　：項目欄をタップし、文字を入力します。
- 「SMTP認証の利用」「受信BOXのログイン設定」
　：□／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。

3 [完了]をタップし、メールアカウント画面で[完了]をタップする

お知らせ

- mopera Uのメールサービスを利用する場合は、「SMTP認証の利用」を必ず☑にしてください。設定しない場合はEメールが送信できません。

メール

受信

お買い上げ時	受信サーバアドレス：—　ダウンロード：最大サイズ設定　最大サイズ：500KB　行数：10

受信サーバアドレスや、Eメールの受信方法を設定します。

1 P253操作2で「受信」タブをタップする



受信サーバアドレス
：受信メールサーバ（POP3／IMAP）のアドレスを設定します。
- 半角で90文字まで入力できます。

ダウンロード
- ヘッダのみ：Eメールを題名、送信者アドレスなどを含んだメールヘッダのみ受信する場合に設定します。本文と添付ファイルは受信しません。
- 最大サイズ設定：Eメールのサイズを指定して受信する場合に設定します。「最大サイズ」を設定する必要があります。
- 行※：Eメールの行数を指定して受信する場合に設定します。「行数」を設定する必要があります。
- 制限なし：Eメールを制限なく受信する場合に設定します。

最大サイズ：Eメールの受信サイズを設定します。
- 1～99999KBの範囲で指定できます。

行数※：Eメールの受信サイズ（行数）を設定します。
- 1～999行の範囲で指定できます。

［スケジュール］
：自動的にメールサーバに接続してEメールを問い合わせる場合のスケジュールを設定できます。→P257

※：POP3のメールアカウントのみ設定できる項目です。

2 各項目を設定する

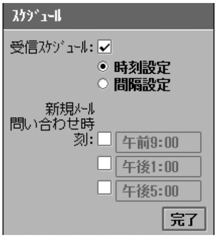
- 「受信サーバアドレス」「最大サイズ」「行数」
  ：項目欄をタップし、文字を入力します。
- 「ダウンロード」
  ：項目欄をタップし、項目を選択します。

3 ［完了］をタップし、メールアカウント画面で［完了］をタップする

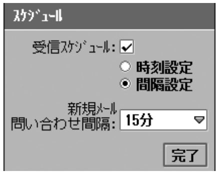
■Eメールを自動的に問い合わせる時刻／間隔を設定する

スケジュールに設定したタイミングで、自動的にメールサーバに接続してメールを問い合わせます。スケジュールを設定してEメールを受信する場合は、メールアカウント設定の「ネットワークアカウント」を、「発信時手動選択」以外に設定してください。→P254

［スケジュール］をタップする



時刻設定画面



間隔設定画面

受信スケジュール
：スケジュールを利用してEメールを問い合わせする場合にチェックします。
☑が利用する、□が利用しない状態です。

時刻設定：時間を指定してEメールを問い合わせする場合にチェックします。チェックする場合は、「新規メール問い合わせ時刻」を設定する必要があります。
◉が時刻設定で問い合わせする、○が時刻設定で問い合わせしない状態です。

新規メール問い合わせ時刻
：Eメールを自動的に問い合わせする時間を３つ指定できます。
□をタップして時刻を設定します。

間隔設定：間隔を指定してEメールを問い合わせする場合にチェックします。チェックする場合は、「新規メール問い合わせ間隔」を設定する必要があります。
◉が間隔設定で問い合わせする、○が間隔設定で問い合わせしない状態です。

新規メール問い合わせ間隔
：Eメールを自動的に問い合わせする間隔を指定できます。
- 「15分」「30分」「45分」「1時間」「2時間」「4時間」から選択できます。

次のページへ続く

お知らせ

- 「行数」を指定してHTML形式のEメールを受信すると、本文がすべて受信されません。
- 既に受信している制限あり受信Eメールは、次の方法で再受信することができます。
  <すべての制限あり受信Eメールを再受信する※>
  すべての制限あり受信Eメールを再受信するメールアカウントの「ダウンロード」方法を、制限なく受信できる設定にしてからアカウント一覧画面／受信Eメール一覧画面でEメールの受信を行います。→P271
  この操作で、「ダウンロード」方法を変更する前に受信した、メールアカウント内に保存されているすべての制限あり受信Eメールの残りのデータが、「ダウンロード」方法に従って再受信されます。
  <制限あり受信Eメールを選択して再受信する>
  受信Eメール一覧画面で再受信する制限あり受信Eメールを選択してEメールの受信を行います。→P274
  「ダウンロード」方法を制限している状態でも、この操作で制限あり受信Eメールを個別に選択して再受信できます。
  ※：「ダウンロード」方法を「制限なし」や、「最大サイズ」「行数」のサイズを大きく設定してEメールの受信を行うと、データ容量の大きい添付ファイルや、文字数の多いEメールなども受信され、本FOMA端末本体の保存領域の状態により、受信できない場合があります。また、パケット通信料が高額になる場合もありますのでご注意ください。
- メールアカウント設定の「ネットワークアカウント」を「発信時手動選択」に設定（→P254）し、スケジュールを設定すると、設定した時刻／間隔でネットワーク接続画面が自動的に表示されます。
- 受信スケジュールを設定して本FOMA端末の電源をOFFにしていた場合は、受信スケジュールの時間になっても、受信はされませんのでご注意ください。次に本FOMA端末の電源をONにしたときに、受信が行われます。
- スケジュール設定した時間にテレビ電話中だった場合は、Eメールを受信することはできません。テレビ電話終了後に受信するメールアカウントを選択して［送受信］をタップしてEメールを受信してください。→P271
- スケジュール受信中に時計のアラーム画面（→P361）、スケジュールのアラーム画面（→P371）、ToDoリストのアラーム画面（→P381）が表示されると、Eメール受信の着信音が鳴らない場合があります。

送信

お買い上げ時	送信サーバアドレス：―

送信サーバアドレスを設定します。

1 P253操作2で「送信」タブをタップする



送信サーバアドレス：送信メールサーバ（SMTP）のアドレスを設定します。
- 半角で90文字まで入力できます。

2 送信サーバアドレスを入力する

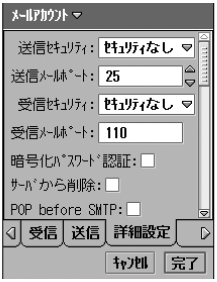
3 ［完了］をタップし、メールアカウント画面で［完了］をタップする

詳細設定

お買い上げ時	送信セキュリティ：セキュリティなし　送信メールポート：25　受信セキュリティ：セキュリティなし 受信メールポート：110（POP3）／143（IMAP）　暗号化パスワード認証：□ サーバから削除：□　POP before SMTP：□

メールサーバのセキュリティに関する設定などをします。

1 P253操作2で「詳細設定」タブをタップする



送信セキュリティ

セキュリティなし　：送信時にセキュリティ通信を使用しない場合に設定します。

可能なら指定する　：送信時にセキュリティ通信を使用できる場合に設定します。

専用ポート　：送信時に専用ポートを使用してセキュリティ通信ができる場合に指定します。

送信メールポート　：送信用のポート数を設定します。
- 通常は「25」を設定します。

受信セキュリティ

セキュリティなし　：受信時にセキュリティ通信を使用しない場合に設定します。

可能なら指定する　：受信時にセキュリティ通信を使用できる場合に設定します。

専用ポート　：受信時に専用ポートを使用してセキュリティ通信ができる場合に指定します。

受信メールポート　：受信用のポート数を設定します。
- 通常は次のように設定します。
  接続方法「POP3」→「110」
  接続方法「IMAP」→「143」

暗号化パスワード認証※

：パスワードを暗号化してメールサーバに送信する場合にチェックします。
☑が暗号化する、□が暗号化しない状態です。

サーバから削除※　：受信Eメールを FOMA 端末から削除(→P298)し、次にメールサーバに接続した際に、メールサーバ内にある同一内容のEメール(FOMA端末から削除したEメール)を削除する場合にチェックします。
☑が削除する、□が削除しない状態です。

POP before SMTP※：POPサーバとSMTPサーバが同一サーバで提供されている場合、Eメールを送信する前にEメールを受信しないと送信できないように設定できます。
☑が送信する前に受信する、□が送信する前に受信しない状態です。

※：POP3のメールアカウントのみ設定できる項目です。

次のページへ続く

2 各項目を設定する

- 「送信セキュリティ」「受信セキュリティ」
  ：項目欄をタップし、項目を選択します。
- 「送信メールポート」「受信メールポート」
  ：項目欄をタップし、数字を入力します。
- 上記以外の項目
  ：□／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。

3 [完了]をタップし、メールアカウント画面で[完了]をタップする

お知らせ

- 他のパソコンなどから同じメールアカウントを使って同じ内容のEメールを受信する場合は、「サーバから削除」を□にしてください。

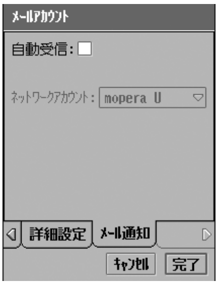
メール通知

お買い上げ時　自動受信：□

指定したネットワークアカウントのメールサーバにEメールが届いたとき、Eメールを自動的に受信するかどうかを設定します。自動受信に対応していないプロバイダでは、設定してもEメールを自動的に受信することはできません。

- mopera Uのメールサービスをご利用のお客様で、Eメールを自動的に受信する場合は、本設定を必ず行ってください。

1 P253操作2で「メール通知」タブをタップする



自動受信　：Eメールが届いたとき、自動的に受信する場合にチェックします。
☑が自動的に受信する、□が自動的に受信しない状態です。

ネットワークアカウント
：「メール通知」を使用するネットワークアカウントを指定します。
- 選択できるのは、「ベアラ」が「パケット」のアカウントのみとなります。

2 各項目を設定する

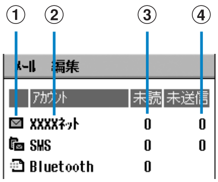
- 「自動受信」
  ：□／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。
- 「ネットワークアカウント」
  ：項目欄をタップし、項目を選択します。

3 [完了]をタップし、メールアカウント画面で[完了]をタップする

アカウント一覧画面を表示する

メールアカウントの設定を行うと、アカウント一覧画面に設定したプロバイダのメールアカウントが表示されます。このアカウントからさまざまなメール機能をご利用になれます。

1 アプリケーション選択バーの（メール）をタップする



① **メールアカウントの種類**

：Eメール

：Eメールの受信スケジュール設定時間に受信失敗

：ショートメッセージ（SMS）

：Bluetooth→P512

：デスクトップスイートでメールをパソコンと同期→P593

② **アカウント名**

メールアカウント設定により作成されたメールアカウントが表示されています。→P252

③ **未読Eメール／ショートメッセージ（SMS）数**

④ **未送信Eメール／ショートメッセージ（SMS）数**

タップすると、送信Eメール／ショートメッセージ一覧画面が表示されます。

2 利用するプロバイダのアカウントをタップする

利用するプロバイダのEメール一覧画面が表示されます。→P286

- ショートメッセージ（SMS）を利用する場合は、「SMS」をタップします。

■アカウント一覧画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「メール」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「メール」

検索. P279

送受信 P271

「編集」

ユーザ設定. P129

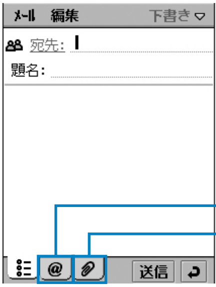
- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

新規作成

Eメールを作成して送信する

新しくEメールを作成して送信します。

1 アプリケーション選択バーの（メール）▶使用するアカウントを順にタップし、Eメール一覧画面で[新規作成]をタップする



宛先（Cc、Bcc）などを入力する場合にタップします。→P265
ファイルを添付する場合にタップします。→P267

Eメール作成画面

2 「宛先」欄をタップし、宛先を入力する



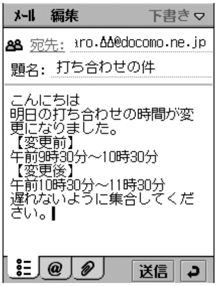
- 半角で1000文字まで入力できます。
- 電話帳から宛先を呼び出す→P264
- 宛先を追加する→P265

3 「題名」欄をタップし、題名を入力する



- 全角／半角を問わず、1000文字まで入力できます。

4 本文欄をタップし、本文を入力する



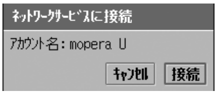
- 全角／半角を問わず、65536文字まで入力できます。
- 電話帳の内容を追加する→P266

5 [送信]をタップする



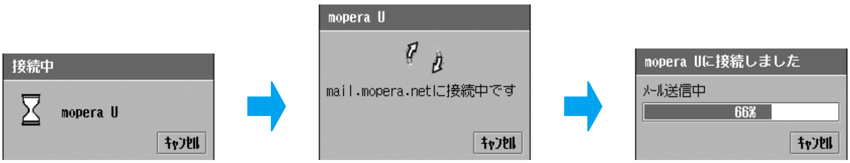
- 「◯ 送信BOXへ保存」をタップすると、送信せずに作成したメールを「送信BOX」に保存します。→P270
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

6 「◯ 今すぐ送信」▶[完了]を順にタップする



- ネットワークアカウントが複数ある場合は、ネットワークサービスに接続画面で利用するアカウントを選択します。
- 「ネットワークアカウント」を「発信時手動選択」以外に設定している場合や、既にインターネットに接続している場合は、左の画面は表示されずに送信（操作7の画面が表示）が始まります。→P254

7 [接続]をタップする



Eメールが送信されます。

- ［キャンセル］をタップすると、送信を中止できます。ただし、タイミングによっては送信されることがあります。

■Eメール作成画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「メール」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「メール」		「編集」	
新規作成	P262	切り取り	P280
所有者情報添付	P269	コピー	P280
検索	P280	貼り付け	P281
次を検索	P280	すべて選択	P280
メールの削除	P300	電話帳の追加	P266
		ユーザ設定	P300

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

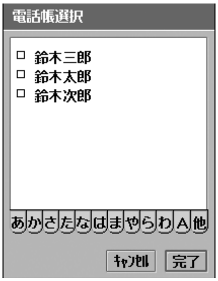
お知らせ

- Eメール編集中に、お客様による切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまで編集していた内容が「下書き」に保存され、編集が終了します。→P270
- 送信操作をした後は、他のアプリケーションなどに切り替えても、インターネット接続を切断するか、タイムアウトにならない限り、接続されたままとなりますのでご注意ください。タイムアウト（自動的にネットワーク接続を切断する）時間は設定できます。→P208、P213
- 送信できていても、電波状況によっては、送信できない旨のメッセージが表示されることがあります。
- 本FOMA端末本体のメモリがいっぱいの場合は、Eメールを送信できません。不要なEメールなどを削除してください。→P298、P346
- HTML形式のEメールは、作成できません。
- Eメールを分割して送信する機能には対応していません。
- 文字の入力方法→P516

電話帳から宛先を呼び出す

Eメール／ショートメッセージ（SMS）作成画面から、電話帳に登録されているEメールアドレスや電話番号を呼び出して挿入します。登録されていない場合は、呼び出しできません。

1 Eメール／ショートメッセージ(SMS)作成画面で 宛先: をタップする



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 目的の行タブ▶呼び出す相手▶[完了]を順にタップする

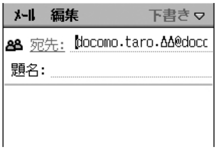


- 複数のEメールアドレス／電話番号が登録されている電話帳データを選択した場合は［完了］をタップする前に、さらにEメールアドレス／電話番号を選択して［完了］をタップします。
- ショートメッセージ（SMS）では、「宛先」欄に電話帳に登録されている「名前<電話番号>」が表示されます。
- P262、P302の操作3以降を行ってEメール／ショートメッセージ（SMS）を作成します。

電話帳を表示してEメール／ショートメッセージ(SMS)を作成する

電話帳の詳細画面から、Eメール／ショートメッセージ（SMS)作成画面を表示させることができます。Eメールアドレスや、携帯電話番号が登録されていない場合は操作できません。

1 電話帳の詳細画面でEメールアドレス／をタップする

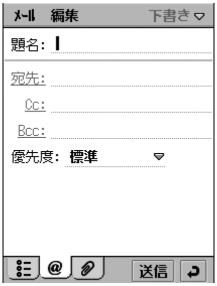


- 電話帳の詳細画面の表示方法→P114
- ショートメッセージ（SMS）では、「宛先」欄に電話帳に登録されている「名前<電話番号>」が表示されます。
- P262、P302の操作3以降を行ってEメール／ショートメッセージ（SMS）を作成します。

宛先（Cc、Bcc）を追加する

宛先を追加すると、同じ内容のEメールを一度に複数の相手に送信できます。

1 Eメール作成画面で「@」タブをタップする



宛先:　：送信相手のEメールアドレスを入力します。入力したEメールアドレスは受信した相手に表示されます。

Cc:　：「宛先」以外にEメールの内容を知らせたい宛先を入力します。入力したEメールアドレスは受信した相手に表示されます。

Bcc:　：「宛先」や「Cc」に入力した送信相手に知らせたくない相手を入力します。入力したEメールアドレスは、他の送信相手には表示されません。

- 「宛先:」「Cc:」「Bcc:」をタップすると、電話帳から宛先を呼び出せます。→P264

2 「宛先」／「Cc」／「Bcc」欄をタップし、宛先を入力する

- 半角でそれぞれ1000文字まで入力できます。

■複数のEメールアドレスを入力するとき

「宛先」「Cc」「Bcc」欄で、入力したEメールアドレスの最後に「,」（カンマ）を入力すると、その後に別のEメールアドレスを入力できます。

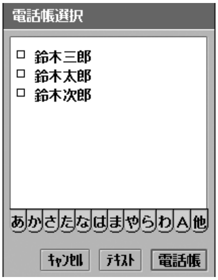
お知らせ

- 文字の入力方法→P516
- 「宛先」または「Cc」に1件も入力されていないEメールは送信できません。
- 「宛先」と「Cc」に入力したEメールアドレスは、受信側に表示されますが、受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、表示されない場合があります。

電話帳の内容を本文に挿入／Eメールに添付する

電話帳に登録してある内容をEメール／ショートメッセージ（SMS）の本文に挿入したり、電話帳ファイルをEメールに添付することができます。連絡先などを知らせたいときなどに便利な機能です。

1 Eメール／ショートメッセージ(SMS)作成画面でメニューバーの「編集」▶「電話帳の追加」／「電話帳選択」を順にタップする



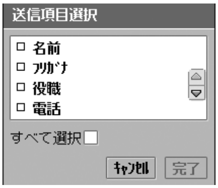
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

■電話帳ファイルを添付するとき（Eメールのみ）

目的の行タブ▶挿入する相手▶［電話帳］を順にタップする

- Eメール作成画面で「📎」タブをタップすると、添付した電話帳ファイルを確認できます。

2 目的の行タブ▶挿入する相手▶[テキスト]を順にタップする



- 「すべて選択」の □ をタップすると、送信項目がすべてチェックされます。
- 電話帳に登録されていない項目は表示されません。

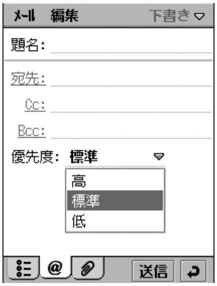
3 送信する項目▶[完了]を順にタップする

Eメール／ショートメッセージ（SMS）本文に電話帳の内容が挿入されます。

Eメールの優先度を設定する

Eメールの内容に応じて、優先度をつけて送信することができます。

1 Eメール作成画面で「@」タブ▶「優先度」欄を順にタップし、優先度を選択する



高　：重要な内容で、相手に必ず読んでもらいたいEメールなどに設定します。

標準：標準的な内容で、優先度はあまり関係のないEメールなどに設定します。

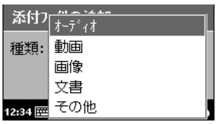
低　：重要な内容ではなく、あとで読んでも構わないEメールなどに設定します。

ファイルを添付する

FOMA端末／TransFlashメモリカードに保存されている音声や動画、画像、ドキュメントファイルなどをEメールに添付して送信することができます。

- 著作権保護されたファイルは添付できません。
- 1件のメールに添付して送信できるファイルの数／サイズは、利用するプロバイダのメールサーバの制限により異なります。

1 Eメール作成画面で「🖇」タブ▶[追加]を順にタップし、添付ファイルの追加画面で「種類」欄をタップする



オーディオ：（ミュージック）で確認できる音楽から選択できます。→P319

動画：（ビデオ）で確認できる動画から選択できます。→P314

画像：（ピクチャー）で確認できる画像から選択できます。→P308

文書：（ドキュメントビューア）で確認できるドキュメントから選択できます。→P324

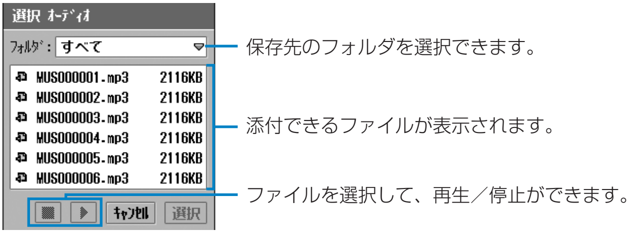
その他：Eメールに添付できるすべての種類のファイルから選択できます。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

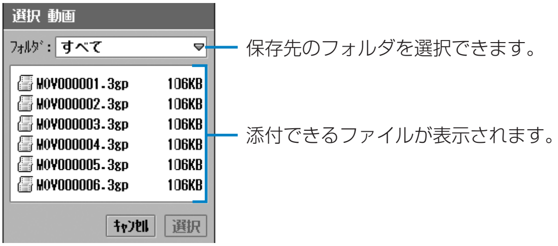
次のページへ続く●●●

2 添付するファイルの種類▶[完了]を順にタップする

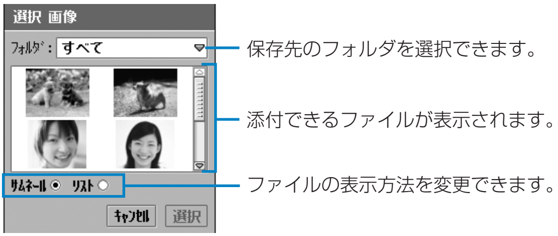
■「オーディオ」を選択したとき



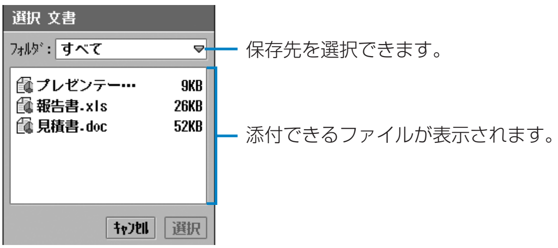
■「動画」を選択したとき



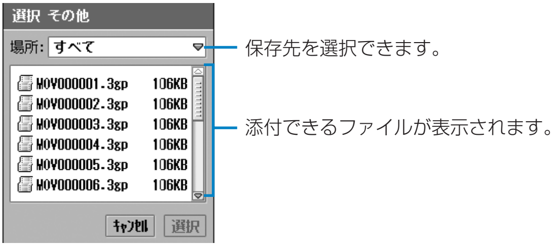
■「画像」を選択したとき



■「文書」を選択したとき



■「その他」を選択したとき



3 添付するファイル▶[選択]を順にタップする

■添付したファイルを削除するとき

Eメール作成画面で「📎」タブをタップし、添付ファイル画面で削除する添付ファイルの□▶［削除］を順にタップする

お知らせ

- 添付ファイルとして選択できるのは、「📁media files」に保存されているファイルのみとなります。→P326
- 受信側の端末や機器などによっては、正しく受信できなかったり、表示／再生できない場合や画像が粗く表示される場合があります。
- ファイルサイズが大きい場合は、添付するまでに時間がかかる場合があります。

所有者情報を添付する

所有者情報（→P120）をそのままEメールに添付して送信できます。

- 所有者情報を設定してから操作してください。

1 Eメール作成画面でメニューバーの「メール」▶「所有者情報添付」を順にタップする

- Eメール作成画面で「📎」タブをタップすると、添付した所有者情報ファイルを確認できます。

作成中のEメールを保存しておき、あとで送信する

Eメールを保存する

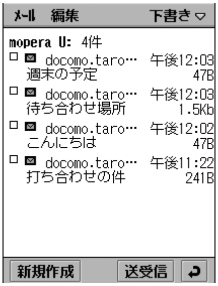
作成中や編集中のEメールを「下書き」に保存できます。

1 Eメール作成画面でEメールを作成▶ [↩] をタップする

保存したEメールを編集・送信する

送信せずに保存してあるEメールを編集して送信することができます。

1 Eメール一覧画面でメニューバーの「受信BOX」▶「送信BOX」／「下書き」を順にタップする

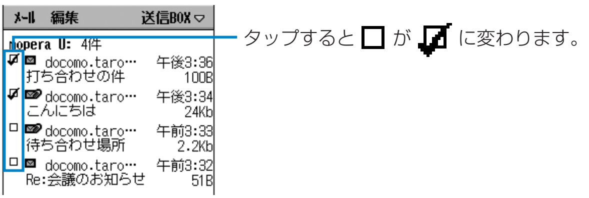


2 編集するEメールをタップする

P262 の操作2以降を行ってメールを作成します。

■送信BOX内のEメールを複数選択して送信する

送信Eメール一覧画面で送信するEメールの □ ▶［送信］を順にタップする



Eメールを受信する

本FOMA端末では、他のiモード端末などと異なり、メールサーバにEメールが到着しても、自動的に受信されません。本FOMA端末からメールサーバに接続して、Eメールを受信する操作が必要になります。ただし、メール通知機能に対応したプロバイダ（mopera Uなど）では、設定（→P260）によりメール通知を受信すると自動的にメールサーバに接続してEメールを受信することができます。また、本FOMA端末ではスケジュール（→P257）を設定して、指定した時刻／間隔でメールサーバに接続してEメールを受信することもできます。
受信したEメールは各メールアカウントの受信BOXに保存されます。→P286

送受信

メールサーバに接続してEメールを受信する

■Eメールを送受信する場合は、次の点に注意してください

次の操作をすると、本FOMA端末内の「受信BOX」に保存されている受信済みのEメールが自動的に削除されますのでご注意ください。削除させたくないEメールは、お客様が作成したフォルダなどに移動／コピーしてください。→P294

<受信した後に、メールサーバ内で同一内容のEメールを削除>
Eメールを受信▶受信したものと同一内容のEメールを、他の端末やパソコン、Webメールなどを利用して、メールサーバ内から削除▶本FOMA端末でEメールの送受信を行う

<受信した後に、メールサーバ内で同一内容のEメールを移動>
Eメールを受信▶受信したものと同一内容のEメールを、Webメールなどを利用して、メールサーバ内の受信BOX※からサーバ内のお客様が作成したフォルダなどに移動▶本FOMA端末でEメールの送受信を行う

- ただし、移動したEメールを受信BOX※に戻してから送受信を行うことで再受信が可能です。

※：メールサーバによって、名称が異なります。

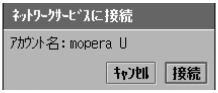
メールサーバに接続してEメールを受信します。この操作を行うと、送信BOXに保存されているEメールが自動的に送信されます。

- 「ダウンロード」方法※（→P256）を、制限なく受信できる設定にしてからこの操作を行うと、「ダウンロード」方法を変更する前に受信した、メールアカウント内に保存されているすべての制限あり受信Eメールの残りのデータが、「ダウンロード」方法に従って再受信されます。

  ※：「ダウンロード」方法を「制限なし」や、「最大サイズ」「行数」のサイズを大きく設定してEメールの受信を行うと、データ容量の大きい添付ファイルや、文字数の多いEメールなども受信され、本FOMA端末本体の保存領域の状態により、受信できない場合があります。また、パケット通信料が高額になる場合もありますのでご注意ください。
- 「ダウンロード」方法を制限した状態で、制限あり受信Eメールを選択し、個別に受信することもできます。→P274
- 接続方法が「IMAP」のメールアカウントの場合は、メールサーバの受信BOX内にあるEメールのみ受信できます。

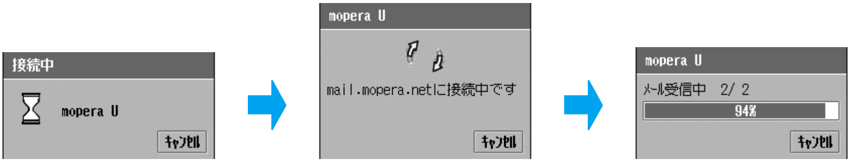
次のページへ続く

1 アプリケーション選択バーの（メール）▶メニューバーの「メール」▶「送受信」を順にタップする



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。
- ネットワークアカウントが複数ある場合は、ネットワークサービスに接続画面で利用するアカウントを選択します。
- 「ネットワークアカウント」を「発信時手動選択」以外に設定している場合や、既にインターネットに接続している場合は、左の画面は表示されずに送信（操作２の画面が表示）が始まります。→P254

2 ［接続］をタップする

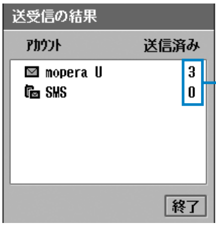


すべてのメールアカウントのメールサーバに接続してＥメールを確認します。
Ｅメールを受信した場合は、着信音※が鳴ります。

※：Ｅメールを受信したアカウントが複数あった場合は、アカウントごとに着信音が鳴ります。

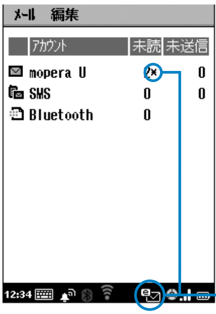
- ［キャンセル］をタップすると、Ｅ メールの送受信を中止します。ただし、タイミングにより送受信されることがあります。

3 送受信が完了する



送信BOXに未送信のEメール／ショートメッセージ（SMS）がある場合は送信され、件数が表示されます。

4 ［終了］をタップする



マークが表示されます。

■新着Ｅメールをすぐに確認するとき

新着Ｅメールのあるアカウント（＊マーク付き）／をタップする

受信Ｅメール一覧画面が表示されます。→P286

■メールアカウントを選択してからEメールを送受信するとき
アカウント一覧画面でEメールを受信したいアカウントをタップし、Eメール一覧画面で［送受信］をタップする

- 送信Eメール一覧画面では、送信のみ行うことができます。

■「スケジュール」（→P257）を設定しているとき
指定した時刻／間隔で自動的にメールサーバに接続してEメールを受信します。

お知らせ

- ネットワークに接続した後は、他のアプリケーションなどに切り替えても、ネットワーク接続を切断するか、タイムアウトにならない限り、接続されたままとなりますのでご注意ください。タイムアウト（自動的にネットワーク接続を切断する）時間は設定できます。→P208、P213
- 電波状況などにより、受信に失敗した場合はステータスバーに（赤）が表示されます。（赤）をタップするとメール受信失敗画面が表示され、失敗した時間と状態を確認できます。［続行］をタップし、Eメール一覧画面で［送受信］をタップしてEメールを受信してください。
- Eメールの「ダウンロード」方法（→P256）の設定により、受信サイズを制限しているEメールは、制限なく受信できる設定に変更してから本操作を行うことにより、完全な状態で再受信できます。ただし、既に完全に受信しているEメールや、削除したEメールは再受信できません。
- 本FOMA端末でEメール受信する前に、Webメールなどでメールサーバ内のEメールを受信BOX※から他のフォルダに移動／削除してしまうと、受信できなくなります。移動したEメールはメールサーバの受信BOX※に保存してから、本FOMA端末で送受信を行ってください。

  ※：メールサーバによって、名称が異なります。
- 本FOMA端末本体のメモリがいっぱいの場合は、Eメールを受信できません。不要なEメールなどを削除してください。→P298、P346
- Eメールを分割して送受信する機能には対応していません。
- Eメール受信中に時計のアラーム画面（→P361）、スケジュールのアラーム画面（→P371）、ToDoリストのアラーム画面（→P381）が表示されると、Eメール受信の着信音が鳴らない場合があります。
- メール着信音設定→P129
- 「送信者:」「宛先:」「Cc:」の欄には、受信したEメールに設定されている表示名が表示されます。電話帳に電話番号またはEメールアドレスが登録されていても、登録されている名前は表示されません。

自動的にメールサーバに接続してEメールを受信する

mopera Uなどのメール通知機能に対応したプロバイダのメールアカウントを使用し、「メール通知」（→P260）を設定している場合のみ利用できます。

Eメールがメールサーバに届くと、サーバからメール通知が送られてきます。メール通知が本FOMA端末に届くと、自動的にメールサーバに接続してEメールを受信します。

1 Eメール通知が届くと自動的にメールサーバに接続してEメールを受信する



ホーム画面

着信音が鳴ります。
ホーム画面では､新着Eメールの件数とステータスバーにが表示されます。
ホーム画面以外では、ステータスバーにが表示されます。

■新着Eメールをすぐに確認するとき

「X通の未読メール」／をタップする

受信Eメール一覧画面が表示されます。→P286

お知らせ

- Eメール受信状態によっては、ステータスバーに以外のマークが表示されます。→P40
- 圏外のとき、FOMA端末の電源が入ってないとき、パケット通信以外のネットワークアカウントで接続しているときは、自動受信できません。
- 自動受信に使用するネットワークアカウント以外のアカウントで接続しているときや、テレビ電話中に、Eメール通知を受信した場合は、ステータスバーに（赤）が表示され、自動受信できません。（赤）をタップするとメール通知画面が表示され、通知を受信した時間と状態を確認できます。［続行］をタップし、Eメール一覧画面で［送受信］をタップしてEメールを受信してください。
- mopera UのUスタンダードプランにお申し込みいただくと、本機能を利用してEメールを自動的に受信できます。お申し込み後に必要な設定は次のとおりです。
  - mopera U初期設定→P248
  - mopera U端末自動設定→P250
  - メール通知設定→P260
  - メールサーバの設定※（メール自動受信のON／OFF、自動受信するEメールの条件など）

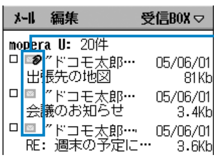
  ※：メールサーバの設定について詳しくはmopera Uのホームページをご覧ください。
- 自動受信中に時計のアラーム画面（→P361）、スケジュールのアラーム画面（→P371）、 ToDoリストのアラーム画面（→P381）が表示されると、Eメール受信の着信音が鳴らない場合があります。
- ホーム画面に、メールの受信状態を表示するメールアカウントを設定する→P253

メール

制限あり受信Eメールを受信する

制限あり受信Eメールを、すべて受信する前に他の端末やパソコン、Webメールなどを利用してメールサーバから削除してしまうと、表示できなくなりますのでご注意ください。

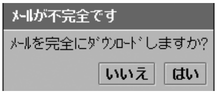
「ダウンロード」方法（→P256）の設定により、サイズを制限して受信した制限あり受信Eメールを個別に受信します。この方法では、「ダウンロード」方法の設定に関係なく、個別に選択した制限あり受信Eメールの残りのデータをすべて再受信します。



制限あり受信Eメールはうすく表示されています。

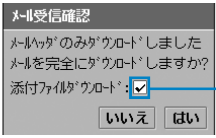
1 受信Eメール一覧画面で制限あり受信Eメール（／）をタップする

■接続方法が「POP3」のメールアカウントのとき



- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

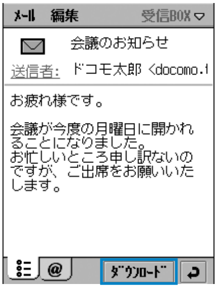
■接続方法が「IMAP」のメールアカウントのとき



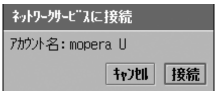
- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

☑にすると、添付ファイルもダウンロードされます。
添付ファイルがない場合は設定できません。

■接続方法が「POP3」のメールアカウントでダウンロード方法を「行」に設定して受信したとき



2 [はい]／[ダウンロード]をタップする



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。
- ネットワークアカウントが複数ある場合は、ネットワークサービスに接続画面で利用するアカウントを選択します。
- 「ネットワークアカウント」を「発信時手動選択」以外に設定している場合や、既にインターネットに接続している場合は、左の画面は表示されずに送信（操作3の画面が表示）が始まります。→P254

3 [接続]をタップする



- ［キャンセル］をタップすると、E メールの受信を中止します。ただし、タイミングにより受信されることがあります。

メール

次のページへ続く

4 受信が完了する

／ が ／ に変わります。

■制限あり受信Eメールを複数選択して受信するとき

① 受信Eメール一覧画面で制限あり受信Eメールの□をタップする

□が☑に変わります。

- メニューバーの「編集」▶「すべて選択」を順にタップすると、すべてのEメールを選択できます。

② 受信Eメール一覧画面で［送受信］をタップする

- 「IMAP」のメールアカウントで、 のEメールを選択して［送受信］をタップすると、操作1「■接続方法が「IMAP」のメールアカウントのとき」の画面が表示され、同時に添付ファイルを受信するかどうかを設定できます。

お知らせ

- 操作 1「■接続方法が「IMAP」のメールアカウントのとき」の画面で「添付ファイルダウンロード」を□にして受信したEメールの添付ファイルを受信する場合は、受信Eメール詳細画面の添付ファイル画面で添付ファイルをタップします。→P285
- 本操作を行うと、データ容量の大きい添付ファイルや、文字数の多いEメールなどもすべて受信され、本FOMA端末本体のEメール保存領域の状態により、受信できない場合があります。また、パケット通信料も高額になる場合もありますのでご注意ください。

返信

メールに返事を出す

受信したEメールやショートメッセージ（SMS）の送信元や、送信済みのEメールやショートメッセージ（SMS）の送信先に返信することができます。

1 受信、送信済みEメール／ショートメッセージ詳細画面で［返信］をタップする



- 返信元Eメールの題名の先頭に「Re:」がついたものが題名に入力されています。

■宛先が複数あるEメールに返信するとき

受信Eメール詳細画面でメニューバーの「メール」▶「全員へ返信」を順にタップする

2 題名などを入力して送信する

P262、P302の操作3以降を行ってEメール／ショートメッセージ（SMS）を作成します。

- ショートメッセージ（SMS）では、題名の入力はできません。

お知らせ

- 送信元に「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」が表示される受信ショートメッセージ（SMS）には返信できません。
- mova サービスの i モード端末から FOMA 端末宛てに送信されたショートメールは、ショートメッセージ（SMS）として受信されますが、返信することはできません。
- 接続方法が「POP3」で、「行数」を制限して受信した E メールでは、詳細画面で［返信］が表示されません。そのまま返信する場合は、メニューバーの「メール」➧「返信」／「全員へ返信」を順にタップします。
- 送信済みのEメール／ショートメッセージ（SMS）を返信したときの宛先は次のようになります。

  Eメール　　　　　　　　　　：送信元（自分のEメールアドレス）が自動挿入されます。
  ショートメッセージ（SMS）：送信先（送信相手の電話番号）が自動挿入されます。

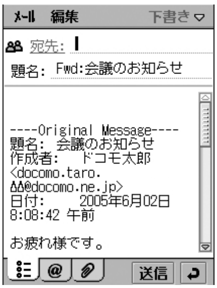
- 「常に引用して返信」する設定（→P300）（E メールのみ）にして返信操作を行うと、E メール作成画面の本文には、先頭に「----Original Message----」が挿入された受信Eメールの内容が自動的に入力されています。
  また、返信するEメールによって、引用される本文は次のようになります。
  - 接続方法が「POP3」で「行数」を制限して受信したEメール
    ：受信されたまでの本文が引用されます。
  - HTML形式のEメール
    ：テキストデータのみが本文に引用されます。

転送

メールを転送する

受信したEメールやショートメッセージ（SMS）や、送信済みのEメールやショートメッセージ（SMS）を他の人に転送できます。

1 受信、送信済みEメール／ショートメッセージ詳細画面でメニューバーの「メール」➧「転送」を順にタップする



- 転送元Eメールの題名の先頭に「Fwd:」がついたものが題名に入力されています。
- Eメールでは、転送元の内容の先頭に「----Original Message----」がついたものが本文に入力されています。
- ショートメッセージ（SMS）では、転送元の内容の先頭に「<転送元：電話番号>」がついたものが本文に入力されています。

2 宛先を入力して送信する

P262、P301 の操作2以降を行ってEメール／ショートメッセージ（SMS）を作成します。

- ショートメッセージ（SMS）では、題名の入力はできません。

次のページへ続く

お知らせ

- 添付ファイルのあるEメールでは、添付ファイル画面が表示され、ファイルを添付して転送するかどうかを選択できます。
- 転送するEメールによって、引用される本文は次のようになります。
  - 接続方法が「POP3」で「行数」を制限して受信したEメール
    ：受信されたまでの本文が引用されます。
  - HTML形式のEメール
    ：テキストデータのみが本文に引用されます。

送信元や宛先のEメールアドレスや電話番号を操作する

電話帳に登録する

受信したEメールやショートメッセージ（SMS）の送信元や、送信したEメールやショートメッセージ（SMS）の宛先を電話帳に保存できます。

1 受信Eメール／ショートメッセージ詳細画面で 送信者: ▶「電話帳へ保存」を順にタップする、送信済みEメール／ショートメッセージ詳細画面で 宛先: をタップする



- ショートメッセージ（SMS）の場合は、電話番号が入力されています。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 「名前」欄をタップし、名前を入力▶［保存］をタップする

お知らせ

- 電話帳に登録済みの相手からの受信Eメール／ショートメッセージ（SMS）では、送信者: をタップすると、「電話帳を開く」が表示され、登録内容を確認できます。

送信元に電話する

受信したショートメッセージ（SMS）の送信元に電話をかけることができます。

1 受信ショートメッセージ詳細画面で 送信者: ▶「発信」を順にタップする

電話番号が入力された電話番号入力画面が表示されます。

2 電話番号入力画面で ［音声発信］／［テレビ電話発信］ をタップする

- 以降の操作については、P70、P91を参照してください。

送信元にEメール／ショートメッセージ(SMS)を送信する

送信元のEメール／電話番号を宛先にしたEメール／ショートメッセージ（SMS）を作成して送信できます。

1 **受信Eメール／ショートメッセージ詳細画面で 送信者: ➡「メール送信」／「SMS送信」を順にタップする**

2 **題名などを入力して送信する**

P262、P302の操作3以降を行ってEメール／ショートメッセージ（SMS）を作成します。
- ショートメッセージ（SMS）では、題名の入力はできません。

検索

メールを検索する

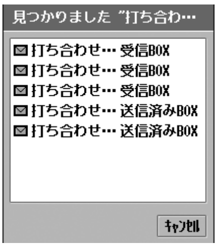
入力したキーワードを含んだEメール／ショートメッセージ（SMS）を、FOMA端末内に保存されている中から検索して一覧表示します。

1 **アカウント／Eメール／ショートメッセージ一覧画面でメニューバーの「メール」➡「検索」を順にタップする**



- キーワードは全角／半角を問わず、128文字まで入力できます。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 **キーワードを入力➡「検索対象」欄をタップし、検索するアカウントを選択➡［検索］をタップする**



「打ち合わせ」で検索した場合

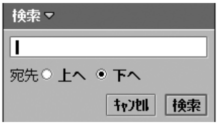
3 **表示するメールをタップする**

メール

検索

メールの文字を検索する

1 **Eメール／ショートメッセージ詳細画面、Eメール／ショートメッセージ作成画面でメニューバーの「メール」➡「検索」を順にタップする**



- キーワードは全角／半角を問わず、500文字まで入力できます。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 **検索する文字を入力➡検索方向の○➡［検索］を順にタップする**

- 検索された文字は、反転表示されています。

■続けて同じ文字を検索するには
メニューバーの「メール」➡「次を検索」を順にタップする

お知らせ

- HTML形式のEメールでは、文字が検索できない場合があります。

コピー／切り取り／貼り付け

メールの文字をコピー／切り取りをして貼り付ける

入力済みの文字や、Eメール／ショートメッセージ（SMS）の内容をコピーしたり、切り取ったりして、別の入力画面などに貼り付けることができます。

- 受信、送信済みEメール／ショートメッセージ（SMS）の内容を切り取ることはできません。
- コピー／切り取りできるのは、テキストデータのみになります。

コピー／切り取りする

1 **コピーする範囲をドラッグ➡メニューバーの「編集」➡「コピー」／「切り取り」を順にタップする**

クリップボードに保存されます。

■すべてを選択してコピー／切り取りするとき

① **メニューバーの「編集」➡「すべて選択」を順にタップする**
選択している項目内のすべての文字が選択されます。

② **メニューバーの「編集」➡「コピー」／「切り取り」を順にタップする**
クリップボードに保存されます。

貼り付けする

1 **貼り付ける位置をタップし、メニューバーの「編集」➡「貼り付け」を順にタップする**

コピー／切り取りした内容が貼り付けられます。

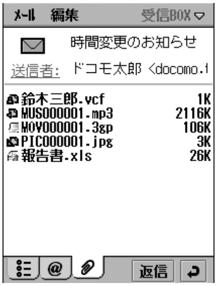
お知らせ

- クリップボードとは、コピー／切り取りした内容を保存するメモリ領域のことです。保存できるのは１件だけで、新しくコピー／切り取りすると上書きされます。

Ｅメールに添付されているファイルを操作する

添付ファイルを表示／再生したり保存したりできます。

1 **ファイルが添付されているＥメール詳細／Ｅメール作成画面で「 」タブをタップする**



添付ファイル画面

2 **添付ファイルをタップする**

各種ファイルの操作については、P281～P285を参照してください。

vCard／vCalendar／メモファイル

1 **P281操作2でvCard（ ）／vCalendar（ ）／メモ（ ）ファイルをタップする**



vCardファイルの場合

- 保存してから内容を表示する場合は、□をタップします。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

次のページへ続く

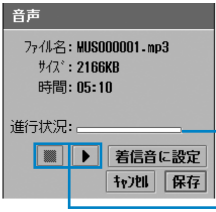
2 [保存]をタップする

お知らせ

- 複数のvCard、vCalendarが含まれている添付ファイルをタップすると、確認画面が表示され、すべてを保存することができます。

音声ファイル

1 P281操作2で音声( )ファイルをタップする

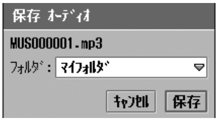


- ［着信音に設定］をタップすると、着信音に設定できます。→P128
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

タップした位置から再生されます。

音楽を停止／再生できます。

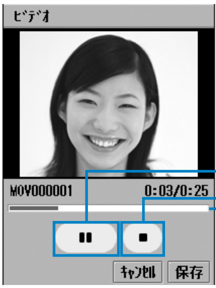
2 [保存]をタップする



3 「フォルダ」欄をタップし、保存先のフォルダを選択▶[保存]をタップする

動画ファイル

1 P281操作2で動画( )ファイルをタップする



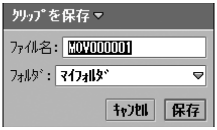
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

動画を再生／一時停止できます。

動画を停止できます。

タップした付近（総再生時間が約12秒以下の場合は最初）から再生されます。

2 [保存]をタップする



3 「ファイル名」欄をタップし、名前を入力▶「フォルダ」欄をタップし、保存先のフォルダを選択▶[保存]をタップする

お知らせ

- 操作1の画面でメニューバーの「ビデオ」をタップすると、「クリップ情報」を確認できます。→P318

画像ファイル

1 P281操作2で画像( )ファイルをタップする



- をタップすると、添付ファイル画面に戻ります。

2 [保存]をタップする



- [キャンセル] をタップすると、操作を中止します。

3 「フォルダ」欄をタップし、保存先のフォルダを選択▶[保存]をタップする

お知らせ

- 表示する画像ファイルの形式が、ドキュメントビューアに関連付けされている場合(→P334)は、ドキュメントビューアで表示されます。→P324　その場合の操作方法は、「ドキュメントファイル」と同様になります。→P284
- 操作1の画面でメニューバーの「画像」をタップすると、「コピー」(メモ帳(→P394)に貼り付けできます)「ズーム」ができます。また、「画像情報」をタップすると画像情報を確認できます。

ドキュメントファイル

1 **P281操作2でドキュメント（ ）ファイルをタップする**



2 **メニューバーの「ドキュメント」▶「保存」を順にタップする**



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 **「ファイル名」欄をタップし、名前を入力▶「保存先」欄をタップし、保存先を選択▶［決定］をタップする**

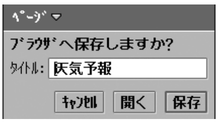
お知らせ

- ドキュメントビューアで表示できるファイル形式でも、ドキュメントビューアに関連付けされていない場合（→P334）は、ファイルの形式によっては認識できない（ ）ファイルとなり表示できません。
- 操作1の画面でメニューバーの「ドキュメント」「編集」をタップしてできる操作について→P326

webファイル

添付されたwebファイルを、ブラウザで操作することができます。

1 **P281操作2でweb（ ）ファイルをタップする**



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。
- ［開く］をタップすると、ブラウザが起動して内容を確認できます。
- ［保存］をタップすると、ブラウザの「画面メモ」内に保存されます。→P225

お知らせ

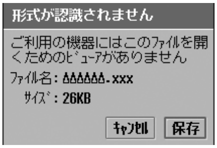
- HTML（.html、.htm）、Mhtml（.mht）ファイルが、ドキュメントビューアに関連付けされている場合（→P334）は、ドキュメントファイル（ ）として認識され、操作方法は「ドキュメントファイル」と同様になります。→P284

■インストールが必要なアプリケーションファイル

インストールが必要なアプリケーション（）ファイルをタップすると、お知らせ画面が表示されます。以降の操作はP409の操作3以降を参照してください。

■認識できないファイル

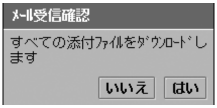
認識できない（）ファイルをタップすると、次の画面が表示されます。ドキュメントファイルとしてFOMA端末本体／TransFlashメモリカードの「document」／「other」フォルダ（→P324、P326）に保存できます。



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。
- ［保存］をタップすると、ドキュメント保存画面が表示され、保存先（FOMA端末本体／TransFlashメモリカード）を選択して保存できます。

■P275の操作1「■接続方法が「IMAP」のメールアカウントのとき」で本文のみ制限なく受信したEメールの添付ファイルを受信する

添付データをタップすると、次の画面が表示されます。



- ［いいえ］をタップすると、添付ファイル画面に戻ります。
- ［はい］をタップすると、メールに添付されたすべてのファイルを受信します。

添付ファイルを送信する

1 **ファイルが添付されている受信／送信済みEメール詳細画面でメニューバーの「メール」▶「添付ファイル送信」を順にタップする**

送信形式

メール　　：ファイルが添付された状態で、メール作成画面が表示されます。
Bluetooth　：Bluetoothで送信します。

- 添付ファイルが複数ある場合は、添付ファイル送信画面が表示され、添付するファイルをタップします。

2 **送信画面で「送信形式」欄をタップし、送信形式を選択▶［完了］をタップする**

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

- 無線LAN接続中は、「Bluetooth」が表示されません。
- Eメール作成→P262
- Bluetooth通信→P510
- デスクトップスイート／SyncMLによってパソコンと同期させたメールアカウントがある場合は、「送信形式」欄に「PC Mail」が表示されます。デスクトップスイート／SyncML→P587

各メールアカウント内のメールBOXを操作する

各メールアカウント内の「受信BOX」／「送信BOX」／「下書き」／「送信済みBOX」に保存されているメールを表示します。受信済みのメールは「受信BOX」、送信済みのメールは「送信済みBOX」、送信に失敗したメールは「送信BOX」、メール作成中に保存したメールは「下書き」に保存されています。
Eメールを保存できる件数は、すべて10KバイトのEメールを保存した場合で、受信BOX／送信BOX／下書き／送信済みBOX／お客様が作成したフォルダをすべて含めて最大約1900件※までです。
ショートメッセージ（SMS）を保存できる件数は、受信BOX／送信BOX／下書き／送信済みBOXをすべて含めて最大500件までです。

※：Eメールのサイズや、他のアプリケーションによる本体のメモリ使用状況により少なくなります。

1 アプリケーション選択バーの（メール）▶表示するアカウントを順にタップする

Eメール／ショートメッセージ一覧画面（→P287）が表示されます。

■表示するメールBOXを切り替えるとき

メニューバーの「受信BOX」▶表示するメールBOXを順にタップする

2 Eメール／ショートメッセージ一覧画面で表示するEメール／ショートメッセージ(SMS)をタップする

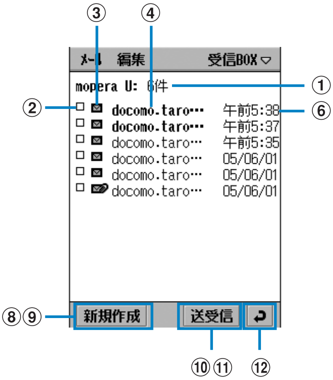
Eメール／ショートメッセージ詳細画面（→P290）が表示されます。

お知らせ

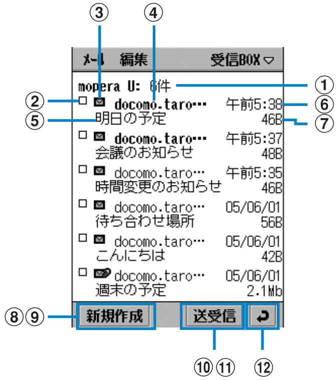
- 受信Eメール一覧画面で、制限あり受信Eメールをタップすると、メールをダウンロードするかどうかの確認画面が表示されます。→P274
- 「送信者:」「宛先:」「Cc:」の欄には、受信したEメールに設定されている表示名が表示されます。電話帳に電話番号またはEメールアドレスが登録されていても、登録されている名前は表示されません。
- 絵文字が含まれるEメールを受信しても、絵文字は正しく表示できません。
- 受信BOXや送信済みBOX内のEメール／ショートメッセージ（SMS）数が保存可能件数を超えた場合は自動的に削除されません。不要なEメール／ショートメッセージ（SMS）などを削除する操作を行ってください。→P298、P346
- Eメール／ショートメッセージ（SMS）は、デスクトップスイートのバックアップ機能を利用してパソコンに保存することができます。→P593

Eメール／ショートメッセージ一覧画面の見かた

受信Eメール／ショートメッセージ一覧画面



題名表示なし



題名表示あり

①アカウント名：フォルダ内Eメール／ショートメッセージ（SMS）件数

②コピー／移動や削除するときに使用するチェックボックス

☑：選択
□：未選択

③メールの状態

：通常Eメール
：添付ファイル付きEメール
／：制限あり受信Eメール
：通常ショートメッセージ（SMS）
：SMS送達通知（ステータスレポート）のショートメッセージ（SMS）
：FOMAカード内ショートメッセージ（SMS）

④Eメールアドレス※1（Eメール）／送信元の電話番号※2（ショートメッセージ（SMS））

※1：受信したEメールに設定されている表示名が表示されます。
※2：電話帳に登録されている場合は名前が表示されます（電話帳登録後に受信したもののみ）。

- 未読Eメール／未読ショートメッセージ（SMS）は太字で表示されます。
- お客様が作成したフォルダなどにコピーした受信 E メールは、斜字体で表示されます。

⑤題名（Eメール）／本文※（ショートメッセージ（SMS））

※：SMS送達通知の場合は「ステータスレポート」と表示されます。

⑥受信した時刻や日付

当日受信したEメールやショートメッセージ（SMS）では時刻が表示され、前日までのものは、日付が表示されます。

⑦メールサイズ（Eメールのみ）

⑧新規メール作成

タップすると、Eメール／ショートメッセージ（SMS）を作成できます。
→P262、P301

メール

次のページへ続く

⑨ **Eメールの受信スケジュール設定時間に受信失敗**

：タップするとメール受信失敗画面が表示され、接続に失敗した時間と状態を確認できます。

⑩ **送受信する（Eメールのみ）**

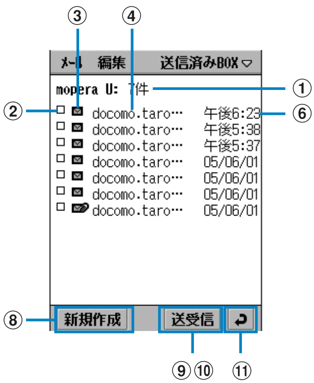
タップすると、Eメールの送受信ができます。→P271

⑪ **空き容量（ショートメッセージ（SMS）のみ）**

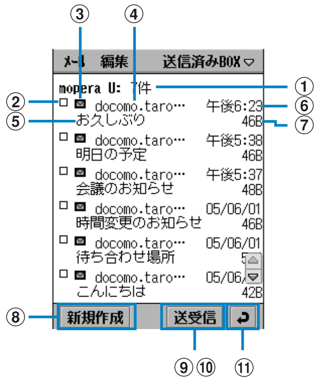
⑫ **戻る**

タップすると、アカウント一覧画面に戻ります。

送信、下書き、送信済みEメール／ショートメッセージ一覧画面



題名表示なし



題名表示あり

① **アカウント名：フォルダ内Eメール／ショートメッセージ（SMS）件数**

② **コピー／移動や削除するときに使用するチェックボックス**

：選択
：未選択

③ **メールの状態**

：通常Eメール
：添付ファイル付きEメール
：通常ショートメッセージ（SMS）
：SMS送達通知要求を設定して配信済みのショートメッセージ（SMS）

④ **Eメールアドレス（Eメール）／宛先の電話番号※（ショートメッセージ（SMS））**

※：電話帳に登録されている場合は、名前が表示されます（電話帳登録後に送信したもののみ）。

⑤ **題名（Eメール）／本文（ショートメッセージ（SMS））**

⑥ **送信／保存した時刻や日付**

当日送信／保存したEメールやショートメッセージ（SMS）では時刻が表示され、前日までのものは、日付が表示されます。

⑦ **メールサイズ（Eメールのみ）**

⑧ **新規メール作成**

タップすると、Eメール／ショートメッセージ（SMS）を作成できます。
→P262、P301

⑨ **送受信する（下書き／送信済みBOX）／送信する（送信BOX）（Eメールのみ）**

タップすると、Eメールの送受信／送信ができます。→P271

⑩ **空き容量（ショートメッセージ（SMS）のみ）**

空き:XXX ：ショートメッセージ（SMS）の保存可能件数が表示されます。

⑪ **戻る**
タップすると、アカウント一覧画面に戻ります。

■Eメール一覧画面のメニューバーから行える項目について
メニューバーの「メール」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「メール」

新規作成 P262
検索. P279
コピー※1 . . . . P294
移動※1、(下書きへ移動※2)
. . . . .P294、P295
メールの削除. P298
切断. P213

「編集」

すべて選択. . . . . P294、P298
日付順 P297
送信者順 P297
題名表示 P297
メールフィルタ※3. . . . . P296
ユーザ設定. P300

※1：受信BOX／送信済みBOX／作成したフォルダのみ表示
※2：送信BOXのみ表示
※3：接続種別が「POP3」のメールアカウントを使用している場合のみ表示
- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

■ショートメッセージ一覧画面のメニューバーから行える項目について
メニューバーの「メール」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「メール」

新規作成 P301
検索. P279
SMS問い合わせ P304
下書きへ移動※1 . . . . P295
メールの削除. P299
レポートの削除※2. . . . . P299

「編集」

すべて選択. . . . . P294、P298
日付順 P297
送信者順 P297
題名表示 P297

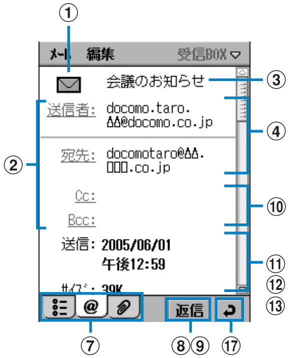
※1：送信BOXのみ表示
※2：受信BOXのみ表示
- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

Eメール／ショートメッセージ詳細画面の見かた

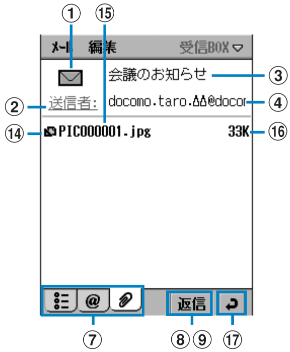
受信、送信済みEメール／ショートメッセージ詳細画面



テキスト画面



宛先画面（Eメールのみ）



添付ファイル画面
（Eメールのみ）

① **種類**

: Eメール
: 通常ショートメッセージ（SMS）
: SMS送達通知（ステータスレポート）のショートメッセージ（SMS）
: SMS送達通知要求を設定して配信済みのショートメッセージ（SMS）
: FOMAカード内ショートメッセージ（SMS）

② **「送信者:」／「宛先:」／「Cc:」／「Bcc:」**
タップすると、表示されている電話番号やEメールアドレスを電話帳に保存できます。→P278

③ **題名（Eメール）／受信、送信した日時（ショートメッセージ（SMS））**

④ **送信者／宛先のメールアドレス※（Eメールのみ）**

※：「送信者:」「宛先:」の欄には、受信したEメールに設定されている表示名が表示されます。電話帳に電話番号またはEメールアドレスが登録されていても、登録されている名前は表示されません。

⑤ **送信者／宛先の電話番号※（ショートメッセージ（SMS）のみ）**

※：電話帳に登録されている場合は、「名前<電話番号>」が表示されます（電話帳登録後に送受信したもののみ）。

⑥ **本文**

⑦ **「」／「@」（Eメールのみ）／「」※（Eメールのみ）タブ**

※：添付ファイルがない場合は、表示されません。

タップして画面を切り替えることができます。

⑧ **返信する**
タップすると返信できます。→P276

⑨ **ダウンロード方法を「行」に設定して受信した E メールで、受信していない本文あり（接続方法「POP3」のEメールのみ）**
ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ：タップすると、本文をすべて受信できます。

⑩ **宛先以外（Cc／Bcc）のEメールアドレス→P265**

※：「Cc:」の欄には、受信したEメールに設定されている表示名が表示されます。電話帳に電話番号またはEメールアドレスが登録されていても、登録されている名前は表示されません。

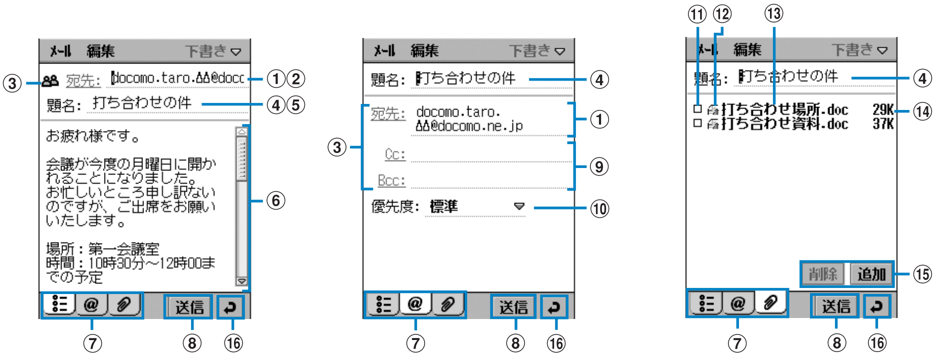
メール

⑪ **送信された／送信した時間と日付**
当日送信された／送信したEメールやショートメッセージ（SMS）では時刻が表示され、前日までのものは、日付で表示されます。
⑫ **メールサイズ**（「⑪送信された／送信した時間と日付」の下に表示されています。）
⑬ **メール優先度**（「⑫メールサイズ」の下に表示されています。）→P267
⑭ **添付ファイル形式**

：vCard	：画像
：vCalendar	：ドキュメント
：メモ帳	：Web
：音声	：インストールが必要なアプリケーション
：動画	：ファイル形式不明

⑮ **添付ファイル名**
⑯ **添付ファイルサイズ**
⑰ **戻る**
タップすると、受信、送信済みEメール／ショートメッセージ一覧画面に戻ります。

送信、下書きEメール／ショートメッセージ詳細画面



テキスト画面　　宛先画面　　添付ファイル画面（Eメールのみ）

① **Eメールアドレス（Eメール）／宛先の電話番号※（ショートメッセージ（SMS））**
※：電話帳に登録されている場合は、「名前<電話番号>」が表示されます（電話帳登録後に保存したもののみ）。

② **サイズ（文字数）（ショートメッセージ（SMS）のみ）**
③「宛先:」／「Cc:」※／「Bcc:」※
※：Eメールのみ表示されます。

タップすると電話帳から選択できます。→P264
④ **題名（Eメールのみ）**
⑤ **SMS送達通知要求□：（ショートメッセージ（SMS）のみ）**→P301
☑にして送信すると、相手が受信したかどうかの通知（ステータスレポート）を受信できます。
⑥ **本文**
⑦ **「」／「@」（（ショートメッセージ（SMS）））／「」（Eメールのみ）タブ**
タップして画面を切り替えることができます。
⑧ **送信する**
タップすると、送信できます。

次のページへ続く

⑨ **宛先以外（Cc／Bcc）のEメールアドレス（Eメールのみ）→P265**
⑩ **メール優先度（Eメールのみ）→P267**
⑪ **削除するときに使用するチェックボックス**

- ☑：選択
- □：未選択

⑫ **添付ファイル形式**

- ：vCard
- ：vCalendar
- ：メモ帳
- ：音声
- ：動画
- ：画像
- ：ドキュメント
- ：Web
- ：インストールが必要なアプリケーション
- ：ファイル形式不明

⑬ **添付ファイル名**
⑭ **添付ファイルサイズ**
⑮ **添付ファイル削除／追加**
添付ファイルを削除／追加できます。→P267
⑯ **戻る**
タップすると送信、下書きEメール／ショートメッセージ一覧画面に戻ります。

■受信、送信済みEメール／ショートメッセージ詳細画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「メール」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「メール」

- 新規作成．．．．．．．．．．．．P262、P301
- 返信．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．P276
- 全員へ返信※1．．．．．．．．．．．．．．P276
- 転送．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．P277
- 添付ファイル送信※1．．．．．．．．．P285
- 検索．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．P280
- 次を検索．．．．．．．．．．．．．．．．．．P280
- 送信者に発信※2．．．．．．．．．．．．．P278
- FOMAカードにメールを移動※2／FOMAカードからメールを移動※2．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．P305
- メールの削除．．．．．．．．．．．．．．．P300

「編集」

- コピー．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．P280
- すべて選択．．．．．．．．．．．．．．．．．P280
- ユーザ設定※1．．．．．．．．．．．．．．．P300
- メールをすべてダウンロード※3．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．．P275

※1：Eメールのみ表示
※2：ショートメッセージ（SMS）のみ表示
※3：ダウンロード方法を「行」に設定して受信したEメールで、受信していない本文がある場合に表示（接続方法「POP3」のEメールのみ）

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

■送信、下書きEメール／ショートメッセージ詳細画面でメニューバーから行える項目について

Eメール／ショートメッセージ（SMS）の新規作成画面と同じ項目が表示されます。
→P263、P302

お知らせ

- 一覧画面では、でメールを選択してを押してもメールを表示することができます。

- 詳細画面では、表示しきれない文字があるメールをでスクロールして表示したり、でタブを切り替えることもできます。また、左右のスクロールバーが表示されるHTMLメールなどを表示中にを押した場合には、左右にスクロールしてメールを表示できます。
- 受信したショートメッセージ（SMS）に表示できない文字（→P244）が含まれている場合は、スペースで表示されます。
- FOMA端末では、movaサービスのｉモード端末から送られてくるショートメールをショートメッセージ（SMS）として受信します。相手の電話番号が通知されない場合は、送信元に通知されない理由が表示されます。

Phone To／Mail To／Web To機能を使う

Eメールなどで下線のついた情報（電話番号、メールアドレス、URL）をタップすることで、電話をかけたり（Phone To）、Eメールを送信したり（Mail To）、インターネットホームページを表示したり（Web To）することができます。詳しくは、ブラウザから操作する場合の操作方法を参照してください。→P232

お知らせ

- HTML形式のEメールでは、電話番号などが反転表示されず、Phone Toが利用できません。
- 下線のついた情報からPhone To／Mail To／Web To以外に次の操作ができます。
「SMS送信」→P301、「電話帳登録」→P104、「ブックマークに追加」→P222

フォルダの編集

メールBOXを作成／編集／削除する

メールBOXの作成／編集／削除ができます。Eメールの整理などに利用できます。
ただし、他のアプリケーションなどによる本体／TransFlashメモリカードのメモリ使用状況により、フォルダを作成できない場合があります。
- ショートメッセージ（SMS）ではメールBOXを作成できません。

1 Eメール一覧画面でメニューバーの「受信BOX」▶「フォルダの編集」を順にタップする



■フォルダの名前を変更するとき

名前を変更するフォルダ▶［名前の変更］を順にタップする

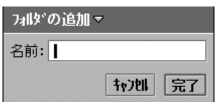
以降、操作3に進みます。

■フォルダを削除するとき

削除するフォルダ▶［削除］を順にタップする

- Eメールが保存されているフォルダは削除できません。Eメールをすべて削除してから操作してください。→P298

2 ［追加］をタップする



- 全角／半角を問わず、20文字まで入力できます。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 名前を入力▶［完了］をタップする

コピー／移動

Eメールを他のメールBOXにコピー／移動する

「受信BOX」「送信済みBOX」内のEメールを、お客様が作成したフォルダにコピー／移動したり、作成したフォルダ間でEメールのコピー／移動ができます。

- コピー／移動先に指定できるのは、お客様が作成したフォルダのみになります。

接続方法が「POP3」のメールアカウントのEメールをコピー／移動する

1　Eメール一覧画面でコピー／移動するEメールの□をタップする

□が☑に変わります。

■すべてのEメールをコピー／移動するとき

Eメール一覧画面でメニューバーの「編集」➡「すべて選択」を順にタップする

2　メニューバーの「メール」➡「コピー」／「移動」を順にタップする



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3　「フォルダ」欄をタップし、コピー／移動先のフォルダを選択➡［完了］をタップする

お知らせ

- コピーしたEメールは、一覧画面でEメールアドレス（相手のメールソフトによって「名前<Eメールアドレス>」）が斜字体で表示されています。

接続方法が「IMAP」のメールアカウントのEメールをコピー／移動する

受信BOXからお客様が作成したフォルダにEメールを移動すると、次にメールサーバに接続したときに、メールサーバ内に残っている同一内容のEメールを自動的に削除します。他の端末やパソコンなどから同じメールアカウントを使って、同じ内容のEメールを受信できなくなりますのでご注意ください。

- 制限あり受信Eメールのコピー／移動はできません。

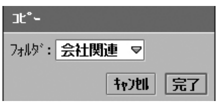
1　Eメール一覧画面でコピー／移動するメールの□をタップする

□が☑に変わります。

■すべてのEメールをコピー／移動するとき

Eメール一覧画面でメニューバーの「編集」➡「すべて選択」を順にタップする

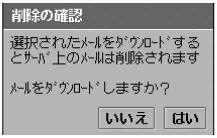
2　メニューバーの「メール」➡「コピー」／「移動」を順にタップする



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

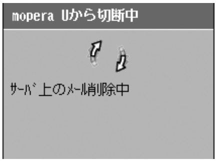
3 「フォルダ」欄をタップし、コピー／移動先のフォルダを選択▶[完了]をタップする

■受信BOXからお客様が作成したフォルダにEメールを移動したとき



- ［はい］をタップすると、選択したフォルダにEメールが移動します。次にメールサーバに接続したときに、メールサーバ内にある同一内容のEメールを削除します。
- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

■受信BOXからお客様が作成したフォルダにEメールを移動してからメールサーバに接続すると



メールサーバ接続中に左の画面が表示され、メールサーバから同一内容のEメールが削除されます。

お知らせ

- コピーしたEメールは、一覧画面でEメールアドレス（相手のメールソフトによって「名前<Eメールアドレス>」）が斜字体で表示されています。

■送信Eメール／ショートメッセージ（SMS）を下書きに移動するとき

① 送信Eメール／ショートメッセージ一覧画面で移動するEメール／ショートメッセージ（SMS）の□をタップする

□が☑に変わります。

- メニューバーの「編集」▶「すべて選択」を順にタップすると、すべてのEメール／ショートメッセージ（SMS）を選択できます。

② メニューバーの「メール」▶「下書きへ移動」を順にタップする

メールフィルタ
受信メールを自動的に振り分ける

接続方法が「POP3」のメールアカウントを使用しているときに利用できる機能です。

受信Eメールを自動的にお客様が作成したフォルダに振り分けるためのルールを設定します。
- 振り分け先に指定できるのは、お客様が作成したフォルダのみになります。

1 Eメール一覧画面で「編集」➧「メールフィルタ」を順にタップする

高 ⬆ 優先度 ⬇ 低



メールフィルター覧画面

- ⇩／⇧をタップすると、優先度を変更できます。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

■振り分けルールを編集するとき

編集するルール➧［編集］を順にタップする

必要に応じて操作3以降を行います。

■振り分けルールを削除するとき

削除するルール➧［削除］を順にタップし、削除の確認画面で［はい］をタップする

2 ［新規］をタップする



フィルタ名：フィルタ名を設定します。
- 全角／半角を問わず、128文字まで入力できます。

移動先フォルダ：Eメールを移動させるフォルダを設定します。

フィールド
- 送信者：「送信者」でEメールを振り分ける場合に設定します。「キーワード」に振り分け条件の入力が必要になります。
- 題名：「題名」でEメールを振り分ける場合に設定します。「キーワード」に振り分け条件の入力が必要になります。

キーワード：振り分け条件の文字を入力します。
- 全角／半角を問わず、256文字まで入力できます。
- 「👥」をタップすると、電話帳から選択できます。

フィルタオプション
- なし：1つの条件で振り分ける場合に選択します。2つめの条件は入力できません。
- OR：2つの条件のどちらかに当てはまるEメールを、振り分けする場合に選択します。2つめの条件の入力が必要になります。
- AND：2つの条件に当てはまるEメールを、振り分けする場合に選択します。2つめの条件の入力が必要になります。

3 各項目を設定する

- 「フィルタ名」「キーワード」
  ：項目欄をタップし、文字を入力します。
- 「移動先フォルダ」「フィールド」「フィルタオプション」
  ：項目欄をタップし、項目を選択します。

4 [完了]をタップし、メールフィルタ画面で[完了]をタップする

- 新規で作成したルールは、メールフィルター覧画面の条件欄の一番下に追加されます。

日付順／送信者順

メール一覧画面の並び順を変更する

お買い上げ時 | 日付順

Eメール／ショートメッセージ一覧画面で表示されるメールの順番を変更します。

1 Eメール／ショートメッセージ一覧画面でメニューバーの「編集」▶「日付順」／「送信者順」を順にタップする

日付順　：日付／時刻の新しい順に並べ替えます。
送信者順：宛先または送信者の名前やアドレス順に並べ替えます。

お知らせ

- 「送信者順」にした場合、次のような順番になります。
  漢字（JISコード順）→ひらがな→カタカナ※1→半角カタカナ→全角アルファベット※2→半角アルファベット※2→全角数字→半角数字→記号（JISコード順）
  ※1：ひらがなとカタカナが混在している場合は、あいうえお順が優先されます（例：あアいイ･･･）。
  ※2：大文字と小文字が混在している場合は、小文字が優先され、かつabc順が優先されます（例：aAbB）。

題名表示

メール一覧画面の表示方法を変更する

お買い上げ時 | ✔題名表示

Eメール／ショートメッセージ一覧画面の表示方法を題名表示に切り替えることができます。

1 Eメール／ショートメッセージ一覧画面でメニューバーの「編集」▶「題名表示」を順にタップする

メール一覧画面が、リスト表示から題名表示に切り替わります。

- 表示方法を元に戻すには、再度メニューバーの「編集」▶「✔題名表示」を順にタップします。

メールを削除する

受信BOX、送信BOX、下書き、送信済みBOX、お客様が作成したメールBOX（Eメールのみ）内のEメール／ショートメッセージ（SMS）を削除できます。
Eメール／ショートメッセージ一覧画面で選択して削除したり、作成中または表示中のEメール／ショートメッセージ（SMS）を削除することもできます。

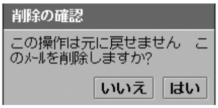
接続方法が「POP3」のメールアカウントのEメールを削除する

メールアカウント設定の「サーバから削除」（→P259）をチェックして次の操作でEメールを削除すると、次回メールサーバに接続したときにメールサーバ内の同一内容のEメール（FOMA端末から削除したメール）を自動的に削除します。他の端末やパソコンなどから同じメールアカウントを使って、同じ内容のEメールを受信できなくなりますのでご注意ください。

1 Eメール一覧画面で削除するEメールの□をタッチする

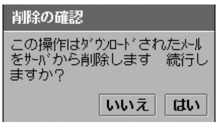
□が☑に変わります。
- メニューバーの「編集」▶「すべて選択」を順にタップすると、すべてのEメールを選択できます。

2 メニューバーの「メール」▶「メールの削除」を順にタップする



- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

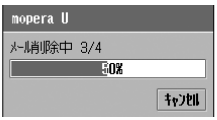
■メールサーバから削除する設定（→P259）にしてEメールを削除したとき



- ［はい］をタップすると、FOMA端末からEメールが削除されます。次にメールサーバに接続したときに、メールサーバ内にある同一内容のEメールを削除します。
- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

3 ［はい］をタップする

■メールサーバから削除する設定（→P259）にしてEメールを削除してからメールサーバに接続すると



メールサーバ接続中に左の画面が表示され、メールサーバから同一内容のEメールが削除されます。

接続方法が「IMAP」のメールアカウントのEメールを削除する

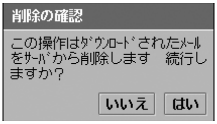
次の操作で受信BOX内のEメールを削除すると、次回メールサーバに接続したときにメールサーバ内に残っている同一内容のEメール（FOMA端末から削除したメール）を自動的に削除します。他の端末やパソコンなどから同じメールアカウントを使って、同じ内容のEメールを受信できなくなりますのでご注意ください。

1 Eメール一覧画面で削除するEメールの□をタップする

□が☑に変わります。

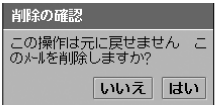
- メニューバーの「編集」▶「すべて選択」を順にタップすると、すべてのEメールを選択できます。

2 メニューバーの「メール」▶「メールの削除」を順にタップする



- ［はい］をタップすると、FOMA端末からEメールが削除されます。次にメールサーバに接続したときに、メールサーバ内にある同一内容のEメールを削除します。
- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

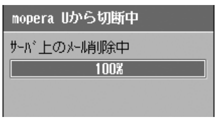
■お客様が作成したフォルダにコピー／移動したEメールを削除する操作をしたとき



- コピーしたEメールや、移動して同一内容のEメールがメールサーバから削除されているEメールでは、左の画面が表示されます。
- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

3 ［はい］をタップする

■受信BOX内のEメールを削除してからメールサーバに接続すると



メールサーバ接続中に左の画面が表示され、メールサーバから同一内容のEメールが削除されます。

ショートメッセージ（SMS）を削除する

1 ショートメッセージ一覧画面で削除するショートメッセージ（SMS）の□をタップする

□が☑に変わります。

- メニューバーの「編集」▶「すべて選択」を順にタップすると、すべてのショートメッセージ（SMS）を選択できます。

■SMS送達通知（ステータスレポート）をすべて削除する

受信ショートメッセージ一覧画面でメニューバーの「メール」▶「レポートの削除」を順にタップし、削除の確認画面で［はい］をタップする

- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

次のページへ続く●●●

2 メニューバーの「メール」➡「メールの削除」を順にタップし、削除の確認画面で[はい]をタップする

- ［いいえ］をタップすると、削除を中止します。

■作成中または表示中のEメール／ショートメッセージ（SMS）を削除するとき

Eメール／ショートメッセージ詳細画面、Eメール／ショートメッセージ作成画面でメニューバーの「メール」➡「メールの削除」を順にタップし、削除の確認画面で［はい］をタップする

- ［いいえ］をタップすると、削除を中止します。

ユーザ設定

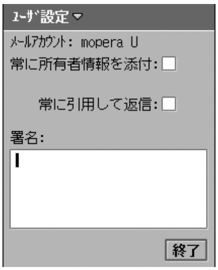
Eメール機能を設定する

所有者情報を自動添付／引用返信／署名を設定する

所有者情報（→P120）を自動で添付するかどうか、Eメールを返信したときに本文を引用するかどうか、およびメール本文の最後に挿入される署名の内容について設定できます。この設定は、設定したメールアカウントのみ有効です。

- ショートメッセージ（SMS）では設定できません。

1 Eメール一覧画面でメニューバーの「編集」➡「ユーザ設定」を順にタップする



常に所有者情報を添付
：常に所有者情報をEメールに添付するかしないかを設定します。
☑が常に添付、□が常に添付しない状態です。
- 所有者情報（→P120）を設定していない場合は、設定できません。

常に引用して返信
：常に本文を引用してEメールを返信するかしないかを設定します。
☑が常に引用、□が常に引用しない状態です。

署名：Eメールを新規作成／返信／転送したときに、ここに入力した内容が、Eメールの本文に自動的に挿入（引用返信／転送では本文の先頭に挿入）されます。
- 全角／半角を問わず、1024文字まで入力できます。

2 各項目を設定する

- 「常に所有者情報を添付」「常に引用して返信」
：□／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。
- 「署名」
：項目欄をタップし、文字を入力します。

3 ［終了］をタップする

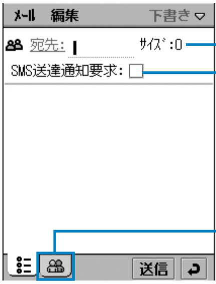
新規作成

ショートメッセージ（SMS）を作成して送信する

新しくショートメッセージ(SMS)を作成して送信します。国内ではショートメッセージ(SMS)は、相手がFOMA端末の場合のみ送信することができます。
ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも、送受信が可能です。ご利用可能な国・海外通信事業者についてはドコモのホームページをご覧ください。

- 海外の通信事業者を利用している相手にショートメッセージ（SMS）を送信したときに、本文中に相手側が対応していない文字が含まれている場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。

1 アプリケーション選択バーの（メール）▶「SMS」を順にタップし、ショートメッセージ一覧画面で[新規作成]をタップする



ショートメッセージ作成画面

- ショートメッセージ（SMS）のサイズ（文字数）を表示します。
- 相手が受信したかどうかの通知（ステータスレポート）を受信する場合に設定します。
  ☑が受信する、□が受信しない状態です。
- 宛先の全体を確認できます。

2 「宛先」欄をタップし、宛先を入力する



相手のFOMA端末の電話番号を入力します。

- 半角で1000文字まで入力できますが、宛先として設定できるのは、半角で20文字（数字のみ、「+」を除く）までになります。
- 電話帳から宛先を呼び出す→P264

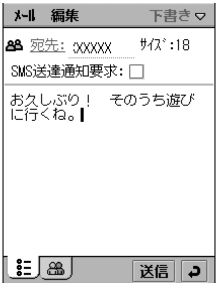
■宛先がドコモ以外の海外通信事業者のとき

［+］をタップ▶「国番号」を入力▶「相手の携帯電話番号」を入力する

- 相手の携帯番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。
- 「010」▶「国番号」▶「相手の携帯番号」の順に入力しても送信できます。受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください。

次のページへ続く

3 本文欄をタップし、本文を入力する



- 全角で70文字、半角で160文字まで入力できます。
- 電話帳の内容を追加する→P266

4 [送信]をタップする

ショートメッセージ（SMS）が送信されます。

■ショートメッセージ作成画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「メール」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「メール」

新規作成 .P301
検索 P280
次を検索 .P280
メールの削除 P299

「編集」

切り取り .P280
コピー P280
貼り付け .P281
すべて選択 P280
電話帳選択 P266

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

お知らせ

- ショートメッセージ（SMS）編集中に、お客様による切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまで編集していた内容が「下書き」に保存されて編集が終了します。
- 文字の入力方法→P516
- 使えない文字の種類→P244

作成中のショートメッセージ(SMS)を保存しておき、あとで送信する

ショートメッセージ（SMS）を保存する

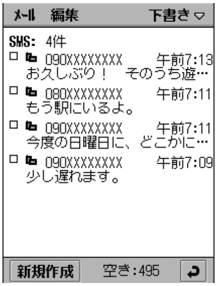
作成中や編集中のショートメッセージ（SMS）を「下書き」に保存できます。

1 ショートメッセージ作成画面でショートメッセージ(SMS)を作成 ▶ [↩] をタップする

保存したショートメッセージ（SMS）を編集・送信する

送信せずに保存してあるショートメッセージ（SMS）を編集して送信することができます。

1 ショートメッセージ一覧画面でメニューバーの「受信BOX」▶「送信BOX」／「下書き」を順にタップする



下書きショートメッセージ一覧画面

2 編集するショートメッセージ(SMS)をタップする

P301 の操作2以降を行ってショートメッセージ（SMS）を作成します。

ショートメッセージ（SMS）を自動的に受信する

FOMA端末が圏内にあるときは、ショートメッセージセンターから自動的にショートメッセージ（SMS）が送られてきます。

1 ショートメッセージ(SMS)が届くと自動的に受信する



ホーム画面

着信音が鳴ります。
ホーム画面では、新着ショートメッセージ（SMS）の件数とステータスバーにが表示されます。
ホーム画面以外では、ステータスバーにが表示されます。

■新着ショートメッセージ（SMS）をすぐに確認するとき

「X通の未読SMS」／をタップする

受信ショートメッセージ一覧画面が表示されます。
→P287

メール

次のページへ続く

お知らせ

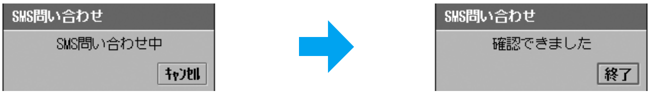
- ショートメッセージ（SMS）の受信状態によっては、ステータスバーに以外のマークが表示されます。→P40
- movaサービスのｉモードから送信されたショートメールは、FOMA端末ではショートメッセージ（SMS）として受信します。
- FOMA 端末本体／ FOMA カード内のショートメッセージ（SMS）保存領域がいっぱいのときは、新規ショートメッセージ（SMS）が受信できません。
- メール着信音設定→P129

SMS問い合わせ

ショートメッセージ（SMS）があるかどうかを問い合わせる

ショートメッセージセンターに届いたショートメッセージ（SMS）は、自動的にFOMA端末に送信されますが、電源が入っていないときや、圏外のときなどで受信できないときはショートメッセージセンターに保管されます。問い合わせを行うことにより、保管されているショートメッセージ（SMS）を受信することができます。

1 ショートメッセージ一覧画面でメニューバーの「メール」▶「SMS問い合わせ」を順にタップする



ショートメッセージセンターにショートメッセージ（SMS）が保管されていれば、自動的に受信されます。

- ［キャンセル］をタップすると、問い合わせを中止します。ただしタイミングにより受信されることがあります。

2 ［終了］をタップする

お知らせ

- 問い合わせを行っても、すぐにショートメッセージ（SMS）が届かない場合があります。
- 電波状況によって、問い合わせができない場合があります。

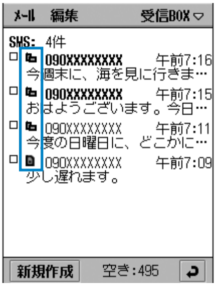
FOMAカードにメールを移動／FOMAカードからメールを移動

ショートメッセージ（SMS）をFOMAカードに保存する

FOMA端末に保存している受信したショートメッセージ（SMS）を、FOMAカードに移動して保存できます。また、FOMAカードに保存されているショートメッセージ（SMS）を本体に移動できます。
FOMAカードには受信ショートメッセージ（SMS）を20件まで保存できます。

- 受信ショートメッセージ（SMS）のみ移動できます。ただし、SMS 送達通知（ステータスレポート）は移動できません。

1 受信ショートメッセージ詳細画面でメニューバーの「メール」▶「FOMAカードにメールを移動」／「FOMAカードからメールを移動」を順にタップする



はFOMA端末内のショートメッセージ（SMS）を表わします。

はFOMAカード内のショートメッセージ（SMS）を表わします。

メールアカウント

ショートメッセージ（SMS）の設定を行う

お買い上げ時	SMS送達通知要求：□　SMS保存先：本体　プロファイル：ドコモ1

通常は「プロファイル」、「プロファイルの編集」の「プロファイル名」「SMSサービスセンター番号」の設定を変更する必要はありません。

ショートメッセージ（SMS）を利用する際の各種条件を設定します。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「接続」タブ▶「メールアカウント」を順にタップする

次のページへ続く

2 メールアカウント画面で「SMS」タブをタップする



SMS送達通知要求
：送信した相手に、ショートメッセージ（SMS）が届いたかどうかの通知の受信を要求する場合にチェックします。
☑が要求する、□が要求しない状態です。

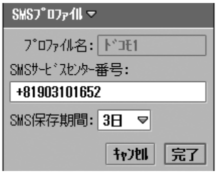
SMS保存先：新しく受信したショートメッセージ（SMS）の保存先（本体／FOMAカード）を選択します。

プロファイル：プロファイルを選択します。

- ［キャンセル］をタップすると、設定を中止します。

■プロファイルを編集するとき

［プロファイルの編集］をタップし、SMSプロファイル画面で設定する項目欄をタップし、選択▶［完了］をタップする



プロファイル名
：プロファイルの名前を設定します。

SMSサービスセンター番号
：接続先SMSサービスセンターの番号を設定します（「プロファイル名」が「ドコモ1」のときは「+81903101652」が設定されています）。
- 半角で21文字まで入力できますが、先頭に「+」を入力しない場合は半角20文字までで設定します。
- 「+」は先頭に入力した場合のみ有効になります。

SMS保存期間
：送信したショートメッセージ（SMS）を相手が受け取れないときに、ショートメッセージセンターで保管する期間（0～3日）を設定します。
- お買い上げ時は「3日」に設定されています。

3 各項目を設定する

- 「SMS送達通知要求」
：□／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。
- 「SMS保存先」「プロファイル」
：項目欄をタップし、項目を選択します。

4 ［完了］をタップする

お知らせ

- SMS送達通知はショートメッセージ（SMS）で届きます。
- SMS送達通知要求は、個別に設定することもできます。→P301

データ表示／編集／管理

ピクチャー

保存した画像を表示する

撮影した静止画（→P189）、ホームページから保存した画像（→P227）、EメールやBluetooth通信で受信した画像（→P281、P512）、TransFlash メモリカード内に保存した画像（→P341）などを表示できます。
ただし、対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。

- 表示できるファイルの種類は次のとおりです。
  Jpeg（.jpg、.jpe、.jfif、.jpeg、.pipeg、.pip）　Gif（アニメーションGIF含む）　Bitmap（.bmp）
  w-Bitmap（.wbmp）　Png（.png）

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（ピクチャー）を順にタップする



画像一覧画面
（サムネール表示）

：タップすると、カメラが静止画撮影モードで起動します。

■**サムネール表示の画像を再読み込みするとき**
画像を編集した直後に画像一覧画面でサムネール表示をすると、編集した画像がで表示されることがあります。その場合はこの操作で画像を表示することができます。
画像一覧画面（サムネール表示）でメニューバーの「ピクチャー」▶「再読み込み」を順にタップする

2 表示する画像をタップする



画像表示画面

FOMA端末の画面に合わせて表示されます。
：タップすると、前後の画像を表示できます。
- をタップすると、操作１の画面に戻ります。

■画像一覧画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「ピクチャー」「設定」をタップすると、次の項目が表示されます。

「ピクチャー」

スライドショーを見る	P310
画像情報	P310
再読み込み	P308

「設定」

スライドショー間隔	P311
リスト／サムネール	P309
名前順	P347
日付順	P347
サイズ順	P347

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

■画像表示画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「ピクチャー」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「ピクチャー」

送信	P348
削除	P346
名前の変更	P342
全画面表示	P311
原寸大	P311
画像情報	P310

「編集」

タイトル表示／タイトル非表示	P311
回転	P312
フレームの追加	P312
手書き	P313
スタンプの追加	P313

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

お知らせ

- 画面一覧画面で、で画像を選択してを押しても画像を表示することができます。
- 画像一覧画面のサムネール表示は、画像ファイルによって表示するまでに時間がかかる場合があります。
- FOMA 端末本体のメモリ容量が少ないときは、（ピクチャー）をタップしても、一覧表示するまでに時間がかかる場合があります。
- 表示できないファイルは、画像一覧画面に表示されません。
- 画像一覧画面で、壊れているファイル（）などをタップすると、表示できない旨のメッセージが表示され、表示できません。
- 画像一覧画面などで、ファイル名の文字数が表示可能数より長い場合は、ファイル名の末尾に「. . .」／「･･･」が表示されます。また、ファイル名として表示できない文字は「□」で表示されます。

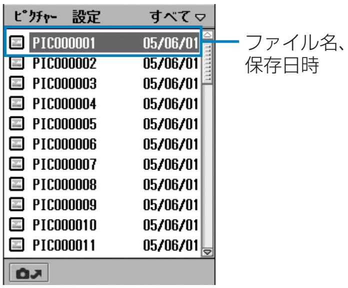
リスト／サムネール

画像一覧画面の表示方法を変更する

お買い上げ時	サムネール



サムネール表示



リスト表示

次のページへ続く

1 画像一覧画面でメニューバーの「設定」▶「リスト」を順にタップする

- サムネール表示に戻す場合は、メニューバーの「設定」▶「サムネール」を順にタップします。

画像情報

画像の情報を表示する

表示している画像の情報を表示します。

1 画像一覧画面で で情報を表示する画像を選択し、メニューバーの「ピクチャー」▶「画像情報」を順にタップする

ファイル名：ファイル名が表示されます。
種類：ファイルの種類が表示されます。
サイズ：ファイルサイズが表示されます。
画像サイズ：表示サイズがドット数で表示されます。
日付：保存した日付が表示されます。
時刻：保存した時刻が表示されます。

お知らせ

- 画像表示画面からも同様に操作できます。

スライドショーを見る

スライドショーを見る

フォルダ内にある画像を順に表示していきます。

1 画像一覧画面でメニューバーの「ピクチャー」▶「スライドショーを見る」を順にタップする

スライドショーが開始されます。

- スライドショーを「自動」で再生している場合は、「スライドショー間隔」で設定した間隔で自動的に画面が切り替わります。
- スライドショーを「手動」で再生している場合は、 を押して画面を切り替えます。
- スライドショー再生中に画面内の任意の場所をタップ／ を押すと、画像一覧画面に戻ります。

お知らせ

- アニメーションGIFなどは、最初の画面が静止画で表示されます。
- 表示できない画像は、飛ばして再生されます。

スライドショーの再生方法と、間隔を設定する

お買い上げ時　自動：◉　間隔：3秒

スライドショーの再生方法（自動／手動）と、自動で再生する場合の再生間隔を設定します。

1 画像一覧画面でメニューバーの「設定」▶「スライドショー間隔」を順にタップする



時間間隔欄

自動：自動で画面を切り替えて再生する場合にタップします。
- 自動でスライドショーを再生する場合、時間間隔を選択します。

手動：手動で画面を切り替えて再生する場合にタップします。

2 「○自動」／「○手動」をタップ▶「自動」の場合は時間間隔欄をタップして間隔を選択▶[完了]をタップする

全画面表示／原寸大

画像の表示サイズを変更する

画像表示中の表示サイズを変更します。

- 表示サイズが1280×1280（ドット）を超える画像は「原寸大」で表示できません。
- 編集（回転を除く）した画像は、表示サイズを変更できません。

1 画像表示画面でメニューバーの「ピクチャー」▶「全画面表示」／「原寸大」を順にタップする

全画面表示：画面の表示エリアに合わせて表示します。

原寸大：画像の原寸大サイズで表示します。
- 画面の表示エリアより大きいサイズの画像は、スタイラスペンで画像をドラッグすると見えない部分を確認できます。

- 元のサイズに戻す場合は、画面内の任意の場所をタップします。

お知らせ

- 画面内の任意の場所をタップしても、全画面表示することができます。

タイトル表示／非表示

画像のタイトルを表示する

画像表示画面でタイトル（ファイル名、保存日時）を表示／非表示にします。→P308

1 画像表示画面でメニューバーの「編集」▶「タイトル表示」を順にタップする

- タイトルを消す場合は、メニューバーの「編集」▶「タイトル非表示」を順にタップします。

画像を編集する

フレームやスタンプを重ねたり、表示している静止画を自由に編集することができます。
編集した画像は、編集元の画像と同じフォルダ内に保存※されます。

※：編集元の画像の種類がJPEGで、画像を「回転」させた場合は上書きされます。

- 画像が読み取り専用の場合は、回転やフレームの追加などの編集機能を利用できません。

回転

画像を回転させる

- 表示サイズが1280×1280（ドット）を超える画像は回転できません。

1 画像表示画面でメニューバーの「編集」▶「回転」を順にタップする



画面が右に90度回転します。

フレームの追加

フレームを重ねる

1 画像表示画面でメニューバーの「編集」▶「フレームの追加」を順にタップする



フレームを10種類から選択できます。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 重ねるフレームをタップ▶［完了］をタップする

お知らせ

- 操作2で◎▶◎を押しても、フレームを選択できます。

手書き

手書きで画像を装飾する

スタイラスペンを使って画像を装飾できます。

1 画像表示画面でメニューバーの「編集」▶「手書き」を順にタップする



手書きの色を10色から選択できます。

- ［元に戻す］をタップすると、1つ前に行った装飾を元に戻すことができます。ただし、戻す前の装飾された状態に戻すことはできません。
- ［キャンセル］をタップすると、保存を中止します。

2 手書きの色をタップし、スタイラスペンを使って装飾▶［完了］をタップする

スタンプの追加

マーカースタンプを貼り付ける

1 画像表示画面でメニューバーの「編集」▶「スタンプの追加」を順にタップする



スタンプを10種類から選択できます。

- ［元に戻す］をタップすると、1つ前に貼り付けたスタンプを元に戻すことができます。ただし、戻す前のスタンプが貼り付けられた状態に戻すことはできません。
- ［キャンセル］をタップすると、保存を中止します。

2 貼り付けるスタンプをタップし、貼り付ける位置でタップ▶［完了］をタップする

次のページへ続く ●●•

■編集後の画像ファイルについて

編集後に保存される画像ファイルは、編集元の画像ファイルの種類や、編集方法によって次のようになります。

編集元の画像ファイルの種類	編集方法	編集後の画像ファイル
JPEG	回転	元の画像ファイルに上書き保存されます。
	回転以外	別の画像ファイルとして保存されます。 ・ファイル名は、「編集元の画像のファイル名」の後に「EDTX」（Xは1～100の数字）が挿入されます。
JPEG以外	回転	別の画像ファイル（JPEGファイル）として保存されます。 ・ファイル名は、「編集元の画像ファイル名」になります。ただし、既に同じファイル名がある場合は、ファイル名の後に「ROTX」（Xは1～100の数字）が挿入されます。
	回転以外	別の画像ファイル（JEPGファイル）として保存されます。 ・ファイル名は、「編集元の画像ファイル名」の後に「EDTX」（Xは1～100の数字）が挿入されます。

お知らせ

- 表示サイズが204×155（ドット）より大きい画像は、編集（画像を「回転」する場合を除く）して保存すると204×155（ドット）以内に縮小して保存されます。
- 画像編集を繰り返し行う場合、保存してから再び編集を行うと、画質が劣化することがあります。
- 画像編集することによって、ファイルサイズが増加する場合があります。

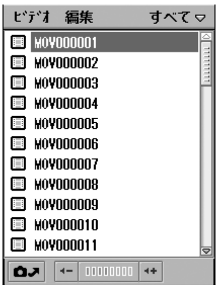
ビデオ

保存した動画を再生する

撮影した動画(→P190)、ダウンロードした動画（→P229)、EメールやBluetooth通信で受信した動画（→P281、P512)、TransFlashメモリカード内に保存した動画（→P341）などを表示できます。
ただし、対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

- 再生できる動画の仕様→P315

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（ビデオ）を順にタップする



動画一覧画面

：タップすると、カメラが動画撮影モードで起動します。

：をタップすると、音量を8段階で調節できます。

2 再生する動画をタップする



動画再生画面

- ↩ をタップすると、操作１の画面に戻ります。

タップ操作	操作内容
▶ ／ ❚❚	再生／一時停止できます。
■	停止できます。
━━━	タップした付近から再生されます。ただし、総再生時間が約１２秒以下の場合は再生位置を指定できません。

■動画一覧画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「ビデオ」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「ビデオ」

検索. P316

「編集」

タイトル順. P347
日付順 P347
サイズ順 P347
種類順 P347
ユーザ設定. P317

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

■動画再生画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「ビデオ」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「ビデオ」

名前の変更 P342
クリップ情報. P318
送信. P348
リピート P316
削除. P346

「編集」

コピー P343
全画面表示. P317

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

■動画の仕様について

ファイル形式	3GPP、MP4、WMV（ver.8）、ASF	
符号化方式	映像	MPEG4／H.263／WMV
	音声	AMR／AAC／WMAv8
表示サイズ	176×144（ドット）以下	
拡張子	.3gp、.mp4、.wmv、.asf	

次のページへ続く●●●

お知らせ

- 動画一覧画面で、で動画を選択してを押しても動画を再生することができます。また、動画一覧画面でを1秒以上押して離すとリストの始めに、を1秒以上押して離すとリストの終わりにジャンプできます。
- マナーモード中でも音声は再生されます。
- 動画の再生音量を変更すると、音楽や各アプリケーションの再生音量も、それに連動して変更されます。
- 動画一覧画面などで、ファイル名の文字数が表示可能数より長い場合は、ファイル名の末尾に「･･･」が表示されます。また、ファイル名として表示できない文字は「□」で表示されます。
- 動画再生中に▶／II（再生／一時停止ボタン）を短時間に何度も押すと、再生が停止される場合があります。その場合には動画一覧画面に戻り、再生したい動画をもう一度選択してください。
- 動画再生中は、Eメールなどを受信したときの着信音や、スケジュールやToDoなどで設定したアラーム時間になったときのアラーム音が、設定したものとは違う音で鳴ります。

リピート

動画をリピート再生する

1 **動画再生画面でメニューバーの「ビデオ」▶「リピート」を順にタップする**

- リピートを解除するには、再度メニューバーの「ビデオ」▶「 リピート」を順にタップします。

検索

動画を検索する

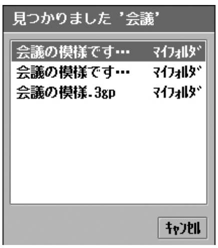
文字（ファイル名）を入力して保存してある動画の中から検索します。

1 **動画一覧画面でメニューバーの「ビデオ」▶「検索」を順にタップする**



- キーワードは全角／半角を問わず、100文字まで入力できます。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 **検索する文字（ファイル名）を入力▶［検索］をタップする**



「会議」で検索したとき

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 **再生する動画をタップする**

ユーザ設定
動画の品質を変更する

お買い上げ時 | 中

1 動画一覧画面でメニューバーの「編集」➡「ユーザ設定」を順にタップする



動画品質

高：品質が最も良いモードです。
中：標準の品質です。
低：品質が低く、画質が粗くなります。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 「動画品質」欄をタップし、動画品質を選択➡[完了]をタップする

全画面表示
動画の表示サイズを変更する

動画再生時の表示サイズを変更します。「全画面表示」中は、メニューバーが表示されません。
- 再生中のみ操作できます。

1 動画再生中にメニューバーの「編集」➡「全画面表示」を順にタップする



- 画面内の任意の場所をタップすると、元の表示サイズに戻ります。

お知らせ

- 画面内の任意の場所をタップしても、全画面表示することができます。

クリップ情報

動画の情報を表示する

1 **動画再生画面でメニューバーの「ビデオ」▶「クリップ情報」を順にタップする**

タイトル：タイトル名が表示されます。
作成者：ファイルの著作者情報が表示されます。
出演者：出演者などが表示されます。
著作権：ファイルの著作権情報が表示されます。
サイズ：ファイルサイズが表示されます。
作成日時：ファイルの作成日時が表示されます。
説明：ファイルの説明が表示されます。

■動画再生ソフトのご紹介

FOMA端末で撮影した動画をパソコンで再生するには、QuickTime ver.6.4（もしくはver.6.3+3GPP）以上が必要です。QuickTimeは、アップルコンピュータ（株）のホームページから無料でダウンロードできます。ダウンロード方法や操作方法など詳しくは、アップルコンピュータ（株）のホームページをご覧ください。

ミュージック

保存した音楽を再生する

ダウンロードした音楽などを再生できます。音楽一覧画面（プレイリスト表示）で音楽を再生すると、他のアプリケーションに切り替えても、引き続き音楽を聴くことができます。
ただし、対応しているファイル形式でも、ファイルによっては再生できない場合があります。

- 再生できる音楽ファイルの種類は次のとおりです。

MP3（.mp3）	MIDI（.smf）	AMR（.amr）
WMA（.wma）	XMF（.xmf）	WAV（.wav）
AU（.au）	3GA（.3ga）	MMA（.mma）

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（ミュージック）を順にタップする



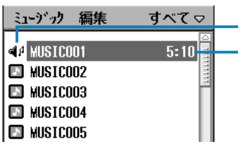
音楽一覧画面（プレイリスト表示）

：をタップすると、音量を8段階で調節できます。

：タップすると、表示方法を切り替えて表示できます。→P320

タップ操作	操作内容
▶ ／ ❚❚	再生／一時停止できます。
■	停止できます。
◀◀	1つ前の音楽を再生します。ポイントすると巻き戻します。
▶▶	1つ後の音楽を再生します。ポイントすると早送りします。
	タップした位置（総再生時間が短い場合は最初）から再生されます。

2 音楽一覧画面（プレイリスト表示）で再生する音楽をタップする



- 音楽一覧画面（プレイリスト表示）で再生中の音楽が終了すると、その下に表示されている音楽が続けて再生されます。再生する順番を変更できます。→P322

■音楽一覧画面（プレイリスト表示）のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「ミュージック」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「ミュージック」

検索 P322
リピート P321
シャッフル P321

「編集」

プレイリストの編集 P322
ユーザ設定 P323

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

次のページへ続く

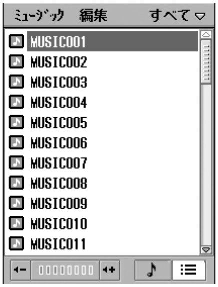
お知らせ

- 音楽一覧画面で、で音楽を選択してを押しても音楽を再生することができます。また、音楽一覧画面でを1秒以上押して離すと第1トラックに、を1秒以上押して離すと最終トラックにジャンプできます。
- マナーモード中でも音楽は再生されます。
- 音楽の再生音量を変更すると、動画や各アプリケーションの再生音量も、それに連動して変更されます。
- 著作権保護された音楽ファイルによっては再生できない場合があります。
- 音楽一覧画面（プレイリスト表示）で音楽再生中にカメラを起動すると、音楽が一時停止します。また、音楽再生中に他のアプリケーションを起動／実行すると、音が途切れたり停止する場合があります。
- 本FOMA端末に搭載されているミュージックプレーヤーのMP3再生機能は、MP3-ID3タグのバージョン1に対応しており、日本語はShift-JISコード、英語はASCIIコードに対応しております。その他の文字コードが使用されている場合、曲名やアーティスト名などが正しく表示されません。
- 音楽一覧画面などで、ファイル名の文字数が表示可能数より長い場合は、ファイル名の末尾に「･･･」が表示されます。また、ファイル名として表示できない文字は「□」で表示されます。
- 音楽再生中は、Eメールなどを受信したときの着信音や、スケジュールやToDoなどで設定したアラーム時間になったときのアラーム音が、設定したものとは違う音で鳴ります。

音楽一覧画面の表示方法を変更する



プレイリスト表示



リスト表示

1 音楽一覧画面で ♪ ／ ☰ をタップする

■音楽一覧画面（リスト表示）のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「ミュージック」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「ミュージック」

検索 P322
リピート P321

「編集」

名前順 P347
日付順 P347
サイズ順 P347
種類順 P347
ユーザ設定 P323

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

音楽の情報を表示する

音楽の情報を表示します。情報を表示すると、自動的に音楽が再生されます。

1　音楽一覧画面（リスト表示）で情報を表示する音楽をタップする



音楽詳細画面

再生位置表示バー

タイトル　：タイトルが表示されます。
アーティスト：アーティスト名が表示されます。
アルバム　：アルバム名が表示されます。
時間　：経過時間／総再生時間が表示されます。
サイズ　：ファイルサイズが表示されます。
ファイル名　：ファイル名が表示されます。
著作権　：著作権について表示されます。

- をタップすると、音楽一覧画面に戻ります。

タップ操作	操作内容
	再生／一時停止できます。
	停止できます。
	最初から再生します。ポイントすると巻き戻します。
	最初から再生します。ポイントすると早送りします。
	タップした位置（総再生時間が短い音楽の場合は最初）から再生されます。

■音楽詳細画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「ミュージック」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「ミュージック」

名前の変更 ・・・・・・・・・・・・・・・・ P342
送信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P348
リピート ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P321
削除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P346

「編集」

コピー ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P343

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

リピート／シャッフル

音楽をリピート再生／ランダム再生する

音楽1曲を繰り返し再生したり、複数の音楽をランダムに再生したりできます。

1　音楽一覧画面でメニューバーの「ミュージック」▶「リピート」／「シャッフル」※を順にタップする

- リピート／シャッフルを解除するには、再度「ミュージック」▶「✔リピート」／「✔シャッフル」※を順にタップします。

※：「プレイリスト表示」のときのみ表示されます。→P320

プレイリストの編集

音楽を好きな順に再生する

音楽一覧画面（プレイリスト表示（→P320））で音楽を再生する場合の順番を変更できます。変更した後は、その順番で一覧表示されます。

1 音楽一覧画面（プレイリスト表示）でメニューバーの「編集」▶「プレイリストの編集」を順にタップする



↑：選択した音楽の再生順位を上げます。
↓：選択した音楽の再生順位を下げます。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 移動する音楽▶移動する位置まで ↑ ／ ↓ を順にタップ▶［完了］をタップする

- さらに音楽を移動する場合は、［完了］をタップする前までの操作を繰り返し行います。

お知らせ

- プレイリスト編集中に、お客様による切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの編集した内容は保存されませんのでご注意ください。

検索

音楽を検索する

文字（拡張子を除いたファイル名）を入力して保存してある音楽の中から検索します。

1 音楽一覧画面でメニューバーの「ミュージック」▶「検索」を順にタップする



- キーワードは全角／半角を問わず、256文字まで入力できます。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 検索する文字(拡張子を除いたファイル名)を入力▶[検索]をタップする



「新曲」で検索したとき

3 再生する音楽をタップする

ユーザ設定

音楽一覧画面で表示する音楽の種類を選択する

お買い上げ時 | 全項目：☑

音楽一覧画面で表示する音楽の種類を選択します。

1 音楽一覧画面でメニューバーの「編集」▶「ユーザ設定」を順にタップする



- ☑が表示する、☐が表示しない状態です。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 設定する項目欄をタップして設定する

- ☐にした種類のオーディオファイルは、音楽一覧画面に表示されませんのでご注意ください。

3 [完了]をタップする

ドキュメントビューア

Word、Excel、PDFファイルなどを表示する

Wordファイル、Excelファイルや画像ファイルなどを表示できます。
ただし、対応しているファイル形式でも、ファイルによっては表示できない場合があります。また、ファイルサイズによっては、表示されるまでに時間がかかったり、すべてを表示できない場合があります。

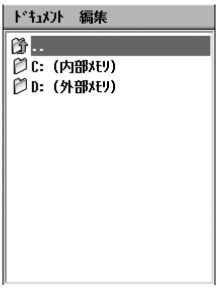
- 表示できるファイルの種類は次のとおりです。

Microsoft Word（.doc）	Microsoft Excel（.xls）	Microsoft Power Point（.ppt）
Pdf（.pdf）	Html（.html、.htm）	Mhtml（.mht）
Jpeg（.jpg、.jpeg）	Png（.png）	Gif（.gif）
Bitmap※1（.bmp）	Wmf（.wmf）	Plain Text（.txt）
Zip※2（.zip）		

※1：32ビットまたはそれより長いフォーマットのファイルを除きます。
※2：ロックがかけられたZipファイルは、開くことができません。

- 本FOMA端末やパソコンでは、ファイルの種類を識別するために、ファイル名の末尾に拡張子（上記（）内）と呼ばれる英数字をつけています （パソコンの設定によっては、表示されない場合があります）。詳しくは、ご使用のパソコンやソフトウェアに付属の取扱説明書などをご覧ください。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（ドキュメントビューア）を順にタップする



：1つ上の階層を表示する場合にタップします。

C：（内部メモリ）
：FOMA 端末本体内のファイルを表示する場合にタップします。

D：（外部メモリ）
：TransFlash　メモリカード内のファイルを表示する場合にタップします。
- TransFlash　メモリカードが取り付けられていない場合は、表示されません。

■ドキュメントビューアから保存したファイルを表示するには

<FOMA端末本体内のファイルを表示>
「C:（内部メモリ）」▶「documents」▶「media　files」▶「document」▶「unfiled」を順にタップする

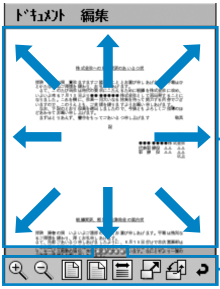
<TransFlashメモリカード内のファイルを表示>
「D:（外部メモリ）」▶「Media files」▶「document」▶「unfiled」を順にタップする

2 表示するフォルダを順にタップする



ドキュメント一覧画面

3 表示するファイルをタップする



ドキュメント表示画面

- ⮐をタップすると、操作２の画面に戻ります。

見たい方向にドラッグできます。

アイコンをタップしていろいろな操作ができます。
→P328～P330

■ドキュメントビューアを終了するとき

ドキュメント一覧画面／表示画面でメニューバーの「ドキュメント」▶「終了」を順にタップする

■ドキュメント一覧画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「ドキュメント」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「ドキュメント」

履歴. P333
ブックマーク P331
終了. P325

「編集」

アイコン表示 P330
リスト表示. P330
名前順 P347
日付順 P347
サイズ順 P347
ファイル形式順 P347
設定. P333
ヘルプ P327

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

次のページへ続く

■ドキュメント表示画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「ドキュメント」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「ドキュメント」

保存 ……P330
送信 ……P348
削除 ……P346
名前の変更 ……P342
履歴 ……P333
ブックマーク ……P331
ブックマークの追加 ……P331
終了 ……P325

「編集」

設定 ……P333
ヘルプ ……P327

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

■フォルダ構成について

「media files」を除いたフォルダ（　部分のフォルダ）は、開いて操作しないでください。

操作1の画面（→P324）からFOMA端末本体とTransFlashメモリカードのフォルダ構成を確認できます。

- アプリケーションをインストールした場合や、各アプリケーションの使用状態などにより、フォルダが追加されたり、構成が変更されます。また、お買い上げ時には表示されないフォルダがあります。
- それぞれのフォルダは、アプリケーションによって利用されています。お客様がフォルダを指定して保存することはできません。

C：(内部メモリ)（FOMA端末本体）	documents	agenda		：スケジュール関連のファイルが保存されています。
		cameracapture		：カメラ関連のファイルが保存されています。
		Jotter		：メモ帳関連のファイルが保存されています。
		media files		
			audio	：音楽ファイルが保存されています。
			document	：ドキュメントファイルが保存されています。
			image	：画像ファイルが保存されています。
			other	：音楽／ドキュメント／画像／動画以外のファイルが保存されています。
			video	：動画ファイルが保存されています。
		now		：ホーム画面関連のファイルが保存されています。
		Photoalbum		：画像ビューア関連のファイルが保存されています。
		QSyncML		：SyncML関連のファイルが保存されています。
		Ringtone		：着信音関連のファイルが保存されています。
		Voice		：ボイスレコーダー関連のファイルが保存されています。

C：（内部メモリ）（FOMA端末本体）	McAfee	MDo：セキュリティスキャン関連のファイルが保存されています。
	system	Apps：アプリケーション関連のファイルが保存されています。
		data：システムデータ関連のファイルが保存されています。
		fep：キーボード関連（辞書など）のファイルが保存されています。
		Install：インストール関連のファイルが保存されています。
		Mail：メール関連のファイルが保存されています。
		midi：音楽関連のファイルが保存されています。
		MIDlets：アプリケーション（MIDlet）関連のファイルが保存されています。
		Mtm：システム関連のファイルが保存されています。
		Schedules：スケジュール関連のファイルが保存されています。
		superquick：「mopera U初期設定」関連のファイルが保存されています。
		SyncML：SyncML関連のファイルが保存されています。
		temp：テンポラリ（一時）ファイルが保存されています。
	Web	Saved Pages：ブラウザ関連のファイルが保存されています。
D：（外部メモリ）（TransFlashメモリカード）	Media files	本体の「media files」と同様のフォルダが保存されています。
	System	本体の「System」と同様に、「data」「temp」などのフォルダが保存されています。
	Web	Saved Pages：ブラウザ関連のファイルが保存されています。

■ヘルプについて

ドキュメント一覧画面／表示画面でメニューバーの「編集」➡「ヘルプ」を順にタップすると、ドキュメントビューアの簡単な操作説明が表示されます。

お知らせ

- ドキュメント一覧画面で、でドキュメントを選択してを押してもドキュメントを表示することができます。また、ドキュメント表示画面で、でも画面を見たい方向に移動することができます。
- ファイルの表示内容によっては、パソコンなどの機器で表示した内容と一部異なる場合があります。
- 表示できるフォントの種類は、パソコンなどと異なっているため、フォントの種類によっては正しく表示できない場合があります。

ドキュメントビューアを操作する

ドキュメント表示画面では、表示内容を拡大したり、表示方法を変更するなど、いろいろな操作をすることができます。
ただし、ファイルによっては、表示が変更されるまでに時間がかかったり、表示が替わらない場合があります。

画面を拡大／縮小する

1 ドキュメント表示画面で［拡大］／［縮小］をタップする

- さらに拡大／縮小する場合は、同じ操作を繰り返します。

お知らせ

- 上記以外にも、画面を拡大／縮小する方法があります。
  - ドキュメント表示画面で拡大／縮小する箇所を連続して2回タップ（2回目のタップは、スタイラスペンを画面につけたまま）し、画面を上下にドラッグして拡大／縮小できます。
  - ドキュメント表示画面で［決定］を押すとズームモードになり、［上下左右］を押して拡大／縮小できます。もう一度［決定］を押すと、スクロールモードに戻ります。

画面に合わせて表示する

1 ドキュメント表示画面で［画面に合わせる］をタップする

画面の幅に合わせて表示する

1 ドキュメント表示画面で［幅に合わせる］をタップする

画面の幅に合わせてレイアウトを変更して表示する

- Word、Html ファイルなどの表示方法を変更できます。ただし、ファイルによっては表示が替わらない場合があります。

1 ドキュメント表示画面で［リフロー］をタップする

お知らせ

- Word、Htmlファイルなどを表示中に、［リフロー］を選択している場合は、［画面に合わせる］、［幅に合わせる］をタップしても、表示は変更されません。
- 1行に表示する文字数（文字の大きさ）を、ドキュメントビューア詳細設定の「リフローレイアウト」で変更できます。→P334

全画面表示に切り替える

- 全画面表示中は、メニューバーが表示されません。

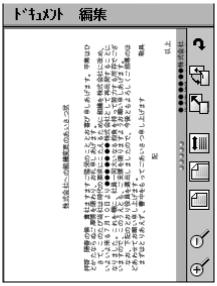
1 ドキュメント表示画面で をタップする



- 再度 をタップすると、元の画面に戻ります。

縦表示／横表示を切り替える

1 ドキュメント表示画面で をタップする

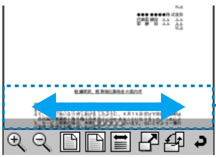


- 再度 をタップすると、元の画面に戻ります。

ページが複数ある場合に前／次のページを表示する

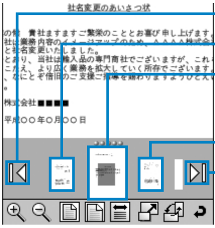
- ドキュメントビューア詳細設定の「ページめくり操作」が の場合に操作できます。→P334

1 ドキュメント表示画面の表示領域の下部をスタイラスペンで左右にドラッグする



ポップアップを表示する

1 ドキュメント表示画面で ▭ をタップする



表示ファイルの最初のページを表示
表示ファイルの前ページを表示
赤色部分をドラッグすると画面をスクロール
・赤色部分は、全画面でどの部分を表示しているのかを示しています。
表示ファイルの後ページを表示
表示ファイルの最後のページ表示

- 再度 ▭ をタップすると、表示が消えます。

アイコン表示／リスト表示

ドキュメント一覧画面の表示方法を変更する

お買い上げ時 | ◉ リスト表示



リスト表示



アイコン表示

現在の階層が表示されています。タップした階層に表示を切り替えることができます。

ファイルのマーク以外の場所を上下にドラッグすると、スクロールできます。

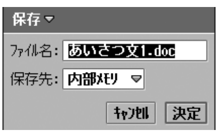
1 ドキュメント一覧画面でメニューバーの「編集」▶「◯ リスト表示」／「◯ アイコン表示」を順にタップする

保存

表示中のドキュメントファイルを保存する

表示中のドキュメントファイルを、FOMA端末本体／TransFlashメモリカード内の「document」フォルダに保存します。→P324

1 ドキュメント表示画面でメニューバーの「ドキュメント」▶「保存」を順にタップする



ファイル名
：保存するファイル名を入力します。
- 全角／半角を問わず255文字まで入力できますが、保存領域の状況により少なくなります。

保存先：保存先（内部メモリ／外部メモリ）を選択します。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 「ファイル名」欄をタップし、名前を入力➡「保存先」欄をタップし、保存先を選択➡[決定]をタップする

お知らせ

- TransFlashメモリカードが取り付けられていない場合は、「外部メモリ」は選択できません。

ブックマーク／ブックマークの追加

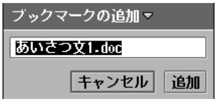
ブックマークを使う

よく表示するドキュメントファイルを登録しておくと、手早く表示することができます。

ブックマークに追加する

- 100件まで登録できます。

1 ドキュメント表示画面でメニューバーの「ドキュメント」➡「ブックマークの追加」を順にタップする



- 名前は全角／半角を問わず、255文字まで入力できます。
- [キャンセル] をタップすると、操作を中止します。

2 ブックマーク名を入力➡[追加]をタップする

ブックマークから表示する

1 ドキュメント一覧／表示画面でメニューバーの「ドキュメント」➡「ブックマーク」を順にタップする



ブックマーク一覧画面

- をタップすると、1つ前の画面に戻ります。

2 表示するブックマークをタップする

ブックマークを削除する

1 ブックマーク一覧画面で削除するブックマークの□をタップする

□が☑に変わります。

次のページへ続く

2 メニューバーの「ドキュメント」▶「削除」を順にタップする

ブックマークを送信する

1 ブックマーク一覧画面で送信するブックマークの□をタップする

□が☑に変わります。

2 メニューバーの「ドキュメント」▶「送信」を順にタップする

送信形式

メール　　：Eメールに添付して送信します。
Bluetooth ：Bluetoothで送信します。

- 1回に送信できるファイルは1件となります。

3 送信画面で「送信形式」欄をタップし、送信形式を選択▶[完了]をタップする

- [キャンセル] をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

- メールアカウントが未設定の場合は、「送信形式」欄に「メール」は表示されません。また、無線LAN接続中は、「Bluetooth」が表示されません。
- Eメール作成→P262
- Bluetooth通信→P510
- デスクトップスイート／SyncMLによってパソコンと同期させたメールアカウントがある場合は、「送信形式」欄に「PC Mail」が表示されます。デスクトップスイート／SyncML→P587

ブックマークの名前を変更する

1 ブックマーク一覧画面で◎で名前を変更するブックマークを選択する

2 メニューバーの「ドキュメント」▶「名前の変更」を順にタップし、名前の変更画面で名前を入力▶[決定]をタップする

- 名前は全角／半角を問わず、255文字まで入力できます。
- [キャンセル] をタップすると、操作を中止します。

ブックマーク一覧画面の並び順を変更する

お買い上げ時 ◉ 名前順

1 ブックマーク一覧画面でメニューバーの「編集」▶ソート方法の○を順にタップする

名前順 ：ファイル名の昇順で並べ替えます。
日付順 ：保存した日付が新しいものから順に並べ替えます。

お知らせ

- 「名前順」にした場合、UNICODE※1順で並びます。全角文字などは、次のとおりに並ばない場合があります。
  半角数字→半角アルファベット※2→ひらがな→全角カタカナ→漢字→全角数字→全角アルファベット※2→半角カタカナ

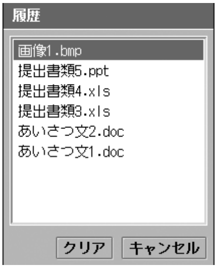
  ※1：UNICODE（ユニコード）とは、国際標準化機構(ISO)で標準化された文字コード体系です。
  ※2：大文字と小文字が混在している場合は、大文字が優先され、かつabc順が優先されます(例：AaBb)。

履歴

履歴からドキュメントファイルを表示する

履歴からドキュメントファイルを表示します。

1　ドキュメント一覧／表示画面でメニューバーの「ドキュメント」▶「履歴」を順にタップする



- ［クリア］をタップすると、すべての履歴を消去します。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2　表示するファイルをタップする

設定

ドキュメントビューアの詳細設定をする

ドキュメントファイルに関する詳細設定ができます。

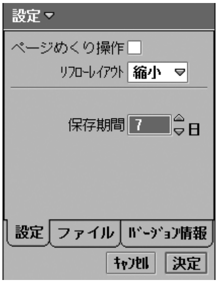
1　ドキュメント一覧／表示画面でメニューバーの「編集」▶「設定」を順にタップする

各タブをタップし、必要に応じて次の設定をすることができます。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

次のページへ続く

■「設定」タブ

お買い上げ時	ページめくり操作：☐　リフローレイアウト：縮小　保存期間：7日



ページめくり操作：ページが複数あるドキュメントを表示中に、ページの切り替え操作を有効にするかしないかを設定します。
☑が有効、☐が無効の状態です。

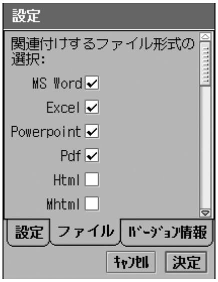
リフローレイアウト※：ドキュメント表示中に、をタップしたときのテキストサイズを「縮小」「標準」「拡大」から選択できます。

保存期間：履歴を保存する日数を設定します。
- 0～30の間で設定できます。

※：リフローレイアウトとは、特定のファイル（Word、Html ファイルなど）を表示したときの自動改行機能のことです。例えば「拡大」にした場合は、自動改行で1行に表示される文字数が少なくなります。

■「ファイル」タブ

お買い上げ時	Html、Mhtml、Jpeg、Png、Gif、Bitmapを除く全項目：☑



他のアプリケーションでファイル（メールの添付ファイルなど）を表示するときに、ドキュメントビューアで表示させるファイルの形式を選択します。
☑が関連付ける、☐が関連付けない状態です。
- 関連付けを☐にしたファイルは、ドキュメントビューアで表示できなくなりますのでご注意ください。

■「バージョン情報」タブ

ドキュメントビューアのバージョン情報などを表示します。

2 各項目を設定する

■「設定」タブ

- 「ページめくり操作」
  ：☐／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は☐の状態にします。
- 「リフローレイアウト」
  ：項目欄をタップし、項目を選択します。
- 「保存期間」
  ：項目欄をタップし、数字を入力します。

■「ファイル」タブ

- 「関連付けするファイル形式の選択」
  ：☐／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は☐の状態にします。

3 [決定]をタップする

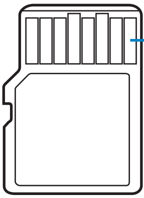
TransFlashメモリカードについて

付属の変換アダプタを利用すると、SDメモリカードに対応したパソコンやプリンタなどでもお使いいただけます。

TransFlashメモリカードをFOMA端末内に取り付け、外部メモリとして利用できます。TransFlashメモリカードは小型・軽量で大きな記憶容量を持つ、着脱可能な外部記録メディアの1つです。

- TransFlashメモリカードおよびTransFlashメモリカードアダプタは、家電販売店などでお買い求めいただけ、M1000は256MバイトまでのTransFlashメモリカードに対応しています（2005年11月現在）。

TransFlashメモリカード使用時のご注意



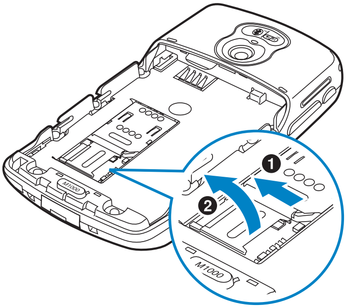
- パソコンなど他機器でフォーマットしたTransFlashメモリカードは、使用できない場合があります。M1000でフォーマットしたものを使用してください。→P340
- TransFlashメモリカードは、事故や故障によって消失または変形してしまうことがあります。大切なデータは控えを取っておかれることをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- データの読み込み中や書き込み中に、本FOMA端末の電源を切らないでください。
- ラベルやシールなどを貼って使用しないでください。ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因になることがあります。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部分には手や金属などで触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光の当たる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所

TransFlashメモリカードの取り付けかた／取り外しかた

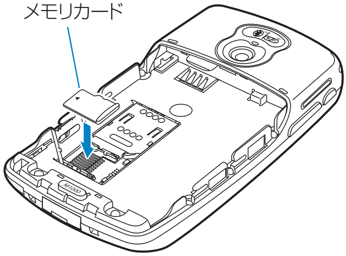
電池パックのリアカバーや電池パックを取り外してから行います。→P54

取り付けかた

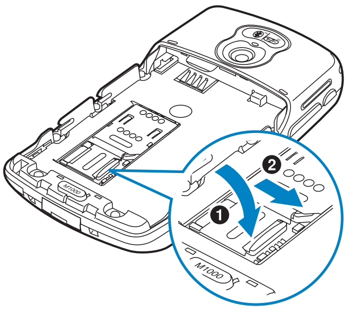
①TransFlash メモリカードのフタを矢印❶の方向にスライドさせ矢印❷の方向へ持ち上げる



②TransFlashメモリカードの端子（金色）面を下にしてTransFlashメモリカードトレイの溝にあわせて載せる



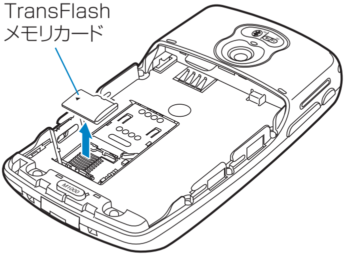
③TransFlash メモリカードのフタを矢印❶の方向へ倒して矢印❷の方向にスライドさせる



お知らせ

- TransFlash メモリカードの向きを確認して、トレイの溝にあわせてしっかり載せてからフタを倒してください。カードが破損する恐れがあります。
- TransFlashメモリカードの載せかたによっては、溝にあわせなくてもフタが閉まる場合がありますが、TransFlashメモリカードは動作しません。トレイの溝にあわせて載せてからフタを閉じてください。

取り外しかた

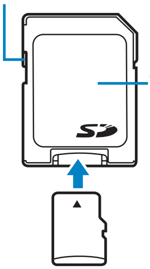


①取り付けかたの操作①と同じ操作を行う
②TransFlashメモリカードを取り外す
③取り付けかたの操作③と同じ操作を行う

TransFlashメモリカードをアダプタに装着する

TransFlashメモリカードを、SDメモリカードに対応したパソコンなどで利用するときは、TransFlashメモリカードアダプタに装着してください。

- 使用の際は、正しい挿入方向を確認してください。間違った使用は機器の破損の原因になります。



TransFlashメモリカードをTransFlashメモリカードアダプタの奥まで差し込む

- 取り外すときは反対の方向に引き出してください。

お知らせ

- TransFlashメモリカードアダプタの書き込み禁止スイッチが「Lock」側にあると書き込みやフォーマットができなくなります。

TransFlashメモリカードのフォルダ構成

「Media files」を除いたフォルダ（→P326）は、開いて操作しないでください。

FOMA端末からTransFlashメモリカードにファイルを保存すると、TransFlashメモリカード内に次のようなフォルダが作成され、その中にファイルが保存されます。パソコンなどからTransFlashメモリカードにファイルを保存して利用する場合は、次のようなフォルダ構成にする必要があります。

- Media files
  - **audioフォルダ**･･････････ 音楽ファイルが保存されるフォルダ
    - **unfiledフォルダ**･････ FOMA端末で保存した音楽ファイルが保存されるフォルダ
  - **documentフォルダ**･････ ドキュメントファイルが保存されるフォルダ
    - **unfiledフォルダ**･････ FOMA端末で保存したドキュメントファイルが保存されるフォルダ
  - **imageフォルダ**･･････････ 画像ファイルが保存されるフォルダ
    - **unfiledフォルダ**･････ FOMA端末で保存した画像ファイルが保存されるフォルダ
  - **otherフォルダ**･･････････ ビューアで表示／再生できないファイルが保存されるフォルダ
    - **unfiledフォルダ**･････ FOMA端末で保存したビューアで表示／再生できないファイルが保存されるフォルダ
  - **videoフォルダ**･･････････ 動画ファイルが保存されるフォルダ
    - **unfiledフォルダ**･････ FOMA端末で保存した動画ファイルが保存されるフォルダ

お知らせ

- パソコンなどからTransFlashメモリカードに画像ファイル、動画ファイルや音楽ファイルなどを保存して利用する場合は、「audioフォルダ」／「documentフォルダ」／「imageフォルダ」／「videoフォルダ」内に新しくフォルダを作成してファイルを保存するか、各フォルダの下にあるunfiledフォルダに直接ファイルを保存してください。保存場所によりファイルが利用できない場合があります。
- TransFlashメモリカード内のフォルダをパソコンで削除したり、移動したりしないでください。本FOMA端末でTransFlashメモリカードを読めなくなることがあります。
- 本FOMA端末で未対応のファイルをTransFlashメモリカードに保存しても、本FOMA端末では認識できません。
- 他の機器からTransFlashメモリカードに保存したファイルは、本FOMA端末で表示／再生できない場合があります。また、本FOMA端末からTransFlashメモリカードに保存したファイルは、他の機器で表示／再生できない場合があります。

TransFlashメモリカードに保存できる件数について

TransFlashメモリカードに保存できる件数・時間は、ご使用になるTransFlashメモリカードの容量によって変わります。付属の32MバイトTransFlashメモリカード（試供品）を使用した場合の目安は次のとおりです。

ファイルの種類	動　画	画　像	音　楽	ドキュメント	ビューア表示／再生不可
フォルダ名	video	image	audio	document	other
保存可能件数	例）：すべて100Kバイトのファイルを保存した場合 →すべてのフォルダを含め、最大約320件まで保存可能				

お知らせ

- メモリマネージャ（→P349）でTransFlashメモリカード内に保存されている各ファイルのサイズを確認できます。

TransFlashメモリカードを使う

FOMA端末内の画像、動画、音楽、ドキュメントファイルなどをTransFlashメモリカードに保存したり、TransFlashメモリカード内のファイルをFOMA端末内に保存することもできます。また、FOMA端末からTransFlashメモリカード内を閲覧することもできます。

■TransFlashメモリカードからできる操作について

操　作	参照先
ファイルをフォルダ別に表示する	P341
フォルダを作成／編集／削除する	P341
ファイル名を変更する	P342
ファイルを他のフォルダ（FOMA端末本体⇔TransFlashメモリカード）にコピー／移動する	P343、345
ファイルを削除する	P346
ファイルを並び替える	P347
ファイルを送信する	P348

メモリカード

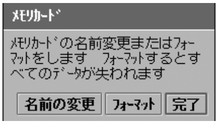
TransFlashメモリカードをフォーマットする

フォーマットを行うと、TransFlashメモリカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

TransFlashメモリカードをはじめて利用するときには、FOMA端末でフォーマット（初期化）する必要があります。パソコンなど他機器でフォーマットした場合、正常に使用できないときがあります。

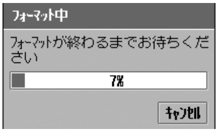
- 付属のTransFlashメモリカードはフォーマットされています。

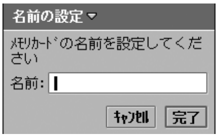
1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「メモリカード」を順にタップする



- 名前の変更をする場合は［名前の変更］をタップし、操作3に進みます。

2 ［フォーマット］をタップし、お知らせ画面で［はい］をタップする





- 半角英数字で11文字まで入力できます。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 名前を入力▶［完了］をタップする

お知らせ

- / ” ? : > < | は、名前に設定できません。
- 文字の入力方法→P516

各種ファイルを管理する

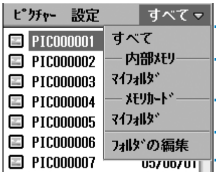
画像／動画／音楽／ドキュメントの各ファイルや、TransFlashメモリカード内のファイルを、フォルダごとに管理したり、削除して整理したりできます。

ファイルをフォルダ別に表示する

画像一覧画面（→P308）／動画一覧画面（→P314）／音楽一覧画面（→P319）から、フォルダを切り替えて表示できます。
この操作でTransFlashメモリカード内の一覧画面を表示できます。

1 一覧画面でメニューバーの「すべて」※をタップする

※：前回、選択したフォルダ名が表示されます。



- すべてのファイルを表示します。
- FOMA端末内にあるフォルダを表示します。
- TransFlashメモリカード内にあるフォルダを表示します。
- フォルダの作成／編集／削除をします。

2 表示するフォルダをタップする

メニューバーには、選択したフォルダが表示され、フォルダ内のファイルが一覧表示されます。

フォルダの編集

フォルダを作成／編集／削除する

画像一覧画面（→P308）／動画一覧画面（→P314）／音楽一覧画面（→P319）から、フォルダを作成／編集／削除できます。
ただし、他のアプリケーションなどによる本体／TransFlashメモリカードのメモリ使用状況により、フォルダを作成できない場合があります。
この操作でTransFlashメモリカード内のフォルダも作成／編集／削除することができます。その場合はメニューバーの右端に、TransFlashメモリカード内のフォルダを表示（→P341）させ、一覧画面を表示してからこの操作を行います。

- お買い上げ時に登録されている「マイフォルダ」は、削除／編集することができません。

次のページへ続く

1 一覧画面でメニューバーの「すべて」※▶「フォルダの編集」を順にタップする

※：前回、選択したフォルダ名が表示されます。



■フォルダを編集するとき

編集するフォルダ▶［編集］を順にタップする

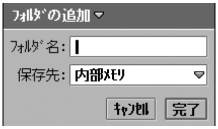
必要に応じて操作3を行います。

■フォルダを削除するとき

削除するフォルダ▶［削除］を順にタップする

- ファイルが保存されているフォルダは削除できません。ファイルをすべて削除してから操作してください。→P346

2 ［追加］をタップする



フォルダ名：作成するフォルダ名を入力します。
- 文字は全角／半角を問わず、20 文字まで入力できます。

保存先：フォルダを作成する場所（FOMA端末本体／TransFlashメモリカード）を選択します。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 「フォルダ名」欄をタップし、名前を入力▶「保存先」欄をタップし、作成場所を選択▶［完了］をタップする

お知らせ

- 既に作成されているフォルダと同じ名前（大文字・小文字も区別されません）のフォルダは作成できません。

名前の変更

ファイル名を変更する

画像表示画面（→P308）／動画再生画面（→P315）／音楽詳細画面（→P321）／ドキュメント表示画面（→P325）から、ファイル名を変更できます。
この操作でTransFlashメモリカード内のファイル名も変更することができます。その場合はメニューバーの右端に、TransFlashメモリカード内のフォルダを表示（→P341）させ、ファイル名を変更するファイルを表示／再生してからこの操作を行います。

1 名前を変更するファイルの表示／再生画面でメニューバーの「ピクチャー」／「ビデオ」／「ミュージック」／「ドキュメント」▶「名前の変更」を順にタップする



画像表示画面から操作したとき

変更前のファイル名が表示されています。
- 全角／半角を問わず、256 文字※（画像／ドキュメント）／100文字（動画／音楽）まで入力できます。
  ※：保存領域の状況により少なくなります。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 ファイル名を変更▶［完了］／［決定］をタップする

お知らせ

- / ” ? ¥ : > < | は、名前に設定できません。
- 名前の変更中に、お客様による切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、変更した内容は保存されません。
- 文字の入力方法→P516

コピー

ファイルを他のフォルダにコピーする

ファイルを1件コピーする

■FOMA端末本体→TransFlashメモリカードにコピー

メニューバーの右端に、FOMA端末本体内にあるコピー元のフォルダを表示（→P341)させ、コピーするファイルの表示／再生画面でこの操作（操作2でTransFlashメモリカード内のフォルダを選択）を行います。

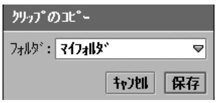
■TransFlashメモリカード→FOMA端末本体にコピー

メニューバーの右端に、TransFlashメモリカード内にあるコピー元のフォルダを表示（→P341)させ、コピーするファイルの表示／再生画面でこの操作（操作2でFOMA端末本体内のフォルダを選択）を行います。

動画再生画面（→P315）／音楽詳細画面（→P321）から、ファイルを他のフォルダにコピーできます。

- 動画再生中は操作できません。

1 コピーするファイルの再生画面でメニューバーの「編集」▶「コピー」を順にタップする



動画再生画面から操作したとき

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 「フォルダ」欄をタップし、保存先フォルダを選択▶［保存］／［コピー］をタップする

お知らせ

- 画像ファイルやドキュメントファイルなどをコピーする場合はメモリマネージャを使用します。→P344

メモリマネージャでファイルを選択してから他のフォルダにコピーする

- 本操作でコピーできないファイルは、ファイル欄に表示されません。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「メモリマネージャ」を順にタップする

2 メモリマネージャ画面で[ファイル]をタップする

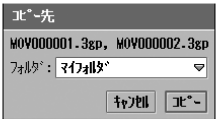


場所　：コピー元のファイルの保存場所（FOMA端末本体／TransFlashメモリカード）を選択します。
種類　：コピー元のファイルの種類を選択します。
ファイル：コピーするファイルを選択します。

3 「場所」欄をタップし、コピー元のファイルが保存されている場所を選択する

4 「種類」欄をタップし、コピー元のファイルの種類を選択する

5 「ファイル」欄でコピーするファイルの□▶[コピー]を順にタップする



フォルダ：コピー先のフォルダ（FOMA端末本体／TransFlashメモリカード）を選択します。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

6 「フォルダ」欄をタップし、コピー先フォルダを選択▶[コピー]をタップする

ファイルを他のフォルダに移動する

ファイルを1件移動する

■FOMA端末本体→TransFlashメモリカードに移動

メニューバーの右端に、FOMA端末本体内にある移動元のフォルダを表示（→P341）させ、移動するファイルの表示／再生画面でこの操作（操作1でTransFlashメモリカード内のフォルダを選択）を行います。

■TransFlashメモリカード→FOMA端末本体に移動

メニューバーの右端に、TransFlash メモリカード内にある移動元のフォルダを表示（→P341）させ、移動するファイルの表示／再生画面でこの操作（操作1でFOMA端末本体内のフォルダを選択）を行います。

画像表示画面（→P308）／動画再生画面（→P315）／音楽詳細画面（→P321）から、フォルダ内のファイルを他のフォルダに移動できます。

- 動画／音楽再生中は操作できません。

1 移動するファイルの表示／再生画面でメニューバーの「すべて」※▶移動先のフォルダを順にタップする

※：前回、選択したフォルダ名が表示されます。

ファイルが移動され、メニューバーに移動先のフォルダ名が表示されます。

本体とTransFlashメモリカード間でファイルを全件移動する

画像一覧画面（→P308）／動画一覧画面（→P314）／音楽一覧画面（→P319）から、フォルダ内のファイルをFOMA端末本体とTransFlashメモリカード間で全件移動することができます。

- 「マイフォルダ」内のファイルは全件移動できません。
- 既に作成されているフォルダを指定して、全件移動できません。
- この操作では、フォルダ内のファイルのみが全件移動され、移動元のフォルダは残ります。

1 一覧画面でメニューバーの「すべて」※▶「フォルダの編集」を順にタップする

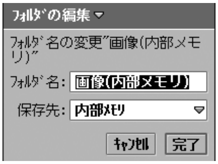
※：前回、選択したフォルダ名が表示されます。



データ表示／編集／管理

次のページへ続く

2 移動元のフォルダ▶[編集]を順にタップする



フォルダ名：移動先で作成されるフォルダ名を入力します。
- 全角／半角を問わず、20 文字まで入力できます。

保存先：移動先（FOMA 端末本体／ TransFlash メモリカード）を選択します。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 「フォルダ名」欄をタップし、フォルダ名を入力▶「保存先」欄をタップし、移動先を選択▶[完了]をタップする

お知らせ

- TransFlashメモリカードの使用状況によっては、移動できない場合があります。
- 移動先で作成されるフォルダ名に、既に移動先に作成されているフォルダと同じ名前（大文字・小文字も区別されません）は設定できません。

削除

ファイルを削除する

ファイルを1件削除する

画像表示画面（→P308）／動画再生画面（→P315）／音楽詳細画面（→P321）／ドキュメント表示画面（→P325）から、ファイルを削除できます。
この操作でTransFlashメモリカード内のファイルも削除することができます。その場合はメニューバーの右端に、TransFlashメモリカード内のフォルダを表示（→P341）させ、削除するファイルの表示／再生画面でこの操作を行います。

1 削除するファイルの表示／再生画面でメニューバーの「ピクチャー」／「ビデオ」／「ミュージック」／「ドキュメント」▶「削除」を順にタップし、削除の確認画面※で[はい]をタップする

※：ドキュメント表示画面から操作した場合、削除の確認画面は表示されません。
- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

メモリマネージャでファイルを選択して削除する

- 本操作で削除できないファイルは、ファイル欄に表示されません。

1 アプリケーション選択バーの(アプリケーションランチャー)▶(コントロールパネル)を順にタップし、コントロール画面で「本体」タブ▶「メモリマネージャ」を順にタップする

2 メモリマネージャ画面で[ファイル]をタップする



場所　：削除するファイルの保存場所（FOMA　端末本体／TransFlashメモリカード）を選択します。
種類　：削除するファイルの種類を選択します。
ファイル：削除するファイルを選択します。

3 「場所」欄をタップし、削除するファイルが保存されている場所を選択する

4 「種類」欄をタップし、削除するファイルの種類を選択する

5 「ファイル」欄で削除するファイルの□▶[削除]を順にタップし、削除の確認画面で[はい]をタップする

- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

タイトル順／名前順／日付順／サイズ順／種類順／ファイル形式順

ファイルを並び替える

お買い上げ時　名前順／タイトル順

画像一覧画面（→P308）／動画一覧画面（→P314）／音楽一覧画面（→P319）／ドキュメント一覧画面（→P325）／Bluetooth受信ファイル一覧画面（→P512）のファイルを並べ替えます。

1 一覧画面でメニューバーの「設定」／「編集」▶ソート方法の○を順にタップする

■画像一覧画面／Bluetooth受信ファイル一覧画面から操作したとき

名前順　：ファイル名の昇順で並べ替えます。
日付順　：保存した日付が新しいものから順に並べ替えます。
サイズ順※：ファイルサイズが大きいものから順に並べ替えます。
※：Bluetooth受信ファイル一覧画面では表示されません。

■動画一覧画面／音楽一覧画面／ドキュメント一覧画面から操作したとき

タイトル順／名前順　：ファイル名の昇順で並べ替えます。
日付順　：保存した日付が新しいものから順に並べ替えます。
サイズ順　：ファイルサイズが大きいものから順に並べ替えます。
種類順／ファイル形式順：ファイルの拡張子順（アルファベット→数字）に並べ替えます。

次のページへ続く

お知らせ

- ドキュメント一覧画面以外で「名前順」「タイトル順」にした場合、次のような順番になります。
  漢字（JISコード順）→ひらがな→カタカナ※1→半角カタカナ→全角アルファベット※2→半角アルファベット※2→全角数字→半角数字→記号（JISコード順）
  ※1：ひらがなとカタカナが混在している場合は、あいうえお順が優先されます（例：あアいイ）。
  ※2：大文字と小文字が混在している場合は、小文字が優先され、かつabc順が優先されます（例：aAbB）。
- ドキュメント一覧画面で「名前順」にした場合、UNICODE※1順で並びます。全角文字などは、次のとおりに並ばない場合があります。
  半角数字→半角アルファベット※2→ひらがな→全角カタカナ→漢字→全角数字→全角アルファベット※2→半角カタカナ
  ※1：UNICODE（ユニコード）とは、国際標準化機構（ISO）で標準化された文字コード体系です。
  ※2：大文字と小文字が混在している場合は、大文字が優先され、かつabc順が優先されます（例：AaBb）。

送信／送信形式

ファイルを送信する

画像表示画面（→P308）／動画再生画面（→P315）／音楽詳細画面（→P321）／ドキュメント表示画面（→P325）から、ファイルを送信できます。

- 動画再生中は操作できません。

1 送信するファイルの表示／再生画面でメニューバーの「ピクチャー」／「ビデオ」／「ミュージック」／「ドキュメント」▶「送信」を順にタップする



送信形式

メール　　　：Eメールに添付して送信します。
Bluetooth ：Bluetoothで送信します。

2 「送信形式」欄をタップし、送信形式を選択▶[完了]をタップする

- [キャンセル] をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

- メールアカウントが未設定の場合は、「送信形式」欄に「メール」は表示されません。また、無線LAN接続中は、「Bluetooth」が表示されません。
- Eメール作成→P262
- Bluetooth通信→P510
- デスクトップスイート／SyncMLによってパソコンと同期させたメールアカウントがある場合は、「送信形式」欄に「PC Mail」が表示されます。デスクトップスイート／SyncML→P587

メモリの使用状況を確認する

FOMA端末本体のメモリ使用状況をアプリケーション別に確認できます。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「メモリマネージャ」を順にタップする



FOMA端末内にあるすべてのアプリケーションを、サイズの大きい順に表示します。

タップすると、アプリケーションが起動します。

FOMA端末本体の空き容量を表示

2 [ファイル]をタップする



場所

内部メモリ
：本FOMA端末に保存されているファイルを確認するときに選択します。

TransFlashメモリカード（設定した名前で表示されます）
：TransFlash メモリカードに保存されているファイルを確認するときに選択します。

種類

オーディオ
：音楽ファイルを確認するときに選択します。

動画 ：動画ファイルを確認するときに選択します。

画像 ：画像ファイルを確認するときに選択します。

文書 ：ドキュメントファイル（ワードやエクセルなど）や証明書ファイルを確認するときに選択します。

その他：本FOMA端末のビューアで表示／再生できないファイル（インストールが必要なアプリケーションファイルなど）を確認するときに選択します。

ファイル：ファイルをタップすると、表示／再生できます。

- コピーするファイルの□をタップして［コピー］をタップすると、ファイルをコピーできます。→P344
- 削除するファイルの□をタップして［削除］をタップすると、ファイルを削除できます。→P346

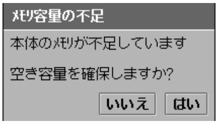
お知らせ

- 保存領域がいっぱいになったときは、ファイルが保存できなくなったり、アプリケーションが正常に動作しない場合があります。保存領域が少なくなってきたときは、TransFlashメモリカードに保存したり（ファイルを他のフォルダにコピーする→P343、P344、ファイルを他のフォルダに移動する→P345）、不要なファイルを削除する（→P346）ことをおすすめします。

FOMA端末本体のメモリ容量が少なくなったときは

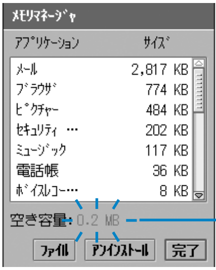
保存領域がいっぱいになったときは、ファイルが保存できなくなったり、アプリケーションが正常に動作しない場合があります。
保存領域が少なくなってきたときは、TransFlashメモリカードに保存したり（ファイルを他のフォルダにコピーする→P343、P344、ファイルを他のフォルダに移動する→P345）、不要なファイルを削除する（→P346）ことをおすすめします。

1 確認画面が表示される



- ［いいえ］をタップすると、確認画面が出る前の画面に戻ります。

2 ［はい］をタップする



赤く点滅します。

■FOMA端末本体に不要なデータがあるとき

操作2で［はい］をタップすると、不要なデータ※がある旨の確認画面が表示されます。

- ［いいえ］をタップすると、不要なデータを削除しません。
- ［はい］をタップすると、不要なデータを1件ずつ削除します。さらに不要なデータがある場合は、再度確認画面が表示されます。
- ［削除の中止］をタップすると、操作2の画面に戻ります。
- ［すべて削除］をタップすると、不要なデータをすべて削除します。

※：不要なデータとは、アプリケーションが作成したデータか、アプリケーションに使用されているファイルで、システムから削除の候補として表示されます。お客様が各アプリケーションにおいて、作成して保存したデータは、削除の候補にはなりません。

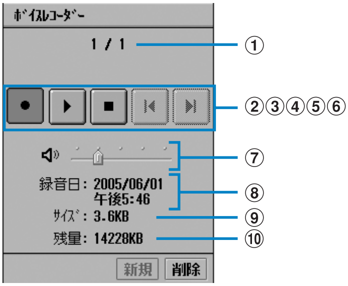
3 ［ファイル］／［アンインストール］をタップし、削除／アンインストール操作を行う

- アンインストール方法→P411
- 削除方法→P346

ボイスレコーダーを使う

FOMA端末で手軽に声のメモなどを録音できる機能です。簡単な操作で録音や再生が手軽にできます。

ボイスレコーダー画面について



マーク名	マーク	説　明
①音声メモの件数／全件数	—	音声メモの件数／全件数を表示します。
②録音	●	タップすると録音を開始します。
③再生／一時停止	▶ ／ ‖	タップすると再生を開始／一時停止します。
④停止	■	タップすると録音／再生を停止します。
⑤頭出し	|◀	タップすると１つ前の音声メモを頭出しします。
⑥頭出し	▶|	タップすると１つ後の音声メモを頭出しします。
⑦音量		ドラッグすると再生音量を５段階で調節します。
⑧録音日	—	音声メモを録音した日付を表示します。
⑨サイズ	—	音声メモのサイズを表示します。
⑩残量（録音時のみ表示）	—	録音残量を表示します。

■ボイスレコーダー画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「ボイスレコーダー」をタップすると、次の項目が表示されます。

新規. P352
削除. P354
送信. P354

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

音声を録音する

自動的にメモリの最後尾に新規に録音する方法と、記録済みの音声に上書きして録音する方法があります。録音した音声メモはAMRフォーマット（.amr）で本体（最大約190分※まで）に保存され、保存先は選択できません。

※：保存する音声メモの録音時間や、他のアプリケーションによる本体のメモリ使用状況により少なくなります。

- 通話中は使用できません。
- 録音時間とメモリ使用量の目安

録音時間	15秒	30秒	1分	10分
メモリ使用量（目安）	約25Kバイト	約50Kバイト	約100Kバイト	約1Mバイト

1 **アプリケーショ選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（ボイスレコーダー）を順にタップする**



2 **[新規]▶●を順にタップする**

3 **■をタップする**

録音が停止します。

■録音済みの音声に上書きするとき

⏮／⏭をタップし、上書きする音声メモを選択▶●をタップする

- 録音済みの音声メモが1件のみの場合、⏮／⏭はタップできません。

お知らせ

- 音声録音中は、送話口（→P30）をふさがないでください。音声が録音されない場合があります。
- ボイスレコーダー画面で、で音声メモを選択することもできます。
- 録音中に、お客様による切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合でも、録音は継続されますのでご注意ください。
- 音声録音中は、Eメールなどを受信したときの着信音や、スケジュールやToDoなどで設定したアラーム時間になったときのアラーム音が、設定したものとは違う音で鳴ります。

データ表示／編集／管理

音声を再生する

録音した音声をすぐに再生して確認できます。

1 ボイスレコーダー画面で|◀／▶|をタップし、再生する音声メモを選択▶▶をタップする



- 録音済みの音声メモが１件のみの場合、|◀／▶|はタップできません。
- 最後まで再生すると、自動的に停止します。

2 ■をタップする

再生が停止します。

お知らせ

- ボイスレコーダー画面で、 で音声メモを選択して を押しても音声を再生できます。また、 で音量を調節できます。
- マナーモード中でも音声は再生されます。ただし、「サウンド」の「マルチメディア／ゲーム」を消音にしている場合は、音声が再生されません。→P133
- 再生／一時停止／録音中に、お客様による切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合でも、再生／一時停止／録音は継続されますのでご注意ください（音声電話／テレビ電話の発着信やドキュメントビューアなど他の起動するアプリケーションによっては停止することがあります）。
- 音声再生中は、Eメールなどを受信したときの着信音や、スケジュールやToDoなどで設定したアラーム時間になったときのアラーム音が、設定したものとは違う音で鳴ります。

ボイスレコーダーをすばやく起動して録音する

簡単なキー操作で音声メモを新規に録音できます。すぐに音声を録音したいときなどに利用すると便利です。

1 を押し続ける

ボイスレコーダー画面が表示され、音声がメモリの最後尾に新規録音されます。

2 を離す

録音が停止します。

送信

音声メモを送信する

録音した音声メモをEメールなどに添付して送信できます。

1 ボイスレコーダー画面で⏮／⏭をタップし、送信する音声メモを選択▶メニューバーの「ボイスレコーダー」▶「送信」を順にタップする

送信形式

メール　　　：Eメールに添付して送信します。
Bluetooth ：Bluetoothで送信します。

2 送信画面で「送信形式」欄をタップし、送信形式を選択▶[完了]をタップする

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

- メールアカウントが未設定の場合は、「送信形式」欄に「メール」は表示されません。また、無線LAN接続中は、「Bluetooth」が表示されません。
- Eメール作成→P262
- Bluetooth通信→P510
- デスクトップスイート／SyncMLによってパソコンと同期させたメールアカウントがある場合は、「送信形式」欄に「PC Mail」が表示されます。デスクトップスイート／SyncML→P587

音声メモを削除する

録音した音声メモを削除します。

1 ボイスレコーダー画面で⏮／⏭をタップし、削除する音声メモを選択▶[削除]をタップし、ファイルの削除画面で[はい]をタップする

- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

その他の便利な機能

マルチアクセスについて

マルチアクセスとは、複数の通信を同時に行うことができる機能です。これによって音声電話の通話中にメールを受信したり、ブラウザ起動中に音声電話を受けたりできます。

同時に使用可能な通信

次の3つの通信を同時に行うことができます。

通　信	通信数
音声電話	いずれか1つ
FOMA端末での64Kデータ通信	
FOMA端末でのパケット通信	いずれか1つ
無線LAN	
ショートメッセージ（SMS）	1つ

お知らせ

- マルチアクセスの組み合わせについて→P583
- マルチアクセス中は、それぞれの通信に対して通信料金がかかります。
- マルチアクセスで利用中の通信は、ステータスバーのアイコン表示で確認できます。
- 64Kデータ通信を利用中は、パケット通信または無線LANの通信を同時に行うことはできません。

通話中にメールを受信する

音声電話の通話中にメールを受信し、通話を継続したまま確認できます。

- 64Kデータ通信によるEメールの受信はできません。

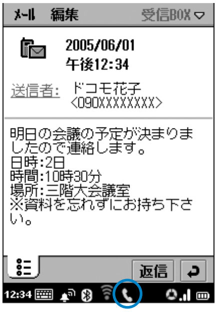
1 通話中にメールを受信する



ステータスバーにメールのアイコンが表示されます。

- メールアイコンについて→P40

2 ステータスバーのメールアイコンをタップし、受信BOXでメールをタップする



メールを確認できます。

- Ｅメールを受信したとき、受信方法を「ヘッダのみ」に設定している場合、または最大サイズ設定で指定したサイズを超えるＥメールを受信した場合は、受信の確認画面で［はい］をタップします。
- ステータスバーには通話中のアイコンが表示されたままになります。

3 アプリケーション選択バーの（電話）をタップする

通話中画面に戻ります。

通話中にインターネットに接続する

音声電話の通話中にインターネットに接続し、通話を継続したままホームページなどを見ることができます。

- 64Kデータ通信によるインターネットへの接続はできません。

1 通話中にアプリケーション選択バーの（ブラウザ）▶メニューバーの「ブラウザ」▶「ページを開く」を順にタップし、ページを開く画面でURLを入力▶［開く］をタップする



- ステータスバーには通話中のアイコンが表示されたままになります。

2 アプリケーション選択バーの（電話）をタップする

インターネットに接続したまま、通話中画面に戻ります。

インターネット接続中に電話を受ける

インターネット接続中に音声電話を受けることができます。

- 64Kデータ通信によるインターネット接続の場合は、電話を受けることはできません。

1 インターネット接続中に電話を着信する



着信中画面が表示され、着信音が鳴ります。

- ［拒否］をタップすると、応答を拒否します。

2 ［応答］をタップ／（キー）を押す



電話を受けます。

- ステータスバーにはインターネット接続中のアイコンが表示されたままになります。

3 アプリケーション選択バーの（ブラウザ）をタップする

通話を継続したまま、ホームページ表示画面に戻ります。

指定した時刻にアラームで知らせる

FOMA端末を目覚まし時計として利用できます。また、アラーム時刻にアラームの鳴動と同時にメッセージを表示させることもできます。

- アラームは3つまで設定できます。

1 アプリケーション選択バーの(アプリケーションランチャー) ▶(時計)を順にタップする



時計画面

2 登録するアラームスロット欄をタップする



時刻：アラーム時刻を設定します。

動作設定

- 1回：指定した曜日の設定した時刻に1回だけアラームを鳴らします。
- 次の24時間：設定した時刻に1回だけアラームを鳴らします。
- 毎日：設定した時刻に毎日アラームを鳴らします。
- 就業日：就業日（平日）の設定した時刻にアラームを鳴らします。
- 毎週：毎週指定した曜日の設定した時刻にアラームを鳴らします。

曜日：アラームを鳴らす曜日を設定します。
- 「曜日」を設定するには、「1回」または「毎週」に設定する必要があります。

アラーム音：アラーム音を設定します。
- をタップすると、選択したアラーム音を再生して確認できます。再生中にを押すと音量を変更でき、再生中に再度をタップすると停止できます。

メッセージ：アラーム起動時に表示するメッセージを入力します。
- 全角／半角を問わず、128文字まで入力できます。
- をタップすると、以前に入力したメッセージが5件まで表示され、タップすると選択できます。

次のページへ続く

3 各項目を設定する

- 「時刻」
  ：項目欄をタップし、設定します。
  時刻の設定方法→P64
- 「動作設定」「曜日」「アラーム音」
  ：項目欄をタップし、項目を選択します。
- 「メッセージ」
  ：項目欄をタップし、文字を入力します。

4 [完了]をタップする

- 設定した時刻にアラーム音を鳴らすには、アラームを設定する必要があります。
  →P361

■時計画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「時計」をタップすると、次の項目が表示されます。

「時計」

お知らせ

- 就業日を設定できます。→P360
- アラームを設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されます。設定が途中の場合は、再度設定画面を表示して完了してください。

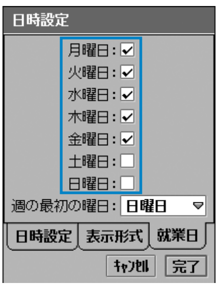
就業日を設定する

お買い上げ時	月曜日～金曜日：☑

就業日（平日）を設定することで、アラームを就業日のみに動作させるよう設定できます。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「一般」タブ▶「日時設定」を順にタップする

2 日時設定画面で「就業日」タブをタップする



- ☑が就業日を設定する、☐が就業日を解除する状態です。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 就業日に設定する曜日の☐をタップする

登録したアラームを設定／解除する

設定した時刻にアラーム音を鳴らすように設定します。

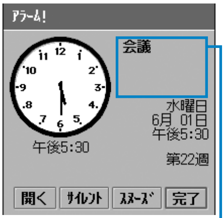
1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（時計）を順にタップする**

2 **設定するアラームスロット欄の□をタップする**



- ☑が設定する、□が解除する状態です。

アラーム時間になると



メッセージ表示エリア

設定したアラーム音が鳴り、アラーム画面が表示されます。

開く　：アラームを停止し、時計画面を表示します。
サイレント　：アラーム画面を表示したままアラームを停止します。
スヌーズ　：アラームを停止してアラーム画面を閉じます。5分経過すると再度アラーム画面が表示され、アラームが鳴ります。
完了　：アラームを停止し、アラーム画面を閉じます。

お知らせ

- 全角で 15 文字、半角で 33 文字まで登録したメッセージがメッセージ表示エリアに表示されます。表示しきれない部分がある場合は、メッセージ部分から下方向へドラッグすると、残りのメッセージを表示できます。
- メッセージに電話番号や E メールアドレス、URL を入力している場合は、アラーム画面のメッセージをタップするとメニューが表示され、次の操作ができます。
  - [発信] ※1　：音声電話をかけます。
  - [SMS送信] ※1　：ショートメッセージ（SMS）を作成して送信します。→P301
  - [メール送信] ※2　：Eメールを作成して送信します。→P262
  - [テレビ電話] ※1　：テレビ電話をかけます。
  - [電話帳登録] ※3　：電話帳に登録します。
  - [電話帳を開く] ※4　：電話帳データを表示します。
  - [ブラウザで開く] ※5　：インターネットに接続します。
  - [ブックマークに追加] ※5　：ブックマークに登録します。

※１：電話番号が入力されている場合に表示されます。
※２：E メールアドレスが入力されている場合に表示されます。
※３：電話番号や E メールアドレスなどが電話帳に登録されていない場合に表示されます。

次のページへ続く

※4：電話番号やＥメールアドレスなどが電話帳に登録されている場合に表示されます。
※5：URLが入力されている場合に表示されます。

- 設定したアラーム音が鳴っているときに、音声電話やテレビ電話の着信、スケジュールを設定してＥメールを受信（→P257）、Ｅメールの自動受信（→P273）した場合アラームを停止します。
- 音声電話やテレビ電話の通話中には、ピーという短いアラーム音が鳴りアラーム画面が表示されます。設定したアラーム音は鳴りません。
- 電源を切っている場合、設定した時間になっても電源は入らず、アラーム音も鳴りません。ただし、電源を切って充電中の場合はアラーム音が鳴ります。

スケジュール

スケジュールを登録する

スケジュールを登録し、管理できます。設定した日時にアラームを鳴らし、予定をお知らせすることもできます。

スケジュール画面を表示する

スケジュール画面には、１日表示・週表示・月表示があり、それぞれの画面から切り替えることができます。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（スケジュール）を順にタップする



１日表示画面

項　目	マーク	説　明
①年月日・曜日・週	—	表示中の画面の日付と曜日、その年の第何週目になるかが表示されます。タップすると日付表示画面が表示され、目的の日をタップするとその日の１日表示画面を表示できます。
②終日スケジュール	—	終日スケジュールのタイトルが表示されます。タップすると詳細画面を表示できます。
③予定スケジュール	—	予定スケジュールのタイトルと開始／終了時刻が表示されます。タップすると詳細画面を表示できます。
④メモ		メモが登録されている場合に表示されます。
⑤アラーム		アラームが設定されている場合に表示されます。

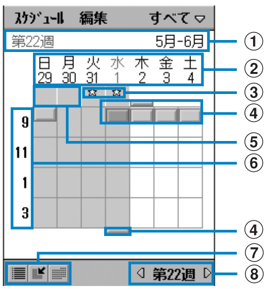
項　目	マーク	説　明
⑥時間	—	ユーザ設定で設定した範囲と間隔で、時刻が表示されます。表示する時刻の範囲と間隔は変更できます。→P375 「マイフォルダ」に登録されている終日スケジュールがある場合は水色、それ以外の色が設定されているフォルダに登録されている場合はその色で時刻欄が表示されます。→P365 ただし、同じ時刻に2つ以上のスケジュールが登録されている場合は、時刻欄が黒色で表示されます。
⑦通知スケジュール	☆	通知スケジュールのタイトルが表示されます。タップすると詳細画面を表示できます。
⑧画面切り替え	／／	タップして1日表示／週表示／月表示を切り替えます。
⑨曜日切り替え	—	タップして曜日を切り替えます。◁／▷をタップすると、選択した曜日の1週間前／後の1日表示画面を表示できます。

■表示するフォルダを切り替えるとき

メニューバーの「すべて」※▶表示するフォルダを順にタップする

※：前回、表示したフォルダ名が表示されます。

2 （週表示）／（月表示）をタップする



週表示画面



月表示画面

項　目	マーク	説　明
①月・週	—	表示中の画面の月と、その年の第何週目になるかが表示されます。タップすると日付表示画面が表示され、目的の日をタップするとその日を含む週表示画面を表示できます。
②日付・曜日	—	表示中の週の日付と曜日が表示されます。タップするとその日の1日表示画面を表示できます。
③通知スケジュール（週表示）	☆	通知スケジュールがある場合に表示されます。タップすると、画面下部にタイトルと通知時刻が表示され、再度タップすると詳細画面を表示できます。2つ以上のスケジュールがある場合は、画面下部から目的のスケジュールをタップすると詳細画面を表示できます。
④予定スケジュール（週表示）	／	予定スケジュールがある場合に表示され、表示時間外のものは欄外に表示されます。「マイフォルダ」に登録されている場合は水色、それ以外の色が設定されているフォルダに登録されている場合はその色で表示されます。→P365 タップすると画面下部にタイトルと開始／終了時刻が表示され、再度タップすると詳細画面を表示できます。2つ以上のスケジュールがある場合は、画面下部から目的のスケジュールをタップすると詳細画面を表示できます。

次のページへ続く

項　目	マーク	説　明
⑤終日スケジュール（週表示）	―	終日スケジュールがある場合に表示されます。「マイフォルダ」に登録されている場合は水色、それ以外のフォルダで色が設定されている場合はその色で表示されます。→P365 ただし、2つ以上の終日スケジュールが登録されている場合は、後に登録されたものの色が優先して表示されます。 日付・曜日の下のエリアをタップすると、画面下部にタイトルと「12：00 am-12:00 am」が表示され、再度タップすると詳細画面を表示できます。2つ以上のスケジュールがある場合は、画面下部から目的のスケジュールをタップすると詳細画面を表示できます。
⑥時間	―	ユーザ設定で設定した範囲で時刻が2時間おきに表示されます。表示する時刻の範囲は変更できます。→P375
⑦画面切り替え	／／	タップして1日表示／週表示／月表示を切り替えます。
⑧週切り替え	―	タップして週を切り替えます。
⑨年・月	―	表示中の画面の年と月が表示されます。タップすると日付表示画面が表示され、目的の日をタップするとその日を含む月表示画面を表示できます。
⑩終日スケジュール（月表示）	―	終日スケジュールがある場合は水色で表示されます。タップすると、1日表示画面を表示できます。
⑪予定スケジュール（月表示）		予定スケジュールがある場合に表示されます。タップすると、1日表示画面を表示できます。
⑫通知スケジュール（月表示）		通知スケジュールがある場合に表示されます。タップすると、1日表示画面を表示できます。
⑬週	―	その年の第何週目かが表示されます。タップするとその週の週表示画面を表示できます。
⑭月切り替え	―	タップして月を切り替えます。

■スケジュール画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「スケジュール」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「スケジュール」

新規 P366
検索 P377
このフォルダを送信 P372
項目削除....................P373

「編集」

削除を元に戻す※..............P374
項目の貼り付け※..............P373
ユーザ設定 P375

※：1日表示画面のみ表示

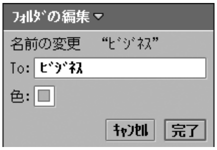
- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

■登録先のフォルダを色分けするとき

フォルダごとに色を設定し、スケジュールの登録時に登録先のフォルダを指定すると、各スケジュールが1日表示画面や週表示画面で色分けして表示されます。

フォルダの色を設定するには、次のように操作します。

①スケジュール画面でメニューバーの「すべて」◆「フォルダの編集」を順にタップし、フォルダ画面で設定するフォルダ◆［編集］を順にタップする



To ：フォルダ名が表示されます。変更することもできます。

色 ：フォルダに設定されている色が表示されます。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

②「色」欄◆設定する色を順にタップする

③［完了］をタップする

お知らせ

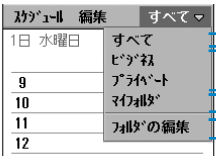
- スケジュール画面には、祝日は表示されません。
- 1日表示、週表示の表示方法を変更できます。→P375
- 曜日の表示方法を変更できます。→P376

スケジュールをフォルダ別に表示する

フォルダを指定してスケジュールを登録した場合は、フォルダを切り替えることでそれぞれのフォルダに登録されているスケジュールだけを表示できます。

1 スケジュール画面でメニューバーの「すべて」※をタップする

※：前回、選択したフォルダ名が表示されます。



- スケジュール画面の表示方法→P362

すべてのスケジュールを表示します。

お買い上げ時に設定されているフォルダです。

各フォルダにあるスケジュールを表示します。

フォルダを指定しないで登録したスケジュールを表示します。

フォルダの作成／編集／削除をします。→P341

2 表示するフォルダをタップする

スケジュールを登録する

スケジュールを登録し、指定した日時にアラーム音でお知らせするように設定できます。
スケジュールには次の３種類があります。

予定スケジュール	通常のスケジュールです。開始時間と終了時間を設定します。
通知スケジュール	開始時間のみを設定するスケジュールです。
終日スケジュール	日付をまたいだスケジュールです。開始日と終了日を設定します。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（スケジュール）を順にタップし、スケジュール画面でメニューバーの「スケジュール」▶「新規」を順にタップする



1日表示画面などに表示するスケジュールのタイトルなどを入力します。

種類　：スケジュールの種類を、「予定」「通知」「終日」から選択します。

日付／開始日・終了日
：スケジュールの日付を設定します。種類が「予定」または「通知」の場合は日付の入力欄、種類が「終日」の場合は開始／終了日の入力欄が表示されます。

開始・終了／開始：種類が「予定」の場合は開始／終了時刻の入力欄、種類が「通知」の場合は開始時刻の入力欄が表示されます。種類が「終日」の場合は時刻の入力欄は表示されません。

場所　：場所を入力します。

アラーム　：アラームを設定します。設定した場合のみアラームの日付・時刻を設定します。
☑が鳴らす、☐が鳴らさない状態です。

定期的な予定　：スケジュールを定期的に繰り返すかどうかを設定します。種類が「予定」または「通知」の場合のみ設定できます。

プライベート　：スケジュールをプライベートに設定します。スケジュールをvCalendar（電子スケジューラ）形式のファイルとして送信したり、デスクトップスイートを利用して同期させたとき、メモの内容が送信されません。
☑が設定する、☐が解除する状態です。

- 「プライベート」を設定しても、SyncMLを利用してSyncMLサーバと同期させたとき、デスクトップスイートを利用してスケジュールのバックアップを行ったとき、または同期したデータを表示するアプリケーションによっては、メモが表示される場合があります。

「　」タブ　：メモを入力します。

2 タイトルを入力する

- 全角／半角を問わず、200文字まで入力できます。

3 「種類」欄をタップし、スケジュールの種類を選択する

4 日付を設定する

■種類が「予定」または「通知」のとき

「日付」欄をタップし、日付を設定する

- 日付の設定方法→P64

■種類が「終日」のとき

「開始日」欄／「終了日」欄をタップし、開始／終了日を設定する

- 日付の設定方法→P64

5 時刻を設定する

■種類が「予定」のとき

「開始」欄／「終了」欄をタップし、開始／終了時刻を設定する

- 時刻の設定方法→P64

■種類が「通知」のとき

「開始」欄をタップし、通知時刻を設定する

- 時刻の設定方法→P64

6 「場所」欄をタップし、場所を入力する

- 全角／半角を問わず、20文字まで入力できます。
- をタップすると、以前に入力したものが 10 件まで表示され、タップすると選択できます。

7 「アラーム」の をタップする

「アラーム」の下にアラームを鳴らす日時の入力欄が表示されます。

- 終日スケジュールを設定するときは操作10に進みます。

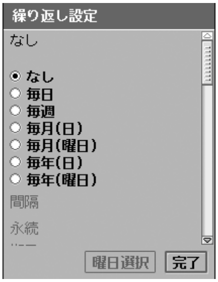
■アラーム日時を設定するとき

アラームの時刻／日付の入力欄をタップし、アラーム日時を設定する

- 日付・時刻の設定方法→P64
- アラーム日時は、スケジュールの開始時刻または開始日以降に設定できません。

次のページへ続く

8 「定期的な予定」欄をタップする



なし　　　　：繰り返しを設定しません。

毎日　　　　：「間隔」で指定した日ごとに、スケジュールを繰り返します。

毎週　　　　：「間隔」で指定した週ごとに、指定した曜日にスケジュールを繰り返します。

毎月（日）　：「間隔」で指定した月ごとに、同じ日にスケジュールを繰り返します。

毎月（曜日）：「間隔」で指定した月ごとに、同じ週の同じ曜日に、スケジュールを繰り返します。

毎年（日）　：「間隔」で指定した年ごとに、同じ月の同じ日に、スケジュールを繰り返します。

毎年（曜日）：「間隔」で指定した年ごとに、同じ月の同じ週、同じ曜日に、スケジュールを繰り返します。

間隔　　　　：何日ごと／何週ごと／何年ごとにスケジュールを繰り返すかを設定します。

永続　　　　：期日を設定せずに繰り返すように設定します。

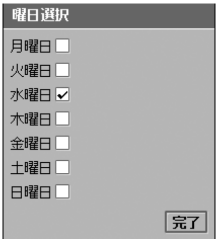
期日　　　　：繰り返しの期日を設定します。
「永続」を設定していると設定できません。

9 設定する動作の○▶[完了]を順にタップする

- 「○毎週」をタップすると、[曜日選択]をタップできます。

■曜日を設定するとき

①[曜日選択]をタップする



②設定する曜日の□▶[完了]を順にタップする

■間隔を設定するとき

「間隔」欄の▲／▼をタップし、繰り返す間隔を設定する

- 1～100まで設定できます。ただし、2100年12月31日を超える設定はできません。
- 「間隔」欄に直接数字を入力することもできます。100より大きい数値を入力した場合は、[完了]をタップすると、自動的に「100」に変更して設定されます。

■永続を設定するとき

「永続」の□をタップする

■期日を設定するとき

「期日」欄をタップし、日付を設定する

- 2100年12月31日まで設定できます。
- 日付の設定方法→P64

10 「プライベート」の□をタップする

11 「□」タブをタップする



メモ入力画面

12 メモを入力する

- 全角／半角を問わず、1024文字まで入力できます。

13 メニューバーの「マイフォルダ」▶保存先のフォルダを順にタップする

- 保存先のフォルダを指定しない場合は、「マイフォルダ」に保存されます。
- フォルダを作成／編集／削除できます。→P341

14 [↩]をタップする

■スケジュールの登録画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「スケジュール」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「スケジュール」

新規 ………………… P366
検索 ………………… P377
送信 ………………… P371
ToDoリストへ移動 ………… P372
項目削除 ………………… P373

「編集」

削除を元に戻す ………… P374
項目の切り取り ………… P373
項目のコピー ………… P373
文字の切り取り ………… P546
文字のコピー ………… P546
文字の貼り付け ………… P547
ユーザ設定 ………… P375

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

お知らせ

- メモまたは場所を入力し、スケジュールのタイトルを入力しないで登録した場合は、タイトルには自動的にスケジュールの種類（予定／通知／終日）が入力されます。ただし、タイトル、メモおよび場所のいずれも入力しないで登録した場合は、スケジュールは保存されません。
- 1日表示画面で時間をタップしても、スケジュール登録画面を表示できます。
- アラーム開始時刻をスケジュール開始時刻／開始日以降に設定したままで他のアプリケーションを起動すると、アラーム時刻をスケジュールの開始時刻／開始日に変更して登録されます。
- 予定スケジュールの登録画面に表示される開始時刻と終了時刻の間隔は、あらかじめ設定できます。→P375
- アラームの設定時に自動的に表示されるアラーム時刻は、あらかじめ設定できます。→P376
- アラーム音は変更できます。→P376
- スケジュールを登録中で何か入力しているときに、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの登録内容は自動的に保存されます。登録が途中の場合は、再度登録画面を表示して完了してください。→P370　ただし、何も入力されていない場合は、切り替わる前の内容は保存されません。

- 繰り返しや曜日を設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

スケジュールを確認／修正する

スケジュール画面から設定したスケジュールを選択すると、詳細画面が表示されます。詳細画面で内容を修正して登録し直すこともできます。

1 スケジュール画面で確認するスケジュールをタップする



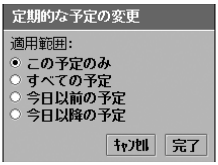
詳細画面

- スケジュール画面の表示方法→P362

2 内容を修正し、[↩] をタップする

- スケジュールの登録方法→P362

■繰り返しのスケジュールを修正したとき



[↩] をタップすると、左の画面が表示されます。変更を適用する項目の ○ ▶［完了］を順にタップします。

この予定のみ：編集したスケジュールのみ変更します。

すべての予定：繰り返しのスケジュールをすべて変更します。

今日以前の予定
：以前の繰り返しのスケジュールをすべて変更します。

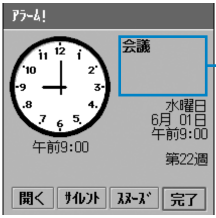
今日以降の予定
：以降の繰り返しのスケジュールをすべて変更します。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

- SyncMLを利用して、SyncMLサーバとスケジュールを同期できます。→P599
- 詳細画面でのメニューバーの項目は、スケジュールの登録画面と同じです。→P369

スケジュールのアラーム時間になると



タイトル表示エリア

設定したアラーム音が鳴り、アラーム画面が表示されます。

開く　　　：アラームを停止し、スケジュールの詳細画面を表示します。
サイレント：アラーム画面を表示したままアラームを停止します。
スヌーズ　：アラームを停止してアラーム画面を閉じます。5分経過すると再度アラーム画面が表示され、アラームが鳴ります。
完了　　　：アラームを停止し、アラーム画面を閉じます。

お知らせ

- アラームを設定していない場合は、スケジュールの時間になっても画面表示など、スケジュールをお知らせする動作は行われません。
- 全角で15文字、半角で33文字まで登録したタイトルがタイトル表示エリアに表示されます。表示しきれない部分がある場合は、タイトル部分から下方向へドラッグすると、残りのタイトルを表示できます。
- 設定したアラーム音が鳴っているときに、音声電話やテレビ電話の着信、スケジュールを設定してEメールを受信（→P257）、Eメールの自動受信（→P273）した場合アラームを停止します。
- 音声電話やテレビ電話の通話中には、ピーという短いアラーム音が鳴りアラーム画面が表示されます。設定したアラーム音は鳴りません。
- 電源を切っている場合、設定した時間になっても電源は入らず、アラーム音も鳴りません。ただし、電源を切って充電中の場合はアラーム音が鳴ります。
- タイトルに電話番号やEメールアドレス、URLを入力している場合は、アラーム設定と同様に電話の発信やメールの作成、インターネット接続などの操作ができます。→P361

送信／このフォルダを送信

登録内容を送信する

スケジュールをvCalendar（電子スケジューラ）形式のファイルとして、EメールやBluetooth経由で送信できます。スケジュールを1件ずつ送信するだけでなく、フォルダごと送信することもできます。

スケジュールを送信する

スケジュールを送信します。

1 **送信するスケジュールの詳細画面でメニューバーの「スケジュール」▶「送信」を順にタップする**

送信形式

メール　　　：Eメールに添付して送信します。
Bluetooth　：Bluetoothで送信します。

- 詳細画面の表示方法→P370

2 **送信画面で「送信形式」欄をタップし、送信方法を選択▶［完了］をタップする**

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

次のページへ続く

お知らせ

- メールアカウントが未設定の場合は、「送信形式」欄に「メール」は表示されません。また、無線LAN接続中は、「Bluetooth」が表示されません。
- Eメール作成→P262
- Bluetooth通信→P510
- デスクトップスイート／SyncMLによってパソコンと同期させたメールアカウントがある場合は、「送信形式 」欄に「PC Mail」が表示されます。デスクトップスイート／SyncML→P587

フォルダ内のスケジュールを送信する

フォルダ内のすべてのスケジュールを送信できます。

1 スケジュール画面でメニューバーの「すべて」※▶送信するフォルダを順にタップする

※：前回、選択したフォルダ名が表示されます。

- スケジュール画面の表示方法→P362

2 メニューバーの「スケジュール」▶「このフォルダを送信」を順にタップする

送信形式

メール　　　：Eメールに添付して送信します。
Bluetooth　：Bluetoothで送信します。

3 送信画面で「送信形式」欄をタップし、送信方法を選択▶[完了]をタップする

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

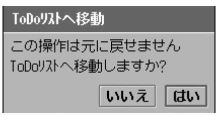
- メールアカウントが未設定の場合は、「送信形式」欄に「メール」は表示されません。また、無線LAN接続中は、「Bluetooth」が表示されません。
- Eメール作成→P262
- Bluetooth通信→P510
- デスクトップスイート／SyncMLによってパソコンと同期させたメールアカウントがある場合は、「送信形式 」欄に「PC Mail」が表示されます。デスクトップスイート／SyncML→P587

ToDoリストへ移動

ToDoリストに登録内容を移動する

スケジュールをToDoリストに移動できます。

1 送信するスケジュールの詳細画面でメニューバーの「スケジュール」▶「ToDoリストへ移動」を順にタップする



- 詳細画面の表示方法→P370
- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

2 [はい]をタップする

お知らせ

- スケジュールをToDoリストへ移動中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、スケジュールはToDoリストに移動されませんのでご注意ください。

項目のコピー／項目の切り取り

スケジュールをコピーする／切り取る

登録したスケジュールのコピー／切り取りを行い、別の日に貼り付けることができます。

1 コピーする／切り取るスケジュールの詳細画面でメニューバーの「編集」➧「項目のコピー」／「項目の切り取り」を順にタップする

- 詳細画面の表示方法→P370

2 貼り付ける日の1日表示画面を表示➧メニューバーの「編集」➧「項目の貼り付け」を順にタップする

- 1日表示画面の表示方法→P362

項目削除

登録内容を削除する

登録したスケジュールを削除します。また、削除する範囲を選択してまとめて削除することもできます。

1件のスケジュールを削除する

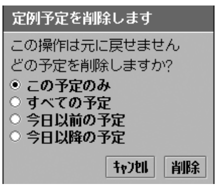
削除するスケジュールを表示してから削除します。

- 削除した繰り返しのスケジュールは、元に戻すことができません。

1 削除するスケジュールの詳細画面でメニューバーの「スケジュール」➧「項目削除」を順にタップする

- 詳細画面の表示方法→P370

■繰り返しのスケジュールを削除するとき



「項目削除」をタップすると、左の画面が表示されます。削除を適用する項目の ◯➧［削除］を順にタップします。

この予定のみ：編集したスケジュールのみ削除します。

すべての予定：繰り返しのスケジュールをすべて削除します。

今日以前の予定
：以前の繰り返しのスケジュールをすべて削除します。

今日以降の予定
：以降の繰り返しのスケジュールをすべて削除します。

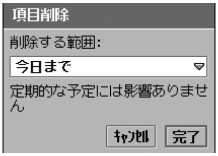
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

スケジュールをまとめて削除する

選択した範囲のスケジュールをまとめて削除します。

- 削除したスケジュールは、元に戻すことができません。

1 **スケジュール画面でメニューバーの「スケジュール」▶「項目削除」を順にタップする**



削除する範囲

スケジュール全体	：すべてのスケジュールを削除します。
今日から	：今日以降のスケジュールを削除します。
今日まで	：今日以前のスケジュールを削除します。
今週	：今週のスケジュールを削除します。
先週	：先週のスケジュールを削除します。
今月	：今月のスケジュールを削除します。
先月	：先月のスケジュールを削除します。
今年	：今年のスケジュールを削除します。
昨年	：昨年のスケジュールを削除します。

- スケジュール画面の表示方法→P362
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 **「削除する範囲」欄をタップし、削除する範囲を選択する**

3 **［完了］をタップする**

お知らせ

- 「スケジュール全体」以外を選択してスケジュールを削除した場合、繰り返しのスケジュールは削除されません。

削除したスケジュールを元に戻す

削除したスケジュールを元に戻すことができます。

- スケジュールをまとめて削除した場合は、元に戻すことができません。
- 繰り返しのスケジュールを削除した場合は、元に戻すことができません。

1 **スケジュールを削除する**

- スケジュールの削除方法→P373

2 **1日表示画面でメニューバーの「編集」▶「削除を元に戻す」を順にタップする**

削除したスケジュールが元に戻り、スケジュール画面に表示されます。

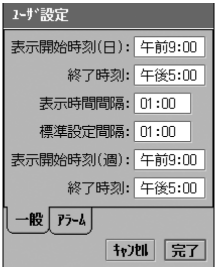
ユーザ設定

スケジュールの表示方法を設定する

お買い上げ時	表示開始時刻（日）：午前９：００　終了時刻：午後５：００　表示時間間隔：０１：００ 標準設定間隔：０１：００　表示開始時刻（週）：午前９：００　終了時刻：午後５：００

スケジュールの１日表示画面や週表示画面の表示方法を設定します。
- スケジュール登録画面にあらかじめ表示される時刻なども、本設定に従います。

1 スケジュール画面でメニューバーの「編集」▶「ユーザ設定」を順にタップする



表示開始時刻（日）
：１日表示画面の時刻表示の始まりを設定します。
終了時刻　：１日表示画面の時刻表示の終わりを設定します。
表示時間間隔：１日表示の時刻表示の間隔を設定します。
標準設定間隔：予定スケジュールの登録時に自動的に表示される開始時刻と終了時刻の間隔を設定します。
表示開始時刻（週）
：週表示画面の時刻表示の始まりを設定します。
終了時刻　：週表示画面の時刻表示の終わりを設定します。

- スケジュール画面の表示方法→P362
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 設定する項目欄をタップし、時間を設定する

- 時刻の設定方法→P64

3 ［完了］をタップする

アラームの時刻表示と音を設定する

お買い上げ時	アラーム事前通知：00：10　アラーム音：Zarathustra.mid

アラームの時刻表示と音を設定します。

1 スケジュール画面でメニューバーの「編集」➡「ユーザ設定」を順にタップし、ユーザ設定画面で「アラーム」タブをタップする



アラーム事前通知：登録時に表示されるアラーム時刻を、スケジュール開始時刻の何分前にするかを設定します。
- スケジュール開始時刻と同時刻に設定する場合は、「00：00」と設定します。

アラーム音：アラーム音を設定します。
- をタップすると、選択したアラーム音を再生して確認できます。再生中にを押すと音量を変更でき、再生中に再度をタップすると停止できます。

- スケジュール画面の表示方法→P362
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 各項目を設定する

- 「アラーム事前通知」
  ：項目欄をタップし、設定します。
  時刻の設定方法→P64
- 「アラーム音」
  ：項目欄をタップし、項目を選択します。

3 ［完了］をタップする

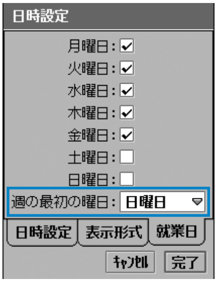
スケジュール画面の曜日表示を設定する

お買い上げ時	週の最初の曜日：日曜日

週の最初の曜日を設定することで、スケジュール画面の曜日表示の並びを変更できます。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）➡（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「一般」タブ➡「日時設定」を順にタップする

2 日時設定画面で「就業日」タブをタップする



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 「週の最初の曜日」欄をタップし、曜日を選択する

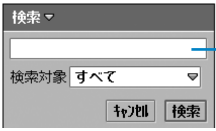
4 ［完了］をタップする

検索

登録内容を検索する

登録されているスケジュールのタイトルや場所、メモをキーワードとして入力するだけで、目的のスケジュールを検索できます。

1 スケジュール画面でメニューバーの「スケジュール」➡「検索」を順にタップする



キーワードの入力欄

検索対象

すべて　　　　　：すべてのスケジュールから検索します。
今日以降の予定：今日以降のスケジュールから検索します。
今日以前の予定：今日以前のスケジュールから検索します。

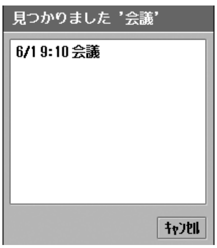
- スケジュール画面の表示方法→P362
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 キーワードを入力する

- 全角／半角を問わず、30文字まで入力できます。
- キーワードには、登録した文字列の一部だけを入力しても検索されます。

3 「検索対象」欄をタップし、検索対象を選択する

4 ［検索］をタップする



- ［キャンセル］をタップすると、検索結果画面を閉じます。

5 目的のスケジュールをタップする

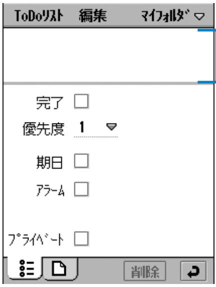
詳細画面が表示されます。→P370

ToDoリスト

ToDoリストを登録する

ToDoリストに用件（用事や予定など）を登録し、指定した期日にアラーム音でお知らせするように設定できます。また、ToDoリスト画面では登録した用件が一覧で表示され、用件の完了／未完を簡単に確認できます。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（ToDo）を順にタップし、ToDoリスト画面でメニューバーの「ToDoリスト」▶「新規」を順にタップする



用件登録画面

ToDoリスト画面に表示するタイトルなどを入力します。

完了：用件を登録後にタップすることで、用件の未完／完了を切り替えます。
☑が完了、□が未完の状態です。

優先度：用件の優先度を設定します。

期日：締め切りの期日を設定します。設定した場合のみ期日の日付を設定します。
☑が設定する、□が設定しない状態です。

アラーム：アラームを設定します。設定した場合のみアラームの日付・時刻を設定します。
☑が鳴らす、□が鳴らさない状態です。

プライベート：用件をプライベートに設定します。用件をvCalendar（電子スケジューラ）形式のファイルとして送信したり、デスクトップスイートを利用して同期させたとき、メモの内容が送信されません。
☑が設定する、□が解除する状態です。
- 「プライベート」を設定しても、SyncML を利用してSyncMLサーバと同期させたとき、デスクトップスイートを利用して用件のバックアップを行ったとき、または同期したデータを表示するアプリケーションによっては、メモが表示される場合があります。

「」タブ：メモを入力します。

2 タイトルを入力する

- 全角／半角を問わず、200文字まで入力できます。

3 「優先度」欄をタップし、優先度を選択する

- 1から9まで設定できます。1が最も優先度が高くなります。

4 「期日」の□をタップする

「期日」の右に締め切り期日の入力欄が表示されます。

■締め切り期日を設定するとき

日付の入力欄をタップし、期日を設定する

- 日付の設定方法→P64

5 「アラーム」の□をタップする

「アラーム」の下にアラームを鳴らす日時の入力欄が表示されます。

- 期日を設定していない状態でアラームを設定すると、自動的に期日が設定されます。

■アラーム日時を設定するとき

日時の入力欄をタップし、アラーム日時を設定する

- 日付・時刻の設定方法→P64
- アラーム日時は、締め切り期日で設定した日時以降に設定できません。

6 「プライベート」の□をタップする

7 「 」タブをタップする



メモ入力画面

8 メモを入力する

- 全角／半角を問わず、1024文字まで入力できます。

9 メニューバーの「マイフォルダ」▶保存先のフォルダを順にタップする

- 保存先のフォルダを指定しない場合は、「マイフォルダ」に保存されます。
- フォルダを作成／編集／削除できます。→P341

10 をタップする

次のページへ続く●●●

■用件登録画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「ToDoリスト」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「ToDoリスト」
- 新規 P378
- 検索 P386
- 送信 P382
- スケジュールへ移動 P383
- ToDoリストの削除. P384

「編集」
- 削除を元に戻す P384
- 項目の切り取り P383
- 項目のコピー. P383
- 文字の切り取り P546
- 文字のコピー. P546
- 文字の貼り付け P547
- ユーザ設定 P385

• 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

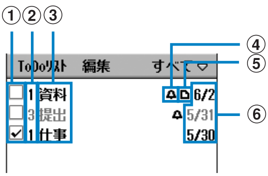
お知らせ

• メモを入力し、用件のタイトルを入力しないで登録した場合は、タイトルには自動的に「ToDoリスト」が入力されます。ただし、タイトルとメモのどちらも入力しないで登録した場合は、用件は保存されません。
• 用件を登録中で何か入力しているときに、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの登録内容は自動的に保存されます。登録が途中の場合は、再度登録画面を表示して完了してください。→P370　ただし、何も入力されていない場合は、切り替わる前の内容は保存されません。

ToDoリストを確認／修正する

ToDoリスト画面から設定した用件を選択し、詳細画面を表示します。詳細画面で内容を修正して登録し直すこともできます。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（ToDo）を順にタップする**



ToDoリスト画面

項　目	マーク	説　明
①未完／完了	☑／☐	用件の完了／未完を切り替えます。 • ☑が完了、☐が未完の状態です。
②優先度	－	用件の優先度が表示されます。
③タイトル	－	用件が表示されます。
④アラーム	🔔	用件にアラームが設定されています。
⑤メモ	🗋	用件にメモが登録されています。
⑥期日	－	用件の期日が表示されます。

• 期日が過ぎた未完の用件は、優先度、タイトル、期日が赤色で表示されます。
• 完了した用件は、日付や優先度に関わらず未完の用件より下に表示されます。また、完了した用件を表示しないように設定できます。→P385
• 期日を表示しないように設定できます。→P385

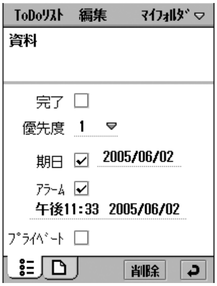
■表示するフォルダを切り替えるとき

メニューバーの「すべて」※▶表示するフォルダを順にタップする

※：前回、表示したフォルダ名が表示されます。

• フォルダ別の表示方法はスケジュールと同じです。→P365

2 確認する用件をタップする



詳細画面

- ［削除］をタップすると、表示中の用件を削除します。

3 内容を修正し、[↩]をタップする

- ToDoリストの登録方法→P378

■ToDoリスト画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「ToDoリスト」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「ToDoリスト」

新規. P378
検索. P386
このフォルダを送信. P382
削除済み項目. P384

「編集」

削除を元に戻す P384
項目の貼り付け P383
優先度順 P385
日付順. P385
ユーザ設定. P385

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。
- 詳細画面でのメニューバーの項目は、用件登録画面と同じです。→P380

お知らせ

- SyncMLを利用して、SyncMLサーバとToDoリストを同期できます。→P599

用件のアラーム時間になると



タイトル表示エリア

設定したアラーム音が鳴り、アラーム画面が表示されます。

開く　：アラームを停止し、用件の詳細画面を表示します。

サイレント　：アラーム画面を表示したままアラームを停止します。

スヌーズ　：アラームを停止してアラーム画面を閉じます。5分経過すると再度アラーム画面が表示され、アラームが鳴ります。

完了　：アラームを停止し、アラーム画面を閉じます。

お知らせ

- アラームを設定していない場合は、用件の期日になっても画面表示など、用件をお知らせする動作は行われません。
- 全角で15文字、半角で33文字まで登録したタイトルがタイトル表示エリアに表示されます。表示しきれない部分がある場合は、タイトル部分から下方向へドラッグすると、残りのタイトルを表示できます。

次のページへ続く

- 設定したアラーム音が鳴っているときに、音声電話やテレビ電話の着信、スケジュールを設定してEメールを受信（→P257）、Eメールの自動受信（→P273）した場合アラームを停止します。
- 音声電話やテレビ電話の通話中には、ピーという短いアラーム音が鳴りアラーム画面が表示されます。設定したアラーム音は鳴りません。
- 電源を切っている場合、設定した時間になっても電源は入らず、アラーム音も鳴りません。ただし、電源を切って充電中の場合はアラーム音が鳴ります。
- タイトルに電話番号やEメールアドレス、URLを入力している場合は、アラーム設定と同様に電話の発信やメールの作成、インターネット接続などの操作ができます。→P361

送信／このフォルダを送信

ToDoリストを送信する

用件をvCalendar（電子スケジューラ）形式のファイルとして、EメールやBluetooth経由で送信できます。用件を1件ずつ送信するだけでなく、フォルダごと送信することもできます。

用件を送信する

用件を送信します。

1 送信する用件の詳細画面でメニューバーの「ToDoリスト」▶「送信」を順にタップする

送信形式

メール　：Eメールに添付して送信します。
Bluetooth　：Bluetoothで送信します。

- 詳細画面の表示方法→P381

2 送信画面で「送信形式」欄をタップし、送信方法を選択▶[完了]をタップする

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

- メールアカウントが未設定の場合は、「送信形式」欄に「メール」は表示されません。また、無線LAN接続中は、「Bluetooth」が表示されません。
- Eメール作成→P262
- Bluetooth通信→P510
- デスクトップスイート／SyncMLによってパソコンと同期させたメールアカウントがある場合は、「送信形式 」欄に「PC Mail」が表示されます。デスクトップスイート／SyncML→P587

フォルダ内の用件を送信する

フォルダ内のすべての用件を送信できます。

1 ToDoリスト画面でメニューバーの「すべて」※▶送信するフォルダを順にタップする

※：前回、選択したフォルダ名が表示されます。

- ToDoリスト画面の表示方法→P380

2 メニューバーの「ToDo リスト」▶「このフォルダを送信」を順にタップする

送信形式

メール　　　：Eメールに添付して送信します。
Bluetooth　：Bluetoothで送信します。

3 送信画面で「送信形式」欄をタップし、送信方法を選択▶[完了]をタップする

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

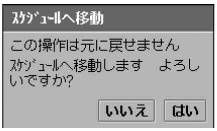
- メールアカウントが未設定の場合は、「送信形式」欄に「メール」は表示されません。また、無線LAN接続中は、「Bluetooth」が表示されません。
- Eメール作成→P262
- Bluetooth通信→P510
- デスクトップスイート／SyncMLによってパソコンと同期させたメールアカウントがある場合は、「送信形式」欄に「PC Mail」が表示されます。デスクトップスイート／SyncML→P587

スケジュールへ移動

スケジュールに登録内容を移動する

用件をスケジュールに移動できます。

1 送信する用件の詳細画面でメニューバーの「ToDo リスト」▶「スケジュールへ移動」を順にタップする



- 詳細画面の表示方法→P381
- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

2 [はい]をタップする

お知らせ

- 用件をスケジュールへ移動中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、用件はスケジュールに移動されませんのでご注意ください。

項目のコピー／項目の切り取り

用件をコピーする／切り取る

登録した用件のコピー／切り取りを行い、新しい用件として貼り付けます。

1 コピーする／切り取る用件の詳細画面でメニューバーの「編集」▶「項目のコピー」／「項目の切り取り」を順にタップする

- 詳細画面の表示方法→P381

次のページへ続く

2 ToDoリスト画面でメニューバーの「編集」▶「項目の貼り付け」を順にタップする

- ToDoリスト画面の表示方法→P380

ToDoリストの削除／削除済み項目

ToDoリストを削除する

ToDoリストに登録した用件を削除します。また、完了した用件をまとめて削除することもできます。

1件の用件を削除する

削除する用件を表示してから削除します。

1 削除する用件の詳細画面で[削除]をタップする

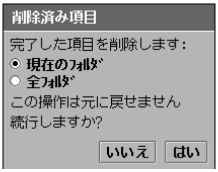
- 詳細画面の表示方法→P381

完了した用件をまとめて削除する

完了した用件をまとめて削除します。

- 削除した用件は、元に戻すことができません。

1 ToDoリスト画面でメニューバーの「ToDoリスト」▶「削除済み項目」を順にタップする



現在のフォルダ：現在表示しているフォルダ内の完了した用件を削除します。

全フォルダ：全フォルダ内の完了した用件を削除します。

- ToDoリスト画面の表示方法→P380
- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

2 「◯現在のフォルダ」／「◯全フォルダ」▶[はい]を順にタップする

削除した用件を元に戻す

削除した用件を元に戻すことができます。

- 完了した用件をまとめて削除した場合は、元に戻すことができません。

1 用件を削除する

- 用件の削除方法→P384

2 ToDoリスト画面でメニューバーの「編集」▶「削除を元に戻す」を順にタップする

削除した用件が元に戻り、ToDoリスト画面に表示されます。

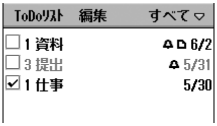
- ToDoリスト画面の表示方法→P380

ToDoリストを並べ替える

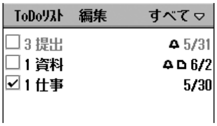
お買い上げ時 | ◉優先度順

ToDoリスト画面の用件の表示方法を、優先度順と日付順で切り替えます。

1 ToDoリスト画面でメニューバーの「編集」➡「◯優先度順」／「◯日付順」を順にタップする



優先度順



日付順

- ToDoリスト画面の表示方法→P380

ユーザ設定

ToDoリストの表示方法と音を設定する

お買い上げ時 | 期日を表示：☑　完了分を表示：☑　アラーム音：Door_Bell.mid

ToDoリスト画面の表示やアラーム音などを設定します。

1 ToDoリスト画面でメニューバーの「編集」➡「ユーザ設定」を順にタップする



期日を表示　：ToDoリスト画面に期日を表示するかどうかを設定します。
☑が表示する、□が表示しない状態です。

完了分を表示：ToDoリスト画面に完了した用件を表示するかどうかを設定します。
☑が表示する、□が表示しない状態です。

アラーム音　：アラーム音を設定します。
- 🔈をタップすると、選択したアラーム音を再生して確認できます。再生中に⇕を押すと音量を変更でき、再生中に再度🔈をタップすると停止できます。

- ToDoリスト画面の表示方法→P380

2 各項目を設定する

- 「期日を表示」「完了分を表示」
  ：□／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。
- 「アラーム音」
  ：項目欄をタップし、項目を選択します。

3 [完了]をタップする

ToDoリストを検索する

ToDoリストに登録されているタイトルやメモをキーワードとして入力するだけで、目的の用件を検索できます。

1 ToDoリスト画面でメニューバーの「ToDoリスト」▶「検索」を順にタップする



キーワードの入力欄

検索対象

全フォルダ　　：すべてのフォルダから検索します。

現在のフォルダ：現在表示しているフォルダから検索します。

- ToDoリスト画面の表示方法→P380
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 キーワードを入力する

- 全角／半角を問わず、30文字まで入力できます。
- キーワードには、登録した文字列の一部だけを入力しても検索されます。

3 「検索対象」欄をタップし、検索対象を選択する

4 ［検索］をタップする



- ［キャンセル］をタップすると、検索結果画面を閉じます。

5 目的の用件をタップする

詳細画面が表示されます。→P381

よく使う機能を手早く実行する

ユーザ設定
アプリケーション選択バーのアプリケーションを変更する

お買い上げ時	ホーム　電話　ブラウザ　メール　電話帳

アプリケーション選択バーに登録されているアプリケーションを変更できます。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶メニューバーの「表示」▶「ユーザ設定」を順にタップする**



2 **変更するアプリケーションのアイコン▶「アプリケーション設定」欄を順にタップし、登録するアプリケーションを選択▶[完了]をタップする**

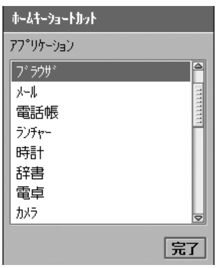
登録したアプリケーションのアイコンがアプリケーション選択バーに表示されます。

ホームキーショートカット
ホームキーから起動できるアプリケーションを変更する

お買い上げ時	ブラウザ

ホームキーを約１秒押すと、登録したアプリケーションを起動できます。ホームキーに登録したアプリケーションは変更できます。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「ホームキーショートカット」を順にタップする**



2 **登録するアプリケーション▶[完了]を順にタップする**

次のページへ続く

お知らせ

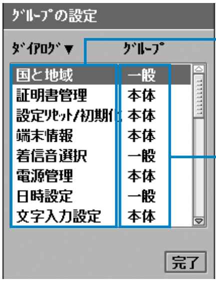
- ホームキーにアプリケーションを設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

グループの設定

コントロールパネルのグループを変更する

コントロールパネルの項目は、あらかじめ3つのグループに分けて登録されており、それぞれ「本体」「接続」「一般」のタブに表示されます。各項目のグループは変更できます。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面でメニューバーの「コントロールパネル」▶「グループの設定」を順にタップする

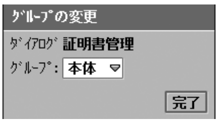


コントロールパネルの項目が表示されます。

項目のグループが表示されます。

- 「ダイアログ」／「グループ」をタップすると、選択した方法で並べ替えて表示されます。

2 変更する項目をタップする



ダイアログ：選択した項目の名前が表示されます。
グループ：グループを設定します。

3 「グループ」欄をタップし、グループを選択▶[完了]をタップする

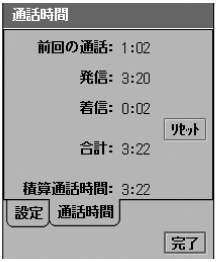
通話時間

通話時間を確認する

音声電話、テレビ電話などの前回および積算の通話時間を確認できます。

- 通話時間は、音声電話通話時間とデジタル通信通話時間（テレビ電話通話時間＋64Kデータ通信時間）が表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 表示される通話時間はあくまで目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「通話時間」を順にタップし、通話時間画面で「通話時間」タブをタップする



通話時間画面

前回の通話　：最後に行った電話の通話時間が表示されます。
発信　：発信による通話時間の合計が表示されます。
着信　：着信による通話時間の合計が表示されます。
合計　：リセットしてから現在までの通話時間の合計が表示されます。
積算通話時間　：現在までの通話時間の合計が表示されます。リセットできません。ただし、初期化を行うとリセットされます。

お知らせ

- パケット通信の通信時間はカウントされません。インターネット接続などのバイト数については、バイトカウンタで確認できます。→P390
- 前回の音声電話の通話時間やデジタル通信通話時間が596522時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントします。
- 積算の音声電話の通話時間やデジタル通信通話時間が596522時間59分59秒を超えると、0秒に戻ってカウントします。
- 着信中や相手を呼び出している時間はカウントされません。

リセット

通話時間をリセットする

通話時間をリセットします。

- 積算通話時間以外のすべての通話時間がリセットされます。

1 通話時間画面で「通話時間」タブ▶[リセット]を順にタップする

- 通話時間画面の表示方法→P389

2 リセット画面で[はい]をタップする

- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

パケット通信時のデータ量の情報を確認する

バイトカウンタを利用してパケット通信時の送受信バイト数を確認できます。FOMA端末を利用したパケット通信（パソコンなどに接続して使用した場合も含む）すべてが対象になります。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「接続」タブ▶「バイトカウンタ」を順にタップする

■「合計」を表示するとき

前回バイト数をリセットしてから「合計」タブを表示するまでの、パケット通信の送受信バイト数が表示されます。

「合計」タブをタップする



バイトカウンタ画面

送信　：送信バイト数が表示されます。
受信　：受信バイト数が表示されます。
合計　：合計バイト数が表示されます。

- ［更新］をタップすると、最新の値に更新します。
- ［リセット］をタップし、リセットの確認画面で［はい］をタップすると、値をリセットします。

■「現在」を表示するとき

今回接続してから「現在」タブを表示するまでの、パケット通信の送受信バイト数が表示されます。

「現在」タブをタップする



送信　：送信バイト数が表示されます。
受信　：受信バイト数が表示されます。
合計　：合計バイト数が表示されます。

- ［更新］をタップすると、最新の値に更新します。

■「最後」を表示するとき

前回接続してから切断するまでの、パケット通信の送受信バイト数が表示されます。

「最後」タブをタップする



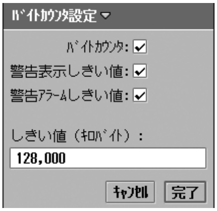
送信　：送信バイト数が表示されます。
受信　：受信バイト数が表示されます。
合計　：合計バイト数が表示されます。

バイトカウンタを設定する

お買い上げ時	バイトカウンタ：☑　警告表示しきい値：☑ 警告アラームしきい値：☑　しきい値（キロバイト）：128,000

バイトカウンタに関する設定を行います。

1　バイトカウンタ画面で［設定］をタップする



バイトカウンタ：バイトカウンタを有効にするかしないかを設定します。
☑が有効、□が無効の状態です。

警告表示しきい値：送受信バイト数が「しきい値」を超えた場合に、警告画面を表示するかしないかを設定します。
☑が表示する、□が表示しない状態です。

警告アラームしきい値：送受信バイト数が「しきい値」を超えた場合に、警告音を鳴らすかどうかを設定します。
☑が鳴らす、□が鳴らさない状態です。

しきい値（キロバイト）：「警告表示しきい値」「警告アラームしきい値」に使用するしきい値を設定します。
- 4,194,304キロバイトまで入力できます。

- バイトカウンタ画面の表示方法→P390
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

次のページへ続く

2 各項目を設定する

- 「バイトカウンタ」「警告表示しきい値」「警告アラームしきい値」
  ：□／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。
  バイトカウンタを無効にする場合は、「バイトカウンタ」の☑をタップし、無効の確認画面で［はい］をタップします。
- 「しきい値（キロバイト）」
  ：項目欄をタップし、文字を入力します。

3 [完了]をタップする

お知らせ

- パケット通信中は設定できません。
- 音声電話の通話中やマナーモード設定中は、警告音が鳴りません。

FOMA端末本体の情報を表示する

FOMA端末本体のシステム情報や、ハードウェア／ソフトウェア情報を確認できます。

システム情報

FOMA端末のシステム情報を表示する

1 アプリケーション選択バーの⁘（アプリケーションランチャー）▶メニューバーの「表示」▶「システム情報」を順にタップする

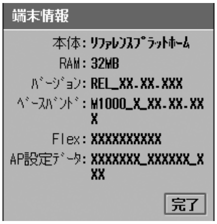


- ［確認］をタップすると、アプリケーションランチャー画面に戻ります。

端末情報

FOMA端末のハードウェア／ソフトウェア情報を表示する

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「端末情報」を順にタップする**



本体：本体名が表示されます。
RAM：メモリ容量が表示されます。
バージョン：補助プロセッサのバージョンが表示されます。
ベースバンド：ベースバンドプロセッサのバージョンが表示されます。
Flex：ベースバンドプロセッサの構成データ名が表示されます。
AP設定データ：補助プロセッサの構成データ名が表示されます。

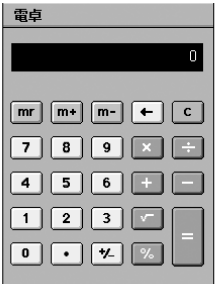
電卓

電卓として使う

電卓画面を表示して四則演算やメモリ計算、%を使って百分率計算などができます。

- 12桁まで表示できます。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（電卓）を順にタップする**



電卓画面

[0] ～ [9]：タップして数字を入力します。
[・]：タップすると、小数点を入力します。
[＋／−]：タップするたびに入力した数字の＋／−を切り替えます。
[←]：タップすると、入力した数字を右から1桁ずつ削除します。
[C]：タップすると、計算を中止してすべての数字を削除します。
[×][÷][＋][−]
：タップして四則演算を行います。
[＝]：タップすると、計算が実行されます。
[√]：タップすると、表示された数字の平方根を表示します。
[%]：タップすると、表示した数字を百分率として計算します。
[m＋]：タップすると、入力した数字や計算した値をメモリに足します。
[m−]：タップすると、入力した数字や計算した値をメモリから引きます。
[mr]：タップすると、メモリ計算の値を表示します。

次のページへ続く ●••

2 計算する

- ［C］をタップすると、計算結果を消去します。
- ［mr］を2回タップすると、メモリに保存された数字を消去します。

■電卓画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「電卓」をタップすると、次の項目が表示されます。

「電卓」

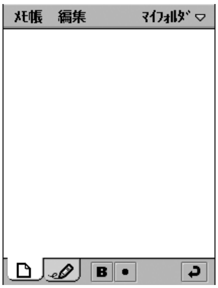
コピー……P546
貼り付け……P547

メモ帳

メモを入力する

FOMA端末をメモ帳として使い、テキストや手書きのイラストなどを登録できます。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（メモ帳）を順にタップし、メモ帳画面でメニューバーの「メモ帳」▶「新規」を順にタップする



テキストメモ登録画面

B：入力した文章を指定してタップすると空白までの間の文章が太字になります。再度タップすると、太字の入力を解除します。テキストをドラッグして範囲を指定してからタップすると、指定した範囲のテキストを太字にします。太字をドラッグして選択してからタップすると、通常の文字の太さに戻ります。

・：箇条書きする行をタップしてカーソルを移動してからタップすると、選択した行の先頭に「・」を入れて箇条書きのスタイルにします。再度タップすると元に戻ります。

2 テキストを入力する

- 入力できる文字数は、FOMA端末のメモリ残量により異なります。

■入力したテキストをすべて削除するとき

メニューバーの「編集」▶「元に戻す」を順にタップする

■入力したテキストをすべて選択するとき

メニューバーの「編集」▶「すべて選択」を順にタップする

テキストがすべて選択されます。

3 メニューバーの「マイフォルダ」▶保存先のフォルダを順にタップする

- 保存先のフォルダを指定しない場合は、「マイフォルダ」に保存されます。
- フォルダを作成／編集／削除できます。→P341

4 をタップする

■テキストメモ登録画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「メモ帳」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「メモ帳」

新規 P394
送信 P398
メモの削除 P400

「編集」

元に戻す P394
切り取り P398
コピー P398
貼り付け P398
すべて選択 P394

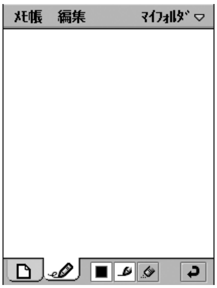
- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

手書きで文字やイラストを入力する

手書きで文字やイラストを入力し、メモに登録します。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（メモ帳）を順にタップし、メモ帳画面でメニューバーの「メモ帳」▶「新規」を順にタップする**

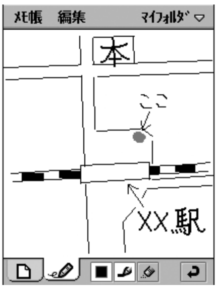
2 **テキストメモ登録画面で「」タブをタップする**



手書きメモ登録画面

■ ：タップすると、線の色を変更できます。
：タップすると、線の太さを変更できます。
：タップすると、ドラッグして線を消すことができます。再度タップすると、線を描くことができます。

3 **テキストやイラストを入力する**



ドラッグすることで文字やイラストを描くことができます。

■最後の操作を取り消すとき

メニューバーの「編集」▶「元に戻す」を順にタップする

画面が元の状態に戻ります。

次のページへ続く ●●●

■操作をやり直すとき

メニューバーの「編集」▶「やり直し」を順にタップする

取り消した操作を元に戻します。

■文字／イラストをすべて消去するとき

メニューバーの「編集」▶「スケッチ消去」を順にタップする

入力した文字／イラスト全体を消去します。

4 メニューバーの「マイフォルダ」▶保存先のフォルダを順にタップする

- 保存先のフォルダを指定しない場合は、「マイフォルダ」に保存されます。
- フォルダを作成／編集／削除できます。→P341

5 をタップする

■手書きメモ登録画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「メモ帳」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「メモ帳」

新規 P395
送信 P398
メモの削除 P400

「編集」

元に戻す P395
やり直し P396
切り取り P398
コピー. P398
貼り付け P398
スケッチ消去. P396

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

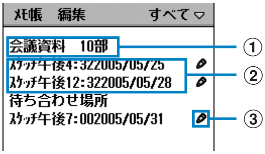
お知らせ

- テキストメモに電話番号やEメールアドレス、URLを入力した場合は、その文字列に下線と色が付いて表示され、アラーム設定と同様に電話の発信やメールの作成、インターネット接続などの操作ができます。→P361
- テキストメモや手書きメモを登録中で何か入力しているときに、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの登録内容は自動的に保存されます。登録が途中の場合は、再度登録画面を表示して完了してください。→P370　ただし、何も入力されていない場合は、切り替わる前の内容は保存されません。

メモを確認／修正する

メモ帳画面から登録したメモを選択すると、詳細画面が表示されます。詳細画面で内容を修正して登録し直すこともできます。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（メモ帳）を順にタップする



メモ帳画面

項　目	マーク	説　明
①テキストメモのタイトル	－	テキストメモの先頭部分が表示されます。
②手書きメモのタイトル	－	手書きメモのみ登録されている場合は「スケッチ」と表示され、登録日時が表示されます。
③手書きメモ	（鉛筆マーク）	手書きメモが登録されています。

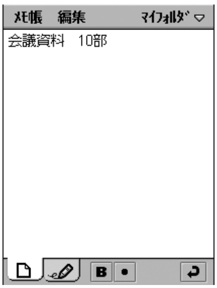
■表示するフォルダを切り替えるとき

メニューバーの「すべて」※▶表示するフォルダを順にタップする

※：前回、表示したフォルダ名が表示されます。

- フォルダ別の表示方法はスケジュールと同じです。→P365

2 確認するメモをタップする



詳細画面

3 内容を修正し、をタップする

- メモの入力方法→P394
- テキストメモを修正中に、メニューバーの「編集」▶「元に戻す」を順にタップすると、修正前の状態に戻ります。

次のページへ続く

■メモ帳画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「メモ帳」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「メモ帳」

新規 P394
検索 P399

「編集」

削除を元に戻す P400
貼り付け .P398

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。
- 詳細画面でのメニューバーの項目は、テキストメモ／手書きメモ登録画面と同じです。→P395、P396

メモの内容をコピーする／切り取る

登録したテキストメモや手書きメモのコピー／切り取りを行い、新しいメモとして貼り付けます。

1 メモ帳画面でコピーする／切り取るメモをタップする

- メモ帳画面の表示方法→P397
- 手書きメモをコピーする／切り取る場合は、操作3に進みます。

2 メモの詳細画面でコピーする／切り取る範囲を指定する

ドラッグして範囲を指定します。

3 メニューバーの「編集」▶「コピー」／「切り取り」を順にタップする

4 メモ帳画面でメニューバーの「編集」▶「貼り付け」を順にタップする

- メモ帳画面の表示方法→P397

お知らせ

- テキストメモのコピー／切り取りを行った場合は、他のアプリケーションの文字入力画面に貼り付けられます。→P547

送信

メモを送信する

登録したメモを、EメールやBluetooth経由で送信できます。

1 送信するメモの詳細画面でメニューバーの「メモ帳」▶「送信」を順にタップする

送信形式

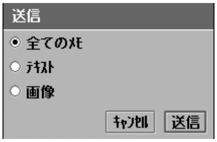
メール　：Eメールに添付して送信します。
Bluetooth　：Bluetoothで送信します。

- 詳細画面の表示方法→P397

2 送信形式選択画面で「送信形式」欄をタップし、送信方法を選択▶[完了]をタップする

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

■Bluetoothを選択したとき



左の画面が表示されます。
送信するメモの◯▶［送信］を順にタップします。

全てのメモ：メモにテキストメモと手書きメモが登録されている場合は、両方を送信します。
テキスト：テキストメモを送信します。
画像：手書きメモを送信します。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

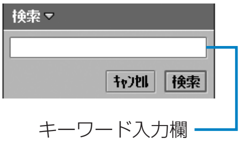
- メールアカウントが未設定の場合は、「送信形式」欄に「メール」は表示されません。また、無線LAN接続中は、「Bluetooth」が表示されません。
- Eメール作成→P262
- Bluetooth通信→P510
- デスクトップスイート／SyncMLによってパソコンと同期させたメールアカウントがある場合は、「送信形式」欄に「PC Mail」が表示されます。デスクトップスイート／SyncML→P587
- 本FOMA端末以外のパソコンなどへBluetooth経由でメモを送信する場合、テキストメモは「◯テキスト」、手書きメモは「◯画像」を選択して送信してください。「◯全てのメモ」を選択して送信した場合、対応していない端末ではメモを表示できません。

検索

メモを検索する

メモに登録されている内容をキーワードとして入力するだけで、目的のメモを検索できます。

1 メモ帳画面でメニューバーの「メモ帳」▶「検索」を順にタップする

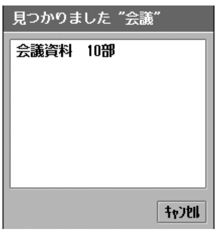


- メモ帳画面の表示方法→P397
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 キーワードを入力する

- 全角／半角を問わず、30文字まで入力できます。
- キーワードには、登録した文字列の一部だけを入力しても検索されます。

3 ［検索］をタップする



- ［キャンセル］をタップすると、検索結果画面を閉じます。

4 目的のメモをタップする

詳細画面が表示されます。→P397

メモの削除
メモを削除する

登録したメモを削除します。

1 **削除するメモの詳細画面でメニューバーの「メモ帳」➧「メモの削除」を順にタップする**

- 詳細画面の表示方法→P397

削除したメモを元に戻す

削除したメモを元に戻すことができます。

1 **メモを削除する**

- メモの削除方法→P400

2 **メモ帳画面でメニューバーの「編集」➧「削除を元に戻す」を順にタップする**

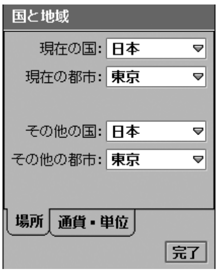
削除したメモが元に戻り、メモ帳画面に表示されます。
- メモ帳画面の表示方法→P397

国と地域
世界各地の時刻を表示する

お買い上げ時	現在の国：日本　現在の都市：東京　その他の国：日本　その他の都市：東京

時計画面で、登録されている現在の都市とその他の都市の時刻を確認できます。現在の都市とその他の都市は変更できます。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）➧（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「一般」タブ➧「国と地域」を順にタップする**



現在の国　：現在の国を設定します。
現在の都市　：選択した国の都市を設定します。
その他の国　：その他の国を設定します。
その他の都市：その他の国の都市を設定します。

2 **設定する項目欄をタップし、国／都市を選択する**

3 **[完了]をタップする**

■設定した国・都市の時刻を確認するには

設定した現在の国・都市とその他の国・都市の時刻は、次の操作で確認できます。

アプリケーション選択バーの (アプリケーションランチャー)▶ (時計)を順にタップする



時計画面

現在の都市に登録されている都市名が表示されます。タップすると国や都市を変更できます。

現在の国の日時と曜日が表示されます。タップすると日付・時刻を設定できます。→P64

その他の都市に登録されている都市名、時刻が表示されます。タップすると国や都市を変更できます。

- 現在の都市／その他の都市の表示をタップすると、選択肢の一部または以前に設定した都市が表示され、タップして選択できます。「その他」をタップすると国と地域画面が表示され、すべての選択肢から国・都市を選択できます。

お知らせ

- 海外で本FOMA端末を使用する際は、滞在先の国／都市を現在の国／都市に設定するとステータスバーなどに滞在先の時刻が表示されるので、時刻を確認するのに便利です。

辞書

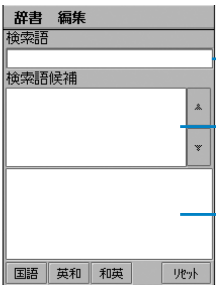
FOMA端末を辞書として利用する

FOMA端末を国語辞書、英和辞書、和英辞書として利用できます。

辞書機能を利用する場合は、添付のFOMA M1000 用CD-ROM1から電子辞書用辞書データをFOMA端末にインストールしてください。→P598

<例：和英辞書で「釣銭」の英単語を調べるとき>

1 **アプリケーション選択バーの (アプリケーションランチャー)▶ (辞書)を順にタップする**



検索語入力エリア

検索語候補表示エリア

検索結果表示エリア

辞書画面

2 「つり」を入力➧[和英]をタップする

検索語候補表示エリアに、入力した検索語に対応する見出し語の一覧が表示されます。

- 見出し語は100件まで表示されます。
- 国語辞書を利用する場合は［国語］、英和辞書を利用する場合は［英和］をタップします。
- メニューバーの「編集」➧「元に戻す」を順にタップすると、前回入力した検索語を入力できます。

3 検索語候補表示エリアから[釣銭]をタップする



検索結果表示エリアに「釣銭」の英訳が表示されます。

- 国語辞書を利用した場合は見出し語の意味など、英和辞書を利用した場合は和訳などが表示されます。

■辞書画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「辞書」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「辞書」

国語 ……P402
英和 ……P402
和英 ……P402

「編集」

元に戻す ……P402
コピー ……P546
貼り付け ……P547
リセット ……P402

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

お知らせ

- 前回に行った検索の結果が画面に表示されている場合は、［リセット］をタップすると、表示を消去できます。
- 検索結果表示エリアの文字列をドラッグして選択し、メニューバーの「編集」➧「コピー」を順にタップすると、文字列をコピーできます。

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

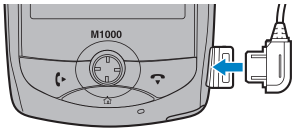
イヤホンマイク端子に別売りのスイッチ付イヤホンマイクを接続すると、相手の声をイヤホンで聞くことができ、スイッチを押すだけで電話をかけることや受けることができます。

- スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻き付けないでください。アンテナがうまく働かなくなり、電波の受信レベルが低下することがあります。
- スイッチ付イヤホンマイクのプラグは、FOMA 端末に確実に差し込んでください。差し込みが不十分な場合は、音が聞こえない場合があります。

スイッチ付イヤホンマイクを接続する

FOMA 端末にスイッチ付イヤホンマイクを接続します。

1 イヤホンマイク端子のカバーを開け、イヤホンマイク端子にスイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込む



お知らせ

- アラートモードを「音を鳴らす」に設定している場合は、スイッチ付イヤホンマイクの取り付け／取り外しを行うと確認音が鳴り、取り付けた／取り外した旨のメッセージが表示されます。
- スイッチ付イヤホンマイクから聞こえる受話音量は変更できます。→P133
- スイッチ付イヤホンマイクのコードおよびスイッチ部分を FOMA 端末に近づけるとノイズが入る場合があります。ご利用になるときは、コードおよびスイッチ部分をFOMA端末から離すようにして使用してください。

スイッチを使って電話をかける

スイッチ付イヤホンマイクを使って電話をかけます。

1 電話番号入力画面で電話番号を入力する

- 電話番号入力画面の表示方法→P70

2 スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す

電話がかかります。

3 お話しが終わったらスイッチを１秒以上押す

電話が切れます。

その他の便利な機能

次のページへ続く ●●●

お知らせ

- 発信履歴や着信履歴、不在着信履歴から ◎ を押して電話をかける相手を選択し、スイッチを押すと、履歴の状態（音声電話／テレビ電話）と同じ方法で電話をかけます。
- 電話帳から電話をかける相手の詳細画面を表示してスイッチを２回押すと、１件目に登録されている電話番号、または電話帳一覧に表示するように設定されている電話番号に音声電話をかけます。
- 待受中にスイッチを２回押すと、最新の発信履歴に電話をかけます。

スイッチを使って電話を受ける

スイッチ付イヤホンマイクを使って電話を受けます。

1 **電話がかかってきたら、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す**

電話に出ます。

- テレビ電話を受けた場合は、カメラ画像がONの状態で通話が開始します。

2 **お話しが終わったらスイッチを１秒以上押す**

電話が切れます。

お知らせ

- スイッチ付イヤホンマイクを接続中に電話がかかってきた場合でも、着信音はイヤホンからは聞こえずにFOMA端末から鳴ります。

通話中にかかってきた別の電話を受ける

キャッチホンをご契約いただき、キャッチホンを設定している場合は、通話中に別の電話がかかってくると「プー･･･プー･･･」という通話中着信音が流れます。このとき電話に出ることができ、通話をする相手を切り替えることができます。

1 **通話中に電話がかかってくる**

通話中着信音が聞こえます。

2 **スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押す**

通話中の電話を保留にし、かかってきた電話を受けます。

- スイッチを １ 秒以上押すと通話中の電話が切れ、保留中の電話との通話が再開されます。

お知らせ

- 通話中はテレビ電話を受けることはできません。

FOMA端末を初期状態に戻す

本FOMA端末には、FOMA端末をお買い上げ時の状態に戻すためのリセット機能が２種類あります。

機能名	説　明
設定リセット	各種機能で変更した設定内容をお買い上げ時の状態に戻します。
初期化	各種機能で変更した設定内容をお買い上げ時の状態に戻すのと同時に、お客様がFOMA端末に登録したデータなども削除してお買い上げ時の状態に戻します。

設定リセット

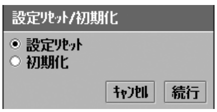
各種機能の設定を初期状態に戻す

各種機能の設定をお買い上げ時の設定に戻します。

- お客様の登録した電話帳などのデータは削除されません。
- 次の設定は初期状態に戻りません。
  - 変更した端末暗証番号やPINコード
  - ドキュメントビューアの設定
  - movianVPNの設定
  - インストールしたアプリケーションの設定※

※：アプリケーションによっては、設定が初期状態に戻る場合があります。

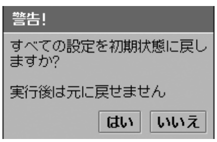
1　アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「設定リセット／初期化」を順にタップする



設定リセット／初期化画面

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2　「設定リセット」▶［続行］を順にタップし、認証パスワード入力画面で認証パスワードを入力▶［完了］をタップする



- 認証パスワード→P152
- 認証パスワード入力画面で［キャンセル］をタップすると、設定リセット／初期化画面に戻ります。
- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

3　［はい］をタップする

FOMA端末が再起動されます。

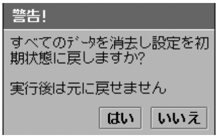
初期化

登録データを一括して削除する

各種機能の設定をお買い上げ時の設定に戻し、お客様がFOMA端末に登録したデータ（電話帳データなど）や通話時間を削除します。また、インストールしたアプリケーションもアンインストールされます。

- 次のデータは削除されません。
  - FOMAカードに登録したデータ
  - TransFlashメモリカードに保存したデータ／ファイル

1 設定リセット／初期化画面で「 初期化」▶[続行]を順にタップし、認証パスワード入力画面で認証パスワードを入力▶[完了]をタップする



- 設定リセット／初期化画面の表示方法→P405
- 認証パスワード→P152
- 設定リセット／初期化画面で［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。
- 認証パスワード入力画面で［キャンセル］をタップすると、設定リセット／初期化画面に戻ります。
- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

2 [はい]をタップする

FOMA端末が再起動されます。再起動後は、初期設定を行ってください。→P63

お知らせ

- FOMA端末が再起動中は、電話がかかってきても着信動作を行いません。電話をかけてきた相手には圏外または電源が入っていない旨のメッセージが流れます。
- インストールしたアプリケーションで作成したデータ／ファイルは、FOMA端末に保存されている場合は削除されるのでご注意ください。
- 初期化中は、を上方向にスライドさせてFOMA端末をロックさせないでください。
- FOMA端末のデータ／ファイルの保存状況によっては、初期化に時間がかかる場合があります。
- 初期化中に電池切れになることを防ぐため、初期化を行う前に電池残量が十分かどうかを確認してください。

アプリケーション

アプリケーションについて

ゲームなどのアプリケーションを、本FOMA端末にインストールして利用することができます。インストールするアプリケーションの取得には次の方法があります。

- **インターネットから取得する→P229**
  インターネットに接続してホームページから対応アプリケーションをダウンロードしてインストール操作を行います。
- **Eメール、Bluetooth受信で取得する→P281、P511**
  Eメールに添付されたアプリケーションや、Bluetoothで受信したアプリケーションを直接タップしてインストール操作を行います。
- **TransFlashメモリカードから取得する→P335**
  パソコンなどを使って、あらかじめアプリケーションをTransFlashメモリカードに保存しておき、それをFOMA端末本体に差し込んでインストール操作を行います。
- **パソコンから取得する→P589、P593**
  添付のFOMA M1000用CD-ROM1から「Motorola Desktop Suite」をパソコンにインストールし、FOMA端末とパソコンをUSB接続ケーブル／Bluetoothで接続してインストール操作を行います。

アプリケーションを利用するにあたっての注意

- **アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。**
- **万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。**
- **お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者へ不利益が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。**

インストール

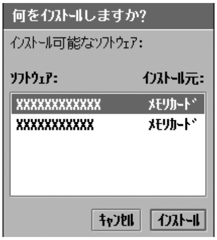
アプリケーションをインストールする

ダウンロードしたアプリケーションや、TransFlashメモリカードに保存されているアプリケーションをインストールして、アプリケーションを本FOMA端末で使えるようにします。
ただし、対応しているファイルでもファイルによってはインストールできなかったり、インストール後に動作しない場合があります。
インストールできる件数（目安）は、インストール後に100Kバイトになるアプリケーションをすべてインストールした場合で最大約190件※までになります。

※：アプリケーションの大きさや、他のアプリケーションによるメモリ使用状況により変動します。

- インストールできるファイルの種類は、Symbian OSに対応した次のファイルになります。
  SIS　：Symbian Installation（.sis）
  JAR　：Java Archive（.jar）
  JAD　：Java Application Descriptor（.jad）

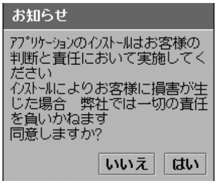
1 アプリケーション選択バーの (アプリケーションランチャー)▶メニューバーの「ランチャー」▶「インストール」を順にタップする



FOMA端末本体／TransFlashメモリカード内にあるインストールデータが表示されます。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 インストールするアプリケーション▶［インストール］を順にタップする



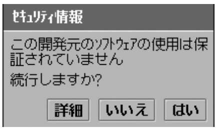
- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

3 ［はい］をタップする



- ［キャンセル］をタップすると、インストールを中止します。
- ［詳細］をタップすると、署名の詳細が表示されます。→P410

■証明書がないアプリケーションをインストールしようとすると



- ［詳細］をタップすると、署名の詳細が表示されます。→P410
  本FOMA端末であらかじめ登録されている証明書については、P238の「証明書を利用する」で確認することができます。
- ［はい］をタップすると、インストールを続けます。
- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

次のページへ続く●●●

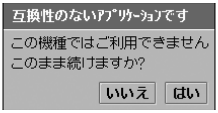
4 [インストール]をタップする

■同じアプリケーションが、既にインストール済みのとき

ソフトウェアの上書き画面が表示されます。

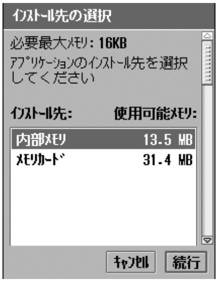
- ［上書き］をタップすると、新しいアプリケーションに上書きされます。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

■本FOMA端末に互換性のないアプリケーションのとき



- ［いいえ］をタップすると、インストールを中止します。
- ［はい］をタップすると、インストールを続けますが、動作は保証されません。

■TransFlashメモリカードが取り付けられているとき



- ［キャンセル］をタップすると、インストールを中止します。
- インストール先を選択して［続行］をタップすると、インストールを開始します。

5 インストール終了画面で[完了]をタップする

アプリケーションランチャーに、インストールしたアプリケーションのマークが表示されます。

■アプリケーションの署名の詳細について

電子署名のあるアプリケーションでは、操作3の画面で［詳細］をタップすると、アプリケーションの署名の詳細を確認できます。

- アプリケーションの署名とは、アプリケーションにされているサインのようなもので、作成者の名前や有効日、有効期限などが記載されています。アプリケーションをバージョンアップするときや、第三者による不正なアプリケーションの書き換えなどを防ぐために使われ、お客様による修正や削除はできません。

お知らせ

- Eメール／Bluetoothで受信したインストールデータは、操作1の画面には表示されません。直接受信データをタップします。→P281、P512
- FOMA端末の保存領域が不足していると、インストールできない場合があります。その場合は保存されている不要なファイルやアプリケーションを削除してください。→P346、P411

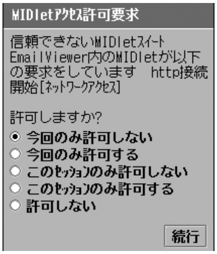
アプリケーションを起動する

インストールしたアプリケーションは、アプリケーションランチャー画面から起動します。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶インストールしたアプリケーションのマークを順にタップする

■**アプリケーション（Java）操作中にMIDletアクセス許可要求画面が表示されたとき**

アプリケーション（Java）では「MIDlet許可」の設定内容によって、次の画面が表示されることがあります。その場合は画面に従って、設定する項目をタップし、［続行］をタップします。



今回のみ許可しない
：今回はアプリケーションからの要求を許可しません。

今回のみ許可する
：今回のみアプリケーションからの要求を許可します。

このセッションのみ許可しない
：現在のセッションではアプリケーションからの要求を許可しません。

このセッションのみ許可する
：現在のセッションでのみアプリケーションからの要求を許可します。

許可しない
：アプリケーションからの要求を許可しません。
- 許可しない機能は、アプリケーションで使えなくなりますのでご注意ください。

お知らせ

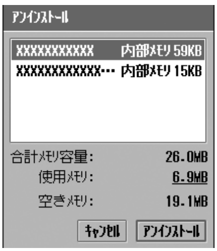
- アプリケーション起動中は、Eメールなどを受信したときの着信音や、スケジュールやToDoなどで設定したアラーム時間になったときのアラーム音が、設定したものとは違う音で鳴ります。

アンインストール

アプリケーションをアンインストールする

インストールしたアプリケーションをアンインストールします。アンインストールしたソフトは使用できなくなりますのでご注意ください。
- アンインストールするアプリケーションを終了してからこの操作を行ってください。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶メニューバーの「ランチャー」▶「アンインストール」を順にタップする



- ［キャンセル］をタップすると、アンインストールを中止します。

次のページへ続く

2 [アンインストール]をタップする



- ［いいえ］をタップすると、操作1の画面に戻ります。

3 [はい]をタップし、アンインストール完了画面で[完了]をタップする

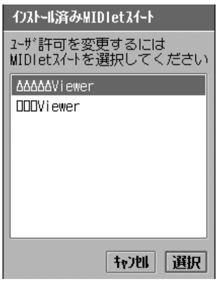
アプリケーションランチャーから、アンインストールしたアプリケーションのマークが削除されます。

MIDlet許可

アプリケーション(Java)からの動作の許可要求時の設定をする

アプリケーション（Java）によっては、自動起動したり、ネットワークへの接続などをするものがあります。本設定により、その動作が行われる前に、確認画面でアプリケーションの動作を確認することができます。

1 アプリケーション選択バーの (アプリケーションランチャー)➧ (コントロールパネル)を順にタップし、コントロールパネル画面で「一般」タブ➧「MIDlet許可」を順にタップする



- ［キャンセル］をタップすると、1つ前の画面に戻ります。

2 許可要求方法を変更するアプリケーション▶[選択]を順にタップし、MIDletスイート詳細画面で「ユーザ許可を選択してください」欄をタップする



アプリケーション自動起動
: アプリケーションから自動起動要求があったときの設定をします。

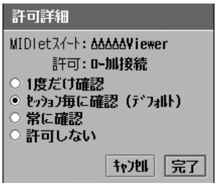
ローカル接続: アプリケーションからローカル接続の利用要求があったときの設定をします。

メール: アプリケーションからショートメッセージ（SMS）機能の利用要求があったときの設定をします。

マルチメディア録音
: アプリケーションからマルチメディア録音の利用要求があったときの設定をします。

ネットアクセス: アプリケーションからインターネットへのアクセス要求があったときの設定をします。

3 変更するユーザ許可▶[変更]を順にタップする



ローカル接続を選択したとき

- ユーザ許可により、設定項目が異なります。

1度だけ確認: 最初の1度だけMIDlet許可要求画面を表示します。

セッション毎に確認
: 新しいセッションが行われるたびに、MIDlet許可要求画面を表示します。

常に確認: 要求が行われるたびに、MIDlet許可要求画面を表示します。

許可しない: 要求を許可しません。
- 許可しない機能は、アプリケーションで使えなくなりますのでご注意ください。

4 許可詳細画面で設定する項目の○▶[完了]を順にタップする

■MIDlet（ミッドレット）ついて

Javaアプリケーションの形式の1つで、小型端末向けのJava仕様であるJ2ME（Java 2 Micro Edition）／CLDC（Connected Limited Device Configuration）／MIDP（Mobile Information Device Profile）によって定義された形式です。ネットワークを通じてデータをダウンロードし、携帯電話などの端末上で動作させることができるJavaプログラムの一種です。

セキュリティスキャンLight

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

サイトからのダウンロードなど外部からFOMA端末に取り込んだデータやプログラムについて、データを検知して、障害を引き起こす可能性を含むデータおよびアプリケーションの削除を行います。
セキュリティスキャンLightは、お客様がスキャン操作を行うことにより、携帯電話に何らかの障害を引き起こすデータが侵入していないかを検知する機能です。各障害に対応したパターンデータが携帯電話にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害などの発生を引き起こすデータを削除することができませんのであらかじめご了承ください。

セキュリティスキャンLightを利用するにあたっての注意

- **アドインアプリケーションのインストールや各種データファイルのコピーなどは安全性を確認の上、自己責任において実施してください。問題要素への感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。**
- **万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。また、その際に消去したデータについては保証いたしかねます。**
- **お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者へ不利益が生じた場合、弊社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

- 取扱説明書に記載されている正しい手順に従ってスキャンを行ってください。
- セキュリティスキャン Light はすべての問題要素などを検出および駆除できるものではありません。ファイルによってはスキャンできないものがあります。
- パターンデータは携帯電話の機種ごとにデータの内容が異なります。よって弊社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。

スキャンを行う前に

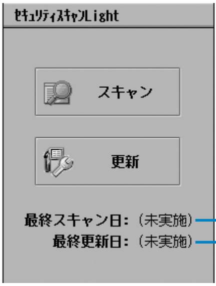
- チェックのためにパターンデータを使います。パターンデータは新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。
- パターンデータの更新を行う際は、電池をフル充電にしておいてください。
- パターンデータの更新中は絶対に電池パックを外さないでください。
- 次の場合はパターンデータを更新できません。
  - FOMAカードを取り付けていないとき
  - PINコードのロック中
  - 着信中
  - テレビ電話の通話中
  - セルフモードを設定中
  - 圏外時
  - 外部機器を接続中
  - TransFlashメモリカードにデータを保存中
  - TransFlashメモリカードの使用状況確認中
  - Eメール／ショートメッセージ(SMS)の受信中
  - ネットワークでパケット通信制限中
  - 不正なFOMAカードを取り付け中
  - PINロック解除コードのロック中
  - 音声通話の通話中
  - パケット通信中
  - パスワードロックを設定中
  - 国際ローミング中
  - ネットワークの切り替え中
  - TransFlashメモリカードのデータ削除中
  - その他のアプリケーションを起動中
  - デュアルネットワークサービスでmovaを利用中

スキャンを行う

まずはじめに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

- 必ず最新の問題要素定義ファイルをダウンロード（通信料無料）してからスキャンを行ってください。
- 起動中のアプリケーションはスキャンできないため必ず終了してください。終了しない場合は正しくスキャンできません。アプリケーションの終了方法は、それぞれのアプリケーションの作成者にお問い合わせください。

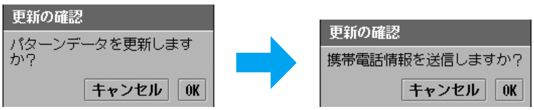
1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（セキュリティ スキャン Light）を順にタップする



最後にスキャンを行った日付※が表示されます。
最後にパターンデータを更新した日付※が表示されます。
※：お買い上げ時は（未実施）と表示されています。

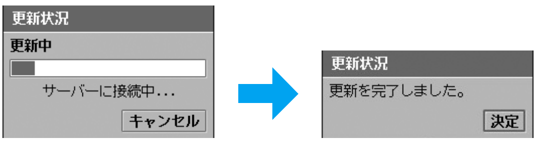
セキュリティスキャンLight画面

2 [更新]をタップする



- [キャンセル] をタップすると、更新を中止します。

3 更新の確認画面で[OK]▶[OK]を順にタップする



パターンデータの更新が終了します。

- 更新が必要ないときは「パターンデータは最新です。」と表示されます。[決定] をタップし、そのままお使いください。

4 FOMA端末の電源を切る▶電源を入れる▶操作1と同様の操作でセキュリティスキャンLight画面を表示する

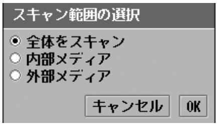
- スキャンを行う際は、セキュリティスキャンLight画面を表示する前に他のアプリケーションを起動しないでください。

次のページへ続く

5 [スキャン]をタップする

■TransFlashメモリカードが取り付けられているとき

スキャンする範囲を選択する画面が表示されます。スキャンする範囲の◯▶[OK]を順にタップします。



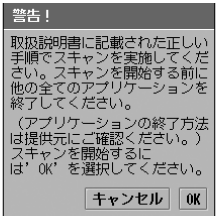
全体をスキャン：FOMA端末、TransFlashメモリカードの両方をスキャンします。

内部メディア：FOMA端末をスキャンします。

外部メディア：TransFlashメモリカードをスキャンします。

- [キャンセル]をタップすると、スキャンの開始を中止します。

6 警告画面で[OK]をタップする



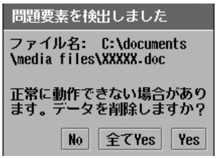


- [キャンセル]をタップすると、スキャンを中止します。

■スキャン中に問題要素が検出されたとき

検出された問題要素によって、表示される画面が異なります。表示された画面から次の操作ができます。

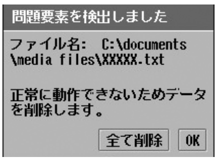
- 問題要素が複数ある場合は、次の画面が繰り返し表示されます。確認せずにすべて削除する場合は、[全てYes]／[全て削除]をタップしてください。



[No]：検出された問題要素は削除しないでスキャンを続けます。
- 削除しなかった問題要素を後で削除するには、再スキャン操作が必要になります。

[全てYes]：検出された問題要素を削除してスキャンを続けます。それ以降に検出された問題要素は、左の画面は表示されずに自動的に削除されます。

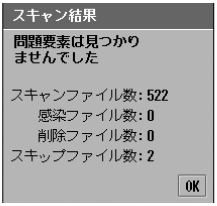
[Yes]：検出された問題要素を削除してスキャンを続けます。



[全て削除]：検出された問題要素を削除してスキャンを続けます。それ以降に検出された問題要素は、左の画面は表示されずに自動的に削除されます。

[OK]：検出された問題要素を削除してスキャンを続けます。

7　スキャンが終了する



スキャンファイル数
：スキャンしたファイル数が表示されます。

感染ファイル数
：問題要素に感染していたファイル数が表示されます。

削除ファイル数
：削除された問題要素の感染ファイル数が表示されます。

スキップファイル数
：利用中などの理由でスキャンしなかったファイル数が表示されます。

- 問題要素が検出された場合のスキャン結果画面については、P418の「スキャン結果の表示について」を参照してください。

■セキュリティスキャンLight画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「セキュリティスキャンLight」をタップすると、次の項目が表示されます。

「セキュリティスキャンLight」

スキャン P415
更新. P415
バージョン情報 P418

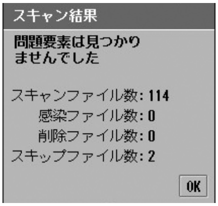
- P414 の注意事項、P417 のお知らせを確認の上、操作を行ってください。場合によっては操作できない項目があります。

お知らせ

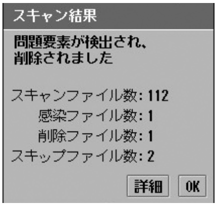
- インターネット接続中などにパターンデータを更新しようとすると、更新の確認画面が表示されます。［はい］をタップすると現在の通信が切断され、パターンデータの更新が開始されます。
- パターンデータの更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するセキュリティスキャンLight用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、セキュリティスキャン以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- 万一パターンデータの更新に失敗した場合は、最初からやり直してください。
- パターン更新中は、テレビ電話の着信ができません。
- パターン更新／スキャン中に、お客様による切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合でも、パターン更新／スキャンは継続されます。

スキャン結果の表示について

スキャンが終了すると、スキャンの結果画面が表示されます。



問題要素なし

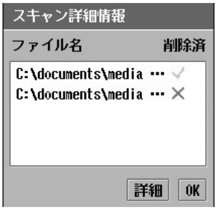


問題要素あり（削除済み）



問題要素あり（未削除あり）

■問題要素が検出されたときのスキャン結果画面で［詳細］をタップすると



✓：問題要素は削除されました。
✕：問題要素は削除されませんでした。

- ファイル名を選択して［詳細］をタップすると、感染ファイルや問題要素名、問題要素の状態（削除／未削除）を確認できます。

バージョン情報

パターンデータのバージョンを確認する

セキュリティスキャンアプリケーションの詳細情報を表示し、パターンデータのバージョンを確認できます。

1 **セキュリティスキャンLight画面でメニューバーの「セキュリティスキャンLight」▶「バージョン情報」を順にタップする**



無線LAN

無線LANとは

無線LAN（Wireless Local Area Network）は、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してネットワークに接続できます。電波の届く範囲であれば、好きな場所でインターネットに接続してホームページを見たり、共有するデータをやり取りしたりできます。



無線LAN通信の取り扱いについて

- 他のデータ通信（Bluetooth／W-CDMA／GSM／GPRSデータ通信）中は使用できません。
- 航空機内での M1000 のご利用はできません。機内でのご利用には、無線 LAN 機能搭載のノート PC や PDAをご利用ください。
- 無線LAN通信は、2.4GHz帯を使用して無線通信を行っています。この周波数帯は他のさまざまな機器も共有して使用する周波数帯です。無線LAN通信では、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器からの影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、無線LAN対応機器により、通信速度や通信距離は異なる場合があります。

■海外でのご利用について

海外で利用する場合、ご利用の国によっては屋外での無線LANの使用は制限されている場合があります。（例えばフランス国内では、他の電波への影響を防ぐため、屋外での無線LANの使用は禁止されています。ご利用の際は必ず屋内で使用してください。）

主な仕様について

規格	IEEE802.11b
伝送方式	DS-SS方式（スペクトラム直接拡散方式）
送信出力	1～13ch※2 ：2.8mW/MHz 14ch※2 ：0.8mW/MHz
使用周波数帯	2.4GHz帯
通信速度	最大11Mbps
伝送距離※1	1～13ch※2 ：屋外約120m、屋内約60m 14ch※2 ：屋外約90m、屋内約45m
WEP（データの暗号化）	64ビット、128ビット

※1：通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
※2：利用可能なチャンネルは、国により異なります。

Bluetoothとの電波干渉について

無線LAN（IEEE802.11b/g）とBluetooth機器は、同一周波数（2.4GHz）を使用するため、Bluetoothを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- 無線LANと、FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、無線LANまたはFOMA端末とワイヤレス接続するBluetooth機器の電源を切ってください。

ドコモの便利なサービスのご紹介

別途お申し込みが必要です。

M1000の無線LAN機能を活用する場合、ドコモが提供する無線LANサービスをご契約されることをおすすめいたします。

■ドコモの公衆無線LANサービスエリア

- 主要交通機関（空港、地下鉄など）やオフィスビル、喫茶店、ファーストフード店など
- 国内及び世界各国のローミングエリア※1

■インターネット接続とメールをご利用になる方へ

mopera Uスタンダードプラン＋U「公衆無線LAN」コースを別途お申し込みいただければ※2、その日からドコモの公衆無線LANサービスエリアで、高速データ通信を定額でご利用いただけます。M1000で会社からの添付付きEメールなども、高速&定額で受信できるようになります。

※1：ローミングエリアご利用の場合、別途ローミング利用料がかかります。

※2：お申し込み方法は、ドコモのホームページでご確認ください。

詳しくは、ドコモのホームページでご確認ください。

■無線LAN関連用語説明

ネットワークキー（WEP/TKIP）

無線LANでデータ通信を行う際にデータを暗号化するために使用する鍵情報です。
通信する相手と同一のネットワークキーを設定する必要があります。

ネットワーク認証

無線LANを使用するユーザが、無線LANのアクセスポイントと接続する場合に行う認証方式を指します。認証方法は、それぞれのユーザの端末に設定されていなければならず、接続したいアクセスポイントの設定とも一致している必要があります。

プレーンテキスト認証

ネットワーク通信などで認証をする場合に､暗号化せずに情報の交換を行う認証方式です。

PPPoE

PPPoE（Point to Point Protocol over Ethernet）は、電話回線接続で使用する認証プロトコル（PPP）をLANなどでも利用できるようにするための方式のことです。インターネット関連の技術標準を策定するIETFにより、RFC 2516として標準化されています。

SSID

SSID（Service Set Identifier）は、無線LANで特定のコンピュータや通信機器で構成されるネットワークを指定して接続するためのユニークな識別コード（連続する半角のアルファベットと英数字で最大32文字）のことです。ESSIDとも呼ばれています。
接続するネットワーク（アクセスポイント）と同じSSIDを登録する必要があります。

802.1x

LAN内のユーザ認証方式を定めた規格で、認証とデータ伝送の保護性能を高め、セキュリティと管理上の脆弱性に対処できるように作成されています。
認証されていない相手からの通信を遮断し、認証されたユーザにのみ通信を許可します。

- 他の用語については、P199を参照してください。

無線LANを使うために必要な設定をする

無線LANを始めるまでの流れ

無線LANを始める前に

公衆無線LANサービスを利用する	:	公衆無線LANサービス提供事業者に申し込む
社内無線LANなどを利用する	:	無線LAN接続に必要なネットワーク設定をネットワーク管理者などに確認する
個人などで無線LANを利用する	:	アクセスポイントなどを設定する • 詳しい設定方法は使用するアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

ネットワークの設定を行う→P423

① SSID、送信電力レベルなどを設定→P425
② 認証方式、暗号化方式などを設定→P426
③ PPPoEなどを設定→P429
④ IP／DNSアドレスなどを設定→P430
⑤ プロキシなどを設定→P206
⑥ PPP圧縮、プレーンテキスト認証などを設定→P431

↓

接続可能な無線LANアクセスポイントを検索する→P432

↓

無線LAN設定したネットワークアカウントを選択して、インターネット、Eメールを使えます→P433

無線LANのネットワークアカウントを設定する

無線LANで接続を行うために必要な設定を行います。

■設定のための準備

ネットワーク管理者から提供されている次の情報を用意してください。

- 接続に必要な設定項目や項目名称、内容などが異なる場合があります。接続に必要な詳しい情報については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

SSID
アクセスポイントと同じ値（SSID）になります。

ユーザ名
LAN接続時の認証に使用される名前です。

パスワード
LAN接続時の認証に使用されるパスワードです。

IPアドレス
LANに無線LANで接続している機器を識別するための固有のアドレスです。

ゲートウェイアドレス
ゲートウェイサーバのアドレスです。

次のページへ続く

DNSアドレス
DNSサーバのアドレスです。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「接続」タブ▶「ネットワーク設定」を順にタップする



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

■ネットワークアカウントを編集するとき

編集するアカウント▶［編集］を順にタップする
必要に応じて操作3以降の設定を行います。

■ネットワークアカウントを削除するとき

削除するアカウント▶［削除］を順にタップし、削除の確認画面で［はい］をタップする

■ネットワークアカウントに接続するとき

接続するアカウント▶［接続］を順にタップする
- ［切断］をタップすると、接続を切断します。

2 ［新規］をタップする



アカウント名：設定するネットワーク名などを入力します。
- 全角／半角を問わず、50文字まで入力できます。

ベアラ
- FOMA回線交換：FOMA 64Kデータ通信を利用するときに選択します。
- GSM回線交換：GSM 圏内でデータ通信を利用するときに選択します。
- パケット：FOMAパケット通信やGPRSのパケット通信を利用するときに選択します。
- 無線LAN：無線LANを利用するときに選択します。

3 「アカウント名」欄をタップし、ネットワーク名などを入力する

4 「ベアラ」欄をタップし、「無線LAN」を選択する

5 ［詳細設定］をタップし、詳細設定画面で設定するタブをタップする

- 以降の設定については、P425～P431を参照してください。
- 「プロキシ」の設定についてはP206を参照してください。

お知らせ

- FOMA端末本体のメモリ容量が少ないときは、ネットワークアカウントが作成できない場合があります。
- 詳細設定画面でいずれかの項目を設定／変更中に、お客様による切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの内容は自動的に保存され、保存されたネットワークアカウントが操作1の画面（→P424）に表示されます。アカウント名を設定していなかった場合は、「アカウントX」（Xは任意の数字）というアカウント名が自動的に設定されます。

無線LAN

お買い上げ時	SSID：—　省電力モード：☑　送信電力レベル：最大

公衆無線LANサービス提供事業者や、ネットワーク管理者などから提供される情報に従って設定を行ってください。

1 P424操作5で「無線LAN」タブをタップする



SSID：接続先のアクセスポイントと同じSSIDを、連続する半角のアルファベットと英数字で入力します。
- 半角で32文字まで入力できます。

省電力モード：データの送受信をしてないときに、電力を落とす場合にチェックします。
☑が省電力モードにする、□が省電力モードにしない状態です。

送信電力レベル：送信電力レベルを設定します。

送信電力レベル	1～13chの場合	14chの場合
「最小」「小」	20%	30%
「中」	50%	80%
「最大」「大」	100%	100%

- 上記の数値は目安です。

2 各項目を設定する

- 「SSID」
  ：項目欄をタップし、文字を入力します。
- 「省電力モード」
  ：□／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。
- 「送信電力レベル」
  ：項目欄をタップし、項目を選択します。

3 [完了]をタップし、ネットワーク設定画面で[完了]をタップする

セキュリティ

お買い上げ時	認証方式：オープンシステム　暗号化方式：なし　802.1x：□　ネットワーク認証：なし

公衆無線LANサービス提供事業者や、ネットワーク管理者などから提供される情報に従って設定を行ってください。

1 P424操作5で「セキュリティ」タブをタップする



認証方式　：接続先アクセスポイントと同じ認証方式を設定します。
「オープンシステム」「共有キー」「WPA」「WPA-PSK」から選択します。
- 認証方式によって、以下の設定内容が異なります。

暗号化方式：データの暗号化方式を設定します。
- 「WEP」「TKIP」に設定した場合は、必要に応じて［ネットワークキー］の設定を行います。→P427

802.1x　：802.1x認証を使用する場合にチェックします。
☑が使用する、□が使用しない状態です。

ネットワーク認証
：接続を確立するときの認証方式を設定します。
- この項目を設定した場合は、必要に応じて［設定］の設定を行います。→P428

2 各項目を設定する

- 「認証方式」「暗号化方式」「ネットワーク認証」
：項目欄をタップし、項目を選択します。
- 「802.1x」
：□／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。

3 ［完了］をタップし、ネットワーク設定画面で［完了］をタップする

■セキュリティ設定の組み合わせについて

本FOMA端末で設定できる「認証方式」「暗号化方式」および「ネットワーク認証」の組み合わせは次のとおりです。

設定項目	設定の組み合わせ					
認証方式	オープンシステム			共有キー	WPA	WPA-PSK
暗号化方式	なし	WEP	WEP※	WEP※	TKIP※	
802.1x	□		☑	□※	☑※	□※
ネットワーク認証	なし※		LEAP/EAP-TTLS/PEAP/EAP-MD5	なし※	EAP-TLS/EAP-TTLS/PEAP	なし※

※：固定で変更できない状態です。

無線LAN

■[ネットワークキー] をタップすると

「認証方式」「暗号化方式」で設定した内容により、表示される画面が異なります。必要に応じて各項目の設定／変更を行います。

暗号化方式：「WEP」



送信キー　：暗号化通信に使用するWEPキー(「インデックス」(1～4)）にチェックします。

インデックス　：４つのWEPキーを切り替えることができます。接続先の無線LANのアクセスポイントと同じインデックスキーにする必要があります。

サイズ　：「暗号化キー」のサイズ（文字数）を設定します。「64ビット」「128ビット」から選択します。

フォーマット　：「暗号化キー」のフォーマットを設定します。「ASCII文字」「16進数」から選択します。

暗号化キー　：暗号キーを入力します。

- 半角で５／10／13／26 文字（「サイズ」「フォーマット」設定により異なります）まで入力できます。
- 「フォーマット」の設定内容により入力できる文字が異なります。
  「ASCII文字」→0～9、A～Z、a～z
  「16進数」　→0～9、A～F、a～f

認証方式：「WPA-PSK」／暗号化方式：「TKIP」



ネットワークキー／ネットワークキーの確認入力

：ネットワークキーを入力します。「ネットワークキーの確認入力」欄には、「ネットワークキー」と同じ内容を入力します。入力したネットワークキーは、入力した文字が表示されたあとで「*」で表示されます。

- 半角で8～63文字の範囲で入力します。

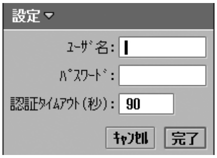
次のページへ続く●●●

■［設定］をタップすると

「ネットワーク認証」で設定した認証方式により、表示される画面が異なります。

ネットワーク認証「PEAP」「EAP-TTLS」「EAP-TLS」では、通常本FOMA端末にインストールされた証明書を自動的に使用するため設定する必要はありませんが、証明書確認ができない場合などに設定が必要になります。

ネットワーク認証：「LEAP」



ユーザ名：ネットワーク認証で使用するユーザ名を入力します。
- 半角で32文字まで入力できます。

パスワード：ネットワーク認証で使用するパスワードを入力します。パスワードは、入力した文字が表示されたあとに「*」で表示されます。
- 半角で32文字まで入力できます。

認証タイムアウト（秒）

：LEAP　認証時、認証までの最大待ち時間を設定します。
- 10～180秒の範囲で入力します。

ネットワーク認証：「PEAP」／「EAP-TTLS」／「EAP-MD5」



ユーザ名：ネットワーク認証で使用するユーザ名を入力します。
- 半角で32文字まで入力できます。

パスワード：ネットワーク認証で使用するパスワードを入力します。パスワードは、入力した文字が表示されたあとに「*」で表示されます。
- 半角で32文字まで入力できます。

トンネルプロトコル※

：セキュアトンネル内で使用する認証プロトコルを「EAP-MD5」「PAP」から選択します。

※：ネットワーク認証を「PEAP」にした場合は「EAP-MD5」固定に、「EAP-MD5」にした場合は表示されません。

ネットワーク認証：「EAP-TLS」



証明書：使用するクライアント証明書を選択します。
☑ が使用する、□ が使用しないクライアント証明書です。
- 複数のクライアント証明書がある場合、選択できるのは1つだけです
- クライアント証明書の確認や追加の方法については、「証明書を利用する」をご参照ください。→P238

ユーザ名：ネットワーク認証で使用するユーザ名を入力します。
- 半角で32文字まで入力できます。

PPPoE

お買い上げ時 | PPPoE：□　ユーザ名：―　パスワード：―

公衆無線LANサービス提供事業者や、ネットワーク管理者などから提供される情報に従って設定を行ってください。

1 P424操作5で「PPPoE」タブをタップする



PPPoE　：PPPoE プロトコルで通信する場合にチェックします。チェックすると、「ユーザ名」「パスワード」の設定と、必要に応じて「その他」タブの「PPP圧縮」「プレーンテキスト認証」の設定が必要になります。→P431
☑が PPPoE プロトコルで通信する、□が PPPoEプロトコルで通信しない状態です。

ユーザ名　：PPPoE プロトコルで通信するときの認証に使用されるユーザ名を入力します。
- 半角で255文字まで入力できます。

パスワード　：PPPoE プロトコルで通信するときの認証に使用されるパスワードを入力します。パスワードは、入力した文字が表示されたあとに「*」で表示されます。
- 半角で255文字まで入力できます。

2 各項目を設定する

- 「PPPoE」
  ：□／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。
- 「ユーザ名」「パスワード」
  ：項目欄をタップし、文字を入力します。

3 [完了]をタップし、ネットワーク設定画面で[完了]をタップする

IP／DNS

お買い上げ時	IPアドレス自動取得：☑　IPアドレス：000.000.000.000　サブネットマスク：000.000.000.000 ゲートウェイアドレス：000.000.000.000　DNSアドレス自動取得：☑ プライマリDNSサーバ：000.000.000.000　セカンダリDNSサーバ：000.000.000.000

公衆無線LANサービス提供事業者や、ネットワーク管理者などから提供される情報に従って設定を行ってください。

1 P424操作５で「IP／DNS」タブをタップする



IPアドレス自動取得
：ネットワークから自動的にIPアドレスを取得する場合にチェックします。チェックしない場合は、「IPアドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイアドレス」の設定が必要になります。
☑が自動的に取得する、□が自動的に取得しない状態です。

IPアドレス　：IPアドレスを設定します。
- 各区切りで0～255の範囲で設定します。

サブネットマスク
：サブネットマスクを設定します。
- 各区切りで0～255の範囲で設定します。

ゲートウェイアドレス
：ゲートウェイアドレスを設定します。
- 各区切りで0～255の範囲で設定します。

DNSアドレス自動取得
：ネットワークから自動的に DNS アドレスを取得する場合にチェックします。チェックしない場合は、「プライマリDNSサーバ」「セカンダリDNSサーバ」の設定が必要になります。
☑が自動的に取得する、□が自動的に取得しない状態です。

プライマリDNSサーバ
：メインのDNSサーバのアドレスを設定します。
- 各区切りで0～255の範囲で設定します。

セカンダリDNSサーバ
：サブのDNSサーバのアドレスを設定します。
- 各区切りで0～255の範囲で設定します。

2 各項目を設定する

- 「IPアドレス自動取得」「DNSアドレス自動取得」
  ：□／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。
- 上記以外の項目
  ：項目欄をタップし、数字を入力します。

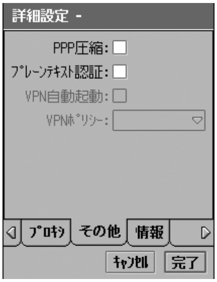
3 ［完了］をタップし、ネットワーク設定画面で［完了］をタップする

その他

お買い上げ時	PPP圧縮：□　プレーンテキスト認証：□　VPN自動起動：□　VPNポリシー：―

公衆無線LANサービス提供事業者や、ネットワーク管理者などから提供される情報に従って設定を行ってください。
- 「PPP圧縮」「プレーンテキスト認証」設定を行うには、「PPPoE」タブの「PPPoE」を☑にする必要があります。→P429

1 P424操作5で「その他」タブをタップする



PPP圧縮：PPP圧縮をして通信する場合にチェックします。
☑が圧縮する、□が圧縮しない状態です。

プレーンテキスト認証
：PAP認証（パスワードを暗号化しない）を使用して送信する場合にチェックします。
☑がPAP／CHAP認証、□がCHAP認証のみの状態です。

VPN自動起動：接続が確立されたときに、「movianVPN」を自動起動させ、VPN接続を行う場合にチェックします。チェックした場合は、「VPNポリシー」の設定が必要になります。
☑が自動的に起動する、□が自動的に起動しない状態です。

VPNポリシー：VPN自動起動時に、接続に使用するVPNポリシーを選択します。

2 各項目を設定する

- 「PPP圧縮」「プレーンテキスト認証」「VPN自動起動」
  ：□／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。
- 「VPNポリシー」
  ：項目欄をタップし、項目を選択します。

3 [完了]をタップし、ネットワーク設定画面で[完了]をタップする

お知らせ
- VPNポリシーがない場合は、「VPN自動起動」は設定できません。→P439

情報

1 P424操作5で「情報」タブをタップする

ファームウェアバージョン
：無線LANのファームウェアのバージョンを確認できます。
MACアドレス：MAC（Media Access Control）アドレスを確認できます。

無線LANのアクセスポイントを検索する

接続可能なアクセスポイントを検索してSSIDや電波状態、使用チャンネルを確認できます。確認後に無線LANでブラウザやEメールを利用する場合は、P433を参照してください。

- BluetoothがONの場合には、無線LANが利用できません。OFFにしてから操作してください。→P505

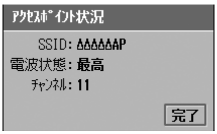
1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「接続」タブ▶「無線LAN アクセスポイント検索」を順にタップする



自動的に検索が開始され、接続可能なアクセスポイントのSSIDが表示されます。

- ［更新］をタップすると、再検索を行います。

■検索したアクセスポイントの詳細を確認するとき
詳細を確認するSSID▶［詳細］を順にタップする



SSID：アクセスポイントのSSIDが表示されます。
電波状態：アクセスポイントとの電波状態を「最高」「良い」「普通」「悪い」で表示します。
チャンネル：現在接続に使用しているチャンネルを表示します。

お知らせ

- アクセスポイントでは、定期的に SSID を含んだビーコン信号を送信していますが、アクセスポイントの種類によってはセキュリティ向上のため、ビーコン信号にSSIDを含めない設定にできるものもあります。本FOMA端末では、ビーコン信号にSSIDが含まれていないアクセスポイントは検索できません。
- ステータスバーに表示されるアイコンで、無線LANの電波状態を確認できます。→P40

無線LANでブラウザを利用する

作成したネットワークアカウント（→P423）を使って無線LANでブラウザを利用します。

- BluetoothがONの場合には、無線LANが利用できません。OFFにしてから操作してください。→P505
- 他のネットワークアカウントを利用して、既に接続中の場合には、切断してからこの操作を行ってください。

1 アプリケーション選択バーの（ブラウザ）をタップする

2 ネットワークサービスに接続画面で無線LANの設定を行ったネットワークアカウント▶[接続]を順にタップする

- 詳しい利用方法については、P211以降を参照してください。
- 切断方法についてはP213「ネットワーク接続を切断する」を参照してください。

無線LANでEメールを利用する

作成したネットワークアカウント（→P423）を使って無線LANでEメールを利用します。無線LANでEメールを利用するには、あらかじめメールアカウント設定（→P252）を行う必要があります。

- BluetoothがONの場合には、無線LANが利用できません。OFFにしてから操作してください。→P505
- 他のネットワークアカウントを利用して、既に接続中の場合には、切断してからこの操作を行ってください。

1 アプリケーション選択バーの（メール）▶無線LANの設定を行ったメールアカウントを順にタップする

- 詳しい利用方法については、P261以降を参照してください。
- 切断方法についてはP213「ネットワーク接続を切断する」を参照してください。

ブラウザ／Eメール以外で無線LANに接続する

本FOMA端末のブラウザ／Eメール以外で無線LANを利用する場合は、ネットワーク設定画面で接続／切断を行います。

- BluetoothがONの場合には、無線LANが利用できません。OFFにしてから操作してください。→P505
- 他のネットワークアカウントを利用して、既に接続中の場合には、切断してからこの操作を行ってください。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「接続」タブ▶「ネットワーク設定」を順にタップする



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

■無線LAN接続を切断するとき

［切断］をタップし、ネットワークサービスの切断画面で［はい］をタップする

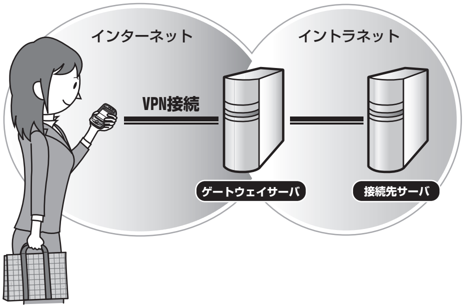
2 無線LANのアカウント（）▶［接続］を順にタップする

無線LAN接続後に使用するアプリケーションを起動してください。

movianVPN

VPNとは

VPN（Virtual Private Network）とは、本FOMA端末からインターネット経由で社内LANなどに接続できる仮想の専用回線です。VPNでやり取りするデータは、他の人にのぞき見されたり、なりすまされたりしないように暗号化できます。
本FOMA端末ではインターネットとして使える通信方式（64Kデータ通信、パケット通信、無線LAN）であれば、どの方式でもVPN接続をすることができます。



movianVPNについて

「movianVPN」（モビアンVPN）は、本FOMA端末でVPN接続するためのアプリケーションです。既存のVPNゲートウェイ製品と相互接続性を実現しているため、ネットワーク構成、追加機器を必要としません。無線LANやパケット通信などに対応しており、本FOMA端末から簡単な操作でVPN接続をすることができます。また、IPSecを使うことにより、より安全なモバイル通信が可能です。

■movianVPNのサポートについて

movianVPNをお使いになる前に、取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。なお、movianVPNについて不明な点などありましたら、certicomホームページをご覧ください。
http://www.certicom.com/m1000
また、次のEメールアドレスで日本語によるQ＆Aも行っております。
support@certicom.com

ゲートウェイタイプについて

「movianVPN」では次のゲートウェイタイプとオプションに対応しています。

○：対応　×：非対応

ゲートウェイタイプ	スプリットトンネリング使用	DNSアドレス自動取得	パーフェクト・フォワード・シークレット（PFS）	拡張認証（Xauth）	アグレッシブモード対応	自動サブネット設定
Alcatel Secure VPNシリーズ	×	○	○	○	○	○
Avaya VSU VPNシリーズ	○	○	○	×	○	×
Check Point VPN-1	○	○	×	×	○	×
Cisco VPN Concentrator 3000	×	○	○	○※	○	○
Cisco Unified Client	×	○	○	○	○	○
Cylink Nethawk	○	○	○	×	○	×
Intel Netstructureシリーズ	○	○	○	○	○	○
Lucent Brick Firewall VPN	○	○	○	○※	○	×
Netscreenシリーズ	○	○	○	○	○	×
Nortel Contivityシリーズ	×	○	○	○	○	○
ReefEdge Connect Server	×	○	○※	×	×	○
Secure Computing Sidewinder	○	○	○	○※	○	○
Symantec PowerVPN	○	○	○	×	○	×

※：固定で変更できない状態です。

■VPN関連用語説明

トンネリング

本来のパケットにVPN通信用のIPヘッダを付加（カプセル化）して送り届けることにより通信を行うことをトンネリングといいます。パケットのカプセル化とその解除はトンネルの両端の機器が自動的に行うため、トンネルで結ばれた機器同士は途中の通信方式や経路を気にする必要はなく、あたかもトンネルの両端の機器が直結しているかのようにやり取りができます。

スプリットトンネル

インターネットと企業内のイントラネットなどを同時に利用できる機能です。

ハッシュ

与えられた原文から固定長の疑似乱数を生成する演算手法で、生成した値は「ハッシュ値」と呼ばれます。通信回線を通じてデータを送受信する際に、通信経路の両端でデータのハッシュ値を求めて両者を比較して、データが通信途中で改ざんされていないかを調べることができます。

ポリシー

VPNを使用するために必要な設定情報を指します。

IKE

IKE（Internet Key Exchange）は、IPSecで用いるインターネット標準の鍵交換プロトコルです。

IPSec

IPSec(Security Architecture for Internet Protocol)は、TCP/IP上でデータのやり取りを行う際のセキュリティを保証するためのプロトコルです。暗号通信のための標準プロトコルとして、VPNで最も一般的に用いられています。

SA

SA(Security Association)は、VPN通信するための相手と確立する論理的なコネクションです。SAには、安全な通信に必要な暗号アルゴリズム、メッセージ認証アルゴリズム、関連するデータ暗号キー、メッセージ認証キーが含まれます。

Perfect Forward Secrecy

パーフェクト・フォワード・シークレットとは、IKEのような仕組みを使って自動的に鍵を取り替えていく場合に、以前の鍵の内容から、新しい鍵の内容を推測することができないようにする仕組みのことです。

- 他の用語については、P199を参照してください。

VPNを使うために必要な設定をする

VPNを使うために必要な設定をします。設定には「movianVPN」アプリケーションを使用します。

VPNを始めるまでの流れ

VPNを始める前に
① 対応しているゲートウェイタイプを確認する→P437 ② VPN接続に必要なネットワークの設定をネットワーク管理者などに確認する

movianVPNを起動して、ポリシーを作成する→P439
① ゲートウェイタイプ、ゲートウェイアドレスなどを設定→P442 ② ユーザ名、パスワードなどを設定→P443 ③ 必要に応じてプライマリDNS、セカンダリDNSなどを設定→P444

↓

作成したポリシーを使って接続する→P446

↓

movianVPNでVPN接続できます

ポリシー新規作成／ポリシー編集

ポリシーを作成する

■設定のための準備

ネットワーク管理者から提供されている次の情報を用意してください。

- 接続に必要な設定項目や項目名称、内容などが異なる場合があります。接続に必要な詳しい情報については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

ポリシー名
movianVPN基本画面で表示されるポリシー名です。

ゲートウェイタイプ
VPN通信時に使用するゲートウェイサーバの種類です。

ゲートウェイアドレス
VPN通信時に使用するゲートウェイサーバのアドレスです。

Perfect Forward Secrecy／拡張認証
使用するゲートウェイサーバによっては設定が必要になります。

ユーザ名／ユーザパスワード
VPN接続時に使用するユーザ名／パスワードです。

グループ名／グループパスワード
拡張認証を設定した場合のグループ名／グループパスワードです。

IKEグループ
VPN通信時のキー暗号化ネゴシエーション（折衝）強度の種類です。

IKE暗号
VPN通信時のデータ暗号化方式の種類（DES、3DES、AES）です。

次のページへ続く

IKEハッシュ
　ハッシュアルゴリズムの種類（MD5、SHA）です。

IPSecスイート
　VPN通信時のデータ暗号化に使用される設定の種類です。

1 アプリケーション選択バーの (アプリケーションランチャー) ▶ (movianVPN)を順にタップする



movianVPN基本画面

■登録したポリシーを編集するとき

「ポリシー」欄の編集するポリシー▶メニューバーの「movianVPN」▶「ポリシー編集」を順にタップする

　必要に応じてP442～P444の設定を行います。

2 メニューバーの「movianVPN」▶「ポリシー新規作成」を順にタップする



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 設定するタブをタップする

- 以降の設定についてはP442～P444を参照してください。

■メニューバーの項目について

メニューバーの「movianVPN」「ツール」「バージョン」をタップすると、次の項目が表示されます。

「movianVPN」

ポリシー新規作成 …… P440
ポリシー編集 …… P440
ポリシー削除 …… P445
ポリシーインポート …… P444

「ツール」

Ping …… P445
IKEログ …… P447
IPSecポリシー …… P451
IPSecステータス …… P451
IPSecパケット統計 …… P452
詳細設定 …… P452

「バージョン」

movianVPN …… P441
ライセンス※ …… −

※：本FOMA端末のmovianVPNでは選択できません。

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

■movianVPNのバージョンについて

movianVPNのバージョンの内容を次の操作で表示できます。

movianVPN基本画面でメニューバーの「バージョン」▶「movianVPN」を順にタップする

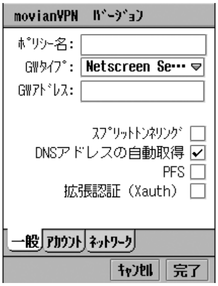
お知らせ

- ポリシー編集中に、お客様による切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。
- ゲートウェイの VPN 管理者設定がされているポリシーをインポートした場合は、その設定に応じて項目が固定され、編集できません。

一般

ネットワーク管理者から提供される情報に従って必要な設定を行ってください。

1 P440操作３で「一般」タブをタップする



- 画面は一例です。設定する内容によって、表示される項目が異なります。

ポリシー名
: ポリシーの名前を入力します。
- 全角／半角を問わず、30文字まで入力できます。

GW（ゲートウェイ）タイプ
: VPN　接続で使用するゲートウェイサーバの種類を設定します。

GW（ゲートウェイ）アドレス
: ゲートウェイサーバのアドレスを設定します。
- 半角で30文字まで入力できます。

スプリットトンネリング
: 分割トンネリングを使用して通信する場合にチェックします。
☑が使用する、□が使用しない状態です。

DNSアドレスの自動取得
: DNSサーバを検索する場合にチェックします。
☑が検索する、□が検索しない状態です。

PFS
: パーフェクト・フォワード・シークレット機能を使用して通信する場合にチェックします。
☑が使用する、□が使用しない状態です。

拡張認証（Xauth）
: 拡張認証機能を使用して通信する場合にチェックします。
☑が使用する、□が使用しない状態です。
- 「GWタイプ」で「Nortel Contivity Series」を選択し、「拡張認証（Xauth）」を☑に設定した場合は、プルダウンメニューが表示され、「パスワード」「セキュアID」を選択できます。

2 各項目を設定する

- 「ポリシー名」「GWアドレス」
  : 項目欄をタップし、文字を入力します。
- 「GWタイプ」
  : 項目欄をタップし、項目を選択します。
- 上記以外の項目
  : □／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。

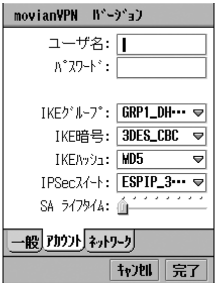
3 ［完了］をタップする

アカウント

お買い上げ時	ユーザ名：—　グループ名：—　パスワード：—　グループパスワード：— IKEグループ：GRP1_DH-768　IKE暗号：3DES_CBC　IKEハッシュ：MD5 IPSecスイート：ESPIP_3DES_MD5-96　SA ライフタイム：1時間

ネットワーク管理者から提供される情報に従って必要な設定を行ってください。

1 P440操作3で「アカウント」タブをタップする



- 画面は一例です。設定する内容によって、表示される項目が異なります。

ユーザ名　：ユーザ名を設定します。
- 半角で40文字まで入力できます。

グループ名※：グループ名を設定します。
- 半角で40文字まで入力できます。

パスワード　：ユーザパスワードを設定します。パスワードは、入力した文字が表示されたあとに「*」で表示されます。
- 半角で40文字まで入力できます。

グループパスワード※
：グループパスワードを設定します。パスワードは、入力した文字が表示されたあとに「*」で表示されます。
- 半角で40文字まで入力できます。

IKEグループ：VPN 接続で使用するデータ暗号化方式のグループを選択します。

IKE暗号　：VPN 接続で使用するデータ暗号化方式を設定します。

IKEハッシュ：データ暗号化で使用するハッシュアルゴリズムを選択します。

IPSecスイート
：データ暗号化で使用する設定を選択します。

SA ライフタイム
：セキュリティアソシエーションの寿命を設定します。
- 設定範囲は1～8時間で、1時間単位で設定できます。
- セキュリティアソシエーションが無効になると、自動的にログオフとなり、再度ログインが必要になります。

※：「一般」タブで「拡張認証（Xauth）」を ☑ にした場合に表示されます。

2 各項目を設定する

- 「ユーザ名」「グループ名」「パスワード」「グループパスワード」
：項目欄をタップし、文字を入力します。
- 「SA ライフタイム」
：つまみをドラッグし、時間を設定します。
- 上記以外の項目
：項目欄をタップし、項目を選択します。

次のページへ続く

3 [完了]をタップする

ネットワーク

ネットワーク管理者から提供される情報に従って必要な設定を行ってください。

- 「一般」タブの設定により、「ネットワーク」タブが選択できない場合や、表示されない項目があります。

1 P440操作3で「ネットワーク」タブをタップする



- 画面は一例です。設定する内容によって、表示される項目が異なります。

プライマリDNS：DNSサーバのアドレスを入力します。
- 各区切りフィールドに0～255まで入力できます。

セカンダリDNS：予備のDNSサーバのアドレスを入力します。
- 各区切りフィールドに0～255まで入力できます。

サブネットアドレス
：サブネットアドレスを入力します。
- 各区切りフィールドに0～255まで入力できます。

サブネットマスク
：サブネットマスクを入力します。
- 各区切りフィールドに0～255まで入力できます。

2 設定する項目欄をタップし、アドレスを入力する

3 [完了]をタップする

ポリシーインポート

ポリシーをインポートする

ポリシーファイルが、あらかじめインストールされている場合は、この操作を行うことにより、ポリシーをインポートすることができます。

- ポリシーファイルのインストール方法→P408

1 movianVPN基本画面でメニューバーの「movianVPN」▶「ポリシーインポート」を順にタップし、ポリシーインポート画面で[はい]をタップする

- ［いいえ］をタップすると、インポートを中止します。

■パスワードが設定されているポリシーファイルをインポートするとき

ポリシーインポート画面でパスワードを入力▶［完了］をタップする

2 ポリシーインポート画面で[続行]をタップする

ポリシー削除

作成したポリシーを削除する

1 **movianVPN基本画面で「ポリシー」欄の削除するポリシー▶メニューバーの「movianVPN」▶「ポリシー削除」を順にタップし、ポリシー削除画面で[はい]をタップする**

- ［いいえ］をタップすると、削除を中止します。

お知らせ

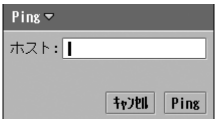
- ポリシー削除画面表示中に、お客様による切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、ポリシーは削除されません。

Ping

設定した内容で接続を確認する

設定した内容で、接続先の応答があるかないかを確認します。

1 **movianVPN基本画面で「ポリシー」欄の接続の確認をするポリシー▶メニューバーの「ツール」▶「Ping」を順にタップする**



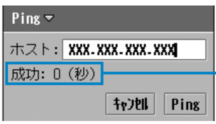
ホスト：接続確認したいドメインネームやIPアドレスを入力できます。

- 80文字までの半角英数字、または、XXX.XXX.XXX.XXXの形式（XXXは0～255の数字）で入力できます。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

2 **接続確認するサーバのドメインネーム／IPアドレスを入力▶[Ping]をタップする**

3 **ネットワークサービスに接続画面で、接続に使用するネットワークアカウント▶[接続]を順にタップする**



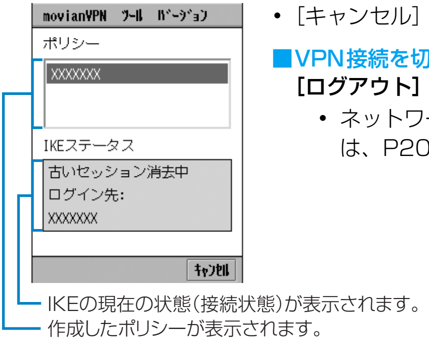
成功：時間
　成功した場合に表示されます。
タイムアウト：時間
　サーバからの応答がない場合に表示されます。
不明なホスト：ホスト名
　ホスト名が検索できない場合に表示されます。

■接続結果で「タイムアウト」「不明なホスト」などが表示されたとき
VPN設定や接続に使用する各ネットワークアカウントの設定（64Kデータ通信→P202、パケット通信→P202、無線LAN→P423）を再度確認してください。

VPNで接続する

作成したポリシー（→P439）を使ってVPN接続を行います。VPNで接続するには、あらかじめネットワーク設定（64Kデータ通信→P202、パケット通信→P202、無線LAN→P423）を行う必要があります。

1 movianVPN基本画面で「ポリシー」欄のVPN接続に使うポリシー▶［ログイン］を順にタップする



- ［キャンセル］をタップすると、接続を中止します。

■VPN接続を切断するとき

［ログアウト］をタップする

- ネットワーク接続は切断されません。切断方法については、P203の操作1を参照してください。

■認証が必要なとき／ポリシーの「ユーザ名」「パスワード」「グループ名」「グループパスワード」が設定（→P443）されていないとき



ユーザ名を入力するときの画面

ユーザ名／パスワード／グループ名／グループパスワードを入力する画面が表示されます。ネットワーク管理者から提供された情報に従って入力し、［完了］をタップします。

2 ネットワークサービスに接続画面で、接続に使用するネットワークアカウント▶［接続］を順にタップする

3 VPN接続で使用するアプリケーションを起動する

- 本FOMA端末のブラウザを利用する場合は、P211以降を参照してください。

お知らせ

- 設定により、本FOMA端末のブラウザを起動すると、movianVPNを自動的に起動することができます。→P207

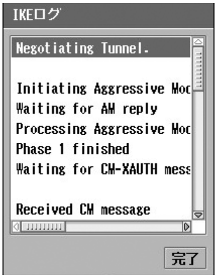
接続情報を確認する

IKEログ

IKEログ

ユーザとVPNで使用するゲートウェイサーバとの間で、やり取りされた最新の通信情報（IKEプロトコルに関連した処理情報）を表示します。あらたにログインし直すと、情報は上書きされます。

1 movianVPN基本画面でメニューバーの「ツール」➡「IKEログ」を順にタップする



movianVPN

次のページへ続く

■IKEログメッセージ一覧

IKE ログメッセージ	説　明
Unsupport Auth Mode（非対応認証モード）	使用する認証モード（メインモードまたはアグレッシブモード）を決定できませんでした。
Bad Msg ID（不正メッセージID）	ゲートウェイで提示されたSA（セキュリティ関連付け）の不正メッセージID値です。
CM not included（CMがありません）	ゲートウェイが設定モード（CM）を使用しようとしましたが、設定モードがVPNクライアントの本バージョンではサポートされていません。
Error initializing IKE（エラー初期化 IKE）	IKEネゴシエーションに必要なデータ構造の初期化中にエラーが発生しました。
Main Mode not supported （メインモード非対応）	ゲートウェイがメインモードを使用しようとしましたが、メインモードがVPNクライアントの本バージョンではサポートされていません。
Mode not supported（モード非対応）	ゲートウェイがVPNクライアントでサポートされていないモードを使用しようとしました。
Packet received from unknown gateway （不明ゲートウェイから受信したパケット）	ネゴシエート中のゲートウェイのIPアドレスとは異なるIPアドレスからIKEパケットを受信しました。
No matching SA found （一致するSAがありません）	ゲートウェイからのSA（セキュリティ関連付け）提案リストに一致するポリシーの暗号化設定が見つかりません。
unhandled exchange type （未処理の通信タイプ）	ゲートウェイがVPNクライアントでサポートされないタイプのIKEパケットを送信しました。
unhandled attribute (hex)（未処理の属性）	ゲートウェイがVPNクライアントでサポートされないタイプデータフィールドを含むIKEパケットを送信しました。
Rx'ed Notify Msg type: （Rx'ed 通知メッセージタイプ）	ゲートウェイが通知メッセージを送信しました。
MultiProtocol not supported （マルチプロトコル非対応）	ゲートウェイのプロポーサルにプロトコルの選択肢が多すぎます。
IPSec Comp not supported （IPSec圧縮非対応）	ゲートウェイがVPNクライアントでサポートされないIPSec圧縮を使用しようとしました。
Initiating Aggressive Mode （アグレッシブモード開始）	クライアントがゲートウェイとアグレッシブモードのネゴシエーションを開始しました。
Waiting for AM reply（AM応答待ち）	クライアントはゲートウェイからのアグレッシブモード(AM)応答を待っています。
Processing Aggressive Mode Response （アグレッシブモード応答の処理中）	クライアントはゲートウェイからのアグレッシブモード応答を処理しています。
Bad Header（不正ヘッダ）	ゲートウェイは非対応または不正形式ヘッダを含むIKEパケットを送信しました。
Error: SA payload（エラー：SAペイロード）	ゲートウェイは不正形式SAペイロードを含むIKEパケットを送信しました。
Error: KEY payload（エラー：KEYペイロード）	ゲートウェイは不正形式キーペイロードを含むIKEパケットを送信しました。
Error: NONCE payload （エラー：NONCEペイロード）	ゲートウェイは不正形式NONCEペイロードを含むIKEパケットを送信しました。

IKE ログメッセージ	説　明
Error: ID payload（エラー：IDペイロード）	ゲートウェイは不正形式IDペイロードを含むIKEパケットを送信しました。
Error: HASH payload（エラー：HASHペイロード）	ゲートウェイは不正形式ハッシュペイロードを含むIKEパケットを送信しました。
Initiating Config Mode（設定モード開始）	クライアントがゲートウェイと設定モードのネゴシエーションを開始しました。
Sending Config Mode request（設定モード要求送信）	クライアントは設定モード要求をゲートウェイに送信しました。
Processing Config Mode response（設定モード応答の処理中）	クライアントはゲートウェイからの設定モード応答を処理しています。
Unhandled message type（未処理のメッセージタイプ）	ゲートウェイがVPNクライアントでサポートされないメッセージタイプを含むIKEパケットを送信しました。
Unhandled payload type（未処理のペイロードタイプ）	ゲートウェイがVPNクライアントでサポートされないペイロードタイプを含むIKEパケットを送信しました。
Hash Failed（ハッシュ失敗）	ゲートウェイがクライアントで生成されたハッシュと一致しないハッシュのIKEパケットを送信しました。
Waiting for CM-XAUTH message（CM-XAUTHメッセージ待ち）	クライアントは設定モードXAUTHメッセージを待っています。
Waiting for CM-CFG message（CM-CFGメッセージ待ち）	クライアントは設定モード設定メッセージを待っています。
Waiting for QM message（QMメッセージ待ち）	クライアントはクイックモードメッセージを待っています。
Phase 1 finished（フェーズ1完了）	クライアントはゲートウェイとのフェーズ1ネゴシエーションを完了しました。
Suspending QM（QM一時停止）	クライアントはゲートウェイとのクイックモードネゴシエーションを一時停止しています。
Restoring QM（QMリストア）	クライアントはゲートウェイとのクイックモードネゴシエーションをリストアしています。
Received CM message（CMメッセージ受信）	クライアントは設定モードメッセージを受信しました。
Sending Config response（設定応答の送信）	クライアントはゲートウェイに設定モード応答を送信しています。
Initiating Main Mode（メインモード開始）	クライアントがゲートウェイとメインモードのネゴシエーションを開始しました。
Waiting for MM reply（MM応答待ち）	クライアントはゲートウェイからのメインモード応答を待っています。
Processing Main Mode Response（メインモード応答の処理中）	クライアントはゲートウェイからのメインモード応答を処理しています。
Initiating Quick Mode（クイックモード開始）	クライアントがゲートウェイとクイックモードのネゴシエーションを開始しました。
Processing Quick Mode Response（クイックモード応答の処理中）	クライアントはゲートウェイからのクイックモード応答を処理しています。
Error in Header（ヘッダのエラー）	ゲートウェイは非対応または不正形式ヘッダを含むIKEパケットを送信しました。

次のページへ続く

IKE ログメッセージ	説　明
Error dst ID（エラー宛先ID）	ゲートウェイは不正形式の宛先IDを含むIKEパケットを送信しました。
Received QM message（QMメッセージ受信）	クライアントはゲートウェイからクイックモードメッセージを受信しました。
No Key Payload（キーペイロードなし）	ゲートウェイはキーペイロードのないIKEパケットを送信しました。
Verify PFS setting（PFS設定の検証）	ゲートウェイのパーフェクト・フォワード・シークレット(PFS)設定がポリシーに保存されたPFS設定と一致しません。
Negotiating Tunnel（ネゴシエートトンネル）	クライアントはゲートウェイとのIKEネゴシエーションを開始しました。
No reply, resending（応答なし、再送信）	クライアントはゲートウェイからの応答を待っていましたが、応答を受信する前にタイムアウトしました。クライアントは元の要求パケットを再送信しています。
Finished（終了）	クライアントはゲートウェイとのIKEネゴシエーションを完了しました。
Aborted（中止）	クライアントはゲートウェイとのIKEネゴシエーションを中断しました。
=== Failed ===（＝＝＝失敗＝＝＝）	クライアントはゲートウェイとのIKEネゴシエーションの完了に失敗しました。

IPSecポリシー

IPSecポリシー

ユーザとVPNで使用するゲートウェイサーバとの間で、やり取りされた最新の通信情報（データが暗号化された場所（IPサブネットアドレス））を表示します。

1 **movianVPN基本画面でメニューバーの「ツール」➡「IPSecポリシー」を順にタップする**



左から「接続元アドレス」「データの向き※1」「接続先アドレス」「暗号化の状態※2」が表示されます。
※1：「-->」→ 一方向動作　「<->」→ 双方向動作
※2：「アプライ」→ 暗号化されている
「バイパス」／「ドロップ」→ 暗号化されていない

IPSecステータス

IPSecステータス

VPN接続の動作状況や、ユーザと接続先ゲートウェイサーバの情報について表示します。

1 **movianVPN基本画面でメニューバーの「ツール」➡「IPSecステータス」を順にタップする**



ゲートウェイIP
：VPNゲートウェイサーバのIPアドレスを表示します。

パブリックIP：プロバイダなどから支給されているIPアドレスを表示します。

プライベートIP
：VPN接続内でのIPアドレスを表示します。

NATポート：ネットワークアドレスの移動が有効かどうかを表示します。

スプリットトンネリング
：スプリットトンネル機能が有効かどうかを表示します。

IPSecスイート
：接続に使われている暗号化の種類を表示します。

プライマリDNS
：DNSサーバのアドレスを表示します。

セカンダリDNS
：予備のDNSサーバのアドレスを表示します。

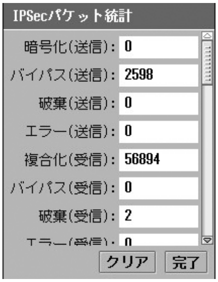
SAライフタイム
：セキュリティアソシエーションの寿命を表示します。

IPSecパケット統計

IPSecパケット統計

VPN接続で暗号化通信をしたときに発生したパケット数を表示します。ただし、接続が切断されると利用できなくなります。

1 movianVPN基本画面でメニューバーの「ツール」▶「IPSecパケット統計」を順にタップする



暗号化（送信）：暗号化された送信パケット数を表示します。
バイパス（送信）：暗号化をバイパスした送信パケット数を表示します。
破棄（送信）：破棄された送信パケット数を表示します。
エラー（送信）：送信パケットエラー数を表示します。
複合化（受信）：複合化された受信パケット数を表示します。
バイパス（受信）：複合化をバイパスした受信パケット数を表示します。
破棄（受信）：破棄された受信パケット数を表示します。
エラー（受信）：受信パケットエラー数を表示します。

- ［クリア］をタップすると、すべての値を“0”にできます。

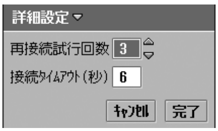
詳細設定

接続回数と接続待ち時間を設定する

お買い上げ時	再接続試行回数：3回　接続タイムアウト：6秒

接続を試みる（リトライ）回数や、接続を失敗と判断するまでの時間を設定できます。

1 movianVPN基本画面でメニューバーの「ツール」▶「詳細設定」を順にタップする



再接続試行回数
：接続を試みる最大回数を1～5回の間で設定できます。

接続タイムアウト（秒）
：接続を失敗と判断するまでの時間を1～8秒の間で設定できます。

- ［キャンセル］をタップすると、設定を中止します。

2 設定する項目欄をタップし、設定する

3 ［完了］をタップする

お知らせ

- 詳細設定中に、お客様による切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

データ通信

FOMA端末から利用できるデータ通信について

FOMA端末とパソコンなどを接続してデータ通信ができます。データ通信は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3種類が利用できます。

利用できる通信方式

●パケット通信
送受信したデータ量に応じて通信料金がかかる通信方式です。
ネットワークに接続したままの状態で必要なときにのみデータを送受信する使いかたに適しています。
FOMAのためのインターネット接続サービス「mopera U」などFOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの通信速度でデータ通信ができます。
M1000は、海外でもW-CDMAまたはGPRSのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、データ通信ができます。
- 多量のデータの送受信を行うと通信料金が高額になりますのでご注意ください。

●64Kデータ通信
ネットワークに接続した時間に応じて通信料金がかかる通信方式です。
FOMAのためのインターネット接続サービス「mopera U」などFOMA 64Kデータ通信対応のアクセスポイントまたはISDN同期64K対応のアクセスポイントを利用して64kbpsの通信速度でデータ通信ができます。
M1000は、海外でもW-CDMAまたはGSMの回線交換通信方式に対応したアクセスポイントを利用して、データ通信ができます。

●データ転送
FOMA端末とパソコンを接続して、パソコンとデータを送受信する通信方式です。通信料金はかかりません。データ転送（バックアップ、同期、ファイル転送など）を行うときは、デスクトップスイートをパソコンにインストールしてください。→P589

FOMA端末とパソコンなどの機器との接続方法

データ通信を行うとき、パソコンやPDAなどの機器との接続方法には次の2種類があります。

USB接続

●USB接続ケーブル（同梱品）による接続→P456
- 別売りのFOMA USB接続ケーブルによる接続もできます。

Bluetooth接続

●Bluetoothによる接続→P505～P508
- ご使用前に接続設定や機器登録が必要です。

ご利用にあたっての留意点

インターネットサービスプロバイダの利用料について

インターネットを利用する場合は、ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）に対する利用料が必要になります。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳しい内容については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

接続先（プロバイダなど）の設定について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。
- DoPaのアクセスポイントには接続できません。
- PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信のアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証（IDとパスワード）が必要な場合があります。その場合は、通信ソフト（ダイヤルアップネットワーク）でIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳しい内容については、そちらにお問い合わせください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。ただし、条件が整っていても基地局の混雑状況や電波状態によって通信できないことがあります。

- USB 接続ケーブルが利用できるパソコンであること
- Bluetoothで接続する場合、パソコンなど接続する機器がBluetooth標準規格Ver1.1のDial-Up Networking Profile(ダイヤルアップネットワーキングプロファイル)に対応していること
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、アクセスポイントがFOMA 64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

■データ通信の用語について

APN

Access Point Nameの略です。パケット通信の接続先(プロバイダやLANなど)を識別します。FOMAのためのインターネット接続サービス「mopera U」は、APNでは「mopera.net」で表現されます。

Bluetooth ON→P505

Bluetooth接続機器登録→P507

cid

Context Identifierの略です。パケット通信の接続先(APN)をFOMA端末に登録するときの登録番号です。FOMA端末では1～3までのcidを使って3件のAPNを登録できます。

DNS

Domain Name Systemの略です。「mopera.net」のような人が理解しやすいドメイン名をコンピュータが管理するための数字によるアドレスに変換するシステムです。

QoS

Quality of Serviceの略です。ネットワークのサービス品質を示します。FOMA端末ではデータの通信速度の条件を指定できます。※→P499

※：接続時の速度は通信状況などによって可変します。

W-TCP

FOMAネットワークでパケット通信を行うときに、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、TCPパラメータの最適化が必要となります。

パソコンの管理者権限

Windows XP、Windows 2000のシステムすべてにアクセスできる権限のことです。管理者権限を持たないユーザは、通信設定ファイル(ドライバ)やFOMA PC設定ソフトなどのインストールおよびアンインストールができません。

お使いになる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

項 目	必要環境
パソコン本体	・PC-AT互換機でCD-ROMドライブが使用できる機器 ・USBポート(Universal Serial Bus Specification Rev1.1/2.0準拠) ・ディスプレイ解像度800×600ドット、High Color(65,536色)以上を推奨
OS	・Windows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98SE(各日本語版)
必要メモリ	・Windows XP：128Mバイト以上※ ・Windows 2000：64Mバイト以上※ ・Windows Me、Windows 98SE：32Mバイト以上※
ハードディスク容量	・5Mバイト以上の空容量 ※

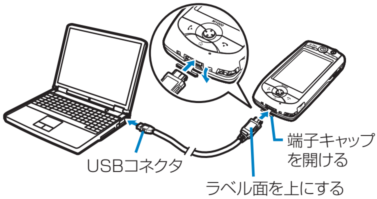
※：必要メモリ･ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

お知らせ

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、P455の動作環境以外でのご使用によるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

パソコンとFOMA端末を接続する

USB接続するときのパソコンへの取り付け方法について説明します。



1 **FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開ける**

2 **USB接続ケーブル(同梱品)のUSBコネクタを、パソコンのUSB端子に接続する**

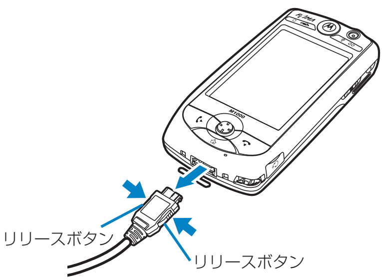
3 **FOMA端末の外部接続端子の向きを確認して、USB接続ケーブル(同梱品)の外部接続コネクタをまっすぐ差し込む**

USB接続ケーブル(同梱品)を接続するとFOMA端末に「USBケーブルが接続されました」と表示されます。

※ 通信中に接続したときは表示されない場合があります。

■取り外しかた

① USB接続ケーブル(同梱品)の外部接続コネクタのリリースボタンを押しながら、まっすぐ引き抜く



② パソコンからUSB接続ケーブル(同梱品)を引き抜く

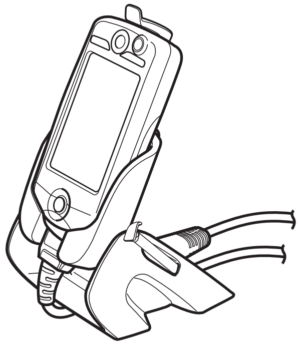
お知らせ

- パソコンとの接続には、USB接続ケーブル(同梱品)またはFOMA USB接続ケーブル(別売)をご利用ください。市販のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため使用できません。
- USB接続ケーブル(同梱品)のコネクタは無理に差し込まないでください。各コネクタは、正しい向き、正しい角度で差し込まないと接続できません。正しく差し込んだときは、強い力を入れなくてもスムーズに差し込めるようになっています。うまく差し込めないときは、無理に差し込まず、もう一度コネクタの形や向きを確認してください。
- FOMA端末が接続されたままUSB接続ケーブル(同梱品)をパソコンから取り外し、短時間内に再び接続すると、FOMA端末がパソコンから正しく認識されない場合があります。パソコンとFOMA端末の取り外し／接続は、必ず手順を守り、短時間内に行わないようにしてください。

■卓上ホルダと組み合わせてデータ通信をするとき

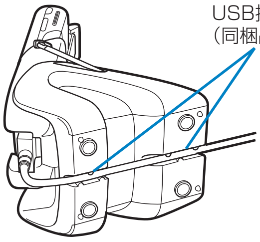
卓上ホルダを使うと、FOMA端末をACアダプタとUSB接続ケーブル(同梱品)の両方に接続してデータ通信ができます。

- 卓上ホルダへの取り付けかた／取り外しかたについてはP58を参照してください。
- 卓上ホルダと組み合わせて通信を行う場合は、USB接続ケーブル(同梱品)を接続するために背面板を上の位置に調節してください。→P59



- USB 接続ケーブル(同梱品)を接続する場合は、卓上ホルダに取り付ける前にFOMA端末に接続し、卓上ホルダ底面の溝に通してご使用ください。

データ通信



データ通信の準備の流れ

パソコンとFOMA端末を接続して、パケット通信／64Kデータ通信を行う場合の準備について説明します。準備の手順は次のようになります。

USB接続で通信する場合	Bluetooth接続で通信する場合
通信設定ファイル（ドライバ）のインストール→P458 ・ インストール後の確認をする→P460	FOMA端末にパソコンを登録して接続する※→P507、P508 ・「電話とモデムのオプション」または「モデム」より、Bluetooth接続経由標準モデムまたはBluetooth機器メーカーが提供しているBluetoothモデムがインストールされているかを確認する→P479

↓

接続先を設定する	
FOMA PC設定ソフトを使って設定する場合→P462	FOMA PC設定ソフトを使わずに設定する場合→P478

↓

接続する→P472、P491
切断する→P473、P492

※：パソコンとはじめてBluetooth接続する場合のみ行います。
また、M1000通信設定ファイル（ドライバ）のインストールは不要です。ご利用になるBluetooth機器のモデム（ドライバ）をご確認ください。

■通信設定ファイルとFOMA PC設定ソフトについて

添付のFOMA M1000用CD-ROM1には通信設定ファイル（ドライバ）、CD-ROM2にはFOMA PC設定ソフトが収録されています。

- M1000通信設定ファイルとは、FOMA端末とパソコンをUSB接続ケーブル（同梱品）で接続して、パケット通信、64Kデータ通信やデータ転送を行うときに必要なソフトウェア（ドライバ）です。M1000通信設定ファイルをインストールすることで、Windowsにドライバが組み込まれます。
- FOMA PC設定ソフトとは、パケット通信、64Kデータ通信の設定やダイヤルアップ作成を簡単に行うことができるソフトウェアです。

■デスクトップスイートがパソコンにインストールされているとき

接続するパソコンにデスクトップスイート（→P589）がインストールされているときは、パソコンとFOMA端末の接続後、以下の設定が必要になります。

①パソコン画面のタスクトレイの「mRouterアイコン」をダブルクリックする



②USB接続する場合は「USB」、Bluetooth接続する場合は「Bluetooth」のチェックを外す



次のページへ続く

お知らせ

- 何らかの原因により、パソコンがFOMA端末を認識できなくなった場合は、通信設定ファイルをアンインストールし（→P461）、再度インストールしてください。

M1000通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

- M1000通信設定ファイルのインストールの途中でパソコンから USB接続ケーブル（同梱品）を抜いたときや、［キャンセル］をクリックしてインストールを中止した場合は、M1000通信設定ファイルが正常にインストールできなくなることがあります。このような場合には、アンインストール（→P461）の手順に従ってM1000通信設定ファイルをいったん削除してから、再度インストールし直してください。
- Windows XPまたはWindows 2000でM1000通信設定ファイルのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーアカウントで行ってください。それ以外のアカウントでインストールを行うとエラーになります。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

USB接続で通信する場合

USB接続ケーブル（同梱品）でパソコンと接続して通信する場合は、次の手順に従ってM1000通信設定ファイルをインストールしてください。

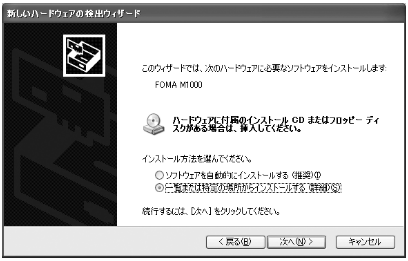
Windows XPにインストールする

1 **FOMA M1000用CD-ROM1をパソコンにセットする**

2 **FOMA端末とパソコンを接続する**

- 接続方法→P456

3 **「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、［次へ］をクリックする**



4 **「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択して「次の場所を含める」をチェックし、［参照］をクリックして「<ドライブ名>:¥Drivers¥USB¥Win2K_XP」を指定して［次へ］をクリックする**

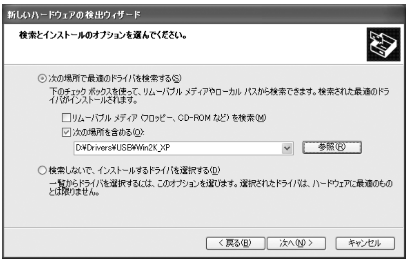
M1000通信設定ファイルのインストールが開始されます。

- 「リムーバブル　メディア（フロッピー、CD-ROMなど）を検索」のチェックは外します。

■「Windows XPとの互換性を検証するWindowsロゴテストに合格していません。」の旨のメッセージが表示された場合

［続行］をクリックしてインストールを行う

インストールされたM1000通信設定ファイルは、Windowsロゴテストに合格したソフトウェアと変わりない動作を行います。



5 **［完了］をクリックする**

続けて「インストールした通信設定ファイル（ドライバ）を確認する」（→P460）に進みます。

Windows 2000にインストールする

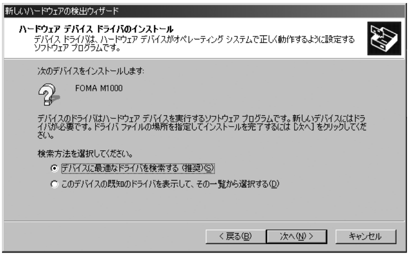
1 FOMA M1000用CD-ROM1をパソコンにセットする

2 FOMA端末とパソコンを接続する

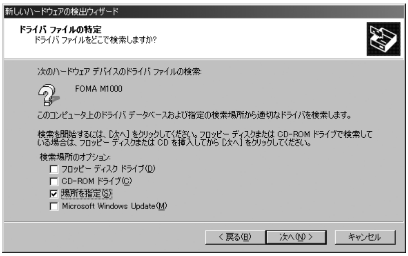
- 接続方法→P456

3 「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面で[次へ]をクリックする

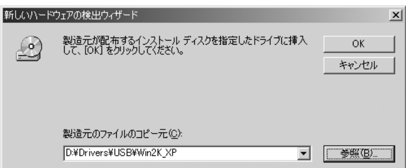
4 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、[次へ]をクリックする



5 「場所を指定」をチェックして[次へ]をクリックする



6 [参照]をクリックして「<ドライブ名>:¥Drivers¥USB¥Win2K_XP」を指定し、[OK]をクリックする



7 ドライバ名「FOMA M1000」を確認して[次へ]をクリックする

M1000通信設定ファイルのインストールが開始されます。

■「デジタル署名が見つかりませんでした」の画面が表示された場合

[はい]をクリックしてインストールを行う

インストールされたM1000通信設定ファイルは、デジタル署名があるソフトウェアと変わりない動作を行います。

8 [完了]をクリックする

続けて「インストールした通信設定ファイル(ドライバ)を確認する」(→P460)に進みます。

Windows Me／Windows 98SEにインストールする

1 FOMA M1000用CD-ROM1をパソコンにセットする

2 FOMA端末とパソコンを接続する

- 接続方法→P456

■Windows 98SEの場合

[次へ]をクリックする

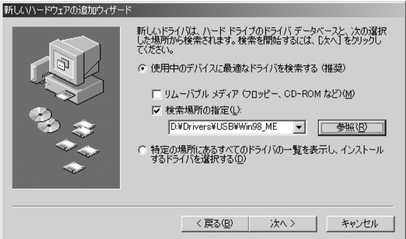
3 「ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)」を選択し、[次へ]をクリックする



■Windows 98SEの場合

「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択し、[次へ]をクリックする

4 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」を選択して「検索場所の指定」をチェックし、[参照]をクリックして「＜ドライブ名＞:¥Drivers¥USB¥Win98_ME」を指定し、[次へ]をクリックする



■Windows 98SEの場合

①「検索場所の指定」をチェックし、[参照]をクリックして「＜ドライブ名＞:¥Drivers¥USB¥Win98_ME」を指定し、[次へ]をクリックする

②「更新されたドライバ(推奨)」を選択して[次へ]をクリックする

5 ドライバ名「FOMA M1000」を確認して[次へ]をクリックする

M1000通信設定ファイルのインストールが開始されます。

6 [完了]をクリックする

続けて「インストールした通信設定ファイル(ドライバ)を確認する」(→P460)に進みます。

■Bluetooth接続するとき

本FOMA端末と接続してご利用になるBluetooth機器により、ダイヤルアップに使用するモデム(ドライバ)が異なる場合があります。
詳細はご利用になる機器の取扱説明書をご覧ください。
また、お問い合わせにつきましては、Bluetooth機器指定のモデム(ドライバ)をご利用になる場合はBluetooth機器メーカーに、Windowsに添付の「Bluetoothリンク経由標準モデム」などをご利用になる場合は各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

インストールした通信設定ファイル(ドライバ)を確認する

USB接続で通信する場合は、M1000通信設定ファイルが正しくインストールされていることを確認します。

1 Windowsの「コントロールパネル」を起動する

■Windows XPの場合

「スタート」➧「コントロールパネル」を順にクリックする

■Windows 2000、Windows Me、Windows 98SEの場合

「スタート」➧「設定」➧「コントロールパネル」を順にクリックする

2 「コントロールパネル」の「システム」を起動する

■Windows XPの場合

「パフォーマンスとメンテナンス」から「システム」アイコンをクリックする

■Windows Meの場合

「コントロールパネル」に「システム」アイコンが表示されないときは「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックする

3 デバイスマネージャを起動する

■Windows XP、Windows 2000の場合

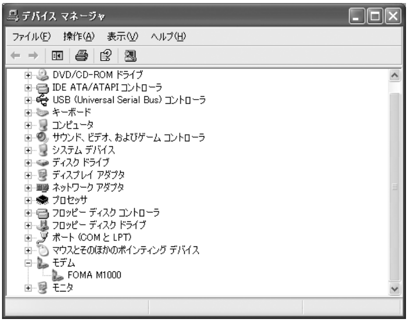
「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」をクリックする

■Windows Me、Windows 98SEの場合

「デバイスマネージャ」タブをクリックする

4 「モデム」をクリックしてインストールされたドライバ名を確認する

「モデム」の下にドライバ名(FOMA M1000)が表示されていることを確認します。
ドライバ名を確認したら、「FOMA PC設定ソフトについて」(→P462)へ進みます。



Windows XPの「デバイスマネージャ」画面例

デバイス名	ドライバ名
モデム	FOMA M1000

お知らせ

- 「デバイスマネージャ」画面を確認したときにドライバ名が表示されない場合は、アンインストールの手順に従ってM1000通信設定ファイルをいったん削除してから、再度インストールしてください。
- Bluetooth接続で通信する場合、インストールされるモデム（ドライバ）の詳細については、ご利用になるBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

  またお問い合わせにつきましては、Bluetooth機器指定のモデム（ドライバ）をご利用になる場合はBluetooth機器メーカーに、Windowsに添付の「Bluetoothリンク経由標準モデム」などをご利用になる場合は各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

M1000通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

通信設定ファイル（ドライバ）のアンインストールが必要な場合は、次の手順で行ってください。

1 FOMA端末とパソコンを接続する

- 接続方法→P456

2 P460の「インストールした通信設定ファイル（ドライバ）を確認する」の操作を行う

3 ドライバを削除する

■Windows XP、Windows 2000の場合

①**ドライバ名（FOMA M1000）をダブルクリックする**

「FOMA M1000のプロパティ」画面が表示されます。

②**「ドライバ」タブをクリックし、［削除］をクリックする**



③**［OK］をクリックする**

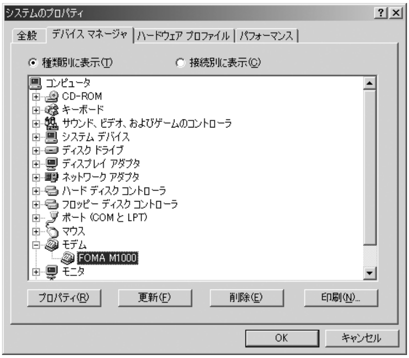
ドライバがアンインストールされます。



次のページへ続く

■Windows Me、Windows 98SEの場合

① ドライバ名（FOMA M1000）を選択
　▶［削除］をクリックする



② ［OK］をクリックする

ドライバがアンインストールされます。



FOMA PC設定ソフトについて

FOMA端末をPCに接続してパケット通信や64Kデータ通信を行うには、通信に関するさまざまな設定が必要です。FOMA PC設定ソフトを使うと、簡単な操作で次の設定ができます。

- FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信や64Kデータ通信を設定することもできます。→P478
- FOMA端末とパソコンとの接続については、P456を参照してください。

かんたん設定

ガイドに従い操作することで、「FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成」を行い、同時に「W-TCPの設定」などを自動で行います。

W-TCPの設定

「FOMA パケット通信」を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。

通信性能を最大限に活用するには、W-TCP設定による通信設定の最適化が必要となります。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。

FOMAパケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先毎に、FOMA端末にAPN（Access Point Name）と呼ばれる接続先名を登録し、その登録番号（cid）を接続先電話番号欄に指定して接続します。

お知らせ

- 古いバージョンの「FOMA PC設定ソフト」（バージョン1.00　以降「旧FOMA PC設定ソフト」）がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフト」（バージョン2.00）のインストールを行う前にアンインストールしてください。バージョンの確認方法についてはP465を参照してください。
- 「旧FOMA PC設定ソフト」は、本FOMA端末ではご利用できません。
- 接続するパソコンにデスクトップスイート（→P589）がインストールされている場合は、パソコンとFOMA端末の接続後、デスクトップスイートのmRouterの設定が必要になります。→P457

FOMA PC設定ソフトのインストールからインターネット接続までの流れ

ステップ1：ソフトのインストール

FOMA PC設定ソフトをインストールします

- 「旧FOMA　PC設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフト」のインストールを行う前にあらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。
  「旧FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合は、「FOMA PC設定ソフト」のインストールはできません。
- 「旧FOMA PC設定ソフト」は、本FOMA端末ではご利用できません。

ステップ2：設定前の準備

各種設定前の準備をします

- 各種設定の前にFOMA端末とパソコンが接続され、かつ正しく認識されていることを確認してください。
- FOMA 端末とパソコンの接続方法については、P456を参照してください。
- BluetoothでFOMA端末とパソコンを接続する場合は、P507を参照してください。
- FOMA 端末がパソコンに正しく認識されていない場合、各種設定および通信を行うことができません。その場合はP458を参照して通信設定ファイルのインストールを行ってください。
- Bluetooth接続でFOMA PC設定ソフトを利用する場合の設定方法についてはP465を参照してください。

ステップ3：各種設定作業

ご利用の通信に対応した設定をします

- かんたん設定による設定
  - mopera Uまたはmoperaを利用したパケット通信設定方法→P466
  - その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法→P468
  - mopera Uまたはmoperaを利用した64Kデータ通信設定方法→P470
  - その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信は、P471以降を参照してください。

ステップ4：接続

インターネットに接続します

- 接続方法は、P472 を参照してください。

インストールをする前に

動作環境を確認してください。

- FOMA PC設定ソフトは、次の動作環境でご利用ください。

項 目	必要環境
パソコン本体	・ PC-AT互換機
OS	・ Windows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98SE（各 日本語版）
必要メモリ	・ Windows XP :128Mバイト以上※ ・ Windows 2000 :64Mバイト以上※ ・ Windows Me、Windows 98SE :32Mバイト以上※
ハードディスク容量	・ 5Mバイト以上の空容量※

※：必要メモリ･ハードディスク容量は、パソコンのシステム構成によって異なることがあります。

お知らせ

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、P455および上記の動作環境以外でのご使用によるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- Windows XP、Windows 2000で「FOMA PC設定ソフト」のインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーアカウントで行ってください。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

<例:Windows XPにインストールする場合>

1 **添付のFOMA M1000用CD-ROM2をパソコンにセットする**

2 **SETUP.EXEを起動する**

①［スタート］▶「ファイル名を指定して実行」を順にクリックする

②「名前」欄に「〈CD-ROMドライブ名〉:¥FOMA_PCSET¥SETUP.EXE」と入力し、［OK］をクリックする

データ通信

次のページへ続く

3 [次へ]をクリックする

旧「W-TCP設定ソフト」および旧「APN設定ソフト」などがインストールされているという画面が表示された場合は、P464を参照してください。

- インストールを始める前に、現在使用中または常駐している他のプログラムがないことを確認してください。使用中のプログラムがあった場合は、[キャンセル] をクリックして使用中のプログラムを終了させた後、インストールを再開してください。



4 「FOMA PC設定ソフト」の使用許諾契約書の内容を確認し、契約内容に同意する場合は[はい]をクリックする

[いいえ] をクリックすると、インストールは中止されます。

5 [次へ]をクリックする

セットアップ後、「W-TCP設定」のタスクトレイ常駐の可否を選択できます。
「W-TCP通信」の最適化の設定／解除を操作する機能で、常駐をおすすめします。
特に問題がない場合は「タスクトレイに常駐する」を☑にしたまま [次へ] をクリックして、インストールを続行してください。「タスクトレイに常駐する」のチェックを外して設定した場合でもFOMA PC設定ソフトの操作画面の「メニュー」をクリックし「W-TCP設定をタスクトレイに常駐させる」を選択することにより設定を変更できます。

※「タスクトレイに常駐する」設定が有効になっている場合は選択できません。



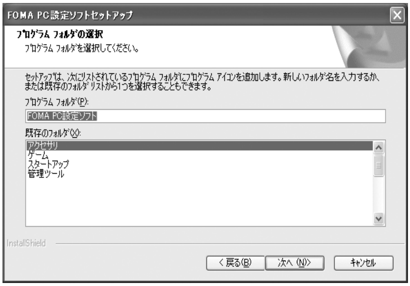
パソコン画面右下（通常）のタスクトレイに表示されます。

6 インストール先を確認し、[次へ]をクリックする

変更がある場合は [参照] をクリックし、任意のインストール先を指定して [次へ] をクリックしてください。
ハードディスク容量の問題などで、違うドライブにインストールすることもできますが、通常はそのままお進みください。

7 プログラムフォルダのフォルダ名を確認し、[次へ]をクリックする

変更がある場合は新規フォルダ名を入力し、[次へ] をクリックしてください。



8 [完了]をクリックする

セットアップを完了すると、「FOMA PC設定ソフト」の操作画面が起動します。このまま各種設定を開始できます。

FOMA PC設定ソフトインストール時の注意

■「旧W-TCP設定ソフト」がインストールされている場合

次の画面が表示されます。



「アプリケーション（プログラム）の追加と削除」から「旧W-TCP設定ソフト」を削除してください。

■「旧APN設定ソフト」がインストールされている場合

次の画面が表示されます。



［OK］をクリックすると、「旧APN設定ソフト」が自動的にアンインストールされた後、FOMA PC設定ソフトがインストールされます。

■「旧FOMA PC設定ソフト」、または既に「FOMA PC設定ソフト」がインストールされている場合

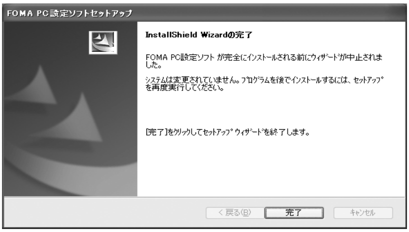
次の画面が表示されます。



「アプリケーション（プログラム）の追加と削除」から「FOMA PC 設定ソフト」を削除してください。

■インストール途中で［キャンセル］を押した場合

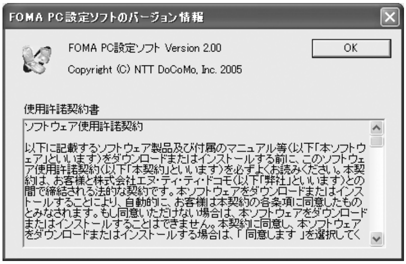
セットアップ途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックし、先へ進まない命令を出した場合、次の画面が表示されます。
［完了］をクリックしてインストールを終了してください。
再度インストールする場合は、インストールの操作を最初からやり直してください。



■FOMA PC設定ソフトのバージョン情報の確認について

FOMA通信設定ソフト起動後、「メニュー」▶「バージョン情報」を順にクリックする

次の画面が表示され、FOMA PC設定ソフトのバージョン情報が確認できます。



通信の設定を行う

パケット通信や64Kデータ通信に関する各種の設定をします。

- 設定前に FOMA 端末がパソコンに正しく接続されていることを確認してください。→P456
- 接続するパソコンにデスクトップスイート（→P589）がインストールされている場合は、パソコンとFOMA端末の接続後、デスクトップスイートの mRouter の設定が必要になります。→P457

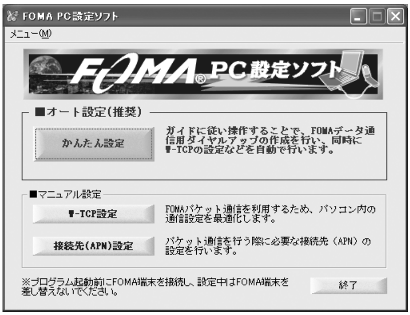
FOMA PC設定ソフトを起動する

1 「スタート」▶「プログラム」▶「FOMA PC 設定ソフト」▶「FOMA PC 設定ソフト」を順にクリックする

■Windows XPの場合

「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「FOMA PC 設定ソフト」▶「FOMA PC 設定ソフト」を順にクリックする

FOMA PC設定ソフトが起動し、操作画面が表示されます。



■Bluetooth 接続で FOMA PC 設定ソフトを利用するとき

操作画面で次の操作を行います。

データ通信

次のページへ続く

①「メニュー」▶「通信設定」を順にクリックする
②通信ポート指定画面で「COMポート指定」を選択する
③「COM」欄をクリックしてダイヤルアップ接続用に設定されたCOMポート番号を設定する
④[OK]をクリックする
• COMポートの確認方法→P479



mopera Uまたはmoperaを利用したパケット通信設定方法→P466
その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法→P468
mopera U または mopera を利用した64Kデータ通信設定方法→P470
その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信設定方法→P471

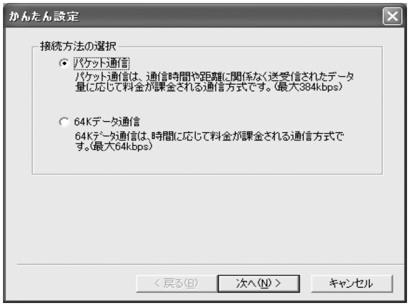
かんたん設定「mopera Uまたはmoperaを利用したパケット通信設定方法」

最大384kbpsのパケット通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」を利用します。

- パケット通信：受信最大384kbps、送信最大64kbps（一部機種を除く）のパケット通信が可能です。送受信したデータ量に応じて通信料金が計算されますので、時間を気にせずデータ通信ができます。通信環境やネットワークの混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
- パケット通信を利用して画像を含むホームページの閲覧、ファイルのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。

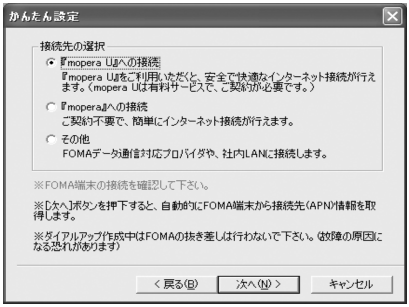
1 [かんたん設定]をクリックする

2 「パケット通信」を選択し、[次へ]をクリックする

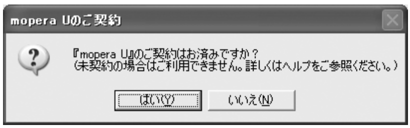


3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択し、[次へ]をクリックする

「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダをご利用のお客様は、P468を参照してください。



※「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要になります。「『mopera U』への接続」を選択すると次の画面が表示されますので、ご契約済みの場合は［はい］をクリックして次の操作へ進んでください。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込みは不要です。



4 [OK]をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

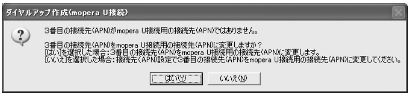


端末設定取得が完了すると、「ダイヤルアップ作成」画面が表示されます。

5 [はい]をクリックする

■「『mopera U』への接続」を選択した場合

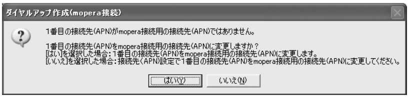
次の画面が表示されます。



3番目の接続先（APN）がmopera U用の接続先に変更されます。

■「『mopera』への接続」を選択した場合

次の画面が表示されます。



1番目の接続先（APN）がmopera用の接続先に変更されます。

6 接続名を入力し、[次へ]をクリックする

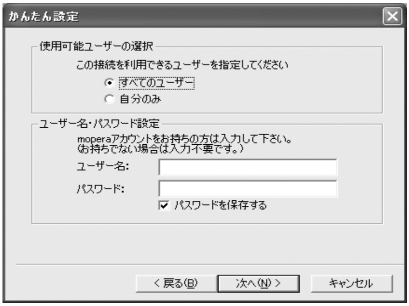
現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
接続名は、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。
入力禁止文字 ￥/:＊?<>｜"（半角のみ）は使用できません。



7 ユーザー名･パスワードを設定し、[次へ]をクリックする

「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択した場合は、「ユーザー名」／「パスワード」欄は空欄でもかまいません。

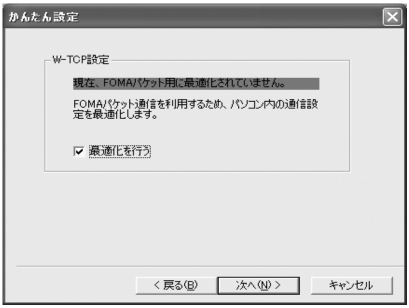
■Windows XP、Windows 2000の場合



Windows XPおよびWindows 2000の場合はユーザーの選択をしてください。どちらを選んだらよいかわからない場合は、「すべてのユーザー」を選択してください（初期設定）。
ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

8 「最適化を行う」をチェックし、[次へ]をクリックする

パケット通信に必要な「W-TCP設定」を最適化します。既に最適化されている場合には、この画面は表示されません。
設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。



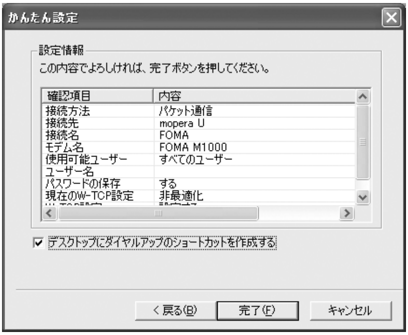
9 設定情報を確認し、[完了]をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすると、自動的にショートカットが作成されます。

データ通信

次のページへ続く●●•

設定内容を変更する場合は［戻る］をクリックしてください。



10 [OK]をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。
設定した通信を実行します。→P472

かんたん設定「その他のプロバイダを利用したパケット通信設定方法」

最大384kbpsのパケット通信の設定を行います。

- パケット通信：受信最大　384kbps、送信最大64kbps（一部機種を除く）のパケット通信が可能です。送受信したデータ量に応じて通信料金が計算されますので、時間を気にせずデータ通信ができます。通信環境やネットワークの混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
- パケット通信を利用して画像を含むホームページの閲覧、ファイルのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額となりますのでご注意ください。

1 [かんたん設定]をクリックする

2 「パケット通信」を選択し、[次へ]をクリックする

3 「その他」を選択し、[次へ]をクリックする

4 [OK]をクリックする

パソコンに接続されたFOMA端末から接続先（APN）設定を取得します。しばらくお待ちください。

5 パケット通信設定を行う

端末設定取得が完了すると、「パケット通信設定」画面が表示されます。
「接続名」の空欄に任意の接続名を入力してください。
接続名は、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。
入力禁止文字 ￥/:＊?<>｜"（半角のみ）は使用できません。
「発信者番号通知を行う」をチェックすると、通信実行時に発信者番号を通知します。



6 [接続先(APN)設定]をクリックする

［編集］をクリックして表示される「接続先（APN）の編集」画面で、ご利用のプロバイダのFOMAパケット通信に対応した接続先（APN）を正しく入力し、［OK］をクリックしてください。「接続先（APN）設定」画面に戻ります。
接続先には、半角文字で英数字、ハイフン(-)、ピリオド(.)のみ入力できます。
cidは3まで登録できます。



データ通信

- 接続方式（PDP Type）を設定する場合は、［詳細設定］をクリックして接続方式を選択してください。プロバイダの接続先（APN）名、接続方式（PDP Type）についてはご利用のプロバイダにお問い合せください。

7 接続先を選択し、[OK]をクリックする

操作5の画面に戻ります。
「接続先（APN）の選択」には、操作6で設定した接続先（APN）が表示されます。

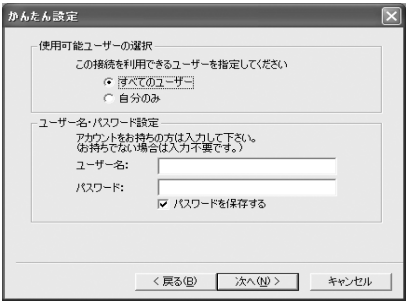
8 高度な設定(TCP/IPの設定)をする

「パケット通信設定」画面で［詳細情報の設定］をクリックすると、「IPアドレス」「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。プロバイダやLANなどのダイヤルアップ情報の入力が必要な場合は、入力指示情報をもとに、各種アドレスを登録してください。

9 「接続先(APN)の選択」で接続先(APN)を確認し、[次へ]をクリックする

10 ユーザー名・パスワードを設定し、[次へ]をクリックする

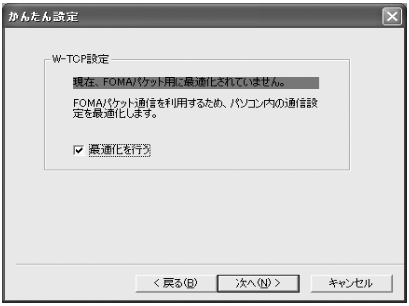
■Windows XP、Windows 2000の場合



Windows XPおよびWindows 2000の場合はユーザーの選択をしてください。どちらを選んだらよいかわからない場合は、「すべてのユーザー」を選択してください（初期設定）。
ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

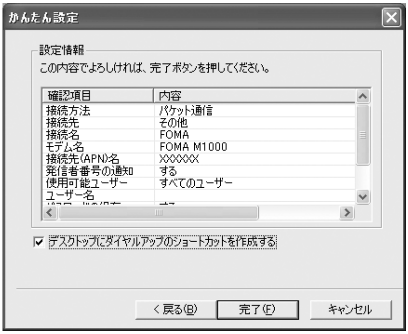
11 「最適化を行う」をチェックし、[次へ]をクリックする

パケット通信に必要な「W-TCP設定」を最適化します。既に最適化されている場合には、この画面は表示されませんので、操作12に進みます。



12 設定情報を確認し、[完了]をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすると自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は［戻る］をクリックしてください。



13 [OK]をクリックする

設定変更を有効にするためには、パソコンを再起動する必要があります。再起動の選択画面が表示された場合は［はい］をクリックしてください。
設定した通信を実行します。→P472

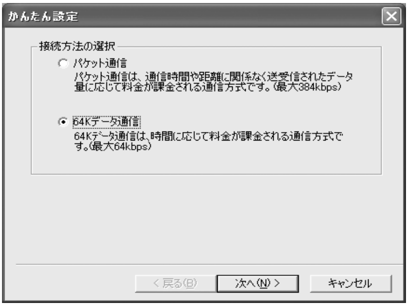
かんたん設定「mopera Uまたはmoperaを利用した64Kデータ通信設定方法」

通信速度64kbpsの64Kデータ通信の設定を行います。プロバイダは、ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」を利用します。

- 64Kデータ通信は接続していた時間に応じて通信料金が計算されます。

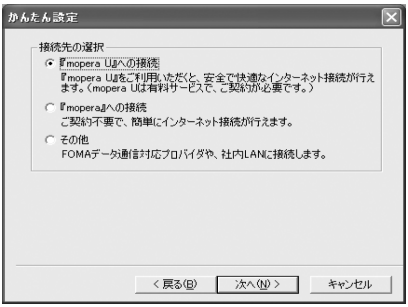
1 [かんたん設定]をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択し、[次へ]をクリックする

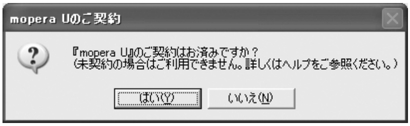


3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択し、[次へ]をクリックする

「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダをご利用のお客様は、P471を参照してください。



※「mopera U」をご利用いただく場合は、お申し込みが必要になります。「『mopera U』への接続」を選択すると次の画面が表示されますので、ご契約済みの場合は［はい］をクリックして次の操作へ進んでください。「mopera」をご利用いただく場合は、お申し込みは不要です。



4 接続名の入力とモデムを選択し、[次へ]をクリックする

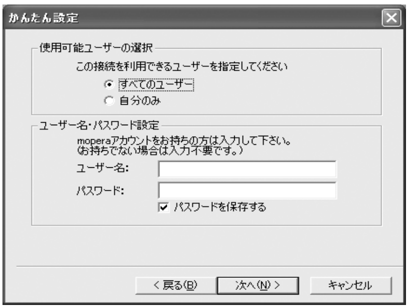
「64Kデータ通信設定」画面になります。現在作成している接続の名前を自由に設定できます。わかりやすい名前を「接続名」欄にご入力ください。
接続名は、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。
入力禁止文字 ￥/:＊?<>｜"（半角のみ）は使用できません。
「モデムの選択」欄は「FOMA M1000」を選択します。



5 ユーザー名・パスワードを設定し、[次へ]をクリックする

「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択した場合は、「ユーザー名」／「パスワード」欄は空欄でもかまいません。

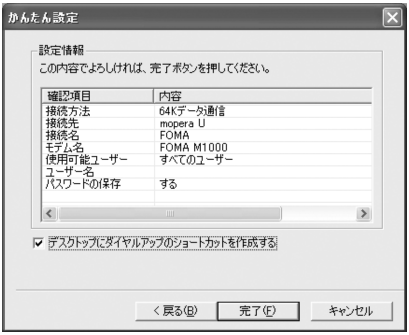
■Windows XP、Windows 2000の場合



Windows XPおよびWindows 2000の場合はユーザーの選択をしてください。どちらを選んだらよいかわからない場合は、「すべてのユーザー」を選択してください（初期設定）。
ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

6 設定情報を確認し、[完了]をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすると自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は［戻る］をクリックしてください。



7 [OK]をクリックする

設定した通信を実行します。→P472

かんたん設定「その他のプロバイダを利用した64Kデータ通信設定方法」

通信速度64kbpsの64Kデータ通信の設定を行います。

- 64Kデータ通信は接続していた時間に応じて通信料金が計算されます。

1 [かんたん設定]をクリックする

2 「64Kデータ通信」を選択し、[次へ]をクリックする

3 「その他」を選択し、[次へ]をクリックする

4 ダイヤルアップ情報を入力する

「mopera U」または「mopera」以外のISDN同期64Kアクセスポイントを持つプロバイダに接続する場合は、ダイヤルアップ作成時に、次の項目を登録します。

- 接続名（任意）
- モデムの選択（FOMA M1000）
- 電話番号

接続名は、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。
入力禁止文字 ￥/: ＊?<> | "（半角のみ）は使用できません。



USB接続ケーブル（同梱品）を使う場合、「モデムの選択」欄は「FOMA M1000」を選択します。

プロバイダ情報をもとに正しく入力してください。電話番号は、大文字・小文字などに注意し、半角文字で正確に入力してください。
「発信者番号通知を行う」をチェックすると、通信実行時に発信者番号を通知します。

5 高度な設定（TCP/IPの設定）をする

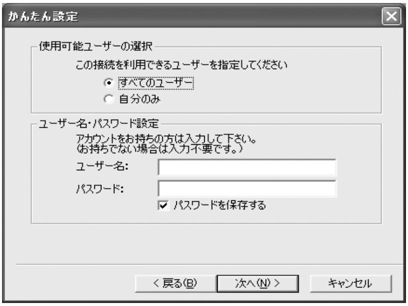
［詳細情報の設定］をクリックすると「IPアドレス」、「ネームサーバー」の設定画面が表示されます。プロバイダやLANなどのダイヤルアップ情報の入力が必要な場合は、入力指示情報をもとに、各種アドレスを登録してください。

6 [次へ]をクリックする

7 ユーザー名・パスワードを設定し、[次へ]をクリックする

次のページへ続く

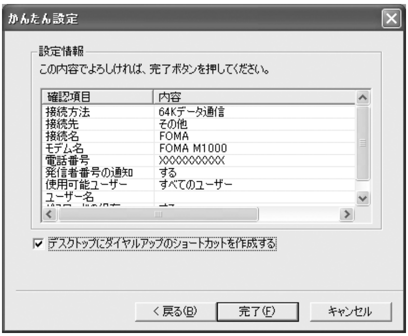
■Windows XP、Windows 2000の場合



Windows XPおよびWindows 2000の場合はユーザーの選択をしてください。どちらを選んだらよいかわからない場合は、「すべてのユーザー」を選択してください（初期設定）。
ユーザー名・パスワードの設定は、プロバイダから提供された各種情報を、大文字・小文字などに注意し、正確に入力してください。

8 設定情報を確認し、[完了]をクリックする

設定された内容が一覧で表示されます。設定内容に誤りがないことを確認してください。
「デスクトップにダイヤルアップのショートカットを作成する」をチェックすると自動的にショートカットが作成されます。
設定内容を変更する場合は［戻る］をクリックしてください。



9 [OK]をクリックする

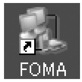
設定した通信を実行します。→P472

設定した通信を実行する

FOMA PC設定ソフトで設定した通信の実行や切断について説明します。

- ダイヤルアップアイコンからの発信は、アイコン作成時のFOMA端末のみ有効です。アイコン作成時と異なるFOMA端末を接続する場合は、再度、通信設定ファイルのインストールが必要となります。
- 通信の実行前にFOMA 端末がパソコンに正しく接続されていることを確認してください。→P456 Bluetoothによる接続前には、FOMA端末とパソコンの接続を確認してください。→P505～P508
- 接続するパソコンにデスクトップスイート(→P589)がインストールされている場合は、パソコンとFOMA端末の接続後、デスクトップスイートの mRouter の設定が必要になります。→P457

1 パソコン画面の接続アイコンをダブルクリックする



デスクトップに接続アイコンが表示されていない場合は、次の操作を行ってください。

■Windows XPの場合
「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を順にクリックし、設定したFOMA端末の接続先をダブルクリックする

■Windows 2000の場合
「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を順にクリックし、設定したFOMA端末の接続先をダブルクリックする

■Windows Me／Windows 98SEの場合
「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ダイヤルアップネットワーク」を順にクリックし、設定したFOMA端末の接続先をダブルクリックする

2 ［ダイヤル］をクリックし、接続を実行する



- 「mopera U」または「mopera」への接続を選択した場合は「ユーザー名」／「パスワード」欄は空欄のまま、［ダイヤル］をクリックしても構いません。その他のプロバイダやダイヤルアップ接続を選択した場合は、「ユーザー名」／「パスワード」欄に入力し、［ダイヤル］をクリックしてください。
- パスワード保存をチェックすると、次回からは入力の必要がなくなります。
- OS の種類によっては、ダイヤルアップを接続すると接続の完了画面が表示されます。
  以前に「接続」のメッセージを表示しない設定にした場合は、この画面は表示されません。

■Bluetooth接続の場合

FOMA端末の次の画面で［許可］をタップする

接続が実行されます。



切断する

インターネットブラウザを終了しただけでは切断されていない場合がありますので、次の操作で確実に切断してください。

1 パソコン画面のタスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする



ダイヤルアップアイコン

接続の画面が表示されます。

2 ［切断］をクリックする



お知らせ

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

- Windows XP、Windows 2000で「FOMA PC設定ソフト」のアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーアカウントで行ってください。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

アンインストールを実行する前に

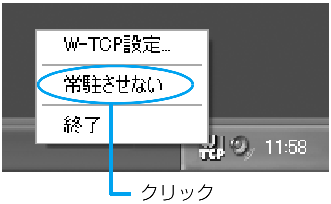
FOMA PC設定ソフトをアンインストールする前に、FOMA用に変更された内容を元に戻す必要があります。

次のページへ続く

1 「W-TCP設定」を常駐させないようにする

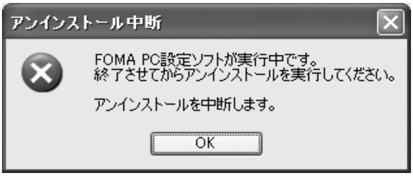
パソコン画面のタスクトレイの「W-TCPアイコン」を右クリックして「常駐させない」をクリックします。

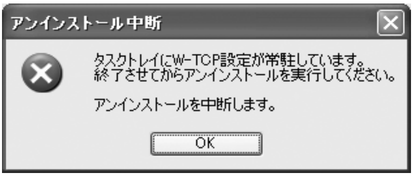




2 起動中のプログラムを終了させる

「FOMA PC設定ソフト」や「W-TCP設定」が起動中にアンインストールを実行しようとすると、次のような画面が表示されます。アンインストールを中断し、それぞれのプログラムを終了させてください。





アンインストールする

1 Windowsの「アプリケーションの追加と削除」を起動する

■Windows XPの場合

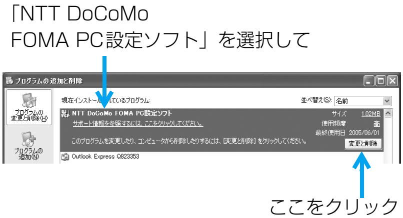
「スタート」➡「コントロールパネル」➡「プログラムの追加と削除」を順にクリックする

■Windows 2000、Windows Me、Windows 98SEの場合

「スタート」➡「設定」➡「コントロールパネル」➡「アプリケーションの追加と削除」を順にクリックする

Windows Me、Windows 98SEの場合は、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

2 「FOMA PC設定ソフト」を選択➡[変更と削除]をクリックする



3 削除するプログラム名を確認➡[はい]をクリックする

アンインストールが開始されます。



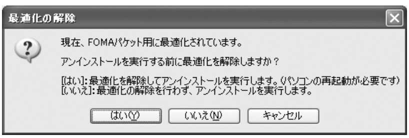
4 [OK]をクリックする

FOMA PC設定ソフトのアンインストールが終了します。



■「W-TCP最適化」の解除

「W-TCP最適化」されている場合は次の画面が出ます。アンインストールする場合は［はい］をクリックしてください。W-TCP最適化の解除は再起動後に行われます。



データ通信

W-TCP設定

W-TCPの役割

「W-TCP設定」はFOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最適化するための「TCPパラメータ設定ツール」です。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、このソフトウェアによる通信設定が必要です。

最適化の設定と解除

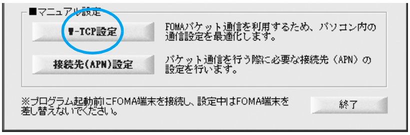
Windows XPの場合

Windows XPの場合は、ダイヤルアップごとの最適化設定が可能です。

1　プログラムを起動する

■「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合

プログラム起動後、「マニュアル設定」の［W-TCP設定］をクリックする



■タスクトレイから操作する場合

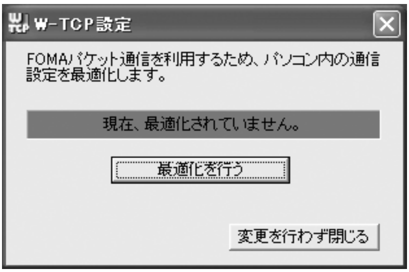
パソコン画面のタスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックする



2　次の操作を行う

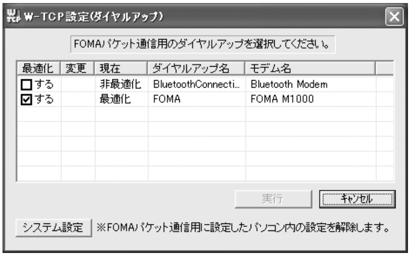
■システム設定が最適化されていない場合

［最適化を行う］をクリックする



「W-TCP（ダイヤルアップ）設定」画面が表示されます。最適化するダイヤルアップを選択して［実行］をクリックすると、システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。
システム設定の最適化は、画面表示に従ってパソコンを再起動した後、有効になります。

■システム設定が最適化されている場合

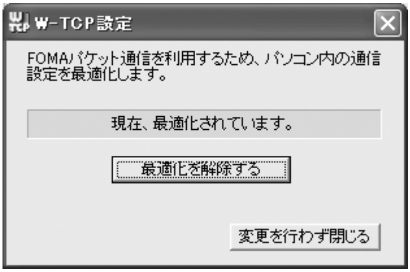


「W-TCP設定（ダイヤルアップ）」画面が表示されます。内容を変更する場合は設定を行ってください。
システム設定の最適化は、画面表示に従ってパソコンを再起動した後、有効になります。

■最適化を解除する場合

①「W-TCP設定（ダイヤルアップ）」画面で［システム設定］をクリックする

②［最適化を解除する］をクリックする



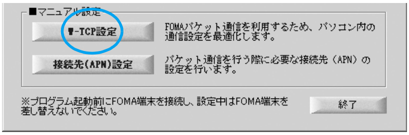
画面表示に従ってパソコンを再起動した後、最適化が解除されます。

Windows 2000、Windows Me、Windows 98SEの場合

1 プログラムを起動する

■「FOMA PC設定ソフト」から操作する場合

プログラム起動後、「マニュアル設定」の[W-TCP設定]をクリックする



■タスクトレイから操作する場合

パソコン画面のタスクトレイの「W-TCPアイコン」をクリックする

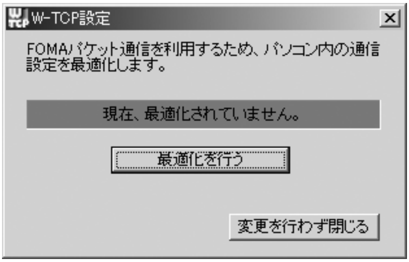
左クリック



2 次の操作を行う

■最適化されていない場合

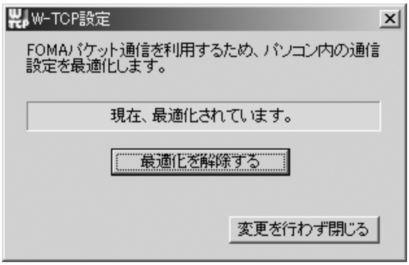
[最適化を行う]をクリックする



最適化は、画面表示に従ってパソコンを再起動した後、有効になります。

■最適化されている場合

「W-TCP設定」画面に「現在、最適化されています。」と表示されます。



FOMA端末以外による通信などの理由から設定を解除する場合は、[最適化を解除する]をクリックしてください。画面表示に従ってパソコンを再起動した後、最適化が解除されます。

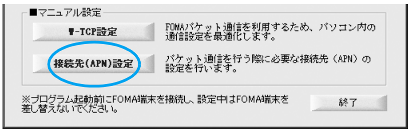
接続先(APN)の設定

パケット通信の接続先(APN)を設定します。接続先(APN)は3件まで設定でき、1～3までの登録番号(cid)が付けられます。

cidはパケット通信の接続先を指定するときに使います。

- 設定前にFOMA端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。→P456
- 接続するパソコンにデスクトップスイート(→P589)がインストールされている場合は、パソコンとFOMA端末の接続後、デスクトップスイートのmRouterの設定が必要になります。→P457

1 「FOMA PC設定ソフト」起動後、[接続先(APN)設定]をクリックする



2 FOMA端末設定取得画面で[OK]をクリックする

接続されたFOMA端末に自動的にアクセスして登録されている接続先(APN)情報を読み込みます。

- FOMA端末が接続されていない場合は起動しません。

3 接続先(APN)の設定をする



- あらかじめ番号(cid)1～3には接続先(APN)が空白で設定されています。接続先を追加する場合は、[編集]をクリックして設定してください。

- あらかじめ番号（cid）1～3の接続方式には「IP接続」が設定されています。接続先（APN）を設定する場合はご注意ください。
- 接続方式を設定する場合は、［編集］➧［詳細設定］を順にクリックして接続方式を選択してください。プロバイダの接続先（APN）名、接続方式については各プロバイダにお問い合せください。

接続先（APN）の編集・削除・追加

■登録済みの接続先（APN）を編集する場合

「接続先（APN）設定」画面で編集する接続先（APN）を一覧から選択➧［編集］をクリックする

■登録済みの接続先（APN）を削除する場合

「接続先（APN）設定」画面で削除する接続先（APN）を一覧から選択➧［削除］をクリックする

- 番号（cid）1に登録されている接続先（APN）は削除できません。

■接続先（APN）を追加する場合

「接続先（APN）設定」画面で［追加］をクリックする

ファイルへの保存

FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存したりできます。

1 「接続先(APN)設定」画面で「ファイル」➧「名前を付けて保存」／「上書き保存」を順にクリックする

ファイルからの読み込み

パソコンに保存されている接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込んだりできます。

1 「接続先(APN)設定」画面で「ファイル」➧「開く」を順にクリックする

FOMA端末への接続先（APN）情報の書き込み

表示されている接続先（APN）設定をFOMA端末に書き込むことができます。

1 「接続先(APN)設定」画面で[FOMA端末へ設定を書き込む]をクリックする

「上書きの確認」画面が表示されます。

2 [はい]をクリックする

FOMA端末からの接続先（APN）情報の読み込み

FOMA端末に手動でアクセスして登録されている接続先（APN）を読み込むことができます。

1 「接続先(APN)設定」画面で「ファイル」➧「FOMA端末からの設定を取得」を順にクリックする

「FOMA端末設定取得」画面が表示されます。

2 [OK]をクリックする

ダイヤルアップ作成機能

「接続先（APN）設定」画面で追加、編集された接続先（APN）からパケット通信ダイヤルアップを作成してFOMA端末へ書き込むことができます。

1 「接続先(APN)設定」画面で追加、編集された接続先(APN)を選択し、[ダイヤルアップ作成]をクリックする

FOMA端末書き込み確認画面が表示されます。

2 [はい]をクリックする

FOMA端末へ接続先（APN)情報を書き込み終了後、［OK］をクリックすると「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

3 任意の接続名を入力し、[アカウント・パスワードの設定]をクリックする

- mopera Uまたはmoperaの場合は空欄でもかまいません。

4 ユーザー名とパスワードを入力して[OK]をクリックする

- Windows XP、Windows 2000の場合は使用可能ユーザーを選択します。
  どちらを選んだらよいかわからない場合は、「すべてのユーザー」を選択してください（初期設定）。

次のページへ続く ●●●

- ご利用のプロバイダよりIPおよびDNS情報が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で［詳細情報の設定］をクリックして、必要な情報を登録後、［OK］をクリックします。

5 ダイヤルアップが作成されます

お知らせ

- 接続先（APN）は、FOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末を接続する場合は接続先（APN）を登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、FOMA端末の同じ登録番号（cid）に同じ接続先（APN）を登録してください。

通信ポートを指定する

手動で通信設定を行うときなどのためにFOMA端末に割り当てられたパソコンのCOMポートを変更できます。

1 FOMA PC設定ソフト起動後、「メニュー」▶「通信設定」を順にクリックする

2 「COMポート指定」を選択する



3 「COM」欄をクリックしてCOMポート番号を選択し、［OK］をクリックする

指定したCOMポートが設定されます。

- 指定したCOMポートを確認するには、P479を参照してください。

ダイヤルアップネットワークの設定

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。次のような流れになります。

パケット通信の設定方法	64Kデータ通信の設定方法
取り付けかた→P456 USB接続で通信する場合は、通信設定ファイル（ドライバ）をインストールします。→P458	

↓

COMポートを確認（パケット通信の設定方法）

COMポートを確認します。→P479

↓

接続先（APN）の設定（パケット通信の設定方法）

接続先（APN）の設定をします。→P481

↓

その他の設定

その他の設定をします（ATコマンド）。→P493

↓

ダイヤルアップネットワークの設定

- 設定内容の詳細についてはインターネットサービスプロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 接続先を設定します。
  - Windows XPをお使いの場合→P483
  - Windows 2000をお使いの場合→P485
  - Windows Meをお使いの場合→P489
  - Windows 98SEをお使いの場合→P489

↓

接続します。→P491

■ATコマンドについて

ATコマンドとは、モデム制御用のコマンドです。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

- ATコマンドを入力することによって、「データ通信」やFOMA端末の詳細な設定、設定内容の確認（表示）をすることができます。

お知らせ

- 64Kデータ通信のアクセスポイントとして、ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、接続先の番号を次のように設定します。

  「mopera U」 ：＊8701
  「mopera」 ：＊9601
- 「その他の設定」は必要に応じて設定してください。お買い上げ時のままでも利用できます。
- 設定内容の詳細については、プロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

COMポートを確認する

接続先（APN）の設定を行う場合、USB接続で通信する場合は通信設定ファイルのインストール後に組み込まれた「FOMA M1000」（モデム）、Bluetooth接続で通信する場合はBluetooth モデムに割り当てられた COM ポート番号を指定する必要があります。ここではCOMポート番号の確認方法について説明します。ここで確認したCOMポートは接続先（APN）の設定（→P481）で使用します。

■Bluetoothモデムについて

本FOMA端末と接続してご利用になるBluetooth 接続機器により、使用するBluetoothモデムが異なる場合があります。

詳細はご利用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

また、お問い合わせにつきましては、Bluetooth機器指定のモデムをご利用になる場合はBluetooth機器メーカーに、Windowsに添付の「Bluetoothリンク経由標準モデム」などをご利用になる場合は各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

■接続先（APN）と登録番号（cid）について

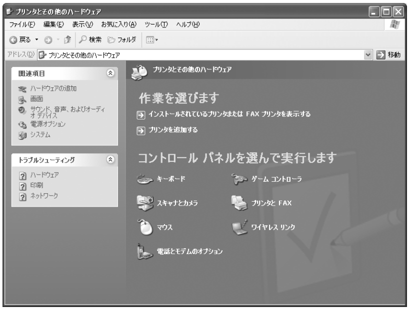
パケット通信の接続先には、64Kデータ通信と異なり、通常の電話番号を使用しません。接続には電話番号の代わりに接続先（APN）を設定します。

- 接続先（APN）の設定は、例えばパソコンからFOMA端末内にパケット通信用の電話帳を登録するようなもので、登録するときは、1～3の登録番号（cid）を付けて登録し、その登録番号（cid）を接続先番号の一部として使用します。
- APN は「cid」（1 ～ 3 までの登録番号）によって管理されます。接続する接続先番号を「＊99＊＊＊<cid番号>＃」とするとcid番号の接続先に接続します。

Windows XPでCOMポートを確認する

1 **「スタート」▶「コントロールパネル」を順にクリックする**

2 **「コントロールパネル」の「プリンタとその他のハードウェア」▶「電話とモデムのオプション」を順にクリックする**



3 **「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番／エリアコード」を入力し、[OK]をクリックする**

4 **「モデム」タブをクリックし、「FOMA M1000」またはBluetoothモデム※の「接続先」欄のCOMポートを確認して[OK]をクリックする**

※：Bluetoothモデムについて→P479

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定で使用します。

- 表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。

次のページへ続く



Windows 2000でCOMポートを確認する

1 「スタート」▸「設定」▸「コントロールパネル」を順にクリックする

2 「コントロールパネル」の「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックする



3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力し、[OK]をクリックする

4 「モデム」タブをクリックし、「FOMA M1000」またはBluetoothモデム※の「接続先」欄のCOMポートを確認して[OK]をクリックする

※：Bluetoothモデムについて→P479

確認したCOMポート番号は、接続先（APN）の設定で使用します。

- 表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。



Windows Me／Windows 98SEでCOMポートを確認する

1 「スタート」▸「設定」▸「コントロールパネル」を順にクリックする

2 「コントロールパネル」の「モデム」アイコンをダブルクリックする

コントロールパネルに「モデム」アイコンが表示されないときは「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックします。



データ通信

3 **「FOMA M1000」またはBluetoothモデム※がセットアップされていることを確認し、「検出結果」タブをクリックする**

※：Bluetoothモデムについて→P479



4 **「FOMA M1000」またはBluetoothモデムが設定されているCOMポートを確認し、[OK]をクリックする**

確認した COM ポート番号は、接続先（APN）の設定で使用します。

- 表示される内容およびCOMポートの番号は、お使いのパソコンによって異なります。



接続先（APN）を設定する

お買い上げ時	cid1～3:設定なし

設定を行うためには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。ここではWindows標準添付の「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。

- パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。接続先（APN）は最大3件設定でき、登録番号（cid）の1～3（→P479）を付けて管理します。
- 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。
- 「mopera U」または「mopera」以外の接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- P482の操作5以降、「ハイパーターミナル」で入力したATコマンドが見えないことがあります。このようなときは、
  ATE1 ↵
  と入力すれば、以降に入力するATコマンドが見えるようになります。

<例：Windows XPの場合>

1 **FOMA端末とパソコンを接続する**

- 接続方法→P456
- 接続するパソコンにデスクトップスイート（→P589）がインストールされている場合は、パソコンとFOMA端末の接続後、デスクトップスイートのmRouterの設定が必要になります。→P457

2 **パソコンで、「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」を順にクリックする**

ハイパーターミナルが起動します。

■Windows 2000、Windows Meの場合

「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」を順にクリックする

■Windows 98SEの場合

「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ハイパーターミナル」を順にクリックし、「Hypertrm.exe」をダブルクリックする

次のページへ続く

3 「名前」欄に任意の名前を入力し、[OK]をクリックする

ここでは例として「FOMA」と入力します。



4 「接続方法」欄をクリックしてFOMA端末に割り当てられたCOMポート番号を選択し、[OK]をクリックする

- 「接続方法」で選択するCOMポートの番号を確認するには、「COMポートを確認する」（→P479）を行ってください。



COMポートのプロパティ画面が表示されますので、［OK］をクリックします。

■「FOMA M1000」のCOMポートを選択できない場合

① ［キャンセル］をクリックする
「接続の設定」画面が終了します。

② 「ファイル」をクリックし、「プロパティ」を選択する

③ 「FOMAのプロパティ」画面の「接続の設定」タブの「接続方法」欄をクリックし、「FOMA M1000」を選択する

④ 「国/地域番号と市外局番を使う」のチェックを外す

⑤ ［OK］をクリックする



5 接続先(APN)を入力し、↵を押す

AT+CGDCONT=<cid>,"PPP", "APN"の形式で入力します。→P498

<cid>：1～3までのうち任意の番号を入力します。

既にcidが設定してある場合は設定が上書きされますので注意してください。

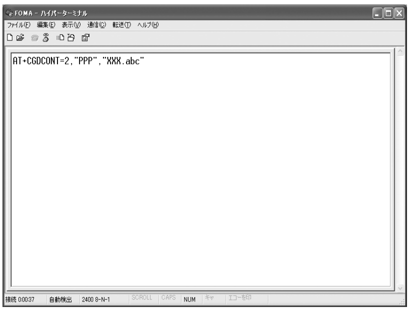
<PDP type>
："PPP" または "IP" と入力します。

"APN"：接続先（APN）を" " で囲んで入力します。

「OK」と表示されれば、接続先（APN）の設定は完了です。

＜例：cidの2にPDP typeがPPPでXXX.abcというAPNを設定する場合＞

「AT+CGDCONT=2,"PPP","XXX.abc" ↵」と入力します。



6 「OK」と表示されることを確認し、「ファイル」▶「ハイパーターミナルの終了」を順にクリックする

データ通信

ハイパーターミナルが終了します。

- 接続の切断確認画面が表示される場合は、［はい］をクリックします。
- 保存確認画面が表示されますが、保存する必要はありません。

■ATコマンドで接続先（APN）設定をリセットするとき

指定したcidの接続先（APN）をリセットします。

＜入力方法＞
AT＋CGDCONT=〈cid〉↵

■ATコマンドで接続先（APN）設定を確認するとき

現在の設定内容を表示させます。

＜入力方法＞
AT＋CGDCONT?↵

■ATコマンドを入力しても画面に何も表示されないとき

＜入力方法＞
ATE1↵

ダイヤルアップの設定を行う

＜例：<cid>=3を使いドコモのインターネット接続サービス「mopera U」へ接続する場合＞

- 「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダに接続する場合の設定内容については、プロバイダまたはネットワーク管理者へお問い合わせください。

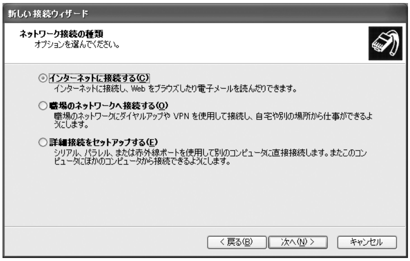
Windows XPでダイヤルアップの設定を行う

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「新しい接続ウィザード」を順にクリックする

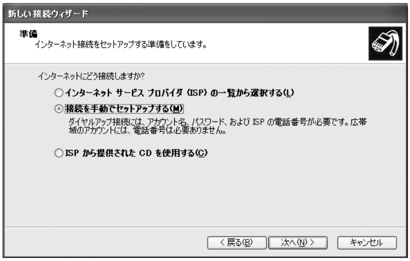
2 「新しい接続ウィザード」画面で［次へ］をクリックする



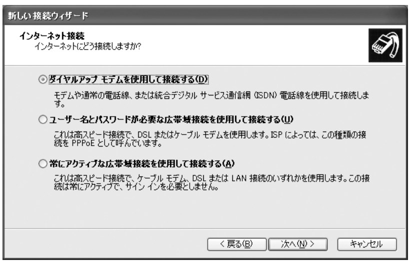
3 「インターネットに接続する」を選択し、［次へ］をクリックする



4 「接続を手動でセットアップする」を選択し、［次へ］をクリックする



5 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択し、［次へ］をクリックする



次のページへ続く

6 「デバイスの選択」画面が表示された場合は、「モデム－FOMA M1000（COMx）」または「モデム－Bluetooth Modem（COMx）」※を選択し、[次へ]をクリックする

※：Bluetoothモデムについて→P479

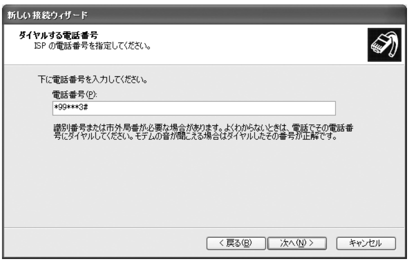
「デバイスの選択」画面は、複数のモデムが存在するときのみ表示されます。
「（COMx）」は、「電話とモデムのオプション」画面で表示されるCOMポートの番号です。→P479



7 「ISP名」欄に任意の名前を入力し、[次へ]をクリックする

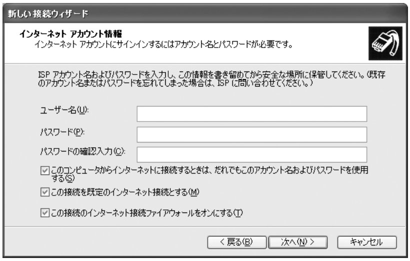


8 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、[次へ]をクリックする



9 「ユーザー名」／「パスワード」／「パスワードの確認入力」欄を入力し、[次へ]をクリックする

「ユーザー名」／「パスワード」／「パスワードの確認入力」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。
「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、「ユーザー名」／「パスワード」／「パスワードの確認入力」欄は空欄でもかまいません。



10 [完了]をクリックする

新しく作成した接続ウィザードが表示されます。



11 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を順にクリックする

12 作成したダイヤルアップのアイコンを選択し、「ファイル」▶「プロパティ」を順にクリックする



13 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上のモデムが接続されている場合は、「接続方法」欄で「モデム－FOMA M1000」または「モデム－Bluetooth Modem」にチェックが付いていることを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックします。
「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合は、チェックを外します。



14 「ネットワーク」タブをクリックし、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP:Windows 95/98/NT4/2000,Internet」を選択します。
「この接続は次の項目を使用します」欄は、「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択します。

- 「QoSパケットスケジューラ」は設定を変更できません。



15 [設定]をクリックする

16 すべてのチェックを外し、[OK]をクリックする



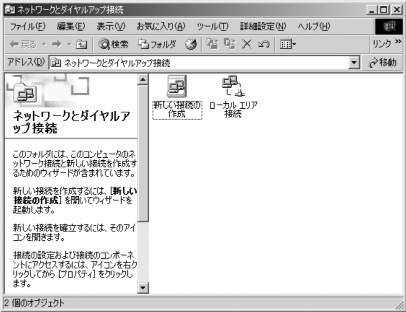
17 「ネットワーク」タブ画面で[OK]をクリックする

Windows 2000でダイヤルアップの設定を行う

1 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワークとダイヤルアップ接続」を順にクリックする

2 「ネットワークとダイヤルアップ接続」画面で「新しい接続の作成」アイコンをダブルクリックする

次のページへ続く



3 「所在地情報」画面が表示された場合は、「市外局番」を入力し、[OK]をクリックする

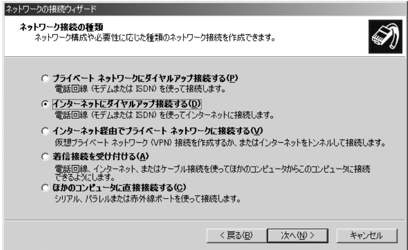
「所在地情報」画面は操作2で「新しい接続の作成」をはじめて起動したときのみ表示されます。
2回目以降は、この画面は表示されず、「ネットワークの接続ウィザード」画面が表示されるので、操作5に進んでください。

4 「電話とモデムのオプション」画面で[OK]をクリックする

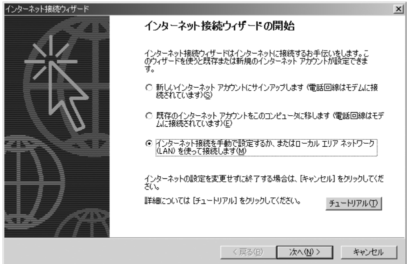
5 「ネットワークの接続ウィザード」画面で[次へ]をクリックする



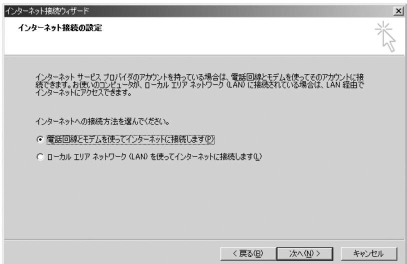
6 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択し、[次へ]をクリックする



7 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク(LAN)を使って接続します」を選択し、[次へ]をクリックする



8 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択し、[次へ]をクリックする



9 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」欄に「FOMA M1000」または「Bluetooth modem」※が表示されていることを確認し、[次へ]をクリックする

※：Bluetoothモデムについて→P479

「FOMA M1000」または「Bluetooth modem」が表示されていない場合は、「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」欄をクリックして選択します。

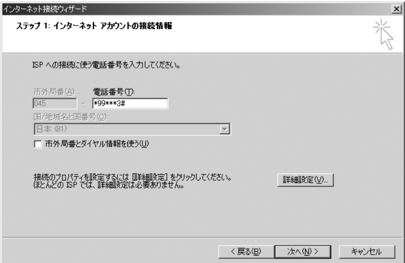
データ通信

- 複数のモデムがインストールされていない場合は、次の画面は表示されません。



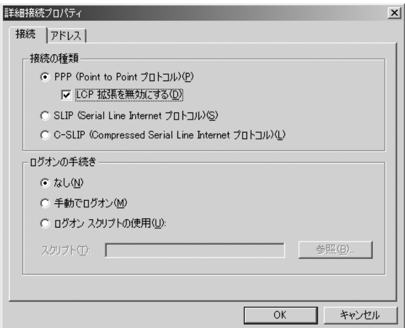
10 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、[詳細設定]をクリックする

「市外局番とダイヤル情報を使う」のチェックを外します。



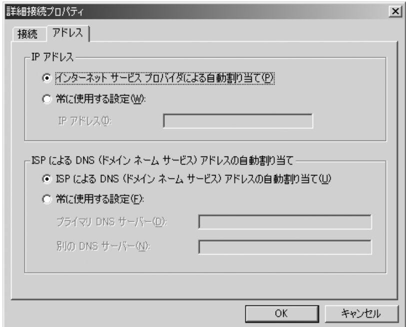
11 「接続」タブの各項目を画面例のように設定する

「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダに接続する場合、「接続の種類」「ログオンの手続き」にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。



12 「アドレス」タブをクリックし、IPアドレスおよびDNS(ドメインネームサービス)アドレスを画面例のように設定して[OK]をクリックする

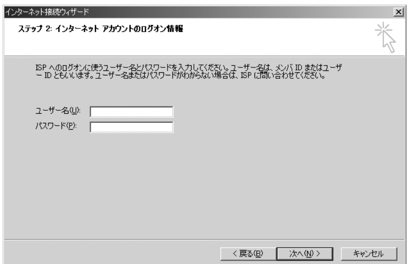
「mopera U」または「mopera」以外のプロバイダに接続する場合は、「IPアドレス」「ISPによるDNS（ドメインネームサービス）アドレスの自動割り当て」にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。



13 「インターネットアカウントの接続情報」画面で[次へ]をクリックする

14 「ユーザー名」／「パスワード」欄を入力し、[次へ] をクリックする

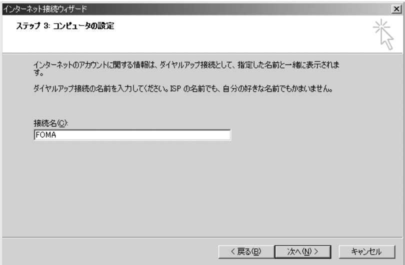
「ユーザー名」／「パスワード」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。
「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、「ユーザー名」／「パスワード」欄は空欄でもかまいません。
空欄の場合、ユーザー名やパスワードの空白を確認する画面が続けて表示されます。各画面で［はい］をクリックします。



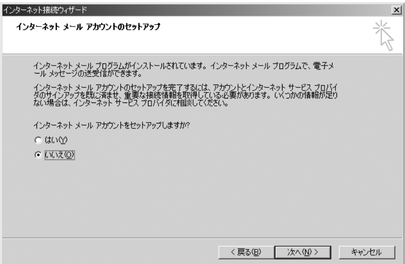
データ通信

次のページへ続く

15 「接続名」欄に任意の名前を入力し、[次へ]をクリックする

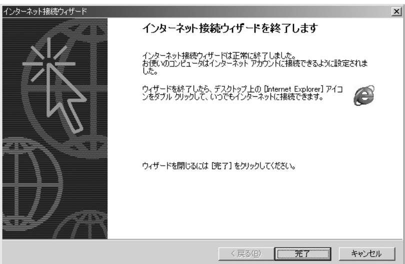


16 「いいえ」を選択し、[次へ]をクリックする

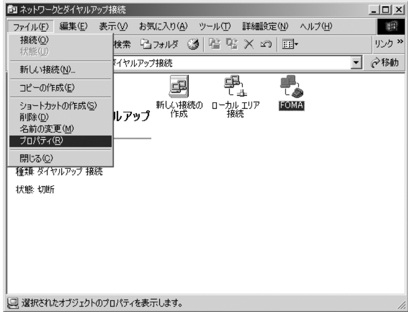


17 [完了]をクリックする

「今すぐインターネットに接続するにはここを選び完了をクリックしてください」が表示される場合はチェックを外します。



18 作成したダイヤルアップのアイコンを選択し、「ファイル」▶「プロパティ」を順にクリックする



19 「全般」タブで設定を確認する

パソコンに2台以上モデムが接続されている場合は、「接続の方法」欄で「モデム－FOMA M1000」にチェックが付いていることを確認します。チェックが付いていない場合には、チェックします。

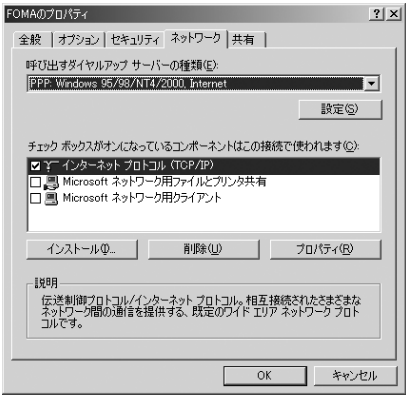
「ダイヤル情報を使う」にチェックが付いていないことを確認します。チェックが付いている場合は、チェックを外します。



20 「ネットワーク」タブをクリックし、各種設定を行う

「呼び出すダイヤルアップサーバーの種類」欄は、「PPP：Windows 95/98/NT4/2000, Internet」を選択します。

「チェックボックスがオンになっているコンポーネントはこの接続で使われます」欄は「インターネットプロトコル（TCP/IP）」のみをチェックします。



21 [設定]をクリックする

22 すべてのチェックを外し、[OK]をクリックする



23 「ネットワーク」タブの画面で[OK]をクリックする

Windows Me／Windows 98SEでダイヤルアップの設定を行う

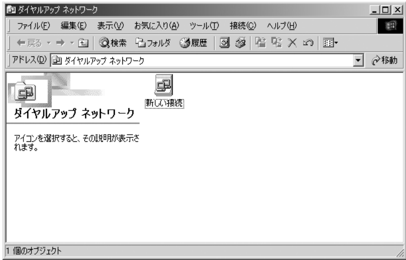
1 「スタート」▶「プログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ダイヤルアップネットワーク」を順にクリックする

2 「ダイヤルアップネットワークへようこそ」画面で[次へ]をクリックする

この画面はダイヤルアップネットワークをはじめて起動したときのみ表示されます。[次へ] をクリックして操作4に進みます。
2回目以降は、この画面は表示されず、操作3の「ダイヤルアップネットワーク」画面が表示されます。



3 「ダイヤルアップネットワーク」画面で「新しい接続」アイコンをダブルクリックする



4 「接続名」欄に任意の名前を入力し、[次へ]をクリックする

「モデムの選択」欄に「FOMA M1000」または「Bluetooth modem」※が表示されていることを確認します。

※：Bluetoothモデムについて→P479

- 「FOMA M1000」または「Bluetooth modem」が表示されていない場合は、「モデムの選択」欄をクリックして選択します。



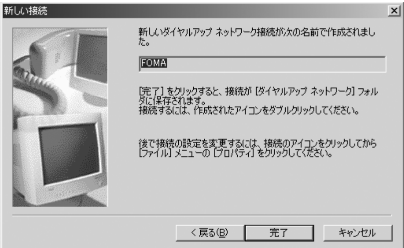
5 「電話番号」欄に接続先の番号を入力し、[次へ]をクリックする

「市外局番」欄には入力しません。

データ通信



6 接続名(任意の名前)を確認し、[完了]をクリックする



7 「スタート」➡「プログラム」➡「アクセサリ」➡「通信」➡「ダイヤルアップネットワーク」を順にクリックする

8 作成したダイヤルアップのアイコンを選択し、「ファイル」➡「プロパティ」を順にクリックする



9 「全般」タブで「電話番号」および「接続方法」を確認する

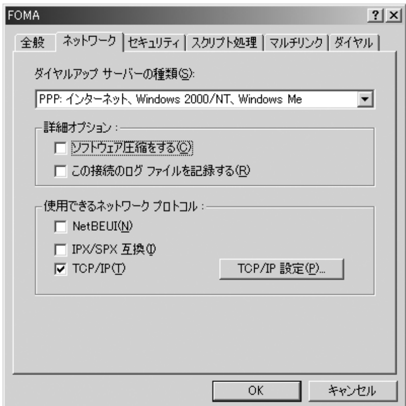
「市外局番とダイヤルのプロパティを使う」のチェックを外します。
「接続方法」欄に「FOMA M1000」または「Bluetooth modem」が表示されていることを確認します。

- 「FOMA M1000」または「Bluetooth modem」が表示されていない場合は、「接続方法」欄をクリックして選択します。



10 「ネットワーク」タブをクリックして各種設定を行う

「ダイヤルアップサーバーの 種類」欄は、「PPP：インターネット、Windows 2000/NT、Windows Me」を選択します。
「使用できるネットワーク プロトコル」は「TCP/IP」のみをチェックします。



■Windows 98SEの場合

「サーバーの種類」タブをクリックして各種設定を行う

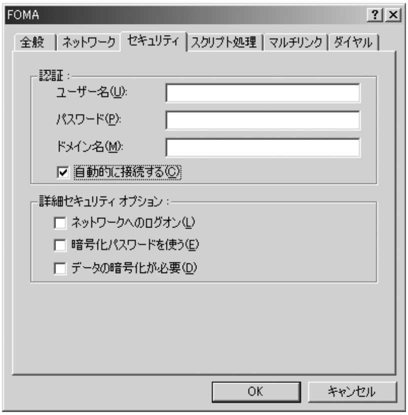
「ダイヤルアップサーバーの種類」欄は「PPP：インターネット、Windows NT Server、Windows 98」を選択します。

「使用できるネットワーク プロトコル」は「TCP/IP」のみ をチェックします。

11 「セキュリティ」タブをクリックし、ユーザー名とパスワードを入力し、[OK]をクリックする

「ユーザー名」／「パスワード」欄にプロバイダまたはネットワーク管理者から指定された設定を入力します。

「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、「ユーザー名」／「パスワード」欄は空欄でもかまいません。



■Windows 98SEの場合

[OK]をクリックする

■**ダイヤルアップネットワークでの 186（通知）／184（非通知）設定について**

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186／184を付けることができます。

ダイヤルアップネットワークの設定（cid＝1の場合）	発信者番号の通知／非通知
＊99＊＊＊1#	FOMA端末の「発信者番号通知」設定に従います。→P66
184＊99＊＊＊1#	非通知（ダイヤルアップネットワークの通知184が優先される）
186＊99＊＊＊1#	通知（ダイヤルアップネットワークの通知186が優先される）

- ドコモのインターネット接続サービス「mopera U」または「mopera」をご利用になる場合は、発信者番号を「通知」に設定する必要があります。

ダイヤルアップ接続する

FOMA PC設定ソフトを使わずに、パケット通信／64Kデータ通信のダイヤルアップ接続をする方法について説明します。

- 接続前に FOMA 端末とパソコンが正しく接続されていることを確認してください。
  Bluetoothによる接続前には、FOMA端末とパソコンの接続を確認してください。
- 接続するパソコンにデスクトップスイート（→P589）がインストールされている場合は、パソコンとFOMA端末の接続後、デスクトップスイートの mRouter の設定が必要になります。→P457

<例：Windows XPの場合>

1 「スタート」▶「すべてのプログラム」▶「アクセサリ」▶「通信」▶「ネットワーク接続」を順にクリックする

2 接続先のアイコンをダブルクリックする

P484の操作7で設定したISP名のダイヤルアップの接続先アイコンを選択して「ネットワークタスク」▶「この接続を開始する」を順にクリック、または接続先のアイコンをダブルクリックします。



3 内容を確認し、[ダイヤル]をクリックする

接続中を示す画面が表示された後、接続の完了メッセージが表示され、ダイヤルアップ接続が完了します。

- Windows Me、98SE の場合は、内容を確認して［接続］をクリックします。
- 「mopera U」または「mopera」に接続する場合は、「ユーザー名」／「パスワード」欄は空欄でもかまいません。
- 接続の完了メッセージが表示されない場合は、接続先の設定を確認してください。



■Bluetooth接続の場合

FOMA端末の次の画面で［許可］をタップする

接続が実行されます。



切断のしかた

インターネットブラウザを終了しただけでは、通信回線が切断されない場合があります。次の操作で確実に切断してください。

1 パソコン画面のタスクトレイのダイヤルアップアイコンをダブルクリックする



ダイヤルアップアイコン

接続の画面が表示されます。

2 [切断]をクリックする



お知らせ

- パソコンに表示される通信速度は実際の通信速度とは異なる場合があります。

ATコマンド一覧

ATコマンドは、パソコンからFOMA端末の機能設定や状態の確認などを行うためのコマンド（命令）です。

モデムポートコマンド一覧

FOMA M1000 Medem Portで使用できるコマンドです。

ATコマンド	概 要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT&C n	DTEへの回路CD信号の動作条件を選びます。	n=0 ：CDは常にON n=1 ：CDは相手モデムのキャリアに応じて 変化する（初期値）	AT&C1 OK
AT&D n	DTEから受け取る回路ER信号がON／OFF遷移したときの動作を選びます。	n=0 ：ERの状態を無視する（常にONとみなします） n=1 ：ERがONからOFFに変化すると、オンラインコマンド状態になる n=2 ：回線を切断しERがONからOFFに変化すると、オフライン状態になる（初期値）	AT&D1 OK
AT&F n	不揮発メモリに記憶されないすべてのレジスタを工場出荷時の設定値に戻します。	n=0のみ指定可能（省略可）	−
+++	オンラインデータモードのとき、エスケープシーケンスが実行されると回線を切断することなくオンラインコマンド状態に移行します。	本コマンドはパケット通信による接続には未対応です。	(オンラインデータモード) +++（表示は見えない） OK
AT+CBC	電池パックの充電率を表示する。	リザルト：+CBC(m,p) m=0 ：FOMA端末が電池パックから電源が供給されていることを示す。 p=0～100 ：充電率をパーセント表示する。	AT+CBC +CBC:0,60 OK
AT+CBST=n,m,ce	ベアラサービスの設定を行います。	n=7 ：GSM回線交換通信の初期値 n=116：64Kデータ通信の初期値 m=0 ：非同期、GSM回線交換通信の初期値 m=1 ：同期、64Kデータ通信の初期値 ce=0：透過、64Kデータ通信の初期値 ce=1：非透過、GSM回線交換通信の初期値 AT+CBST? ：現在の設定値を表示する	AT＋CBST＝116,1,0 OK AT+CBST? +CBST:116,1,0
AT+CEER	直前の呼の切断理由を表示します。	<report> 切断理由一覧→P500 本コマンドはパケット通信による接続には未対応です。	AT+CEER +CEER:Normal call clearing OK
AT+CGDCONT	パケット発信時の接続先（APN）を設定します。	→P498	→P498

次のページへ続く

ATコマンド	概 要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CGEQMIN	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。	AT+CGEQMIN=［パラメータ］ →P498 AT+CGEQMIN=? ：設定可能な値のリストを表示する AT+CGEQMIN? ：現在の設定値を表示する	→P498
AT+CGEQREQ	パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。	AT+CGEQREQ＝［パラメータ］ →P499 AT+CGEQREQ=? ：設定可能な値のリストを表示する AT+CGEQREQ? ：現在の設定値を表示する	→P499
AT+CGMR	FOMA 端末のバージョンを表示します。	－	AT+CGMR +CGMR: "M1000_XX_XX.XX.XX" OK
AT+CGSN	FOMA 端末の製造番号を表示します。	－	AT+CGSN +CGSN:XXXXXXXXXXXXXXX OK
AT+CMEE=n	FOMA端末のエラーレポートの有無の設定を行います。	n=0 ：通常のERROR リザルトを用いる（初期値） n=1 ：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は数値を用いる n=2 ：+CME ERROR:<err>リザルトコードを使用し、<err>は文字を用いる AT+CMEE? ：現在の設定値を表示する 右記はATコマンドに誤入力がある場合のコマンドの実行例です。	AT+CMEE=0 OK AT+CGMR= ERROR AT+CMEE=1 OK AT+CGMR= +CME ERROR:4 AT+CMEE=2 OK AT+CGMR= +CME ERROR: operation not supported
AT+CPAS	FOMA端末の状態を表示します。	リザルト：＋CPAS:(n) n=0 ：待受状態（FOMA端末はATコマンドの設定を許可する） n=2 ：状態が不明（FOMA端末へのATコマンドの設定に対する応答が保証されない） n=3 ：着信中（FOMA端末はATコマンドの設定に対応可能だが、着信音が鳴動中） n=4 ：通話中（FOMA端末はATコマンドの設定に対応可能だが通話中） AT＋CPAS=? ：表示可能なFOMA端末の状態のリストを表示する。	AT+CPAS? ＋CPAS:0 OK AT+CPAS=? +CPAS:(0,2,3,4) OK
AT+CR=n	64Kデータ通信またはGSM回線交換によるデータ通信の接続時にCONNECTのリザルトコードを表示する前に、同期／非同期を表示します。	n=0 ：表示しない（初期値） n=1 ：表示する 64Kデータ通信またはGSM回線交換によるデータ通信にのみ対応しています。 AT+CR? ：現在の設定値を表示する	AT+CR =1 OK 〈同期〉 ATD XXXXXXXXXX +CR:SYNC 〈非同期〉 ATD XXXXXXXXXX +CR:ASYNC

ATコマンド	概 要	パラメータ/説明	コマンド実行例
AT+CRC=n	着信時に拡張リザルトコードを使用するかどうかを設定します。	n=0 ：+CRING を使用しない（初期値） n=1 ：+CRING.<type>を使用する AT+CRC? ：現在の設定値を表示する	AT+CRC=0 OK AT+CRC? +CRC:0 OK RING NO CARRIER AT+CRC=1 OK AT+CRC? +CRC: 1 OK +CRING: SYNC NO CARRIER
AT+GMI	メーカー名を表示します。	−	AT+GMI +GMI: "Motorola CE, Copyright 2004" OK
AT+GMM	FOMA端末の製品名を表示します。	−	AT+GMM +GMM: "GSM900","GSM1800","GSM1900","WCDMA","MODEL=M1000" OK
AT+GMR	FOMA端末のバージョンを表示します。	−	AT+GMR +GMR: "M1000_XX_XX.XX.XX" OK
AT+IFC=n,m	フロー制御方式を選びます。	n ：DCE by DTE m ：DTE by DCE n,mの各設定値 0 ：フロー制御なし 1 ：XON ／XOFF フロー制御 2 ：RS ／CS （RTS/CTS ）フロー制御 3 ：XON/XOFF フロー制御、DC1/DC3が対向のDCEへ渡されます。n,m=3,1のみ動作。 初期値はn,m=2,2 AT+IFC?：現在の設定値を表示する	AT+IFC=2,2 OK AT+IFC? +IFC: 2,2 OK AT+IFC=? +IFC: (0-3),(0-2) OK
ATA	FOMA端末が着信したモードに従って着信処理を行います。	パケット着信は不可	RING ATA CONNECT
A/	直前に実行したコマンドを再実行します。またキャリッジリターンは不要です。	−	A/ OK
ATD	FOMA端末に対してパラメータ、ダイヤルパラメータの指定に従って自動発信処理を行います。	ATD*99***<cid># ：パケット通信 <cid>1～3： ＋CGDCONTで設定したAPNを表す。 AT+CBST=116,1,0 設定時 ATD＜電話番号＞ ：64Kデータ通信	＜パケット通信＞ ATD*99***1# CONNECT ＜64Kデータ通信＞ AT+CBST=116,1,0 OK ATD XXXXXXXXXX CONNECT

次のページへ続く

ATコマンド	概 要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATE n	コマンドモードにおいてDTEに対するエコーバックの有無を指定します。	n=0 ：エコーバックなし n=1 ：エコーバックあり（初期値）	ATE1 OK
ATH n	FOMA端末に対してオンフック動作を行います。	n=0 ：回線を切断する（省略可）	（通信中）+++ ATH OK
ATI n	認識コードを表示します。	n=0 ：「NTT DoCoMo」を表示する n=1 ：製品名を表示する	ATI0 NTT DoCoMo OK ATI1 FOMA M1000 OK
ATO n	通信中にオンラインコマンドモードから、オンラインデータモードに戻ります。	n=0 ：オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻す（省略可）	ATO CONNECT
ATQ n	DTEへのリザルトコードを表示するかどうか設定します。	n=0 ：リザルトコードを表示する（初期値） n=1 ：リザルトコードを表示しない	ATQ0 OK ATQ1 （OKは表示されない）
ATS0=n	FOMA端末が自動着信するまでの呼び出し回数を設定します。	n=0 ：自動受信しない（初期値） n=1～255 ：指定したリング回数で自動受信する ATS0? ：現在の設定値を表示する	ATS0=0 OK ATS0? 000 OK
ATS3=n	キャリッジリターン（CR）キャラクタの設定を行います。	n=13 ：初期値（n=13のみ指定可） ATS3? ：現在の設定値を表示する	ATS3=13 OK ATS3? 013 OK
ATS4=n	ラインフィード（LF）キャラクタの設定を行います。	n=10 ：初期値（n=10のみ指定可） ATS4? ：現在の設定値を表示する	ATS4=10 OK ATS4? 010 OK
ATS5=n	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。	n=8 ：初期値（n=8のみ指定可） ATS5? ：現在の設定値を表示する	ATS5=8 OK ATS5? 008 OK
ATV n	すべてのリザルトコードを数字表記または英文字表記に設定します。	n=0 ：リザルトコードを数値で返送する n=1 ：リザルトコードを文字で返送する（初期値）	ATV1 OK

ATコマンド	概 要	パラメータ/説明	コマンド実行例
ATZ	設定を不揮発メモリの内容にリセットします。 通信中に本コマンドが入力された場合、回線切断処理を行います。	本コマンドの実行前に必ずAT&Fコマンド（→P493）を実行して、不揮発メモリに記憶されないレジスタをリセットしてください。	（オンラインコマンドモード時） ATZ OK NO CARRIER（オフラインモードへ移行） （オフラインモード時） ATZ OK

AT コマンドの補足説明

■動作しないコマンド

次のコマンドは、エラーにはなりませんがコマンドの動作はしません。

- AT （ATのみの入力）
- ATT （トーン設定）
- ATP （パルス設定）
- ATS6（ダイヤルするまでのポーズ時間設定）
- ATS8（カンマダイヤルによるポーズ時間設定）
- ATS10 （自動切断遅延時間設定）

■コマンド名：+CGDCONT

- 概要

  パケット発信時の接続先（APN）の設定を行います。

  本コマンドは設定コマンドですが、&F、Zによるリセットは行われません。
- 書式

  +CGDCONT= ［<cid> ［,"<PDP type>" ［,"<APN>"］］］
- パラメータ説明

  パケット発信時の接続先（APN）を設定します。設定例は次のコマンド実行例を参照してください。

  <cid>※　　：1 ～3

  <PDP type>※：PPPまたはIP

  <APN>※　　：任意

  ※：<cid> は、FOMA 端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1 ～3が登録できます。<PDP type>は、パケット通信のプロトコル方式です。
  <APN>は、接続先を示す接続先ごとの任意の文字列です。
- コマンド実行例

  abcというAPN名を登録する場合のコマンド（PDP typeはPPP、cid 3に登録する場合）

  AT+CGDCONT=3,"PPP","abc"

  OK

  - パラメータを省略した場合の動作

    AT+CGDCONT=<cid>

    ：指定された<cid>を初期値に設定します。

    AT+CGDCONT=?

    ：設定可能な値のリスト値を表示します。

    AT+CGDCONT?

    ：現在の設定を表示します。

■コマンド名：+CGEQMIN= ［パラメータ］

- 概要

  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS （サービス品質）を許容するかどうかの判定基準値を登録します。

  本コマンドは設定コマンドですが、&F、Zによるリセットは行われません。
- 書式

  +CGEQMIN=［<cid>［,,<Maximum bitrate UL>［,<Maximum bitrate DL>］］］
- パラメータ説明

  <cid>※：1 ～3

  <Maximum bitrate UL>※

  ：なし（初期値）または64

  <Maximum bitrate DL>※

  ：なし（初期値）または384

  ※：<cid> は、FOMA 端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～3が登録できます。
  <Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度［kbps］の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、64および384を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。
- コマンド実行例

  (1) 上り／下りすべての速度を許容する場合のコマンド（cid が2の場合）
  AT+CGEQMIN=2
  OK

  (2) 上り64kbps／下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cid が2の場合）
  AT+CGEQMIN=2,,64,384
  OK

  (3) 上り64kbps ／下りはすべての速度を許容する場合のコマンド（cid が3の場合）
  AT+CGEQMIN=3,,64
  OK

  (4) 上りすべての速度／下り384kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（cid が3の場合）
  AT+CGEQMIN=3,,,384
  OK

- パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQMIN=<cid>

：指定された<cid>を初期値に設定します。

■コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

- 概要

パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
本コマンドは設定コマンドですが、&F、Zによるリセットは行われません。

- 書式

+CGEQREQ=[<cid>[,,<Maximum bitrate UL>［,<Maximum bitrate DL>］］]

- パラメータ説明

<cid>※：1～3

<Maximum bitrate UL>※

：なし（初期値）または64

<Maximum bitrate DL>※

：なし（初期値）または384

※：<cid>は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では1～3が登録できます。
<Maximum bitrate UL>および<Maximum bitrate DL>は、FOMA端末と基地局間の上りおよび下り最低通信速度［kbps］の設定です。なし（初期値）の場合はすべての速度を許容しますが、64および384を設定した場合はこれらの値以外での速度の接続は許容しないため、パケット通信がつながらない場合がありますのでご注意ください。

- コマンド実行例

上り64kbps／下り384kbpsの速度で接続を要求する場合のコマンド（cidが3の場合）
AT+CGEQREQ=3,,64,384
OK

- パラメータを省略した場合の動作

AT+CGEQREQ=<cid>

：指定された<cid>を初期値に設定します。

■モデムポートコマンドの設定値の保存について

AT+CGEQMIN／AT＋CGEQREQコマンド／AT＋CGDCONTによるQoS設定を除き、ATコマンドによる設定は、FOMA端末の電源OFF／ON時に初期化されてしまいますので、ご注意ください。

切断理由一覧

リクエストの内容に関する64Kデータ通信の切断理由は、次のとおりです。

- パケット通信の切断理由は表示されません。「No information available」と表示されますが、これは切断理由ではありません。

表　示	理　由
Unassigned or unallocated number	指定した番号は存在しません。
No route to destination	通信が完了できません。
Normal call clearing	正常に切断されました。
User busy	相手側が通信中のため、通信できません。
User not responding	発信しましたが、指定時間内に応答がありませんでした。
User alerting, no answer	相手側が呼び出し中のため、通信できません。
Call rejected	相手側が通信を拒否しました。
Number changed	接続先の番号が取得できません。
Destination out of order	回線が稼動していません。
Invalid number format (incomplete number)	接続先の番号が不完全です。
Normal, unspecified	ネットワーク側から正常に切断されました。
Network out of order	ネットワークが稼動していません。
Incoming calls barred within the CUG	CUG（Closed Users Group)のメンバーですが、受信が許可されません。
Service or option not available, unspecified	ネットワークのサービスおよびオプションが無効です。
User not member of CUG	指定されたCUG（Closed Users Group）のメンバーではありません。
No information available	有効な情報が存在しません。

リザルトコード

■データ通信に関するリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けることができません。
5	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
6	BUSY	話中音検出
7	NO ANSWER	接続完了タイムアウト

お知らせ

- ATVnコマンド（→P496）がn=1に設定されている場合には文字表示形式（初期値）、n=0に設定されている場合には数字表示形式でリザルトコードが表示されます。

Bluetooth

Bluetoothについて

Bluetoothとは、パソコンやヘッドセット、ハンズフリー対応機器などとの間を無線で接続してデータをやり取りする技術です。Bluetooth対応機器どうし、ケーブルで接続せずに通信することができます。

Bluetoothでこんなことができます

Bluetooth対応機器をご用意いただくことにより、本FOMA端末でワイヤレス通話やワイヤレス接続によるデータ通信を行うことができます。

●ワイヤレス通話をする→P509
Bluetooth対応のヘッドセットやハンズフリー対応機器とBluetooth接続を行い、ワイヤレス通話をすることができます。

●電話帳／スケジュール／ToDoリストを送受信する→P510、P511
電話帳の内容をvCard形式、スケジュールやToDoリストの内容をvCalendar形式のファイルにそれぞれ変換し、FOMA端末やBluetooth対応機器と送受信することができます。

●画像／動画／音楽などを送受信する→P510、P511
FOMA端末に保存されている画像や動画、音楽、音声メモファイルをFOMA端末やBluetooth対応機器と送受信することができます。

●ダイヤルアップ接続をする→P472
パソコンなどとBluetooth接続を行い、インターネットなどにアクセスすることができます。

●デスクトップスイートを利用してパソコンとデータの送受信をする→P589、P593
デスクトップスイートをインストールしたパソコンとの間でBluetooth接続を行い、FOMA端末に保存されているファイル（画像やEメール、アプリケーションなど）を送受信することができます。

Bluetooth通信の取り扱いについて

- 無線LAN通信中は使用できません。
- Bluetoothは、2.4GHz帯を使用して無線通信を行っています。この周波数帯は他のさまざまな機器も共有して使用する周波数帯です。Bluetooth通信では、同じ周波数帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器からの影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信機器間の距離や障害物、電波状況、Bluetooth 対応機器により、通信速度や通信距離は異なる場合があります。

主な仕様について

対応Bluetoothバージョン	Bluetooth標準規格Ver.1.1に準拠※1
出力	Bluetooth標準規格Power Class2
見通し通信距離※2	約10m以内
対応Bluetoothプロファイル※3	Generic Access Profile（ジェネリックアクセスプロファイル） Generic Object Exchange Profile（ジェネリックオブジェクトエクスチェンジプロファイル） Object Push Profile（オブジェクトプッシュプロファイル） Serial Port Profile（シリアルポートプロファイル） Dial-Up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル） Headset Profile（ヘッドセットプロファイル） Service Discovery Application Profile（サービスディスカバリアプリケーションプロファイル） Hands-free Profile（ハンズフリープロファイル）
使用周波数帯	2400MHz帯（2400MHz～2483.5MHz）

※1：FOMA端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。

※2：通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。

※3：Bluetooth対応機器どうしの使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。

■Bluetooth関連用語説明

パスキー
Bluetooth機器が他人から許可無く接続されないために各機器ごとに設定する英数字1～16桁のパスワードです。

機器登録
機器どうしがBluetoothではじめて接続するときに行います。登録するには相手の機器が設定しているパスキーを入力する必要があります。

プロファイル
Bluetoothで接続する機器や送受信するデータの種類に応じて決められている通信規約です。

検索
通信可能な範囲にある他のBluetooth対応機器を探すことです。

Bluetoothを利用する前に

Bluetoothを使った送受信操作の流れ

Bluetooth通信を始める前に
はじめて接続する機器の場合は、接続するBluetooth対応機器を登録する→P507

ヘッドセット／ハンズフリー機器で通話するときの流れ	Bluetooth対応機器にデータを送信するときの流れ	Bluetooth対応機器からデータを受信するときの流れ
本FOMA端末のBluetoothを起動する→P505	接続する相手の機器を検索待ち状態にする	本FOMA端末のBluetoothを起動する→P505
↓	↓	↓
		相手の機器からデータの送信操作を行う
		↓
ヘッドセット／ハンズフリー機器と本FOMA端末で電話をかける／電話を受ける操作をする→P509	送信するデータを表示して送信の操作を行う→P510	接続要求画面が表示されたら受信の操作を行う→P511
↓	↓	↓
通話終了	送信終了	受信終了

Bluetoothを起動／終了する

Bluetooth機能をON／OFFに設定します。

- 無線LAN接続を切断してから操作してください。→P434

1 ステータスバーの（グレー）をタップする



- ［キャンセル］をタップすると操作を中止できます。

2 「Bluetooth ON」の□▶［決定］を順にタップする

□が☑に変わり、Bluetoothが起動します。

- Bluetoothを終了する場合は、「Bluetooth」の☑▶［決定］を順にタップします。

お知らせ

- ステータスバーに表示されるアイコンで、Bluetoothの接続状態を確認できます。→P40

Bluetoothの環境を設定する

お買い上げ時	Bluetooth ON：☐　他機器に表示：いいえ　受信設定：受信時確認　機器名：FOMA M1000

他のBluetooth対応機器で、本FOMA端末を表示させる場合の表示方法や、他のBluetooth対応機器から接続要求があったときの動作などを設定します。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「接続」タブ▶「Bluetooth」を順にタップする



Bluetooth設定画面

Bluetooth ON：Bluetooth機能をON／OFFにします。
☑がON、☐がOFFの状態です。
- 「他機器に表示」「機器名」を設定する場合は、☑にする必要があります。

他機器に表示

いいえ：他の機器から本FOMA端末を検索できないようにします。

はい：他の機器から本FOMA端末を検索できるようにします。

10分間：他の機器から本FOMA端末を10分間だけ検索できるようにします。

受信設定

常に受信：他の機器からの接続要求を常に受けます。

受信時確認：他の機器からの接続要求があったときに確認します。

受信しない：他の機器からの接続要求を受けません。

機器名：他の機器で表示させる本FOMA端末の名称を入力します。

2 各項目を設定する

- 「Bluetooth ON」
  ：☐／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は☐の状態にします。
- 「他機器に表示」
  ：項目をタップし、設定します。
- 「受信設定」
  ：項目欄をタップし、項目を選択します。
- 「機器名」
  ：項目欄をタップし、文字を入力します。

3 [完了]をタップする

Bluetooth対応機器を登録する

Bluetooth対応機器を登録すると、次回からパスキーを入力せずにデータの送受信ができるようになります。登録方法には本FOMA端末で他のBluetooth対応機器を検索して登録する方法と、他のBluetooth対応機器からの接続を受けてから登録する方法があります。

- 無線LAN接続を切断してから操作してください。→P434

本FOMA端末で他のBluetooth対応機器を検索して登録する

1 **接続する相手の機器を検索待ち状態にする**

- 相手の機器を検索待ち状態にする設定方法やパスキーなどについては、相手の機器の取扱説明書をご覧ください。

2 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「接続」タブ▶「Bluetooth」を順にタップする**

3 **Bluetooth設定画面で「機器」タブをタップする**



4 **[追加]をタップする**



Bluetooth対応機器の検索が開始され、接続可能な機器名称が表示されます。

：携帯電話
：ヘッドセット
：パソコン
：PDA
：カーナビゲーション
：その他の機器

- ［更新］をタップすると、接続可能な機器が再検索されます。

5 **接続する機器名称をタップし、暗号化通信画面でパスキーを入力▶[完了]をタップする**

- 半角で16文字まで入力できます。

6 **相手の機器でも同じパスキーを入力する**

新しいBluetooth機器が登録されます。

次のページへ続く

お知らせ

- 「Bluetooth ON」が□の状態でBluetooth対応機器を検索する場合、検索を開始すると、自動的にBluetoothが起動（「Bluetooth ON」が☑のときと同じ状態）してステータスバーの（グレー）が（白）になります。ただし、ステータスバーのBluetoothマークをタップして表示される「Bluetooth ON」は、□のままになっていますのでご注意ください。

他のBluetooth対応機器からの接続を受けてから登録する

- 受信設定を「常に受信」または「受信時確認」に設定します。→P506

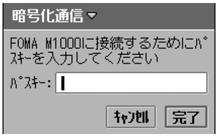
1 **ステータスバーの（グレー）をタップする**

- ［キャンセル］をタップすると操作を中止できます。

2 **「Bluetooth ON」の□▶［決定］を順にタップする**

□が☑に変わり、Bluetoothが起動します。

3 **相手の機器で接続操作を行う**



- 半角で16文字まで入力できます。
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

4 **相手の機器で設定したパスキーと同じパスキーを入力▶［完了］をタップする**

登録したBluetooth機器の詳細を設定する

登録された機器名称を変更したり、接続要求があったときに表示される確認画面の表示／非表示を機器ごとに設定したりできます。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「接続」タブ▶「Bluetooth」を順にタップする**

2 **Bluetooth設定画面で「機器」タブをタップする**

登録されているBluetooth機器が表示されます。

3 Bluetooth機器画面で設定する機器をタップする



機器名　：登録されている機器名称が表示されます。機器名称を変更することができます。
- 全角／半角を問わず、80文字まで入力できます。

確認しないで接続を許可
：登録されている機器から接続要求があったときに確認画面を表示するかどうかを設定できます。
☑が表示しない、□が表示する状態です。
- 「受信設定」を「常に受信」「受信しない」に設定している場合は、そちらが優先されます。
→P506

4 各項目を設定する

- 「機器名」
：項目欄をタップし、文字を入力します。
- 「確認しないで接続を許可」
：□／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。

5 [完了]をタップする

■機器の登録を削除するとき
操作3の画面で［削除］をタップし、削除の確認画面で［はい］をタップする

Bluetoothを利用する

- 無線LAN接続中は、Bluetoothが利用できません。切断してから操作してください。→P434

通話をする

Bluetoothヘッドセット／ハンズフリー機器を使って通話できます。ヘッドセット／ハンズフリー機器は、使用する前に本FOMA端末に登録する必要があります。→P507

1 使用するBluetoothヘッドセット／ハンズフリー機器の電源を入れる

2 本FOMA端末のBluetoothを起動(→P505)し、電話をかける／電話を受ける操作をする

■Bluetoothヘッドセット F01で電話をかける場合
次の操作を行うと、最新の発信履歴の相手に電話をかけることができます。
①待受中にフックキーを押す
Bluetoothヘッドセット F01から「ピピ」と確認音が鳴り、発信履歴画面が表示されます。
- 既に発信履歴画面を表示している場合は、電話をかける相手の発信履歴を選択します。

次のページへ続く●●●

- 電話帳の詳細画面を表示している場合は、1番上の電話欄に登録されている電話番号に電話をかけることができます。

② **もう1度フックキーを押す**
Bluetoothヘッドセット F01から「ピピ」と確認音が鳴り、電話がかかります。
通話を終了するときは、フックキーを押します。

お知らせ

- ヘッドセット／ハンズフリー機器での詳しい通話方法については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 接続されると、ステータスバーの(白)が(緑)に変わります。
- 接続中に(緑)をタップして「オーディオデバイスを切断」をにして［決定］をタップすると、接続を切断することができます。
- 通話中にBluetooth接続が切断されると、切断された旨の確認画面が表示された後に、FOMA端末本体での通話に自動的に切り替わります。
- Bluetoothヘッドセットの電源を切った後に再接続する場合は、ヘッドセットの電源を入れ、本FOMA端末のBluetooth機能を再起動します。→P505
- イヤホンマイクを差し込むと、自動的にBluetooth接続が切断されます。
- Bluetoothヘッドセットを利用しているときは、マルチメディア バイブ(→P134)やキー確認音(→P136)をバイブレータに設定している場合でも、FOMA端末が振動しません。
- ヘッドセット／ハンズフリー機器とBluetooth接続中に電話がかかってきた場合、Bluetooth機器によっては、着信音がヘッドセット／ハンズフリー機器からは聞こえずにFOMA端末から鳴る場合があります。

データを送信する

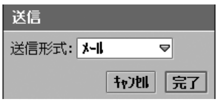
FOMA端末に保存されている画像、音楽、電話帳などのファイルを、Bluetoothで接続されたパソコンやFOMA端末など他の機器に送信できます。

＜例：動画を送信するとき＞

1 接続する相手の機器を検索待ち状態にする

- 相手の機器を検索待ち状態にする設定方法やパスキーなどについては、相手の機器の取扱説明書をご覧ください。

2 動画再生画面(→P315)でメニューバーの「ビデオ」▶「送信」を順にタップする



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 「送信形式」欄をタップし、「Bluetooth」を選択▶［完了］をタップする



Bluetooth対応機器の検索が開始され、接続可能な機器が表示（本FOMA端末に未登録の機器は斜字体で表示）されます。

表示：一覧に表示する機器の種類を選択できます。

- ［更新］をタップすると、接続可能な機器を再検索します。
- ［キャンセル］をタップすると、送信を中止します。

4 ファイルを送信する機器▶[送信]を順にタップする

受信側の機器でファイルの受信操作を行ってください。

お知らせ

- 接続されると、ステータスバーの(白)が(緑)に変わります。
- 「Bluetooth ON」が□の状態でデータを送信する場合、自動的にBluetoothが起動（「Bluetooth ON」が☑のときと同じ状態）してステータスバーの(グレー)が(白)になり、接続されると(緑)になります。ただし、ステータスバーのBluetoothマークをタップして表示される「Bluetooth ON」は、□のままになっていますのでご注意ください。
- ご利用のBluetooth対応機器によっては、送信したファイルが正しく表示／再生できない場合があります。

データを受信する

他のBluetooth対応機器に保存されている画像、音楽、電話帳などのファイルを、Bluetoothで接続されたFOMA端末で受信して、表示／再生したり保存することができます。保存したファイルは、アカウント一覧画面の「Bluetooth」に保存されます。→P512

- 受信設定を「常に受信」または「受信時確認」に設定します。→P506

1 本FOMA端末のBluetoothを起動（→P505）し、相手の機器からファイルの送信操作を行う



- [拒否] をタップすると、操作を中止します。
- 接続要求があっても、確認しない設定にしている場合は、左の画面は表示されずに受信（操作2の画面が表示）が始まります。→P506、P508

2 [許可]をタップする





- [削除] をタップすると、受信したファイルを削除します。
- [表示] をタップすると、受信したファイルを表示／再生します。以降の操作方法については、P281の操作2以降を参照してください。

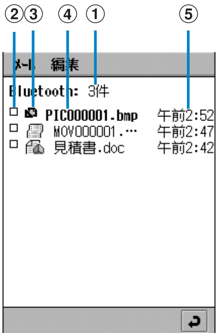
3 [完了]をタップする

お知らせ

- 接続されると、ステータスバーの(白)が(緑)に変わります。
- 本FOMA端末に登録していない機器から受信する場合は、操作1の画面が表示される前に暗号化通信画面が表示され、接続先の機器と同じパスキーの入力が必要になります。
- ご利用のBluetooth対応機器によっては、受信したファイルが正しく表示／再生できない場合があります。

Bluetoothで受信したファイルを操作する

1 アプリケーション選択バーの（メール）▶「Bluetooth」を順にタップする



Bluetooth受信ファイル一覧画面

①「Bluetooth」内のファイル件数

②送信／削除するときに使用するチェックボックス
- ☑：選択
- □：未選択

③受信ファイルの種類
- ：vCard
- ：vCalendar
- ：メモ帳
- ：音声
- ：動画
- ：画像
- ：ドキュメント
- ：Web
- ：インストールが必要なアプリケーション
- ：ファイル形式不明

④ファイル名
未確認のファイルは太字で表示されます。

⑤受信した時刻や日付
当日受信したファイルでは時刻が表示され、前日までに受信したものは、日付が表示されます。

2 表示／再生するファイルをタップする

- 以降の操作方法については、P281の操作2以降を参照してください。

■Bluetooth受信ファイル一覧画面でメニューバーから行える操作について

メニューバーの「メール」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「メール」
- 送信 P512
- メールの削除 P513

「編集」
- すべて選択 P513
- 日付順. P347
- 名前順. P347

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

■受信したファイルを送信するとき

①Bluetooth受信ファイル一覧画面で送信するファイルの□をタップする
　□が☑に変わります。
　- 1回に送信できるファイルは1件となります。

②メニューバーの「メール」▶「送信」を順にタップし、送信画面で「送信形式」欄をタップし、送信形式を選択▶［完了］をタップする

- ファイルを送信するときのお知らせについて→P348

■受信したファイルを削除するとき

① Bluetooth受信ファイル一覧画面で削除するファイルの□をタップする

□が☑に変わります。

- メニューバーの「編集」▶「すべて選択」を順にタップすると、すべての受信データを選択できます。

② メニューバーの「メール」▶「メールの削除」を順にタップし、削除の確認画面で［はい］をタップする

文字入力

文字入力について

本FOMA端末では、タッチスクリーンに表示したキーボードから目的の文字をスタイラスペンでタップして入力します。また、入力方式を切り替えれば、手書きで文字を入力することもできます。電話帳の登録やメールの作成、メモ帳の作成など、ＦＯＭＡ端末の操作のさまざまな状況で文字入力が必要になりますので、あらかじめ操作方法を覚えておくと便利です。

文字入力画面を表示する

文字の入力が必要な場面で文字入力欄をタップし、ステータスバーの をタップすると文字入力画面が表示されます。文字入力画面は設定した入力方式で表示されます。入力モードを切り替えながら目的の文字を入力してください。

- 入力モード→P517
- 入力方式→P516
- 入力方式の切り替え→P517



マルチタップキーボードの場合

入力方式

FOMA端末で文字を入力するには次の方法があります。お客様にあった入力方式を選んでご使用ください。

入力方式		説　明	参照先
間接入力方式	マルチタップ	1つのキーに複数の文字が割り当てられているキーボードから、キーを複数回タップして文字を切り替えて入力できます。	P519
	ツータップ	1つのキーに複数の文字が割り当てられているキーボードから、2回のタップ操作で文字を入力できます。	P524
直接入力方式	50音キーボード	ひらがなが50音順に配列されたキーボードから目的の文字をタップして入力できます。	P537
	Qwertyキーボード	アルファベットが配列されたキーボードから目的の文字をタップして入力できます。	P540
	手書き入力	手書き入力エリアにスタイラスペンで文字を書いて入力できます。	P541

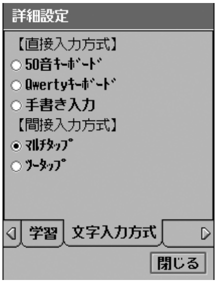
入力方式を切り替える

お買い上げ時 ◉マルチタップ

文字の入力時に利用する入力方式を変更できます。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「文字入力設定」を順にタップする**

2 **文字入力設定画面で［詳細設定］をタップし、詳細設定画面で「文字入力方式」タブをタップする**



- 「文字入力方式」タブが画面上に表示されていない場合は、タブ表示エリアの ◁／▷ をタップして表示できます。→P44

3 **設定する入力方式の○▶［閉じる］を順にタップする**

お知らせ

- 文字の入力中は、文字入力画面の▶設定する入力方式を順にタップしても入力方式を切り替えることができます。
- 電話帳の電話番号の入力時や端末パスワードの入力時など、入力する文字の種類が制限されている場合は、設定した入力方式とは異なる文字入力画面が表示されます。

入力モード

文字入力には次の入力モードがあります。ひらがなや漢字、カタカナ、英字、数字、記号が混在した文章を入力するときは、入力モードを切り替えながら行います。
入力モードの切り替えは、各入力方式のキーボード、手書き入力画面に表示される入力モードを切り替えるキーをタップします。

入力モード	表　示	説　明
ひらがな／漢字	［ひらがな］／［ローマ］／［ひら］／「あア」	ひらがなや漢字、全角カタカナを入力できます。
カタカナ	［カタカナ］／［カナ］	半角のカタカナを入力できます。
英字	［全英字］／［半英字］／［英数］	全角／半角の英字や数字を入力できます。
数字	［数字］／［半数字］／［全英字］／［英数］	全角／半角の数字を入力できます。
記号	［記号］	全角や半角記号、特殊な記号、定型文などを選択できます。

次のページへ続く

入力モード	表　示	説　明
大文字／小文字	[caps] ※	ひらがなや英字の大文字と小文字を切り替えることができます。

※：50音キーボード、Qwertyキーボードを利用中のときのみ表示されます。

お知らせ

- 入力モードの切り替えは、各入力方式の文字入力画面で、該当するキーをタップして行います。
- 文字入力画面を表示したときに利用しているアプリケーションや入力する内容によって、切り替えができない入力モードがあります。
- 文字入力時に入力モードの制限がある場合は、入力欄をタップすると「入力制限：（入力可能なモード）のみ」というメッセージが約3秒間表示されます。

間接入力方式

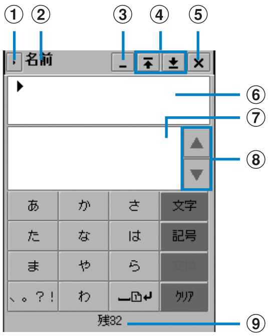
間接入力方式で文字を入力する

FOMA端末には、「マルチタップ」と「ツータップ」の2つの間接入力方式があります。あらかじめ入力方式を設定しておくことで、文字入力時にそれぞれの入力画面（キーボード）を表示できます。→P517

- 入力した文字の確定や変換候補の選択など、文字入力の操作はナビゲーションキーでも行うことができます。→P31

マルチタップ／ツータップのキーボードについて

入力方式を「マルチタップ」、または「ツータップ」に設定している場合、文字を入力する場面でステータスバーの をタップすると、次のようなキーボードが表示されます。マルチタップとツータップの操作方法などについては、それぞれの説明を参照してください。→P519、P524



ひらがな入力モード

項　目	説　明
①入力方式切替キー	メニューが表示され、入力方式を切り替えます。
②名称	複数の入力欄がある場合は、入力中の文字入力欄の名称が表示されます。
③最小化キー	キーボードを一時的に隠します。元に戻す場合は、 をタップします。
④入力欄切替キー	電話帳の登録画面など、1つの画面に文字の入力欄（名前やフリガナ、住所など）が複数ある場合に、キーボードを表示したまま入力欄を切り替えます。
⑤終了キー	キーボードを閉じます。

項　目	説　明
⑥表示エリア	入力・確定した文字が表示されます。
⑦変換候補エリア	入力した文字の変換候補が表示されます。
⑧スクロールボタン	変換候補が表示しきれないとき、タップすると上下の候補が表示されます。
⑨文字数	文字数制限がある場合は、入力可能な文字数が「残XX」と表示されます。

- 入力モードを切り替えるには、各入力モードのキーボードで［文字］をタップし、入力モードの切替画面から［ひらがな］／［カタカナ］／［全英字］／［半英字］／［半数字］のいずれかのキーをタップします。
- ［記号］をタップすると、記号・定型文・辞書切替画面が表示されます。→P529、P530、P532
- 記号・特殊文字一覧→P580
- 定型文一覧→P580

マルチタップ

マルチタップで文字を入力する

マルチタップでは、1つのキーに複数の文字が割り当てられているキーボードが文字入力画面として表示されます。文字を入力するには、入力する文字が割り当てられているキーを、文字が表示されるまで複数回タップします。

各入力モードのキーボード表示と割り当て文字について

各入力モード時のキーボード表示と割り当て文字は次のようになります。入力する文字が割り当てられているキーをタップするごとに、文字が切り替わります。

■入力モード：ひらがな

キーボード表示	割り当て文字
あ	→あ→い→う→え→お→ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ→
か	→か→き→く→け→こ→
さ	→さ→し→す→せ→そ→
た	→た→ち→つ→て→と→っ→
な	→な→に→ぬ→ね→の→
は	→は→ひ→ふ→へ→ほ→
ま	→ま→み→む→め→も→
や	→や→ゆ→よ→ゃ→ゅ→ょ→
ら	→ら→り→る→れ→ろ→
わ	→わ→を→ん→ゎ→
、。?!	→、→。→－→？→！→＆→”→「→」→・→（→）→
 ※1、※2	→(全角スペース）→（日付※3）→（時刻※3）→
文字	入力モードの切替画面が表示されます。
記号	記号・定型文・辞書切替画面が表示されます。
変換	入力中のカーソルがあたっている文字列の変換候補を切り替えます。
クリア	入力した文字を削除します。

文字入力

次のページへ続く

■入力モード：半角カタカナ

キーボード表示	割り当て文字
ｱ	→ｱ→ｲ→ｳ→ｴ→ｵ→ｧ→ｨ→ｩ→ｪ→ｫ→
ｶ	→ｶ→ｷ→ｸ→ｹ→ｺ→
ｻ	→ｻ→ｼ→ｽ→ｾ→ｿ→
ﾀ	→ﾀ→ﾁ→ﾂ→ﾃ→ﾄ→ｯ→
ﾅ	→ﾅ→ﾆ→ﾇ→ﾈ→ﾉ→
ﾊ	→ﾊ→ﾋ→ﾌ→ﾍ→ﾎ→
ﾏ	→ﾏ→ﾐ→ﾑ→ﾒ→ﾓ→
ﾔ	→ﾔ→ﾕ→ﾖ→ｬ→ｭ→ｮ→
ﾗ	→ﾗ→ﾘ→ﾙ→ﾚ→ﾛ→
ﾜ	→ﾜ→ｦ→ﾝ→
、。?!	→、→。→-→？→！→＆→”→「→」→・→（→）→
※2	→゛→゜→(半角スペース）→（日付※3）→（時刻※3）→
文字	入力モードの切替画面が表示されます。
記号	記号・定型文・辞書切替画面が表示されます。
クリア	入力した文字を削除します。

■入力モード：全角英字

キーボード表示	割り当て文字
１	１
２ＡＢＣ	→ａ→ｂ→ｃ→Ａ→Ｂ→Ｃ→２→
３ＤＥＦ	→ｄ→ｅ→ｆ→Ｄ→Ｅ→Ｆ→３→
４ＧＨＩ	→ｇ→ｈ→ｉ→Ｇ→Ｈ→Ｉ→４→
５ＪＫＬ	→ｊ→ｋ→ｌ→Ｊ→Ｋ→Ｌ→５→
６ＭＮＯ	→ｍ→ｎ→ｏ→Ｍ→Ｎ→Ｏ→６→
７ＰＱＲＳ	→ｐ→ｑ→ｒ→ｓ→Ｐ→Ｑ→Ｒ→Ｓ→７→
８ＴＵＶ	→ｔ→ｕ→ｖ→Ｔ→Ｕ→Ｖ→８→
９ＷＸＹＺ	→ｗ→ｘ→ｙ→ｚ→Ｗ→Ｘ→Ｙ→Ｚ→９→
０	０
@/?!	→．→，→＠→＿→―→／→？→！→＆→’→”→：→；→～→
※2	→(全角スペース）→（日付※3）→（時刻※3）→
文字	入力モードの切替画面が表示されます。
記号	記号・定型文・辞書切替画面が表示されます。
クリア	入力した文字を削除します。

■入力モード：半角英字

キーボード表示	割り当て文字
1	1
2ABC	→a→b→c→A→B→C→2→
3DEF	→d→e→f→D→E→F→3→
4GHI	→g→h→i→G→H→I→4→
5JKL	→j→k→l→J→K→L→5→

キーボード表示	割り当て文字
6MNO	→m→n→o→M→N→O→6→
7PQRS	→p→q→r→s→P→Q→R→S→7→
8TUV	→t→u→v→T→U→V→8→
9WXYZ	→w→x→y→z→W→X→Y→Z→9→
0	0
[@/?!]	→．→，→＠→＿→－→／→？→！→＆→'→"→：→；→˜→
[␣⎘↵] ※2	→(半角スペース)→(日付※3)→(時刻※3)→.co.jp→ .com→ .net→ .ne.jp→ .or.jp→ http://→www.→ @docomo.ne.jp→
文字	入力モードの切替画面が表示されます。
記号	記号・定型文・辞書切替画面が表示されます。
クリア	入力した文字を削除します。

■入力モード：半角数字

キーボード表示	割り当て文字
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
0	0
*	*
#	#
文字	入力モードの切替画面が表示されます。
記号	記号・定型文・辞書切替画面が表示されます。
その他	[␣](半角スペース) [↵](改行) ： ／ ． ， p※4 w※4 ＋※4
クリア	入力した文字を削除します。

※1：濁点や半濁点を付加できます（付加できる文字のみ）。タップするごとに「→゛（濁点）→゜（半濁点）→なし→」と切り替わります。

※2：ポイントすると改行します（改行できる場合のみ）。

※3：設定した表示形式で日付や時刻を入力できます。→P556

※4：入力欄によって選択できない場合があります。

文字を入力する

マルチタップでの文字の入力方法について説明します。

- 次の説明は入力方法の 1 つの例です。単語ごとに変換しながら入力したり、 1つの文節を続けて入力してから変換するなど、さまざまな入力方法がありますので、お客様にあった方法で入力してください。

<例：メモ帳で「明日の予定等」と入力するとき>

1 テキストメモ登録画面を表示▶ステータスバーの をタップする

- テキストメモ登録画面の表示方法→P394

2 「あす」を入力する



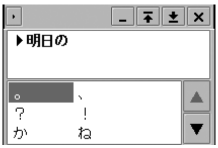
- 「あ」の入力 ：**[あ] を1回タップする**
- 「す」の入力 ：**[さ] を3回タップする**

3 変換候補エリアから[明日]をタップする



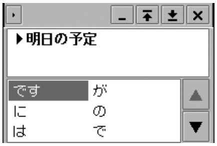
「明日」の入力が確定し、変換候補エリアに確定した文字に続くと予測される変換候補が表示されます。

4 変換候補エリアから[の]をタップする



「の」の入力が確定し、引き続き変換候補エリアに確定した文字に続くと予測される変換候補が表示されます。

5 「予定」を入力する



■予測変換候補に「予定」が表示されているとき

［予定］をタップする

■予測変換候補に「予定」が表示されないとき

①「よてい」を入力する
- 「よ」の入力：［や］を3回タップする
- 「て」の入力：［た］を4回タップする
- 「い」の入力：［あ］を2回タップする

②変換候補エリアから［予定］をタップする

■予測変換候補を消すとき

入力エリアをタップする
- カーソルが移動した場合は、続けて文字を入力する位置をタップしてカーソルを移動させます。

6 「等」を入力する

■予測変換候補に「等」が表示されているとき

［等］をタップする

■予測変換候補に「等」が表示されないとき

①「など」を入力する
- 「な」の入力：［な］を1回タップする
- 「と」の入力：［た］を5回タップする
- 「゛」の入力：［゛゜］を1回タップする

②変換候補エリアから［等］をタップする

7 入力が終了したら［×］をタップする

お知らせ

- 次の操作もできます。
  - 定型文を入力する→P529
  - 記号を入力する→P530
  - 顔文字を入力する→P531
  - 入力した文字を削除する→P534
  - 辞書を検索する→P532
- 1度に変換できる文字数は11文字までです。
- 予測変換候補がない場合、または予測変換を使用しないように設定している場合は、変換候補エリアに予測変換候補は表示されません。
- 変換候補エリアに表示される予測変換候補は、学習辞書に保存されている学習情報によって異なります。→P552

マルチタップで入力した文字を自動的に確定する

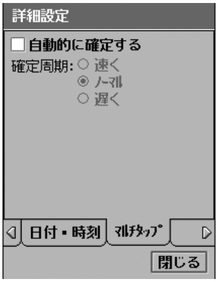
お買い上げ時	自動的に確定する：□

マルチタップで文字を入力したとき、自動的にカーソルを次の文字入力位置に移動して入力待ち状態になるように設定できます。同じキーに割り当てられている文字を続けて入力するときなど、一度入力した文字の右側をタップしてカーソルを移動する操作が必要なくなります。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「文字入力設定」を順にタップする

次のページへ続く●●●

2 文字入力設定画面で[詳細設定]をタップし、詳細設定画面で「マルチタップ」タブをタップする



自動的に確定する
：入力した文字を自動的に確定するかどうかを設定します。
☑ が確定する、□ が確定しない状態です。
- 「確定周期」を設定するには、☑ に設定する必要があります。

確定周期：確定する速さを「速く」「ノーマル」「遅く」から選択します。

- 「マルチタップ」タブが画面上に表示されていない場合は、タブ表示エリアの ◁ ／ ▷ をタップして表示できます。→P44

3 各項目を設定する

- 「自動的に確定する」
  ：□ ／ ☑ をタップし、設定する場合は ☑ の状態に、設定しない場合は □ の状態にします。
- 「確定周期」
  ：項目をタップし、設定します。

4 [閉じる]をタップする

ツータップ

ツータップで文字を入力する

ツータップでは、1つのキーに複数の文字が割り当てられているキーボードが文字入力画面として表示されます。文字を入力するには、入力する文字が割り当てられているキーをタップすると割り当て文字の選択画面が表示され、そこから入力する文字をタップします。

- あらかじめ入力方式を「ツータップ」に設定する必要があります。→P517

各入力モードのキーボード表示と割り当て文字について

各入力モード時のキーボード表示と割り当て文字は次のようになります。入力する文字が割り当てられているキーをタップし、割り当て文字の選択画面を表示します。

■入力モード：ひらがな

キーボード表示	割り当て文字
あ	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ ヴ
か	か き く け こ が ぎ ぐ げ ご
さ	さ し す せ そ ざ じ ず ぜ ぞ
た	た ち つ て と だ ぢ づ で ど っ
な	な に ぬ ね の
は	は ひ ふ へ ほ ば び ぶ べ ぼ ぱ ぴ ぷ ぺ ぽ
ま	ま み む め も
や	や ゆ よ ゃ ゅ ょ
ら	ら り る れ ろ
わ	わ を ん ゎ

キーボード表示	割り当て文字
[、。?!]	、。ー ？ ！ ＆ ” 「 」・ （ ）
[⎵📅↵]	[⎵]（全角スペース） [↵]（改行） [📅]（日付）※1 [🕒]（時刻）※1
文字	入力モードの切替画面が表示されます。
記号	記号・定型文・辞書切替画面が表示されます。
変換	入力中のカーソルがあたっている文字列の変換候補を切り替えます。
クリア	入力した文字を削除します。

■入力モード：半角カタカナ

キーボード表示	割り当て文字
ｱ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫｳﾞ
ｶ	ｶｷｸｹｺｶﾞｷﾞｸﾞｹﾞｺﾞ
ｻ	ｻｼｽｾｿｻﾞｼﾞｽﾞｾﾞｿﾞ
ﾀ	ﾀﾁﾂﾃﾄﾀﾞﾁﾞﾂﾞﾃﾞﾄﾞｯ
ﾅ	ﾅﾆﾇﾈﾉ
ﾊ	ﾊﾋﾌﾍﾎﾊﾞﾋﾞﾌﾞﾍﾞﾎﾞﾊﾟﾋﾟﾌﾟﾍﾟﾎﾟ
ﾏ	ﾏﾐﾑﾒﾓ
ﾔ	ﾔﾕﾖｬｭｮ
ﾗ	ﾗﾘﾙﾚﾛ
ﾜ	ﾜｦﾝ
[､｡?!]	､｡-?!&”｢｣･()
[⎵📅↵]	[⎵]（半角スペース） [↵]（改行） [📅]（日付）※1 [🕒]（時刻）※1
文字	入力モードの切替画面が表示されます。
記号	記号・定型文・辞書切替画面が表示されます。
クリア	入力した文字を削除します。

■入力モード：全角英字

キーボード表示	割り当て文字
１	１
２ＡＢＣ	Ａ Ｂ Ｃ ２ ａ ｂ ｃ
３ＤＥＦ	Ｄ Ｅ Ｆ ３ ｄ ｅ ｆ
４ＧＨＩ	Ｇ Ｈ Ｉ ４ ｇ ｈ ｉ
５ＪＫＬ	Ｊ Ｋ Ｌ ５ ｊ ｋ ｌ
６ＭＮＯ	Ｍ Ｎ Ｏ ６ ｍ ｎ ｏ
７ＰＱＲＳ	Ｐ Ｑ Ｒ Ｓ ７ ｐ ｑ ｒ ｓ
８ＴＵＶ	Ｔ Ｕ Ｖ ８ ｔ ｕ ｖ
９ＷＸＹＺ	Ｗ Ｘ Ｙ Ｚ ９ ｗ ｘ ｙ ｚ
０	０
[@／?!]	．，？ ！ — ＆ ’ ” ： ； ＠ ～ ／ ＿
[⎵📅↵]	[⎵]（全角スペース） [↵]（改行） [📅]（日付）※1 [🕒]（時刻）※1
文字	入力モードの切替画面が表示されます。
記号	記号・定型文・辞書切替画面が表示されます。
クリア	入力した文字を削除します。

次のページへ続く●●●

■入力モード：半角英字

キーボード表示	割り当て文字
1	1
2ABC	ABC2abc
3DEF	DEF3def
4GHI	GHI4ghi
5JKL	JKL5jkl
6MNO	MNO6mno
7PQRS	PQRS7pqrs
8TUV	TUV8tuv
9WXYZ	WXYZ9wxyz
0	0
@/?!	. , ? ! - & ’ ” : ; @ ˜ / _
␣📅↵	␣（全角スペース） ↵（改行） 📅（日付）※1 🕒（時刻）※1 .co.jp .com .net .ne.jp .or.jp http:// www. @docomo.ne.jp
文字	入力モードの切替画面が表示されます。
記号	記号・定型文・辞書切替画面が表示されます。
クリア	入力した文字を削除します。

■入力モード：半角数字

キーボード表示	割り当て文字
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
0	0
*	*
#	#
文字	入力モードの切替画面が表示されます。
記号	記号・定型文・辞書切替画面が表示されます。
その他	␣（半角スペース） ↵（改行） : / . , p※2 w※2 ＋※2
クリア	入力した文字を削除します。

※1：設定した表示形式で日付や時刻を入力できます。→P556

※2：入力欄によって選択できない場合があります。

文字を入力する

ツータップでの文字の入力方法について説明します。

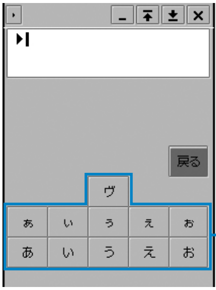
- 次の説明は入力方法の 1 つの例です。単語ごとに変換しながら入力したり、 1つの文節を続けて入力してから変換するなど、さまざまな入力方法がありますので、お客様にあった方法で入力してください。

<例：メモ帳で「明日の予定」と入力するとき>

1 テキストメモ登録画面を表示▶ステータスバーの をタップする

- テキストメモ登録画面の表示方法→P394

2 [あ]をタップする



「あ」のキーに割り当てられた文字の選択画面が表示されます。

3 [あ]をタップする

「あ」が入力されます。同様に「す」を入力してください。

- 「す」の入力：**[さ]▶[す]を順にタップする**

4 変換候補エリアから[明日]をタップする

「明日」の入力が確定します。同様に「の予定」を入力してください。

- 予測変換機能をONにしている場合は、変換候補エリアに確定した文字に続くと予測される変換候補が表示されます。
- 予測変換候補の操作方法→P528

■予測変換候補を消すとき

入力エリアをタップする

- カーソルが移動した場合は、続けて文字を入力する位置をタップしてカーソルを移動させます。

5 入力が終了したら × をタップする

お知らせ

- 次の操作もできます。
  - 定型文を入力する→P529
  - 記号を入力する→P530
  - 顔文字を入力する→P531
  - 入力した文字を削除する→P534
  - 辞書を検索する→P532
- 1度に変換できる文字数は11文字までです。

予測変換を利用して文字を変換する

予測変換機能をONに設定していると、入力した文字列の確定時にその文字に続くと予測される変換候補が変換候補エリアに表示されるようになります。予測変換候補は、お買い上げ時に登録されている予測変換用辞書と、今までの文字入力の学習情報が保存されている学習辞書から検索して表示されます。

- 次の説明は変換方法の 1 つの例です。変換候補エリアに表示される予測変換候補は、学習辞書に保存されている学習情報によって異なります。→P552

＜例：マルチタップで「明日の会議の時間が決まりましたので連絡します。」と入力するとき＞

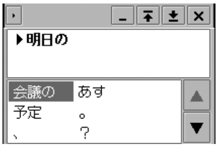
1 文字を入力する欄▶ステータスバーの[キーボード]を順にタップする

2 「あす」を入力する



変換候補エリアに変換候補が表示されます。

3 変換候補から[明日の]をタップする



入力が確定し、変換候補エリアに確定した文字に続くと予測される変換候補が表示されます。

■文節などの長い文字列を入力して予測変換候補がうまく表示されないとき

11 文字以内で文節を入力したとき、変換候補がうまく表示されない場合は、変換する文字列の範囲を指定して変換候補を表示できます。

① カーソルの先頭から変換する文字列をドラッグする

ドラッグして指定した範囲にカーソルがあたり、変換候補エリアに指定した範囲の変換候補が表示されます。それ以外の文字列のカーソルはグレーで表示されます。

② 変換候補エリアから入力する文字列をタップする

指定した範囲の文字列の入力が確定し、残りの文字列にカーソルがあたります。変換候補エリアには、残りの文字列の変換候補が表示されます。

③ 同様に残りの文字列の入力を確定する

■予測変換候補に目的の文字列が表示されないとき

続けて目的の文字を入力する

変換候補エリアに入力した文字列の変換候補が新たに表示されます。

- 文字入力画面のキーの割り当てについては、各入力方法のキーボードの説明をご参照ください。→P519、P524、P536、P539

■予測変換候補を消すとき

入力エリアをタップする

- カーソルが移動した場合は、続けて文字を入力する位置をタップしてカーソルを移動させます。

4 変換候補から[会議の]をタップする



入力が確定し、引き続き変換候補エリアに確定した文字に続くと予測される変換候補が表示されます。同様に「時間が決まりましたので連絡します。」を入力してください。

5 入力が終了したら × をタップする

お知らせ

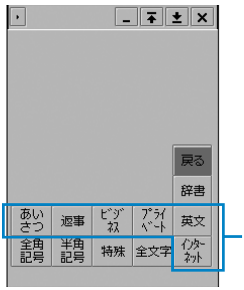
- 予測変換候補がない場合、または予測変換候補を使用しないように設定している場合は、予測変換候補は表示されません。

定型文を入力する

6つのカテゴリから定型文を選択して入力できます。

- すべての入力方式で利用できます。

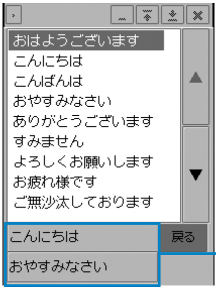
1 文字入力中に[記号]をタップする



記号・定型文・辞書切替画面

- カテゴリは「あいさつ」「返事」「ビジネス」「プライベート」「英文」から選択できます。
- 「インターネット」の入力方法→P531

2 入力する定型文が属するカテゴリをタップする



選択したカテゴリの中で、以前に選択した定型文が最新のものから２つまで表示され、選択できます。

- ［戻る］をタップすると、文字入力画面に戻ります。

3 入力する定型文をタップする

お知らせ

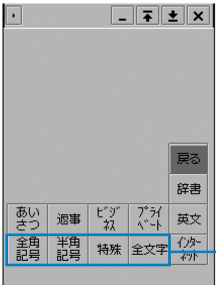
- 定型文一覧→P580

記号を入力する

全角／半角記号や特殊文字を選択して入力できます。

- すべての入力方式で利用できます。

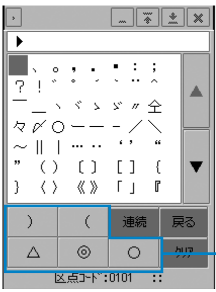
1 文字入力中に［記号］をタップする



記号の種類

記号・定型文・辞書切替画面

2 記号の種類をタップする



選択した種類の中で、以前に選択した記号が最新のものから５つまで表示され、選択できます。

- 記号の種類は「全角記号」「半角記号」「特殊」から選択できます。
- ［全文字］をタップすると、すべての全角／半角記号や特殊文字、漢字から選択できます。
- ［戻る］をタップすると、文字入力画面に戻ります。

3 入力する記号をタップする

お知らせ

- 記号・特殊文字一覧→P580
- E メールアドレスやURL、半角英数字のみ入力できる入力欄に文字を入力する場合は、[半角記号] のみ選択できます。

顔文字を入力する

記号やアルファベットなどを使用して顔の表情を表す「顔文字」を入力できます。
- すべての入力方式で利用できます。

1 文字入力中に「かお」を入力する

変換候補に顔文字が表示されます。
- 変換候補には次の顔文字が表示されます。

(*_*)	(+_+)	(-.-)	(-_-)
(-_-;)	(..)	(._.)	(._.)_
(;_;)	(>_<)	(@_@)	(T_T)
(^.^)	(^0_0^)	(^0^)	(^^)
(^^ゞ	(^_-)	(^_^)	(^_^;)
(^o^)	(^○^)	(__)	(~_~)
(~_~;)	(~o~)	)^o^(	>^_^<
^/^	^^;	^_^;	_(._.)_
m(__)m			

2 入力する顔文字をタップする

顔文字が入力されます。

Eメールアドレスなどを簡単に入力する

Eメールアドレスのドメイン名（@以降）など、Eメールやインターネットのアドレスなどで使用する決まった形式の文字列を入力できます。
- すべての入力方式で利用できます。

1 文字入力中に[記号]をタップする

文字入力

次のページへ続く

2 記号･定型文･辞書切替画面で[インターネット]をタップする



- ［戻る］をタップすると、文字入力画面に戻ります。

以前に選択した文字列が最新のものから2つまで表示され、選択できます。

3 入力する文字列をタップする

お知らせ

- 定型文一覧→P580

辞書から文字を入力する

入力した文章内の文字列を選択して辞書検索を行い、意味や送り仮名、訳などを確認できます。検索した内容は、コピーして貼り付けることもできます。また、文字の変換中に辞書を検索することもできます。

辞書機能を利用する場合は、添付のFOMA M1000 用CD-ROM1から電子辞書用辞書データをFOMA端末にインストールしてください。→P598

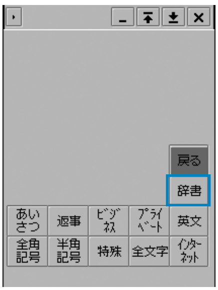
間接入力方式で文字を入力中に辞書検索する

入力方式を「マルチタップ」または「ツータップ」にして文字を入力中に、辞書検索を行います。

1 入力中の文章から辞書検索する文字列をドラッグする

指定した範囲にカーソルがあたります。

2 [記号]をタップする



記号・定型文・辞書切替画面

3 [辞書]をタップする



辞書検索画面

- ［戻る］をタップすると、辞書検索を終了します。

4 「国語」／「英和」／「和英」をタップする

検索を開始し、関連する見出し語が見出し語表示エリアに表示されます。

5 見出し語表示エリアから目的の見出し語をタップする

検索結果表示エリアに選択した見出し語の意味や訳が表示されます。

- ［コピー］をタップすると、検索結果表示エリアに表示されている内容がコピーされます。検索結果表示エリアの文字列をドラッグして ［コピー］をタップすると、指定した文字列がコピーされます。［貼付］をタップすると、確定済み文字の表示エリアにコピーした内容を貼り付けます。

直接入力方式で文字を入力中に辞書検索する

入力方式を「50音キーボード」または「Qwertyキーボード」、「手書き入力」にして文字を入力中に、辞書検索を行います。

- 変換時辞書検索で辞書を使用するように設定していない場合は、直接入力中に辞書検索を利用できません。→P550

1 入力中の文章から辞書検索する文字列をドラッグする

指定した範囲にカーソルがあたります。

2 [アイコン]をタップする

- ［記号］▶［辞書］を順にタップしても辞書検索画面を表示できます。

3 辞書検索を行う

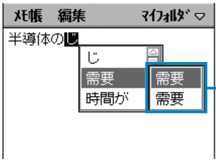
以降の操作は、間接入力方式の辞書検索と同じです。

- 辞書の検索方法→P532

直接入力方式で文字の変換中に変換候補を辞書検索する

変換時辞書検索（→P550）で辞書を使用するように設定すると、入力方式を「50音キーボード」または「Qwertyキーボード」にして文字を変換中に、変換候補の内容を辞書検索できます。

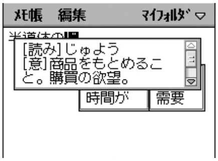
1 変換中に を押して辞書検索する変換候補を選択▶ をタップ／ を1秒以上押す



変換時辞書検索で設定した辞書から検索された見出し語の候補が表示されます。

見出し語の候補

2 見出し語の候補から目的の見出し語をタップする



選択した見出し語の意味や訳が表示されます。

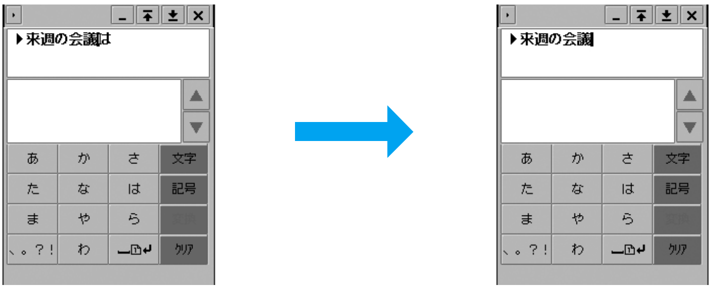
- 意味や訳の表示をタップすると表示が消え、他の見出し語の候補をタップして他の意味や訳を表示できます。
- 変換候補をタップすると見出し語の候補が消え、文字が入力されます。

文字を削除する

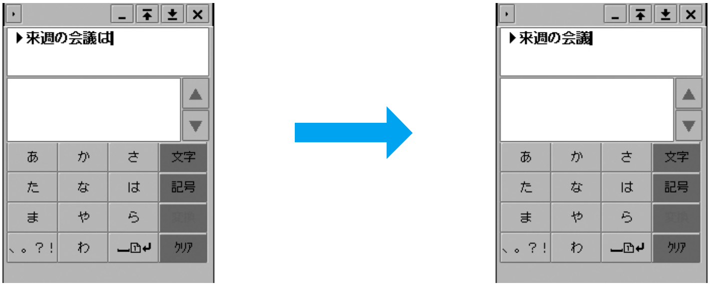
入力した文字を1文字ずつ削除したり、まとめて削除したりできます。また、範囲を指定して削除することもできます。

■1文字ずつ削除するとき

- **表示エリアで削除する文字の左側をタップしてカーソルを移動し、［クリア］をタップする**

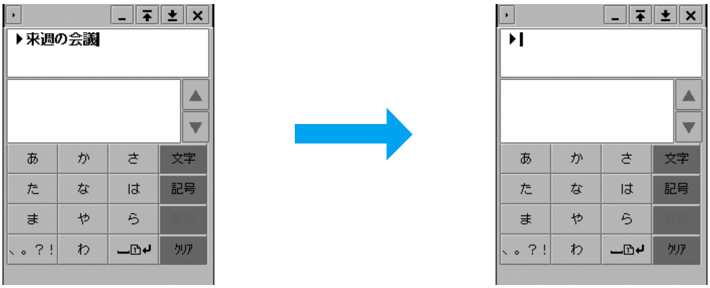


• 最後の文字の右側をタップしてカーソルを移動し、［クリア］をタップする

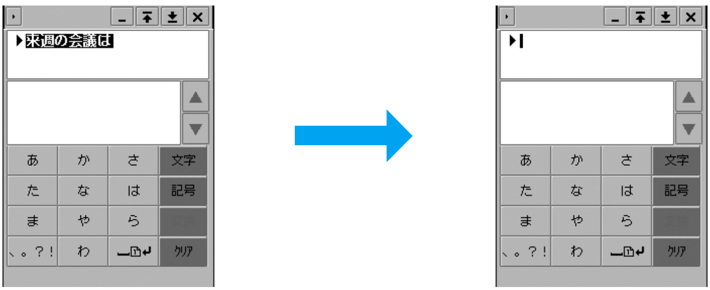


■入力した文字をすべて削除するとき

• 最後の文字の右側をタップしてカーソルを移動し、［クリア］をポイントする

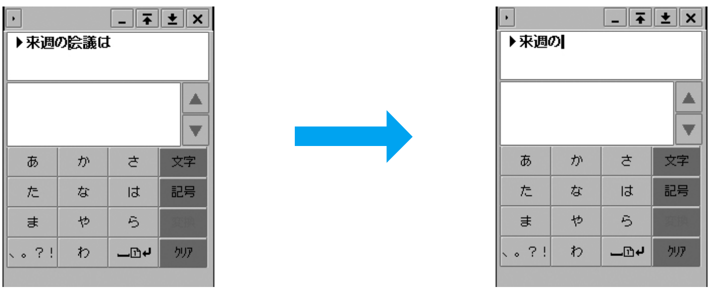


• 入力した文字をドラッグし、［クリア］をタップする



■指定した箇所以降の文字をすべて削除するとき

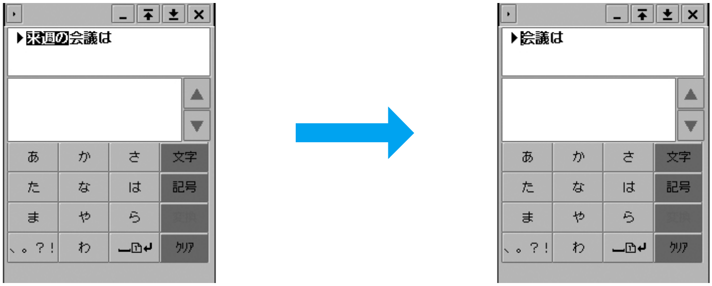
削除する文字列の先頭となる文字の左側をタップしてカーソルを移動し、［クリア］をポイントする



次のページへ続く

■範囲を指定して削除するとき

削除する文字列をドラッグし、［クリア］をタップする



直接入力方式

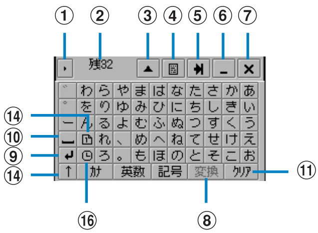
直接入力方式で文字を入力する

本FOMA端末には、「50音キーボード」と「Qwertyキーボード」、「手書き入力」の3つの直接入力方式があります。あらかじめ入力方式を設定しておくことで、文字入力時にそれぞれの入力画面を表示できます。→P517

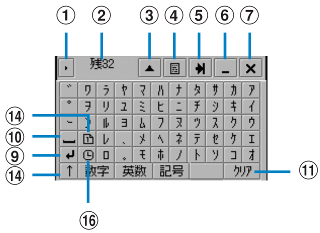
- 入力した文字の確定や変換候補の選択など、文字入力の操作はナビゲーションキーでも行うことができます。→P31

50音キーボードについて

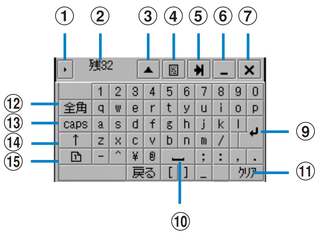
入力方式を「50音キーボード」に設定している場合、文字を入力する場面でステータスバーの をタップすると、次のようなキーボードが表示されます。



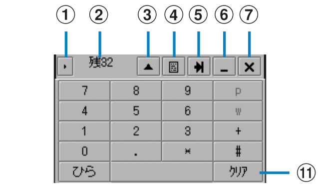
ひらがな／漢字入力モード



カタカナ入力モード



英字／数字入力モード



数字入力モード

項　目	説　明
①入力方式切替キー	メニューが表示され、入力方式を切り替えます。
②文字数	文字数制限がある場合は、入力可能な文字数が「残XX」と表示されます。
③移動キー	キーボードを、タッチスクリーンの上部／下部へ移動します。
④辞書キー	辞書を検索します。
⑤入力欄切替キー	電話帳の登録画面など、1つの画面に文字の入力欄（名前やフリガナ、住所など）が複数ある場合に、キーボードを表示したまま入力欄を切り替えます。
⑥最小化キー	キーボードを一時的に隠します。元に戻す場合は、[■]をタップします。
⑦終了キー	キーボードを閉じます。
⑧変換キー	入力中のカーソルがあたっている文字列の変換候補を切り替えます。
⑨改行／CRキー	改行します。
⑩空白キー	スペースを入力します。
⑪クリアキー	入力した文字を削除します。
⑫全角／半角キー	全角と半角を切り替えます。
⑬capsキー	アルファベットの大文字／小文字を切り替えます。大文字に切り替えているときに［↑］をタップすると、1文字だけ小文字を入力できます。
⑭↑（shift）キー	1文字だけ大文字を入力できます。アルファベットを大文字に切り替えているときに［↑］をタップすると、1文字だけ小文字を入力できます。
⑮日付キー	現在の日付を入力します。英字／数字入力モード表示中は、［↑］をタップすると時刻キーに切り替わり、現在の時刻を入力します。
⑯時刻キー	現在の時刻を入力します。

- 入力モードを切り替えるには、各入力モードのキーボードで［ひら］／［英数］／［カナ］／［数字］／［戻る］のいずれかのキーをタップします。
- ［記号］をタップすると、記号・定型文・辞書切替画面が表示されます。→P529、P530、P532
- 記号・特殊文字一覧→P580
- 定型文一覧→P580

50音キーボード

50音キーボードで文字を入力する

50音キーボードでは、入力できる文字のキーがキーボードに表示されています。目的の文字のキーを直接タップして入力し、必要な場合は入力モードのキーをタップして入力モードを切り替えます。

- あらかじめ入力方式を「50音キーボード」に設定する必要があります。→P517
- 次の説明は入力方法の 1 つの例です。単語ごとに変換しながら入力したり、1つの文節を続けて入力してから変換するなど、さまざまな入力方法がありますので、お客様にあった方法で入力してください。

＜例：メモ帳で「明日の予定」と入力するとき＞

1 テキストメモ登録画面を表示▶ステータスバーの[⌨]をタップする

- テキストメモ登録画面の表示方法→P394
- 入力モードがひらがな／漢字モード以外の場合は、［ひら］をタップしておきます。

2 [あ]▶[す]を順にタップする



3 変換候補エリアから[明日]をタップする

「明日」の入力が確定します。同様に「の予定」を入力してください。

- 候補が3つ以上ある場合は、スクロールバーをドラッグすると、残りの候補が表示されます。
- 予測変換機能をONにしている場合は、変換候補エリアに確定した文字に続くと予測される変換候補が表示されます。
- 引き続き文字を入力する場合は、入力する文字のキーをタップします。
- 予測変換候補の操作方法→P528

■予測変換候補を消すとき

入力エリアをタップする

- カーソルが移動した場合は、続けて文字を入力する位置をタップしてカーソルを移動させます。

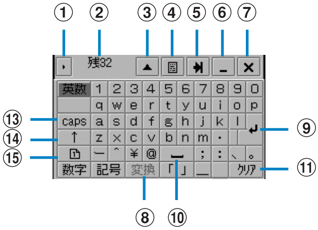
4 入力が終了したら ✕ をタップする

お知らせ

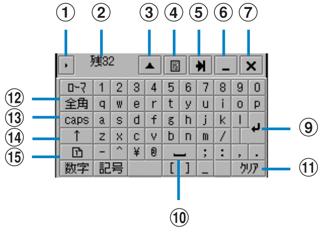
- 次の操作もできます。
  - 定型文を入力する→P529
  - 記号を入力する→P530
  - 顔文字を入力する→P531
  - 入力した文字を削除する→P534
  - 辞書を検索する→P532
- 1度に変換できる文字数は11文字までです。

Qwertyキーボードについて

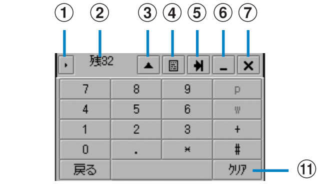
入力方式を「Qwertyキーボード」に設定している場合、文字を入力する場面でステータスバーの をタップすると、次のようなキーボードが表示されます。



ひらがな／漢字入力モード



英字／数字入力モード



数字入力モード

項　目	説　明
①入力方式切替キー	メニューが表示され、入力方式を切り替えます。
②文字数	文字数制限がある場合は、入力可能な文字数が「残XX」と表示されます。
③移動キー	キーボードを、タッチスクリーンの上部／下部へ移動します。
④辞書キー	辞書を検索します。
⑤入力欄切替キー	電話帳の登録画面など、1つの画面に文字の入力欄（名前やフリガナ、住所など）が複数ある場合に、キーボードを表示したまま入力欄を切り替えます。
⑥最小化キー	キーボードを一時的に隠します。元に戻す場合は、 をタップします。
⑦終了キー	キーボードを閉じます。
⑧変換キー	入力中のカーソルがあたっている文字列の変換候補を切り替えます。
⑨ＣＲキー	改行します。
⑩空白キー	スペースを入力します。
⑪クリアキー	入力した文字を削除します。
⑫全角／半角キー	全角と半角を切り替えます。
⑬capsキー	アルファベットの大文字／小文字を切り替えます。大文字に切り替えているときに［↑］をタップすると、1文字だけ小文字を入力できます。
⑭↑（shift）キー	1文字だけ大文字を入力できます。アルファベットを大文字に切り替えているときに［↑］をタップすると、1文字だけ小文字を入力できます。
⑮日付キー	現在の日付を入力します。［↑］をタップすると時刻キーに切り替わり、現在の時刻を入力します。

• 入力モードを切り替えるには、各入力モードのキーボードで　［ローマ］／［英数］／［数字］／［戻る］のいずれかのキーをタップします。

次のページへ続く●●•

- ［記号］をタップすると、記号・定型文・辞書切替画面が表示されます。→P529、P530、P532
- 記号・特殊文字一覧→P580
- 定型文一覧→P580

Qwertyキーボード

Qwertyキーボードで文字を入力する

Qwertyキーボードでは、入力できる文字のキーがキーボードに表示されています。目的の文字のキーを直接タップして入力し、必要な場合は入力モードのキーをタップして入力モードを切り替えます。ただし、入力モードをひらがな／漢字モードに切り替えても、キーボードにひらがなは表示されません。Qwertyキーボードでひらがな／漢字を入力するときは、ローマ字入力を行ってください。

- あらかじめ入力方式を「Qwertyキーボード」に設定する必要があります。→P517
- 次の説明は入力方法の 1 つの例です。単語ごとに変換しながら入力したり、 1 つの文節を続けて入力してから変換するなど、さまざまな入力方法がありますので、お客様にあった方法で入力してください。

＜例：メモ帳で「明日の予定」と入力するとき＞

1 テキストメモ登録画面を表示▶ステータスバーの［キーボード］をタップする

- テキストメモ登録画面の表示方法→P394
- あらかじめ入力モードをひらがな／漢字モードにしておいてください。

2 「あす」を入力する



変換候補エリア

ローマ字で入力します。

- 「あ」の入力：**［a］をタップする**
- 「す」の入力：**［s］▶［u］を順にタップする**

3 変換候補エリアから［明日］をタップする

「明日」の入力が確定します。同様に「の予定」を入力してください。

- 候補が3つ以上ある場合は、スクロールバーをドラッグすると、残りの候補が表示されます。
- 予測変換機能をONにしている場合は、変換候補エリアに確定した文字に続くと予測される変換候補が表示されます。
- 引き続き文字を入力する場合は、入力する文字のキーをタップします。
- 予測変換候補の操作方法→P528

■予測変換候補を消すとき

入力エリアをタップする

- カーソルが移動した場合は、続けて文字を入力する位置をタップしてカーソルを移動させます。

4 入力が終了したら［×］をタップする

お知らせ

- 次の操作もできます。
  - 定型文を入力する→P529
  - 記号を入力する→P530
  - 顔文字を入力する→P531
  - 入力した文字を削除する→P534
  - 辞書を検索する→P532
- 1度に変換できる文字数は11文字までです。
- ローマ字入力一覧→P581

手書き入力

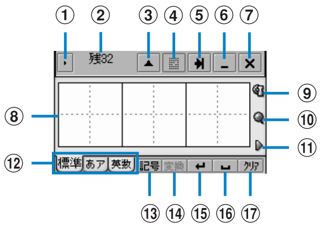
手書きで文字を入力する

手書き入力では、タッチスクリーン上の手書き入力画面にスタイラスペンで直接文字を書いて入力できます。

- あらかじめ入力方式を「手書き入力」に設定する必要があります。→P517

手書き入力画面について

入力方式を「手書き入力」に設定している場合、文字を入力する場面でステータスバーの ⌨ をタップすると、次のような入力画面が表示されます。



項　目	説　明
①入力方式切替キー	メニューが表示され、入力方式を切り替えます。
②文字数	文字数制限がある場合は、入力可能な文字数が「残XX」と表示されます。
③移動キー	手書き入力画面を、タッチスクリーンの上部／下部へ移動します。
④辞書キー	辞書を検索できます。
⑤入力欄切替キー	電話帳の登録画面など、1つの画面に文字の入力欄（名前やフリガナ、住所など）が複数ある場合に、手書き入力画面を表示したまま入力欄を切り替えます。
⑥最小化キー	手書き入力画面を一時的に隠します。元に戻す場合は、▫ をタップします
⑦終了キー	手書き入力画面を閉じます。
⑧入力エリア	手書きで文字を入力します。
⑨設定／ヘルプキー	メニューが表示されます。「設定」をタップすると、手書き設定画面が表示されます。→P557 「ヘルプ」をタップすると、手書き入力のヘルプ画面が表示され、手書きの操作を確認できます。→P50 ・ 単語登録やメールアカウントなど、コントロールパネル内の機能から手書き文字入力画面を表示した場合は、「設定」をタップしても手書き設定画面は表示されません。
⑩拡大／標準キー	入力エリアを拡大サイズ／標準サイズに切り替えます。
⑪入力文字確定キー	現在入力中の文字を確定します。

次のページへ続く

項　目	説　明
⑫ **認識モードタブ**	手書きで書いた文字の種類を認識するためのモードを切り替えます。
⑬ **記号キー**	記号・定型文・辞書切替画面が表示されます。
⑭ **変換キー**	入力中のカーソルがあたっている文字列の変換候補を切り替えます。
⑮ **改行キー**	改行します。
⑯ **空白キー**	スペースを入力します。
⑰ **クリアキー**	入力した文字を削除します。

- ［記号］をタップすると、記号・定型文・辞書切替画面が表示されます。→P529、P530、P532
- 記号・特殊文字一覧→P580
- 定型文一覧→P580

文字を入力する

手書き入力での文字の入力方法について説明します。

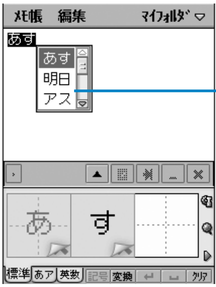
- 次の説明は入力方法の 1 つの例です。単語ごとに変換しながら入力したり、 1 つの文節を続けて入力してから変換するなど、さまざまな入力方法がありますので、お客様にあった方法で入力してください。

＜例：メモ帳で「明日の予定」と入力するとき＞

1 テキストメモ登録画面を表示▶ステータスバーの をタップする

- テキストメモ登録画面の表示方法→P394

2 入力エリアに「あす」と書く



変換候補エリア

3 変換候補エリアから［明日］をタップする

「明日」の入力が確定します。同様に「の予定」を入力してください。

- 候補が3つ以上ある場合は、スクロールバーをドラッグすると、残りの候補が表示されます。
- 予測変換機能をONにしている場合は、変換候補エリアに確定した文字に続くと予測される変換候補が表示されます。
- 引き続き文字を入力する場合は、入力エリアに文字を書きます。
- 予測変換候補の操作方法→P528

■入力エリアの枠数より多くの文字を続けて入力するとき

入力エリアのすべての枠に文字を書き、続けて文字を書く場合は、左の枠に上書きするように続きの文字を書くか、手書き入力画面上部のカーソルがあたっている文字列をタップしてから文字を書きます。

■予測変換候補を消して文字を入力するとき

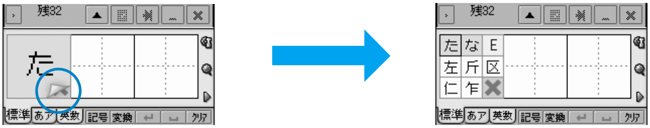
入力エリアをタップする

- カーソルが移動した場合は、続けて文字を入力する位置をタップしてカーソルを移動させます。

4 入力が終了したら × をタップする

■正しく認識されなかった文字を変更するとき

入力エリアに文字を書くと入力エリアの右下が次のように表示され、タップすると入力した文字の候補が表示されます。



候補内に目的の文字がある場合は、タップして文字を変更できます。
候補に目的の文字が表示されない場合は、 をタップして文字を書き直してください。

- 入力エリアや候補には、認識された文字が次のように色分けされて表示されます。表示されている文字種が分かりにくい場合は、色でも判断できます。
  - ひらがな：ピンク色
  - 漢字：黄色
  - カタカナ：紫色
  - 英字：緑色
  - 数字：青色
  - 全角記号：オレンジ色
  - 半角記号：緑色
  - マイシンボル：白色

■マイシンボルを利用するとき

マイシンボルを登録しておくと、簡単なサインやマークなどの「シンボル」を入力するだけで、登録した文字列を入力できます。→P557

①手書き入力画面を表示する

②入力エリアに登録したシンボルを書く



③変換候補エリアまたは入力文字確定キーをタップする

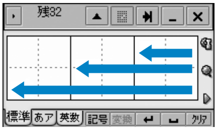
マイシンボルに登録した文字列が入力されます。

④入力が終了したら × をタップする

次のページへ続く

■手書き入力画面に入力した文字を削除するとき

入力エリアの文字を削除するには、[クリア] をタップしてまとめて削除する方法の他に、次のような削除方法があります。



- 入力した1つの文字を選んで削除する
  : 削除する文字の入力エリアの中心を、右から左の方向へドラッグします。
- 表示中の文字をまとめて削除する
  : まとめて削除する文字の入力エリアの中心を、右から左の方向へドラッグします。

お知らせ

- 次の操作もできます。
  - 定型文を入力する→P529
  - 記号を入力する→P530
  - 顔文字を入力する→P531
  - 入力した文字を削除する→P534
  - 辞書を検索する→P532
- 標準モードで入力した文字が正しく認識されない／されにくい場合は、入力する文字に対応するモード（ひらがな／漢字モードまたは英数モード）に切り替えて入力することをおすすめします。
- 枠内に大きく書くと認識されやすくなります。
- 1度に変換できる文字数は11文字までです。
- 手書き入力の操作については、手書き入力画面のヘルプも合わせてご覧ください。

定型文

定型文を修正／登録する

頻繁に使用するあいさつやフレーズなどを定型文として登録すると、定型文を選択するだけですばやく入力できます。

- 初期化を行うと、登録した定型文はすべて削除され、お買い上げ時の状態に戻ります。

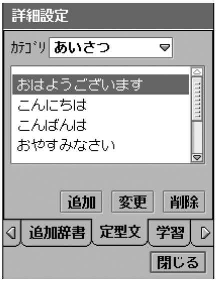
定型文を新規登録する

定型文を登録します。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「文字入力設定」をタップする**

文字入力

2 文字入力設定画面で[詳細設定]をタップし、詳細設定画面で「定型文」タブをタップする



定型文画面

カテゴリ：定型文のカテゴリを切り替えます。

- 「定型文」タブが画面上に表示されていない場合は、タブ表示エリアの ◀ ／ ▶ をタップして表示できます。→P44

3 「カテゴリ」欄をタップし、登録先のカテゴリを選択する

- カテゴリは「あいさつ」「返事」「ビジネス」「プライベート」「英文（English）」「インターネット」から選択できます。
- 定型文は、各カテゴリに20件まで登録できます。

4 [追加]をタップする



文：登録する定型文を入力します。

- [キャンセル] をタップすると、操作を中止します。

5 定型文を入力▶[設定]をタップし、定型文画面で[閉じる]をタップする

- 全角／半角を問わず、32文字まで入力できます。

お買い上げ時の定型文を修正する

登録されている定型文を修正します。

1 定型文画面を表示する

- 定型文画面の表示方法→P544

2 「カテゴリ」欄をタップし、修正する定型文のカテゴリを選択する

- カテゴリは「あいさつ」「返事」「ビジネス」「プライベート」「英文（English）」「インターネット」から選択できます。

3 修正する定型文▶[変更]を順にタップする

4 定型文登録画面で定型文を修正▶[設定]をタップする

- 全角／半角を問わず、32文字まで入力できます。
- [キャンセル] をタップすると、操作を中止します。

定型文を削除する

登録した定型文を1件ずつ削除できます。

1 定型文画面を表示する

- 定型文画面の表示方法→P544

2 「カテゴリ」欄をタップし、削除する定型文のカテゴリを選択する

- カテゴリは「あいさつ」「返事」「ビジネス」「プライベート」「英文（English）」「インターネット」から選択できます。

3 削除する定型文▶[削除]を順にタップする

4 削除の確認画面で[はい]をタップする

- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

文字コピー

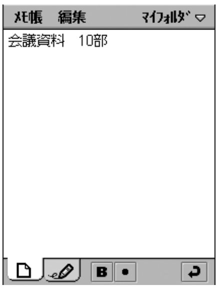
文字の切り取り・コピーと貼り付け

メモ帳やメールなどの文字や数字をコピーしたり切り取ったりして、別の文字入力画面に貼り付けることができます。

文字をコピーする／切り取る

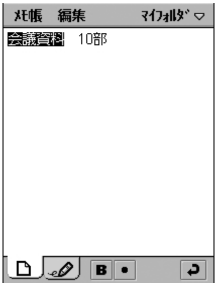
メモ帳などの文章のコピーまたは切り取りを行い、他の位置や画面に貼り付けます。コピーした場合はコピー元を残したまま、貼り付け先にコピー元と同じ内容を貼り付けます。また、切り取った場合はコピー元がなくなり、貼り付け先にコピー元の内容を貼り付けます。

1 文字をコピーする／切り取る画面を表示する



メモ帳の編集画面の場合

2 コピーする／切り取る文字列の範囲をドラッグして指定する

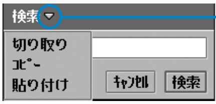


3 メニューバーの「編集」▶「コピー」／「切り取り」を順にタップする

- 「コピー」をタップすると、選択した範囲をコピーします。
- 「切り取り」をタップすると、選択した範囲を切り取ります。

■コピー／切り取り、貼り付け操作について

検索画面などのメニューバーが表示されない画面では、メニューバー以外からメニューを表示してコピー／切り取り、貼り付けができます。



メモ帳の検索画面の場合

画面タイトル横の をタップしてメニューを表示します。

- 画面タイトルの横に が表示される画面は、 より右の位置で上下方向にドラッグして画面を移動し、そのまま画面タイトル部分まで左方向にドラッグしてスタイラスペンを離すと、その位置で画面を固定することができます。画面を元の位置に戻す場合は、 より右の位置をタップします。

お知らせ

- アプリケーションによっては、コピー／切り取りを行う範囲を指定する必要はありません。例えば、電卓では計算結果、電話番号入力画面では入力した電話番号がコピーされます。
- アプリケーションによって、「コピー」／「切り取り」が表示されるメニューバーの項目名が異なったり、メニューバー以外に表示されたりする場合があります。
- コピーした／切り取った内容は、新たにコピー／切り取りを行うまで何度でも貼り付けることができます。
- 認証操作で端末パスワードや認証パスワードなどを入力する際は、認証番号を貼り付けて入力することはできません。

文字を貼り付ける

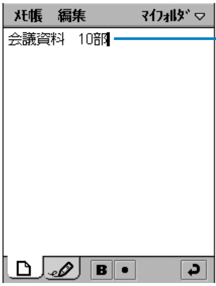
コピーした／切り取った内容を貼り付けます。

1 貼り付けを行う画面を表示する

- コピー／切り取りを行った画面に貼り付ける場合は、操作2から操作します。

次のページへ続く

2 貼り付ける位置をタップして指定する



貼り付ける位置にカーソルが移動します。

3 メニューバーの「編集」➡「貼り付け」を順にタップする

お知らせ

- アプリケーションによっては、貼り付ける位置を指定する必要はありません。例えば、電卓や電話番号入力画面では数字入力エリアに貼り付けられます。
- アプリケーションによって、「貼り付け」が表示されるメニューバーの項目名が異なったり、メニューバー以外に表示されたりする場合があります。

ユーザ辞書

よく使う単語を登録する

頻繁に使用する名前や名称などをユーザ辞書に登録すると、文字の変換時に変換候補として表示され、すばやく入力できます。

- 初期化を行うと、登録した単語はすべて削除されます。

単語を新規登録する

ユーザ辞書に単語を登録します。ユーザ辞書には、単語を100件まで登録できます。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）➡（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ➡「文字入力設定」を順にタップする

2 文字入力設定画面で［詳細設定］をタップする



ユーザ辞書画面

文字入力

3 **[追加]をタップする**



読み：登録する単語の読みを入力します。
- ひらがなで11文字まで入力できます。

語句：登録する単語を入力します。
- 全角／半角を問わず、11文字まで入力できます。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

4 **各項目欄をタップし、読み／語句を入力する**

5 **[設定]をタップし、ユーザ辞書画面で[閉じる]をタップする**

登録した単語を修正する

ユーザ辞書に登録されている単語を修正します。

1 **ユーザ辞書画面を表示する**

- ユーザ辞書画面の表示方法→P548

2 **修正する単語▶[変更]を順にタップする**

3 **修正する項目欄をタップし、読み／語句を修正する**

- 「読み」はひらがなで11文字まで入力できます。
- 「語句」は全角／半角を問わず、11文字まで入力できます。

4 **[設定]をタップする**

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

登録した単語を削除する

ユーザ辞書に登録した単語を1件ずつ削除できます。

1 **ユーザ辞書画面を表示する**

- ユーザ辞書画面の表示方法→P548

2 **削除する単語▶[削除]を順にタップする**

3 **削除の確認画面で[はい]をタップする**

- ［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

電子辞書を設定する

FOMA端末にインストールされている辞書に関する設定や登録を行います。

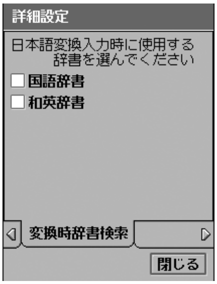
変換時辞書検索
変換時に辞書検索を自動で行うように設定する

お買い上げ時	国語辞書：☐　和英辞書：☐

入力した文字を変換するときに、変換候補を辞書から検索して表示するように設定できます。また、検索する辞書の種類も設定できます。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「文字入力設定」を順にタップする**

2 **文字入力設定画面で［詳細設定］をタップし、詳細設定画面で「変換時辞書検索」タブをタップする**



国語辞書：変換時に国語辞書を検索するかしないかを設定します。
☑が検索する、☐が検索しない状態です。

和英辞書：変換時に和英辞書を検索するかしないかを設定します。
☑が検索する、☐が検索しない状態です。

- 「変換時辞書検索」タブが画面上に表示されていない場合は、タブ表示エリアの◀／▶をタップして表示できます。→P44

3 **検索する辞書の☐▶［閉じる］を順にタップする**

変換時に選択した辞書を検索するように設定されます。

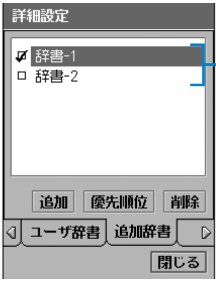
追加辞書
辞書を追加する

購入するなどしてFOMA端末にインストール／ダウンロードした辞書を、文字の変換時に使用する辞書として追加できます。また、検索するときに利用する辞書の優先順位や、追加した辞書を使用しないようにすることもできます。辞書は64件追加でき、10件まで使用するように設定できます。

2005年11月現在、対応する電子辞書はリリースされておりません。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「文字入力設定」を順にタップする**

2 文字入力設定画面で[詳細設定]をタップし、詳細設定画面で「追加辞書」タブをタップする



追加済みの辞書が表示されます。☑の辞書は使用するように、□の辞書は使用しないように設定されています。

追加辞書画面

3 [追加]をタップし、辞書選択画面で追加する辞書の□ ➧[設定]を順にタップする

- 辞書選択画面で［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

4 追加辞書画面で使用する辞書の□ ➧[閉じる]を順にタップする

お知らせ

- 辞書のインストール／アンインストールの方法については、各製造・販売会社にお問い合わせください。

辞書検索の優先順位を設定する

追加した辞書が2つ以上ある場合、変換時に使用する辞書の優先順位を設定できます。優先順位を設定すると、優先順位の高い辞書から検索された予測候補が、変換候補エリアに優先して表示されるようになります。

1 追加辞書画面で[優先順位]をタップする

- 追加辞書画面の表示方法→P550

2 優先順位画面で順位を移動する辞書➧[▲]／[▼]を順にタップする

一覧の上に表示されている辞書が優先して使用されます。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 [設定]をタップする

追加した辞書を削除する

変換時に検索できるように追加した辞書を、使用しないように設定します。

- インストールされた辞書は削除されません。

1 追加辞書画面で削除する辞書➧[削除]を順にタップし、削除の確認画面で[はい]をタップする

- 追加辞書画面の表示方法→P550

辞書保存

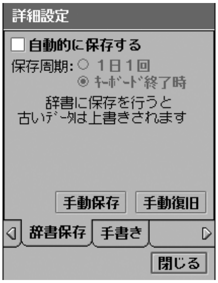
ユーザ辞書・学習辞書の保存方法を設定する

お買い上げ時	自動的に保存する：□

FOMA端末に記録されているユーザ辞書や学習辞書を、TransFlashメモリカードに自動的にバックアップするように設定できます。また、自動保存のタイミングも設定できます。
- あらかじめFOMA端末にTransFlashメモリカードを取り付けておいてください。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「文字入力設定」を順にタップする**

2 **文字入力設定画面で［詳細設定］をタップし、詳細設定画面で「辞書保存」タブをタップする**



自動的に保存する
：自動的に辞書を保存するかどうかを設定します。☑が保存する、□が保存しない状態です。

保存周期
1日1回　：1日の最初に表示した文字入力画面を閉じたときに保存します。
キーボード終了時
：文字入力画面を閉じるごとに保存します。

- 「辞書保存」タブが画面上に表示されていない場合は、タブ表示エリアの◁／▷をタップして表示できます。→P44
- ［手動保存］をタップすると、手動で辞書を保存します。
- ［手動復旧］をタップすると、TransFlashメモリカードに保存されているユーザ辞書や学習辞書を復旧させます。

3 **「自動的に保存する」の□をタップする**

4 **「○1日1回」／「○キーボード終了時」▶［閉じる］を順にタップする**

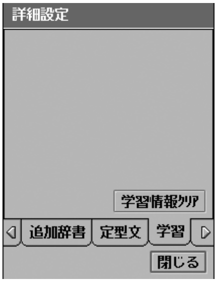
学習

学習辞書を初期状態に戻す

学習辞書に記録された学習情報をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「文字入力設定」を順にタップする**

2 文字入力設定画面で[詳細設定]をタップし、詳細設定画面で「学習」タブをタップする



学習画面

- 「学習」タブが画面上に表示されていない場合は、タブ表示エリアの ◁ ／ ▷ をタップして表示できます。→P44

3 [学習情報クリア]をタップし、クリアの確認画面で[はい]をタップし、学習画面で[閉じる]をタップする

- クリアの確認画面で［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

■学習情報について

お客様が文字を入力して変換した内容は、学習情報としてFOMA端末の学習辞書に記録され、次に同じ文字を入力して変換したときに変換候補として表示されるようになります。

文字入力の詳細を設定する

予測変換機能の利用設定や文字入力画面起動時の入力モードの設定など、文字入力に関する設定を行います。

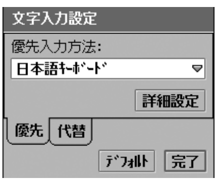
入力システムを設定する

お買い上げ時	日本語キーボード

FOMA端末の入力システムを、他のシステムに変更できます。

本機能は、他の入力システムをインストールした場合にのみ操作できます。
※2005年11月現在、インストール可能なシステムはありません。

1 アプリケーション選択バーの(アプリケーションランチャー)▶(コントロールパネル)を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「文字入力設定」を順にタップする



- ［デフォルト］をタップし、デフォルトの確認画面で［はい］をタップすると、変更した入力システムをお買い上げ時の状態に戻します。

次のページへ続く

2 「優先入力方法」欄をタップし、入力システムを選択する

代替入力方式を設定する

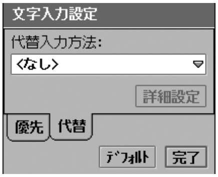
お買い上げ時	なし

FOMA端末の代替入力システムを変更できます。

本機能は、他の入力システムをインストールした場合にのみ操作できます。
※2005年11月現在、インストール可能なシステムはありません。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「文字入力設定」を順にタップする

2 文字入力設定画面で「代替」タブをタップする



- ［デフォルト］をタップし、デフォルトの確認画面で［はい］をタップすると、「優先」タブで変更した入力システムがお買い上げ時の状態に戻り、代替入力システムはお買い上げ時の状態に戻りません。

3 「代替入力方法」欄をタップし、代替入力システムを選択する

予測機能

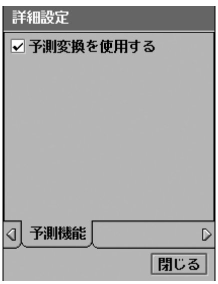
予測変換機能を使用する

お買い上げ時	☑

文字の変換時に、予測変換機能を利用する／しないように設定できます。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「文字入力設定」を順にタップする

2 文字入力設定画面で［詳細設定］をタップし、詳細設定画面で「予測機能」タブをタップする



予測変換を使用する
：予測変換を利用するかしないかを設定します。
☑が利用する、□が利用しない状態です。

- 「予測機能」タブが画面上に表示されていない場合は、タブ表示エリアの◁／▷をタップして表示できます。→P44

3　「予測変換を使用する」の□➡[閉じる]を順にタップする

起動時入力モード

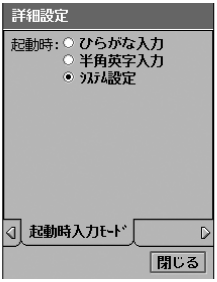
起動時の入力モードを設定する

お買い上げ時　システム設定

文字入力画面を表示したときの入力モードを、あらかじめ設定できます。

1　**アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）➡（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ➡「文字入力設定」を順にタップする**

2　**文字入力設定画面で[詳細設定]をタップし、詳細設定画面で「起動時入力モード」タブをタップする**



起動時

ひらがな入力　：常にひらがな入力モードを表示するように設定します。

半角英字入力　：常に半角英字入力モードを表示するように設定します。

システム設定　：「Language Selection」を「Japanese」に設定している場合はひらがな入力モード、「English」に設定しているときは半角英字入力モードを表示するように設定します。

- 「起動時入力モード」タブが画面上に表示されていない場合は、タブ表示エリアの◁／▷をタップして表示できます。→P44

3　**「起動時」の使用する入力モードの○➡[閉じる]を順にタップする**

文字入力

日付・時刻の表示形式を設定する

お買い上げ時	DATE：yyyy／mm／dd　TIME：hh：mm

[アイコン]や[アイコン]、[アイコン]をタップして入力できる日付・時刻の表示形式を、入力モードごとにあらかじめ設定できます。

- 日付・時刻の入力方法は、マルチタップ／ツータップの「各入力モードのキーボード表示と割り当て文字について」（→P519、P524）「50音キーボードについて」（→P536）「Qwertyキーボードについて」（→P539）をご参照ください。

1 **アプリケーション選択バーの[アイコン]（アプリケーションランチャー）▶[アイコン]（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「文字入力設定」を順にタップする**

2 **文字入力設定画面で［詳細設定］をタップし、詳細設定画面で「日付・時刻」タブをタップする**



日付・時刻画面

ひらがな入力：ひらがな入力モード時に入力する日付・時刻の表示形式を設定します。
半角カナ入力：半角カナ入力モード時に入力する日付・時刻の表示形式を設定します。
全角英字入力：全角英字入力モード時に入力する日付・時刻の表示形式を設定します。
半角英字入力：半角英字入力モード時に入力する日付・時刻の表示形式を設定します。

- 「日付・時刻」タブが画面上に表示されていない場合は、タブ表示エリアの[アイコン]／[アイコン]をタップして表示できます。→P44

3 **設定する入力モードの[アイコン]▶［変更］を順にタップする**



DATE：日付の表示形式を選択します。
TIME：時刻の表示形式を選択します。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

4 **設定する項目欄をタップし、表示形式を選択する**

5 **［設定］をタップし、日付・時刻画面で［閉じる］をタップする**

手書き設定

手書きの詳細を設定する

手書き入力の認識スピードやペンの太さ、ペンの色を設定できます。また、簡単なサインなどを入力するだけで、文字列を入力できる「マイシンボル」を設定することもできます。

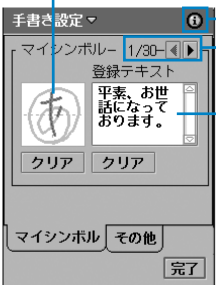
マイシンボルを登録する

手書き入力で簡単なサインやマークなどのような「シンボル」を入力するだけで、登録した文字列に変換させるように設定できます。マイシンボルは30件まで登録できます。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「文字入力設定」を順にタップする**

2 **文字入力設定画面で［詳細設定］をタップし、詳細設定画面で「手書き」タブ▶［手書き設定］を順にタップする**

シンボル欄



手書き設定画面

タップすると、マイシンボルの説明が表示されます。

登録番号が表示されます。◀／▶をタップして切り替えることができます。

登録テキスト欄

- 「手書き」タブが画面上に表示されていない場合は、タブ表示エリアの◀／▶をタップして表示できます。→P44

3 **シンボル欄にシンボルを書く**



ドラッグして枠内に登録するシンボルを描きます。

- シンボルが登録済みの場合は、シンボル欄下の［クリア］をタップすると、シンボルを削除して書き直すことができます。

次のページへ続く

4 登録テキスト欄をタップし、テキストを入力する



タップすると、その他の説明が表示されます。

- 全角／半角を問わず、256文字まで入力できます。
- テキストが登録済みの場合は、登録テキスト欄下の［クリア］をタップすると、テキストを削除します。

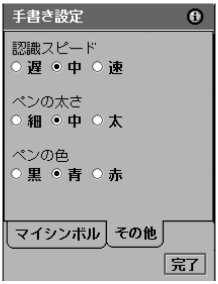
手書きの認識スピードや文字幅・色を設定する

お買い上げ時	認識スピード：◉ 中　ペンの太さ：◉ 中　ペンの色：◉ 青

手書き文字の認識スピードを設定できます。また、手書き文字の太さや色を設定できます。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「本体」タブ▶「文字入力設定」を順にタップする**

2 **文字入力設定画面で▶［詳細設定］をタップし、詳細設定画面で「手書き」タブ▶［手書き設定］を順にタップし、手書き設定画面で「その他」タブをタップする**



認識スピード：認識できるドラッグのスピードを「遅」「中」「速」から選択します。
- 認識スピードの設定を速くすると、すばやいドラッグ操作で書いた手書き文字を認識できるようになります。

ペンの太さ　：ペンの太さを「細」「中」「太」から選択します。
ペンの色　　：ペンの色を「黒」「青」「赤」から選択します。

- 「手書き」タブが画面上に表示されていない場合は、タブ表示エリアの ◁ ／ ▷ をタップして表示できます。→P44

3 **設定する項目欄の ◯ をタップする**

文字入力

海外利用

■国際ローミングについて

■滞在先での電話のかけかた／受けかた

■海外で利用するときの設定

国際ローミング(WORLD WING)の概要

国際ローミング(WORLD WING)とは、FOMAネットワークのサービスエリア外の海外でも、提携する通信事業者のネットワークを利用して通話や通信ができるサービスです。
国際ローミングサービスを利用することで、本FOMA端末を使って音声電話やテレビ電話※の通話、Eメールやショートメッセージサービス(SMS)の送受信、パソコンなどと接続してパケット通信などの通信サービスを利用できます。
また、留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスもご利用いただけます。

※:接続可能な国・地域および通信事業者などの情報については、ドコモのホームページをご覧ください。

- WORLD WINGはお申し込み手続きなしでご利用いただけます。ただし、2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で、WORLD WINGをご契約いただいていないお客様は、別途お申し込み手続きが必要となります。また、一部ご利用できない料金プランがあります。
- FOMAカード(緑色)を本FOMA端末に取り付けておく必要があります。
- FOMAカード(青色)をお持ちの場合は、FOMAカード(緑色)に交換する必要があります。
当社窓口でWORLD WINGをお申し込みいただきますと、無料で交換させていただきます。
- 利用できる通信サービスや機能は、接続している通信事業者によって異なります。→P561
- 海外のネットワークには、W-CDMAネットワークとGSM/GPRSネットワークの通信方式があります。

W-CDMAネットワーク	世界標準規格の3GPP(3rd Generation Partnership Project)※に準拠した第3世代移動通信方式です。 ※:第3世代移動体通信システム(IMT-2000)に関する共通技術使用開発のために設置された地域標準化団体です。
GSM(Global System for Mobile Communications)ネットワーク	世界的に最も普及しているデジタル方式の第2世代移動体通信方式です。
GPRS(General Packet Radio Service)ネットワーク	GSM通信方式を利用してGPRSによる高速パケット通信※を利用できるようにした第2.5世代移動体通信方式です。 ※:通信速度最大85.6kbpsのパケット通信が可能です。

- お買い上げ時は、海外でのネットワークの切り替えは自動で行われます。→P571

海外で利用できる通信サービスについて

利用できる通信サービス

海外で利用できる通信サービスは次のとおりです。

- 使用する通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

通信サービス	説　明
音声電話	日本国内で利用している電話番号のまま、滞在中の国内での発着信や、日本や別の国への国際電話発信が可能です。
テレビ電話	海外の特定3G携帯通信事業者のユーザや、日本国内のFOMA端末のユーザとテレビ電話が可能です。
ブラウザ	海外でもインターネット接続が可能です。
Eメール	日本国内で使用しているEメールアドレスのまま、海外でもEメールの送受信が可能です。
ショートメッセージサービス（SMS）	相手のFOMA端末の電話番号を宛先にして、海外からでもFOMA端末のユーザどうしでショートメッセージ（SMS）の送受信が可能です。→P301
パソコンなどと接続して行うデータ通信	パソコンなどと接続して、海外でもパケット通信や回線交換によるデータ通信の利用が可能です。

各通信方式と利用できる通信サービス

日本国内と海外のネットワークでは、利用できる通信サービスが異なります。
各通信方式と利用できる通信サービスは次のようになります。

	ネットワーク	音声電話をかける／受ける	テレビ電話をかける／受ける	ブラウザ	Eメール送受信	SMS送受信	パソコンなどと接続して行うデータ通信
国内	FOMA	○	○	○	○	○	○
海外	W-CDMA	○	○	○	○	○	○
	GSM	○	×※	○	○	○	①
	GPRS	○	×※	○	○	○	②

○　：利用できます（ご利用中の通信事業者や地域によっては、利用できない場合があります）。
×　：利用できません。
①　：パソコンと接続してGSM回線交換データ通信を行う場合、別途設定が必要になります。設定については、ドコモのホームページをご確認ください。
②　：パケット通信によるデータ通信でのみご利用になれます。
※：テレビ電話がかかってきても着信動作を行いません。テレビ電話をかけた場合は発信が中止され、接続に失敗した旨のメッセージが表示されます。[音声発信] をタップすると音声電話で電話をかけ直します。

- 利用する海外の通信事業者によってもご利用いただける通信サービスは異なります。国際ローミング中にご利用できる通信サービスについて、詳しくはWORLD WINGのホームページをご覧ください。

ご利用時の確認について

ご出発前、滞在先、帰国後のそれぞれの状況で、次の確認を行ってください。

ご出発前の確認

海外で本FOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ご契約について

WORLD WINGはお申し込み不要です。

- 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約で、WORLD WINGをご契約いただいていないお客様は、別途お申し込み手続きが必要となります。また、一部ご利用できない料金プランがあります。
- FOMAカード（緑色）を本FOMA端末に取り付けておいてください。→P51

■充電について

付属のACアダプタ M01を利用して、海外でもFOMA端末を充電できます。

- あらかじめ家電量販店や海外旅行用品取扱店などで、滞在先に適合した変換プラグアダプタをご用意ください。
- 海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- ACアダプタの取り扱いについてのご注意→P21
- 充電のしかた→P56

■ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、一部を除くネットワークサービスの設定／解除などの操作を、海外からも行うことができます。操作の対応状況は次のとおりです。

サービス名	対応状況
留守番電話サービス	設定が可能です。※
キャッチホン	設定が可能です。
転送でんわサービス	設定が可能です。※
迷惑電話ストップサービス	設定が可能です。※
デュアルネットワークサービス	設定できません。
番号通知お願いサービス	設定が可能です。※
英語ガイダンス	設定が可能です。※
発信者番号通知サービス	発信者番号が正しく通知できない／されない場合があります。※
ドライブモード	設定は可能ですが、海外では利用できないため設定を解除してください。
ローミング設定（ローミングガイダンス）	設定が可能です。※
ローミング設定（ローミング時着信規制）	設定が可能です。

※：一部のサービスエリアでは設定できない場合があります。

- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外の通信事業者によっては利用できないことがあります。また、日本国内でのみ操作が可能なネットワークサービスもあります。海外でネットワークサービスをご利用の際は、ご出発前に『国際ローミングご利用ガイド』や『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。
- 海外から留守番電話や転送でんわの操作を行う場合は、あらかじめ日本国内で遠隔操作の設定が必要になります。→P575

■その他の便利なアプリケーション／機能について

海外で本FOMA端末をご利用になる際、より便利に使用するためのアプリケーション／機能が用意されています。必要に応じてご活用ください。

アプリケーション／機能	説　明
時計	滞在先の国・都市の日時を設定すると、日本と滞在先の日時を同時に確認できます。→P401
辞書	英和辞書や和英辞書を利用して、知りたい単語を確認できます。→P401
ネットワークの切り替え	ネットワークの切り替え方法を設定したり、利用したいネットワークを手動で選択して設定したりできます。→P571
優先リスト追加	優先的に利用したいネットワークをあらかじめ設定できます。→P573
遠隔操作設定	海外から留守番電話サービスや転送でんわサービスを遠隔操作できるように設定できます。→P575
ローミング時着信規制	国際ローミング中は電話の着信やメールの受信をしないように設定できます。→P575
ローミングガイダンス	国際ローミング中の音声ガイダンスを流すように設定できます。→P576

■ショートメッセージサービス（SMS）について

国際ローミングを利用中でも、日本国内や海外でFOMA端末をご使用の相手や、海外通信事業者をご利用の相手との間でショートメッセージ（SMS）の送受信ができます。

- 宛先は、相手の電話番号の前に「＋」と相手の国番号を入力します。ただし、相手の電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いた電話番号を入力します。
- 海外の通信事業者を利用している相手にショートメッセージ（SMS）を送信したときに、本文中に相手側が対応していない文字が含まれる場合は、それらの文字が正しく表示されないことがあります。詳しくは、『国際ローミングご利用ガイド』や『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

■海外でご利用の際に読んでいただきたい冊子について

海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、次の冊子もあわせてご覧いただくと便利です。

冊子名	説　明
国際ローミングご利用ガイド	サービス内容や利用料金、注意事項など、国際ローミングサービスの詳細を説明しています。
ネットワークサービス操作ガイド	各ネットワークサービスのサービス内容や注意事項などを説明しています。

お知らせ

- 本書のP630には、操作の参照に便利なクイックマニュアル「海外利用」を記載していますので、海外でFOMA端末をご利用いただく際にご活用ください。
- 海外でのご利用料金は毎月のご利用料金と合わせてご請求させていただきます。ただし、渡航先通信事業者などの事情により、翌月以降の請求書にてお支払いいただく場合があります。また、同一課金対象期間のご利用であっても同一月に請求されない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

滞在先での確認

■ネットワークの切り替えについて

お買い上げ時は、海外で本FOMA端末の電源を入れると自動的にネットワークが検索され、滞在先の利用できるネットワークに設定されるようになっています。

- 設定されたネットワークのサービスエリア外に移動した場合は、自動的に他の利用できる通信事業者のネットワークを検索して設定し直されます。

■ディスプレイの見かたについて

音声電話やテレビ電話などの利用できる通信サービスを、ネットワークの状態を示すアイコンで確認できます。また、GSMネットワークに接続中は、電波の受信レベルが5段階で確認できます。

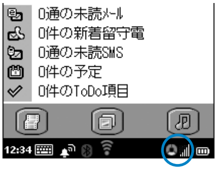


表　示	説　明
（オレンジ）	GSMネットワーク圏内でローミング中です。
（オレンジ）	GPRSネットワーク圏内でローミング中です。
（オレンジ）	W-CDMAネットワーク圏内でローミング中です。
（赤）	次の場合に表示されます。 ・ FOMAカードが取り付けられていない ・ 利用できないFOMAカードが取り付けられている ・ 利用可能なネットワークが見つからない
（グレー）	ネットワーク圏外です。

■お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、「海外での紛失、盗難、精算などについて」または「海外での故障に関して」までお問い合わせください。各お問い合わせ先については、取扱説明書裏面をご参照ください。

- 各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「ユニバーサルナンバー用国際識別番号（表1）」または「国際電話アクセス番号（表2）」が必要になります。→P565、P566

お知らせ

- FOMAネットワークのサービスエリア内の場合は、ネットワークを示すアイコンは緑色で表示されます。
- 利用するネットワークを手動で選択して設定できます。→P571
- をタップすると、ネットワークや電波の状態を文字で確認できます。また、利用中のネットワーク（通信事業者）も確認できます。
- 海外でFOMA端末のご利用についてお困りの際は、「故障かな？と思ったら、まずチェック（海外利用時の場合）」を参照してください。→P604

■ユニバーサルナンバー用国際識別番号（表１）

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号とは、海外から各種問い合わせを行う際に使用する番号です。問い合わせを行う場合は、各種問い合わせの番号の先頭に滞在国に対応する番号を入力して電話をかけます。

＜例：イギリスから故障に関してお問い合わせをするとき＞

00-800-5931-8600

主要国のユニバーサルナンバー用国際電話識別番号は次のとおりです。

ご利用地域		国際識別番号	ご利用地域		国際識別番号
あ	アイルランド	00	さ	スペイン	00
	アメリカ合衆国	011	た	タイ	001
	アルゼンチン	00		台湾	00
	イギリス	00		中国	00
	イスラエル	014		デンマーク	00
	イタリア	00		ドイツ	00
	オーストラリア	0011	な	ニュージーランド	00
	オーストリア	00		ノルウェー	00
	オランダ	00	は	フィリピン	00
か	カナダ	011		フランス	00
	韓国	001		ブラジル	0021
	コロンビア	009		ベルギー	00
さ	シンガポール	001		香港	001
	スイス	00	ま	マレーシア	00
	スウェーデン	00	ら	ルクセンブルグ	00

- 一部ご利用できない場合があります。
- ユニバーサルナンバーは、上記の表にある国からのみご利用になれます。
- ホテルの電話を利用して問い合わせを行う場合、ホテルから電話使用料を請求されることがあります。その場合はお客様の負担となりますので、あらかじめホテルにご確認されてからご利用ください。

次のページへ続く

■主要国の国際電話アクセス番号（表2）

国際電話アクセス番号とは、海外から各種問い合わせを行う際にユニバーサルナンバー用国際電話識別番号が利用できない場合、代わりに使用する番号です。問い合わせを行う場合は、各種問い合わせの番号の先頭に滞在国に対応する番号を入力して電話をかけます。

<例：イギリスから故障に関してお問い合わせをするとき>

00-81-3-6718-1414

主要国の国際電話アクセス番号は次のとおりです。

ご利用地域		国際識別番号	ご利用地域		国際識別番号
あ	アイルランド	00	た	デンマーク	00
	アメリカ合衆国	011		ドイツ	00
	アラブ首長国連邦	00		トルコ	00
	イギリス	00	な	ニュージーランド	00
	イタリア	00		ノルウェー	00
	インド	00	は	ハンガリー	00
	インドネシア	001		フィリピン	00
	オーストラリア	0011		フィンランド	00／990
	オランダ	00		ブラジル	0041／0021／0023
か	カナダ	011		フランス	00
	韓国	001		ベトナム	00
	ギリシャ	00		ベルギー	00
さ	シンガポール	001		ポーランド	00
	スイス	00		ポルトガル	00
	スウェーデン	00		香港	001
	スペイン	00	ま	マカオ	00
た	タイ	001		マレーシア	00
	台湾	002		モナコ	00
	チェコ	00	ら	ルクセンブルグ	00
	中国	00		ロシア	810

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にネットワークが検索され、FOMAネットワークに設定されます。
ネットワークを手動で切り替えている場合は、FOMAネットワークに設定し直してください。

- 利用するネットワークを手動で選択して設定できます。→P571

電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から音声電話やテレビ電話をかけることができます。

- 先頭に「+」を付けてから相手先の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、または他の国へ簡単に国際電話をかけられます。
- テレビ電話をかける相手とお客様が、FOMA のテレビ電話に対応した通信事業者を利用している場合は、国際電話のダイヤル方法の後に をタップすれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。
  - 接続可能な国および通信事業者などの情報についてはドコモのホームページをご覧ください。
  - 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA 端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。

1 アプリケーション選択バーの (電話)をタップする



[0] ～ [9]、[＊]、[#] をタップして電話番号を入力します。

- をタップすると、入力した電話番号を右から削除します。ポイントすると、すべての電話番号を削除します。

2 相手の電話番号を入力する

- 40桁まで発信できます。41桁以上入力した場合は、後半の40桁のみ発信されます。
- [0] をポイントすると、「+」を入力できます。
- ポーズ（「p」）やウェイト（「w」）、「#」、「＊」を入力できます。
  ポーズ（「p」）／ウェイト（「w」）の操作について→P78

■一般電話にかけるとき

＋国番号 - 0を除いた市外局番 - 市内局番 - 電話番号

- 相手がイタリアなど一部の国・地域の場合は「0」が必要な場合があります。

■日本の携帯電話にかけるとき

＋国番号 - 90 - ×××× - ××××
＋国番号 - 80 - ×××× - ××××

- 電話番号の先頭の「0」を除いて入力します。

■日本のPHSにかけるとき

＋国番号 - 70 - ×××× - ××××

- 電話番号の先頭の「0」を除いて入力します。

3 をタップ／ を押す

- をタップすると、テレビ電話をかけることができます。→P91

■プープーという話中音が聞こえたとき

相手が話し中です。 を押して、しばらくたってからおかけ直しください。

海外利用

次のページへ続く

4 通話する



通話時間が表示されます。

[ミュート]／[解除]
：タップすると消音になり、自分の声が相手に聞こえなくなります。再度タップすると消音が解除されます。

（ロック）／（ロック解除）
：タップすると、タッチスクリーンがロックされます。再度タップするとロックが解除されます。
ロック中は（ロック解除）以外のタップ操作はできません。

[保留]／[解除]
：キャッチホンを契約している場合、タップすると通話が保留され、相手側には保留音が流れます。再度タップすると保留が解除されます。
保留中は消音を設定／解除できません。
- ご利用中のネットワークによっては、キャッチホンが利用できない場合があります。その場合、本機能は利用できません。

[キーパッド]
：タップすると、電話番号入力画面が表示されます。［戻る］をタップすると通話中画面に戻ります。

- （スピーカーキー）を押すと、スピーカーホン機能がONになり、相手の声がスピーカーから聞こえます。再度押すとスピーカーホン機能がOFFになります。
- （音量キー）を押すと、受話音量を調節できます。
- 電話の接続中や通話中は、ステータスバーに（通話アイコン）が表示されます。

5 お話しが終わったら（終話キー）を押す

電話が切れます。

■主要国の国番号

国際電話をかける際などに入力する主要国の国番号は次のとおりです（2005年11月現在）。
→P80、P567

国　名		番　号	国　名		番　号
あ	アメリカ合衆国	1	か	カナダ	1
	イギリス	44		韓国	82
	イタリア	39		ギリシャ	30
	インド	91	さ	シンガポール	65
	インドネシア	62		スイス	41
	エジプト	20		スウェーデン	46
	オーストラリア	61		スペイン	34
	オーストリア	43	た	タイ	66
	オランダ	31		台湾	886

国名		番号	国名		番号
た	タヒチ	689	は	フィンランド	358
	チェコ	420		ブラジル	55
	中国	86		フランス	33
	ドイツ	49		ベトナム	84
	トルコ	90		ペルー	51
な	日本	81		ベルギー	32
	ニューカレドニア	687		香港	852
	ニュージーランド	64	ま	マカオ	853
	ノルウェー	47		マレーシア	60
は	ハンガリー	36		モルディヴ	960
	フィジー	679	ら	ロシア	7
	フィリピン	63			

- その他の国の国番号や詳細については、WORLD WINGのホームページをご覧ください。

滞在国内へ電話をかける

滞在国内へ電話をかける場合は、日本国内で電話をかけるように、相手の電話番号を入力して電話をかけます。

- 滞在国内へ電話をかける場合でも、相手も国際ローミング中の場合は、海外から電話をかける方法で電話をかけてください。

お知らせ

- 電話をかける相手の電話番号を「＋国番号」を付けて電話帳に登録しておくと、国際電話をかけるのに便利になります。ただし、市外局番が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を省略して登録してください(イタリアなど一部の国・地域の電話番号の場合は、「0」が必要な場合があります)。
- 電話番号入力画面は、待受中に を押しても表示できます。
- 音声電話の発信に失敗した場合は、画面の［ リトライ］をタップすると、再度同じ電話番号に電話をかけ直すことができます。
- 電話番号入力画面のデザインを変更できます。→P148
- 通話中の画面に通話時間を表示させないように設定できます。→P144
- 通話時間の経過を示す音声タイマーを鳴らすことができます。→P137
- 電話番号入力画面のキーをタップするごとにタップ音を鳴らしたり、FOMA端末を振動させたりできます。→P136
- 国際ローミング中に電話などを受けないように設定できます。→P575
- 国際ローミング中にかかってきた電話の相手に、海外へ電話を転送している旨の音声ガイダンスを流すように設定できます。→P576
- 発信者番号を正しく通知できない場合があります。
- 一部の海外の通信事業者では、通信事情により相手につながらない場合でも通話料が発生することがあります。
- 海外の通信事業者によっては、フリーダイヤルへ電話をかけた場合でも通話料が発生することがあります。
- 国際テレビ電話をご利用の際は、接続先端末によって表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。詳しくは、WORLD WINGのホームページをご覧ください。

電話を受ける

海外にいるときにFOMA端末にかかってきた電話を受けます。

1 電話がかかってくる

着信音が鳴ります。

2 [応答]をタップ／ を押す

電話を受けます。

- テレビ電話がかかってきた場合は、[応答] をタップ／ を押すと、カメラ画像をONにして電話を受けます。また、[プライバシー] をタップすると、カメラ画像をOFFにして電話を受けます。
- [拒否] をタップすると、着信を拒否し、発信側は切断されます。
- 通話中の操作は「電話をかける」の操作4と同じです。→P568

3 お話しが終わったら を押す

電話が切れます。

■日本から海外の本FOMA端末へ電話をかけてもらう場合

日本国内で通常と同じように、お客様の電話番号を入力して電話をかけてもらうだけで、海外で日本からかかってきた電話を受けることができます。

「090-XXXX- XXXX」を入力して電話をかける

または

「080-XXXX- XXXX」を入力して電話をかける

■日本以外の国から海外の本FOMA端末へ電話をかけてもらう場合

滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、日本への国際電話と同じように「発信国の国際電話アクセス番号」と「81」(日本の国番号)を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてもらいます。

「発信国の国際電話アクセス番号-81-90-XXXX-XXXX」を入力して電話をかける

または

「発信国の国際電話アクセス番号-81-80-XXXX-XXXX」を入力して電話をかける

お知らせ

- ステータスライトをONに設定中は、着信時にステータスライトが点灯します。→P145
- 着信音の代わりに、バイブレータでお知らせすることもできます。→P135
- 国により、着信の場合であっても通話料がかかります。その場合の着信料は、国際転送料と着信料の合算になります。
- 相手が発信者番号を通知してきて電話をかけてきた場合でも、海外の通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。
- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれかの国からの電話であっても日本から国際転送されます。発信者には日本までの通話料がかかり、着信者には国際転送料がかかります。

ネットワークを切り替える

お買い上げ時	通信方式：自動　検索頻度：普通

海外でFOMA端末を利用するには、滞在先のネットワークに切り替える必要があります。お買い上げ時は、自動的に滞在先の利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。

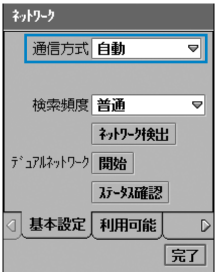
- ネットワークを手動で切り替えることができます。
- セルフモードを設定中は、ネットワークの切り替えはできません。

ネットワークを手動で設定する

利用できるネットワークを手動で選択して設定できます。

- ネットワークを切り替えるときは、FOMA端末を使用する海外で行ってください。

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「ネットワーク」を順にタップする



通信方式

900／1800MHz
：GSM/GPRS方式の、周波数帯域が900／1800 MHzのネットワークを設定します。

1900MHz
：GSM/GPRS 方式の、周波数帯域が 1900MHz のネットワークを設定します。

WCDMA：FOMAネットワークなど、W-CDMA方式のネットワークを設定します。

自動　：利用できるネットワークを自動的に検出して設定します。

2 「通信方式」欄をタップし、利用する通信方式を選択する

選択した通信方式に対応したネットワークの検索が開始されます。

- 前回に利用したネットワークが利用できる場合は、そのネットワークが自動的に設定されます。

3 「利用可能」タブをタップする



利用できる通信事業者の名前とネットワークコードが表示されます。

4 利用するネットワーク▶[登録]を順にタップする

海外利用

次のページへ続く

お知らせ

- 「検索頻度」欄をタップすると、ネットワークを検索する頻度を「低速」「普通」「高速」「連続」から選択して設定できます。
- ステータスバーのネットワーク状態を示すアイコン（ など）をタップすると、現在利用中のネットワーク（通信事業者）を確認できます。
- 「通信方式」を「自動」に設定中は、自動的にネットワークの検出と設定が行われるため、電池パックの使用時間が短くなります。電池パックの消費を抑える場合は、ネットワークを手動で設定することをおすすめします。
- 「通信方式」を「自動」に設定中は、自動的にネットワークの検索と設定が行われますが、利用する地域の電波やネットワークの状況によっては、ネットワークが切り替わりにくい場合があります。ネットワークの検索はW-CDMAを優先して行うため、あらかじめご利用になる地域のネットワークがW-CDMAに対応していないことがわかっている場合は、「通信方式」を「900／1800MHz」または「1900MHz」に設定することをおすすめします。

利用中のネットワークを切り替える

利用中のネットワークを別の利用可能なネットワークに切り替えることができます。

1 **アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「ネットワーク」を順にタップし、ネットワーク画面で「利用可能」タブをタップする**



2 **利用するネットワーク▶[登録]を順にタップする**

お知らせ

- 利用可能なネットワークが検索されない場合は、メッセージの表示エリアをタップすると、再度ネットワークの検索が開始されます。
- ネットワークの状況などによって、選択したネットワークへの切り替えができない場合があります。その場合は、接続できない旨のメッセージは表示されずに、表示されている他のネットワークを自動的に検索して切り替えます。ただし、利用できるネットワークが切り替え前のネットワークのみの場合は、切り替え前のネットワークに登録し直されることがあります。
- 「通信方式」を「自動」に設定中は、自動的にネットワークの検索と設定が行われますが、FOMA 端末の使用状況によっては、ネットワークを自動で検索できない場合があります。その場合には電源を入れ直して検索を行う必要がありますのでご注意ください。

接続先のネットワークを再検索する

自動でネットワークが適切に検索できない場合や、手動でネットワークを切り替える場合に、ネットワークを再検索して切り替えることができます。

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「ネットワーク」を順にタップする

2 ネットワーク画面で［ネットワーク検出］をタップする

「通信方式」の設定に従ってネットワークが検索されます。

- 「通信方式」が「自動」に設定されている場合は、検索されたネットワークが自動的に設定されます。
- 「通信方式」が「自動」以外に設定されている場合は、ネットワークの選択画面が表示されます。ネットワークをタップすると設定されます。前回に利用したネットワークが利用できる場合は、そのネットワークが自動的に設定されます。

優先リスト追加

優先的に利用する通信事業者を設定する

利用したいネットワークを優先リストに登録して優先順位を指定すると、検索されたネットワークが自動的に設定されるとき、指定した優先順位に従ってネットワークが設定されます。

- 優先リストは20件まで登録できます。

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「ネットワーク」を順にタップする

2 優先リストにネットワークを登録する

■現在利用可能なネットワークから登録するとき

①「利用可能」タブをタップする

②登録するネットワーク▶［優先リストに追加］を順にタップする

■既知のネットワークから登録するとき

①「既知」タブをタップする

- 「既知」タブが画面上に表示されていない場合は、タブ表示エリアの ◀ ／ ▶ をタップして表示できます。→P44

②登録するネットワーク▶［優先リストに追加］を順にタップする

■新規にネットワークを登録するとき

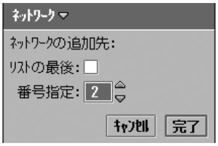
①「優先」タブ▶［新規］を順にタップする



- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。
- 「優先」タブが画面上に表示されていない場合は、タブ表示エリアの ◀ ／ ▶ をタップして表示できます。→P44

次のページへ続く

②ネットワークコードを入力▶［完了］をタップする



リストの最後：追加先を優先リストの最後にします。

番号指定　：追加先の何番目に追加するか設定します。ただし、1番目は「JP DoCoMo」に固定されています。

- ネットワークコード→P571
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

③「リストの最後」の□をタップ／「番号指定」欄の▲／▼をタップして位置を指定する

④［完了］をタップする

■優先リストを削除するとき

「優先」タブ▶削除するネットワーク▶［削除］を順にタップする

3 優先リスト画面で優先順位を変更するネットワーク▶[上へ]／[下へ]を順にタップする

お知らせ

- 優先リスト画面の一番目に表示される「JP DoCoMo」の優先順位は変更できません。
- 利用できるネットワークがない場合は、ネットワークを優先リストへ追加できません。
- 既に20件のネットワークが優先リストに登録されている場合は、優先リストへの登録ができません。新たに追加する場合は、不要なネットワークを削除してください。
- ネットワークコードを入力中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

ローミング中の動作について設定する

海外で国際ローミングを利用中に電話がかかってきたときの動作を設定します。

- ネットワークサービスについての詳細は、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

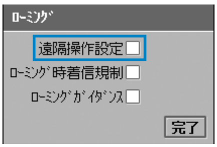
遠隔操作設定
ローミング中にネットワークサービスを遠隔操作できるようにする

お買い上げ時	遠隔操作設定：□

海外からの留守番電話・転送でんわサービスのご利用は「遠隔操作」の扱いとなりますので、ご利用には「遠隔操作設定」の設定が必要です。

- ご出発前に、日本国内で設定を行ってください。
- 留守番電話サービス、転送でんわサービスをご契約いただいているときのみ利用できます。
- 遠隔操作の詳細については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。
- 遠隔操作を行う際は、あらかじめ留守番電話サービス、または転送でんわサービスを開始に設定してください。

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「ローミング」を順にタップする



ローミング画面

遠隔操作設定：遠隔操作設定を有効にするかしないかを設定します。
☑が有効、□が無効の状態です。

2 「遠隔操作設定」の□をタップし、開始の確認画面で［はい］をタップする

- 開始の確認画面で［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

ローミング時着信規制
ローミング中の着信を受けないようにする

お買い上げ時	ローミング時着信規制：□

国際ローミング中に、音声電話やテレビ電話の着信、Eメールやショートメッセージ（SMS）の受信を行わないように設定できます。

- 本機能を設定すると、mopera Uなどのメール通知機能を利用して、自動的にメールサーバに接続してEメールを受信する機能（→P260）も利用できなくなります。

1 ローミング画面で「ローミング時着信規制」の□をタップし、ネットワークパスワード入力画面でネットワーク暗証番号を入力する

ローミング時着信規制：ローミング時着信規制を有効にするかしないかを設定します。
☑が有効、□が無効の状態です。

- ローミング画面の表示方法→P575
- ネットワークパスワード入力画面で［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

次のページへ続く●●●

お知らせ

- サービスエリア外や電波の届いていない場所では操作できません。

ローミングガイダンス

ローミング中の音声ガイダンスを設定する

お買い上げ時　ローミングガイダンス：□

国際ローミング中にかかってきた電話の相手に、国際ローミング中の音声ガイダンスを流すように設定できます。

- 音声ガイダンスを設定していない場合は、電話をかけてきた相手には電話の呼び出し音が流れます。
- 音声ガイダンスを設定していない場合でも、海外の通信事業者の状況により、外国語の音声ガイダンスが流れることがあります。また、電話の呼び出し音が日本国内と異なることがあります。
- メロディーコールをご利用の場合でも、国際ローミング中は呼び出し音または本機能の設定に基づいた音声ガイダンスが流れます。

1 ローミング画面で「ローミングガイダンス」の□をタップし、開始の確認画面で[はい]をタップする

ローミングガイダンス：ローミングガイダンスを有効にするかしないかを設定します。☑が有効、□が無効の状態です。

- 電話をかけてきた相手には「この電話は海外にローミング中です。おつなぎしていますので、そのままお待ちください」という音声ガイダンスが流れます。
- ローミング画面の表示方法→P575
- 開始の確認画面で［いいえ］をタップすると、操作を中止します。

お知らせ

- サービスエリア外や電波の届いていない場所では操作できません。

付録

■困ったときには

メニュー一覧

アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）をタップすると表示されます。

アプリケーション			フォルダ※1	概要	参照先
	ブラウザ		オフィス	インターネットに接続し、ホームページを閲覧します。	P210、211
	電卓		オフィス	電卓を利用します。	P393
	スケジュール		オフィス	スケジュールを登録します。	P362
	カメラ		メディア	静止画／動画を撮影します。	P189、190
	電話帳		オフィス	電話帳の登録や、電話帳の検索をします。	P103
	コントロールパネル		ツール	FOMA端末の詳細設定などを行う機能が3つのタブにグループ分けして表示されます。	—
	本体タブ※2				
		証明書管理	—	ユーザ証明書／認証機関証明書が表示されます。	P238
		設定リセット／初期化	—	設定リセット／初期化を実行します。	P405
		端末情報	—	FOMA端末本体のハードウェア／ソフトウェア情報が表示されます。	P393
		電源管理	—	省電力モードやステータスライトの動作について設定します。	P145
		文字入力設定	—	テキスト入力の詳細を設定します。	P517、523、544、548、550、553
		明るさ／タッチパネル設定	—	画面の明るさやタッチスクリーンのタップ位置を調節します。	P143
		オート着信	—	ハンズフリー対応機器などを接続中に、着信を自動で受けるように設定します。	P81
		サウンド	—	着信音量などの音について設定します。	P133
		パスワード設定	—	認証パスワードや端末パスワードなどについて設定します。	P153、159
		ホームキーショートカット	—	ホームキーで起動するアプリケーションを設定します。	P387
		マナーモード	—	マナーモードの動作を設定します。	P138
		メモリカード	—	TransFlashメモリカードのフォーマットや名前の変更をします。	P340
		メモリマネージャ	—	メモリの使用状況の確認や、ファイルのコピー／削除を行います。	P344、346、349

アプリケーション		フォルダ※1	概要	参照先
接続タブ※2				
	無線 LAN アクセスポイント検索	—	無線LANのアクセスポイントを検索します。	P432
	ネットワーク設定	—	インターネット接続に必要な設定をします。	P202、208、423
	バイトカウンタ	—	データ転送量が表示されます。	P390
	メールアカウント	—	メールアカウントの設定をします。	P252、305
	Bluetooth	—	Bluetoothの詳細を設定します。	P506、507、508
	Desktop Suite	—	デスクトップスイートの接続方法を設定します。	P592
一般タブ※2				
	国と地域	—	現在の国や、通貨単位などを設定します。	P400
	着信音選択	—	着信音のインストールや、バイブレータの設定をします。	P131、135
	日時設定	—	日付・時刻や表示形式を設定します。	P64
	Language Selection	—	画面に表示する言語を変更します。	P150
	MIDlet許可	—	アプリケーション(Java)からの動作の許可要求時の設定を行います。	P412
Desktop Suite		ツール	パソコンにインストールしたデスクトップスイートとFOMA端末を接続します。	P593
ホーム		オフィス	ホーム画面が表示されます。	P139
メール		オフィス	メールの送受信をします。	P261
ミュージック		メディア	音楽を再生します。	P319
メモ帳		オフィス	テキストや手書きメモを登録します。	P394
電話		オフィス	電話番号入力画面が表示されます。	P70
ドキュメントビューア		オフィス	さまざまなファイルを表示できます。	P324
ピクチャー		メディア	撮影した静止画など画像を管理します。	P308
SyncML		ツール	SyncMLサーバとデータを同期します。	P599
時計		ツール	時刻の表示やアラームを設定します。	P359、401
ToDo		オフィス	用件を登録します。	P378
ビデオ		メディア	撮影した動画などを管理します。	P314
ボイスレコーダー		メディア	ボイスレコーダーで音声を録音します。	P352
辞書		マイフォルダ	辞書を利用できます。	P401
セキュリティスキャン Light		マイフォルダ	障害を引き起こす可能性を含むデータやアプリケーションを削除します。	P414
movianVPN		マイフォルダ	VPNを利用してイントラネットなどに接続します。	P439

※1：アプリケーションランチャーの各アプリケーションがお買い上げ時に登録されているフォルダ名です。登録されているフォルダは変更できます。→P46

※2：コントロールパネルの各機能がお買い上げ時にグループ分けされているタブです。登録されているグループは変更できます。→P388

記号・特殊文字一覧

- 記号・特殊文字の入力のしかた→P530

<table>
<tr><td>全角</td><td>、 。 ， ． ・ ： ； ？ ！ ゛ ゜ ´ ｀ ¨ ＾ ￣ ＿ ヽ ヾ ゝ ゞ 〃 仝 々 〆
〇 ー ― ‐ ／ ＼ ～ ‖ ｜ … ‥ ‘ ’ “ ” （ ） 〔 〕 ［ ］ ｛ ｝ 〈 〉
《 》 「 」 『 』 【 】 ＋ － ± × ÷ ＝ ≠ ＜ ＞ ≦ ≧ ∞ ∴ ♂ ♀ ° ′
″ ℃ ￥ ＄ ￠ ￡ ％ ＃ ＆ ＊ ＠ § ☆ ★ ○ ● ◎ ◇ ◆ □ ■ △ ▲ ▽ ▼
※ 〒 → ← ↑ ↓ 〓 ∈ ∋ ⊆ ⊇ ⊂ ⊃ ∪ ∩ ∧ ∨ ￢ ⇒ ⇔ ∀ ∃ ∠ ⊥ ⌒
∂ ∇ ≡ ≒ ≪ ≫ √ ∽ ∝ ∵ ∫ ∬ Å ‰ ♯ ♭ ♪ † ‡ ¶ ◯</td></tr>
<tr><td>半角</td><td>! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [ ] ¥
^ _ ` { } | ~</td></tr>
<tr><td>特殊</td><td>Α Β Γ Δ Ε Ζ Η Θ Ι Κ Λ Μ Ν Ξ Ο Π Ρ Σ Τ Υ Φ Χ Ψ Ω α
β γ δ ε ζ η θ ι κ λ μ ν ξ ο π ρ σ τ υ φ χ ψ ω А Б
В Г Д Е Ё Ж З И Й К Л М Н О П Р С Т У Ф Х Ц Ч Ш Щ
Ъ Ы Ь Э Ю Я а б в г д е ё ж з и й к л м н о п р с
т у ф х ц ч ш щ ъ ы ь э ю я ─ │ ┌ ┐ ┘ └ ├ ┬ ┤ ┴ ┼
━ ┃ ┏ ┓ ┛ ┗ ┣ ┳ ┫ ┻ ╋ ┠ ┯ ┨ ┷ ┿ ┝ ┰ ┥ ┸ ╂ ① ② ③ ④
⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ
Ⅹ ㍉ ㌔ ㌢ ㍍ ㌘ ㌧ ㌃ ㌶ ㍑ ㍗ ㌍ ㌦ ㌣ ㌫ ㍊ ㌻ ㎜ ㎝ ㎞ ㎎ ㎏ ㏄ ㎡ ㍻
〝 〟 № ㏍ ℡ ㊤ ㊥ ㊦ ㊧ ㊨ ㈱ ㈲ ㈹ ㍾ ㍽ ㍼ ≒ ≡ ∫ ∮ ∑ √ ⊥ ∠ ∟
⊿ ∵ ∩ ∪</td></tr>
</table>

定型文一覧

- 定型文の入力のしかた→P529

カテゴリ	定型文	
あいさつ	おはようございます	こんにちは
	こんばんは	おやすみなさい
	ありがとうございます	すみません
	よろしくお願いします	お疲れ様です
	ご無沙汰しております	おめでとう
返事	OK	NG
	賛成	反対
	了解です	問題ありません
	今やっています	すぐ行きます
	もう少し待ってください	いつでも大丈夫です
ビジネス	電話ください。	至急、返事をください。
	遅れます。	これから帰社します。
	会議中です。	出張中です。
	直行します。	直帰します。
	お世話になっております。	後程ご連絡致します。

カテゴリ	定型文		
プライベート	TELして	遊びに行こうよ	
	飲みに行かない？	今日、ヒマ？	
	今どこ？	今何してるの？	
	もうすぐ着くよ	じゃあ、後で！	
	今日はダメです	いいよ！	
英文	Thank you.	Call me back!	
	I'm late.	Where are you now?	
	I'll be back soon.	Let's meet at	
	It sounds great!	Congratulations!	
	Good luck!	I love you.	
インターネット	@docomo.ne.jp	.co.jp	.ne.jp
	.or.jp	.ac.jp	.com
	http://	https://	ftp://
	www.	.org	.net
	.jp	.html	

ローマ字入力一覧

入力方式を「Qwertyキーボード」、入力モードを「ひらがな／漢字」にしている場合、ひらがな／漢字の入力はローマ字入力で行います。→P540

行	入力する文字					タップするキー				
あ行	あ	い	う	え	お	a	i yi	u wu	e	o
	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	la xa	li xi lyi xyi	lu xu	le xe lye xye	lo xo
	うぁ	うぃ		うぇ	うぉ	wha	whi wi		whe we	who
				いぇ					ye	
か行	か	き	く	け	こ	ka ca	ki	ku cu qu	ke	ko co
	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ga	gi	gu	ge	go
	きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ	kya	kyi	kyu	kye	kyo
	ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ	gya	gyi	gyu	gye	gyo
	くぁ	くぃ	くぅ	くぇ	くぉ	qwa qa kwa	qwi qi qyi	qwu	qwe qe qye	qwo qo
	くゃ		くゅ		くょ	qya		qyu		qyo
	ぐぁ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ	gwa	gwi	gwu	gwe	gwo

行	入力する文字					タップするキー				
さ行	さ	し	す	せ	そ	sa	si ci shi	su	se ce	so
	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	za	zi ji	zu	ze	zo
	しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ	sya sha	syi	syu shu	sye she	syo sho
	じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ	zya ja jya	zyi jyi	zyu ju jyu	zye je jye	zyo jo jyo
	すぁ	すぃ	すぅ	すぇ	すぉ	swa	swi	swu	swe	swo
た行	た	ち	つ	て	と	ta	ti chi	tu tsu	te	to
	ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ	tya cha cya	tyi cyi	tyu chu cyu	tye che cye	tyo cho cyo
	つぁ	つぃ		つぇ	つぉ	tsa	tsi		tse	tso
	てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ	tha	thi	thu	the	tho
	とぁ	とぃ	とぅ	とぇ	とぉ	twa	twi	twu	twe	two
	だ	ぢ	づ	で	ど	da	di	du	de	do
	ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ	dya	dyi	dyu	dye	dyo
	でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ	dha	dhi	dhu	dhe	dho
	どぁ	どぃ	どぅ	どぇ	どぉ	dwa	dwi	dwu	dwe	dwo
			っ					ltu xtu		
な行	な	に	ぬ	ね	の	na	ni	nu	ne	no
	にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ	nya	nyi	nyu	nye	nyo
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ	ha	hi	hu fu	he	ho
	ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ	hya	hyi	hyu	hye	hyo
	ふぁ	ふぃ	ふぅ	ふぇ	ふぉ	fwa fa	fwi fi fyi	fwu	fwe fe fye	fwo fo
	ふゃ		ふゅ		ふょ	fya		fyu		fyo
	ば	び	ぶ	べ	ぼ	ba	bi	bu	be	bo
	びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ	bya	byi	byu	bye	byo
	ヴぁ	ヴぃ	ヴ	ヴぇ	ヴぉ	va	vi	vu	ve	vo
	ヴゃ	ヴぃ	ヴゅ	ヴぇ	ヴょ	vya	vyi	vyu	vye	vyo
	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	pa	pi	pu	pe	po
	ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ	pya	pyi	pyu	pye	pyo
ま行	ま	み	む	め	も	ma	mi	mu	me	mo
	みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ	mya	myi	myu	mye	myo

行	入力する文字					タップするキー				
や行	や		ゆ		よ	ya		yu		yo
	ゃ		ゅ		ょ	lya xya		lyu xyu		lyo xyo
ら行	ら	り	る	れ	ろ	ra	ri	ru	re	ro
	りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ	rya	ryi	ryu	rye	ryo
わ行	わ		を		ん	wa		wo		n nn n↑' xn
	ゎ					lwa xwa				

マルチアクセスの組み合わせについて

マルチアクセスでできる動作は次のとおりです。

		FOMA端末で利用する動作				
		音声電話の発着信	テレビ電話の発着信	ブラウザを利用したインターネット接続	Eメールの送受信	ショートメッセージ（SMS）の送受信
現在の状態	音声電話の通話中	○※1	×	○※2	○※2	○
	テレビ電話の通話中	×	×	×	×	○
	無線LANを利用中	○	○	○※3	○※3	○
	FOMA端末でパケット通信を利用中	○	×	○※3	○※3	○
	FOMA端末で64Kデータ通信を利用中	×	×	○※3	○※3	○
	パソコンなどと接続してパケット通信を利用中	○	×	○※4	○※4	○
	パソコンなどと接続して64Kデータ通信を利用中	×	×	○※4	○※4	○

○ ：利用できます。
× ：利用できません。
※1：キャッチホンをご契約いただき、開始に設定している場合に可能です。
※2：64Kデータ通信での接続や送受信は利用できません。
※3：接続中以外の回線を利用した接続や送受信はできません。
※4：パケット通信および64Kデータ通信での接続や送受信は利用できません。

FOMA端末から利用できるサービス

ご利用になれるサービス		電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）		（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません）		（局番なし）104
電報の発信（有料）	午前8時〜午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）		（局番なし）117
天気予報（有料）		知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報		（局番なし）110
消防・救急への緊急通報		（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報		（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）		（局番なし）171

お知らせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、通話を受けた方に通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2005年11月現在）。
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内しております。詳しくは、一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2005年11月現在）。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は発信場所が特定できません。警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと、電話番号と明確な現在位置を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように立ち止まって通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の「転送でんわ」、「ボイスワープ」をご利用のお客様で転送先を携帯・自動車電話（携帯電話）に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼び出し音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスは利用できませんのでご注意ください（一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話は利用できます）。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、当社営業窓口などへお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA ACアダプタ 01※1
- FOMA DCアダプタ 01
- 電池パック M01
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- ステレオイヤホンセット P001※3
- Bluetoothヘッドセット F01※4
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01
- 卓上ホルダ M01
- リアカバー M01
- スタイラスペン M01
- FOMA USB接続ケーブル※2
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- スイッチ付イヤホンマイク P001／P002※3
- 車載ハンズフリーキット 01※5

※1：本体付属品のACアダプタ M01（→P28）とは異なります。ACアダプタ M01はオプション品としてお取り扱いしておりませんので、ACアダプタ M01以外をご使用になる際は、本オプション品をご利用ください。
※2：本体付属品のUSB接続ケーブル（試供品）（→P28）とは異なります。USB接続ケーブル（試供品）はオプション品としてお取り扱いしておりませんので、USB接続ケーブル（試供品）以外をご使用になる際は、本オプション品をご利用ください。
※3：イヤホンジャック変換アダプタ P001が必要です。
※4：Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01が必要です。
※5：Bluetoothでの接続のみ、ご使用になれます。

CD-ROMの内容について

本FOMA端末には、2枚のFOMA M1000用CD-ROMが添付されています。各CD-ROMの内容は次のとおりです。

- 「カスタマイズ」や「サンプルファイル」、「アプリケーション」に収録されているファイル／データをFOMA端末にインストールする際は、あらかじめデスクトップスイートを使ってFOMA端末とパソコンを接続し、本書の説明やCD-ROMの指示に従って操作してください。
- CD-ROM1に収録されているソフトウェアやファイルは、次のURLからダウンロードできます。
  http://motorola.jp/hellomoto/M1000/flash/manual.htm

■CD-ROM1

内　容			説　明
M1000ユーティリティソフト			
	PC ソフトウェア	Motorola Desktop Suite	パソコンにインストールするデスクトップスイートが保存されています。インストールすることで、FOMA端末とパソコンを接続してデータの転送などができます。 ・ インストール方法について→P589 ・ 操作について→P593
	カスタマイズ	壁紙	FOMA端末のホーム画面の壁紙や、アプリケーションランチャーの背景に設定できる静止画が10枚表示されます。FOMA端末にインストールして利用できます。 ・ インストール方法について→P596 ・ 設定について→P141、146
		着信音	着信音が15曲表示され、再生することができます。FOMA端末にインストールして利用できます。 ・ インストール方法について→P596 ・ 設定について→P131
		電話用スキン	電話番号入力画面の背景に設定できるスキンデータが3枚表示されます。FOMA端末にインストールして利用できます。 ・ インストール方法について→P596 ・ 設定について→P148
		電話帳用アイコン	電話帳データに設定できる静止画が10枚表示されます。FOMA端末にインストールして利用できます。 ・ インストール方法について→P597 ・ 設定について→P107
	サンプルファイル	音楽	音楽ファイル（MP3）が5曲保存されています。FOMA端末にインストールして利用できます。 ・ インストール方法について→P597 ・ 再生について→P319
		動画	動画ファイル（MP4）が2つ保存されています。FOMA端末にインストールして利用できます。 ・ インストール方法について→P597 ・ 再生について→P314
	アプリケーション	電子辞書用辞書データ	電子辞書データが保存されています。TransFlashメモリカードにインストールして利用できます。 ・ インストール方法について→P598 ・ 操作について→P401、532

内　容	説　明
DesktopSuiteManual_J（PDF）	デスクトップスイートの取扱説明書（日本語版）が収録されています。
DesktopSuiteManual_E（PDF）	デスクトップスイートの取扱説明書（英語版）が収録されています。

■CD-ROM2

内　容	説　明
FOMA PC設定ソフト	ガイドに従い操作をすることで、誰でも簡単に「ダイヤルアップの作成」や「パソコン内の設定をFOMA向けに最適化」などが行えます。 ・ インストール方法について→P463 ・ 設定について→P465

お知らせ

- CD-ROM1には、FOMA端末とパソコンをUSB接続ケーブル（同梱品）で接続して、パケット通信、64Kデータ通信やデータ転送を行うときに必要なM1000通信設定ファイル（ドライバ）も収録されています。→P458
- インストールしたファイルやデータのアンインストール方法については、P598～P599の「インストールしたファイルやデータをアンインストールするとき」をご参照ください。

デスクトップスイート／SyncMLのご紹介

FOMA端末には、データを同期させるための2種類のソフトウェアがあります。

■デスクトップスイート

電話帳やスケジュール／ToDoリスト、Eメールなどのデータを、FOMA端末とUSB接続ケーブルまたはBluetooth経由で接続したパソコンとの間で転送･同期できます。また、データの転送・同期以外に、FOMA端末へのアプリケーションやファイルのインストール・転送ができます。

■SyncML

「SyncML」とは、SyncML対応のサーバを経由して、さまざまなネットワークやプラットフォーム間でデータを同期（シンクロ）するための標準プロトコルです。携帯電話などの携帯端末からインターネットや無線LAN経由でSyncML対応のサーバと接続することで、携帯端末と企業内サーバなどの間で、スケジュールや電話帳などのデータの同期（シンクロ）をとることができます。

例えば、本FOMA端末でSyncMLを利用すると、外出中に公衆無線LANサービスを利用してSyncMLサーバと接続し、会社のパソコンと電話帳データやスケジュール、ToDoリスト、Eメールなどのデータを同期（シンクロ）させることなどができるようになります。

- 本FOMA端末はSyncMLのバージョン1.0をサポートしています。
- SyncMLのサービスに関する詳細については、ご利用になるサービスを管理・運営する会社や管理者にお問い合わせください。

お知らせ

- デスクトップスイートを利用してのデータ転送や同期の方法、機能の詳細などについては、添付のFOMA M1000用CD-ROM1内にあるデスクトップスイート取扱説明書（PDF)、またはパソコンのデスクトップスイートのヘルプをご覧ください。→P588、P595　デスクトップスイート取扱説明書（PDF）を表示するには、P588の「デスクトップスイート取扱説明書（PDF）の開きかた」を参照してください。

次のページへ続く

- デスクトップスイート取扱説明書（PDF形式、「DesktopSuiteManual.pdf」）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページを参照してください。

■デスクトップスイート取扱説明書（PDF）の開きかた

①「スタート」➧「ファイル名を指定して実行」を順にクリックする

②「名前」欄に「〈CD-ROMドライブ名〉：¥（DesktopSuiteManual_Jまたは DesktopSuiteManual_E)」と入力し、［OK］をクリックする

動作環境の確認

パソコンのデスクトップスイートは、次の動作環境でご利用ください。

項　目	必要環境
OS	Windows XP、Windows 2000、Windows Me、Windows 98SEの各日本語に対応
CPU	PentiumⅡプロセッサ300MHz以上の性能を持つプロセッサを推奨
必要メモリ※	128MB 以上
ハードディスクの空き容量※	30MB 以上
ディスプレイ	High Color (16bit)以上推奨
インターフェース	USBポートまたはBluetooth（要シリアルポートプロファイル）

※：システム環境によっては、必要メモリやハードディスクの空き容量が異なる場合があります。

お知らせ

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用によるお問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- SyncMLサーバについては、SyncMLサーバを管理するネットワーク管理者にお問い合わせください。
- お使いのパソコンに搭載の、または外付けのBluetoothデバイスによっては、デスクトップスイートとの接続に利用できない場合があります。
- お使いのUSBハブによっては、デスクトップスイートとの接続に利用できない場合があります。
- Windows 98SE でご使用になる場合は、必ずパソコンの電源が入った状態で USB 接続ケーブル（同梱品）をパソコンのUSB端子に接続してください。

ご使用にあたって

＜免責事項＞

ダウンロード方法、転送可能データ、動作環境、操作方法、制限事項などの詳細については、添付のFOMA M1000用CD-ROM1内にあるデスクトップスイート取扱説明書（PDF）、またはデスクトップスイートやSyncMLのヘルプをご覧ください。

デスクトップスイート、SyncMLに関するお問い合わせ
モトローラ株式会社 カスタマーホットライン**0120-227-217**
※ 携帯電話、PHSからもご利用になれます。
受付時間：平日9:00～18:00（土日祝日除く）

＜ダウンロードURL＞

デスクトップスイートは、次のURLからダウンロードできます。
http://motorola.jp/hellomoto/M1000/flash/manual.htm

デスクトップスイートを利用する

デスクトップスイートをパソコンにインストールする

デスクトップスイートをパソコンにインストールします。

- Windows XP、Windows 2000でデスクトップスイートのインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーアカウントで行ってください。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。

<例：Windows XPでインストールするとき>

1 添付のFOMA M1000用CD-ROM1をパソコンにセットする

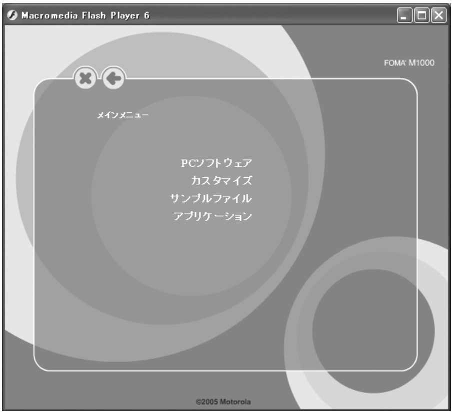
2 「Start.exe」をダブルクリックする

■Start.exeが表示されないとき

①「スタート」▶「ファイル名を指定して実行」を順にクリックする

②「名前」欄に「〈CD-ROMドライブ名〉:¥Start.exe」と入力し、[OK]をクリックする

3 M1000ユーティリティソフトの言語選択画面で利用する言語をクリック▶ソフトウェア使用許諾条件画面で内容を確認▶[同意する]をクリックする



4 「PC ソフトウェア」▶「Motorola Desktop Suite」を順にクリックする



次のページへ続く

5 [次へ]をクリックし、使用許諾契約画面で内容を確認▶「使用許諾契約の全条項に同意します」▶[次へ]を順にクリックする



6 [インストール]をクリックする

インストールが開始されます。

- デスクトップにはショートカットが作成されます。

7 完了画面で[完了]をクリックし、再起動の確認画面で「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」▶[完了]を順にクリックする

パソコンが再起動されます。

■デスクトップのショートカットについて

デスクトップスイートがパソコンにインストールされると、デスクトップには次のショートカットが作成されます。

ショートカット名	説　明
Motorola Desktop Suite	パソコンのデスクトップスイートを起動します。
FOMA端末の本体メモリーへのショートカット	FOMA端末本体に保存されているデータ／ファイルやアプリケーションの状態を確認できます。ドラッグ＆ドロップでパソコンとFOMA端末間で簡単にデータ／ファイルのコピーができます。また、FOMA端末に保存されているデータ／ファイルを削除できます。
FOMA端末の外部メモリーへのショートカット	TransFlashメモリカードに保存されているデータ／ファイルやアプリケーションの状態を確認できます。ドラッグ＆ドロップでパソコンとTransFlashメモリカード間で簡単にデータ／ファイルのコピーができます。また、TransFlashメモリカードに保存されているデータ／ファイルを削除できます。

- FOMA端末へのデータ／ファイルのコピーを行う場合、またはFOMA端末のデータ／ファイルを削除する場合は、「c:¥documents¥media files」内のフォルダを指定して行ってください。それ以外のフォルダを指定してデータ／ファイルのコピー、削除を行うと、FOMA端末の故障などの不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。→P594

■mRouterについて

パソコンにデスクトップスイートをインストールすると、BluetoothまたはUSB接続ケーブル経由で本FOMA端末とパソコンの接続をコントロールするための「mRouter」が同時にインストールされます。mRouterがインストールされると、パソコン画面のタスクトレイにmRouterアイコン（　）が表示されます。

- デスクトップスイートを利用して本FOMA端末とパソコンを接続中は、mRouterアイコンが　のように表示されます。

- デスクトップスイートを操作してもmRouterアイコンが のままで接続が確立できない場合は、パソコンのタスクトレイのmRouter アイコンをダブルクリックしてmRouterのプロパティ画面を表示し、現在利用中の接続方法の□をクリックして接続を確立させてください。
- ダイヤルアップ接続を利用する際は、mRouterアイコン（ ）をダブルクリックしてmRouterのプロパティ画面を表示し、USB接続する場合は「USB」、Bluetooth接続の場合は「Bluetooth」の☑をクリックして無効（□）に設定してから操作してください。

お知らせ

- セットアップの途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックし、先へ進まない命令を出した場合、中止の確認画面が表示されます。［はい］をクリックし、完了画面で［完了］をクリックしてインストールを終了してください。再度インストールする場合は、インストールの操作を最初からやり直してください。
- デスクトップスイートをパソコンにインストールすると、mRouter とともに、FOMA端末とパソコンとの通信やデータ転送をコントロールするためのSymbian接続ランタイムが同時にインストールされます。

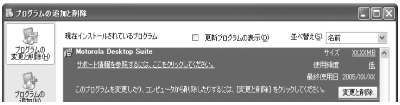
デスクトップスイートをパソコンからアンインストールする

デスクトップスイートをパソコンからアンインストールします。

- Windows XP、Windows 2000で「デスクトップスイート」のアンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーアカウントで行ってください。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカー、マイクロソフト社にお問い合わせください。
- アンインストールする前に、デスクトップスイートを終了させてください。
- Windows XP以外のOSをご使用のときは、画面の表示が異なります。

＜Windows XPでアンインストールするとき＞

1 Windowsの「アプリケーションの追加と削除」を起動する



■Windows XPのとき

「スタート」▶「コントロールパネル」▶「プログラムの追加と削除」を順にクリックする

■Windows 2000、Windows Me、Windows 98SEのとき

「スタート」▶「設定」▶「コントロールパネル」▶「アプリケーションの追加と削除」を順にクリックする

Windows Me、Windows 98SEの場合は、「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。

2 「Motorola Desktop Suite」を選択▶［変更と削除］をクリックする



3 ［はい］をクリックし、再起動の確認画面で「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」▶［完了］を順にクリックする

パソコンが再起動されます。

付録

次のページへ続く

お知らせ

- デスクトップスイートをパソコンからアンインストールすると、mRouter とSymbian接続ランタイムも同時にアンインストールされ、デスクトップからショートカットが自動的に削除されます。

デスクトップスイートの接続方法を設定する

お買い上げ時 USB

デスクトップスイートで接続するときの接続方法（USB接続ケーブル／Bluetooth経由）について設定します。

1 **アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「接続」タブ▶「Desktop Suite」を順にタップする**



接続方法がUSBのとき

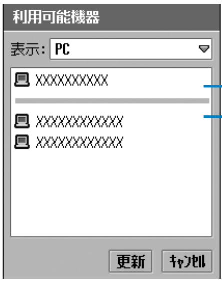


接続方法がBluetoothのとき

2 **「接続方法」欄をタップし、接続方法を選択▶[完了]をタップする**

■接続方法をBluetoothにしたときの優先機器を変更する

①Desktop Suite画面で［変更］をタップする



登録されているBluetooth対応機器の名称が表示されます。
検索された機器が表示されます。

表示　：表示するBluetooth機器を種類別に表示する場合にタップして選択します。

- ［更新］をタップすると、接続可能機器を再検索します。→P507
- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

②設定する機器をタップする

お知らせ

- 「Bluetooth ON」が☐の状態で優先機器を変更しようとする場合、［変更］をタップするとBluetooth OFF画面が表示され、［はい］をタップするとBluetoothが起動（「Bluetooth ON」が☑のときと同じ状態）してステータスバーの（グレー）が（白）になります。ただし、ステータスバーのBluetoothマークをタップして表示される「Bluetooth ON」は、☐のままになっていますのでご注意ください。

デスクトップスイートを操作する

デスクトップスイートを利用してFOMA端末とパソコンを接続し、FOMA端末とパソコンでデータを同期させたり、FOMA端末からパソコン／パソコンからFOMA端末にデータの転送を行ったりします。FOMA端末とパソコンの接続は、「デスクトップスイートの接続方法を設定する」（→P592）で設定した方法で行います。

- あらかじめデスクトップスイートをパソコンにインストールしてください。

1 FOMA端末とパソコンを接続する

- USB経由の場合は、USB接続ケーブル（同梱品）でFOMA端末とパソコンを接続してください。→P456
- Bluetooth経由の場合は、あらかじめ接続先のパソコンを登録し、BluetoothをONに設定してください。→P505、P507

2 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（Desktop Suite）を順にタップする



USB経由で接続するとき



Bluetooth経由で接続するとき

3 ［接続］をタップする

FOMA端末とパソコンが接続されます。

- FOMA端末とパソコンの接続が確立されると、パソコン画面のタスクトレイのmRouterアイコン（ ）が に変わります。mRouterアイコンが のままの場合は接続が確立されていないため、mRouterで接続操作を行ってください。→P591

4 パソコン画面で「スタート」▶「すべてのプログラム」（Windows XP以外のOSは「プログラム」）▶「Motorola Desktop Suite」を順に選択して「Motorola Desktop Suite」をクリックする



- デスクトップスイートをパソコンにインストールしたときにデスクトップに作成されたショートカット「Motorola Desktop Suite」をダブルクリックしても、パソコンのデスクトップスイートを起動できます。ショートカットをダブルクリックしてもパソコンのデスクトップスイート画面が表示されない場合は、タスクトレイの をダブルクリックしてください。

次のページへ続く

5 操作するアイコンをクリックする

バックアップ　：FOMA端末に保存されているデータ／ファイル、アプリケーションをパソコンにバックアップします。

復元　：FOMA 端末の状態をパソコンにバックアップしたときと同じ状態に戻します。

同期　：FOMA端末とパソコンでデータ／ファイルを同期します。また、共有しているデータ／ファイルを更新します。

インストール　：データ／ファイルやアプリケーションをFOMA端末にインストールします。

ファイルブラウザ：FOMA 端末や TransFlash メモリカードに保存されているデータ／ファイルやアプリケーションの状態を確認します。ドラッグ＆ドロップでパソコンとFOMA端末／TransFlashメモリカード間で簡単にデータ／ファイルのコピーができます。また、FOMA端末に保存されているデータ／ファイルを削除できます。

設定　：同期の動作など、パソコンのデスクトップスイートの詳細設定を行います。

6 操作が終了したら[切断]をタップする

■データ／ファイルのコピーについて

パソコンに作成されたショートカット「FOMA端末の本体メモリーへのショートカット」または「FOMA端末の外部メモリーへのショートカット」や、パソコンのデスクトップスイートの「ファイルブラウザ」を利用してパソコンのデータ／ファイルを FOMA 端末／TransFlashメモリカードにコピーを行う際は、データ／ファイルの種類に対応したフォルダを指定してください。データ／ファイルの種類に対応しないフォルダにコピーを行うと、FOMA端末でデータ／ファイルが利用できなくなります。データ／ファイルの種類に対応するフォルダは次のようになります。

データ／ファイルの種類	コピー先	フォルダ名
オーディオ	FOMA端末	c:¥documents¥media files¥audio¥unfiled※1
	TransFlashメモリカード	d:¥media files¥audio¥unfiled※1
文書	FOMA端末	c:¥documents¥media files¥document¥unfiled※1
	TransFlashメモリカード	d:¥media files¥document¥unfiled※1
画像	FOMA端末	c:¥documents¥media files¥image¥unfiled※1
	TransFlashメモリカード	d:¥media files¥image¥unfiled※1
その他	FOMA端末	c:¥documents¥media files¥other¥(サブフォルダ)※2
	TransFlashメモリカード	d:¥media files¥other¥(サブフォルダ)※2
動画	FOMA端末	c:¥documents¥media files¥video¥unfiled※1
	TransFlashメモリカード	d:¥media files¥video¥unfiled※1

※1：フォルダが追加されている場合はそのフォルダ名も表示され、コピー先に指定できます。
※2：フォルダが追加されていない場合は表示されません。

- 「unfiled」フォルダには、FOMA端末では「マイフォルダ」のフォルダに保存されているデータ／ファイルが表示されます。
- TransFlashメモリカードの場合は、ルートディレクトリ（d:¥）を指定してもコピーしたデータ／ファイルを利用できます。
- 上記に記載のフォルダ以外を指定してデータ／ファイルのコピーや削除を行うと、FOMA 端末の故障などの不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。

- ファイルブラウザでは、FOMA端末の内部メモリにある「system」フォルダ内のファイルは閲覧できません。
- ファイル整理などのためにフォルダを作成する場合は、「audio」フォルダ／「document」フォルダ／「image」フォルダ／「video」フォルダ内に新しくフォルダを作成してファイルをコピーするか、各フォルダの下にある「unfiled」フォルダに直接ファイルをコピーしてください。「audio」フォルダ／「document」フォルダ／「image」フォルダ／「video」フォルダ内に直接ファイルをコピーするとファイルが認識できない場合があります。

■パソコンのデスクトップスイートの詳細について

添付のFOMA M1000用CD-ROM1内にあるデスクトップスイート取扱説明書（PDF）、またはヘルプファイルをご覧ください。ヘルプファイルの表示方法は次のとおりです。

「スタート」▶「すべてのプログラム」（Windows XP以外のOSは「プログラム」）▶「Motorola Desktop Suite」を順に選択して「Motorola Desktop Suiteヘルプ」をクリックする

- パソコンのデスクトップスイート画面からヘルプを表示する場合は、デスクトップスイート画面で「設定」をクリックし、Motorola Desktop Suiteの設定画面で「同期」タブ▶［設定］を順にクリックし、オプション画面／PCのPIMを選択画面で［ヘルプ］をクリックします。

お知らせ

- デスクトップスイートでのデータ転送はTCP／IPを利用するため、ファイアーウォール機能などのセキュリティプログラムを搭載するパソコンをご利用の場合はセキュリティ警告が表示され、FOMA端末とパソコンのデスクトップスイート間の通信が許可されないことがあります。その場合は、mRouterやmRouterランタイムプログラム関連の通信を許可するように設定してください。
- パソコンの設定によっては、FOMA端末とパソコンを接続して一定時間が経過すると、自動的に切断される場合があります。
- 「Bluetooth ON」が☐の状態でFOMA端末とパソコンの接続しようとする場合、［接続］をタップするとBluetooth OFF画面が表示され、［はい］をタップするとBluetoothが起動（「Bluetooth ON」が☑のときと同じ状態）してステータスバーの［Bluetoothアイコン］（グレー）が［Bluetoothアイコン］（緑）になります。ただし、ステータスバーのBluetoothマークをタップして表示される「Bluetooth ON」は、☐のままになっていますのでご注意ください。
- FOMA端末が接続されたままUSB接続ケーブル（同梱品）をパソコンから取り外し、短時間内に再び接続すると、FOMA端末がパソコンから正しく認識されない場合があります。パソコンとFOMA端末の取り外し／接続は、必ず手順を守り、短時間内に行わないようにしてください。→P456

添付のFOMA M1000用CD-ROM1からファイルやデータをインストールする

添付のFOMA M1000用CD-ROM1に収録されている壁紙や着信音、電話用スキン、電話帳用アイコン、音楽、動画、電子辞書用辞書データをインストールします。

- あらかじめFOMA端末とパソコンをデスクトップスイートで接続した状態で操作してください。
- 電子辞書用辞書データはTransFlashメモリカードに保存されます。電子辞書用辞書データをインストールする場合は、あらかじめFOMA端末にTransFlashメモリカードを取り付けておいてください。

1 M1000ユーティリティソフトのメインメニュー画面を表示する

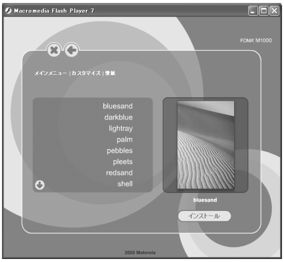
- M1000ユーティリティソフトのメインメニュー画面の表示方法→P589

2 ファイルやデータを選択してインストールする

次のページへ続く

■壁紙をインストールするとき

①「カスタマイズ」▶「壁紙」を順にクリックする



- 壁紙のファイル名をクリックすると、選択した壁紙が表示されます。

②インストールするファイル▶［インストール］を順にクリックし、インストールの確認画面で［完了］をクリックする

- インストールされた壁紙は、ピクチャーで確認できます。→P308

■着信音をインストールするとき

①「カスタマイズ」▶「着信音」を順にクリックする



- 着信音のファイル名▶ を順にクリックすると、選択した着信音が再生されます。

②インストールするファイル▶［インストール］を順にクリックし、インストールの確認画面で［完了］をクリックする

- インストールされた着信音は、ミュージックで確認できます。→P319
- インストールした着信音を電話やメールの着信音に設定する場合は、あらかじめ着信音として登録してから設定を行ってください。→P131

■電話用スキンをインストールするとき

①「カスタマイズ」▶「電話用スキン」を順にクリックする



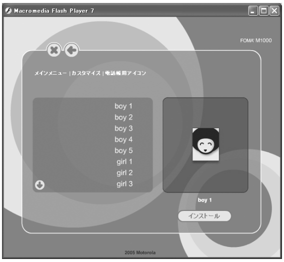
- 電話用スキンのファイル名をクリックすると、選択した電話用スキンが表示されます。

②インストールするファイル▶［インストール］を順にクリックし、インストールの確認画面で［完了］をクリックする

- インストールされた電話用スキンは、スキンの設定で確認できます。→P148

■電話帳用アイコンをインストールするとき

①「カスタマイズ」➧「電話帳用アイコン」を順にクリックする



- 電話帳用アイコンのファイル名をクリックすると、選択した電話帳用アイコンが表示されます。

②インストールするファイル➧［インストール］を順にクリックし、インストールの確認画面で［完了］をクリックする

- インストールされた電話帳用アイコンは、ピクチャーで確認できます。→P308

■音楽をインストールするとき

①「サンプルファイル」➧「音楽」を順にクリックする



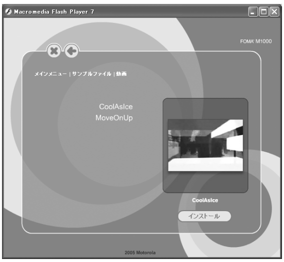
- 音楽のファイル名➧▶をクリックすると、選択した音楽ファイルが再生されます。

②インストールするファイル➧［インストール］を順にクリックし、インストールの確認画面で［完了］をクリックする

- インストールされた音楽ファイルは、ミュージックで確認できます。→P319

■動画をインストールするとき

①「サンプルファイル」➧「動画」を順にクリックする



②インストールするファイル➧［インストール］を順にクリックし、インストールの確認画面で［完了］をクリックする

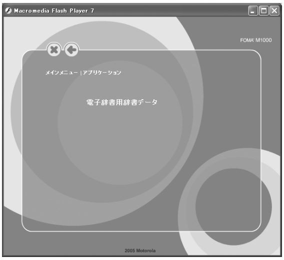
- インストールされた動画ファイルは、ビデオで確認できます。→P314

次のページへ続く

■電子辞書用辞書データをインストールするとき

• FOMA 端末に TransFlash メモリカードが取り付けられていない場合は、電子辞書用辞書データをインストールできません。

①「アプリケーション」をクリックする



②「電子辞書用辞書データ」をクリックし、インストールの確認画面で［同意します］をクリックする

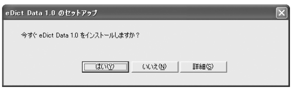


• インストールの確認画面で［同意しません］をクリックすると、操作を中止します。
• ［閉じる］をクリックすると、操作を中止します。

③「デバイスを選択」欄の「Motorola M1000」をクリックする



④［インストール］をクリックする



• ［いいえ］をクリックすると、操作を中止します。
• ［詳細］をクリックすると、詳細情報を確認できます。

⑤［はい］をクリックする



電子辞書用辞書データがインストールされます。

⑥［OK］をクリックする

■インストールしたファイルやデータをアンインストールするとき

インストールしたファイルやデータは次の方法でアンインストールできます。

壁紙／電話帳用アイコン

メモリマネージャ、またはデスクトップスイートの「ファイルブラウザ」を利用して削除できます。→P346、P594

• 「ファイルブラウザ」を利用する場合、「画像」に種別されるデータ／ファイルが保存されているフォルダから削除します。→P594

着信音／音楽

メモリマネージャ、またはデスクトップスイートの「ファイルブラウザ」を利用して削除できます。→P346、P594

- 「ファイルブラウザ」を利用する場合、「オーディオ」に種別されるデータ／ファイルが保存されているフォルダから削除します。→P594

電話用スキン

デスクトップスイートの「ファイルブラウザ」を利用して削除できます。→P594

- 「その他」に種別されるデータ／ファイルが保存されているフォルダを指定し、「phone skins」フォルダから削除します。→P594

動画

メモリマネージャ、またはデスクトップスイートの「ファイルブラウザ」を利用して削除できます。→P346、P594

- 「ファイルブラウザ」を利用する場合、「動画」に種別されるデータ／ファイルが保存されているフォルダから削除します。→P594

電子辞書用辞書データ

メモリマネージャを利用するか、アプリケーションランチャーから電子辞書用辞書データをアンインストールします。→P346、P411

- メモリマネージャを利用する場合は、メモリマネージャ画面で［アンインストール］をタップし、アンインストール画面で「eDict Data」▶［アンインストール］を順にタップし、ソフトのアンインストール画面で［はい］をタップします。メモリマネージャ画面の表示方法→P346
- アプリケーションランチャーからアンインストールする場合は、アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶メニューバーの「ランチャー」▶「アンインストール」を順にタップし、アンインストール画面で「eDict Data」▶［アンインストール］を順にタップし、ソフトのアンインストール画面で［はい］をタップします。

SyncMLを利用する

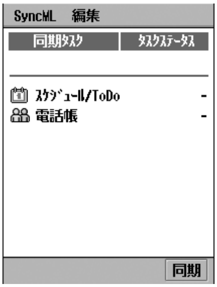
SyncMLの設定を行う

お買い上げ時	サーバアドレス：http://　ユーザ名：－　パスワード：－

同期を行うSyncMLサーバの設定をします。

- 設定に必要な情報はネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（SyncML）を順にタップする



2 メニューバーの「編集」➧「設定」を順にタップする



サーバアドレス：サーバアドレスを入力します。
ユーザ名：ユーザ名を入力します。
パスワード：パスワードを入力します。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 設定する項目欄をタップし、情報を入力する

■転送ログイン用の設定をするとき

- 必要な場合に行ってください。設定に必要な情報はネットワーク管理者にお問い合わせください。

①「プロトコル」タブをタップする



転送プロトコル：転送プロトコルが表示されます。
転送ログイン：転送ログインの有効／無効を設定します。☑が有効、□が無効の状態です。
ユーザ名：転送ログイン用のユーザ名を入力します。転送ログインが有効のときのみ入力できます。
パスワード：転送ログイン用のパスワードを入力します。転送ログインが有効のときのみ入力できます。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

②「転送ログイン」の□をタップする

- ☑をタップすると、転送ログインが無効に設定されます。

③「ユーザ名」欄をタップし、ユーザ名を入力する

④「パスワード」欄をタップし、パスワードを入力する

4 ［完了］をタップする

■SyncML画面のメニューバーから行える項目について

メニューバーの「SyncML」「編集」をタップすると、次の項目が表示されます。

「SyncML」

同期開始 .P602
同期停止 .P602
切断 P602

「編集」

設定 P599

- 操作により、タップしても実行できない項目は、うすく表示されています。

お知らせ

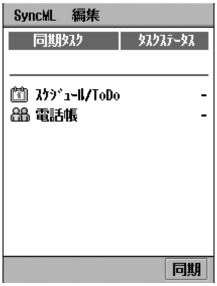
- SyncMLを設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されます。設定が途中の場合は、再度設定画面を表示して完了してください。ただし、転送ログイン用の設定を行っている場合は、すべての項目を設定していない状態で切り替えられると、それまでの設定内容は保存されませんのでご注意ください。

同期するタスクの設定を行う

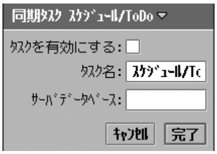
お買い上げ時	タスクを有効にする：□　タスク名：スケジュール／ToDoまたは電話帳　サーバデータベース：ー

SyncMLで同期するタスクを設定します。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（SyncML）を順にタップする



2 設定するタスクをタップする



スケジュール／ToDoの場合

タスクを有効にする
：タスクの有効／無効を設定します。
☑が有効、□が無効の状態です。

タスク名：あらかじめ取得されたタスク名が表示されます。

サーバデータベース
：あらかじめ取得されたサーバデータベースへのパスが表示されます。

- ［キャンセル］をタップすると、操作を中止します。

3 各項目を設定する

- 「タスクを有効にする」
：□／☑をタップし、設定する場合は☑の状態に、設定しない場合は□の状態にします。
- 「タスク名」「サーバデータベース」
：項目欄をタップし、文字を入力します。
  - 必要に応じて変更します。

4 ［完了］をタップする

お知らせ

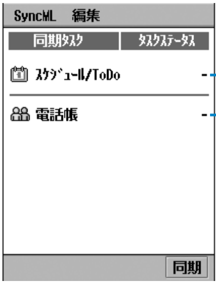
- タスクを設定中に、お客様による他のアプリケーションへの切り替えや、他のアプリケーションからの割り込みにより、アプリケーションが切り替えられた場合は、それまでの設定内容は保存されます。設定が途中の場合は、再度設定画面を表示して完了してください。

データを同期する

SyncMLサーバに接続し、データを同期します。

- あらかじめインターネットに接続しておいてください。→P211

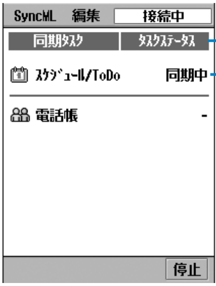
1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（SyncML）を順にタップする



同期するタスクが表示されます。

同期を無効に設定したタスクが表示されます。→P601

2 [同期]をタップする



同期の進行状況が表示されます。

タスクの状態が表示されます。

- インターネットに接続していない場合は、ネットワーク接続画面が表示されます。［接続］をタップすると、同期が開始されます。
- ［停止］をタップ、またはメニューバーの「SyncML」▶「同期停止」を順にタップすると、実行中の同期を中止します。
- メニューバーの「SyncML」▶「切断」を順にタップすると、通信を切断します。

3 同期が終了する

お知らせ

- データの同期には日付・時刻の設定が大きく影響するため、FOMA端末で設定している日付・時刻とSyncMLサーバで設定している日付・時刻が異なる場合は、データの同期を行う際に予期しない結果が発生することがありますのでご注意ください。

故障かな？と思ったら、まずチェック

症　状	チェック
FOMA端末の電源が入らない （FOMA端末が使えない）	・電池パックが正しく取り付けられていますか。→P53 ・電池切れになっていませんか。→P61 ・デュアルネットワークサービスでmovaが有効となっている場合、FOMAのサービスは利用できません。FOMA端末が有効になっているかご確認ください。詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。→P178
FOMA端末の電源を入れると「FOMAカードが利用できません」と表示される	・FOMAカードが正しく取り付けられていないか、読み込みに失敗しました。FOMAカードが正しく取り付けられているかご確認ください。→P51
ディスプレイの表示が消えた状態で、キーを押したり、タッチスクリーンをタップしても画面が変化しない	・パスワードロックまたはロックを設定していませんか。→P159、P161
ディスプレイが暗くなり、表示が消えている	・省電力モードになっていませんか。→P41
画面に「電池残量：わずか　充電してください」と表示され、警告音が鳴っている	・電池が少なくなっています。充電してください。→P56
電話番号を入力しても発信できない	・セルフモードを設定していませんか。→P162
電話をかけたが話中音（プープー）がでてつながらない	・市外局番を忘れていませんか。→P70 ・圏外になっていませんか。→P41
メールを受信したときに、設定したメール着信音と異なる着信音が鳴る	・複数のEメールアカウントが登録され、それぞれに異なる着信音を設定していませんか。→P129

・画面をタップしたりキーを押しても応答がない場合は、電源を入れ直してください。電源スイッチが反応しない場合は、いったん電池パックを取り外し、もう一度取り付け直してから起動してください。
・FOMA端末の使用状況によっては、自動的に電源断・電源再起動を行う場合があります。
※上記操作または電源断・電源再起動により、操作中のデータは消去される場合があります。また保存済みのデータについても消去される可能性がありますので、定期的にFOMA端末のデータをパソコンなどへバックアップしておくことをおすすめします。詳細については、「メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて」（→P618）を参照ください。

次のページへ続く

■海外利用時の場合

症　状	チェック
ネットワークの状態を示すアイコンが赤またはグレーになり、国際ローミングサービスが利用できない	・国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱いところにいませんか。 ・利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ネットワークサービス操作ガイド』やWORLD WINGのホームページで確認してください。 ・対応しているネットワークに切り替えてください。→P571 ・FOMAカードが取り付けられているか、また利用できるFOMAカードかどうか、確認してください。→P51、53
テレビ電話やショートメッセージサービス(SMS)、パケット通信が利用できない	・利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ネットワークサービス操作ガイド』やWORLD WINGのホームページで確認してください。 ・対応しているネットワークに切り替えてください。→P571
音声電話やテレビ電話がかかってこない	・ローミング時着信規制を設定していませんか。→P575
海外から帰国後、ネットワークの状態を示すアイコンが圏外のままである	・ネットワークをGSM/GPRS方式に設定していませんか。→P571

こんな表示が出たら

	表　示	説　明	参照先
1	**ファイルが壊れているためこのソフトウェアはインストールできません**	ファイルが壊れているため、アプリケーションをインストールできませんでした。インストールを中止します。	−
2	**エラーが発生したためダウンロードは中断されました**	エラーが発生したため、ダウンロードできませんでした。電波の強い場所で再度操作してください。	−
3	**内部メモリのファイルを削除するかメモリカードに移動してください**	FOMA端末本体のメモリ容量がいっぱいのため、カメラで撮影／録画したファイルを保存できません。外部メモリに移動するか、不要な画像／動画ファイルを削除してください。	P345、346
4	**ファイルを移動または削除してください**	FOMA端末または外部メモリのメモリ容量がいっぱいのため、カメラで撮影／録画したファイルを保存できません。外部メモリに移動するか、不要な画像／動画ファイルを削除してください。	P345、346
5	**カメラを起動できません　アプリケーションを終了します**	エラーが発生したため、カメラを終了します。	−
6	**一部の電話帳が正しくコピーされません**	FOMA端末のメモリが不足していたため、または電話帳データのコピー中に［キャンセル］をタップして中止したため、一部の電話帳データがコピーされませんでした。不要なファイルやデータを削除して、再度操作し直してください。	P346
7	**一部の電話帳が正しく移動されません**	FOMA端末のメモリが不足していたため、または電話帳データの移動中に［キャンセル］をタップして中止したため、一部の電話帳データが移動されませんでした。不要なファイルやデータを削除して、再度操作し直してください。	P346

	表　示	説　明	参照先
8	電話帳を保存できません　名前を入力してください	名前を入力していないため登録できません。名前を入力してから登録してください。	P103
9	不正な文字列です　電話帳を更新しました	FOMA端末（本体）電話帳の電話帳データの電話番号に「.」が含まれていたため、「.」を削除した状態でFOMAカードにコピーしました。	P109
10	USBケーブルが接続されていません	USB接続ケーブルが接続されていないため、デスクトップスイートを利用できません。FOMA端末とパソコンをUSB接続ケーブルで接続してください。	P456
11	USB経由でPCに接続できません　PCの設定を確認してください	USB接続ケーブル経由でFOMA端末とパソコンを接続できません。デスクトップスイートの接続方法が「USB」に設定されているか、USB接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。パソコン画面のタスクトレイの「mRouterアイコン」をダブルクリックし、「ケーブル」の□をクリックしてください。	P456、457、592
12	Bluetoothを有効にしますか？	BluetoothがOFFのため接続できません。［はい］をタップして、BluetoothをONにしてください。	P505
13	接続先が見つかりません　電源が入っていることと接続先が通信圏内であることを確認してくださいまたは優先する機器を変更してください	利用可能機器に接続できません。［変更］をタップして他の機器を選択するか、［完了］をタップして操作を終了してください。	P507
14	確認できません	圏外またはFOMAカードが挿入されていないため、ショートメッセージ（SMS）の問い合わせに失敗しました。電波の強い位置まで移動するか、FOMAカードを挿入してください。	P51
15	XXXX※は接続を要求しています ※：接続を要求しているBluetooth機器の名称が表示されます。	他のBluetooth機器から接続の要求があった場合に表示されます。操作方法については、参照先で確認してください。	P511
16	このファイル名は既に存在します	既に存在するファイル名に変更しようとした場合に表示されます。他のファイル名に変更してください。	P342
17	トラック名を入力してください	音楽ファイル名に何も入力せずに保存しようとした場合に表示されます。ファイル名を入力してください。	P342
18	このファイルは壊れているため削除しました	vCalendar、vCardファイルや画像ファイルに破損、または不正なデータが見つかったため削除されました。	—
19	テレビ電話はご利用できません	テレビ電話を使用できないエリア、または電波が届かない場所にいます。［📞音声発信］をタップして音声電話をかけるか、［キャンセル］をタップして電波の届く位置まで移動してからテレビ電話をかけ直してください。	P94
20	接続できませんでした	電話をかけた相手がテレビ電話を利用できません。［📞音声発信］をタップして音声電話でかけ直してください。	P94
		パケット通信中のため、テレビ電話をかけることができません。パケット通信を切断してからかけ直してください。	P91、213

付録

次のページへ続く

	表　示	説　明	参照先
21	使用できる回線がありません	音声電話の通話中にテレビ電話、またはテレビ電話の通話中に音声電話／テレビ電話をかけようとしたため、電話の発信ができません。［完了］をタップして表示を消し、通話中の電話を切ってからおかけ直しください。	P70、91
		ネットワークに回線交換で接続中のため、音声電話をかけることができません。ネットワークを切断するか、ネットワークに回線交換以外で接続してください。	P211、213
		ネットワークに回線交換で接続中のため、テレビ電話をかけることができません。ネットワークを切断するか、ネットワークに無線LANで接続してください。	
		セルフモード中に音声電話／テレビ電話をかけようとした場合に表示されます。セルフモードを解除してください。	P162
		テレビ電話を使用できないエリア、または電波が届かない場所にいます。［完了］をタップして電波の届く位置まで移動してからテレビ電話をかけ直してください。	P91
22	失敗しました	エラーが発生したため、ネットワークへの接続に失敗しました。しばらくしてから操作し直してください。	—
		情報の取得に失敗しました。しばらくしてから操作し直してください。	
23	未契約です	未契約のネットワークサービスです。ご利用になる場合はお申し込みが必要になります。	P170
24	エラー　ネットワークは既にあります	登録しようとしているネットワークは、既に優先リストに登録されています。	—
25	PINコードが違います	入力したPINコードが間違えています。正しいPINコードを入力し直してください。	P153
26	PINコードが違います　もう一度間違えるとPINコードはロックされます	PINコードの入力を通算で2回間違えました。正しいPINコードを入力し直してください。	P153
27	PIN1コードはロックされています／PIN2コードはロックされています	PIN1コード／PIN2コードがロックされました。PINロック解除コードを入力してPINロックを解除してください。	P157
28	サポートしていないドキュメント形式です	サポートしていないファイル形式のため、開けません。ファイル形式を確認してください。	P324
29	ドキュメントを正しく表示できません	画像ファイルにエラーが発生したため、表示できません。	—
30	画像を読込めません	ファイルが壊れていて表示できません。	—
31	画像が大きすぎて処理できません	表示サイズが大きすぎるため、「原寸大表示」できません。	—
32	ファイルを移動できません	移動先のフォルダに同じ名前のファイルがあった場合に表示されます。他のファイル名に変更してください。	P342
33	名前を変更できません	既に存在するファイル名に変更しようとした場合に表示されます。他のファイル名に変更してください。	P342
34	画像を削除できません	エラーが発生したため、画像ファイルを削除できませんでした。	—
35	クリップ再生できません	動画ファイルが壊れているため、再生できません。	—

	表　示	説　明	参照先
36	タイトルを入力してください	動画ファイル名に何も入力せずに保存しようとした場合に表示されます。ファイル名を入力してください。	P342
37	定義ファイルを更新できません	エラーが発生したため、セキュリティスキャンLightのパターンデータの更新に失敗しました。［OK］をタップすると終了します。再度更新し直してください。	—
38	ウイルススキャンの初期化失敗	エラーが発生したため、セキュリティスキャンLightの初期化に失敗しました。FOMAカードが取り付けられていて、ネットワークに接続されているか確認してください。	—
39	合計データ量が指定したしきい値を超えています	積算された送受信データ量が設定したしきい値を超えた、または既に超えています。または、変更したしきい値が積算された送受信データ量を下回っています。バイトカウンタをリセットするか、しきい値を設定し直すか、バイトカウンタを無効に設定してください。	P390、391
40	証明書を選択してください	クライアント証明書を選択してください。複数ある場合、選択できるのは1つの証明書だけになります。	P428
41	デバイスに証明書が存在しません ネットワーク認証が設定できません	証明書が存在しないか有効期限が切れたため、使用できません。新しい証明書をインストールしてください。	P408
42	mopera U初期設定中に問題が発生しました	mopera U端末自動設定のダウンロードに失敗しました。	P250
43	設定リセット失敗	FOMA端末のファイルシステムが壊れているため、設定リセットができません。修理が必要になるため故障取扱窓口へご来店ください。	—
44	初期化失敗	FOMA端末のファイルシステムが壊れているため、初期化ができません。修理が必要になるため故障取扱窓口へご来店ください。	—
45	名前が不正です	TransFlashメモリカードに登録できない名前です。名前を変更してください。	P340
46	バックライトOFF時間が画面OFF時間を越えています	電源管理の電源OFFの時間がバックライトOFFの時間より短いため設定できません。時間を設定し直してください。	P145
47	電池残量：わずか　充電してください	電池が少なくなっています。充電してください。	P56
48	XXXX※フォルダは削除できません　アイテムが残っています ※：フォルダ名が表示されます。	フォルダ内にファイルが保存されているため、削除できませんでした。フォルダ内のファイルを削除してから再度操作をしてください。	P346
49	本体のメモリが不足しています 空き容量を確保しますか？	FOMA端末本体のメモリ容量が不足した場合に表示されます。［はい］をタップしてメモリマネージャ画面で不要なファイルを削除してください。	P350
50	本体に空き容量がありません	FOMA端末のメモリに空き容量がありません。不要なファイル、アプリケーションを削除してください。	P346、411
51	メモリカードに空き容量がありません	TransFlashメモリカードに空き容量がありません。不要なファイル、アプリケーションを削除してください。	P346、411
52	このファイルは壊れているため使えません	ファイルが破損しているため、使用することができません。ファイルを削除してください。	P346

次のページへ続く

	表　示	説　明	参照先
53	このアプリケーションのファイルは破損しているので、削除しました。	ファイルが破損していたため、削除しました。	―
54	辞書を保存します　よろしいですか	手動で辞書をTransFlashメモリカードに保存する場合に表示されます。	P552
55	辞書を復旧します　よろしいですか	TransFlashメモリカードに保存されている辞書を復旧させる場合に表示されます。	P552
56	不正な電池パックです　充電できません	不正な電池パックを使用しています。正しい電池パックを取り付けてください。	P53
57	ご利用の機器にはこのファイルを開くためのビューアがありません	FOMA端末のビューアで表示できない形式のファイルです。［保存］をタップすると、FOMA端末に保存されます。	P285
58	ブラウジングタブがすべて使用されています　ファイルをダウンロードするには少なくとも一つは閉じてください	既に５個（最大数）のタブでホームページを表示しています。新たなタブで表示する場合は、不要なタブを閉じてください。	P220
59	宛先が正しくありません	宛先を入力しないで送信しようとした場合に表示されます。宛先を入力してください。	P262
60	最大文字数に達しました	入力可能な文字数を超えました。	―
61	メモリがいっぱいです	FOMA端末本体のメモリ容量がいっぱいのため、ファイルを添付できません。不要なファイル、アプリケーションを削除してください。	P346、411
		メモリがいっぱいです。不要なファイル、アプリケーションを削除してください。	
62	所有者情報が未設定です	所有者情報が設定されていません。設定してから再度操作してください。	P120
63	フィルタ名がありません	メールフィルタ名を設定しないで保存しようとした場合に表示されます。設定してから保存してください。	P296
64	SMSを送信できません	圏外、セルフモード中またはFOMAカードが挿入されていないため、ショートメッセージ（SMS）の送信に失敗しました。電波の強い位置に移動するか、セルフモードを解除するか、FOMAカードを挿入してください。	P51、162、302
65	登録がありません	選択したタブに電話帳データが登録されていません。メールアドレスを直接入力してください。	P262
66	メールを完全にダウンロードしますか？	制限あり受信Eメール（POP3）をタップすると表示されます。［はい］をタップすると、残りのデータをすべてダウンロードします。	P274
67	メールヘッダのみダウンロードしました　メールを完全にダウンロードしますか？	制限あり受信Eメール（IMAP）をタップすると表示されます。添付ファイルがある場合は、受信するかどうかを設定できます。［はい］をタップすると、残りのデータをすべてダウンロードできます。	P274
68	すべての添付ファイルをダウンロードします	添付ファイルを受信していない制限あり受信Eメール（IMAP）の添付ファイル画面で、添付ファイルをタップすると表示されます。［はい］をタップすると、残りのデータをすべてダウンロードできます。	P285

	表　示	説　明	参照先
69	選択されたメールをダウンロードするとサーバ上のメールは削除されます メールをダウンロードしますか？	受信Eメール（IMAP）を、受信BOXからお客様が作成したフォルダに移動しようとすると表示されます。移動すると、同じ内容のEメールがメールサーバから削除されますのでご注意ください。	P294
70	この操作はダウンロードされたメールをサーバから削除します 続行しますか？	IMAPの受信Eメール／POP3の受信Eメールで「サーバから削除」を削除する設定にしているときに、削除しようとすると表示されます。削除すると、同じ内容のEメールがメールサーバから削除されますのでご注意ください。	P298
71	IMAP4サーバとの接続が切断されました	メールサーバ（IMAP）が見つからないため、接続できません。メールサーバアドレスを確認してください。	P256
72	DNSサーバが見つかりません インターネットコントロールパネルでDNSアドレスを確認してください。	DNSサーバ名が正しくないため、接続できません。 DNSサーバアドレスを確認してください。	P205
73	送信できません　宛先を確認してください	アドレスが無効のため、指定された宛先に送信できません。宛先のEメールアドレスを確認してください。	P262、270
74	ホスト名が取得できません。	メールサーバのアドレスが無効のため、接続できません。メールサーバアドレスを確認してください。	P258
75	POP3サーバに接続できません メールボックスのユーザ名とパスワードを確認してください。	メールのユーザ名またはパスワードが無効です。 ユーザ名またはパスワードを確認してください。	P255
76	メモリが不足しています	FOMA端末本体のメモリ容量がいっぱいのため、メールが保存できません。不要なファイル、アプリケーションを削除してください。	P346、411
77	ファイル名が無効です	ファイル名に使用できない文字を入力しています。	P342
78	再生エラー	サポートしていないファイル形式のため再生できません。ファイル形式を確認してください。	P319
		音声電話／テレビ電話通話中に動画を再生しようとした場合に表示されます。音声電話／テレビ電話を切断してください。	P71、92
79	PINロック解除コードは完全にロックされています	PINロック解除コードの入力を通算で10回間違ったため、FOMAカードがロックされました。FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうか確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参ください。	P158
80	PINコードが一致しません　もう一度入力してください	入力した確認用のPINコードが間違っています。入力した新しいPINコードと同じPINコードを入力し直してください。	P156
81	辞書が壊れています	追加した辞書が壊れているため、使用するように設定できません。メモリマネージャを使用して壊れている辞書を削除し、再度辞書をインストールしてから操作し直してください。	P346、550
82	ひらがな以外は不可	単語の「読み」にひらがな以外の文字が入力されているため単語を登録できません。「読み」をひらがなで入力してください。	P548
83	空白は登録できません	単語の「読み」または「語句」が入力されていません。 「読み」または「語句」を入力してください。	P548

次のページへ続く

	表　示	説　明	参照先
84	**すでに登録されています**	既に同じ単語が登録されています。「読み」または「語句」を変更してください。	P548
85	**初期値読込みエラー**	文字入力の設定情報ファイルを読み込む際にエラーが発生したため、お買い上げ時の状態で起動します。お買い上げ時の設定でご利用になれますが、修理が必要になるため故障取扱窓口へご来店ください。	—
86	**本体のメモリに不要なデータが存在します このデータを消去して現在より大きい空き領域を作ると作成した情報が失われる場合があります このファイルを削除しますか？**	FOMA端末本体のメモリ容量不足のメッセージ画面で［はい］をタップし、不要なデータがある場合に表示されます。操作方法については、参照先で確認してください。	P350
87	**コピー項目がありません**	コピー元が選択されていません。コピーする範囲を指定してください。	P546
88	**切り取る項目がありません**	切り取り元が選択されていません。切り取る範囲を指定してください。	P546
89	**貼付ける項目がありません**	貼り付けるデータがありません。貼り付けるデータのコピー／切り取りを行ってください。	P546
90	**文字列を入力してください**	検索するキーワードが入力されていません。キーワードを入力してください。	—
91	**この名前は使用できません**	フォルダ名に使用できない文字（非ASCII記号、/、"、?、¥、:、＞、＜、｜、*）が入力されています。使用できる文字を入力してください。	P341
92	**既に存在するフォルダ名**	既に同じフォルダ名が登録されています。フォルダ名を変更してください。	P341
93	**キーの長さが一致しません**	「暗号化キー」に、適切でない長さのキーが入力されています。適切な長さのキーを入力してください。	P427
94	**本体にメモリカードが挿入されていません**	TransFlashメモリカードがFOMA端末に取り付けられていない状態で、TransFlashメモリカードに関する操作をした場合に表示されます。TransFlashメモリカードをFOMA端末に取り付けてから操作してください。	P336
95	**認証パスワードが違います**	入力した現在の認証パスワードが間違っています。正しい認証パスワードを入力し直してください。	P152
96	**認証パスワード確認失敗**	入力した確認用の認証パスワードが間違っています。入力した新しい認証パスワードと同じ認証パスワードを入力し直してください。	P154
97	**端末パスワードが違います**	入力した端末パスワードが間違っています。正しい端末パスワードを入力し直してください。	P152
98	**ポリシーがありません**	ポリシーが設定されていません。ポリシーを作成してください。	P439
99	**インポートするポリシーがありません**	インポートできるポリシーファイルが、FOMA端末またはTransFlashメモリカードにありません。ポリシーファイルを保存してから操作してください。	P408
100	**ポリシーのインポートに失敗しました（バージョンが不適切かパスワードが無効です）**	未対応のバージョン、またはパスワードが間違っているため、ポリシーをインポートできません。適切なバージョンのインポートファイルを用意、またはパスワードを確認してください。	—

	表　示	説　明	参照先
101	**エラー：プライマリDNS**	入力したプライマリDNSアドレスが正しくありません。アドレスを確認してください。	P444
102	**エラー：セカンダリDNS**	入力したセカンダリDNSアドレスが正しくありません。アドレスを確認してください。	P444
103	**エラー：ポリシー名**	ポリシー名が入力されていません。ポリシー名を入力してください。	P442
104	**エラー：ゲートウェイタイプ**	ゲートウェイタイプが選択されていません。ポリシー名を入力してゲートウェイタイプを選択してください。	P442
105	**エラー：ゲートウェイアドレス**	ゲートウェイアドレスが入力されていないか、正しくありません。ポリシー名を入力してゲートウェイタイプを選択し、ゲートウェイアドレスを入力してください。	P442
106	**エラー：保存エラー**	ポリシーの保存に失敗しました。	—
107	**エラー：XAuthタイプ**	拡張認証（Xauth）を選択しないで［完了］をタップしたときに表示されます。拡張認証（Xauth）を選択してから［完了］をタップしてください。	P442
108	**エラー：サブネット'n※'IPアドレス** ※：１～3の数字が入ります。	無効なサブネットアドレスが入力されています。アドレスを確認してください。	P444
109	**エラー：サブネット'n※'マスク** ※：１～3の数字が入ります。	無効なサブネットマスクが入力されています。マスクを確認してください。	P444
110	**ライセンスファイルが見つかりませんでした**	movianVPNのライセンスファイルが見つかりませんでした。	—
111	**ライセンスの署名が無効です**	movianVPNのライセンスが破損しているか署名が不正です。	—
112	**アラームが期日を過ぎています**	アラームの設定日時が無効です。アラームの日時をToDoリストの期日より前に設定し直してください。	P379
113	**有効なタスクがありません**	同期するタスクが設定されていません。タスクを設定してください。	P601
114	**必須データがありません**	「タスク名」または「サーバデータベース」が入力されていません。「タスク名」または「サーバデータベース」を入力してください。	P601
115	**接続されていません**	通信が切断されたため同期できません。操作し直してください。	P602
116	**同期に失敗しました**	FOMAネットワーク圏外または無線LAN圏外のため、SyncMLサーバに接続できません。電波の強い位置まで移動してください。	—
		BluetoothがONの状態で無線LANを使用してSyncMLサーバと同期しようとした場合に表示されます。BluetoothをOFFにしてから無線LANを使用してください。	P505
		セルフモード中にSyncMLサーバと同期しようとした場合に表示されます。セルフモードを解除してください。	P162
		FOMAカードが挿入されていないため、SyncMLサーバに接続できなかった場合に表示されます。FOMAカードを挿入してください。	P51

次のページへ続く

	表　示	説　明	参照先
117	レコードの追加に失敗しました	SyncMLサーバのデータベースが正しくないため同期できません。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	—
118	レコードの上書きに失敗しました	SyncMLサーバのデータベースが正しくないため同期できません。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	—
119	レコードの削除に失敗しました	SyncMLサーバのデータベースが正しくないため同期できません。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	—
120	データの保存に失敗しました	SyncMLサーバのデータベースが正しくないため同期できません。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	—
121	プロトコルがありません	転送プロトコルが設定されていないため接続できません。転送プロトコルを設定してください。	P600
122	接続先がいっぱいです	接続先のメモリ容量が不足しているため同期できません。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	—
123	要求された操作ができません　設定を確認してください	SyncMLの設定が行われていないか、設定が無効のため、SyncMLサーバに接続できません。設定を行うか、設定を確認してください。	P599
124	サーバが応答しません　設定を確認するかしばらくして接続してください	SyncMLサーバが応答しないため、SyncMLサーバに接続できません。設定を確認するか、しばらくしてから操作し直してください。	P599、602
125	サーバが混んでいます　しばらくして接続してください	SyncMLサーバが混雑しているため、SyncMLサーバに接続できません。しばらくしてから操作し直してください。	P602
126	プロトコルが対応していません	転送プロトコルが対応していないため、SyncMLサーバに接続できません。転送プロトコルを確認してください。	P600
127	ユーザ名およびパスワードが無効です	「パスワード」の認証に失敗したため、SyncMLサーバに接続できません。「ユーザ名」または「パスワード」を確認してください。	P599
128	有料サービスです	SyncMLの使用に対する適正な決済がされていないか、SyncMLの設定が無効のため、SyncMLサーバに接続できません。支払いの確認、またはSyncMLの設定を確認をしてください。	P599
129	禁止動作です	SyncMLサーバへの書き込みが許可されていません。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	—
130	コマンドが無効です	サポートされていないタスクを設定したため同期できません。タスクの設定を確認してください。	P601
131	同期サービスはご利用できません	SyncMLサーバにエラーが発生したため、SyncMLサーバに接続できません。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	—
132	サーバ障害です	SyncMLサーバに重大なエラーが発生したため、SyncMLサーバに接続できません。ネットワーク管理者にお問い合わせください。	—
133	サーバエラーのため同期に失敗しました　SyncMLプロバイダに問い合わせるかしばらくたってから実行してください	「ユーザ名」が無効です。「ユーザ名」を確認してください。	P599

	表　示	説　明	参照先
134	タスクデータベースがサーバにありません　タスク設定を確認してください	設定したタスクはSyncMLサーバがサポートしていないタスクを設定しているため同期できません。タスクの設定を確認してください。	P601
135	接続が中断されました	通信が切断されました。しばらくしてから接続し直してください。	―
136	接続できません　しばらくして接続してください	接続エラーが発生したため、SyncMLサーバに接続できません。しばらくしてから接続し直してください。	P602
137	接続できません　本体と設定を確認してください	FOMA端末にエラーが発生したため、または設定が正しくないため、SyncMLサーバに接続できません。しばらくしてから、または設定を確認してから接続し直してください。	P599、601
		音声電話通話中のため、回線交換でSyncMLサーバに接続できません。音声電話を切るか、回線交換以外でSyncMLサーバに接続してください。	P211
		テレビ電話通話中のため、パケット通信または回線交換でSyncMLサーバに接続できません。テレビ電話を切るか、無線LANで接続してください。	
138	接続できません　設定を確認してしばらくしてから再接続してください	設定が正しくないため、SyncMLサーバに接続できません。設定を確認してください。	P599
139	空フォルダ	画像が保存されていません。	―
140	ファイル名が未入力です	ファイル名を設定せずに保存しようとした場合に表示されます。ファイル名を設定してください。	P342
141	回線を切断して他の接続を行いますか？	既にインターネットに接続している状態で、別のネットワークアカウントで接続しようとした場合に表示されます。［はい］をタップすると、既存の接続を切断して新しいネットワークアカウントで接続します。［いいえ］をタップすると、既存の接続を継続します。	―
142	電波が弱いため接続できません	電波が弱いため、ネットワークに接続できませんでした。電波の届く位置まで移動してから操作し直してください。	―
143	証明書を認証できません 証明書の詳細は、［詳細］から確認してください 承諾して次へ進みますか？	証明書の認証が必要なホームページを表示しようとして、証明書が確認できない場合に表示されます。［詳細］をタップすると、証明書の詳細情報を確認できます。［はい］をタップすると接続を継続します。	―
144	ネットワークエラー	電波が届かないため、ネットワークに接続できません。電波の強い位置まで移動してから操作し直してください。	―
145	ユーザ認証に失敗しました	「ユーザ名」または「パスワード」が入力されていない／無効のため、選択したネットワークアカウント（ベアラ：パケット）に接続できません。「ユーザ名」と「パスワード」を確認してください。	P204
146	ネットワーク通信に問題があります	「ユーザ名」または「パスワード」が入力されていない／無効のため、選択したネットワークアカウント（ベアラ：FOMA／GSM回線交換）に接続できません。「ユーザ名」と「パスワード」を確認してください。	P203
147	変換文字列長オーバー	文字列が11文字を超えたため変換できません。11文字以内の文字列にして変換するか、入力した文字を確定してから続きを入力してください。	P528

次のページへ続く

	表 示	説 明	参照先
148	本体のSMSメモリがいっぱいです	ショートメッセージ（SMS）がFOMA端末本体に最大保存数の500件保存されています。不要なショートメッセージ（SMS）を削除してください。	P298
149	FOMAカード内のSMSメモリがいっぱいです	ショートメッセージ（SMS）がFOMAカードに最大保存数の20件保存されています。不要なショートメッセージ（SMS）を削除してください。	P298
150	すべてのSMSメモリがいっぱいです	ショートメッセージ（SMS）がFOMA端末本体に最大保存数の500件、FOMAカードに最大保存数の20件保存されています。不要なショートメッセージ（SMS）を削除してください。	P298
151	FOMAカードが使用中　しばらくたってから実行してください	SyncMLを利用してFOMAカード電話帳を同期中のため、FOMAカードを利用できません。同期が終了してからご利用ください。	—
152	電波の届かないところにいるか電源が切れています	相手が圏外にいる、または電源を切っているため、テレビ電話がつながりません。しばらくたってからおかけ直しください。	P91
153	リモートサーバが見つかりません	APN（接続先アクセスポイントの名前）が不正または間違えています。正しいAPNを登録し直してください。	P204
		テレビ電話通話中にネットワーク接続（回線交換）しようとした場合に表示されます。テレビ電話を切断するか、ベアラを無線LANにしてネットワークに接続してください。	P211
		テレビ電話通話中にネットワーク接続（パケット）しようとした場合に表示されます。テレビ電話を切断するか、ベアラを無線LANにしてネットワークに接続してください。	
154	ドライブモードまたはマナーモード設定中　アラートは変更できません	ドライブモードまたはマナーモードを設定中のため、「サウンド」の音量を変更できません。ドライブモードまたはマナーモードを解除してください。	P85、137
155	マナーモード設定中　設定は変更できません	マナーモード画面を表示中にステータスバーの をタップしてマナーモードを設定したため、マナーモード画面で設定を変更して［完了］をタップしてもマナーモードの動作を変更できません。［続行］をタップし、マナーモードを解除してから操作し直してください。	P137
156	本体のメモリ容量が少ないため以下の着信音をインストールできません	着信音の登録するメモリ容量が不足しているため、着信音を登録できませんでした。不要な着信音を削除してください。	P132
157	着信音　"XXXX※"はすでに存在しています　ファイルを置き換えますか？それとも右の名前で保存しますか？　"XXXX※" ※：着信音の名前が表示されます。	登録しようとしている音楽ファイルの名前が、既に着信音に登録されているファイルの名前と同じため、登録できません。［上書き］をタップすると、登録済みのファイルに上書きして登録します。［名前を付けて保存］をタップすると、ファイル名の後ろに「1」などの数字を付けて登録されます。	P131
158	FOMAカードが利用できません	FOMAカードが取り付けられていない、またはFOMAカードの読み込みに失敗したため、FOMAカード電話帳を利用できません。FOMAカードを取り付け直してください。	P51

	表　示	説　明	参照先
159	FOMAカードがロックされました	PIN1コードを有効に設定中に、FOMA端末の電源ON時にPIN1コード入力画面で［キャンセル］をタップしたため、またはPIN 1コードの入力を通算で3回失敗したため、FOMAカードがロックされてFOMAカード電話帳を利用できません。電源を入れ直してPIN1コード／PINロック解除コードを入力してください。	P156、157
160	メモリ不足：QWERTYのみ	メモリが不足したため、文字入力画面を表示できません。電源を入れ直してから操作し直してください。	P62
161	最大XX※件オーバー ※：数字（件数）が表示されます	辞書が最大件数登録されているため追加できません。不要な辞書を削除してください。	P551
162	初期値書込みエラー	文字入力の設定情報ファイルに書き込みエラーが発生したため、文字の入力ができません。修理が必要になるため故障取扱窓口へご来店ください。	—
163	初期値ファイルがない	文字入力の設定情報ファイルが何らかの理由で見つからなかったため、お買い上げ時の状態で起動します。繰り返しメッセージが表示される場合は修理が必要になるため、故障取扱窓口へご来店ください。	—
164	辞書がありません	辞書データが見つからないか、辞書データが壊れています。添付のFOMA M1000用CD-ROM1を使って電子辞書用辞書データをインストールしてください。	P595
165	対応していません	予期しないエラーが発生したため起動できません。初期化を行ってください。初期化を行っても表示される場合は修理が必要になるため、故障取扱窓口へご来店ください。	P406
166	辞書を保存できません	FOMA端末本体のメモリが不足しているか、TransFlashメモリカードへの書き込みができないため、辞書を保存できません。FOMA端末の不要なデータを削除してください。または、TransFlashメモリカードを取り付け直してください。取り付けても保存できない場合は、TransFlashメモリカードをフォーマットしてください。	P336、340
167	学習辞書を保存できませんでした	学習辞書が壊れているため保存できません。TransFlashメモリカードをフォーマットしてください。	P340
168	ユーザ辞書を復旧できませんでした	ユーザ辞書が壊れているため復旧できません。TransFlashメモリカードをフォーマットしてください。	P340
169	学習辞書を復旧できませんでした	学習辞書が壊れているため復旧できません。TransFlashメモリカードをフォーマットしてください。	P340
170	接続に失敗しました	音声電話通話中に回線交換でメールサーバに接続しようとした場合に表示されます。音声通話を切断するか、ベアラを回線交換以外にしてメールサーバに接続してください。 音声電話通話中に回線交換でネットワークに接続しようとした場合に表示されます。音声通話を切断するか、ベアラを回線交換以外にしてネットワークに接続してください。 テレビ電話通話中にパケット／回線交換でネットワークに接続しようとした場合に表示されます。テレビ電話を切断するか、ベアラを無線LANでネットワークに接続してください。	P211

次のページへ続く

	表　示	説　明	参照先
171	発信できません：（発信先の番号）	圏外のため、音声電話をかけることができません。電波の強い位置まで移動してください。	―
172	発着信規制中です	回線がたいへん混み合っています。しばらくたってからおかけ直しください。	―
173	ネットワークに接続できません FOMAカードが入っていないか圏外またはセルフモードの可能性があります	セルフモード中にネットワークに接続しようとした場合に表示されます。セルフモードを解除してください。	P162
		圏外のため、ネットワークに接続できなかった場合に表示されます。電波の強い位置まで移動してください。	―
		無線LAN圏外のため、ネットワークに接続できなかった場合に表示されます。電波の強い位置まで移動してください。	P432
		セルフモード中に無線LANを使用しようとした場合に表示されます。セルフモードを解除してください。	P162
		FOMAカードが挿入されていないため、ネットワークに接続できなかった場合に表示されます。FOMAカードを挿入してください。	P51
174	無線LAN通信中です Bluetoothは利用できません	無線LAN接続中に、Bluetoothを利用しようとした場合に表示されます。無線LANを切断してからBluetoothを利用してください。	P213、434
175	Bluetoothが"ON"の場合は無線LANを利用できません	BluetoothがONの状態で無線LANを使用しようとした場合に表示されます。BluetoothをOFFにしてから無線LANを使用してください。	P505
176	ネットワークが利用できません	圏外のため、ネットワークに接続できなかった場合に表示されます。電波の強い位置まで移動してください。	―
177	セルフモード中はBluetoothを利用できません	セルフモード中にBluetoothを使用しようとした場合に表示されます。セルフモードを解除してください。	P162
178	セルフモード中は無線LANを利用できません	セルフモード中に無線LANを使用しようとした場合に表示されます。セルフモードを解除してください。	P162
179	リソースを使用中なので再生できません	音声電話／テレビ電話通話中に音楽を再生しようとした場合に表示されます。音声電話／テレビ電話を切断してください。	P71、92
180	無線LAN接続がONになっているため検索できません	無線LANで接続している状態で、無線LANアクセスポイントの検索をしようとした場合に表示されます。無線LAN接続を切断してから検索してください。	P434
181	テレビ電話中は操作できません	テレビ電話通話中にメールサーバに接続しようとした場合に表示されます。テレビ電話を切断してからメールサーバに接続してください。	P92
182	FOMAカードを挿入してください	FOMAカードが取り付けられていない状態で音声電話／テレビ電話をかけようとした場合に表示されます。FOMAカードを取り付けてください。	P51

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA 端末をお買い上げいただくと、保証書がついていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」を参照してお調べください。
それでも調子が良くないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無償で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障・損傷などは有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■次の場合は、修理できないことがあります

- 水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ・結露・汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。

■保証期間が過ぎた場合は

- ご要望により有償修理いたします。

■部品の保有期間は

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の連絡先へお問い合わせください。

お願い

- FOMA端末、FOMAカードおよび付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - FOMA端末・FOMAカードは、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさないFOMA端末・FOMAカードは使用できません。
  - 改造（部品の交換・改造・塗装など）が施された場合は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘板シールは、剥がさないでください。銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意に剥がされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能のON／OFF設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度、設定を行ってくださるようお願いします。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によっては修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身で携帯電話機などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- 携帯電話を機種変更や故障修理する際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の携帯電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

主な仕様

品名		FOMA M1000
サイズ（H×W×D）		約117×59.5×21.5mm
質量		約168g（電池パック、スタイラスペン装着時）
メモリ		ROM　19MB　（Flashメモリ） RAM　32MB　（SRAM）
連続待受時間	FOMA／3G	静止時：約200時間 移動時：約110時間
	GSM	約200時間
連続通話時間	FOMA／3G	音声電話時　：約120分 テレビ電話時：約80分
	GSM	900MHz　　　　　：約280分 1800／1900MHz：約300分
電池パック種別		リチウムイオン電池
電池容量		1600mAh
ACアダプタ M01での充電時間		約300分
FOMA DCアダプタ01（別売品）		約300分
カメラ画素数		正面カメラ：有効画素数約31万画素（記録画素数約30万画素） 背面カメラ：有効画素数約131万画素（記録画素数約122万画素）
デジタルズーム		外側カメラ：最大4倍
WLAN方式		IEEE802.11b準拠
Bluetooth	対応Bluetoothバージョン	Bluetooth標準規格Ver.1.1に準拠※1
	出力	Bluetooth標準規格Power Class2
	見通し通信距離※2	約10m以内
	対応Bluetoothプロファイル※3	Generic Access Profile（ジェネリックアクセスプロファイル） Generic Object Exchange Profile（ジェネリックオブジェクトエクスチェンジプロファイル） Object Push Profile（オブジェクトプッシュプロファイル） Serial Port Profile（シリアルポートプロファイル） Dial-Up Networking Profile（ダイヤルアップネットワーキングプロファイル） Headset Profile（ヘッドセットプロファイル） Service Discovery Application Profile（サービスディスカバリアプリケーションプロファイル） Hands-free Profile（ハンズフリープロファイル）
	使用周波数帯	2400MHz帯（2400MHz～2483.5MHz）

※1：FOMA端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。

※2：通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。

※3：Bluetooth対応機器どうしの使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。

次のページへ続く

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やインターネット接続をしなくてもEメールを作成したり、アプリケーションを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

携帯電話機の比吸収率などについて

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA M1000の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA M1000のSARの値は0.304W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。なお、本機のSARの値は、ご利用いただけます各国の許容値も満足しております。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/product/
モトローラ株式会社のホームページ http://www.motorola.com/rfhealth

※：技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.

Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.7W/kg, and when worn on the body, is 0.57W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

次のページへ続く●●●

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/fccid after search on FCC ID IHDT6EY1.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Declaration of Conformity

The product "FOMA M1000" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a),3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on www.motorola.com

This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.65W/kg. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

For other Medical Devices:
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

索引／クイックマニュアル

索引

た

な

は

ま

や

ら

英数字・記号

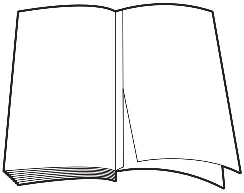
6803609B77

クイックマニュアルの使いかた

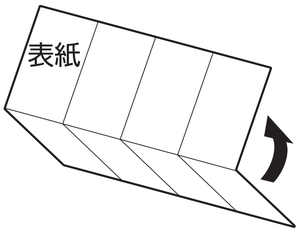
取扱説明書から切り離して使用してください。

- 海外でご利用の際に使用していただくと便利なクイックマニュアル「海外利用」は、通常のクイックマニュアルの後ろに掲載しています。
- はさみなどを使用して切り離す場合は、けがなどに気を付けてください。

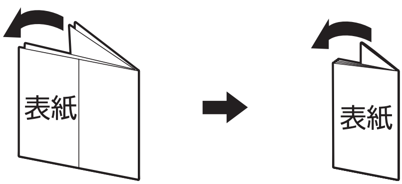
1 切り取り線を切ってクイックマニュアルを切り離す



2 縦半分に折り畳む



3 横半分に２回折り畳む



NTT DoCoMo FOMA® M1000

クイックマニュアル

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）151（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHS からもご利用になれます。

故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

故障お問い合わせ先

ドコモの携帯電話、PHSからの場合
（局番なしの）113（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHS からもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

電話をかける

1 アプリケーション選択バーの（電話）をタップ

2 相手の電話番号を市外局番から入力

3 ／ をタップ

●電話帳から電話をかけるとき

1 アプリケーション選択バーの（電話帳）をタップ

2 目的の行タブ ▶ 目的の電話帳データを順にタップ

3 電話をかける番号 ▶ ／ を順にタップ

●通話履歴から電話をかける

1 待受中に を押す ▶ 目的の履歴タブをタップ

2 かけ直す相手 ▶「音声発信」／「テレビ電話発信」を順にタップ

電話帳

FOMA 端末（本体）電話帳の登録

1 アプリケーション選択バーの（電話帳）▶ メニューバーの「電話帳」▶「新規」を順にタップ



2「名前」欄をタップ ▶ 名前を入力 ▶ 名前のフリガナを確認

3「役職」欄をタップ ▶ 役職を入力

4「電話（携帯）」欄の ▶ 設定する電話番号の種別を順にタップ

5「電話（携帯）」欄をタップ ▶ 電話番号を入力

6「メール（携帯）」欄の ▶ 設定する E メールの種別を順にタップ

7「メール（携帯）」欄をタップ ▶ E メールアドレスを入力

8「Web」欄をタップ ▶ URL を入力

9「指定着信音」欄をタップ ▶ 設定する着信音を選択

10「誕生日」の□をタップ ▶ 誕生日を設定

11 登録する欄をタップ ▶ 情報を入力

・必要な会社情報や個人情報を登録します。

12「」タブをタップ ▶ メモを入力

13「プライベート」の□をタップ

14「」タブをタップ ▶ 静止画を設定

●保存されている静止画を設定するとき

▶ 設定する静止画 ▶［選択］を順にタップ

●静止画を撮影して設定するとき

をタップ ▶ 撮影

15 メニューバーの「マイフォルダ」▶ 保存するフォルダを順にタップ

16 をタップ

FOMA カード電話帳の登録

1 アプリケーション選択バーの（電話帳）▶ メニューバーの「すべて」▶「FOMA カード」▶ メニューバーの「電話帳」▶「新規」を順にタップ

2「名前」欄をタップ ▶ 名前を入力 ▶ 名前のフリガナを確認

3「電話」欄をタップ ▶ 電話番号を入力

4「メール」欄をタップ ▶ E メールアドレスを入力

5 をタップ

発信履歴などからの登録

・電話番号入力画面、発信履歴、着信履歴、不在着信履歴、E メールから登録できます。

1 登録する電話番号や E メールアドレスの画面を表示

2 登録する相手 ▶「電話帳登録」／「電話帳に移動」を順にタップ ▶ 情報を入力 ▶ をタップ

電話帳の修正

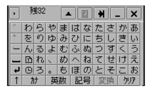
1 アプリケーション選択バーの（電話帳）▶ 修正する電話帳データ ▶ メニューバーの「編集」▶「電話帳の編集」を順にタップ ▶ 修正 ▶ をタップ

文字入力

1 文字の入力欄 ▶ ステータスバーの を順にタップ



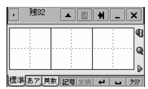
・マルチタップ／ツータップ



・50 音キーボード



・Qwerty キーボード



・手書き入力

入力方式の切り替え

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（コントロールパネル）▶「本体」タブ ▶「文字入力設定」▶［詳細設定］▶「文字入力方式」タブを順にタップ

2 設定する入力方式の ▶［閉じる］▶［完了］を順にタップ

・文字入力中は、文字入力画面の ▶ 設定する入力方式を順にタップしても切り替えられます。

入力モードの切り替え

各入力方法のキーボードで、次のキーをタップします。

ひらがな／漢字：[ひらがな]／[ローマ]／[ひら]／[あア]
カタカナ：[カタカナ]／[カナ]
英字：[全英字]／[半英字]／[英数]
数字：[数字]／[半数字]／[全英字]／[英数]
記号：[記号]
大文字／小文字：[caps]

キリトリ線

文字の入力

マルチタップ

1 目的の文字が割り当てられているキーを、表示されるまで複数回タップ

〈例〉:「ドコモ」の入力
[た] を 5 回 ▶ [キー] ▶ [か] を 5 回 ▶ [ま] を 5 回 ▶ 変換候補の「ドコモ」を順にタップ

ツータップ

1 目的の文字が割り当てられているキー ▶ 割り当て文字一覧で目的のキーを順にタップ

〈例〉:「ドコモ」の入力
[た] ▶ [ど] ▶ [か] ▶ [こ] ▶ [ま] ▶ [も] ▶ 変換候補の「ドコモ」を順にタップ

50 音キーボード

1 目的のキーを順にタップ

〈例〉:「ドコモ」の入力
[と] ▶ [゛] ▶ [こ] ▶ [も] ▶ 変換候補の「ドコモ」を順にタップ

Qwerty キーボード

1 目的のキーを順にタップ

〈例〉:「ドコモ」の入力
[ローマ] ▶ [d] ▶ [o] ▶ [c] ▶ [o] ▶ [m] ▶ [o] ▶ 変換候補の「ドコモ」を順にタップ

手書き入力

1 スタイラスペンで入力エリアに 1 文字ずつ文字を書く

〈例〉:「ドコモ」の入力
「あア」タブ ▶「ドコモ」を手書き入力 ▶ 変換候補の「ドコモ」をタップ
・正しく認識されなかった文字を変更するときは、入力エリアの右下をタップして選択します。

顔文字の入力

1 文字入力中に「かお」を入力

2 変換候補から目的の顔文字をタップ

記号の入力

1 文字入力中に [記号] をタップ

2 [全角記号] ／ [半角記号] ／ [特殊] をタップ

3 入力する記号をタップ

定型文の入力

1 文字入力中に [記号] をタップ

2 [あいさつ] ／ [返事] ／ [ビジネス] ／ [プライベート] ／ [英文] ／ [インターネット] をタップ

3 入力する定型文をタップ

文字の消去

1 文字ずつの削除

削除する文字の左側をタップしてカーソルを移動 ▶ [クリア] をタップ

入力した文字の全削除

最後の文字の右側をタップしてカーソルを移動 ▶ [クリア] をポイント
または
入力した文字をドラッグ ▶ [クリア] をタップ

指定した箇所以降の文字の全削除

削除する文字列の先頭となる文字の左側をタップしてカーソルを移動 ▶ [クリア] をポイント

範囲を指定して削除

削除する文字列をドラッグ ▶ [クリア] をタップ

カメラ機能

静止画を撮影する

1 [キー] を押す

ズーム：[キー] を押す
カメラ切り替え：[アイコン] をタップ
セルフタイマー：メニューバーの「カメラ」▶「セルフタイマー ON」を順にタップ

2 カメラを被写体に向ける ▶ [アイコン] ／ [キー] を押す／ [アイコン] をタップ

3 確認画面で [アイコン] ／ [キー] を押す／ [アイコン] をタップ

動画を撮影する

1 [キー] を押す

・動画撮影画面が表示された場合は、操作 3 に進みます。

2 [アイコン] をタップ

ズーム：[キー] を押す
カメラ切り替え：[アイコン] をタップ
セルフタイマー：メニューバーの「カメラ」▶「セルフタイマー ON」を順にタップ

3 カメラを被写体に向ける ▶ [アイコン] ／ [キー] を押す／ [アイコン] をタップ

4 [アイコン] ／ [キー] を押す／ [アイコン] をタップ

5 確認画面で [アイコン] ／ [キー] を押す／ [アイコン] をタップ

撮影した静止画の表示／動画の再生

静止画を表示する

1 アプリケーション選択バーの [アイコン] (アプリケーションランチャー) ▶ [アイコン] (ピクチャー) を順にタップ

2 画像一覧画面で表示する画像をタップ

動画を再生する

1 アプリケーション選択バーの [アイコン] (アプリケーションランチャー) ▶ [アイコン] (ビデオ) を順にタップ

2 動画一覧画面で再生する動画をタップ

・動画再生時には次の操作ができます。

[アイコン] ／ [アイコン]：再生または一時停止できます。
[アイコン]：停止できます。
[アイコン]：[アイコン] [アイコン] をタップすると再生音量を調節できます。
[アイコン]：カメラが起動できます。

ネットワークアカウント設定

● **設定前の準備**

ご加入のプロバイダから提供されている、接続に必要な情報を確認してください。詳しい情報については、プロバイダにお問い合わせください。

1 アプリケーション選択バーの [アイコン] (アプリケーションランチャー) ▶ [アイコン] (コントロールパネル) を順にタップし、コントロールパネル画面で「接続」タブ ▶「ネットワーク設定」を順にタップ

2 ネットワーク設定画面で［新規］をタップ ▶ 設定する項目をタップし、設定

設定項目	説　明
アカウント名	設定するプロバイダ名などを入力します。
ベアラ	回線の種類（回線交換／パケット）を選択します。
ユーザ名※	プロバイダ接続時の認証に使用されるユーザ名を入力します。
パスワード※	プロバイダ接続時の認証に使用されるパスワードを入力します。
電話番号※	接続先アクセスポイントの電話番号を入力します。

※：「ベアラ」を「FOMA 回線交換」／「GSM 回線交換」にした場合に設定が必要になります。

3 ［詳細設定］をタップし、詳細設定画面で設定するタブをタップ

キリトリ線

・以降の設定ついては、P16 ～ P20 を参照してください。

モデム

・「ベアラ」を「FOMA 回線交換」／「GSM 回線交換」にした場合、「モデム」タブは表示されません。

1　P15 操作３で「モデム」タブをタップ ▶ 設定する項目をタップし、設定 ▶ 設定後に［完了］をタップし、ネットワーク設定画面で［完了］をタップ

設定項目	説　明
ユーザ名とパスワードの設定	ユーザ名とパスワードを入力するかどうかを設定します。☑にした場合は、「ユーザ名」「パスワード」の設定が必要になります。
ユーザ名	プロバイダ接続時の認証に使用されるユーザ名を入力します。
パスワード	プロバイダ接続時の認証に使用されるパスワードを入力します。
APN	接続先アクセスポイントの名前（アドレス）を入力します。

設定項目	説　明
PDP タイプ	通信を行う際のプロトコルを設定します。

IP ／ DNS

1　P15 操作３で「IP ／ DNS」タブをタップ ▶ 設定する項目をタップし、設定 ▶ 設定後に［完了］をタップし、ネットワーク設定画面で［完了］をタップ

設定項目	説　明
IP アドレス自動取得	ネットワークから自動的に IP アドレスを取得するかどうかを設定します。☐にした場合は「IP アドレス」「サブネットマスク」「ゲートウェイアドレス」の設定が必要になります。
IP アドレス	IP アドレスを各区切りで 0 ～ 255 の範囲で設定します。
サブネットマスク	サブネットマスクを各区切りで 0 ～ 255 の範囲で設定します。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイアドレスを各区切りで 0 ～ 255 の範囲で設定します。

設定項目	説　明
DNS アドレス自動取得	ネットワークから自動的に DNS アドレスを取得するかどうかを設定します。☐にした場合は、「プライマリ DNS サーバ」「セカンダリ DNS サーバ」の設定が必要になります。
プライマリ DNS サーバ	メインの DNS サーバのアドレスを各区切りで 0 ～ 255 の範囲で設定します。
セカンダリ DNS サーバ	サブの DNS サーバのアドレスを各区切りで 0 ～ 255 の範囲で設定します。

プロキシ

1　P15 操作３で「プロキシ」タブをタップ ▶ 設定する項目をタップし、設定 ▶ 設定後に［完了］をタップし、ネットワーク設定画面で［完了］をタップ

設定項目	説　明
プロキシサーバ使用	プロキシサーバを使用するかどうかを設定します。☑にした場合は、「プロキシサーバアドレス」「プロキシサーバポート」「例外」の設定が必要になります。

設定項目	説　明
プロキシ自動設定	「プロキシサーバ使用」を☑にしたときに、プロキシの設定を自動的に取得するかどうかを設定します。☑にした場合は「自動プロキシサーバアドレス」の設定が必要になります。
自動プロキシサーバアドレス	自動プロキシサーバのアドレスを設定します。
プロキシサーバアドレス	プロキシサーバのアドレスを設定します。
プロキシサーバポート	プロキシサーバのポート番号を指定された範囲で設定します。
例外	プロキシサーバへの接続が必要ない URL を設定します。

その他

1　P15 操作３で「その他」タブをタップ ▶ 設定する項目をタップし、設定 ▶ 設定後に［完了］をタップし、ネットワーク設定画面で［完了］をタップする

設定項目	説　明
PPP 圧縮	PPP圧縮をして通信するかどうかを設定します。
PPP 認証	PPP 認証方式を選択します。

設定項目	説　明
発信者番号通知	発信者番号通知を設定します。
VPN 自動起動	接続が確立されたときに、「movianVPN」を自動起動させて、VPN 接続を行う場合にチェックします。☑にした場合は、「VPN ポリシー」の設定が必要になります。
VPN ポリシー	VPN 自動起動時に、接続に使用する VPN ポリシーを選択します。

ブラウザを利用する

・ブラウザを利用してインターネットに接続するには、設定が必要になります。→ P14

ホームページを表示する

1　アプリケーション選択バーの◎（ブラウザ）をタップ

・最初に表示させるホームページを設定している場合や、直前に接続した履歴が残っている場合は、操作４に進みます。

2　ホームページ表示画面でメニューバーの「ブラウザ」▶「ページを開く」を順にタップ

3　ページを開く画面で URL を入力 ▶［開く］をタップ

4　ネットワークサービスに接続画面で［接続］をタップ

・ネットワークアカウントが複数ある場合はアカウントを選択してから［接続］をタップします。

ネットワーク接続を切断する

1　ホームページ表示中にメニューバーの「ブラウザ」▶「切断」を順にタップ ▶ 切断の確認画面で［はい］をタップ

ホームページの表示方法を変更する

1　ホームページ表示中にメニューバーの「編集」▶ 表示方法を順にタップ

・ズームを選択した場合は、さらにズームレベル設定画面が表示され、▮をドラッグしてズームレベルを変更します。

表示方法	説　明
縦全画面表示※	ホームページを元のままの大きさで表示します。ホームページの内容が、ディスプレイの表示領域を超えて表示されます。
横全画面表示※	ホームページを元のままの大きさで、90 度回転させて表示します。ホームページの内容が、ディスプレイの表示領域を超えて表示されます。
フィット表示モード	ホームページをディスプレイサイズに合わせて表示します。ホームページの内容がすべてディスプレイの横幅に固定されて表示されます。
ズーム	ズームレベルを任意に設定し、表示サイズを変更できます。

※：全画面領域を使って表示するため、メニューバーが表示されません。表示させる場合は、▭を押してください。

E メールアカウント設定

●設定前の準備

ご加入のプロバイダやネットワーク管理者から支給されている次の情報を確認してください。ただし、接続に必要な設定項目や項目名称、内容などが異なる場合があります。詳しい情報については、プロバイダやネットワーク管理者にお問い合わせください。

項　目	説　明
アカウント名	プロバイダ名などを入力する確認用の名前です。
E メールアドレス	ご自分の E メールアドレスです。
ユーザ名	E メール受信時の認証に使用されます。
パスワード	E メール受信時の認証に使用されます。
接続方法	メールサーバの種類（IMAP ／ POP3）です。
SMTP 認証の要否	E メール送信時に SMTP サーバの認証が必要な場合に設定が必要になります。
受信サーバアドレス	E メール受信用のプロバイダ側のサーバアドレスです。

キリトリ線

項　目	説　明
送信サーバアドレス	E メール送信用のプロバイダ側のサーバアドレスです。

1　アプリケーション選択バーの(アプリケーションランチャー)➧(コントロールパネル)を順にタップし、コントロール画面で「接続」タブ➧「メールアカウント」を順にタップする

2　メールアカウント画面で［新規］をタップし、設定するタブをタップ

・以降の設定については、P24～P29を参照してください。

基本設定

1　P24 操作 2 で「基本設定」タブをタップ➧設定する項目をタップし、設定➧設定後に［完了］をタップし、メールアカウント画面で［完了］をタップ

設定項目	説　明
アカウント名	アカウント一覧画面で表示されるアカウント名を設定します。

設定項目	説　明
名前	アカウントを使用する人の名前などを設定します。
メールアドレス	このアカウントで使用する E メールアドレスを設定します。
接続方法	メールサーバの種類（IMAP ／ POP3）を選択します。
ネットワークアカウント	E メールの送受信時に使用するネットワークアカウントを設定します。

パスワード

1　P24 操作 2 で「パスワード」タブをタップ➧設定する項目をタップし、設定➧設定後に［完了］をタップし、メールアカウント画面で［完了］をタップ

設定項目	説　明
ユーザ名	E メール受信時の認証に使用される名前を設定します。
パスワード	E メール受信時の認証に使用されるパスワードを設定します。
SMTP 認証の利用	SMTP サーバの認証を利用するかどうかを設定します。☑にした場合は、「送信」の「ユーザ名」「パスワード」の設定が必要になります。

設定項目	説　明
受信 BOX のログイン設定	「受信」に設定した「ユーザ名」「パスワード」を SMTP 認証にも使用するかどうかを設定します。
ユーザ名	SMTP 認証時に使用される名前を設定します。
パスワード	SMTP 認証時に使用されるパスワードを設定します。

受信

1　P24 操作 2 で「受信」タブをタップ➧設定する項目をタップし、設定➧設定後に［完了］をタップし、メールアカウント画面で［完了］をタップ

設定項目	説　明
受信サーバアドレス	受信メールサーバのアドレスを設定します。
ダウンロード	E メールの受信方法を選択します。「最大サイズ設定」／「行」にした場合は、「最大サイズ」「行数」の設定が必要になります。
最大サイズ	E メールの受信サイズを設定します。
行数	E メールの受信サイズ（行数）を設定します。

設定項目	説　明
［スケジュール］	自動的にメールサーバに接続して E メールを問い合わせる場合のスケジュールを設定できます。スケジュールを設定する場合は、「ネットワークアカウント」を「発信時手動選択」以外に設定してください。→ P25

送信

1　P24 操作 2 で「送信」タブをタップ➧設定する項目をタップし、設定➧設定後に［完了］をタップし、メールアカウント画面で［完了］をタップ

設定項目	説　明
送信サーバアドレス	送信メールサーバのアドレスを設定します。

詳細設定

1　P24 操作 2 で「詳細設定」タブをタップ➧設定する項目をタップし、設定➧設定後に［完了］をタップし、メールアカウント画面で［完了］をタップ

設定項目	説　明
送信セキュリティ	送信時のセキュリティ通信方法を選択します。
送信メールポート	送信用のメールポート数を 0 ～ 65535 の範囲で設定します。
受信セキュリティ	受信時のセキュリティ通信方法を選択します。
受信メールポート	受信用のメールポート数を 0 ～ 65535 の範囲で設定します。
暗号化パスワード認証※	パスワードを暗号化してメールサーバに送信するかどうかを設定します。
サーバから削除※	受信 E メールを FOMA 端末から削除し、次にメールサーバに接続した際に、メールサーバ内にある同一内容の E メール（FOMA 端末から削除した E メール）を削除するかどうかを設定します。

設定項目	説　明
POP before SMTP※	E メールを送信するときに、送信する前に受信するかどうかを設定します。

※：POP3 のアカウントのみ設定できる項目です。

メール通知

E メール通知に対応していないプロバイダでは、設定しても E メール通知機能を利用できません。

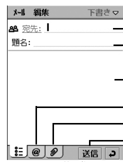
1　P24 操作 2 で「メール通知」タブをタップ➧設定する項目をタップし、設定➧設定後に［完了］をタップし、メールアカウント画面で［完了］をタップ

設定項目	説　明
自動受信	E メールが届いたとき、自動的にメールサーバに接続して E メールを受信するかどうかを設定します。
ネットワークアカウント	「メール通知」を使用するネットワークアカウントを選択します。

E メール

E メールの作成／送信

E メールを利用するには、ネットワークアカウント設定（→ P14）と、本設定が必要になります。



E メール作成画面

1　アプリケーション選択バーの(メール)➧使用するアカウントを順にタップ➧メール一覧画面で［新規作成］をタップ

2　「宛先」欄をタップ➧宛先を入力

3　「題名」欄をタップ➧題名を入力

4　本文欄をタップ➧本文を入力

5　［送信］をタップ

6　送信または保存確認画面で「今すぐ送信」➧［完了］を順にタップ

7　ネットワークサービスに接続画面で［接続］をタップ

・「ネットワークアカウント」を「発信時手動選択」以外に設定（→ P25）している場合や、既にネットワークに接続している場合、ネットワークサービスに接続画面は表示されません。

ファイル添付

1　E メール作成画面で「」タブ➧［追加］を順にタップ➧添付ファイルの追加画面で「種類」欄をタップ

2　添付するファイルの種類➧［完了］を順にタップ

キリトリ線

3 添付するファイルの一覧画面で添付するファイル➡［選択］を順にタップ

E メールの受信

・メールアカウントの設定内容により受信方法が異なります。

メールサーバに接続して受信

1 アプリケーション選択バーの（メール）➡メニューバーの「メール」➡「送受信」を順にタップ

2 ネットワークサービスに接続画面で［接続］をタップ

・ネットワークアカウントが複数ある場合はアカウントを選択してから［接続］をタップします。
・「ネットワークアカウント」を「発信時手動選択」以外に設定（→ P25）している場合や、既にネットワークに接続している場合、ネットワークサービスに接続画面は表示されません。

受信した E メールをすぐに確認

1 E メールを受信すると着信音が鳴り、画面下部にが表示➡をタップ

無線 LAN 接続設定

● **設定前の準備**

ネットワーク管理者から提供されている、接続に必要な情報を確認してください。詳しい情報については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）➡（コントロールパネル）を順にタップし、コントロール画面で「接続」タブ➡「ネットワーク設定」を順にタップ

2 ネットワーク設定画面で［新規］をタップ➡設定する欄をタップし、設定

設定項目	説　明
アカウント名	設定するネットワーク名などを入力します。

設定項目	説　明
ベアラ	回線の種類（無線 LAN）を選択します。

3 ［詳細設定］をタップし、詳細設定画面で設定するタブをタップ

・以降の設定については、P34 ～ P37 を参照してください。
・「プロキシ」の設定については P18 を、「IP ／ DNS」の設定については P17 を参照してください。

無線 LAN

1 P34 操作 3 で「無線 LAN」タブをタップ➡設定する項目をタップし、設定➡設定後に［完了］をタップし、ネットワーク設定画面で［完了］をタップ

設定項目	説　明
SSID	接続先のアクセスポイントと同じ SSID を設定します。
省電力モード	データの送受信をしてないときに、電力を落とすかどうかを設定します。
送信電力レベル	送信電力レベルを設定します。

セキュリティ

1 P34 操作 3 で「セキュリティ」タブをタップ➡設定する項目をタップし、設定➡設定後に［完了］をタップし、ネットワーク設定画面で［完了］をタップ

設定項目	説　明
認証方式	接続先のアクセスポイントと同じ認証方式を選択します。認証方式によって以下の設定内容が異なります。
暗号化方式	データ暗号化の方式を選択します。「WEP」「TKIP」に設定した場合は、必要に応じて［ネットワークキー］の設定を行います。
802.1x	802.1x 認証を使用するかどうかを設定します。
ネットワーク認証	接続を確立するときの認証形式を選択します。この項目を設定した場合は、必要に応じて［設定］の設定を行います。

PPPoE

1 P34 操作 3 で「PPPoE」タブをタップ➡設定する項目をタップし、設定➡設定後に［完了］をタップし、ネットワーク設定画面で［完了］をタップ

設定項目	説　明
PPPoE	PPPoE プロトコルで通信するかどうかを設定します。☑にした場合は、「ユーザ名」「パスワード」と「その他」タブの各項目の設定が必要になります。
ユーザ名	PPPoE プロトコルで通信するときの認証に使用される名前を入力します。
パスワード	PPPoE プロトコルで通信するときの認証に使用されるパスワードを入力します。

その他

1 P34 操作 3 で「その他」タブをタップ➡設定する項目をタップし、設定➡設定後に［完了］をタップし、ネットワーク設定画面で［完了］をタップ

設定項目	説　明
PPP 圧縮	PPP圧縮をして通信するかどうかを設定します。
プレーンテキスト認証	パスワードを暗号化せずに認証（PAP 認証）するかどうかを設定します。
VPN 自動起動	接続が確立されたときに、「movianVPN」を自動起動させて、VPN 接続を行う場合にチェックします。☑にした場合は、「VPN ポリシー」の設定が必要になります。
VPN ポリシー	VPN 自動起動時に、接続に使用する VPN ポリシーを選択します。

無線 LAN のアクセスポイントを検索する

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）➡（コントロールパネル）を順にタップし、コントロールパネル画面で「接続」タブ➡「無線 LAN アクセスポイント検索」を順にタップ

自動的に検索が開始され、接続可能なアクセスポイントが表示されます。

無線 LAN でブラウザを利用する

・無線 LAN でブラウザを利用するには、あらかじめネットワークアカウントの設定が必要になります。→ P33

1 アプリケーション選択バーの（ブラウザ）➡メニューバーの「ブラウザ」➡「ページを開く」を順にタップ

2 ページを開く画面で表示するホームページの URL を入力➡［開く］をタップ

3 ネットワークサービスに接続画面で無線 LAN の設定を行ったネットワークアカウント➡［接続］を順にタップ

無線 LAN で E メールを利用する

・無線 LAN で E メールを利用するには、あらかじめネットワークアカウントとメールアカウントの設定が必要になります。
→ P23、P33

1 アプリケーション選択バーの（メール）➡無線 LAN の設定を行ったメールアカウントを順にタップ

ネットワークサービス

留守番電話サービス

サービスの開始

1 アプリケーション選択バーの（電話）➡メニューバーの「電話」➡「留守番電話」➡「開始」を順にタップ

キリトリ線

2 「呼出時間設定」の□をタップ

3 「秒数」欄をタップ➧呼出時間を入力➧[完了]➧[はい]を順にタップ

サービスの停止

1 アプリケーション選択バーの（電話）➧メニューバーの「電話」➧「留守番電話」➧「停止」➧[はい]を順タップ

伝言メッセージの再生

1 ホーム画面のをタップ

キャッチホン

サービスの開始／停止

1 アプリケーション選択バーの（電話）➧メニューバーの「設定」➧「通話制御」を順にタップ

2 「キャッチホン」の□➧［はい］を順にタップ

・☑➧［はい］を順にタップすると、キャッチホンが停止します。

転送でんわサービス

サービスの開始

1 アプリケーション選択バーの（電話）➧メニューバーの「設定」➧「通話制御」➧「転送」タブを順にタップ

2 「転送」の□をタップ

3 電話番号を入力➧[開始しますか？]をタップ

サービスの停止

1 アプリケーション選択バーの（電話）➧メニューバーの「設定」➧「通話制御」➧「転送」タブを順にタップ

2 「転送」の☑➧[はい]を順にタップ

FOMA 端末から利用できるサービス

ご利用になれるサービス	電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）	（局番なし）106
一般電話の番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料）（電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません）	（局番なし）104
電報の発信（有料）午前8時～午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171

タッチスクリーンの操作

タップ操作

スタイラスペンでタッチスクリーンを軽く1回タッチして離します。

ポイント操作

スタイラスペンでタッチスクリーンの1点を触れたままにします。

ドラッグ操作

スタイラスペンをタッチスクリーン上で滑らせます。

タップ位置の調節

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）➧（コントロールパネル）➧「本体」タブ➧「明るさ／タッチパネル設定」➧[調整]を順にタップ

2 ○印の中心を1から3の順にタップ➧[完了]をタップ

メニュー一覧

メニュー一覧は、アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）をタップして表示します。

アイコン	表示		
	ブラウザ		
	電卓		
	スケジュール		
	カメラ		
	電話帳		
	コントロールパネル		
		本体タブ	
			証明書管理
			設定リセット／初期化
			端末情報
			電源管理
			文字入力設定
			明るさ／タッチパネル設定
			オート着信

アイコン	表示	
		サウンド
		パスワード設定
		ホームキーショートカット
		マナーモード
		メモリカード
		メモリマネージャ
	接続タブ	
		無線 LAN アクセスポイント検索
		ネットワーク設定
		バイトカウンタ
		メールアカウント
		Bluetooth
		Desktop Suite
	一般タブ	
		国と地域
		着信音選択
		日時設定
		Language Selection
		MIDlet 許可
	Desktop Suite	
	ホーム	
	メール	
	ミュージック	
	メモ帳	

アイコン	表示
	電話
	ドキュメントビューア
	ピクチャー
	SyncML
	時計
	ToDo
	ビデオ
	ボイスレコーダー
	辞書
	セキュリティスキャン Light
	movianVPN

マナーモード

1 ホーム画面を表示中にを1秒以上押す

・再度を1秒以上押すと、マナーモードを解除します。

・ステータスバーの➧「マナーモード」の□／☑➧［決定］を順にタップしても、マナーモードを設定／解除できます。

ドライブモード

1 ホーム画面を表示中にを1秒以上押す

・再度を1秒以上押すと、ドライブモードを解除します。
・ステータスバーの➧「ドライブモード」の□／☑➧［決定］を順にタップしても、ドライブモードを設定／解除できます。

キリトリ線

パスワードロック

パスワードロックの設定

1 アプリケーション選択バーの(アプリケーションランチャー)➡(コントロールパネル)➡「本体」タブ➡「パスワード設定」➡「ロック」タブを順にタップ

パスワードロック

OFF：ロックスイッチを上方向にスライドさせても、パスワードロックが設定されません。

ON：ロックスイッチを上方向にスライドさせると、パスワードロックが設定されます。

2 「○ON」をタップ➡端末パスワードを入力➡[完了]をタップ

3 を上方向に固定されるまでスライド

パスワードロックの解除

1 を下方向にスライドさせて元の位置に戻す

2 [ロック解除]をタップ➡端末パスワードを入力➡[完了]をタップ

ロック

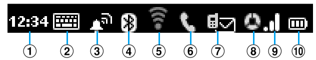
ロックを設定する

1 を上方向に固定されるまでスライドさせる

ロックを解除する

1 を下方向にスライドさせて元の位置に戻す

アイコン一覧



①現在の時刻：タップで日付を表示

②キーボード：タップでキーボードを表示

③アラートモード／ドライブモード／マナーモードの設定状態：タップで設定画面を表示

：着信音などが鳴るように設定中

：バイブレータ設定中

：サイレント設定中

：マナーモード設定中※

：ドライブモード設定中※

※：マナーモード設定中は、マナーモードとドライブモードを設定中はが優先して表示

④Bluetooth の状態表示：タップで設定画面を表示

(白)：Bluetooth ON

(グレー)：Bluetooth OFF

(緑)：Bluetooth 機器に接続中

⑤無線 LAN の接続状態／電波の受信レベル

(グレー)：無線 LAN OFF

(白)：受信レベル強～受信レベル弱

⑥通話中は通話状態／待受中は伝言メッセージの受信状態

：音声／テレビ電話通話中／回線交換によるデータ通信中

：消音に設定中

：留守番電話の伝言メッセージあり

⑦新着メールの受信状態：タップで受信 BOX を表示

(白)：電話帳に登録されている相手から受信した新着・未読の E メールとショートメッセージ（SMS）あり

(オレンジ)：電話帳に未登録の相手から受信した新着・未読の E メールとショートメッセージ（SMS）あり

(白)：新着・未読の E メールあり

(白)：電話帳に登録されている電話番号がアドレスの新着・未読ショートメッセージ（SMS）あり

(オレンジ)：電話帳に未登録の電話番号がアドレスの新着・未読ショートメッセージ（SMS）あり

(黄)※:FOMA 端末のメモリまたは FOMA カードのどちらかにショートメッセージ（SMS）が最大数保存済み

(赤)：FOMA 端末のメモリおよび FOMA カードにショートメッセージ（SMS）を保存する空き容量なし

(赤)：エラー発生のため未受信メールあり

※：タップすると、FOMA 端末のメモリと FOMA カードのどちらが最大数保存されているかを確認できます。

⑧ネットワークの状態表示：タップでセルフモード設定画面を表示

(緑):GSM ネットワーク圏内

(オレンジ):GSM ネットワーク圏内でローミング中

(緑)※:GPRS ネットワーク圏内

(オレンジ)※:GPRS ネットワーク圏内でローミング中

(緑)※:FOMA ネットワークまたは W-CDMA ネットワーク圏内

(オレンジ)※:W-CDMA ネットワーク圏内でローミング中

: セルフモード設定中

(赤):FOMA カードが取り付けられていない

(グレー)：圏外（「圏外」の表示はありません）

※：中央に点（）の表示中はデータ通信中、点の点滅中はデータの送受信中

⑨電波の受信レベル表示

※：受信レベルの目安

表示なし：圏外

※：ローミングで GSM ネットワークに接続中は 5 段階で表示

⑩電池残量の表示：タップで確認画面を表示

(白)※：電池残量の目安

：充電中

：充電不可

※：テレビ電話の通話中はオレンジ色

取扱説明書に不明な点がございましたら、下記のところまでお問い合わせください。

総合お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

ドコモの携帯電話、PHS からの場合
(局番なしの) 151 (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHS からもご利用になれます。

故障、異常かなと思われたら、下記のところまでお問い合わせください。

故障お問い合わせ先

ドコモの携帯電話、PHS からの場合
(局番なしの) 113 (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

一般電話などからの場合
0120-800-000
※ドコモの携帯電話、PHS からもご利用になれます。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

キリトリ線

NTT DoCoMo FOMA® M1000

クイックマニュアル「海外利用」

海外での紛失、盗難、精算などについて〈DoCoMo インフォメーションセンター〉(24 時間受付)

●ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 1）
-800-0120-0151
※滞在国内通話料がかかる場合があります。

●左記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

主要国の国際電話アクセス番号（表 2）
-81-3-5366-3114 ※
※日本向け通話料がかかります。

※M1000 からご利用の場合は＋81-3-5366-3114 でつながります（「+」は [0] をポイントして入力します）。
※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 1）／主要国の国際電話アクセス番号（表 2）は、クイックマニュアルの P12、P13 を参照してください。

海外での故障に関して〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉(24 時間受付)

●ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 1）
-800-5931-8600
※滞在国内通話料がかかる場合があります。

●左記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

主要国の国際電話アクセス番号（表 2）
-81-3-6718-1414 ※
※日本向け通話料がかかります。
※表 1、表 2 の番号形態は変更になる場合があります。

※M1000 からご利用の場合は＋81-3-6718-1414 でつながります（「+」は [0] をポイントして入力します）。
※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 1）／主要国の国際電話アクセス番号（表 2）は、クイックマニュアルの P12、P13 を参照してください。

・ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようおかけください。

ディスプレイの表示

海外でネットワークが検索・設定されると、次のようにネットワーク状態が表示されます。



(オレンジ)：GSMネットワーク圏内でローミング中
(オレンジ)：GPRS ネットワーク圏内でローミング中
(オレンジ)：W-CDMAネットワーク圏内でローミング中
(赤)：FOMAカード未挿入／挿入したFOMAカードが利用不可／利用可能なネットワークが発見不可
(グレー)：ネットワーク圏外

・タップすると、ネットワークや電波の状態を文字で確認できます。また、利用中のネットワーク（通信事業者）も確認できます。
・ローミングで GSM ネットワークに接続中は、電波の受信レベルが 5 段階で表示されます。

ネットワークの切り替え

お買い上げ時は、自動的に滞在先の利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。

手動でのネットワーク設定

1 海外でアプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「ネットワーク」を順にタップ

2 「通信方式」欄▶周波数帯域を順にタップ

3 「利用可能」タブ▶利用するネットワーク▶[登録] を順にタップ

時刻の設定

1 アプリケーション選択バーの（アプリケーションランチャー）▶（時計）を順にタップ

2 現在の都市名▶「その他」▶設定する欄を順にタップ▶国／都市を選択▶[完了] をタップ

各通信方式と利用できる通信サービス

	国内	海外		
ネットワーク	FOMA	W-CDMA	GSM	GPRS
音声電話	○	○	○	○
テレビ電話	○	○	×※	×※
ブラウザ	○	○	○	○
E メール	○	○	○	○
SMS	○	○	○	○
パソコンなどと接続してデータ通信	○	○	①	②

○：利用可（通信事業者や地域によって利用できない場合があります。）
×：利用不可
①：パソコンと接続して GSM 回線交換データ通信を行う場合、別途設定が必要になります。設定については、ドコモのホームページをご確認ください。
②：パケット通信によるデータ通信でのみご利用になれます。
※：着信しません。発信は中止され、接続失敗のメッセージが表示されます。[音声発信] をタップすると音声電話でかけ直します。

電話をかける

日本や滞在国以外の国に電話をかける

1 アプリケーション選択バーの（電話）をタップ

2 相手の電話番号を入力

・[0] をポイントすると、「+」を入力できます。

●一般電話にかけるとき
＋国番号 - 0を除いた市外局番 - 市内局番 - 電話番号
・相手がイタリアなど一部の国・地域の場合は「0」が必要な場合があります。

●日本の携帯電話にかけるとき
＋81 - 90 - ×××× - ××××
＋81 - 80 - ×××× - ××××

●日本の PHS にかけるとき
＋81 - 70 - ×××× - ××××

3 ／ をタップ

4 通話が終わったら

滞在国内に電話をかける

1 日本国内と同様に相手の電話番号を入力▶ ／ をタップ

電話を受ける

1 電話がかかってきたら [応答] をタップ

2 通話が終わったら

●日本から海外の本 FOMA 端末へ電話をかけてもらうとき
日本国内と同様にお客様の電話番号をダイヤル

●日本以外の国から海外の本 FOMA 端末へ電話をかけてもらうとき
「発信国の国際電話アクセス番号－ 81 －先頭の 0 を除いたお客様の電話番号」をダイヤル

優先的に利用する通信事業者の設定

1 アプリケーション選択バーの（電話）▶メニューバーの「設定」▶「ネットワーク」を順にタップ

2 優先リストにネットワークを登録

●現在利用可能なネットワークから登録するとき
「利用可能」タブ▶登録するネットワーク▶[優先リストに追加] を順にタップ

●既知のネットワークから登録するとき
「既知」タブ▶登録するネットワーク▶[優先リストに追加] を順にタップ

●新規にネットワークを登録するとき
①「優先」タブ▶[新規] を順にタップ▶ネットワークコードを入力▶[完了] をタップ
②「リストの最後」の□をタップ／「番号指定」欄の ／ をタップして位置を指定
③[完了] をタップ

キリトリ線

3　優先順位を変更するネットワーク▶[上へ]／[下へ]を順にタップ

ローミング中の動作の設定

・日本国内で設定してください。

遠隔操作の設定

1　アプリケーション選択バーの◎(電話)▶メニューバーの「設定」▶「ローミング」▶「遠隔操作設定」の□▶[はい]を順にタップ

ローミング中の着信規制の設定

1　アプリケーション選択バーの◎(電話)▶メニューバーの「設定」▶「ローミング」▶「ローミング時着信規制」の□を順にタップ

2　ネットワーク暗証番号を入力

ローミング中の音声ガイダンスの設定

1　アプリケーション選択バーの◎(電話)▶メニューバーの「設定」▶「ローミング」▶「ローミングガイダンス」の□▶[はい]を順にタップ

帰国後の設定

日本に帰国後は、自動的にネットワークが検索され、FOMA ネットワークに設定されます。

・ネットワークを「手動」で切り替えている場合は、FOMA ネットワークに設定し直してください。

主要国の国番号

国際電話をかける際などに入力する主要国の国番号です（2005 年 11 月現在）。

	国名	番号		国名	番号
あ	アメリカ合衆国	1	た	中国	86
	イギリス	44		ドイツ	49
	イタリア	39		トルコ	90
	インド	91	な	日本	81
	インドネシア	62		ニューカレドニア	687
	エジプト	20			
	オーストラリア	61		ニュージーランド	64
	オーストリア	43			
	オランダ	31		ノルウェー	47
	カナダ	1		ハンガリー	36
か	韓国	82	は	フィジー	679
	ギリシャ	30		フィリピン	63
	シンガポール	65		フィンランド	358
さ	スイス	41		ブラジル	55
	スウェーデン	46		フランス	33
	スペイン	34		ベトナム	84
	タイ	66		ペルー	51
た	台湾	886		ベルギー	32
	タヒチ	689		香港	852
	チェコ	420	ま	マカオ	853

	国名	番号		国名	番号
ま	マレーシア	60	ら	ロシア	7
	モルディヴ	960			

・その他の国の国番号や詳細については、WORLD WING のホームページをご覧ください。

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表 1）

海外から各種問い合わせを行う際に、各種問い合わせの番号の先頭に滞在国に対応する次の番号を入力して電話をかけます。

<例：イギリスから故障に関してお問い合わせをするとき>

00-800-5931-8600

	国名	番号		国名	番号
あ	アイルランド	00	さ	スペイン	00
	アメリカ合衆国	011	た	タイ	001
	アルゼンチン	00		台湾	00
	イギリス	00		中国	00
	イスラエル	014		デンマーク	00
	イタリア	00		ドイツ	00
	オーストラリア	0011	な	ニュージーランド	00
	オーストリア	00		ノルウェー	00
	オランダ	00	は	フィリピン	00
か	カナダ	011		フランス	00
	韓国	001		ブラジル	0021
	コロンビア	009			
さ	シンガポール	001		ベルギー	00
	スイス	00		香港	001
	スウェーデン	00	ま	マレーシア	00

	国名	番号
ら	ルクセンブルグ	00

主要国の国際電話アクセス番号（表 2）

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号が利用できない場合、海外から各種問い合わせを行う際に、各種問い合わせの番号の先頭に滞在国に対応する次の番号を入力して電話をかけます。

<例：イギリスから故障に関してお問い合わせをするとき>

00-81-3-6718-1414

	国名	番号		国名	番号
あ	アイルランド	00	か	カナダ	011
	アメリカ合衆国	011		韓国	001
	アラブ首長国連邦	00		ギリシャ	00
			さ	シンガポール	001
	イギリス	00		スイス	00
	イタリア	00		スウェーデン	00
	インド	00		スペイン	00
	インドネシア	001	た	タイ	001
	オーストラリア	0011		台湾	002
				チェコ	00
	オランダ	00		中国	00

	国名	番号		国名	番号
た	デンマーク	00	は	フランス	00
	ドイツ	00		ベトナム	00
	トルコ	00		ベルギー	00
な	ニュージーランド	00		ポーランド	00
				ポルトガル	00
	ノルウェー	00		香港	001
は	ハンガリー	00	ま	マカオ	00
	フィリピン	00		マレーシア	00
	フィンランド	00／990		モナコ	00
			ら	ルクセンブルグ	00
				ロシア	810
	ブラジル	0041／0021／0023			

お問い合わせについて

海外での紛失や盗難、精算、故障については、クイックマニュアル「海外利用」表紙の「海外での紛失、盗難、精算などについて」、または P1 の「海外での故障に関して」までお問い合わせください。

・各お問い合わせ番号の先頭には、滞在先に割り当てられている「ユニバーサルナンバー用国際識別番号（表 1）」または「主要国の国際電話アクセス番号（表 2）」が必要になります。

キリトリ線

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

・航空機内　・病院内

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※ 車を安全なところに停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA 端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA 端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音をすべて消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード

ボタン確認音・着信音などFOMA 端末から鳴る音をすべて消します。→P137

●ドライブモード

電話をかけてきた相手に、運転中のため電話に出られないことを知らせる音声ガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので安全に運転できます。→P85

●バイブレータ

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。→P135

●留守番電話サービス、転送でんわサービスなど

電話に出られない場合に、オプションサービスを利用して電話をかけてきた相手の用件を録音・転送します。

→P170、P175

パソコンから「留守番電話サービス」、「キャッチホン」、「転送でんわサービス」、「迷惑電話ストップサービス」、「WORLD CALL」はドコモeサイトにてお申し込みいただけます。

My DoCoMo（https://www.mydocomo.com/）⇒各種手続き（ドコモeサイト）

※パソコンなどからご利用になる場合、「My DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「My DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は下記総合お問い合わせ先にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。
※一部ご利用できない料金プランがあります。

総合お問い合わせ先 〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話、PHSからの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用できません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

海外での紛失、盗難、精算などについて

〈DoCoMo インフォメーションセンター〉（24時間受付）

●ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表1） **-800-0120-0151**

※滞在国内通話料がかかる場合があります。

●上記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

主要国の国際電話アクセス番号（表2） **-81-3-5366-3114**※

※日本向け通話料がかかります。

※M1000からご利用の場合は+81-3-5366-3114でつながります（「+」は「0」をポイントして入力します）。
※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表1）／主要国の国際電話アクセス番号（表2）は、取扱説明書P565、P566をご覧ください。

海外での故障に関して

〈ネットワークテクニカルオペレーションセンター〉（24時間受付）

●ユニバーサルナンバー

ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表1） **-800-5931-8600**

※滞在国内通話料がかかる場合があります。

●上記ユニバーサルナンバーがご利用できない場合

主要国の国際電話アクセス番号（表2） **-81-3-6718-1414**※

※日本向け通話料がかかります。
※表1、表2の番号形態は変更になる場合があります。

※M1000からご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0」をポイントして入力します）。
※ユニバーサルナンバー用国際電話識別番号（表1）／主要国の国際電話アクセス番号（表2）は、取扱説明書P565、P566をご覧ください。



マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道　株式会社NTTドコモ東北　株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海　株式会社NTTドコモ北陸　株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国　株式会社NTTドコモ四国　株式会社NTTドコモ九州

製造元 モトローラ株式会社

Li-ion

環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

R60 古紙配合率60％再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK Trademark of American Soybean Association 大豆油インキを使用しています。

'05.11（3版）
SJJN6918C